

---

## intelligent touch Manager

---

### 機種名

DCM601A1

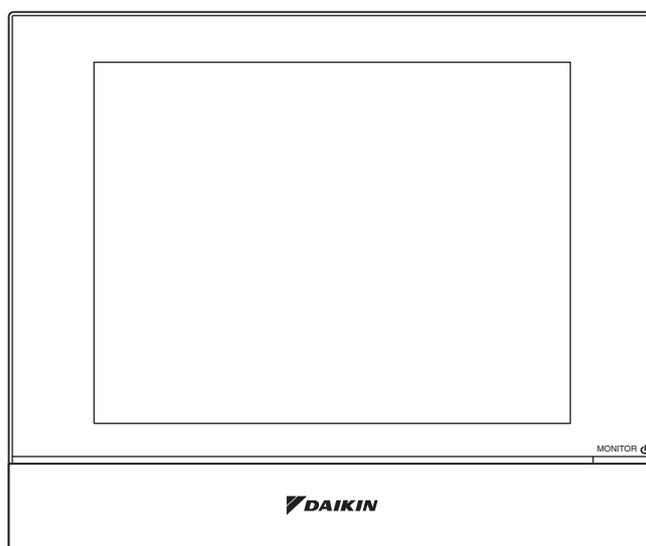
DCM601A2

DCM601B1

DCM601C1

DGE601A2

DGE601A3





# 目次

<b>安全について</b> .....	<b>1</b>
<b>使用する前に</b> .....	<b>5</b>
<b>1. iTM(インテリジェントタッチマネージャー)について</b> .....	<b>5</b>
1-1 特長.....	5
1-2 システム構成 .....	6
• DCM601A1・DCM601B1 .....	6
• DCM601C1 .....	7
• Web遠隔管理機能をお使いの場合 .....	8
1-3 管理点・エリアとは.....	9
• 管理点とは .....	9
• エリアとは .....	9
1-4 タッチパネルの操作方法 .....	11
1-5 ダイアログの操作.....	14
• 文字/入力ダイアログの操作 .....	14
• パスワード入力ダイアログの操作.....	17
• 日時入力ダイアログの操作 .....	19
• 数値入力ダイアログの操作 .....	20
<b>簡易操作</b> .....	<b>22</b>
<b>2. 簡易操作説明</b> .....	<b>22</b>
2-1 操作画面の構成.....	22
2-2 空調機の運転/停止、運転モード、風量、風向の設定.....	23
2-3 手元リモコン操作の許可・禁止の設定 .....	24
2-4 換気機器の換気モード、換気量、調湿モード、設定湿度(除湿・加湿)の設定.....	25
2-5 インフォメーションボタンについて.....	27
2-6 スケジュールの確認.....	28
2-7 時刻の設定 .....	29
2-8 履歴の確認 .....	30
<b>名前とはたらき</b> .....	<b>31</b>
<b>3. 本体各部の名前とはたらき</b> .....	<b>31</b>
3-1 前面パネルと側面.....	31

<b>4. 画面の詳細説明 .....</b>	<b>33</b>
4-1 表示画面構成 .....	33
4-2 標準画面(アイコン) .....	35
• 詳細設定画面 .....	38
• 詳細情報表示画面 .....	46
4-3 標準画面(リスト) .....	47
4-4 レイアウト画面(本機能の使用には、別途、有償作業が必要です。) .....	50
4-5 メニューリスト画面 .....	52
• 自動制御タブ .....	52
• システム設定タブ .....	54
• 運用管理タブ .....	56
• Energy Navigatorタブ .....	57
4-6 情報画面 .....	58
• 凡例説明タブ .....	58
• 連絡先タブ .....	60
 <b>標準機能の説明 .....</b>	 <b>61</b>
<b>5. 自動制御機能の設定 .....</b>	<b>61</b>
5-1 スケジュールの設定 .....	61
• スケジュールプログラムの設定 .....	63
• 画面とボタンの詳細 .....	74
5-2 消し忘れ防止時間の設定 .....	102
5-3 連動制御の設定 .....	103
• 連動制御の制限事項 .....	107
• 連動プログラムの設定 .....	110
• 画面とボタンの詳細 .....	118
5-4 緊急停止の確認 .....	143
 <b>6. システム設定 .....</b>	 <b>145</b>
6-1 エリア設定のしかた .....	145
• エリアの新規作成 .....	145
• エリアの削除 .....	147
• エリアの移動 .....	148
• エリアへの管理点・エリアの登録 .....	150
• エリアの名称と詳細情報の設定 .....	153
• 順次起動/停止間隔時間の設定 .....	154
• アイコンの設定 .....	155
• エリア設定CSVファイルの保存と読み込み .....	156

6-2	管理点設定のしかた	157
6-3	パスワードの設定	159
6-4	点検中の設定と確認	161
6-5	ロケールの設定	162
6-6	時刻の設定	164
6-7	スクリーンセーバーの設定	166
6-8	ハードウェアの設定	167
6-9	確認動作の設定	168
6-10	タッチパネルキャリブレーション	169
6-11	バックアップ	170
6-12	バージョン情報の確認	171
<b>7.</b>	<b>データ管理</b>	<b>172</b>
7-1	履歴の確認と出力	172
7-2	CSV出力ツール	174
	• 出力データ変換手順	175
	• データ変換	176
7-3	各機能の設定データ出力	178
	<b>現地設定機能操作</b>	<b>180</b>
<b>8.</b>	<b>自動制御機能設定</b>	<b>180</b>
8-1	セットバックの設定	180
8-2	自動冷暖切替の設定	186
	• 自動冷暖切替グループの作成と編集	188
	• 切替条件の設定	190
	• 自動冷暖切替の適用	192
8-3	緊急停止の設定	193
	• 緊急停止の解除	196
8-4	Temp. Limit (室温上下限保証) 機能の設定	197
8-5	Sliding Temp.の設定	202
8-6	HMO (暖房時最適停止制御) 機能の設定	207
8-7	DESICA省エネ連動機能の設定	209
	• DESICA省エネ連動グループの作成と設定	210
	• 画面とボタンの詳細	213
<b>9.</b>	<b>システム設定</b>	<b>216</b>
9-1	ネットワーク設定	216

9-2 Webアクセス設定と遠隔管理 .....	219
• Webユーザーの登録 .....	221
• パソコンからのログイン・ログオフ .....	224
• Web遠隔管理画面 .....	225
9-3 電子メール異常発報の設定 .....	228
• メールサーバーの設定 .....	228
• 送信先メールアドレスの設定と試送メールの送信 .....	231

## **オプション機能操作..... 235**

### **10. 料金按分(オプション機能)..... 235**

10-1 料金按分 .....	235
• データ集計期間の設定 .....	235
• データ集計と按分結果の出力 .....	236
• 高度な設定 .....	237
10-2 料金計算シート .....	240
• 電力ガス料金按分結果編集手順 .....	244
• 電力ガス料金計算メニュー画面 .....	270
• 蓄熱料金按分結果編集手順 .....	272
• 蓄熱料金計算シートメニュー画面 .....	293

### **11. デマンド(オプション機能)..... 295**

11-1 デマンド制御 .....	295
• 電力料金の考えかた .....	295
• デマンド制御 .....	296
• デマンド制御履歴(電力パルスモードのみ) .....	296
11-2 デマンド制御の設定から運用開始まで .....	297
11-3 情報画面 .....	298
• デマンド制御画面 .....	298
• 凡例画面 .....	301
11-4 各種設定画面 .....	302
• 制御設定画面 .....	302
• 設定温度制御設定画面 .....	303
• 能力制御設定画面 .....	305
• 発停制御設定画面 .....	307
• 制御グループ設定画面 .....	308
• 制御状態画面：設定温度制御 .....	310
• 制御状態画面：能力制御 .....	311
• 制御状態画面：発停制御 .....	312
11-5 目標電力設定画面 .....	313

11-6	運用画面	314
	• デマンドグラフ画面	314
	• 詳細データ画面	316
<b>12.</b>	<b>Energy Navigator(オプション機能)</b>	<b>318</b>
12-1	Energy Navigator機能	318
12-2	エネルギーの予実管理	321
	• エネルギー種別の設定・エネルギーグループの設定	322
	• 消費エネルギー計画値の設定・消費エネルギー実績値の設定	329
12-3	エネルギー予実の確認	333
12-4	設備の運用管理機能(運用計画からの乖離)	341
	• 設備運用ルールの設定	342
12-5	設備の運用状況の確認	350
	• 消し忘れタブ(設備の運用管理画面)	351
	• 抽出データの出力	355
12-6	データ出力機能	356
	• エネルギーデータ・管理点データ	357
<b>13.</b>	<b>給湯機制御</b>	<b>359</b>
13-1	給湯機制御機能	360
	• システム構成	362
	• 各機能の説明	363
13-2	給湯システムの監視・制御	365
	• 給湯システムメイン画面	365
	• 情報画面	367
	• スケジュール運転のしかた	368
	• 満蓄運転のしかた	369
	• 停止のしかた	370
	• 給湯システム画面のロック設定	371
13-3	給湯の詳細設定	373
	• 出湯温度の設定	374
	• タンク湯温の設定	374
	• タンク最低水位の設定	375
	• 給湯機能力の設定	375
	• 給湯詳細設定の確認	376
13-4	給湯スケジュールの設定	378
	• 給湯スケジュールの作成	380
13-5	給湯機台数制限の設定	399
13-6	メインタンクの切換	402

13-7 給湯運転データの出力.....	404
13-8 給湯運転データの確認.....	405
• 運転データモニタソフトのインストール.....	407
• 運転データモニタソフトの設定方法.....	411
• 運転データの表示方法.....	415
• 各画面の構成.....	417
• 運転データモニタソフトの活用方法.....	421

## **お手入れについて ..... 422**

### **14. お手入れのしかた ..... 422**

14-1 フィルターサインのリセットのしかた.....	422
14-2 液晶表示部のお手入れのしかた.....	423
14-3 給湯用貯湯タンクの清掃について.....	424

## **知っておいてください..... 425**

### **15. 調子がおかしいときは..... 425**

15-1 サービスを依頼される前に.....	425
15-2 内蔵バッテリーON/OFFについて.....	453
15-3 異常発生お知らせ機能について.....	454
15-4 パソコン入替え時の給湯運転データ移行について.....	456
• パソコン入替え時の運転データ引継ぎ方法.....	457
15-5 7年間以上の給湯運転データの移行作業について.....	462
• 7年間以上の運転データの保存方法.....	463
• 移行させた期間の運転データの表示方法.....	468
15-6 運転データモニタソフトのバージョンアップ.....	469

### **16. 仕様について..... 473**

16-1 iTMハードウェア仕様表.....	473
16-2 周辺機器仕様表.....	474
16-3 著作権・商標について.....	474

## **付録 ..... 476**

## **アフターサービスについて ..... 521**

# 安全について

## ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。
 <b>注意</b>	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。

- 本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。

お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。  
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。

# 安全について

## ■ インテリジェントタッチマネージャーについて

 <b>警告</b>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>分解や改造・修理をしない</b> 故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご依頼ください。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない</b> 引火・ひび割れの原因になります。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない</b> 火災や故障の原因になります。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない</b> 針金などを使用すると故障や火災の原因になります。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない</b> <b>ベンジン・シンナーで本体をふかない</b> 引火・ひび割れの原因になります。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>据付工事は、自分でしない</b> 据付けに不備があると、故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご依頼ください。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>移動・再設置は、自分でしない</b> 据付けに不備があると、故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご依頼ください。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>別売品の取付けは、自分でしない</b> <b>別売品は当社指定以外のものは使用しない</b> 取付けに不備があると、故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。（裏表紙参照）</li></ul>

 **警告**

	<ul style="list-style-type: none"><li>• 異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する 異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店にご連絡ください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>• 洪水・台風などでインテリジェントタッチマネージャーが水没したときは、 すぐに電源ブレーカーを遮断し、お買い上げの販売店に相談する 運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>• 指定の漏電遮断器を取り付ける 取り付けないと感電や火災の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>• 貯湯タンクを清掃する場合は貯湯タンク入口の仕切弁を閉じ 給湯機器の電源ブレーカーを遮断する お湯が突然タンク内に入り大変危険です。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>• 貯湯タンクを清掃する場合は貯湯タンク内のセンサー、フロートスイッチを 触らない センサー、フロートスイッチに衝撃を与えると正常に動作しなくなります。</li></ul>

# 安全について

## 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>特殊用途には使用しない</b> 精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特殊用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>インテリジェントタッチマネージャーで遊ばせない</b> 誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>インテリジェントタッチマネージャーは絶対に分解しない</b> 内部を手で触れると感電や故障の原因になることがあります。 内部の点検調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない</b> 万一、ガスが漏れてインテリジェントタッチマネージャーの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。</li></ul>
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>ぬれた手で操作しない</b> 感電の原因になることがあります。</li></ul>
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>インテリジェントタッチマネージャーは、水のかかるおそれのある場所に設置しない</b> 水が機器の内部に入ると、感電のおそれがあるほか、内部の電子部品が故障する原因になることがあります。</li></ul>
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>インテリジェントタッチマネージャーを水洗いしない</b> 漏電によって感電や火災の原因になることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する</b> 電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>長期間使用しないときは、電源ブレーカーを遮断する</b> ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。</li></ul>

接続する機器の据付け・取扱いについては、各機器に付属の説明書をご覧ください。

# 使用する前に

## 1. iTM(インテリジェントタッチマネージャー)について

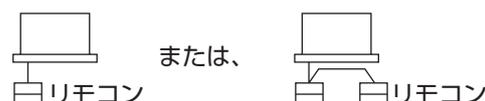
### 1-1 特長

- iTMは10.4インチの液晶画面を指でタッチして操作する高機能集中コントローラーです。iTMに接続されている空調機や汎用機器を、タッチパネル操作で容易に監視および操作ができます。
  - 本製品1台で、ベンチエールを含め最大64グループ(台数128台)の室内機の監視と制御を行います。iTM本体には、拡張用のiTMプラスアダプターを最大7台、またはDK-CONNECT DⅢ Plus ADPとDK-CONNECT DⅢ Plus ADP SLOTをあわせて7台接続できます。
- iTMプラスアダプター/DK-CONNECT DⅢ Plus ADP/DK-CONNECT DⅢ Plus ADP SLOT1台にはiTM本体と同様最大64グループ(台数128台)の室内機の接続ができ、最大512グループ(台数1024台)の室内機の制御と監視が可能になります。
- 室内機グループとは以下のものをいいます。

① リモコンなしの1台の室内機



② 1つまたは2つのリモコンで制御される1台の室内機



③ 1つまたは2つのリモコンでグループ制御されている最大16台までの室内機



- iTMは、一般ユーザー・管理者で権限を設けることができ、それぞれに合わせた設定と管理が行えます。
- またLANでパソコンに接続することで、管理者4ユーザー、一般16ユーザーが同時にアクセスできるWeb遠隔管理を行い、インターネットに接続できる環境であれば、インターネット経由で遠隔からの監視と操作ができます。
- それぞれの空調機の動作状況を、スケジュール機能できめ細かく設定できます。曜日ごとや臨時休業などの特別日を設定することで、年間のスケジュール設定が可能です。
- プログラムの有効期間を設定することで季節ごとの切換えを実現しています。
- iTMの機能として、iTMの監視画面に個々のビルなどの見取り図を背景にすることで、具体的な空調配置を見ながら監視と操作が行えます。
  - ほかの機器と空調機を連動させて運転・停止などを行う連動制御機能、省エネを実現するためのセットバック機能なども利用できます。
  - テナントごとに料金配分のできる料金按分機能(オプション)、消費エネルギーを計画的に管理できるEnergy Navigator機能(オプション)が利用できます。
  - 最大需要電力を抑制するデマンド機能(オプション)が利用できます。

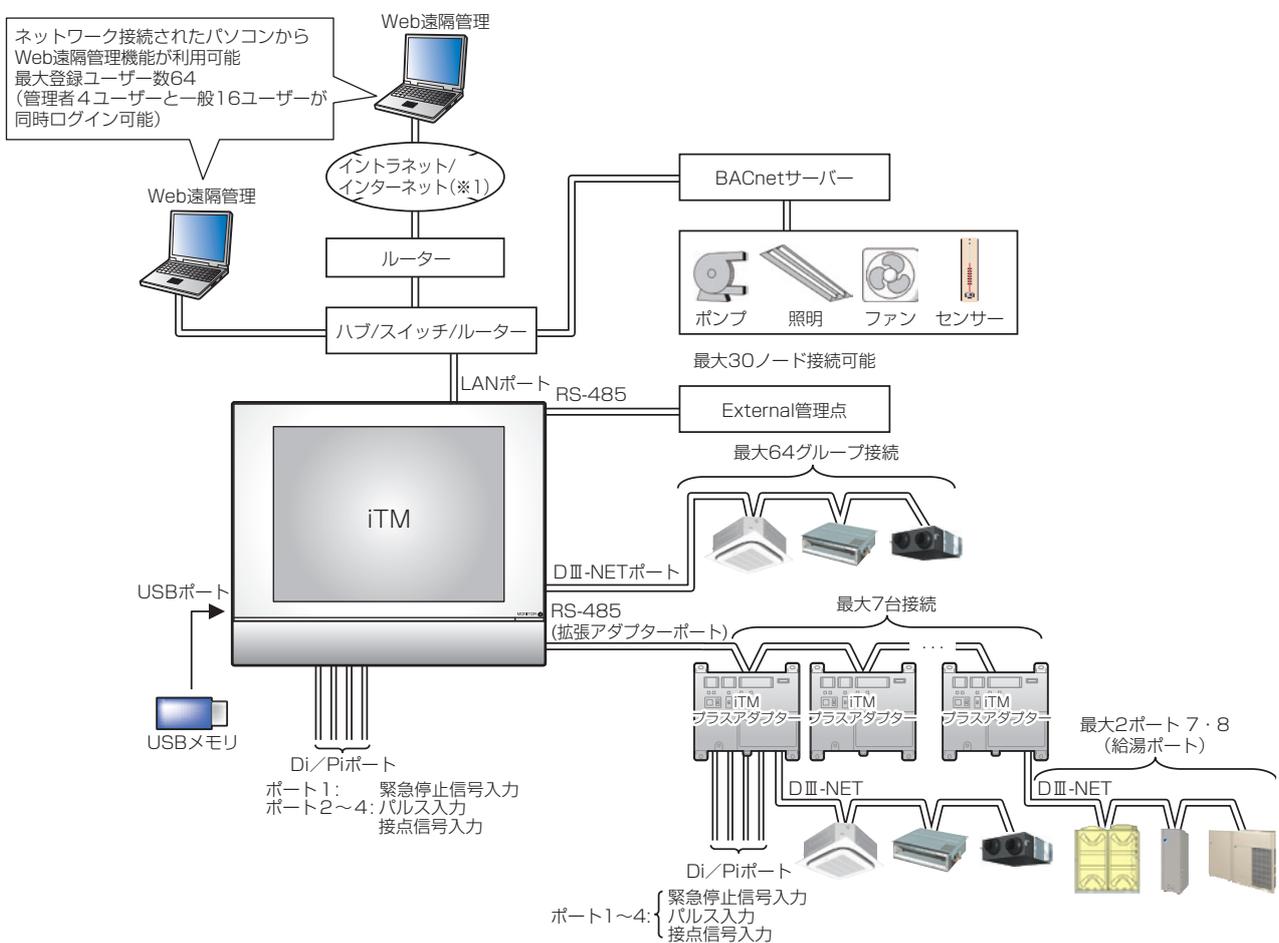
- 給湯機を制御する給湯機制御機能(オプション)が利用できます。
- iTM本体にUSBメモリを接続して課金データや消費エネルギー予実管理データ、給湯運転データ、各機能のデータ、履歴データなどを保存することが可能です。

**NOTE**

予期せぬトラブルにより大切なデータを失わないために、定期的なデータの保存をお勧めします。

## 1-2 システム構成

### DCM601A1・DCM601B1

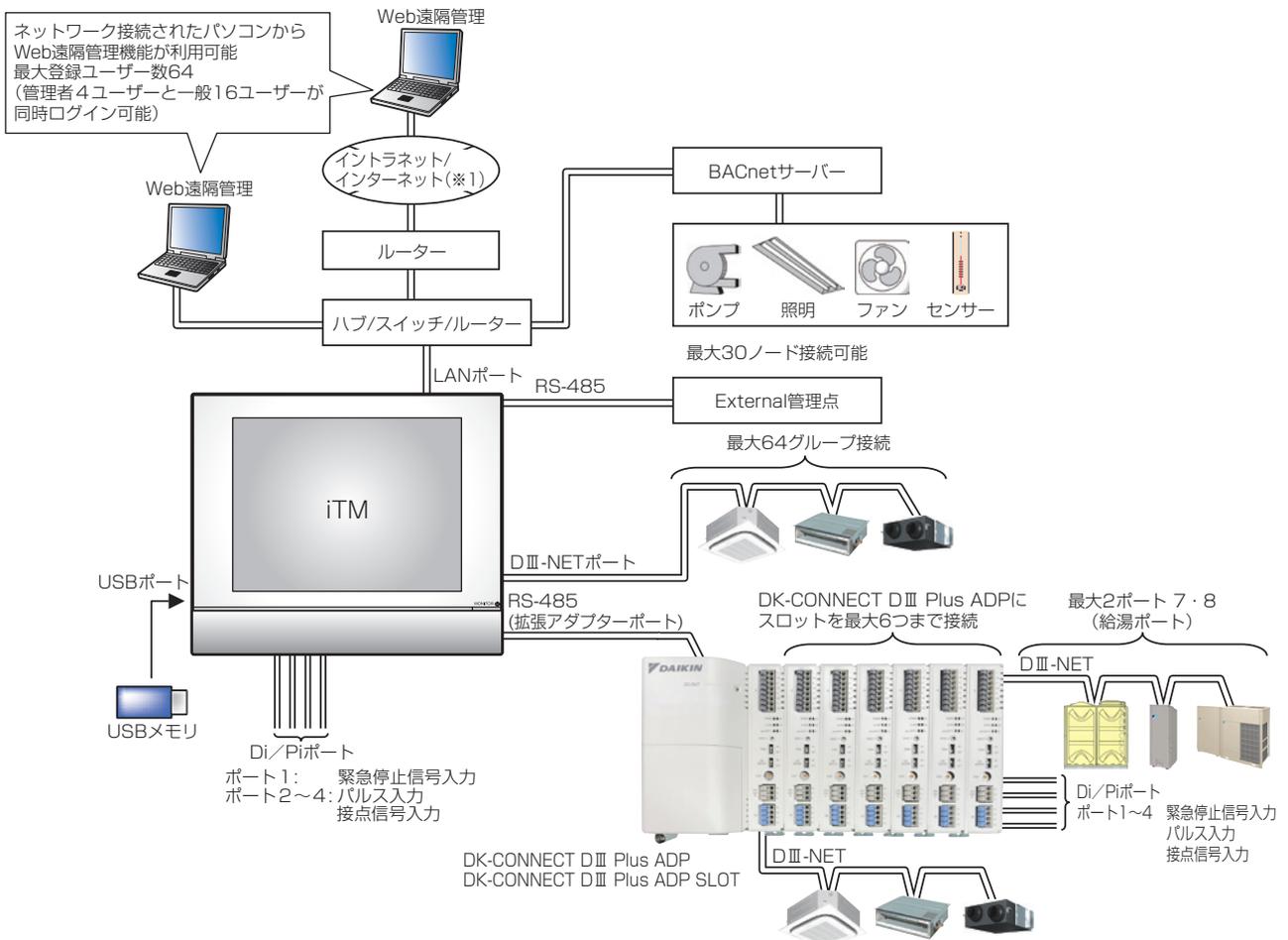


※1 本製品は、電気通信事業者の通信回線に直接接続することはできません。

インターネット接続をする場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

別途、お客様にてインターネット契約が必要です。なお、インターネット接続をする場合は、必ずVPNルーターを使用して、お客様側でセキュリティを確保してください。

# DCM601C1



※1 本製品は、電気通信事業者の通信回線に直接接続することはできません。  
インターネット接続をする場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。  
別途、お客様にてインターネット契約が必要です。なお、インターネット接続をする場合は、必ずVPNルーターを使用して、お客様側でセキュリティを確保してください。

## Web遠隔管理機能をお使いの場合

### NOTE

<不正利用を防ぐために>

- 本製品はネットワーク技術を利用しているため、次のようなセキュリティリスクがあります。
  - ※情報漏えい
  - ※なりすましによる不正操作
  - ※攻撃による機器の停止そのため、本製品はセキュリティを確保したネットワーク環境でご使用ください。
- セキュリティ強化のために利用ユーザーの管理にあたっては、下記の点を遵守ください。
  - ※ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する
  - ※パスワードは他者に推定されにくい英数字の組み合わせにする
- 本製品ではシステムの保全のため、ユーザー操作、機器の動作状況を記録しています。これは履歴画面で確認が可能です。

## 1-3 管理点・エリアとは

### 管理点とは

iTMで監視操作の対象となる機器を管理点と表現します。

iTMで扱う管理点には、下記の種別があります。

室内機・ベンティエール・DESICA・Dio<sup>※1</sup>・アナログ<sup>※2</sup>・パルス<sup>※3</sup>・室外機<sup>※4</sup>・チラー・給湯システム<sup>※5</sup>・マルチステート<sup>※6</sup>

※1 Di管理点、D3Di管理点、D3Dio管理点、External Di管理点、External Dio管理点、BACnet Di管理点、BACnet Dio管理点をDio管理点種別として取り扱います。

※2 External Ai管理点、External Ao管理点、Internal Ai管理点、BACnet Ai管理点、BACnet Ao管理点をアナログ管理点種別として取り扱います。

※3 Pi管理点、External Pi管理点、Internal Pi管理点をPi管理点種別として取り扱います。

※4 室外機管理点、スカイエア仮想室外機管理点を室外機管理点種別として取り扱います。

※5 ヒートポンプ給湯機・貯湯タンク再加熱ユニットをあわせて1つの管理点として取り扱います。

※6 BACnet Mi管理点、BACnet Mo管理点をマルチステート管理点種別として取り扱います。

### エリアとは

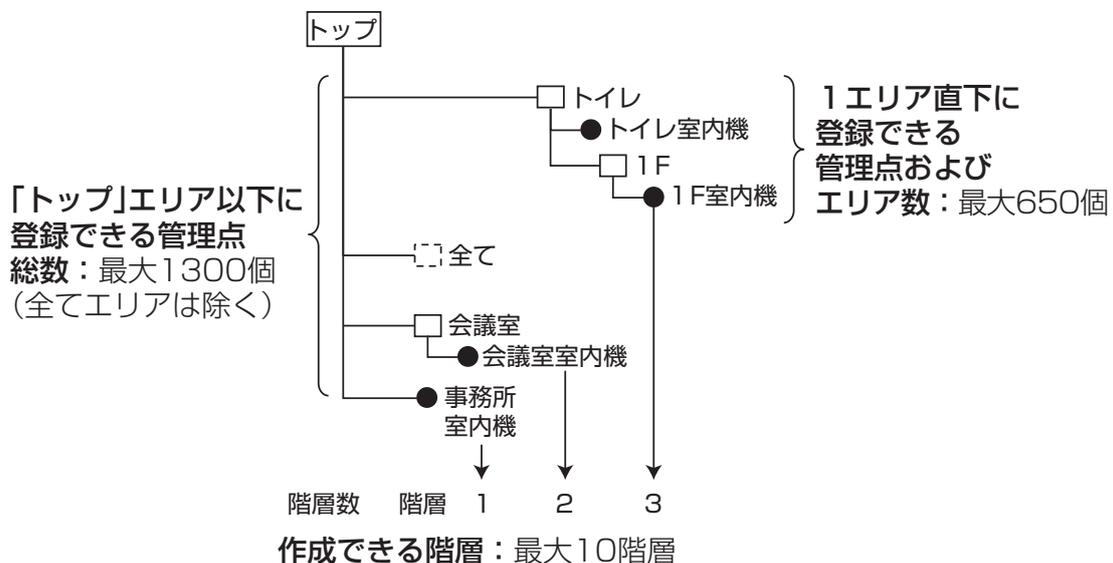
エリアとはiTMで扱う管理点をグループ、階層に区分けして監視と操作をするものです。

エリアにはメンバーとしてのエリアと管理点を登録することができます。

「全て」エリアはデフォルトで作成され、メンバーを手動で登録したり削除することはできません。

作成可能なエリア数：最大650個（「全て」エリア以下は除く）

【例】 □ 全てエリア □ エリア ● 管理点

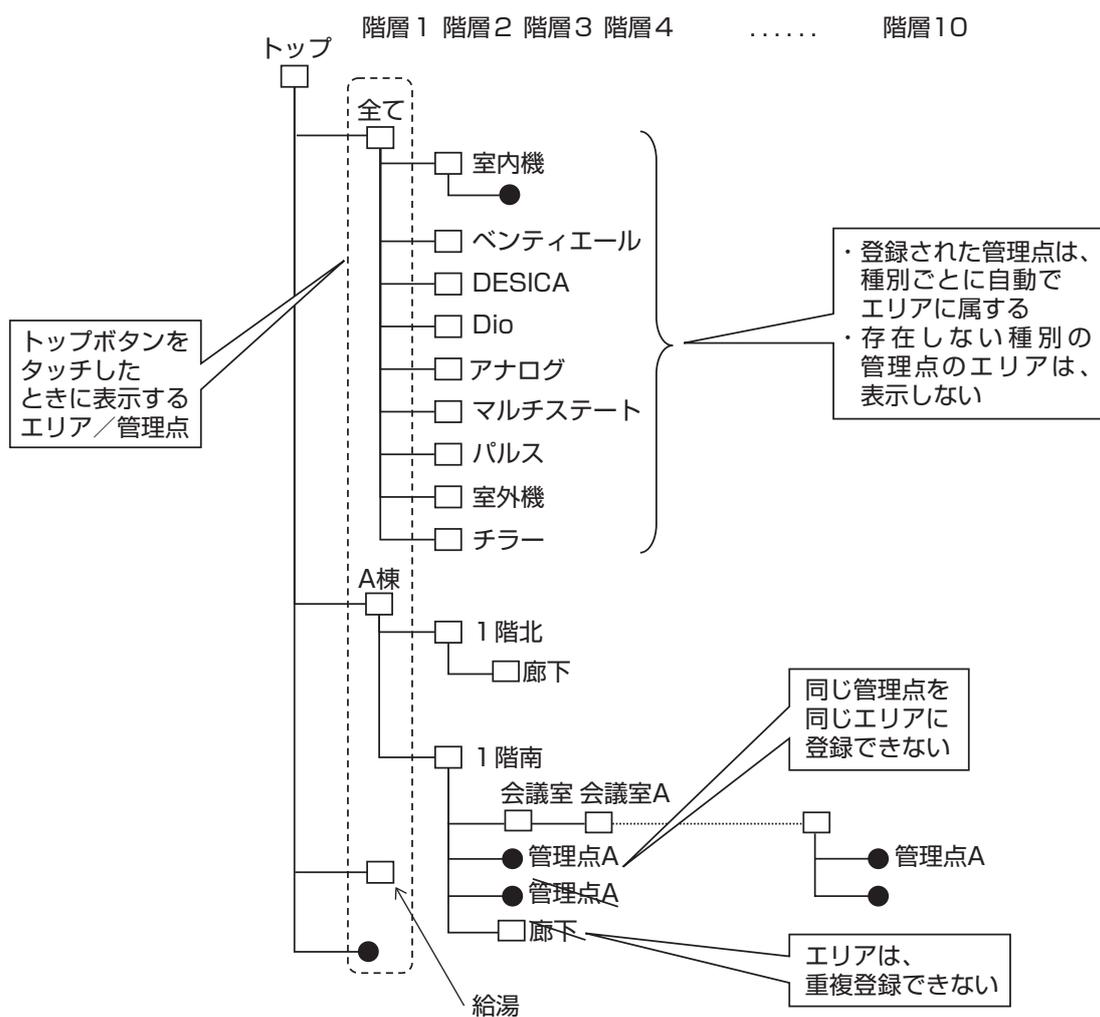


## NOTE

登録された管理点は、「全て」エリア以下に設定されている管理点種別のフォルダーに自動登録されています。

管理点は複数のエリアに登録できます。ただし、同じ管理点を1つのエリアに複数登録できません。同じエリアを複数のエリアに登録することもできません。

【例】 □ エリア ● 管理点

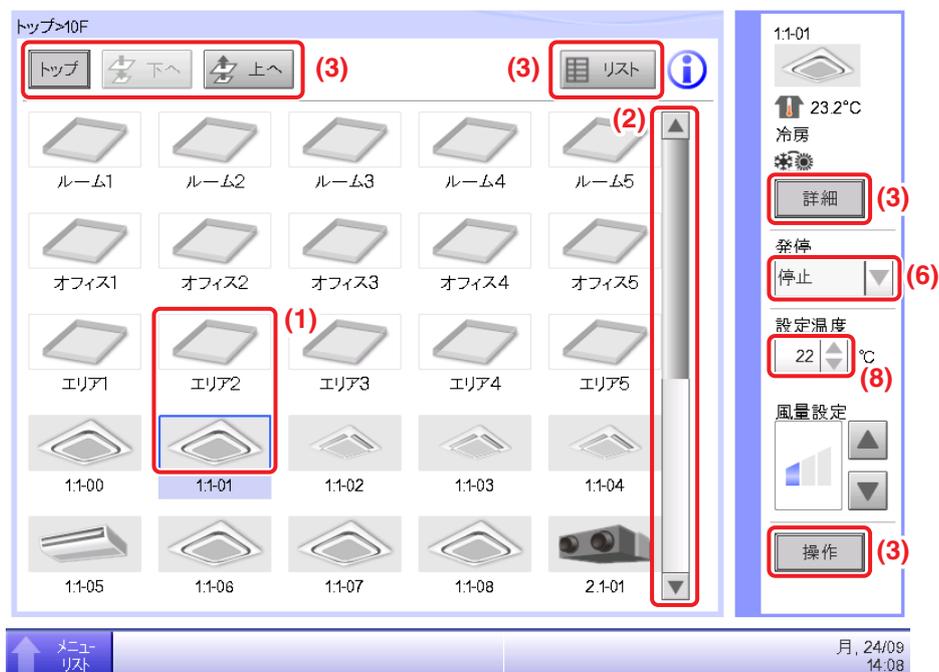


## 1-4 タッチパネルの操作方法

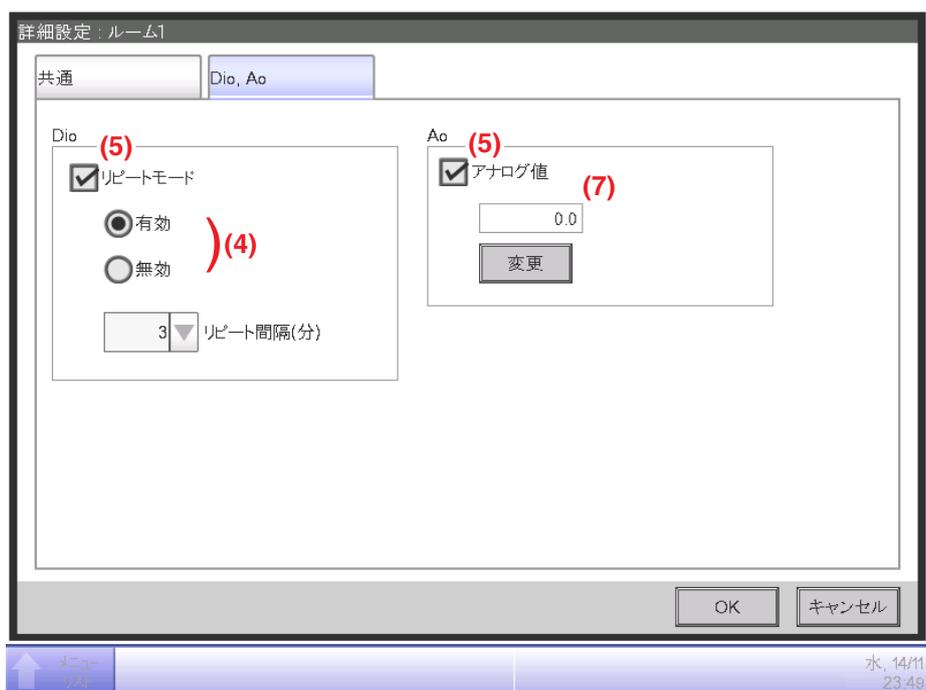
指やタッチペンで画面にタッチすることで操作ができます。

鋭くとがったものは使用しないでください。画面が破損するおそれがあります。

### <標準画面 (アイコン)>



### <詳細設定画面>



各製品の通常状態、タッチして選択したとき、選択不可のとき、テキスト表示状態を以下に示します。(※上記の標準画面に記載されていない部品は各詳細ページをご覧ください。)

### (1) 集中監視用アイコン



1:1-00

非選択状態



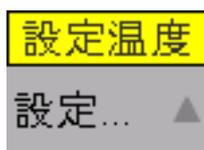
1:1-00

選択状態

### (2) 一覧のスクロールバーとソート

種別	名称	...
室内機	1:1-00	Off
室内機	1:1-01	Off
室内機	1:1-02	Off
室内機	1:1-03	Off
室内機	1:1-04	Off
室内機	1:1-05	Off

一覧イメージ



ツールチップ表示

- 隠れている行と列がある場合、スクロールバーが表示されます。
- ▲▼を押すか、スクロールバーをスライドさせ、隠れている行と列を表示させます。
- 列の文字切れは、ツールチップ表示されます。
- ソートが有効な場合、ヘッダー部分をタッチすることにより下図のような順番で並換えができます。



### (3) ボタン



通常状態



押下状態



選択不可状態

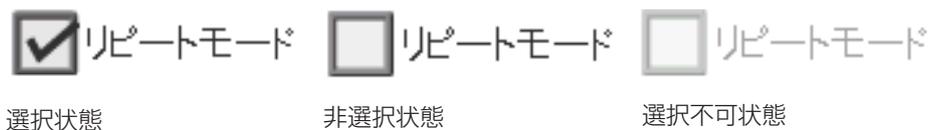
## NOTE

- 管理点やエリアの特定の機能が操作できる条件を満たしていない場合、ボタンやチェックボックスなどは選択不可状態になります。  
選択不可状態の場合、タッチや選択などの操作をすることはできません。
- ボタンなどの文字が表示しきれない場合、表示しきれない文字は「...」で表示されます。  
その場合、ボタンなどをタッチし続けるとツールチップが表示され、すべての文字が表示されます。

### (4) ラジオボタン



### (5) チェックボックス

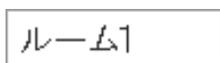


### (6) コンボボックス

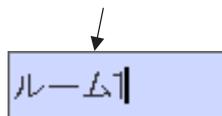


## (7) テキストボックス

カーソル：次に文字が入力される位置を示す。



テキストボックス  
(入力操作が不可能)



テキストボックス  
(入力操作が可能)



テキストボックス  
(グレイアウト)

## (8) スピンボックス



クローズ状態



選択不可状態



(中間値選択時)



(最大値選択時)

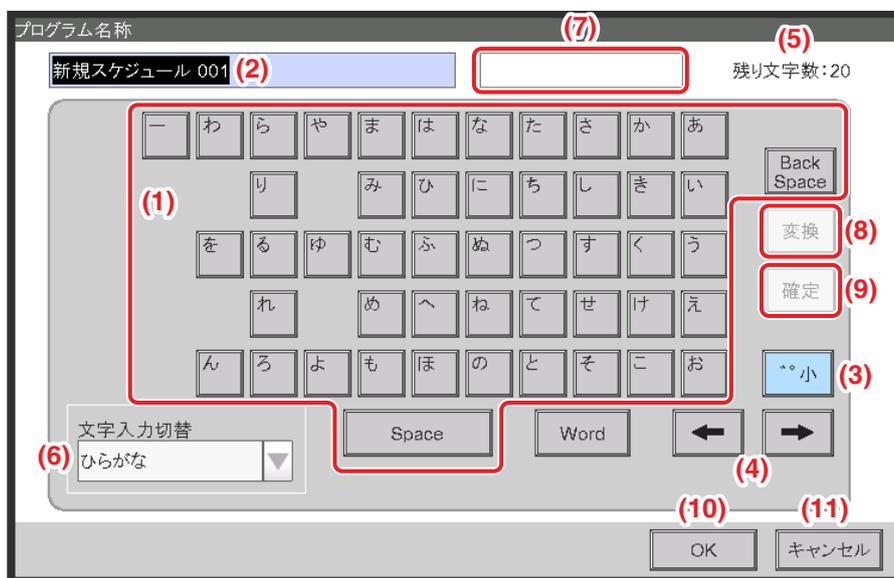


(最小値選択時)

オープン状態

## 1-5 ダイアログの操作

### 文字/入力ダイアログの操作



#### (1) 文字キーボタン

文字を入力します。

#### (2) 入力エリアテキストボックス

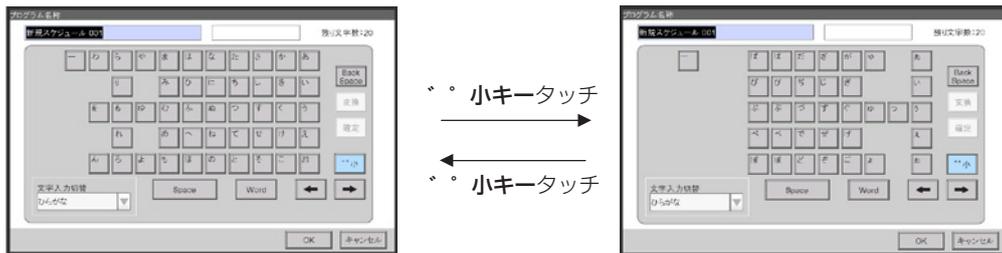
入力した文字を表示します。

**(3) ◦ ◦ 小キー、または、Shiftキー**トグルボタン

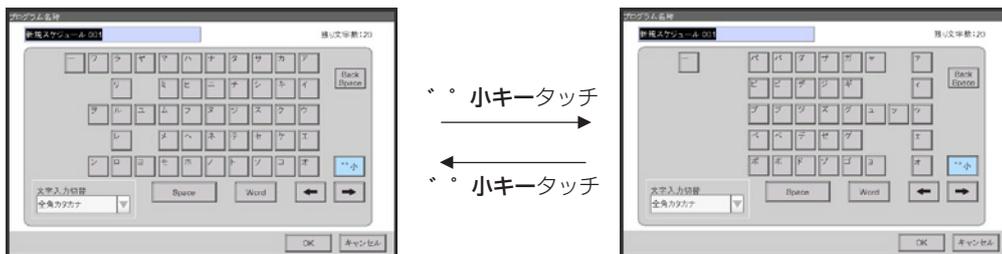
文字入力切替コンボボックスの選択によってキーの表示が変わります。

- ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナを選択したとき
  - ◦ 小キー：50音／濁点・半濁点・小書き文字を切り換えます。
- 英数字、特殊を選択したとき
  - Shiftキー：大文字／小文字を切り換えます。

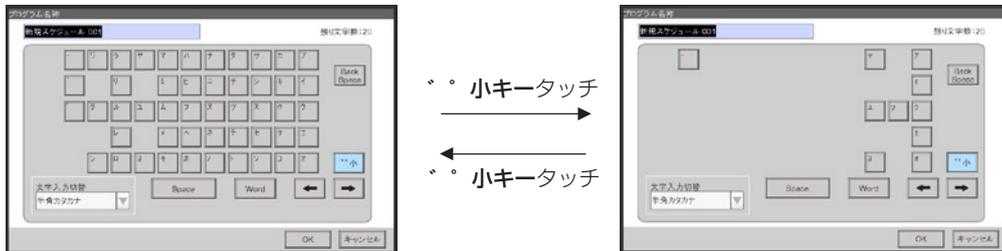
〈ひらがなを選択したとき〉



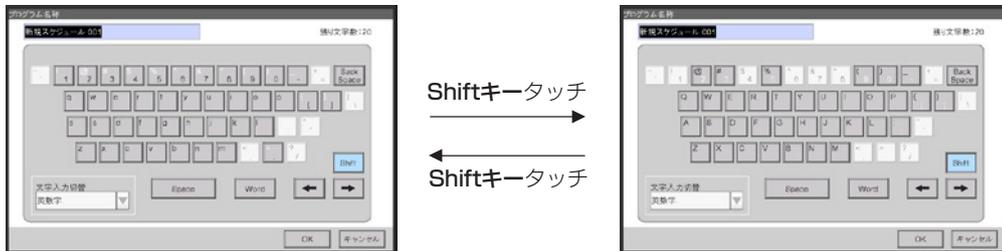
〈全角カタカナを選択したとき〉



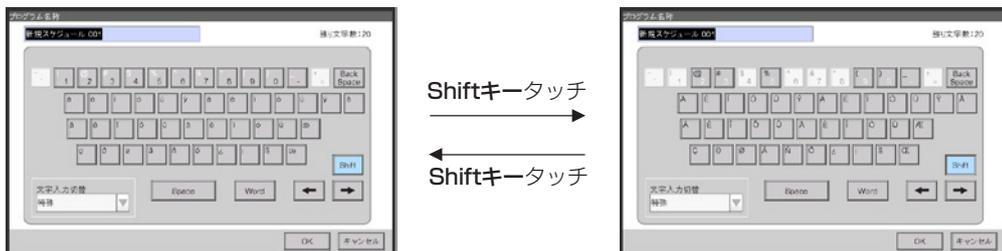
〈半角カタカナを選択したとき〉



〈英数字を選択したとき〉



〈特殊を選択したとき〉



---

**(4) 左右(←→)ボタン**

入力エリアテキストボックスのカーソルを左右に移動させます。

**(5) 残り入力可能文字数ラベル**

3種類の文字数を表示します。

**残り文字数**：機能制限文字数と入力済み文字数との差

**超過文字数**：機能制限文字数を超えた場合の超過文字数

**不足文字数**：必要な最低文字数が決まっている場合、不足している文字数

**(6) 文字入力切替コンボボックス**

文字入力を切り換えます。

**英数字**：英数字キーボードに切り換える

**特殊**：特殊キーボードに切り換える

**ひらがな**：ひらがなキーボードに切り換える

**全角カタカナ**：全角カタカナキーボードに切り換える

**半角カタカナ**：半角カタカナキーボードに切り換える

**(7) 変換中文字列**

文字入力切替コンボボックスでひらがなを選択したときのみ表示されます。

変換する前の入力文字を表示します。

**(8) 変換ボタン**

文字入力切替コンボボックスでひらがなを選択したときのみ表示されます。

入力した文字を変換します。

**(9) 確定ボタン**

文字入力切替コンボボックスでひらがなを選択したときのみ表示されます。

**(7)** の変換中文字列に表示している文字を確定し、**(2)** の入力エリアテキストボックスに移動します。

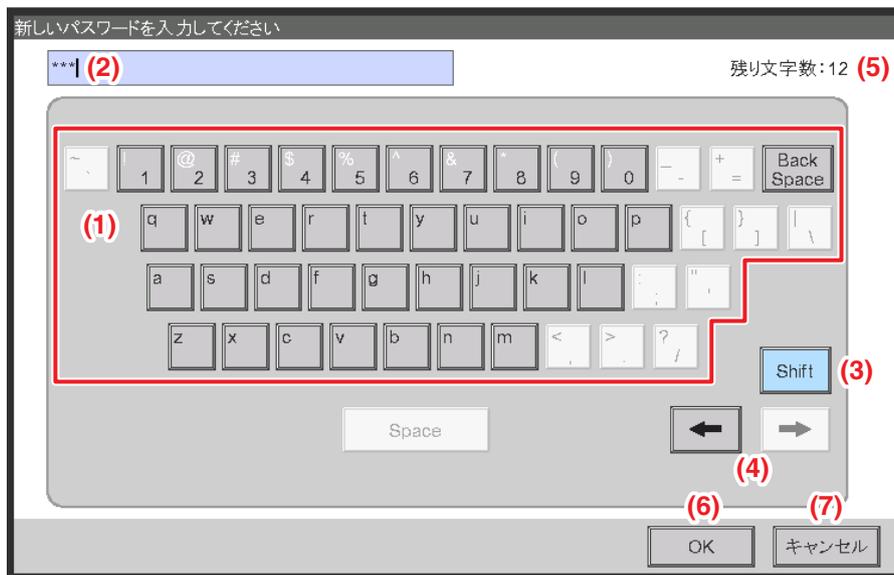
**(10) OKボタン**

タッチして確定します。

**(11) キャンセルボタン**

タッチすると、編集結果を破棄し本画面を閉じます。

## パスワード入力ダイアログの操作



### (1) 文字キーボタン

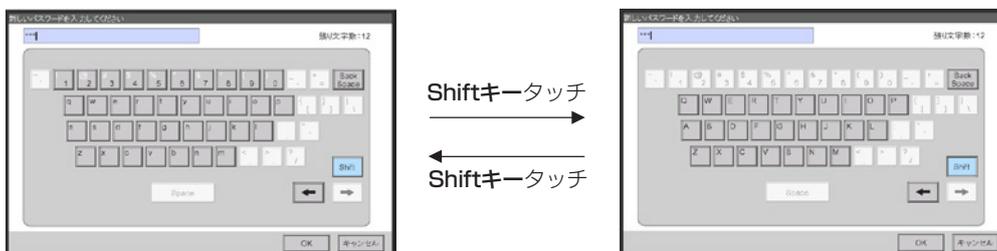
文字を入力します。

### (2) 入力エリアテキストボックス

入力した文字が「\* (アスタリスク)」で表示されます。

### (3) Shiftキーボタン

大文字／小文字を切り換えます。



### (4) 左右(←→)ボタン

入力エリアテキストボックスのカーソルを左右に移動させます。

### (5) 残り入力可能文字数ラベル

3種類の文字数を表示します。

**残り文字数**：機能制限文字数と入力済み文字数との差

**超過文字数**：機能制限文字数を超えた場合の超過文字数

**不足文字数**：必要な最低文字数が決まっている場合、不足している文字数

### (6) OKボタン

タッチして確定します。

### (7) キャンセルボタン

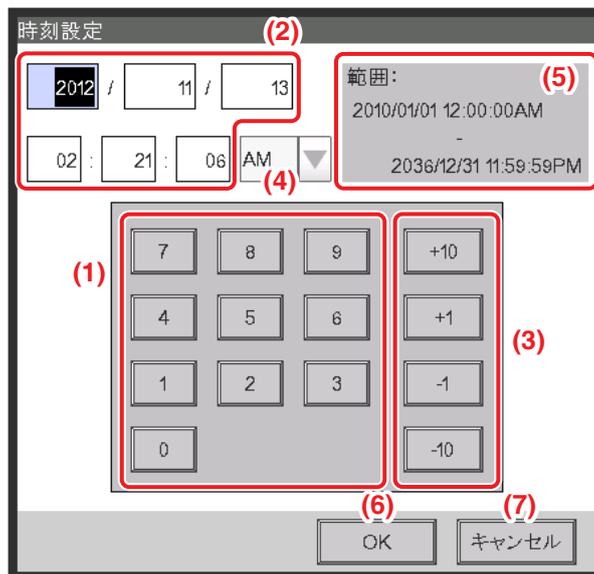
タッチすると、編集結果を破棄し本画面を閉じます。

## NOTE

- 選択不可の文字は入力することができません。
- iTMの表示言語が日本語に設定されている場合、入力候補を表示するためのボタンが表示されます。(1) Wordボタンをタッチすると、よく使う単語の候補が表示されるので、その中から選択することもできます。文字列を選択し、OKボタンで確定します。選択した文字列は、入力エリアテキストボックスに表示されます。パスワード入力ダイアログでは表示されません。



## 日時入力ダイアログの操作



### (1) 数値キーボタン

数値を入力します。

### (2) 入力エリアテキストボックス

入力された数値を表示します。テキストボックスをタッチし、必要な数値を入力してください。ロケール設定によって入力位置が切り換わります。

### (3) アップダウンボタン

選択されている (2) テキストボックス内の数値を「+ 1」・「+ 10」・「- 1」・「- 10」で増減させます。

### (4) AM/PM設定コンボボックス

時刻が12時間表示の場合、AM/PMを確定します。システム設定で24時間表示を設定している場合は、このコンボボックスは非表示となります。

### (5) 入力可能範囲表示

入力可能な範囲を表示します。

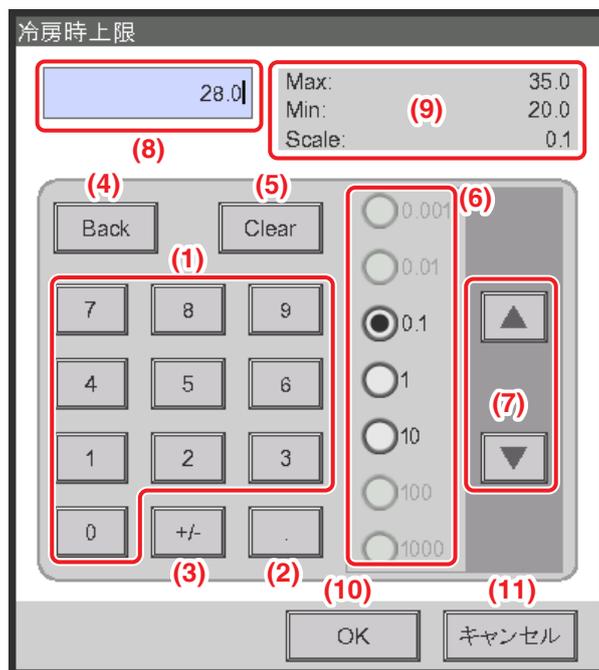
### (6) OKボタン

タッチして確定します。

### (7) キャンセルボタン

タッチすると、編集結果を破棄し本画面を閉じます。

## 数値入力ダイアログの操作



### (1) 数値キーボタン

数値を入力します。

### (2) 小数点キーボタン

小数点はこのボタンを押し入力してください。

### (3) +/-キーボタン

数値の正負を入れ換える場合押してください。正の値の場合、先頭にマイナスが付き、負の値の場合、マイナスが消え正の値になります。

### (4) Backボタン

入力エリアテキストボックスに表示される数値を、後ろから一文字ずつ削除します。

### (5) Clearボタン

入力エリアテキストボックスに表示される数値をすべて削除します。

### (6) アップダウンステップラジオボタン

アップダウンボタンを操作するときに増減する刻み幅を指定します。入力しているテキストボックスで決められている最小刻みよりも、大きい数値のボタンしか選択できません。(9) 入力可能範囲表示を参照。

### (7) アップダウン(▲▼)ボタン

アップダウンステップラジオボタンで設定した刻み幅で、数値を増減します。

### (8) 入力エリアテキストボックス

入力された数値を表示します。最大10文字まで入力可能です。

---

**(9) 入力可能範囲表示**

入力可能な範囲を表示します。

**(10) OKボタン**

タッチして確定します。

**(11) キャンセルボタン**

タッチすると、編集結果を破棄し本画面を閉じます。

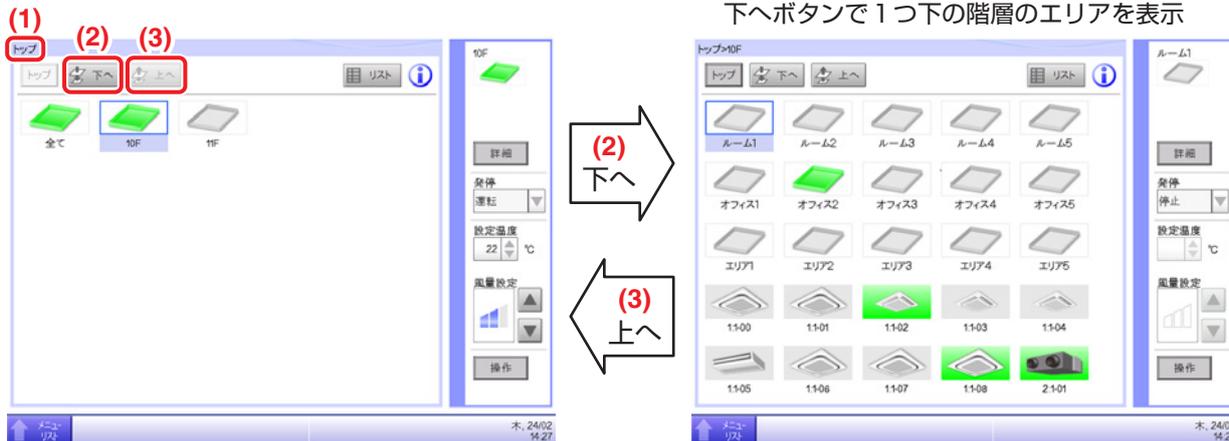
# 簡易操作

## 2. 簡易操作説明

### 2-1 操作画面の構成

標準画面(アイコン)の詳細は、4-2 標準画面をご覧ください。

#### <エリア画面>



- (1) 現在のエリア画面と室内機(管理点)の階層を表示します。
- (2) 下へボタンをタッチして、選択したエリアの中に移動し、室内機またはエリアを表示します。
- (3) 上へボタンをタッチして、元のエリア画面に戻ります。

#### 【参考】エリアとは？

エリアとは、インテリジェントタッチマネージャーで扱う管理点を、グループまたは階層に区分けした集まりのことです。たとえば、6F建てのビルなら1F~6Fのフロア単位をエリアとし、エリアの下の階層に各室内機(管理点)が配置されます。

#### <アイコン画面>



#### <リスト画面>



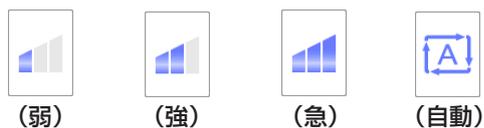
- (4) リストボタンをタッチすると、リスト画面に切り換わります。
- (5) タイプで「室内機」を選択すると、
- (6) 室内機(管理点)の運転状態が確認できます。
- (7) アイコンボタンをタッチして、元の画面に戻ります。

## 2-2 空調機の運転／停止、運転モード、風量、風向の設定



- (1) 運転したい室内機（管理点）を選択します。
- (2) 発停で「運転」または「停止」を選択します。選択した室内機が運転の場合は緑または赤、停止では灰色になります。
- (3) 設定温度の▲▼ボタンで設定温度の選択ができます。
- (4) 操作ボタンをタッチすると詳細設定画面に切り換わります。
- (5) 空調機タブを選択します。
- (6) 運転モードで「冷房／暖房／送風」などが選択できます。
- (7) 風量設定の▲▼ボタンで風量を選択できます。
- (8) 風向の▲▼ボタンで風向を選択できます。

### 《風量モード（3速）の表示》



### 《風向モードの表示》



※室内機により選択できる風量・風向は異なります。

## 2-3 手元リモコン操作の許可・禁止の設定



(1) 手元リモコン操作の許可／禁止を設定したいエリアまたは管理点を選択します。

(2) 操作ボタンをタッチし、詳細設定画面を表示します。

(3) リモコン許可／禁止設定のタブを選択します。

(4) 室内機への (a) 運転／停止の許可／禁止、(b) 運転モードの許可／禁止、

(c) 設定温度の許可／禁止を設定できます。

それぞれ設定したい項目のチェックボックスにチェックを入れます。

(5) ラジオボタンから設定したい内容を選択します。

(6) OKボタンをタッチすると設定を確定し、画面を閉じます。

## 2-4 換気機器の換気モード、換気量、調湿モード、設定湿度(除湿・加湿)の設定

### <ベンティエール>



- (1) 換気モードと換気量を設定したいベンティエールを選択します。
- (2) 操作ボタンをタッチし、詳細設定画面を表示します。
- (3) 換気タブを選択します。
- (4) 換気モードチェックボックスにチェックを入れ、「自動／全熱交／普通」を選択します。
- (5) 換気量チェックボックスにチェックを入れ、換気量を選択します。  
 2速機：自動(通常)／弱(通常)／強(通常)／自動(フレッシュアップ)／  
 弱(フレッシュアップ)／強(フレッシュアップ)  
 3速機：自動(通常)／弱(通常)／強(通常)／特強(通常)／自動(フレッシュアップ)／  
 弱(フレッシュアップ)／強(フレッシュアップ)／特強(フレッシュアップ)  
 5速機：自動(通常)／風量1 弱(通常)／風量2(通常)／風量3 強(通常)／風量4(通常)／  
 風量5 特強(通常)／自動(フレッシュアップ)／風量1 弱(フレッシュアップ)／  
 風量2(フレッシュアップ)／風量3 強(フレッシュアップ)／  
 風量4(フレッシュアップ)／風量5 特強(フレッシュアップ)
- (6) OKボタンをタッチすると設定が確定し、画面を閉じます。

#### NOTE

ベンティエールの換気モード・換気量を設定するには初期設定が必要です。  
機種により設定できる内容は異なります。

## <DESICA>

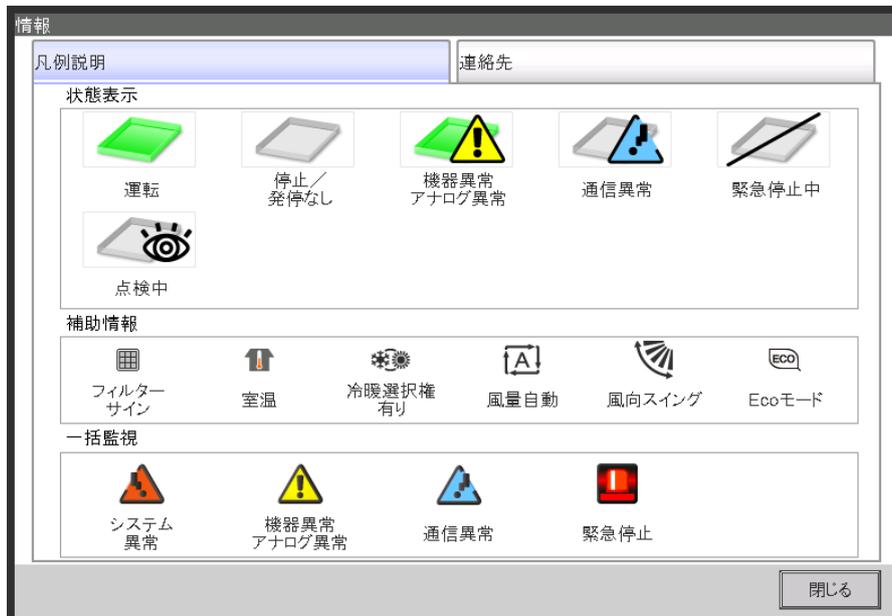
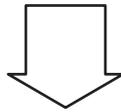


- (1) 調湿モードと設定湿度を設定したいDESICAを選択します。
- (2) 操作ボタンをタッチし、詳細設定画面を表示します。
- (3) 換気のタブを選択します。
- (4) 調湿モードチェックボックスにチェックを入れ、「調湿／換気／除湿／加湿」を選択します。
- (5) 設定湿度(除湿)チェックボックスにチェックを入れ、「低／中／高」を選択します。
- (6) 設定湿度(加湿)チェックボックスにチェックを入れ、「低／中／高」を選択します。
- (7) 換気量チェックボックスにチェックを入れ、換気量を選択します。  
 2速機：自動／弱／強  
 3速機：自動／弱／強／急  
 5速機：自動／風量1弱／風量2／風量3強／風量4／風量5急
- (8) OKボタンをタッチすると設定が確定し、画面を閉じます。

## 2-5 インフォメーションボタンについて

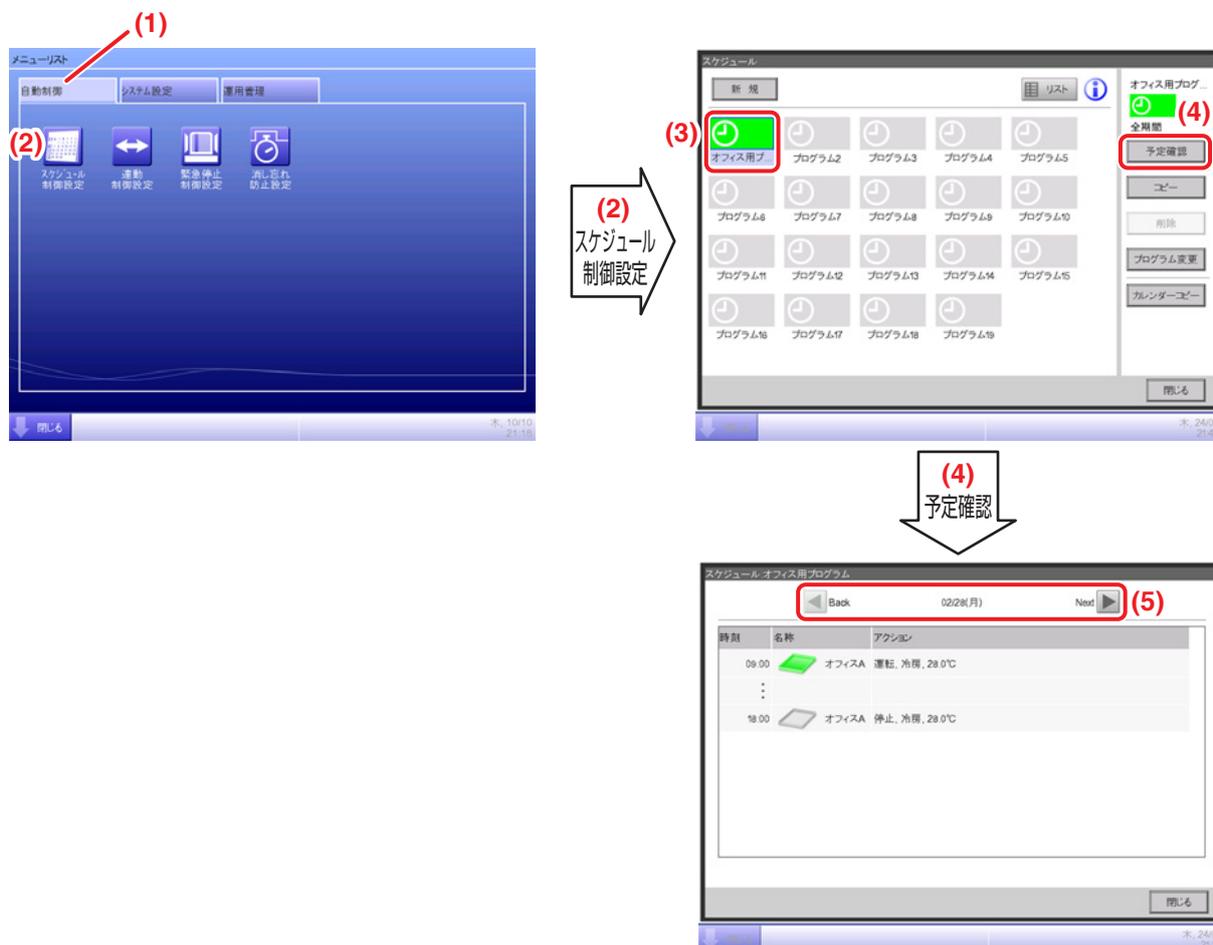


(1) ボタンをタッチすると、  
下記画面のようにアイコンの凡例などの説明画面が表示されます。



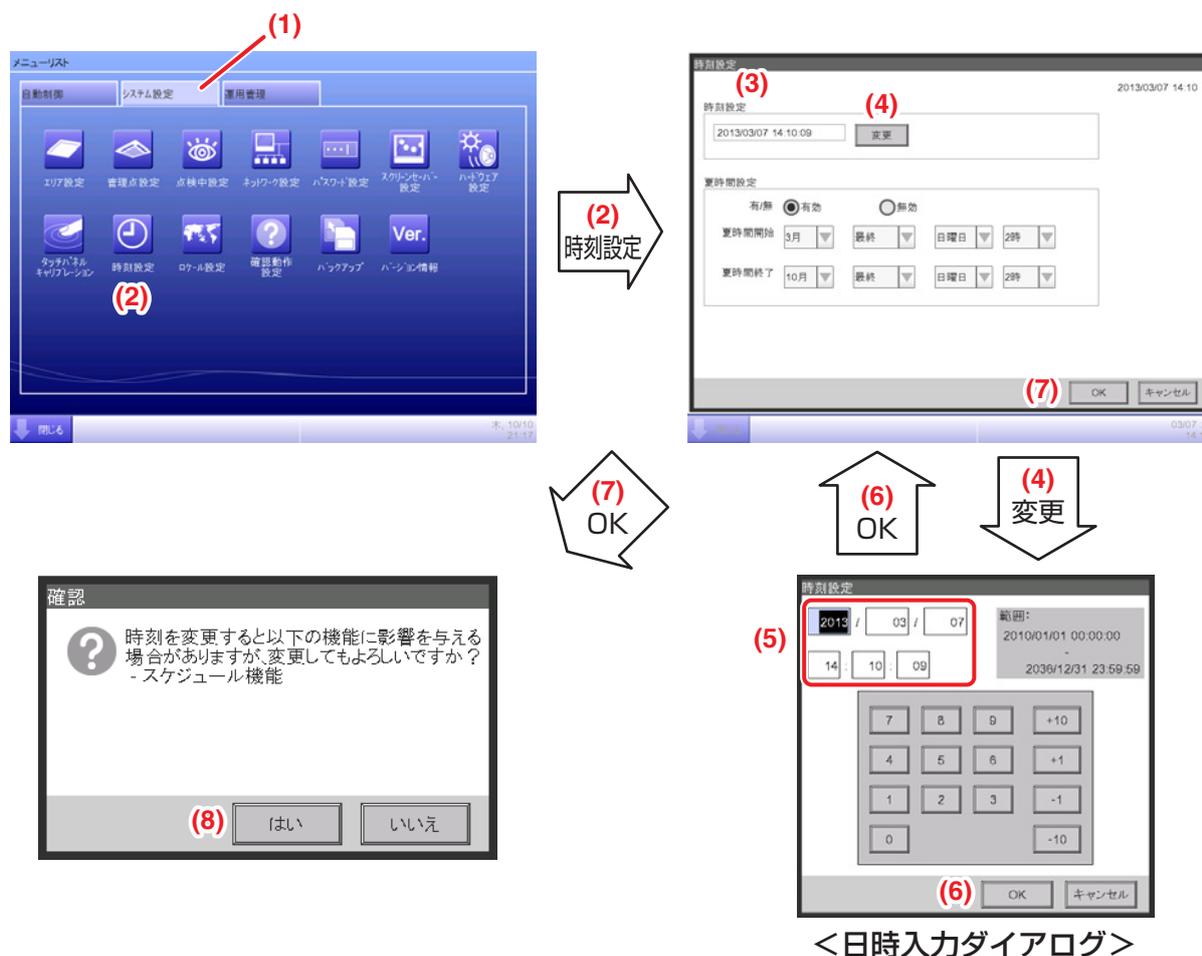
## 2-6 スケジュールの確認

メニューリスト画面の詳細は、4-5 メニューリスト画面をご覧ください。



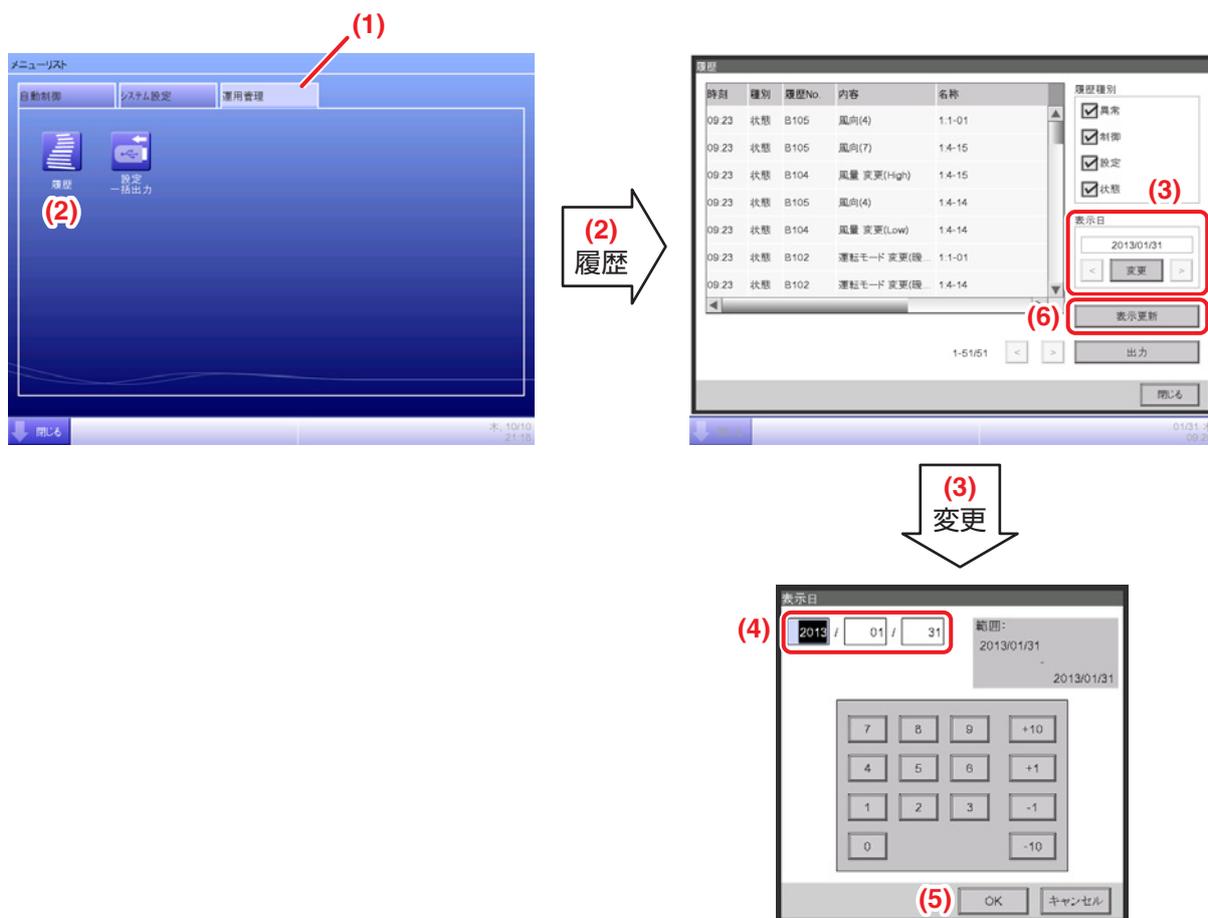
1. メニューリスト画面で **(1)** 自動制御タブを選択します。
2. **(2)** スケジュール制御設定ボタンをタッチし、スケジュール画面を表示します。
3. **(3)** 確認したいスケジュールプログラムを選択します。
4. スケジュール画面で **(4)** 予定確認ボタンをタッチし、予定確認画面を表示します。
5. **(5)** 日付を選択することで、スケジュールの内容が確認できます。  
(詳しい操作は、5-1 スケジュールの設定：画面とボタンの詳細をご覧ください。)

## 2-7 時刻の設定



1. メニューリスト画面で **(1)** システム設定タブを選択します。
2. **(2)** 時刻設定ボタンをタッチし、時刻設定画面を表示します。
3. **(3)** 時刻設定には画面を開いたときの時刻を表示しています。変更する場合は **(4)** 変更ボタンをタッチします。
4. 日時入力ダイアログが表示されるので **(5)** に時刻を入力します。
5. **(6)** OKボタンをタッチします。
6. 時刻設定画面で **(7)** OKボタンをタッチします。
7. 確認ダイアログが表示されるので、**(8)** はいボタンをタッチして画面を閉じます。

## 2-8 履歴の確認

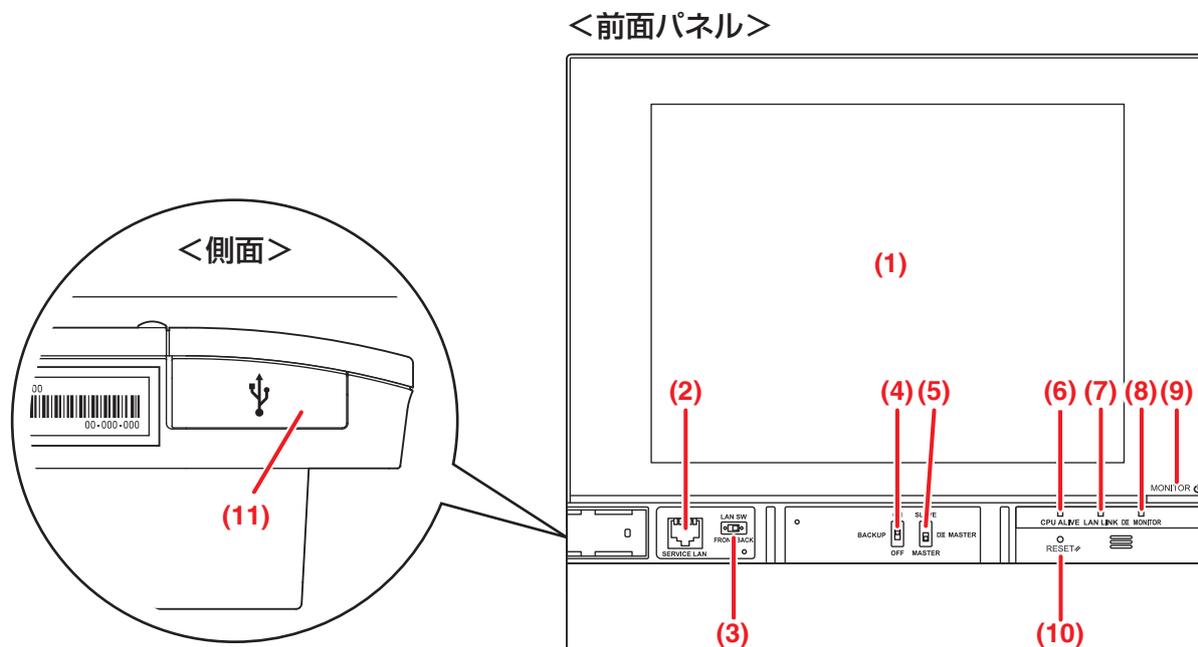


1. メニューリスト画面で **(1) 運用管理** タブを選択します。
2. **(2) 履歴** ボタンをタッチし、履歴画面を表示します。
3. 履歴を確認したい日は、**(3) < >** ボタンで設定できます。**(3) 変更** ボタンをタッチし日時入力ダイアログを表示させて設定することもできます。
4. 日時入力ダイアログの **(4)** で日付を入力します。
5. **(5) OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。
6. **(6) 表示更新** ボタンをタッチすると、設定日時の履歴一覧が表示されます。

# 名前とはたらき

## 3. 本体各部の名前とはたらき

### 3-1 前面パネルと側面



#### (1) モニター

監視・操作を行う液晶画面です。

#### (2) SERVICE LAN

サービスLAN接続用ポートです。使用できません。

#### (3) LAN SW

背面のLANポートと前面のSERVICE LANポートを切り換えるためのスイッチです。

FRONTに設定している場合、カバーを閉じることができません。

カバーを閉じるときはBACKに設定してください。(スイッチに触れないでください。)

#### (4) BACKUP

設定バックアップ用のバッテリー電源をON/OFFします。(スイッチに触れないでください。)

#### (5) DIII MASTER

インテリジェントタッチマネージャーなどDⅢ-NETの集中制御機器が複数ある場合に、「親機(MASTER)」または「子機(SLAVE)」を設定するためのスイッチです。

#### (6) CPU ALIVE(緑)

このLEDの点滅はCPUが正常に動作していることを示します。点滅以外はCPUの動作に異常が発生していることを示します。(異常の確定には約10秒かかります)

点灯：ソフトウェアに起因する異常

消灯：ハードウェアに起因する異常/電源OFF

---

**(7) LAN LINK (緑)**

インテリジェントタッチマネージャーとLAN接続されている機器間のハードウェア接続が正しい状態であることを示します。正常時には点灯します。

**(8) DⅢ MONITOR (黄色)**

DⅢ-NET通信ラインでの送受信時に点滅します。

**(9) MONITORキー/LED (橙/緑)**

このキーを押すとモニター画面のON/OFFが切り換わります。同時にLEDの色も変わります。

消灯：iTMに電源が入っていないことを示します。

点灯(橙)：モニター画面がOFFであることを示します。

点灯(緑)：モニター画面がONであることを示します。

**(10) RESET//**

インテリジェントタッチマネージャーを再起動するためのスイッチです。

**(11) USBポート開口部カバー (側面)**

USBメモリ用ポートです。

**NOTE**

USBメモリ用ポートは、USBメモリ接続以外の用途で使用しないでください。

## 4. 画面の詳細説明

### 4-1 表示画面構成

#### 標準機能

アイコン画面	エリアと室内機の運転状態を表示	(35ページ参照)
リスト画面	エリアと室内機の運転状態を一覧表示	(47ページ参照)
メニューリスト画面	メニュー項目の一覧表示	(52ページ参照)
スケジュール設定	週間・年間のスケジュールを設定	(61ページ参照)
週間スケジュール設定	曜日単位で1週間のスケジュール設定	(63ページ参照)
年間スケジュール設定	臨時休業日などの特別日スケジュール設定	(70ページ参照)
消し忘れ防止設定	室内機の切忘れを防ぐために停止時間を設定	(102ページ参照)
連動制御設定	ほかの機器と連動させて運転・停止などを行う機能	(103ページ参照)
緊急停止設定	火災時の緊急停止設定	(143ページ参照)
エリア設定	エリアの作成と設定	(145ページ参照)
管理点設定	管理点の作成と設定	(157ページ参照)
パスワード設定	管理者パスワードなどの設定	(159ページ参照)
点検中設定	管理点の点検中設定	(161ページ参照)
ロケール設定	使用地域に準じた日付・温度単位設定	(162ページ参照)
言語設定	使用する言語設定	(162ページ参照)
時刻設定	現在時刻とサマータイム設定	(164ページ参照)
スクリーンセーバー設定	画面のスクリーンセーバー設定	(166ページ参照)
ハードウェア設定	画面の明るさや操作音の音量設定	(167ページ参照)
確認動作設定	運転・停止時の確認ダイアログ設定	(168ページ参照)
タッチパネルキャリブレーション	タッチパネルのタッチ位置のずれ補正	(169ページ参照)
バックアップ	iTMデータの保存	(170ページ参照)
バージョン情報確認	iTMのバージョン情報表示	(171ページ参照)
履歴表示	異常発生などの履歴の確認と出力	(172ページ参照)
設定一括出力	設定情報を一括出力する設定	(178ページ参照)

## 現地設定機能（初期状態では使用できない現地での設定が必要な機能）

レイアウト画面	物件見取り図上にエリアと室内機の運転状態を表示	(50ページ参照)
メニューリスト画面	メニュー項目の一覧表示	(52ページ参照)
セットバック設定	省エネのため不在時の室温を設定温度内に保つ機能	(180ページ参照)
自動冷暖切替設定	自動で冷房 / 暖房切替え設定	(186ページ参照)
緊急停止設定	任意の緊急停止プログラムの設定	(193ページ参照)
Temp. Limit 設定	室温を一定範囲内に制御する機能	(197ページ参照)
Sliding Temp. 設定	外気温にあわせて室内機設定温度を制御する機能	(202ページ参照)
HMO(暖房時最適停止制御)設定	無駄な温度上昇を防ぐため暖房運転時に自動で運転・停止を行う機能	(207ページ参照)
DESICA 省エネ連動設定	室内機の運転状態に連動して DESICA を運転する機能	(209ページ参照)
ネットワーク設定	ネットワークの IP アドレスなどの設定	(216ページ参照)
Web アクセス設定	Web 遠隔管理ユーザーの設定	(219ページ参照)
E-mail 設定	異常発生時などのメール送信設定	(228ページ参照)

## オプション機能（有償オプションソフトが必要な機能）

メニューリスト画面	メニュー項目の一覧表示	(52ページ参照)
料金按分設定	テナントごとにエネルギー量などを割り振る機能	(235ページ参照)
デマンド設定	最大需要電力を抑制する機能	(295ページ参照)
Energy Navigator 設定	消費エネルギーの予実管理・設備の運用管理をする機能	(318ページ参照)
給湯機制御設定	給湯システムを制御する機能	(360ページ参照)

## 4-2 標準画面(アイコン)



### (1) エリア・管理点表示エリア

エリアと管理点のアイコンを表示します。

### (2) メニューリスト画面切換ボタン

自動制御タブ/システム設定タブ/運用管理タブ/Energy Navigatorタブ(オプション)を表示するメニューリスト画面に切り換えます。

メニューリスト画面表示中は**閉じる**ボタンに変わります。

### (3) 標準画面切換ボタン

レイアウト画面から標準画面に切り換えます。

### (4) レイアウト画面切換ボタン(現地設定機能)

物件の見取り図上にアイコンが表示されるレイアウト画面へ切り換えます。

## NOTE

レイアウト画面切換ボタンは、現地設定でレイアウト(4-4 レイアウト画面参照)が有効の場合のみ表示します。

### (5) 画面ロック/解除ボタン

メニューリスト画面への切換えをロックまたは解除します。

画面ロックが無効の場合は、非表示になります。

---

## (6) 一括監視アイコン

A 異常発生検知 下記の異常を検知した場合、異常発生をお知らせします。



### 点滅表示：システム異常

(赤)

文面：システム異常が発生しています。このアイコンをタッチして異常内容を確認し、復旧してください。



### 点滅表示：機器異常・アナログ異常

(黄)

文面：異常が発生しています。このアイコンをタッチして異常内容を確認してください。



### 点灯表示：通信異常

(青)

B 緊急停止 緊急停止中をお知らせします。



### 緊急停止中

文面：緊急停止中です。解除するにはこのアイコンをタッチしてください。



### 解除待ち

文面：緊急停止中です。解除するにはこのアイコンをタッチしてください。

※吹出し注意文章は、一度もアイコンがタッチされずに自動で解除待ちになった場合に表示されます。アイコンにタッチして手動で解除待ちした場合には表示されません。



### 強制解除中

C 省エネ当番 省エネ当番の状態を表示します。



### 有効



### 中止中



### 解約中

D デマンド制御状態 遮断レベルが各デマンドグループの開始レベル以上になった場合に表示します。



### 実行中

## (7) 時刻表示

現在時刻を表示します。

## (8) エリア階層表示

現在、表示されているエリアの階層を表示します。

## (9) トップ/下へ/上へボタン

トップボタン：トップにあるエリアと管理点を表示します。

下へボタン：選択したエリアの中に移動し、その中にあるエリアと管理点を表示します。

上へボタン：現在、表示されているエリアの1つ上の階層を表示します。

### (10) リスト画面切換ボタン

標準画面のアイコン表示/リスト表示を切り換えます。

### (11) インフォメーションボタン

アイコンの凡例表示、iTMに関する問い合わせ連絡先を表示します。

### (12) 選択中のエリア/管理点の情報表示

選択中のエリアまたは管理点の名称とアイコン、フィルターサインを表示します。

### (13) 室温/運転モード/冷暖選択権表示

選択中の管理点の室温と設定情報を表示します。エリア選択の場合は表示しません。

選択中の管理点がDESICAのときは、調湿モードのみ表示します。

#### NOTE

- 選択中の管理点が異常のときは、エラーコードを表示します。
- 空調機に内蔵されているセンサーを使用しますので、実際の室温とは異なることがあります。

### (14) 詳細ボタン

選択中のエリアまたは室内機の詳細情報画面を表示します。

### (15) 発停コンボボックス

選択中のエリアまたは管理点の運転・停止を行います。

#### NOTE

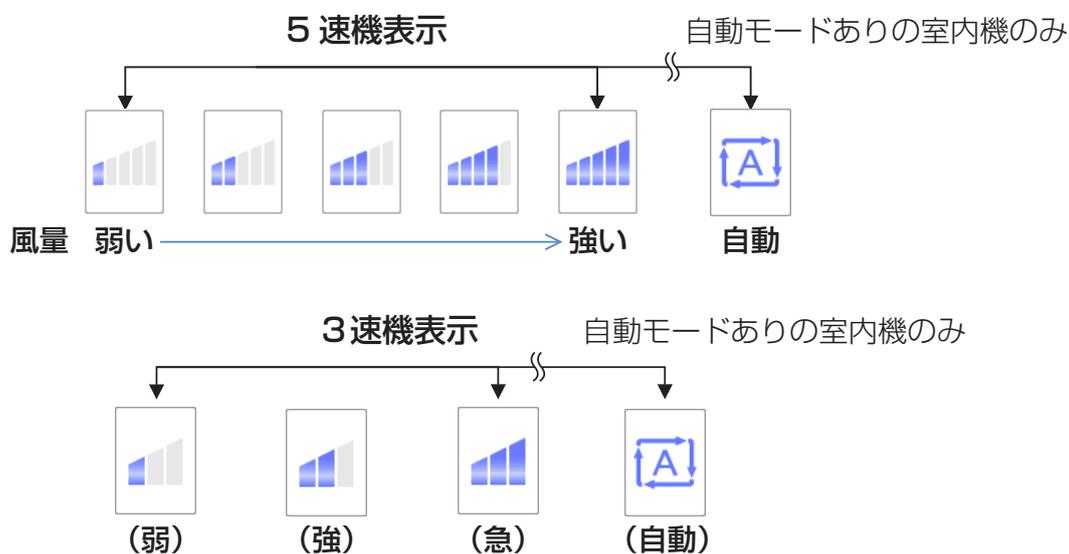
現地設定機能でセットバック(8-1 セットバックの設定参照)が有効な場合は、  
運転/SB 弱/SB 強/停止を表示します。

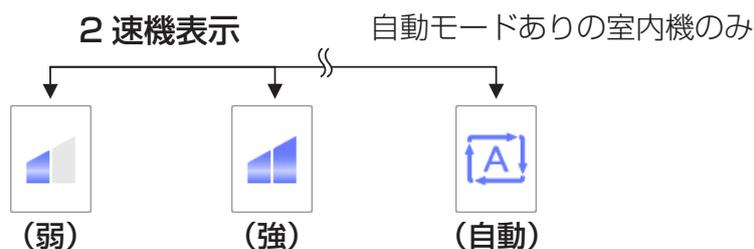
### (16) 設定温度スピンボックス

選択中のエリアの室内機または選択した室内機の温度を設定します。

### (17) 風量設定ボタン

選択中のエリアの室内機または選択した室内機の風量を設定します。





## (18) 操作ボタン

選択中のエリアまたは管理点の詳細設定を行います。

### 詳細設定画面

詳細設定画面は、標準画面の **(18) 操作ボタン** (4-2、4-3 標準画面参照) をタッチすると表示されます。選択した管理点・エリアに応じて必要なタブが表示されます。

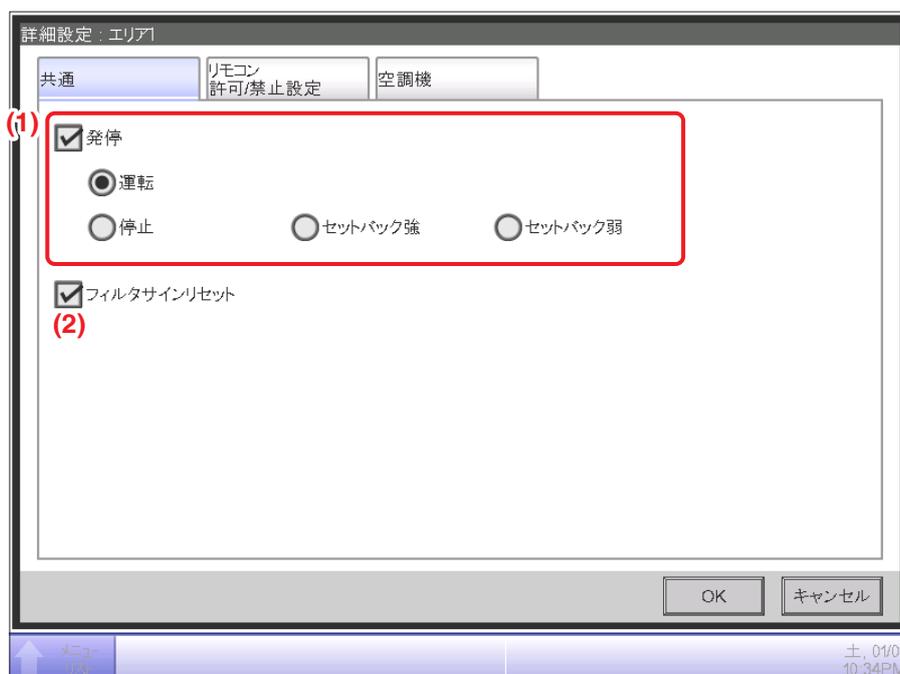
**共通タブ**、**リモコン許可/禁止設定タブ**、**空調機タブ**、**換気タブ**、**Dio, Ao, Moタブ**で、それぞれの設定を行います。

各タブの項目は、チェックボックスにチェックを入れることで変更可能となり、**OKボタン**をタッチすることで設定を確定します。

手動操作禁止の場合には、フィルターサインリセット以外の操作はできません。

### ■共通タブ

室内機・ベンティエール・DESICA・Dio・チラー・エリアの共通項目の設定を行います。各チェックボックスにチェックを入れ、設定を変更します。



#### (1) 発停設定

エリアまたは管理点の運転/停止を行います。

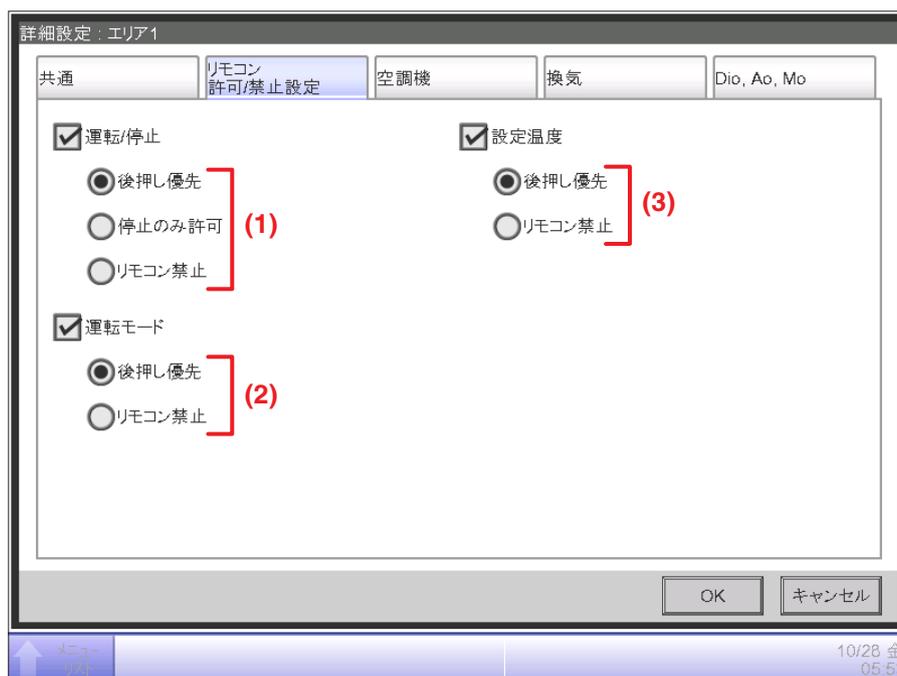
また、現地設定機能のセットバックが有効のときには、「セットバック強」か「セットバック弱」を設定します。

## (2) フィルタサインリセット

室内機・ベンティエール・DESICAのフィルターサインをリセットします。  
フィルターサインが出ている場合のみ表示されます。

## ■リモコン許可/禁止設定タブ

室内機・ベンティエール・DESICA・チラー・エリアのリモコン許可/禁止の設定を行います。  
各チェックボックスにチェックを入れ、設定を変更します。



### (1) 運転/停止設定

手元リモコンから管理点への運転/停止指示の許可/禁止を設定します。

後押し優先：許可する。

停止のみ許可：停止のみを許可する。

リモコン禁止：禁止する。

### (2) 運転モード設定

手元リモコンから管理点への運転モード指示の許可/禁止を設定します。

後押し優先：許可する。

リモコン禁止：禁止する。

### (3) 設定温度設定

手元リモコンから管理点への設定温度指示の許可/禁止を設定します。

後押し優先：許可する。

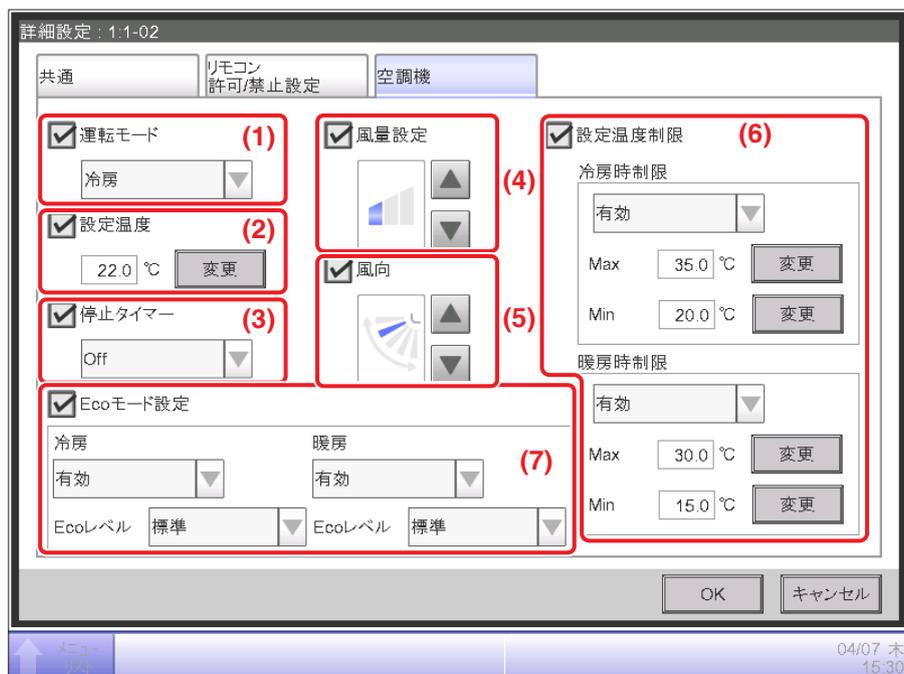
リモコン禁止：禁止する。

## ■空調機タブ

室内機・チラーの設定を行います。

各チェックボックスにチェックを入れ、設定を変更します。

それぞれで設定可能な範囲・候補は、選択した機器が対応している範囲・候補になります。



### (1) 運転モード 設定

運転モードを切り換えます。

「送風／冷房／暖房／温調／自動／ドライ」の中から選択して設定します。

### NOTE

- 温調とは冷房または暖房のことです。冷暖選択権をもつ空調機が設定している冷房または暖房の運転モードにしたがうという意味です。
- 運転モードで「ドライ」を選択するには、初期設定が必要です。  
機種によりドライ機能がない空調機があります。
- 冷暖選択権をもつ室内機を「ドライ」設定したとき、同一の室外機に属するそのほかの冷暖選択権をもたない室内機のうち、冷房で運転中の室内機は冷房のまま、ドライで運転中の室内機はドライのまま運転を続けます。

### (2) 設定温度 設定

温度を設定します。

### (3) 停止タイマー 設定

消し忘れ防止機能の「有効 (On) / 無効 (Off)」を設定します。

#### (4) 風量設定

風量を設定します。



(弱)



(強)



(急)



(自動)

#### (5) 風向設定

風向を設定します。



<風向 0>



<風向 1>



<風向 2>



<風向 3>



<風向 4>



<スイング>

#### (6) 設定温度制限設定

操作できる設定温度の範囲を制限する場合に設定します。

**冷房時制限**：室内機の冷房運転温度範囲を設定します。

「有効／無効」を設定し、上限温度と下限温度を入力します。

**暖房時制限**：室内機の暖房運転温度範囲を設定します。

「有効／無効」を設定し、上限温度と下限温度を入力します。

#### NOTE

iTMで、ルームエアコンを含むグループの「設定温度制限」を「有効」とする場合は、冷房と暖房の双方とも設定温度制限の上限、下限の間に25℃を含めてください。

ルームエアコンは、自動モードの設定温度は「25℃」固定となります。

「設定温度制限」の範囲に25℃が含まれない場合は、設定温度不一致となり、

**ワイヤレスリモコンから操作できなくなる場合がある**ためです。

#### (7) Ecoモード設定

VRT Smart制御を設定します。

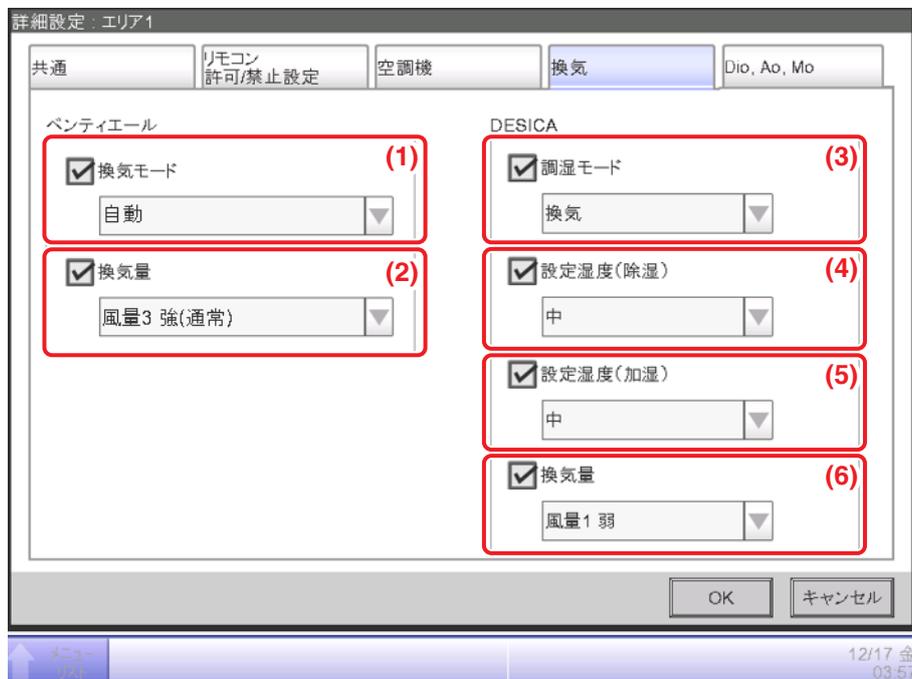
暖房時、冷房時の「有効／無効」を設定し、Ecoレベルを「標準／弱」から設定します。

## ■換気タブ

ベンティエール・DESICAの設定を行います。

各チェックボックスにチェックを入れ、設定を変更します。

ベンティエールの初期設定によっては、**換気**タブが表示されない場合があります。



### (1) 換気モード設定

ベンティエールの換気モードを「自動/全熱交/普通」から選択して設定します。

### NOTE

機種によってはこの操作ができない場合があります。

### (2) 換気量設定 (ベンティエール)

ベンティエールの換気量を下記から選択して設定します。

2速機：自動(通常)／弱(通常)／強(通常)／自動(フレッシュアップ)／  
弱(フレッシュアップ)／強(フレッシュアップ)

3速機：自動(通常)／弱(通常)／強(通常)／特強(通常)／自動(フレッシュアップ)／  
弱(フレッシュアップ)／強(フレッシュアップ)／特強(フレッシュアップ)

5速機：自動(通常)／風量1 弱(通常)／風量2(通常)／風量3 強(通常)／風量4(通常)／  
風量5 特強(通常)／自動(フレッシュアップ)／風量1 弱(フレッシュアップ)／  
風量2(フレッシュアップ)／風量3 強(フレッシュアップ)／  
風量4(フレッシュアップ)／風量5 特強(フレッシュアップ)

## NOTE

- 機種によってはこの操作ができない場合があります。
- ベンティエールの換気量を変えるためには、**(2) 換気量設定** (ベンティエール) のコンボボックスを設定する必要があり、DESICAの換気量を変えるためには、**(6) 換気量設定** (DESICA) のコンボボックスを設定する必要があります。エリアで両方の換気量を同時に変える場合は、それぞれのコンボボックスで適切な設定をしてください。

### **(3) 調湿モード設定**

DESICAの調湿モードを「調湿/換気/除湿/加湿」から選択して設定します。

### **(4) 設定湿度(除湿) 設定**

DESICAの設定湿度(除湿)を「低/中/高」から選択して設定します。

### **(5) 設定湿度(加湿) 設定**

DESICAの設定湿度(加湿)を「低/中/高」から選択して設定します。

### **(6) 換気量設定(DESICA)**

DESICAの換気量を下記から選択して設定します。

2速機：自動/弱/強

3速機：自動/弱/強/急

5速機：自動/風量1 弱/風量2/風量3 強/風量4/風量5 急

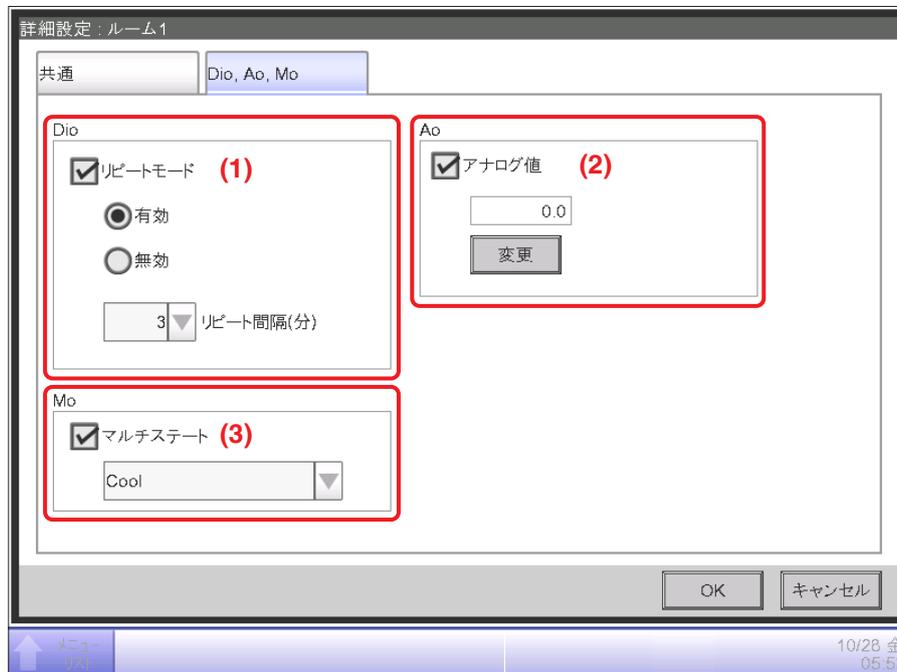
## NOTE

- 機種によってはこの操作ができない場合があります。
- ベンティエールの換気量を変えるためには、**(2) 換気量設定** (ベンティエール) のコンボボックスを設定する必要があり、DESICAの換気量を変えるためには、**(6) 換気量設定** (DESICA) のコンボボックスを設定する必要があります。エリアで両方の換気量を同時に変える場合は、それぞれのコンボボックスで適切な設定をしてください。

## ■Dio, Ao, Moタブ

Dio, Ao, Moの設定を行います。

各チェックボックスにチェックを入れ、設定を変更します。



### (1) Dio 設定

Dioのリピートモード設定の「有効／無効」と、リピートの間隔を1分刻みで1～10分の範囲で選択して設定します。

リピートモードを「有効」にした場合、指定したリピート間隔で再度運転・停止を試みます。

### (2) Ao 設定

Aoはアナログ信号出力のことです。

本機能ではiTMに接続された信号出力装置 (WAGO I/Oモジュール) により、外部機器の調整値に応じた電圧または、電流出力を行います。

(ダンパ・電動弁の開度など、ビル設備機器の制御を行います。)

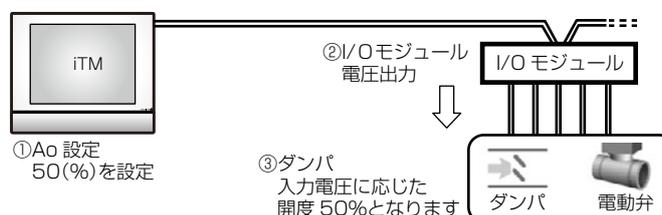
画面上で設定するアナログ値の範囲・刻み幅・単位は試運転時に設定されます。

(単位がない場合もあります)

詳細についてはお買い上げの販売店にお問合わせください。

Ao 制御イメージ(例: ダンパの開度を変更)

- ① iTM で開度(アナログ値)を設定
- ② I/Oモジュールより、アナログ値に応じた電圧を出力
- ③ ダンパは、入力された電圧に応じた開度となります



---

### (3) Mo 設定

Moのマルチステート値を選択して設定をします。

画面上で設定するマルチステート値は試運転時に設定されます。

#### NOTE

エリアに対してマルチステートは設定できません。

## 詳細情報表示画面

詳細情報画面は標準画面で **(14) 詳細** ボタン(4-2、4-3 標準画面参照)をタッチすると表示されます。

詳細情報

(1) 名称 11-00 (2) ID 178 (5) アドレス 1-00

(3) 管理点の種類 室内機 (4) ポート番号 1

詳細情報 (6)

固有情報 (7)

所属エリア:

トップ>全て>室内機

トップ>10F

トップ>10F>Area1

サーモ状態[OFF]

閉じる

メニュー

土, 01/01 08:33PM

### (1) 名称表示

エリアまたは管理点の名称を表示します。

### (2) ID表示

エリアまたは管理点のIDを表示します。

### (3) 管理点の種類表示

エリアまたは管理点の種類を表示します。

### (4) ポート番号表示

管理点が接続されているポート番号を表示します。

#### NOTE

エリアを選択のときは、ポート番号は非表示です。

### (5) アドレス表示

管理点のアドレスを表示します。

#### NOTE

エリアを選択のときは、アドレスは非表示です。

### (6) 詳細情報表示

エリアまたは管理点の詳細情報を表示します。

## (7) 固有情報表示

エリアまたは管理点の属性・状態・設定内容の情報を表示します。

## 4-3 標準画面(リスト)



### (1) エリア・管理点表示

(7) エリア階層表示に表示されている階層の、エリアと管理点の情報を表示します。

### NOTE

外気温・室温・室内湿度・室外湿度・CO<sub>2</sub>は製品に搭載されているセンサーの値です。製品の設置状況によっては計測器で測定した値と異なる場合があります。十分ご理解のうえ各機能をご使用ください。

### (2) メニューリスト画面切換ボタン

自動制御タブ/システム設定タブ/運用管理タブ/Energy Navigator タブ (オプション機能) を表示するメニューリスト画面に切り換えます。

### (3) 標準画面切換ボタン

レイアウト画面から標準画面に切り換えます。

### (4) レイアウト画面切換ボタン (現地設定機能)

物件の見取り図上に室内機が表示されるレイアウト画面へ切り換えます。

### NOTE

現地設定でレイアウト (4-4 レイアウト画面参照) が有効の場合のみ表示します。

---

#### (5) 画面ロック/解除ボタン

メニューリスト画面から設定できる画面のロックと解除を行います。  
画面ロックが無効の場合は、非表示になります。

#### (6) 時刻表示

現在時刻を表示します。

#### (7) エリア階層表示

現在、表示されているエリアの階層を表示します。

#### (8) トップ/下へ/上へボタン

トップボタン：トップにあるエリアと管理点を表示します。

下へボタン：選択したエリアの中に移動し、その中にあるエリアと管理点を表示します。

上へボタン：現在、表示されているエリアの1つ上の階層を表示します。

#### (9) 種別選択コンボボックス

表示するエリアと管理点の種別を選択します。

選択可能な種別は「全て/室内機/ベンティエール/DESICA/チラー/室外機/Dio/アナログ/パルス」  
です。

選択されている管理点種別により表示項目は変更されます。

#### (10) アイコン画面切換ボタン

エリアと管理点の設定情報を、アイコンで表示する画面に切り換えます。

#### (11) インフォメーションボタン

アイコンの凡例表示、iTMに関する問い合わせ連絡先を表示します。

#### (12) 選択中のエリア/管理点の状態表示

選択中のエリアまたは管理点の名称と、アイコン・フィルターサインを表示します。

#### (13) 室温/運転モード/冷暖選択権表示

選択中の室内機の室温と設定情報を表示します。エリア選択の場合は表示しません。

選択中の管理点がDESICAのときは調湿モードのみ表示します。

#### NOTE

- 選択中の管理点が異常のときは、エラーコードのみを表示します。
- 空調機に内蔵されているセンサーを使用しますので、実際の室温とは異なることがあります。

#### (14) 詳細ボタン

選択中のエリアまたは管理点の詳細情報画面を表示します。

#### (15) 発停コンボボックス

選択中のエリアまたは管理点の運転・停止を行います。

---

## NOTE

現地設定機能でセットバック(8-1 セットバックの設定参照)が有効な場合は、  
運転/SB 弱/SB 強/停止を表示します。

### (16) 設定温度スピンボックス

選択中のエリアの室内機または選択した室内機の温度を設定します。

### (17) 風量設定(▲▼)ボタン

選択中のエリアの室内機または選択した室内機の風量を設定します。



(弱)



(強)



(急)



(自動)

### (18) 操作ボタン

選択中のエリアまたは管理点の詳細設定を行います。

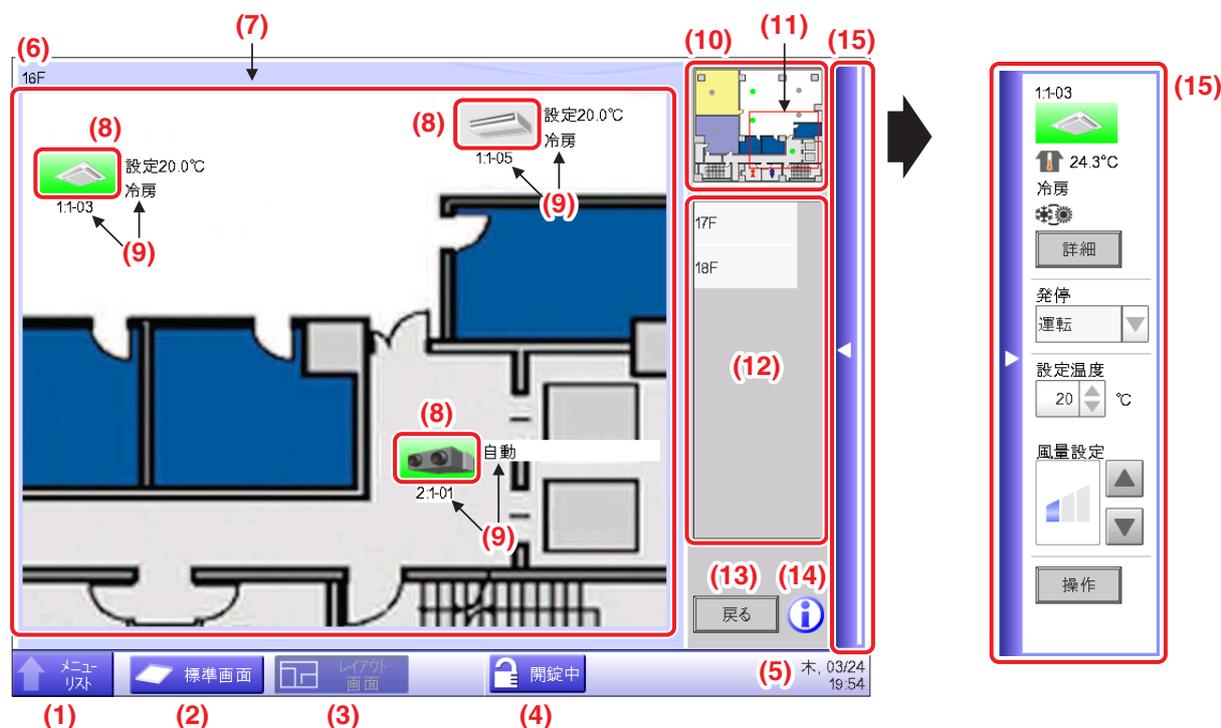
### (19) ヘッダー

各項目をタッチするごとに、項目の内容順に表示順序を並び換えることができます。

## 4-4 レイアウト画面(本機能の使用には、別途、有償作業が必要です。)

レイアウト画面は、レイアウト(有償作業必要)が有効の場合のみ表示されます。

標準画面のレイアウト画面切換えボタン(4-2、4-3 標準画面参照)をタッチすると表示されます。



### (1) メニューリスト画面切換えボタン

自動制御タブ/システム設定タブ/運用管理タブ/Energy Navigator タブ(オプション機能)を表示するメニューリスト画面に切り換えます。

### (2) 標準画面切換えボタン

レイアウト画面から標準画面に切り換えます。

### (3) レイアウト画面切換えボタン

レイアウト画面を表示しているときは押下状態で表示します。

### (4) 画面ロック/解除ボタン

画面のロックと解除を行います。画面ロックが有効にされていないときは非表示になります。

### (5) 時刻表示

現在時間を表示します。

### (6) タイトル表示

表示されているスクリーンの名称を表示します。

### (7) 背景画像表示

スクリーンに設定された背景画面を表示します。

---

**(8) アイコン(エリア・管理点)表示**

エリアと管理点のアイコンを表示します。  
(給湯システムのアイコンは表示できません。)

**(9) 補助情報表示**

エリアまたは管理点の補助情報を表示します。

**(10) ビューパネル表示**

背景画像全景を表示します。

**(11) スコープ**

背景画像全景のスクリーンで囲われた部分が、スクリーンに背景画像として表示されます。  
スクロープをタッチしてドラッグさせるとスクロープ位置を移動できます。

**(12) スクリーン切替一覧**

一覧で選択したスクリーンを背景画像として表示します。

**(13) 戻るボタン**

前回表示したスクリーンに戻ります。

**(14) インフォメーションボタン**

アイコンの凡例表示、iTMに関する問い合わせ連絡先を表示します。

**(15) 操作ウィンドウバー**

タッチすると操作ウィンドウが現れます。閉じるときは再度タッチします。  
操作ウィンドウの操作方法は標準画面と同じです。4-2、4-3 標準画面をご覧ください。

## 4-5 メニューリスト画面

メニューリスト画面は、標準画面の **(2)** メニューリスト画面切換ボタン(4-2、4-3 標準画面参照) およびレイアウト画面の **(1)** メニューリスト画面切換ボタン(4-4 レイアウト画面参照)をタッチすると表示されます。**自動制御タブ**・**システム設定タブ**・**運用管理タブ**・**Energy Navigator タブ**(オプション有効時のみ)からなります。

### 自動制御タブ



### NOTE

インテリジェントタッチマネージャーでは、初期状態では使用できない現地での設定が必要な機能(現地設定機能)があります。これらの機能を有効に設定しないと、ボタン表示されません。

#### (1) スケジュール制御設定

空調機の運転・停止などの動作時刻を曜日ごとに設定することで、週間スケジュールや臨時休業日などを含めた年間スケジュールが設定できます。

#### (2) 連動制御設定

iTMに登録された管理点をお互いに連動させて運転・停止などを行う機能です。

#### (3) 緊急停止制御設定(現地設定機能)

火災などの緊急時に管理点登録された機器を緊急停止させる機能です。

#### (4) 自動冷暖切換設定(現地設定機能)

自動で冷房/暖房の切換えを行う機能です。

#### (5) Temp. Limit(現地設定機能)

室温が設定した上下限值を超えないように自動で冷房・暖房運転を開始する機能です。

---

**(6) Sliding Temp. (現地設定機能)**

外気温と室温の差が大きくなり過ぎないようにするため、外気温にあわせて室内機の設定温度を制御します。冷房時のみ機能します。

**(7) HMO 設定 (現地設定機能)**

暖房運転時に自動で運転・停止を行う機能です。無駄な室温上昇を防ぎます。

**(8) 消し忘れ防止設定**

室内機の停止時間を設定し、消し忘れを防ぎます。

**(9) セットバック制御設定 (現地設定機能)**

不在時の室温を設定温度内に保ち、かつ不在時のエネルギー消費を抑える機能です。

**(10) デマンド制御 (オプション機能)**

デマンド信号を受信することで空調機を自動制御し、ピーク電力を抑制します。

**(11) DESICA省エネ連動 (現地設定機能)**

室内機の運転状態に連動して、DESICAを運転する機能です。

**(12) 給湯スケジュール (オプション機能)**

各時刻の目標水位を曜日ごとに設定することで、週間スケジュールや臨時休業日などを含めた年間スケジュールが設定できます。

**(13) 給湯機台数制限 (オプション機能)**

特定期間のヒートポンプ給湯機の運転台数を制限できます。

## システム設定タブ



### NOTE

インテリジェントタッチマネージャーでは、初期状態では使用できない現地での設定が必要な機能(現地設定機能)があります。これらの機能を有効に設定しないと、ボタン表示されません。

#### (1) エリア設定

エリアの作成とエリアへの管理点登録、エリアの各種設定をします。10階層まで設定できます。

#### (2) 管理点設定

管理点の名称・詳細情報・アイコンの変更をします。

#### (3) 点検中設定

管理点の点検中設定をします。

#### (4) ネットワーク設定

ネットワークのIPアドレスやWebサーバーを設定します。

#### (5) 電子メール設定(現地設定機能)

異常発生時にメール送信する送信先のメールアドレスとメールサーバーを設定します。

#### (6) Webアクセス設定(現地設定機能)

Webでの遠隔管理を行うためのWebユーザーを設定します。

#### (7) パスワード設定

管理者パスワードおよび画面ロック解除のパスワードを設定します。

---

## **(8) スクリーンセーバー設定**

スクリーンセーバーの変更、異常時のスクリーンセーバーの解除を設定します。

## **(9) ハードウェア設定**

画面の明るさ、タッチパネルの操作音とブザー音の音量を設定します。

## **(10) タッチパネルキャリブレーション**

タッチパネルのタッチ位置のずれを補正します。

## **(11) 時刻設定**

現在時刻とサマータイムを設定します。

## **(12) ロケール設定**

使用する言語、日付と時刻フォーマット、運転アイコン色などを設定します。

## **(13) 確認動作設定**

運転・停止時の確認ダイアログの表示または非表示かを設定します。

## **(14) バックアップ**

iTM本体に記録されているバックアップデータをUSBメモリに保存します。

## **(15) バージョン情報**

iTMのバージョン情報やオプションソフト内容を表示します。

## **(16) 給湯タンク切換(オプション機能)**

メインタンクとサブタンクを切り換えることができます。

## 運用管理タブ



### NOTE

按分機能、給湯運転データ出力の使用には、別途、オプションソフトが必要です。

#### (1) 履歴

異常発生や状態変化、制御情報などの履歴を表示します。

USBメモリに保存することもできます。

#### (2) 按分 (オプション機能)

空調機の総使用エネルギー量などを計測したものを空調機ごとに按分計算し表示する機能です。

#### (3) 設定一括出力

スケジュール制御や連動制御などの設定情報を、USBメモリにCSV形式で一括で保存する機能です。

#### (4) 給湯運転データ出力 (オプション機能)

給湯機の運転データをUSBメモリに保存する機能です。

運転データモニタソフトを用いて、給湯機の運転状況や貯湯量の推移などを確認できます。

## Energy Navigatorタブ



### NOTE

本機能の使用には、別途、オプションソフトが必要です。

#### (1) エネルギーの予実管理

消費エネルギー計画値に対して、実績値の進捗率を年/月単位のグラフなどで表示する機能です。前年と今年度の実績値比較もできます。(電気・ガス・水道の使用量に対応)

#### (2) 設備の運用管理

運用計画の想定時間外で稼動している設備や、運用計画に基づいた設定温度以外で稼動している空調機を抽出する機能です。

#### (3) データ出力

計測しているデータをUSBメモリに保存できる機能です。

## 4-6 情報画面

情報画面は、標準画面の **(11)** インフォメーションボタン(4-2、4-3 標準画面参照)およびレイアウト画面の **(14)** インフォメーションボタン(4-4 レイアウト画面参照)をタッチすると表示されます。凡例説明タブ・連絡先タブからなります。

### 凡例説明タブ



**(1)** 運転アイコン色は、システム設定で設定した色で表示されます。

**(2)** 機能が無効になっているときは非表示になります。(例：セットバック機能など)

• 各状態におけるアイコン表示の方法

	運転※1	セットバック運転	セットバック停止	停止/発停なし
エリア				 • エリア内に管理点がない場合を含む
管理点				

	機器異常 アナログ異常 (※2)	通信異常	緊急停止中	点検中	デマンド制御中
エリア	 	 	 	 	 
管理点	 				 

(※1) 運転アイコン色はシステム設定で設定した色で表示されます。

(※2) 室外機の場合、機器異常が発生しても機器異常アイコンを表示しません。

NOTE

• 管理点のアイコンの優先順位

状態が重なった場合には、優先順位の高いものをアイコンとして表示します。

「緊急停止中」>「点検中」>「通信異常」>「機器異常/アナログ異常」>「デマンド制御中」  
>「運転/停止/セットバック運転/セットバック停止/発停なし」

• エリアアイコンの優先順位

エリア内にひとつでも運転している管理点があれば運転色になります。

それ以外(停止/発停なし)は灰色となります。

エリア内の個々の管理点の状態が異なる場合、優先度の高い状態のものを表示します。

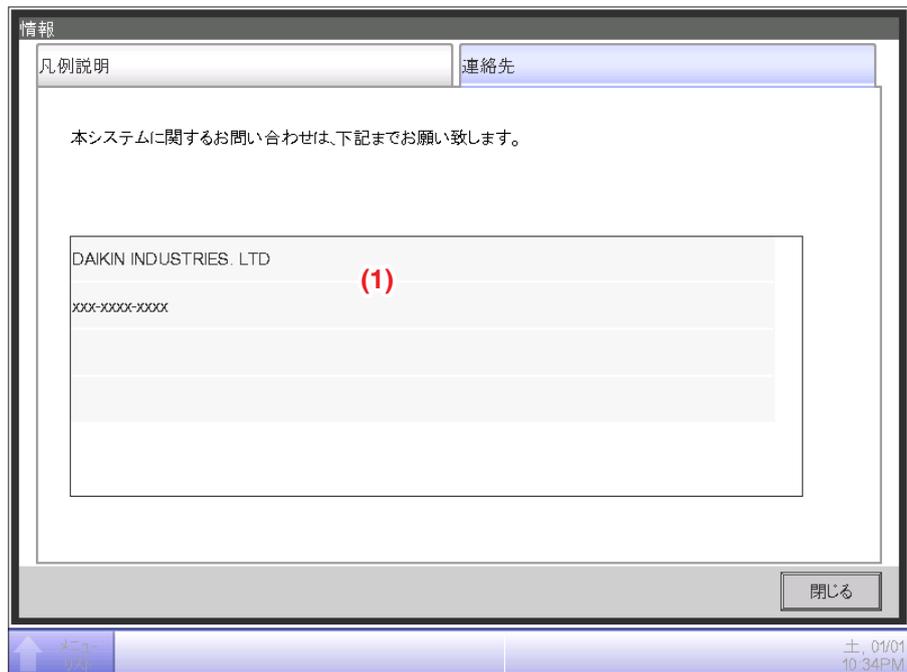
「緊急停止中」>「機器異常/アナログ異常」>「通信異常」>「デマンド制御中」  
>「セットバック運転」>「セットバック停止」>「点検中」

• 室外機アイコン

同一システムの室内機が運転に変わっても、運転状態は変わりません。

(アイコンの色はグレーのままです。)

## 連絡先タブ



(1) 記載内容を変更する場合は、お買い上げの販売店にお問合わせください。

# 標準機能の説明

## 5. 自動制御機能の設定

### 5-1 スケジュールの設定

iTMではスケジュール制御機能を使用して、任意の管理点やエリアに対して、設定時間にプログラムされた動作を行わせます。スケジュールには曜日ごとに設定する週間スケジュールと、特定の日に設定する年間スケジュールがあります。またスケジュールに有効期間を設定し、一定の期間だけスケジュールを有効にすることもできます。

本機能で制御可能な項目は下表のとおりです。

制御対象	発停	発停 (予冷/予熱)	発停 (セットバック)	運転モード	風量	設定温度
室内機	○	○	○	○	○	○
ベンティエール	○	×	×	×	×	×
DESICA	○	×	×	×	×	×
チラー	○	×	×	○	×	○
Dio <sup>*2</sup>	○	×	×	×	×	×
Ao <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×
マルチステート (Mo) <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×
室外機 <sup>*3</sup>	×	×	×	×	×	×
エリア <sup>*1</sup>	○	○	○	○	○	○

制御対象	設定温度 シフト	換気モード	換気量	調湿モード	設定湿度 (除湿)	設定湿度 (加湿)
室内機	○	×	×	×	×	×
ベンティエール	×	○	○	×	×	×
DESICA	×	×	○	○	○	○
チラー	×	×	×	×	×	×
Dio <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×
Ao <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×
マルチステート (Mo) <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×
室外機 <sup>*3</sup>	×	×	×	×	×	×
エリア <sup>*1</sup>	○	○	○	○	○	○

制御対象	リモコン許可/禁止			消し忘れ 防止	アナログ値	設定温度 範囲制限	マルチ ステート値	低騒音 設定
	発停	温度設定	運転モード 設定					
室内機	○	○	○	○	×	○	×	×
ベンティエール	○	×	×	×	×	×	×	×
DESICA	○	×	×	×	×	×	×	×
チラー	○	○	○	×	×	×	×	×
Dio <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×	×	×
Ao <sup>*2</sup>	×	×	×	×	○	×	×	×
マルチステート (Mo) <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×	○	×
室外機 <sup>*3</sup>	×	×	×	×	×	×	×	○
エリア <sup>*1</sup>	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 給湯(オプション)エリアは、制御対象外です。

※2 BACnet Dio、BACnet Ao、BACnet Moはオプションになります。

※3 低騒音設定は、室外機の管理点にデマンドアドレスの設定が必要です。  
デマンドアドレスが無効の場合、その室外機は制御対象外になります。

## スケジュールプログラムの設定

下記のモデルケースを例に、スケジュールプログラムの作成・設定の手順を説明します。

スケジュールプログラム名称：オフィス用プログラム

制御対象：オフィス A (室内機だけで構成されたエリア)

毎週月曜日～金曜日：9:00～18:00 設定温度28℃ 冷房 運転

毎週土曜日～日曜日：休日 9:00停止

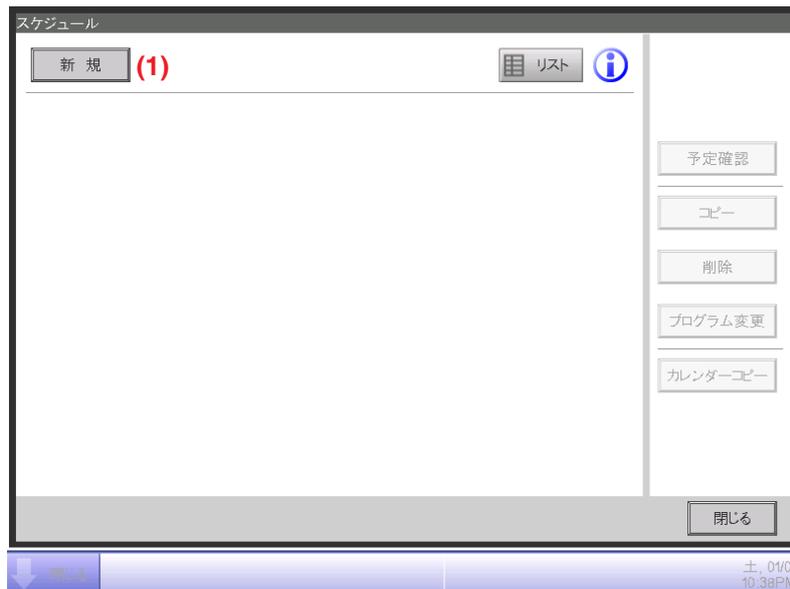
毎月第3土曜日のみ：9:00～18:00 設定温度28℃ 冷房 運転

### ■週間スケジュールの作成

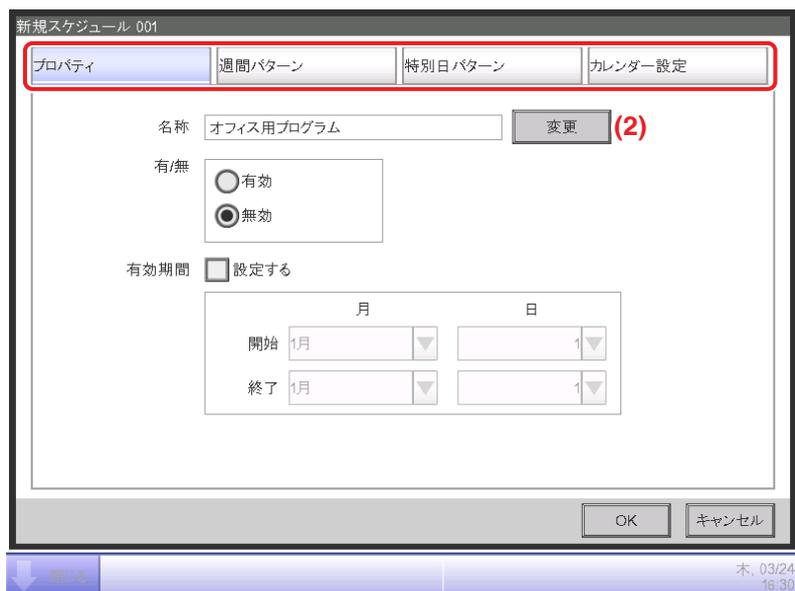
「月曜日から金曜日まで、9:00～18:00の間オフィス Aを、設定温度28℃で冷房運転する」という週間スケジュールを作成します。

メニューリスト画面の自動制御タブで **(1) スケジュール制御設定** ボタンをタッチして、スケジュール画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面参照)

#### 1. スケジュールプログラムの名称設定



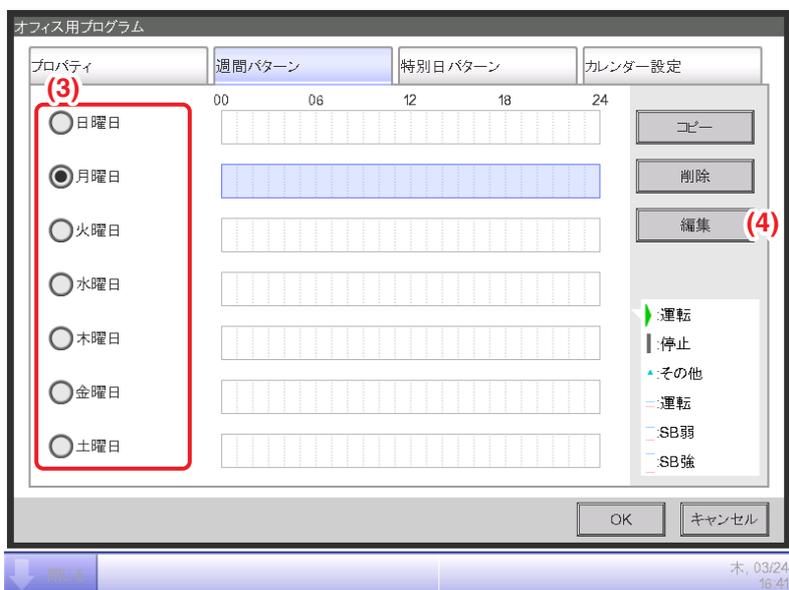
スケジュール画面の **(1) 新規** ボタンをタッチしてスケジュール編集画面を表示させます。スケジュール編集画面は4つのタブで構成されています。タブを切り換えて設定します。



プロパティタブで (2) 変更ボタンをタッチして入力ダイアログを表示し、プログラムの名称を設定します。「オフィス用プログラム」と入力します。

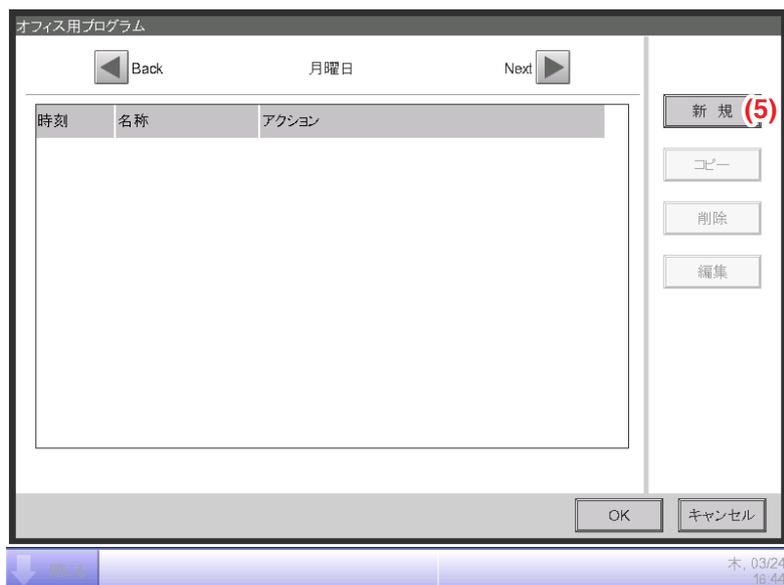
## 2. 月曜日の運転開始時間の設定

週間パターンタブをタッチして表示します。

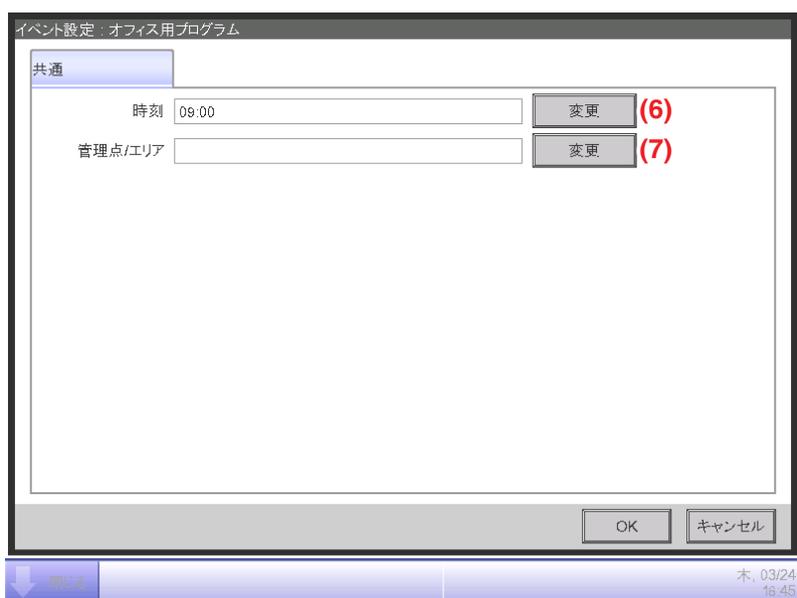


(3) 曜日選択ラジオボタンで「月曜日」を選択します。

(4) 編集ボタンをタッチしてイベント一覧画面を表示させます。



(5) 新規ボタンをタッチしてイベント設定画面を表示させます。



(6) 変更ボタンをタッチして日時入力ダイアログを表示させ、運転開始時刻を設定します。  
「9 : 00 (12h表示の場合はAM9 : 00)」と入力し、OKボタンをタッチして戻ります。

### 3. 制御対象の設定

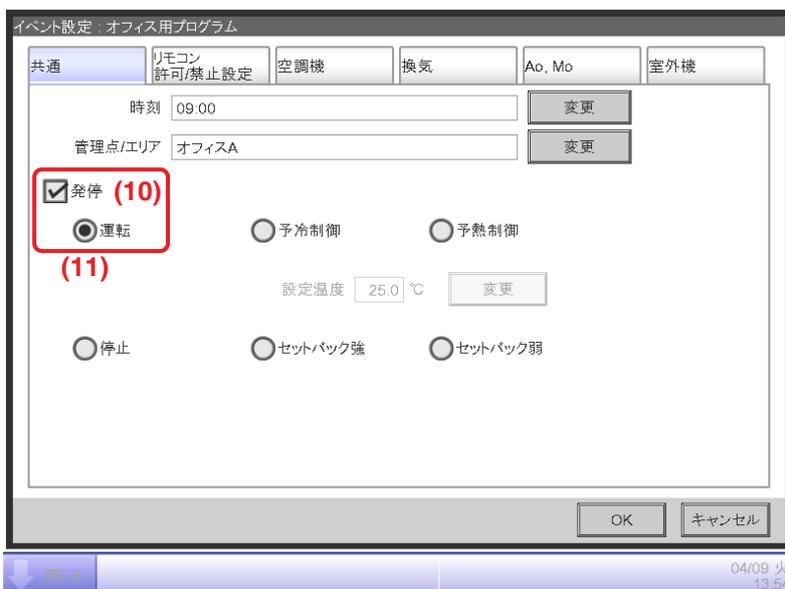
(7) 変更ボタンをタッチして、管理点/エリア選択画面を表示させます。



管理点/エリア選択画面には**管理点**タブと**エリア**タブがあります。

**エリア**タブをタッチして表示させ、一覧から (8) 「**オフィスA**」を選択し、(9) **OK**ボタンをタッチして戻ります。エリアの作成手順は6-1 エリア設定のしかたをご覧ください。

### 4. 運転モードと設定温度の設定



(10) 発停チェックボックスにチェックを入れ、(11) 運転ラジオボタンを選択します。

運転モード・設定温度を設定するために**空調機**タブをタッチして表示させます。

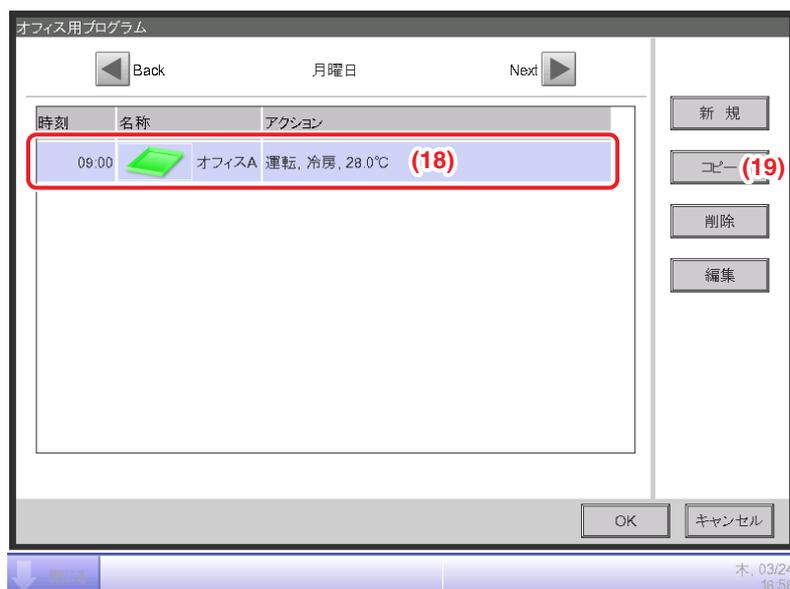


(12) 運転モードチェックボックスにチェックを入れ、コンボボックスで (13) 「冷房」を選択します。

(14) 設定温度チェックボックスにチェックを入れ、(15) 温度設定ラジオボタンを選択します。

(16) 変更ボタンをタッチして数値入力画面で「28.0」と入力し、OKボタンをタッチして空調機タブ(イベント設定画面)に戻ります。

(17) OKボタンをタッチしてイベント一覧画面に戻ります。

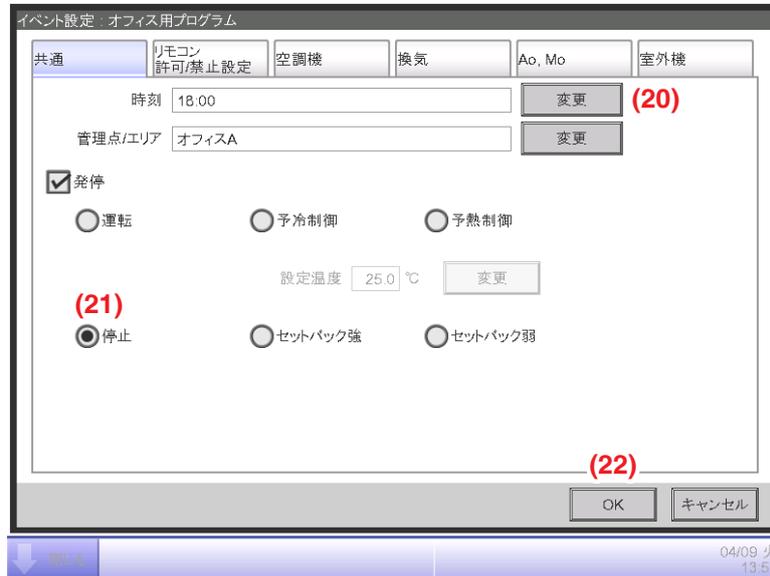


一覧に設定したイベント内容が表示されています。

これで「月曜日9:00からオフィスAエリアを設定温度28℃で冷房運転開始」というイベントが設定されました。

## 5. 月曜日の運転停止時間の設定

手順4で作成したイベント **(18)** 「月曜日9:00からオフィスAエリアを設定温度28℃で冷房運転開始」を選択して **(19)** コピーボタンをタッチし、イベント設定画面を表示させます。

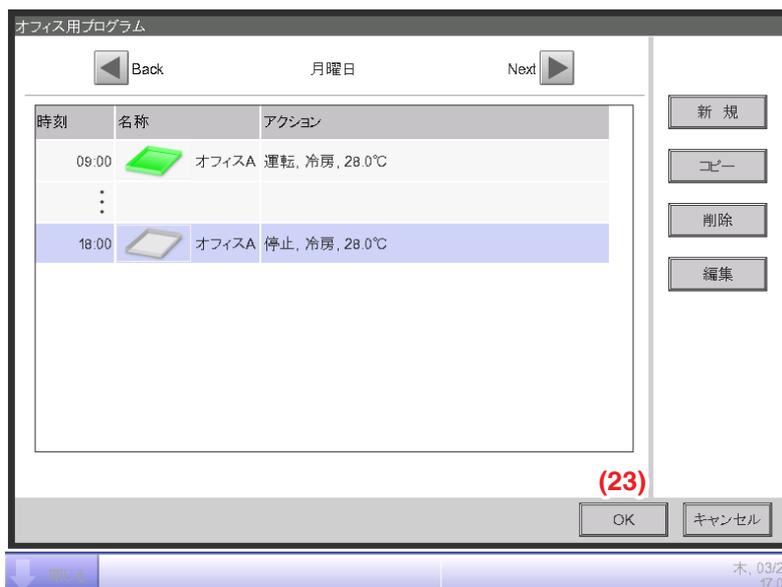


選択したイベントがまったく同じ設定内容で複製されています。

**(20)** 変更ボタンをタッチして日時入力画面で運転停止時間「18:00(12h表示の場合はPM6:00)」を入力し、OKボタンをタッチして戻ります。

**(21)** 停止ラジオボタンを選択します。

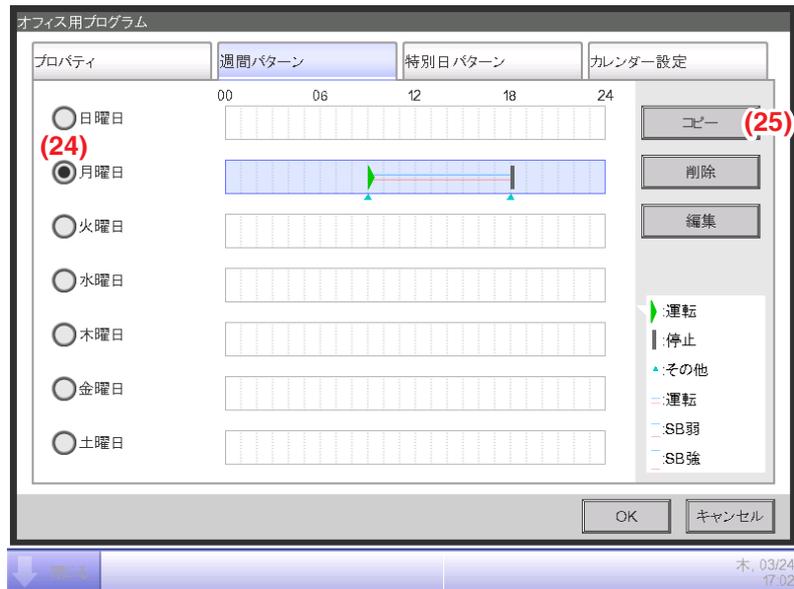
**(22)** OKボタンをタッチしてイベント一覧画面に戻ります。



これで「月曜日9:00～18:00の間、オフィスAエリアを設定温度28℃で冷房運転」というスケジュールが作成できました。

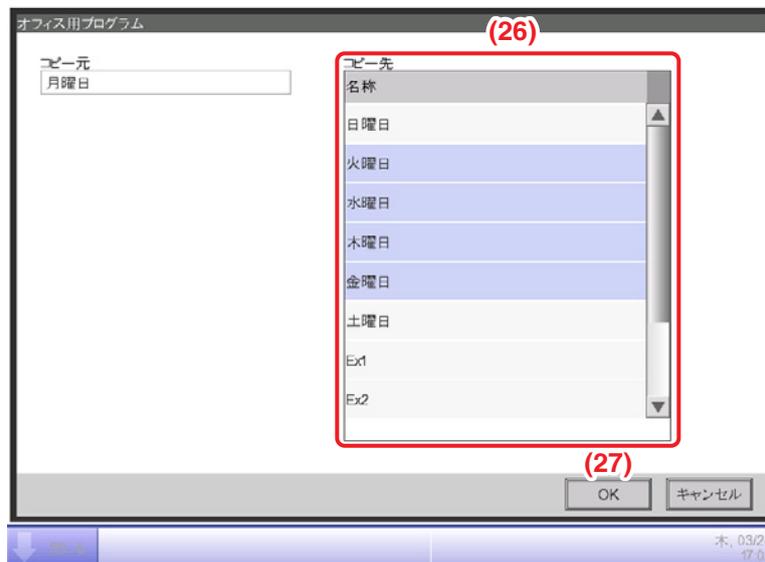
**(23)** OKボタンをタッチして、スケジュール編集画面へ戻ります。

## 6. 火曜日～金曜日の設定

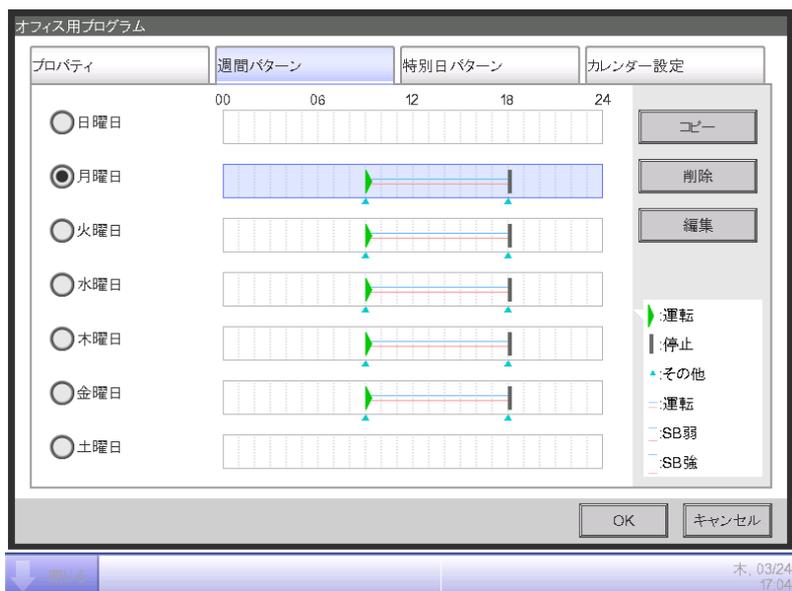


月曜日に設定したイベントをほかの曜日にコピーします。

(24) 「月曜日」を選択し (25) コピーボタンをタッチしてコピー先選択画面を表示させます。



(26) の一覧からコピー先を選択します。火曜日／水曜日／木曜日／金曜日をすべてドラッグ選択し (27) OKボタンをタッチするとイベントが上書きされ、スケジュール編集画面に戻ります。



これで「月曜日から金曜日まで9:00～18:00の間、オフィスAエリアを設定温度28℃で冷房運転」という週間スケジュールが作成できました。

「土曜日、日曜日にオフィスAに運転停止する」という週間スケジュールを作成します。

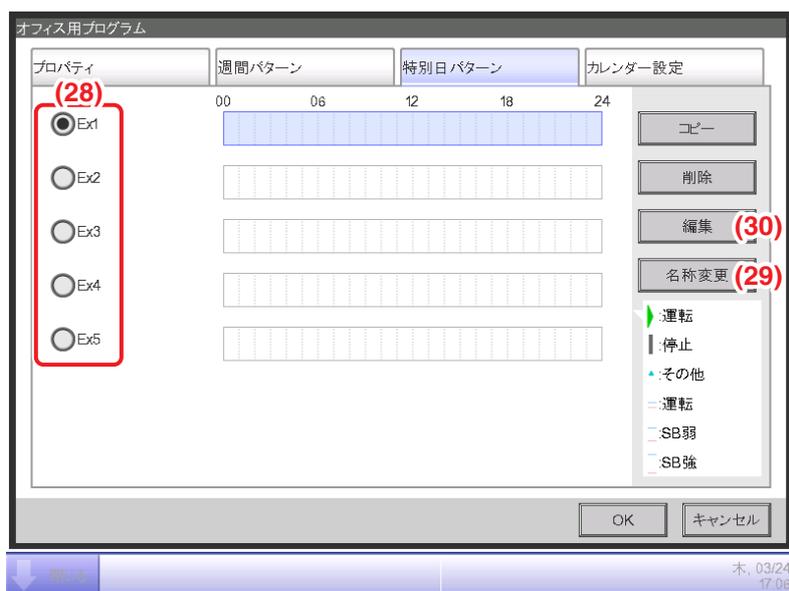
(5. 月曜日の運転停止時間の設定と同じようにして9:00停止のスケジュールを作成します。)

## ■特別日スケジュールの作成

毎月第3土曜日(特別日)のみの設定を行います。

スケジュール編集画面の特別日パターンタブをタッチして表示させます。

### 1. 特別日の名称設定



(28) でEx1を選択し (29) 名称変更ボタンをタッチすると名称入力ダイアログが表示されます。

特別日の名称を「営業日」と入力しOKボタンをタッチすると (28) の名称が変更されます。

## 2. 運転開始/停止時間・運転モード・設定温度の設定

(30) 編集ボタンをタッチしてイベントの内容を設定します。

週間スケジュールの作成と同様の手順で「9:00～18:00の間、オフィスAエリアを設定温度28℃で冷房運転」というスケジュールを設定します。

## 3. 特別日(毎月第3土曜日)のカレンダー設定

スケジュール編集画面の**カレンダー設定**タブをタッチして表示させます。



(31) パターンコンボボックスで、作成した「営業日」を選択します。

(32) 月/週曜日指定ラジオボタンを選択し、コンボボックスで設定する日を選択します。「毎月第3土曜日」に設定したいので、次のように選択します。

月：毎月、週：第3、曜日：土曜日

(33) 追加ボタンをタッチすると特別日パターンが登録され、(34) に表示されます。

(35) プレビューボタンをタッチすると、特別日パターンを反映したカレンダーをプレビュー表示することができます。



---

**(36)** 閉じる ボタンをタッチしてスケジュール編集画面に戻ります。

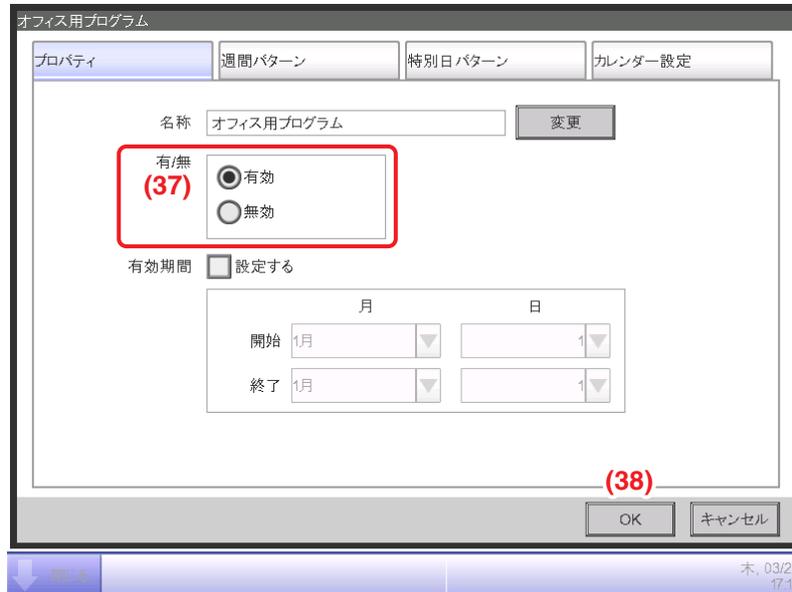
これで「毎月第3土曜日9:00～18:00の間、オフィスAエリアを設定温度28℃で冷房運転」という特別日スケジュールが作成できました。

週間スケジュールと特別日スケジュールが両方作成できたので「オフィス用プログラム」が完成しました。

## ■スケジュールプログラムの有効化

作成した「オフィス用プログラム」を有効にします。

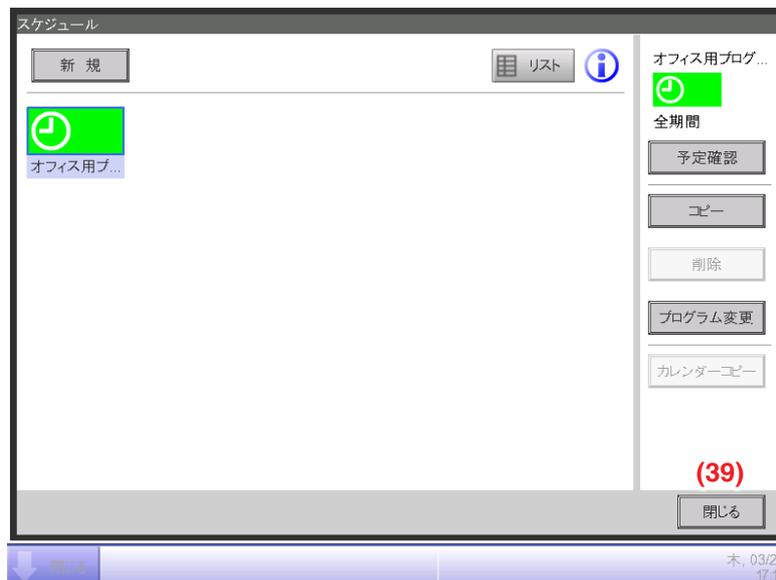
スケジュール編集画面の**プロパティ**タブをタッチして表示させます。



**(37)** 有効ラジオボタンを選択し、この「オフィス用プログラム」を有効にします。

以上でスケジュールプログラムの作成は終了です。

**(38)** OKボタンをタッチして保存し、スケジュール画面に戻ります。



スケジュール画面に作成した「オフィス用プログラム」が表示されていることを確認し、

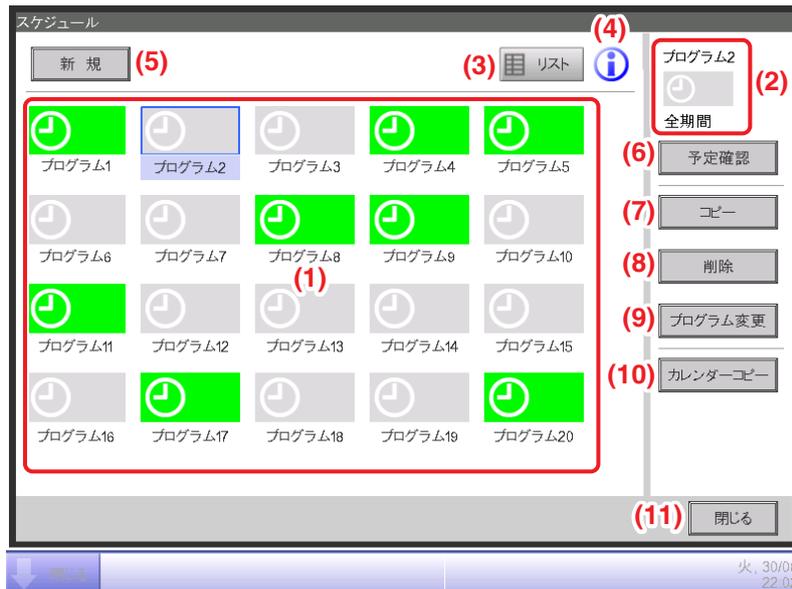
**(39)** 閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

## 画面とボタンの詳細

### ■スケジュール画面(アイコン画面)

メニューリスト画面の自動制御タブで **(1) スケジュール制御設定** ボタンをタッチしたときに表示されます。

またスケジュール画面(リスト画面)の **(3) アイコン** ボタンをタッチしたときに表示されます。スケジュールプログラムの確認・新規作成・編集・削除・カレンダーのコピーなどを行います。



#### (1) スケジュール情報一覧表示

登録されているスケジュールプログラムを表示します。

#### (2) 選択スケジュール表示

スケジュール情報一覧で選択したプログラムの有効期間を表示します。

#### (3) リストボタン

リスト画面に切り換えます。

#### (4) インフォメーションボタン

凡例画面を表示します。

#### (5) 新規ボタン

スケジュールプログラムを新規作成するためのスケジュール編集画面を表示します。スケジュールプログラムは最大100点まで作成できます。

#### (6) 予定確認ボタン

スケジュール情報一覧で選択したプログラムの設定内容を確認するためのスケジュール確認画面を表示します。

---

**(7) コピーボタン**

スケジュール情報一覧で選択したプログラムを複製して、スケジュール編集画面を表示します。

**(8) 削除ボタン**

スケジュール情報一覧で選択したプログラムを削除します。

タッチすると削除確認ダイアログが表示されます。

**(9) プログラム変更ボタン**

スケジュール情報一覧で選択したプログラムを編集するためのスケジュール編集画面を表示します。

**(10) カレンダーコピーボタン**

スケジュール情報一覧で選択したプログラムのカレンダーをコピーするための

カレンダーコピー画面を表示します。

**(11) 閉じるボタン**

画面を閉じます。

## ■スケジュール画面(リスト画面)

スケジュール画面(アイコン画面)の**(3)** リストボタンをタッチしたときに表示されます。

スケジュールプログラムの確認・新規作成・編集・削除・カレンダーのコピーなどを行います。



### (1) スケジュール情報表示

登録されているスケジュールプログラムを登録順に一覧表示します。

### (2) 選択スケジュール表示

スケジュール情報表示で選択したプログラムの情報を表示します。

### (3) アイコンボタン

アイコン画面に切り換えます。

### (4) インフォメーションボタン

凡例画面を表示します。

### (5) 新規ボタン

スケジュールプログラムを新規作成するためのスケジュール編集画面を表示します。

スケジュールプログラムは最大100点まで作成できます。

### (6) 予定確認ボタン

スケジュール情報表示で選択したプログラムの設定内容を確認するためのスケジュール確認画面を表示します。

---

**(7) コピーボタン**

スケジュール情報表示から選択したプログラムを複製してスケジュール編集画面を表示します。

**(8) 削除ボタン**

スケジュール情報表示から選択したプログラムを削除します。

タッチすると削除確認ダイアログが表示されます。

**(9) プログラム変更ボタン**

スケジュール情報表示から選択したプログラムを編集するためのスケジュール編集画面を表示します。

**(10) カレンダーコピーボタン**

スケジュール情報表示から選択したプログラムのカレンダーをコピーするための

カレンダーコピー画面を表示します。

**(11) 閉じるボタン**

画面を閉じます。

## ■凡例画面

スケジュール画面で **(4) インフォメーション** ボタンをタッチしたときに表示されます。  
 スケジュール画面 (アイコン画面) で使用するアイコンの凡例を表示します。



<アイコン>



プログラム → 名称

<表示内容>

- ・スケジュールプログラムのアイコン
- ・スケジュールプログラムの有効期限 (左上：開始時期、右下：終了時期)

		アイコン種類
無効	有効期間設定なし	 プログラム
	有効期間設定あり	有効期間中  プログラム
		有効期間外  プログラム
有効	有効期間設定なし	 プログラム
	有効期間設定あり	有効期間中  プログラム
		有効期間外  プログラム

アイコン画面の凡例を表示します。

**(1) 閉じる** ボタン

画面を閉じます。

## ■スケジュール確認画面

スケジュール画面で **(6) 予定確認** ボタンをタッチしたときに表示されます。  
スケジュールプログラムの設定内容を一覧で確認します。



### (1) スケジュール設定内容一覧表示

選択中のスケジュールプログラムの、**(2) 日付表示**に表示されている日付のイベント一覧を表示します。

### (2) 日付表示

表示するイベントの日付と曜日を表示します。

### (3) Backボタン

スケジュール設定内容一覧に表示されている日の1日前の表示に切り換えます。

### (4) Nextボタン

スケジュール設定内容一覧に表示されている日の1日先の表示に切り換えます。  
現在日から7日先まで表示できます。

### (5) 閉じるボタン

画面を閉じます。

## ■プロパティタブ(スケジュール編集画面)

スケジュール画面で **(5) 新規ボタン**・**(7) コピーボタン**・**(9) プログラム変更ボタン**をタッチしたときに表示されます。

スケジュールプログラムの名称、有効期間、有効/無効の設定を行います。

### (1) 名称表示

スケジュールプログラムの名称を表示します。

編集する場合は **(6) 変更**ボタンをタッチし、文字入力ダイアログを表示して入力します。プログラム名称は全角・半角問わず1～32文字の範囲で設定します。すでにあるプログラムと同じ名称は使用できません。

### (2) 有/無ラジオボタン

スケジュールプログラムの「有効/無効」を設定します。

### (3) 有効期間チェックボックス・コンボボックス

チェックボックスにチェックを入れると有効期間が設定できます。

コンボボックスで開始時期と終了時期を選択します。

各コンボボックスで選択可能な範囲は次のとおりです。

月：1月/2月/3月/4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月

日：1～31(実在しない日は選択できません)

### (4) OKボタン

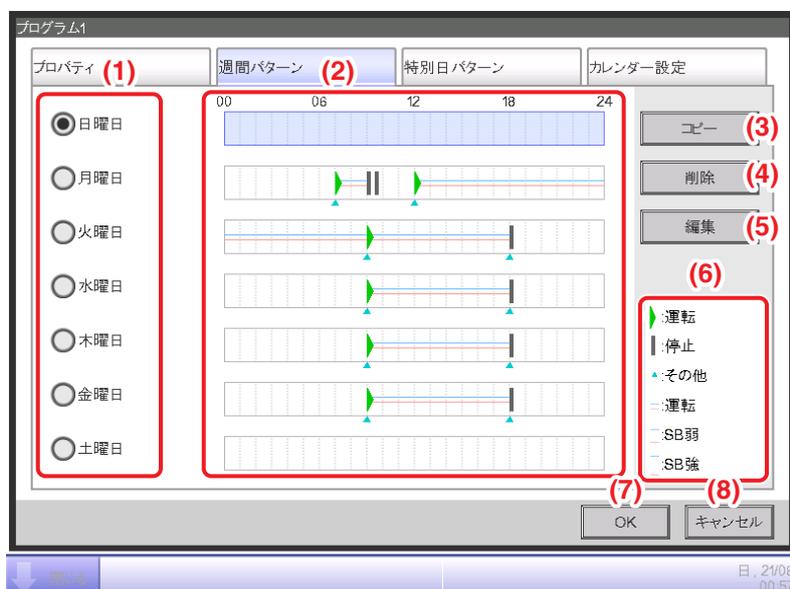
編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (5) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。タッチすると確認ダイアログが表示されます。

## ■週間パターンタブ(スケジュール編集画面)

スケジュール編集画面で**週間パターン**タブをタッチしたときに表示されます。  
週間スケジュールを設定します。



### (1) 曜日選択ラジオボタン

編集する曜日を選択します。

### (2) スケジュール設定内容表示

各曜日に設定されているスケジュール設定内容を表示します。

### (3) コピーボタン

曜日選択ラジオボタンで選択した曜日のスケジュール設定内容をコピーするためのコピー先選択画面を表示します。

### (4) 削除ボタン

曜日選択ラジオボタンで選択した曜日のスケジュール設定内容を削除します。  
タッチすると削除確認ダイアログが表示されます。

### (5) 編集ボタン

曜日選択ラジオボタンで選択した曜日のスケジュール設定内容を編集するためのイベント一覧画面を表示します。

### (6) 凡例表示

スケジュール設定内容一覧で使用する凡例を表示します。

「SB 弱」および「SB 強」は現地設定機能のセットバック機能が有効のときのみ表示されます。

### (7) OKボタン

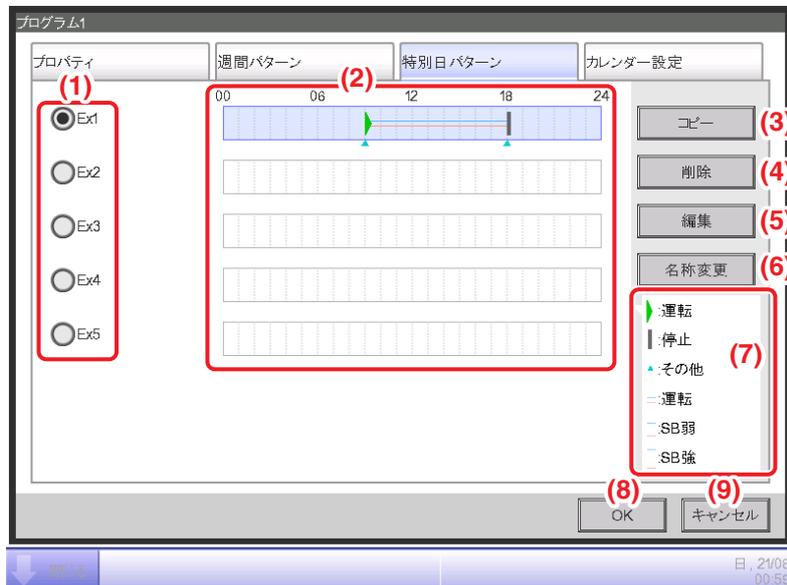
編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (8) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。タッチすると確認ダイアログが表示されます。

## ■特別日パターンタブ(スケジュール編集画面)

スケジュール編集画面で**特別日パターン**タブをタッチしたときに表示されます。  
特別日スケジュールを設定します。



### (1) 特別日ラジオボタン

編集する特別日を選択します。  
特別日は5種類まで設定できます。

### (2) スケジュールプログラム設定内容表示

各特別日に設定されているスケジュール設定内容を表示します。

### (3) コピーボタン

特別日ラジオボタンで選択した特別日のスケジュール設定内容をコピーするための  
コピー先選択画面を表示します。

### (4) 削除ボタン

特別日ラジオボタンで選択した特別日のスケジュール設定内容を削除します。  
タッチすると削除確認ダイアログが表示されます。

### (5) 編集ボタン

特別日ラジオボタンで選択した特別日のスケジュール設定内容を編集するための  
イベント一覧画面を表示します。

### (6) 名称変更ボタン

特別日の名称を変更します。  
タッチすると文字入力ダイアログが表示されます。  
特別日名称は全角・半角問わず1～15文字の範囲で設定できます。  
すでにある特別日と同じ名称は使用できません。

---

**(7) 凡例表示**

スケジュールプログラム設定内容表示で使用する凡例を表示します。

「SB 弱」および「SB 強」は現地設定機能のセットバック機能が有効のときのみ表示されます。

**(8) OKボタン**

編集結果を保存し、画面を閉じます。

**(9) キャンセルボタン**

編集結果を破棄し、画面を閉じます。タッチすると確認ダイアログが表示されます。

## ■カレンダー設定タブ(スケジュール編集画面)

スケジュール編集画面で**カレンダー設定**タブをタッチしたときに表示されます。  
特別日スケジュールをカレンダーに登録します。



### (1) カレンダー設定一覧表示

登録されている特別日パターンを表示します。  
特別日パターンは1つのカレンダーに最大40個まで登録できます。

### (2) ↑ ↓ ボタン

カレンダー設定一覧で選択した特別日パターンの順序を上下に移動させます。

### (3) 削除ボタン

カレンダー設定一覧で選択した特別日パターンを削除します。

### (4) パターンコンボボックス

登録する特別日の種類を選択します。

### (5) 月日指定ラジオボタン

特別日の設定パターンを月日コンボボックスで設定します。

各コンボボックスで選択可能な範囲は次のとおりです。

月：1月/2月/3月/4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月/毎月

日：1～31 (実在しない日は選択できません)

## (6) 月/週曜日指定ラジオボタン

特別日の設定パターンを月/週曜日コンボボックスで設定します。

各コンボボックスで選択可能な範囲は次のとおりです。

月：1月/2月/3月/4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月/毎月

週：第1/第2/第3/第4/最終

曜日：日曜日/月曜日/火曜日/水曜日/木曜日/金曜日/土曜日

## (7) 追加ボタン

設定した内容で特別日パターンを登録します。

## (8) プレビューボタン

カレンダー設定一覧に登録されている特別日を反映したカレンダーをプレビュー表示します。

## (9) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

## (10) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。タッチすると確認ダイアログが表示されます。



## (11) カレンダー表示

特別日を反映したカレンダーを表示します。

## (12) ◀ ボタン

カレンダー表示されている月の1カ月前の表示に切り換えます。

## (13) ▶ ボタン

カレンダー表示されている月の1カ月先の表示に切り換えます。現在日から1年先まで表示できます。

## (14) 閉じる ボタン

画面を閉じます。

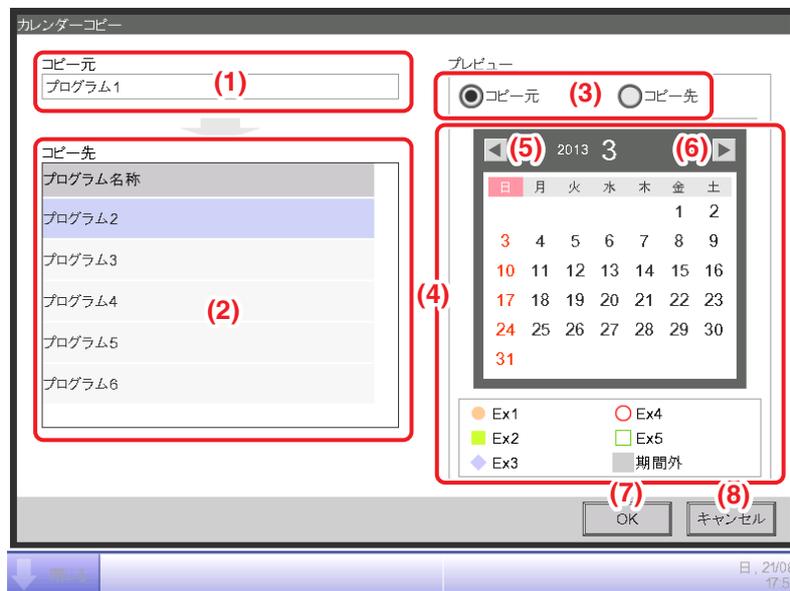
---

## NOTE

- 月日設定と月/週曜日設定の特別日設定が重なった場合は、月日設定を優先してカレンダーを設定します。
- 月日設定同士で設定が重なった場合(例：単日指定と期間指定で設定が重なった場合)は、特別日設定の後方(一覧の下方)が優先されます。
- 月/週曜日設定同士で設定が重なった場合は、特別日設定の後方(一覧の下方)が優先されます。
- 特別日を設定すると、その日に設定されていた週間スケジュールは取消しになります。
- カレンダー設定で作成した特別日スケジュールは、翌年以降も設定内容が保持されます。スケジュールに変更がなければ、毎年カレンダー設定を作り直す必要はありません。
- 月日指定でカレンダー設定した場合は、翌年以降も指定した月日にスケジュール制御を行いますのでご注意ください。

## ■カレンダーコピー画面

スケジュール画面で **(10) カレンダー コピー** ボタンをタッチしたときに表示されます。  
スケジュールプログラムに設定された特別日カレンダーを、ほかのスケジュールプログラムにコピーします。



### (1) コピー元表示

コピー元のスケジュールプログラムの名称を表示します。

### (2) コピー先一覧表示

コピー先を選択するためにスケジュールプログラムの一覧を表示します。

### (3) プレビューラジオボタン

カレンダー表示されているスケジュールを選択します。

コピー元スケジュールプログラムまたはコピー先スケジュールプログラムを選択できます。

### (4) カレンダー表示

プレビューラジオボタンで選択したスケジュールプログラムのカレンダーを表示します。

### (5) ◀ ボタン

カレンダー表示されている月の1カ月前の表示に切り換えます。

### (6) ▶ ボタン

カレンダー表示されている月の1カ月先の表示に切り換えます。現在日から1年先まで表示できます。

### (7) OK ボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (8) キャンセル ボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■ イベント一覧画面

スケジュール編集画面の週間パターンタブ・特別日パターンタブで編集ボタンをタッチしたときに表示されます。

週間スケジュール/特別日スケジュールに登録されているイベントを一覧表示します。



### (1) イベント一覧表示

各曜日・特別日に設定されているイベントの一覧を表示します。

### (2) 曜日表示

スケジュール編集画面で選択された曜日・特別日を表示します。

### (3) Back (◀) ボタン

イベント一覧に表示されている曜日から前の曜日・特別日の表示に切り換えます。

### (4) Next (▶) ボタン

イベント一覧に表示されている曜日から次の曜日・特別日の表示に切り換えます。

### (5) 新規ボタン

イベントを新規登録するためのイベント設定画面を表示します。

イベントは1つのスケジュールに最大20個まで登録できます。

### (6) コピーボタン

イベント一覧で選択したイベントを複製して、イベント設定画面を表示します。

### (7) 削除ボタン

イベント一覧で選択したイベントを削除します。タッチすると削除確認ダイアログが表示されます。

---

**(8) 編集ボタン**

イベント一覧で選択したイベントを編集するためのイベント設定画面を表示します。

**(9) OKボタン**

編集結果を保存し、画面を閉じます。

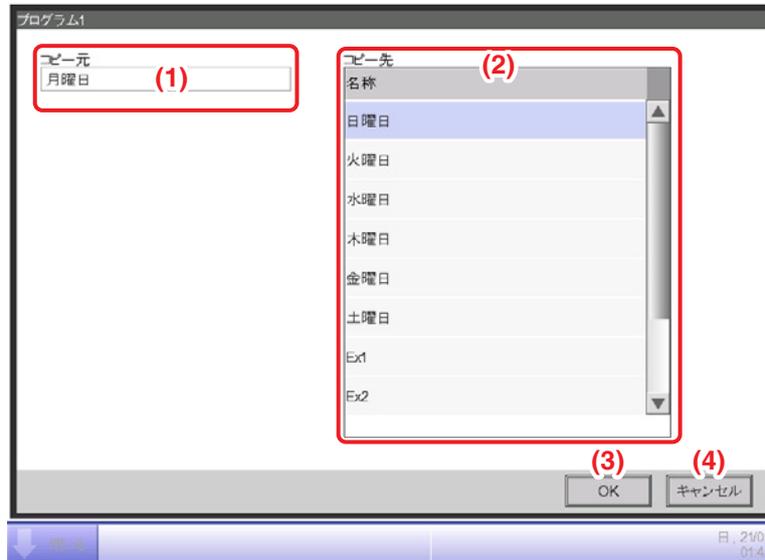
**(10) キャンセルボタン**

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■コピー先選択画面

スケジュール編集画面の週間パターンタブ・特別日パターンタブでコピーボタンをタッチしたときに表示されます。

曜日/特別日のイベント内容を、ほかの曜日/特別日にコピーします。



### (1) コピー元表示

スケジュール編集画面で選択された曜日・特別日の名称を表示します。

### (2) コピー先一覧表示

コピー先を選択するために、曜日・特別日の一覧を表示します。

### (3) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (4) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■イベント画面

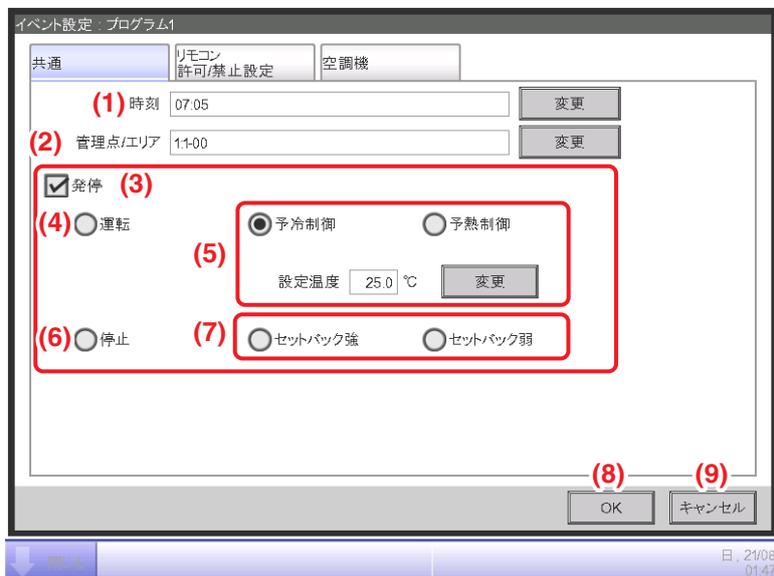
共通・リモコン許可/禁止設定・空調機・換気・Ao, Moの5種類のタブがあり、それぞれで設定できるイベント動作が異なります。

### NOTE

登録した管理点に該当する設定項目タブのみを表示します。

## ■共通タブ(イベント設定画面)

イベント一覧画面で**新規**ボタンまたは**編集**ボタンをタッチしたときに表示されます。  
イベントの動作時刻、対象管理点/エリア、発停を設定します。



### (1) 時刻設定表示

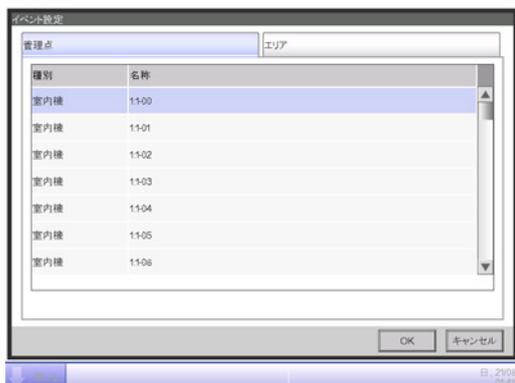
イベントの動作時刻を設定します。**変更**ボタンをタッチし、日時入力ダイアログを表示して入力します。入力可能範囲は00:00~23:59(12h表示の場合はAM00:00~PM11:59)です。

### (2) 管理点/エリア設定表示

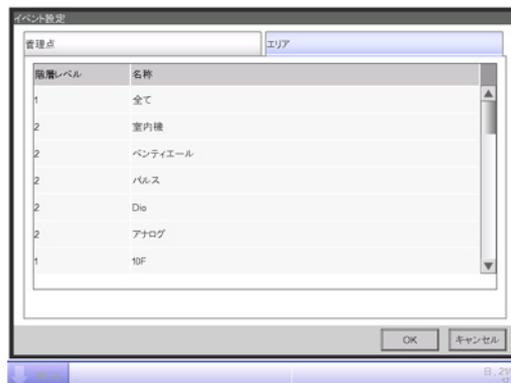
制御対象の管理点またはエリアを設定します。

**変更**ボタンをタッチし、管理点/エリア選択画面を表示して一覧から選択します。

#### <管理点選択画面>



#### <エリア選択画面>



### (3) 発停設定

制御対象の運転・停止を設定する場合、**発停**チェックボックスにチェックを入れます。

### (4) 運転ラジオボタン

制御対象を運転する場合に選択します。

### (5) 予冷制御、予熱制御ラジオボタン

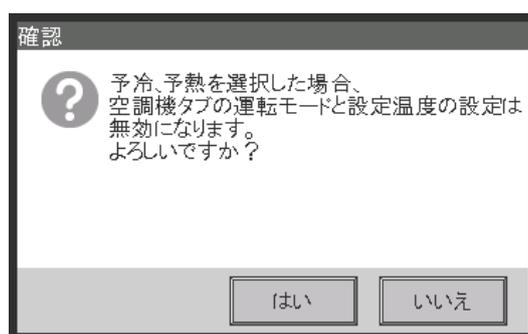
予冷・予熱機能を設定する場合に、ラジオボタンでどちらか一方を選択します。

設定温度は**変更**ボタンをタッチし数値入力ダイアログを表示して入力します。

入力可能範囲は0.1℃刻みで16～32℃です。

制御対象が室内機またはエリアが選択されている場合のみ表示されます。

予冷・予熱機能を設定した場合、イベント設定画面の空調機タブで運転モード・設定温度は設定できなくなり、次の確認ダイアログが表示されます。**はい**ボタンをタッチすると設定が確定されます。



#### NOTE

- 予冷・予熱機能とは、スケジュールで設定した時刻より前に空調機を起動し、設定時刻に室温を設定温度にする機能です。空調機が起動する時間は、吸込温度と設定温度にしたがい自動で算出されます。繰り返し使用することで学習し、起動時間は適宜調整されます。室内機に設定できない温度を、予冷・予熱制御の設定温度とした場合、起動時間を調整しない場合があります。
- エリアに予冷・予熱を設定した場合、設定時刻になるとそのエリアに含まれる管理点には予冷・予熱で設定した運転モード、設定温度および運転の指令が送られます。設定時刻に運転したくない、または運転モードや設定温度を変更したくない管理点はエリアに含めないようにしてください。
- セットバック機能(8-1 セットバックの設定参照)使用中は予冷・予熱を行うことができません。

---

## 予冷・予熱機能ご使用時の制限について

予冷・予熱機能は以下の点についてご理解のうえご使用願います。

予冷・予熱機能は、スケジュールが行われる日付が変更された時点での設定で実行されます。

そのため、スケジュールが行われる当日に予冷・予熱機能の設定をしたスケジュールは

予冷・予熱機能は実行されません。通常のスケジュールとして実行されます。

予冷・予熱機能を行うには、実行する日の前日までに設定をしてください。

- 設定変更時の動作

設定の変更は日付が変わってから有効となります。

当日のスケジュールを変更/削除した場合でも、日付が変更された時点で確定しているスケジュールで実行されます。

- iTMの日付設定変更時の動作

iTMの時刻の設定変更を行い日付の変更を行った場合は、変更した日付に設定されているスケジュールに予冷・予熱機能の設定がされている場合であっても、通常のスケジュールとして実行されます。

- iTM再起動時の動作

iTMを再起動した場合、再起動した日の予冷・予熱機能は行われず、通常のスケジュールとして実行されます。

- 0:00から2:59の間までの予冷・予熱について

予冷・予熱機能は、スケジュールが実行される当日の日付が変わった時点での実行設定時刻の3時間前より制御を行います。

スケジュールで予冷・予熱機能を0:00から2:59の間に行うように設定した場合、予冷・予熱機能は行われず、通常のスケジュールとして実行されます。

- サマータイム開始日/終了日の動作

設定時刻により予冷・予熱機能が行われない、または2回行われる場合があります。

- 冷暖選択権をもたない空調機の動作

冷暖選択権をもたない空調機に予冷・予熱機能の設定をした場合、冷暖選択権をもつ空調機の運転モードにしたがって動作します。

### (6) 停止ラジオボタン

制御対象を停止する場合に選択します。

### (7) セットバック強、セットバック弱ラジオボタン

セットバック機能を設定する場合に、ラジオボタンでどちらか一方を選択します。

現地設定機能のセットバック機能が有効な場合のみ表示されます。

### (8) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

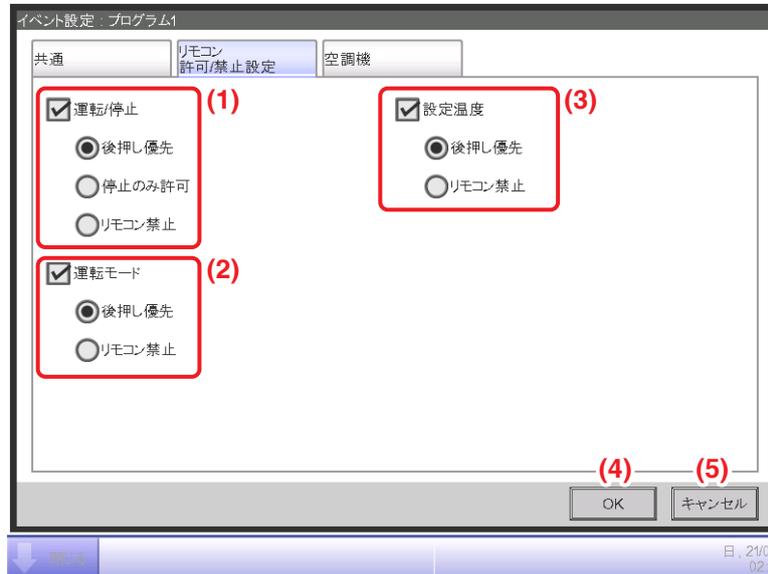
### (9) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■ リモコン許可/禁止設定タブ(イベント設定画面)

イベント設定画面でリモコン許可/禁止設定タブをタッチしたときに表示されます。

リモコン許可/禁止を設定します。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、設定内容をラジオボタンで選択します。

### (1) 運転/停止設定

リモコンからの運転/停止を制限します。

設定内容は、「後押し優先/停止のみ許可/リモコン禁止」から選択します。

### (2) 運転モード設定

リモコンからの運転モードの変更を制限します。

設定内容は、「後押し優先/リモコン禁止」から選択します。

制御対象がベンティエール・DESICAの場合、表示されません。

### (3) 設定温度設定

リモコンからの設定温度の変更を制限します。

設定内容は、「後押し優先/リモコン禁止」から選択します。

制御対象がベンティエール・DESICAの場合、表示されません。

### (4) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

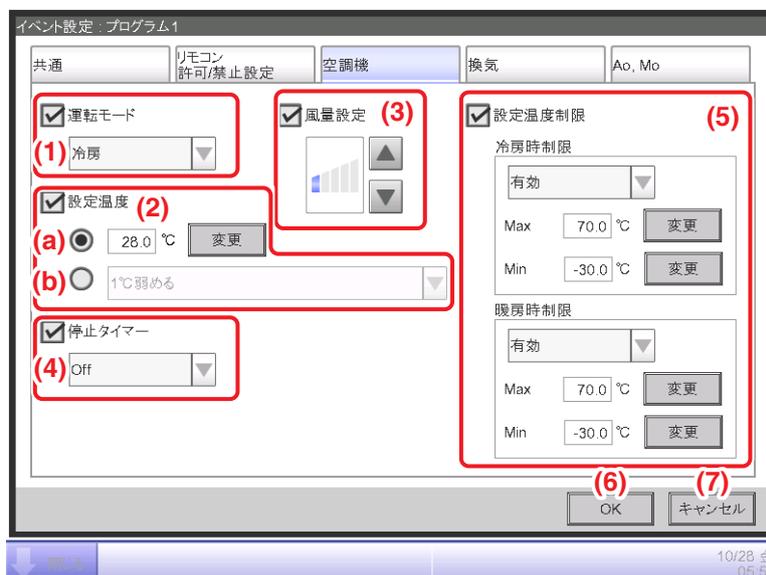
### (5) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■空調機タブ(イベント設定画面)

イベント設定画面で**空調機**タブをタッチしたときに表示されます。

空調機の動作を設定します。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、コンボボックス・**変更**ボタンで設定内容を選択・入力します。

### (1) 運転モード設定

運転モードを設定します。

設定内容は、「送風/冷房/暖房/温調/自動/ドライ」から選択します。

制御対象に応じた選択肢のみ表示されます。

### NOTE

「自動」と「設定温度」を同時に指令すると、室内機の冷暖判断結果により、指令した設定温度に変わらない場合があります。

### (2) 設定温度設定

設定温度を設定します。

設定方法は (a) 温度設定または (b) 温度シフト設定のどちらか一方をラジオボタンで選択します。

温度設定を選択した場合は、**変更**ボタンをタッチし、数値入力ダイアログを表示して温度を入力します。入力可能範囲は0.1℃刻みで-30~70℃です。

(空調機に設定される温度は制御対象空調機の設定温度範囲内になります。)

温度シフト設定を選択した場合は、コンボボックスで温度シフト量を選択します。

温度シフト量は、「4℃弱める/3℃弱める/2℃弱める/1℃弱める/1℃強める/2℃強める/3℃強める/4℃強める」から選択します。

## NOTE

- 設定温度シフトとは、現在の設定温度から相対値で温度設定ができる機能です。  
「弱める」は冷房時には指定したシフト量だけ設定温度を上げ、暖房時には設定温度を下げます。  
「強める」は冷房時には指定したシフト量だけ設定温度を下げ、暖房時には設定温度を上げます。
- 設定温度シフトは運転モードが送風・自動・ドライのときは機能しません。

### (3) 風量設定

風量を設定します。

▲ボタンをタッチすると風量が一段階上がり、▼ボタンをタッチすると一段階下がります。  
設定可能な風量は制御対象によって異なります。

### (4) 停止タイマー設定

消し忘れ防止機能を設定します。

コンボボックスで「有効(On)/無効(Off)」を選択します。

### (5) 設定温度制限設定

設定温度制限を設定します。

冷房時制限・暖房時制限それぞれ「有効/無効」をコンボボックスで選択します。

それぞれの**変更**ボタンをタッチし、数値入力ダイアログを表示してそれぞれの上下限值を入力します。  
入力可能範囲は (2) 設定温度と同じ範囲で、かつ上限と下限が逆転しない範囲です。

## NOTE

iTMで、ルームエアコンを含むグループの「設定温度制限」を「有効」とする場合は、冷房と暖房の双方とも設定温度制限の上限、下限の間に25℃を含めてください。  
ルームエアコンは、自動モードの設定温度は「25℃」固定となります。  
「設定温度制限」の範囲に25℃が含まれない場合は、設定温度不一致となり、**ワイヤレスリモコンから操作できなくなる場合がある**ためです。

### (6) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (7) キャンセルボタン

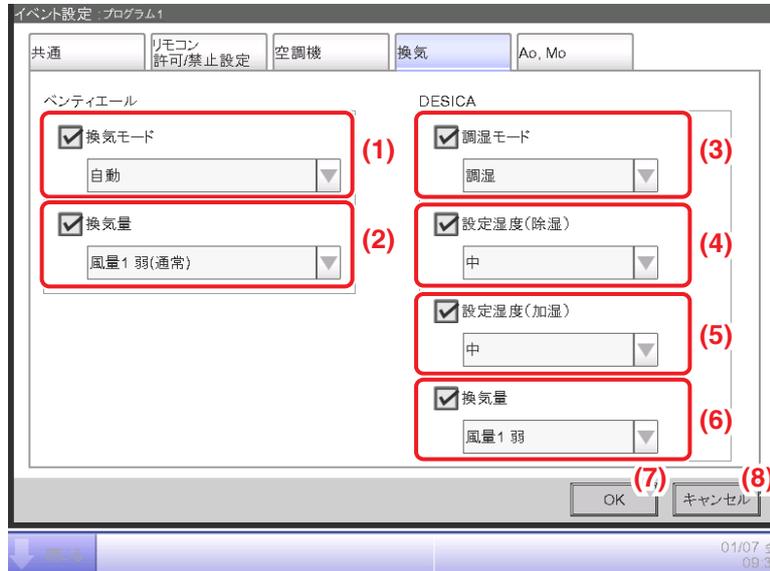
編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■換気タブ(イベント設定画面)

イベント設定画面で**換気**タブをタッチしたときに表示されます。

ベンティエール・DESICAの動作を設定します。

ベンティエールの初期設定によっては、**換気**タブが表示されない場合があります。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、コンボボックスで設定内容を選択します。

### (1) 換気モード設定

ベンティエールの換気モードを設定します。

設定内容は、「自動/全熱交/普通」から選択します。

### (2) 換気量設定 (ベンティエール)

ベンティエールの換気量を設定します。

設定内容は、「自動(通常)/風量1 弱(通常)/風量2(通常)/風量3 強(通常)/風量4(通常)/風量5 特強(通常)/自動(フレッシュアップ)/風量1 弱(フレッシュアップ)/風量2(フレッシュアップ)/風量3 強(フレッシュアップ)/風量4(フレッシュアップ)/風量5 特強(フレッシュアップ)」から選択します。

## NOTE

- iTMの換気量設定は5速機の表示になりますので、2速機・3速機がつながっている場合は以下の表にしたがって選択してください。

換気段数	ベンティエール	
	設定	iTMの設定値
2速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
3速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
	特強	風量5 特強

- ベンティエールの換気量を変えるためには、**(2) 換気量設定** (ベンティエール) のコンボボックスを設定する必要があり、DESICAの換気量を変えるためには、**(6) 換気量設定** (DESICA) のコンボボックスを設定する必要があります。エリアで両方の換気量を同時に変える場合は、それぞれのコンボボックスで適切な設定をしてください。

### **(3) 調湿モード設定**

DESICAの調湿モードを「調湿/換気/除湿/加湿」から選択して設定します。

### **(4) 設定湿度(除湿)設定**

DESICAの設定湿度(除湿)を「低/中/高」から選択して設定します。

### **(5) 設定湿度(加湿)設定**

DESICAの設定湿度を(加湿)を「低/中/高」から選択して設定します。

### **(6) 換気量設定(DESICA)**

DESICAの換気量を設定します。

設定内容は、「自動/風量1 弱/風量2/風量3 強/風量4/風量5 急」から選択します。

## NOTE

- iTMの換気量設定は5速機の表示になりますので、2速機・3速機がつながっている場合は以下の表にしたがって選択してください。

換気段数	DESICA	
	設定	iTMの設定値
2速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
3速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
	急	風量5 急

- ベンティエールの換気量を変えるためには、**(2) 換気量設定** (ベンティエール) のコンボボックスを設定する必要があり、DESICAの換気量を変えるためには、**(6) 換気量設定** (DESICA) のコンボボックスを設定する必要があります。エリアで両方の換気量を同時に変える場合は、それぞれのコンボボックスで適切な設定をしてください。

### **(7) OKボタン**

編集結果を保存し、画面を閉じます。

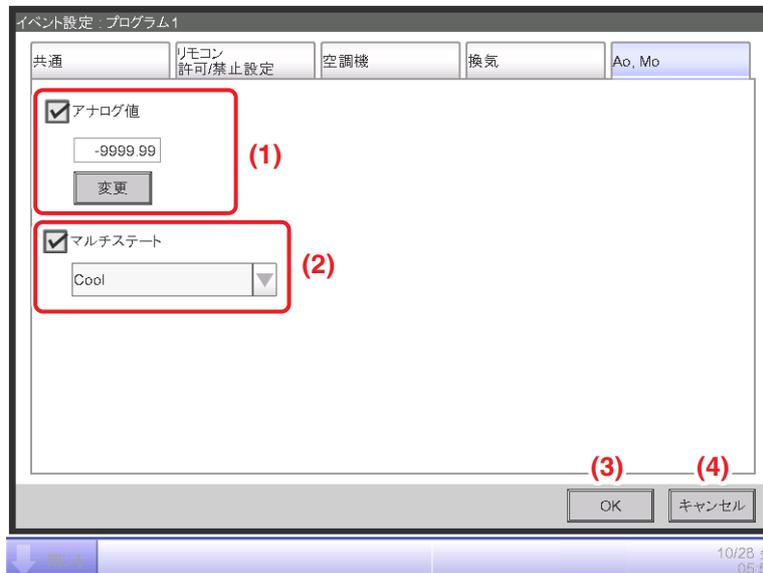
### **(8) キャンセルボタン**

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■Ao, Moタブ(イベント設定画面)

イベント設定画面で**Ao, Mo**タブをタッチしたときに表示されます。

Ao・Moの動作を設定します。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、**変更**ボタンで設定内容を入力します。

### (1) アナログ値設定

Aoはアナログ信号出力のことです。

本機能ではiTMに接続された信号出力装置(WAGO I/Oモジュール)により、外部機器の調整値に応じた電圧または、電流出力を行います。(ダンパ、電動弁の開度など、ビル設備機器の制御を行います)

画面上で設定するアナログ値の範囲・刻み幅・単位は試運転時に設定されます。

(単位がない場合もあります)

詳細についてはお買い上げの販売店にお問合わせください。

### (2) マルチステート設定

Moのマルチステート値を選択して設定をします。

画面上で設定するマルチステート値は試運転時に設定されます。

### NOTE

エリアに対してマルチステートは設定できません。

### (3) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (4) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

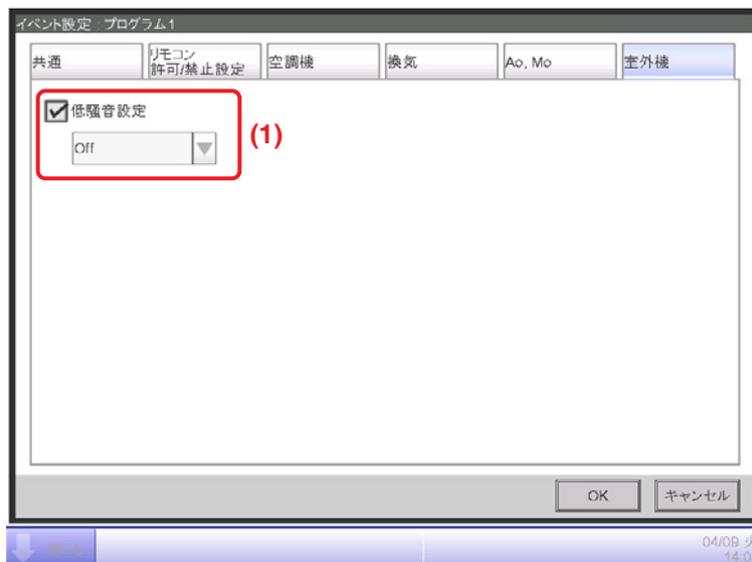
## ■ 室外機タブ (イベント設定画面)

イベント設定画面で**室外機**タブをタッチしたときに表示されます。

室外機の低騒音制御を設定します。

低騒音制御とは、室外機の動作音を低減するための制御です。

室外機管理点のデマンドアドレスが有効の場合のみ設定可能です。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、コンボボックスで設定内容を選択します。

### (1) 低騒音設定

室外機の低騒音制御を設定します。

コンボボックスで「On/Off」を選択します。

#### NOTE

- 低騒音設定は、室外機の管理点にデマンドアドレスの設定が必要です。  
デマンドアドレスが無効の場合、その室外機は制御対象外になります。
- 点検中の場合は、低騒音制御は行われません。
- 低騒音制御中にiTMを再起動した場合、室外機の低騒音制御は停止しますので、再起動する際は注意してください。
- 低騒音設定はスケジュール機能以外では変更できません。  
変更する場合は、スケジュールで設定してください。
- 上位集中機器 (D-BIPS) を接続している場合は、  
低騒音制御を行うことができません。
- 従設定のiTMは低騒音制御を行うことができません。

## 5-2 消し忘れ防止時間の設定

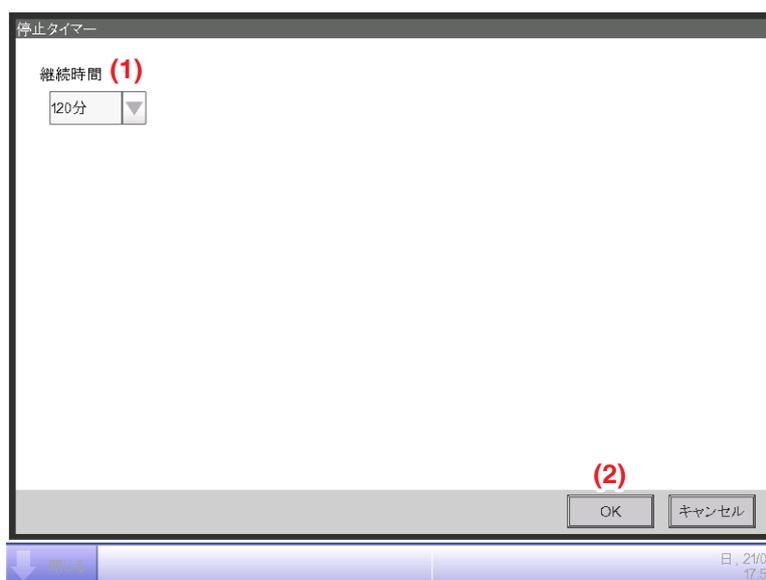
室内機の消し忘れを防止するために、運転開始から一定時間経過したあと、本機能を利用して自動で運転を停止させることができます。

本機能が有効に設定されている場合、室内機は運転開始からの継続時間経過後に停止します。設定の手順を説明します。

### NOTE

- 室内機が通信異常を起こしたり、点検中になった場合、カウントしていた継続時間はクリアされ復帰後、0からカウントを開始します。
- 停止タイマー機能を有効にするには、別途設定が必要です。  
工場出荷時は、無効に設定されています。

1. メニューリスト画面の**自動制御**タブで**消し忘れ防止設定**ボタンをタッチして、停止タイマー設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面参照)



2. 運転を停止させるまでの時間を **(1) 継続時間** コンボボックスで30分刻みで30～180分の間から選択します。
3. 設定が終われば **(2) OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。
4. 停止タイマー機能の有効/無効は、標準画面の詳細設定、スケジュールのイベント設定、連動制御のアクション設定のそれぞれで表示される**空調機**タブで設定します。詳細は該当の項をご覧ください。

### 5-3 連動制御の設定

連動制御とは、任意の管理点の状態にしたがって、複数の管理点およびエリアの制御を行う機能です。本機能を利用することで、複数の設備が連動した運転・停止、入退室連動、鍵管理連動、外気冷房などを行うことができます。

本機能は、入力条件に設定した管理点種別の状態変化を監視して、成立条件として設定された状態が、設定した時間を継続した場合に条件成立とみなし、制御対象の管理点またはエリアに設定された動作を出力します。

入力条件に設定可能な管理点種別と検出対象、検出対象と成立条件の関係は下表のとおりです。

管理点種別		発停	機器異常 ※2	アナログ 上下限 異常	運転 モード	アナログ 値	マルチ ステート 値	通信異常
	対象管理点							
室内機	室内機	○	○	×	○	×	×	○
ベンティエール	ベンティエール	○	○	×	×	×	×	○
DESICA	DESICA	○	○	×	×	×	×	○
チラー	チラー	○	○	×	○	×	×	○
Dio	D3Dio External Dio BACnet Dio <sup>※1</sup> D3Di External Di Di BACnet Di <sup>※1</sup>	○	○	×	×	×	×	○ <sup>※3</sup>
アナログ(Ai)	External Ai Internal Ai BACnet Ai <sup>※1</sup>	×	×	○	×	○	×	×
マルチステート値	BACnet Mi <sup>※1</sup>	×	×	×	×	×	○	×

※1 BACnet Dio、BACnet Di、BACnet Ai、BACnet Miはオプションになります。

※2 機器異常に通信異常は含まれません。

※3 D3Di、D3Dio管理点のみ対象となります。

検出対象	成立条件	
	連続成立時間 ※4	状態
発停 機器異常 アナログ上下限異常 運転モード	成立条件が連続して成立する時間を0～30分の範囲で1分間隔で指定する	運転状態または異常を成立とするか、停止状態または正常を成立とするかを指定する ※運転状態/停止状態または異常/正常の設定は管理点側で行う 成立とみなす運転モードを指定する
アナログ値	成立条件が連続して成立する時間を1～30分の範囲で1分間隔で指定する	成立とみなすアナログ値条件式を指定する
マルチステート値	成立条件が連続して成立する時間を0～30分の範囲で1分間隔で指定する	成立とみなすマルチステート値を指定する
通信異常 ※5	成立条件が連続して成立する時間を0～30分の範囲で1分間隔で指定する	異常を成立とするか、正常を成立とするかを指定する

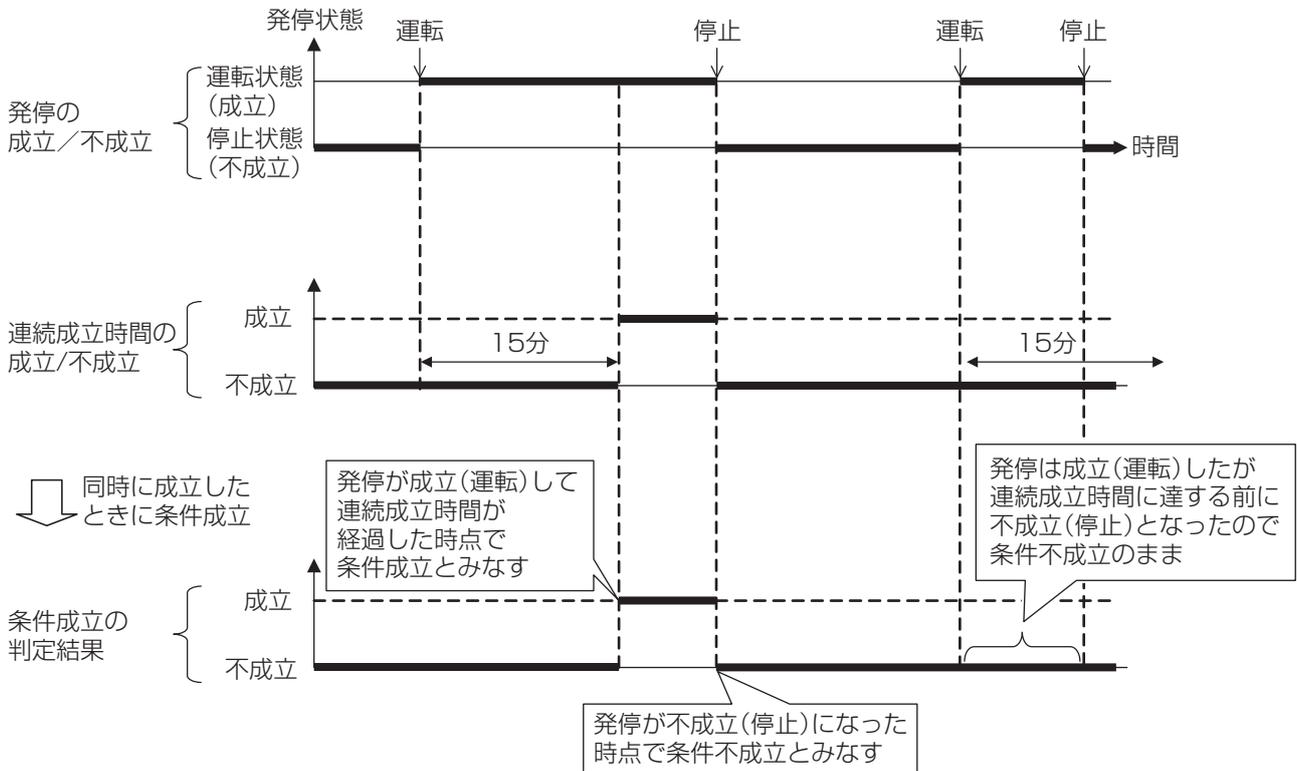
※4 連続成立時間の説明は、次ページの(例)連続成立時間を「15分」と設定した場合をご覧ください。

(例)

連続成立時間を「15分」と設定した場合

監視対象が設定した状態になった瞬間ではなく、その状態が15分間継続してはじめて「条件成立」と判定されます。

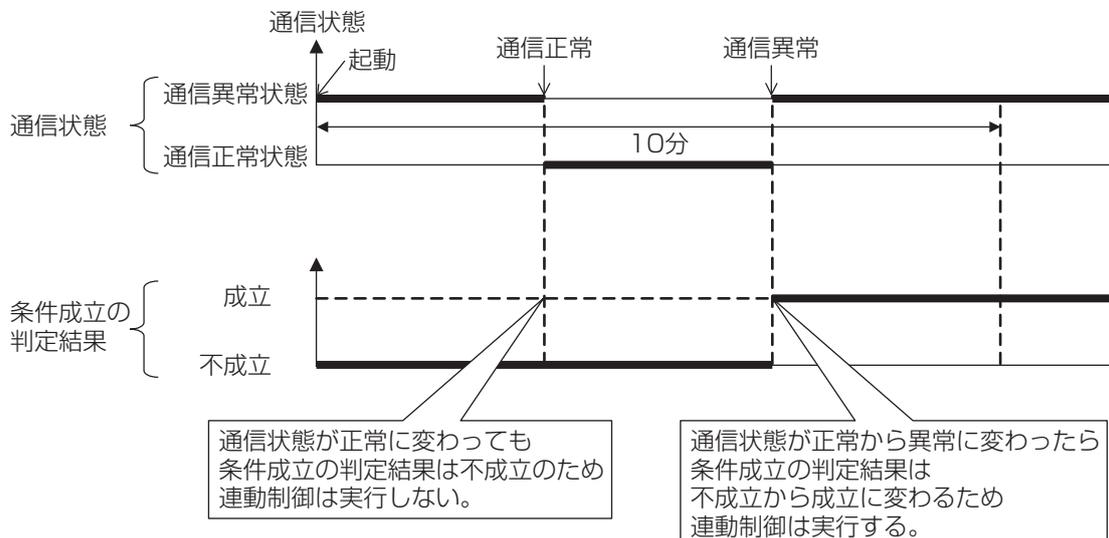
成立条件を「運転状態」、連続成立時間を「15分」と設定した場合の判定は下図のようになります。



※5 iTMの起動から10分間は通信異常を検知しません。

ただし、以下の場合には通信異常を検知します。(例)

成立条件を「通信異常状態」、連続成立時間を「0分」と設定した場合の判定は下図のようになります。



1つの連動プログラムには2つの出力が登録可能です。これにより同じ入力に対して、条件成立の違いによって異なる出力(例：運転と停止など)を設定できます。

出力の制御対象と設定可能な動作の関係は下表のとおりです。

制御対象(管理点種別)		発停	発停 (セットバック)	換気量/換気 モード	調湿モード	設定湿度 (除湿)
	対象 管理点					
室内機	室内機	○	○	×	×	×
ベンティエール	ベンティエール	○	×	○	×	×
DESICA	DESICA	○	×	○ <sup>*3</sup>	○	○
チラー	チラー	○	×	×	×	×
接点 (Dio)	D3Dio External Dio BACnet Dio <sup>*1</sup>	○	×	×	×	×
アナログ (Ao)	External Ao BACnet Ao <sup>*1</sup>	×	×	×	×	×
マルチステート	BACnet Mo <sup>*1</sup>	×	×	×	×	×
エリア	全て <sup>*2</sup>	○	○	○	○	○

制御対象(管理点種別)		設定湿度 (加湿)	運転 モード	風量	設定温度	設定温度 シフト
	対象 管理点					
室内機	室内機	×	○	○	○	○
ベンティエール	ベンティエール	×	×	×	×	×
DESICA	DESICA	○	×	×	×	×
チラー	チラー	×	○	×	○	×
接点 (Dio)	D3Dio External Dio BACnet Dio <sup>*1</sup>	×	×	×	×	×
アナログ (Ao)	External Ao BACnet Ao <sup>*1</sup>	×	×	×	×	×
マルチステート	BACnet Mo <sup>*1</sup>	×	×	×	×	×
エリア	全て <sup>*2</sup>	○	○	○	○	○

制御対象(管理点種別)		リモコン 発停 許可/禁止	リモコン 温度設定 許可/禁止	リモコン 運転モード 許可/禁止	停止 タイマー	アナログ値	マルチ ステート
	対象 管理点						
室内機	室内機	○	○	○	○	×	×
ベンティエール	ベンティエール	○	×	×	×	×	×
DESICA	DESICA	○	×	×	×	×	×
チラー	チラー	○	○	○	×	×	×
接点 (Dio)	D3Dio External Dio BACnet Dio <sup>*1</sup>	×	×	×	×	×	×
アナログ (Ao)	External Ao BACnet Ao <sup>*1</sup>	×	×	×	×	○	×
マルチステート	BACnet Mo <sup>*1</sup>	×	×	×	×	×	○
エリア	全て <sup>*2</sup>	○	○	○	○	○	×

※1 BACnet Dio、BACnet Ao、BACnet Moはオプションになります。

※2 給湯(オプション)管理点は、制御対象外です。

※3 換気量のみ対象。

## 連動制御の制限事項

### • 通信異常の扱い

入力条件には、監視対象(入力管理点)の状態を「成立」または「不成立」のどちらかに設定します。通信異常が発生した場合は、状態がどちらかを決定できないため「不定」として扱います。ただし、入力条件の検出対象が通信異常は除きます。

### • 起動時の扱い

起動時の監視対象(入力管理点)の初期状態を「不定」として扱います。機器の電源をiTMより後に投入すると、その機器の状態が「不定」になる場合があります。電源を投入する際はiTMの電源を最後に投入してください。もしくは、機器の電源投入後にiTMを再起動してください。

### • 機器異常時の扱い

機器異常が発生している場合で、検出対象が「機器異常」以外のとき、その管理点の状態は「不定」として扱います。

### • 点検中の扱い

検出対象の管理点が点検中の場合は、その管理点の状態は「不定」として扱います。制御対象の管理点が点検中の場合、本機能は動作しません。

### • 「不定」の取扱い

「不定」の前後の状態変化(「成立(不成立)→不定」「不定→成立(不成立)」)は、条件成立の始動条件としてとらえません。「不定」の状態から復帰すると、状態変化があるまでは、「不定」前の状態を保持します。

### • 検出対象に「不定」を含む場合の動作

検出対象の管理点の状態に「不定」が含まれる場合、「不定」を除くすべての管理点で成立または不成立すると、その連動プログラムが実行されることがあります。

#### <連動制御が実行される場合>

ある管理点が、成立(不成立)に変化することにより、「不定」を除くすべての管理点で成立(不成立)となる場合は、連動プログラムが実行されます。

(例)

時系列	空調機 1	空調機 2	空調機 3
1	成立	不成立	「不定」
2	成立	成立	「不定」

#### <連動制御が実行されない場合>

ある管理点が、「不定」に変化することにより、「不定」を除くすべての管理点で成立(不成立)となる場合は、連動プログラムは実行されません。

(例)

時系列	空調機 1	空調機 2	空調機 3
1	成立	成立	不成立
2	成立	成立	「不定」

### • プログラム設定直後の条件成立

プログラムを編集または無効から有効へ切り換えるのと同様に入力に変化した場合、タイミングによって条件成立とするときとしないときがあります。自動制御（スケジュール）による室内機の発停・運転モード変更時など、入力に変化するタイミングでは設定変更をしないでください。

### • Internal Aiの更新間隔時間

DESICAの外気温・室内温度・室外湿度・室内湿度をInternal Aiとして使用している場合、Internal Aiの更新間隔は5分ごとになります。

連続更新時間は、5分以上に設定することをおすすめします。

### • リモコングループの扱い(室内機とDESICAをリモコングループにした場合)

リモコンで「換気」運転にした場合、iTMは「送風」運転と認識します。

プログラムで入力管理点のタイプ「室内機」、検出条件「運転モード(送風)」にした場合は、リモコンで運転モードを換気にした場合も上記検出条件に含まれて、始動条件となります。

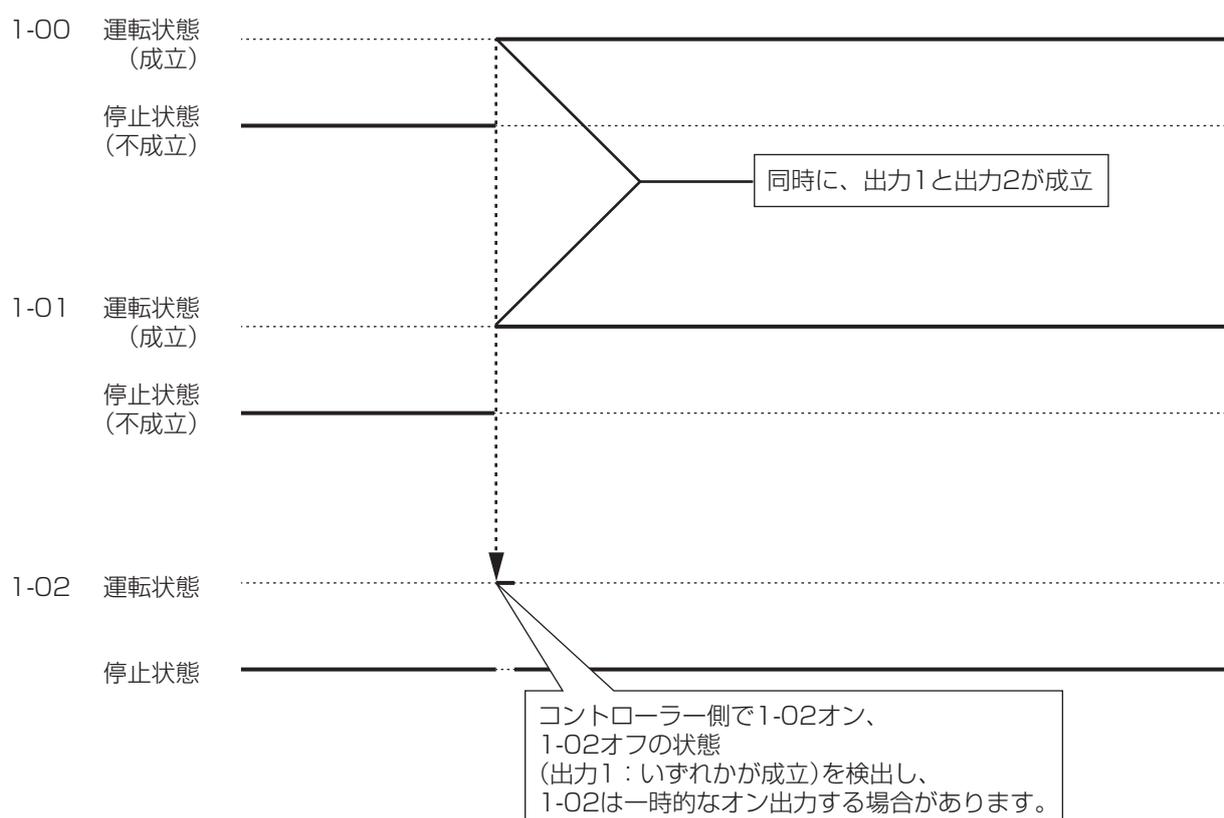
## ■ 連動制御のタイミングによる動作

同時に入力に変化した場合など、タイミングによっては想定と違う動作を一時的に行うことがあります。

(例)

入力：1-00、1-01 出力1：「いずれかが成立」で1-02をオン  
出力2：「すべて成立」で1-02オフ

連続成立時：0分  
というプログラムを設定した場合



**NOTE**

連動制御の設定は汎用的になっていますので、複雑なプログラムを設定することもできます。  
矛盾したまたは不適当な設定を行ってもシステムから警告表示をしません。  
十分に設定内容をご確認のうえご使用ください。

すでに条件が成立して連動制御を実行している最中に、さらに条件が成立した場合には、  
連動制御を実行しません。

(例) 「いずれかがオン」が成立条件の場合、下図のように制御が実行されます。

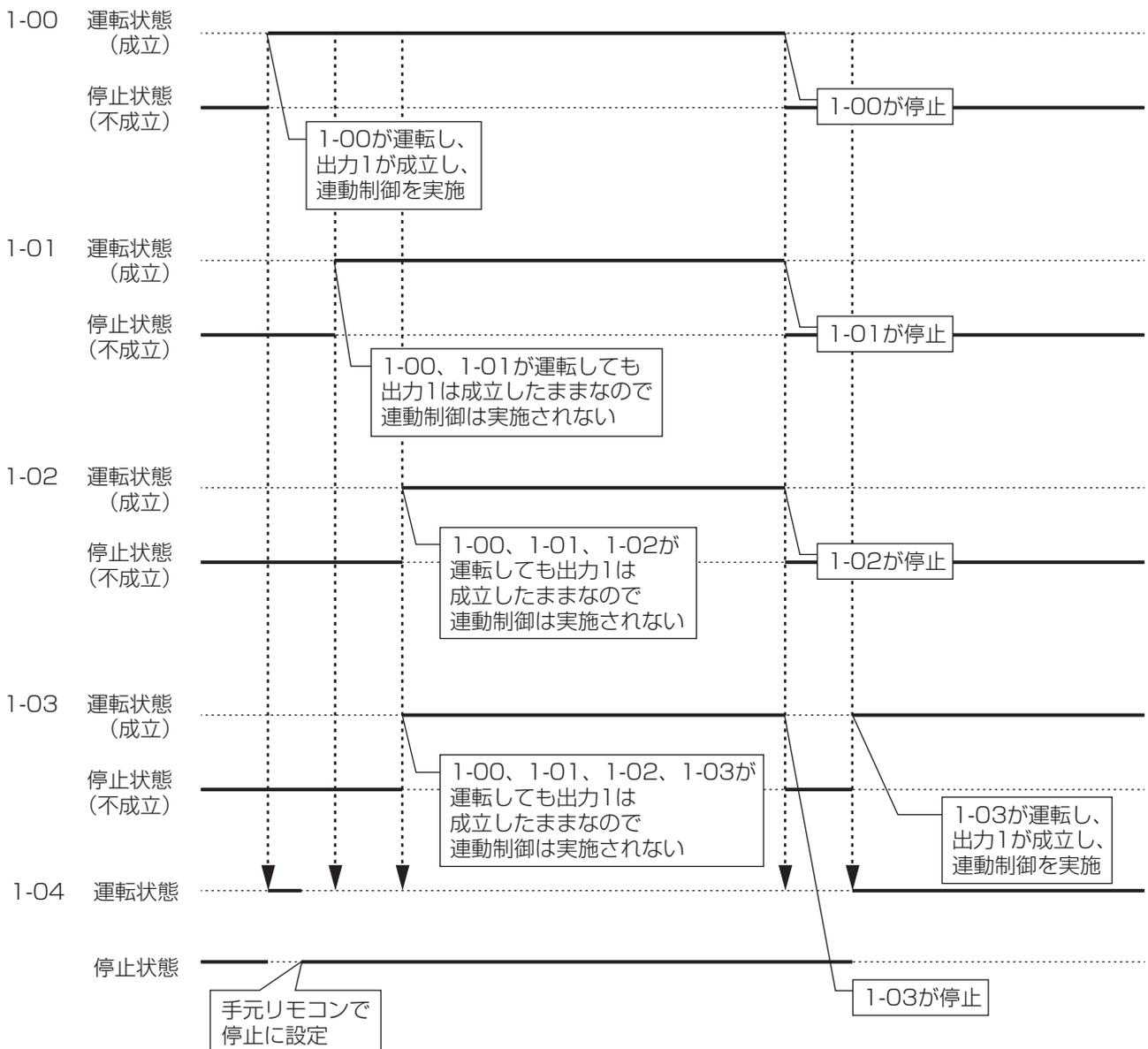
(例 検出対象が発停の場合)

検出対象：発停

入力：1-00、1-01、1-02、1-03 出力1：「いずれかが成立」で 1-04をオン

連続成立時：0分

というプログラムを設定した場合



## 連動プログラムの設定

下記のモデルケースを例に、連動プログラムの作成・設定の手順を説明します。

- オフィスBの室内機のどれかが運転した場合、ベンティエールを運転させる
- また、オフィスBの室内機がすべて停止した場合、ベンティエールを停止させる

連動プログラム名称：ベンティエール制御用プログラム

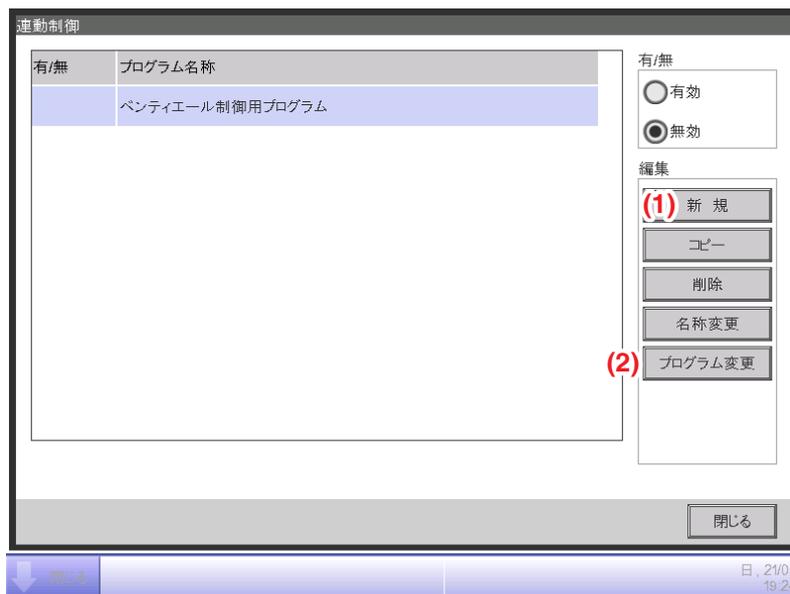
制御対象：オフィスB(室内機「a」、室内機「b」、ベンティエール「c」で構成されたエリア)

制御内容：(出力1)室内機「a」、室内機「b」のどちらかが運転した場合、ベンティエール「c」を運転させる。連続成立時間は「10分」とする。

(出力2)室内機「a」、室内機「b」の両方が停止した場合、ベンティエール「c」を停止させる。

### ■連動プログラムの作成

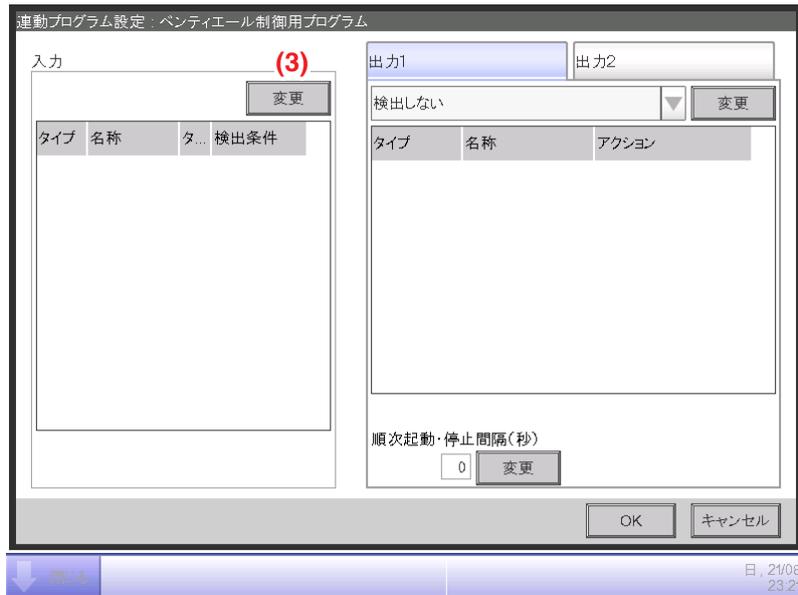
メニューリスト画面の自動制御タブで (2) 連動制御設定ボタンをタッチして、連動制御画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面参照)



#### 1. 連動プログラムの名称設定

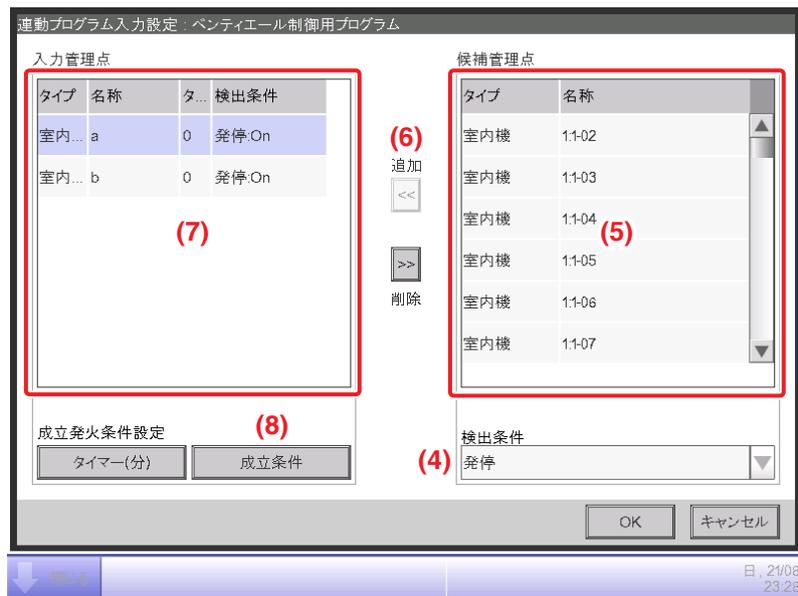
(1) 新規ボタンをタッチして名称入力ダイアログを表示し、プログラムの名称を設定します。「ベンティエール制御用プログラム」と入力します。

一覧に登録された「ベンティエール制御用プログラム」を選択し、(2) プログラム変更ボタンをタッチして連動プログラム設定画面を表示させます。



## 2. 検出対象の設定

(3) 変更ボタンをタッチして、連動プログラム入力設定画面を表示させます。



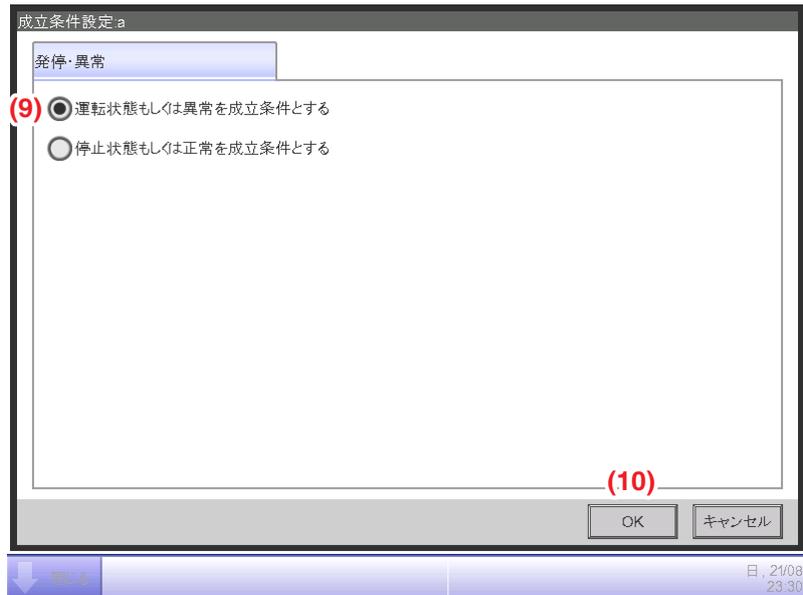
(4) 検出条件コンボボックスで「発停」を選択すると、発停を検出対象として登録可能な管理点が (5) に一覧で表示されます。

室内機「a」を選択し、(6) 追加ボタンをタッチすると (7) に登録されます。

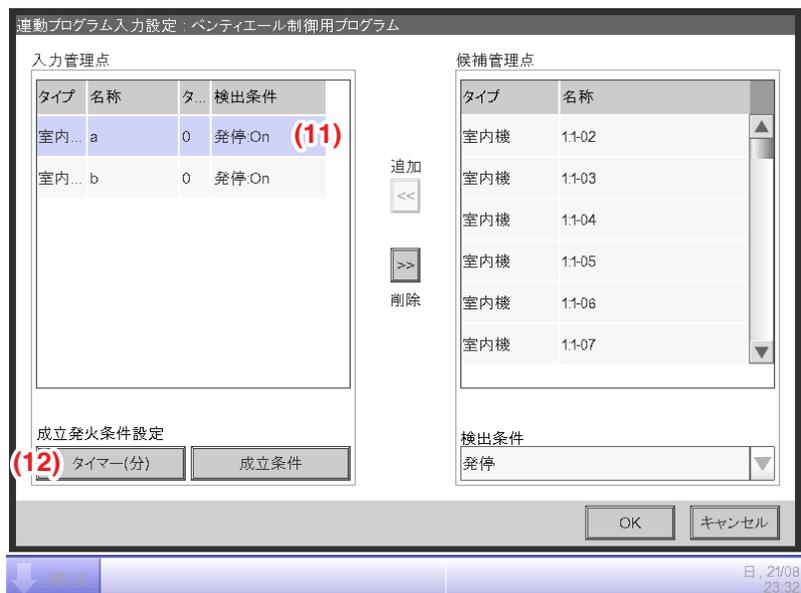
同様に室内機「b」も登録します。

## 3. 成立条件の設定

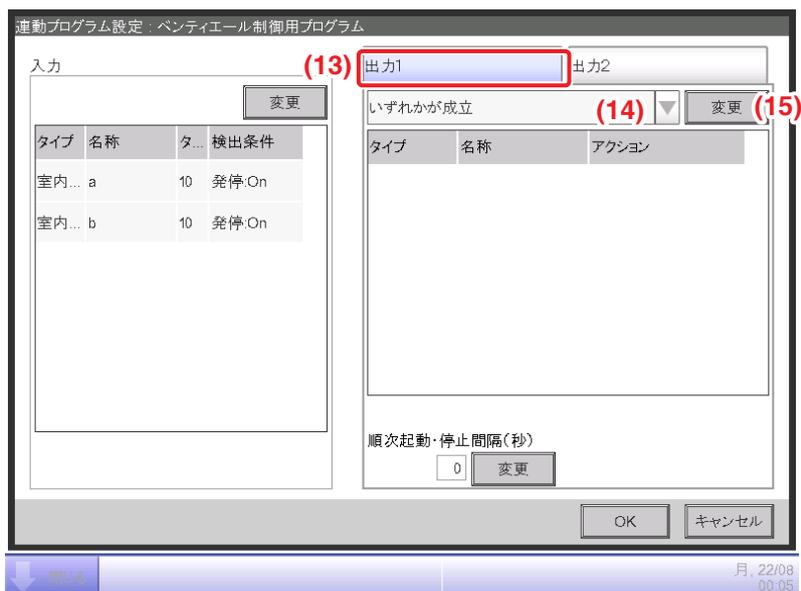
(7) に表示された室内機「a」を選択し、(8) 成立条件ボタンをタッチして成立条件設定画面を表示させます。



(9) 「運転状態もしくは異常を成立条件とする」を選択して (10) OKボタンをタッチし、連動プログラム入力設定画面に戻ります。  
同様に室内機「b」も設定します。



(11) 室内機「a」を選択し、(12) タイマー(分) ボタンをタッチして数値入力ダイアログを表示させます。  
連続成立時間「10」を入力してOKボタンをタッチし、連動プログラム設定画面に戻ります。  
同様に室内機「b」も設定します。



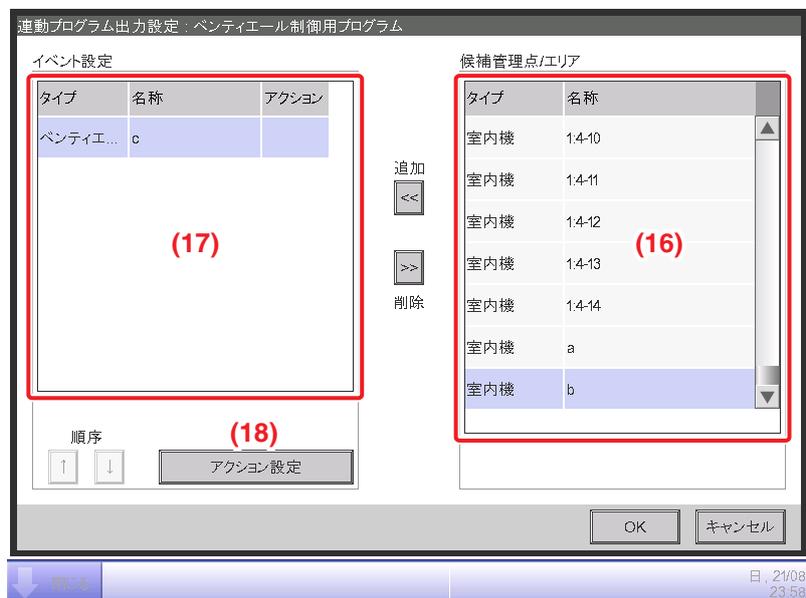
(13) 出力1タブが表示されていることを確認し、

(14) 入力条件コンボボックスで「いずれかが成立」を選択します。

これで「室内機「a」もしくは室内機「b」いずれかが運転状態になり、10分間継続した場合に条件成立とみなす」という入力の設定ができました。

#### 4. 出力対象の設定

(15) 変更ボタンをタッチして連動プログラム出力設定画面を表示させます。

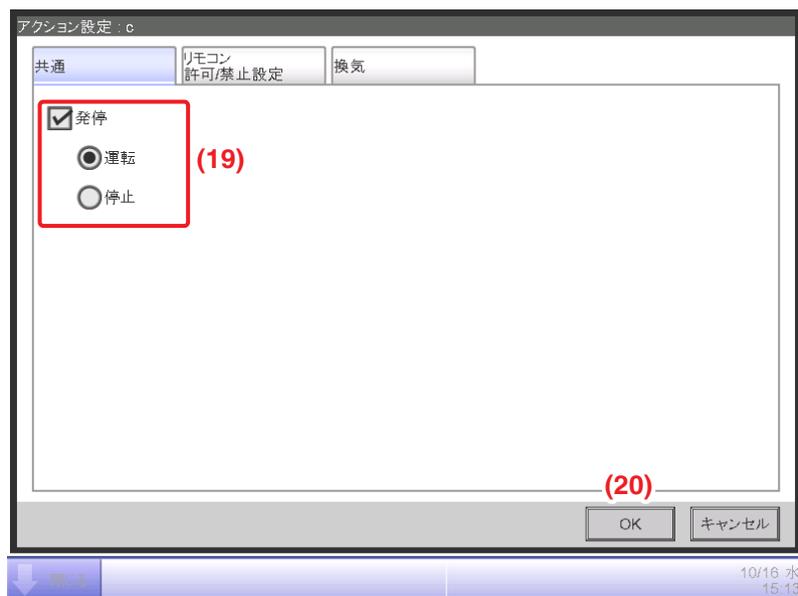


(16) に出力先に登録可能な管理点およびエリアの一覧が表示されます。

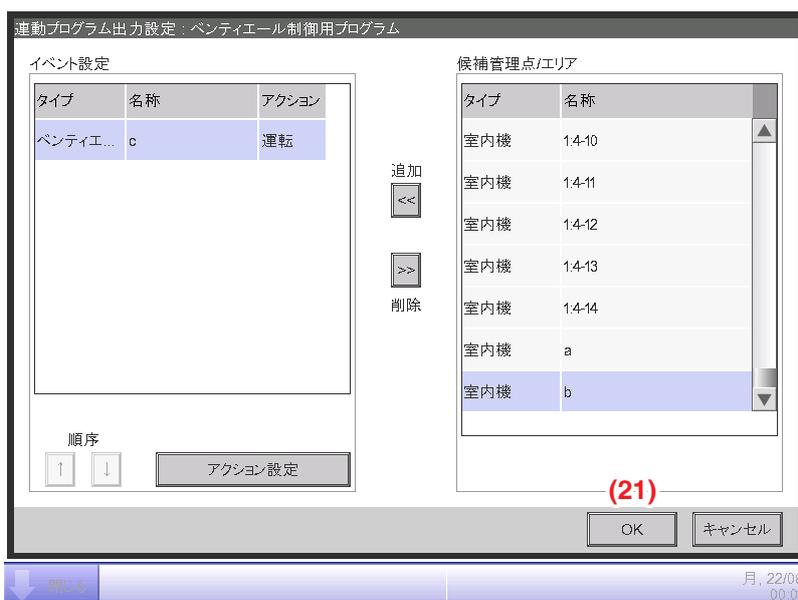
ペンティエール「c」を選択し追加ボタンをタッチすると、(17) に出力イベントの対象として登録されます。

#### 5. 出力アクションの設定

(17) に登録されたペンティエール「c」を選択し (18) アクション設定ボタンをタッチしてアクション設定画面を表示させます。



共通タブで (19) 発停チェックボックスにチェックを入れ、運転ラジオボタンを選択します。  
 (20) OKボタンをタッチして連動プログラム出力設定画面に戻ります。

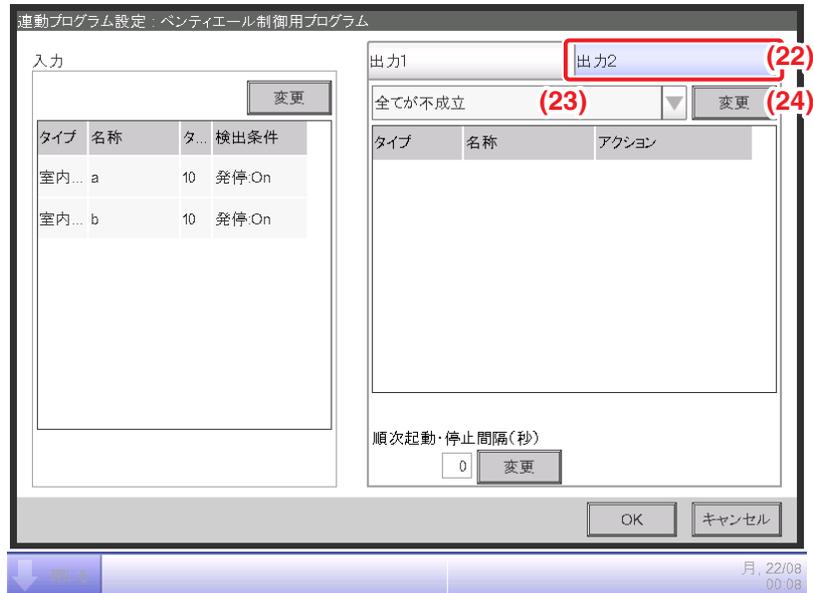


(21) OKボタンをタッチして連動プログラム設定画面に戻ります。

これで「室内機「a」もしくは室内機「b」いずれかが運転状態になり、10分間継続した場合にベンティエール「c」を運転する」というプログラムの出力1が設定できました。

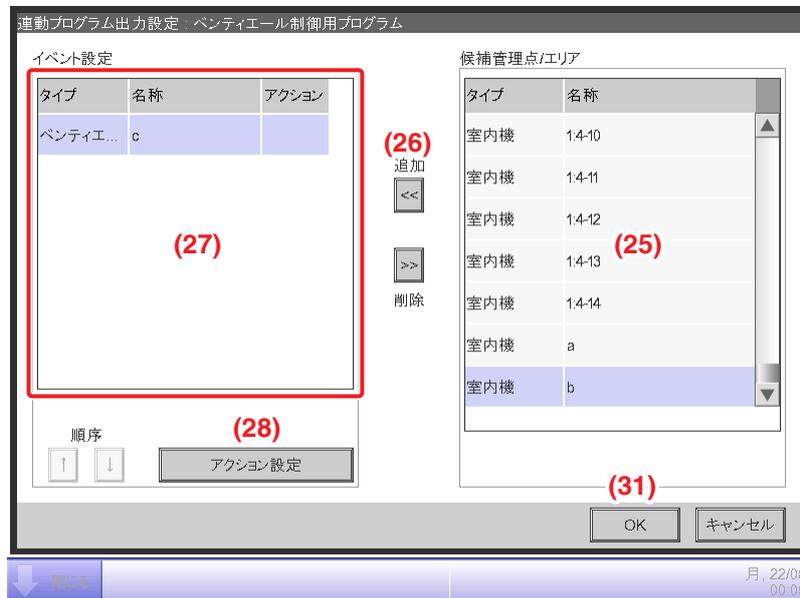
## ■出力2の設定

出力1と同じ検出対象・出力対象を使用して、異なる出力動作を設定します。



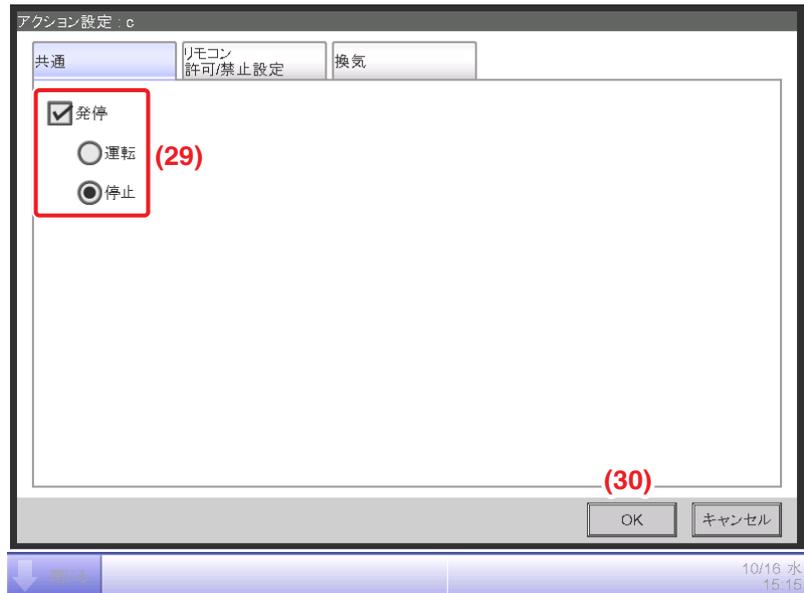
(22) 出力2タブを選択し、(23) 入力条件コンボボックスで「全てが不成立」を選択します。

(24) 変更ボタンをタッチして連動プログラム出力設定画面を表示させます。



(25) からベンティエール「c」を選択し(26) 追加ボタンをタッチすると、(27) に出力イベントの対象として登録されます。

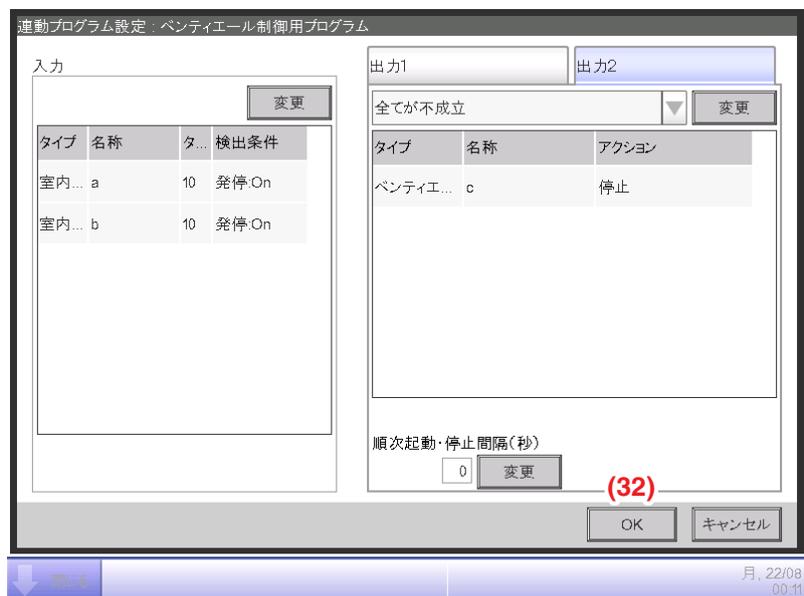
(27) に登録されたベンティエール「c」を選択し、(28) アクション設定ボタンをタッチしてアクション設定画面を表示させます。



(29) 発停チェックボックスにチェックを入れ、停止ラジオボタンを選択します。

(30) OKボタンをタッチして連動プログラム出力設定画面に戻ります。

さらに連動プログラム出力設定画面で (31) OKボタンをタッチして、連動プログラム設定画面に戻ります。



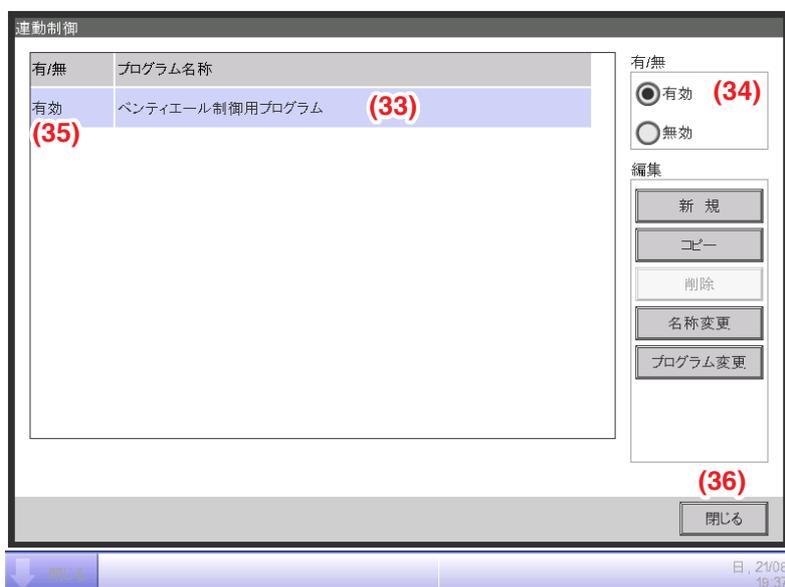
これで「室内機「a」および室内機「b」の両方が停止状態になった場合に、バンティエール「c」を停止する」という出力2の設定ができました。

以上で「バンティエール制御用プログラム」がすべて完成しました。

(32) OKボタンをタッチして連動制御画面に戻ります。

## ■連動プログラムの有効化

作成した連動プログラムを有効にします。



(33) 「ベンティエール制御用プログラム」を選択し (34) 有効ラジオボタンを選択します。一覧の (35) 有/無欄が「有効」になったことを確認し、(36) 閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

## 画面とボタンの詳細

### ■連動制御画面

メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(2) 連動制御設定** ボタンをタッチしたときに表示されます。(4-5 メニューリスト画面参照)

連動プログラムの新規作成、削除、有効/無効の切換えなどを行います。



#### (1) 連動プログラム一覧表示

登録されている連動プログラムを表示します。

#### (2) 有/無ラジオボタン

連動プログラムの「有効」または「無効」を設定します。

#### (3) 新規ボタン

連動プログラムを新規作成します。タッチすると名称入力ダイアログが表示されます。

連動プログラムは最大500点まで作成できます。

プログラム名称は全角・半角問わず1～32文字の範囲で設定できます。

すでにあるプログラムと同じ名称は使用できません。

#### (4) コピーボタン

連動プログラム一覧で選択したプログラムを複製します。

タッチすると名称入力ダイアログが表示されます。

#### (5) 削除ボタン

連動プログラム一覧で選択したプログラムを削除します。

タッチすると削除確認ダイアログが表示されます。

---

**(6) 名称変更**ボタン

連動プログラム一覧で選択したプログラムの名称を変更します。

タッチすると文字入力ダイアログが表示されます。

**(7) プログラム変更**ボタン

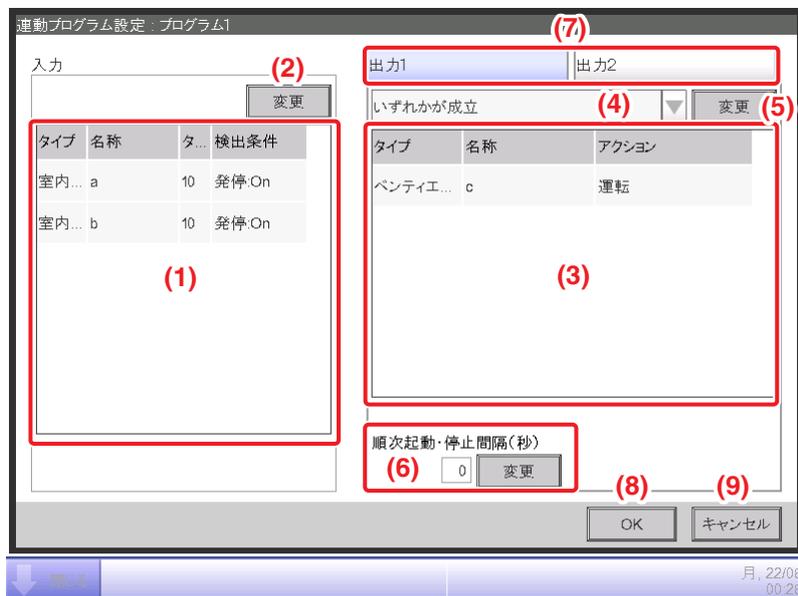
連動プログラム一覧で選択したプログラムを編集するための、連動プログラム設定画面を表示します。

**(8) 閉じる**ボタン

画面を閉じます。

## ■連動プログラム設定画面

連動制御画面で**プログラム変更**ボタンをタッチしたときに表示されます。  
連動プログラムの詳細を設定します。



### (1) 入力一覧表示

連動プログラムの入力条件を表示します。

### (2) 変更ボタン(入力)

連動の入力条件を設定するための、連動プログラム入力設定画面を表示します。

### (3) 出力一覧表示

連動プログラムの出力を表示します。

### (4) 入力条件コンボボックス

連動出力の入力条件を選択します。

入力条件は、「検出しない/いずれかが成立/全てが成立/いずれかが不成立/全てが不成立」から選択します。

### (5) 変更ボタン(出力)

連動出力のイベントを設定するための、連動プログラム出力設定画面を表示します。

### (6) 順次起動・停止間隔(秒)表示

出力遅延時間を設定します。複数の管理点に運転・停止の指令を送るときに、指令出力間の間隔を設定することができます。

変更ボタンをタッチして数値入力ダイアログを表示して入力します。

入力可能範囲は1秒刻みで0～60秒です。

### (7) 出力1/出力2選択タブ

出力設定の1と2を切り換えます。1つの連動プログラムには2つの出力設定が可能です。

---

**(8) OKボタン**

編集結果を保存し、画面を閉じます。

**(9) キャンセルボタン**

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■連動プログラム入力設定画面

連動プログラム設定画面で**変更**ボタン(入力)をタッチしたときに表示されます。  
連動プログラムの入力を設定します。



### (1) 入力管理点一覧表示

連動プログラム入力の監視対象の管理点一覧を表示します。

### (2) タイマー(分) ボタン

連続成立時間を設定するための数値入力ダイアログを表示します。

入力可能範囲は1分刻みで0～30分です。(検出条件がアナログ値条件の場合は1～30分)

### (3) 成立条件ボタン

入力管理点一覧で選択した管理点に対して成立条件を設定するための、成立条件設定画面を表示します。

### (4) 候補管理点一覧表示

検出条件コンボボックスで選択した検出条件に対応する、連動プログラム入力の監視対象候補管理点の一覧を表示します。

### (5) 検出条件コンボボックス

候補管理点一覧に表示する監視対象候補管理点の検出対象を選択します。

検出対象は、「発停/機器異常/アナログ上限異常/アナログ下限異常/運転モード/アナログ値/マルチステート値/通信異常」から選択します。

### (6) 追加ボタン

候補管理点一覧で選択した候補管理点を監視対象として入力管理点一覧に登録します。

監視対象の管理点は最大50点まで登録できます。ただしエリアは登録できません。

### (7) 削除ボタン

入力管理点一覧で選択した監視対象管理点を削除します。

---

**(8) OKボタン**

編集結果を保存し、画面を閉じます。

**(9) キャンセルボタン**

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■ 成立条件設定画面

連動プログラム入力設定画面で**成立条件**ボタンをタッチしたときに表示されます。

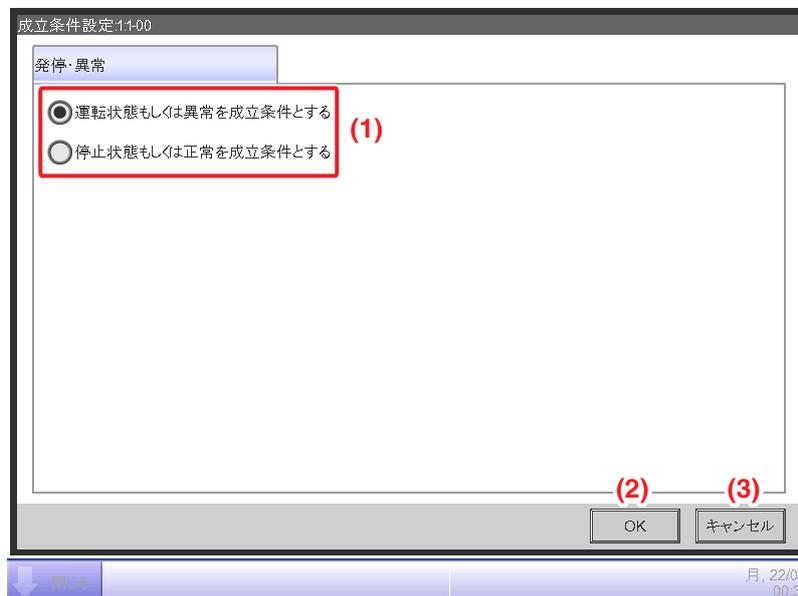
入力の成立条件を設定します。

**発停・異常/運転モード/アナログ値/マルチステート値**の4種類のタブがあり、それぞれのタブで設定できる検出対象が異なります。選択した監視対象管理点の種別に応じたタブが表示されます。

## ■ 発停・異常タブ (成立条件設定画面)

成立条件設定画面で**発停・異常**タブをタッチしたときに表示されます。

検出対象の運転・停止、機器異常、アナログ上限値異常、アナログ下限値異常、通信異常の成立条件を設定します。



### (1) 成立条件ラジオボタン

成立条件を、「運転状態もしくは異常を成立条件とする/停止状態もしくは正常を成立条件とする」から選択します。

### (2) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

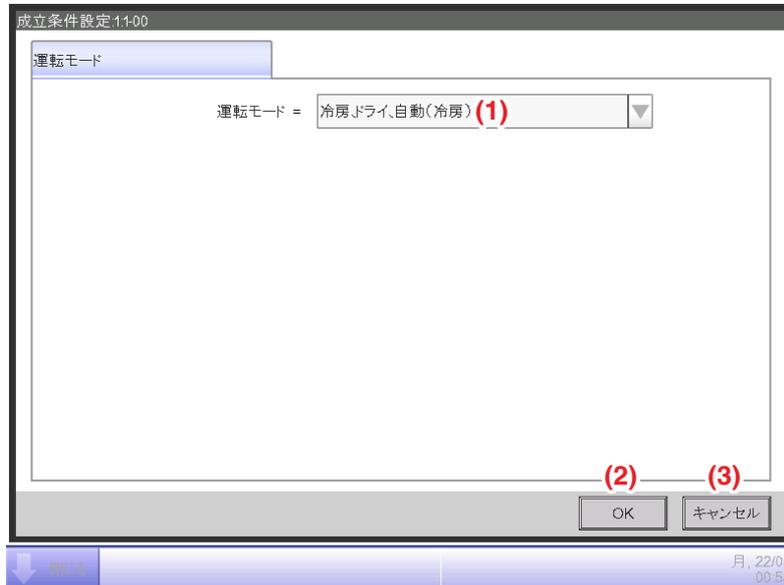
### (3) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■ 運転モードタブ (成立条件設定画面)

成立条件設定画面で**運転モード**タブをタッチしたときに表示されます。

検出対象の運転モードの成立条件を設定します。



### (1) 運転モード成立条件コンボボックス

成立とみならず運転モードを選択します。

運転モードは「冷房、ドライ、自動(冷房)」のいずれかと一致・「暖房、自動(暖房)」のいずれかと一致・「送風」と一致から選択します。

### (2) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (3) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■アナログ値タブ(成立条件設定画面)

成立条件設定画面で**アナログ値**タブをタッチしたときに表示されます。

検出対象のアナログ値条件を設定します。

### (1) アナログ値1表示

入力管理点で選択した管理点の名称を表示します。

### (2) 不等号選択ラジオボタン

アナログ値条件式の不等号を「>」または「<」から選択します。

### (3) アナログ値2設定

アナログ値条件式の右辺式を設定します。

#### (a) 定数値入力設定

右辺式を定数値で指定する場合に選択します。

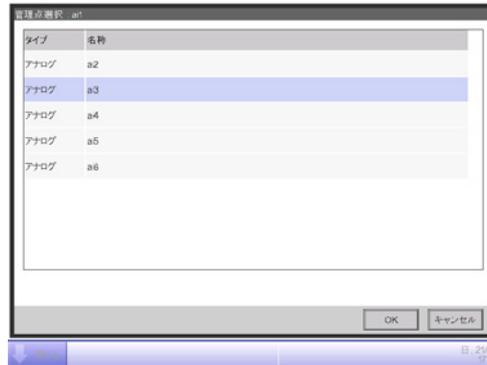
**変更**ボタンをタッチし数値入力ダイアログを表示して入力します。

入力可能範囲は、付録(2. 設定項目一覧<成立条件設定画面の設定項目一覧表>)をご覧ください。

#### (b) 管理点入力設定

右辺式を管理点とオフセット値で指定する場合に選択します。

(c) 管理点**変更**ボタンをタッチすると管理点選択画面が表示されるので、一覧から1つ選択します。



(d) オフセット**変更**ボタンをタッチすると数値入力ダイアログが表示されるので、オフセット値を入力します。

入力可能範囲は、付録(2. 設定項目一覧<成立条件設定画面の設定項目一覧表>)をご覧ください。

**(4) 不感帯入力設定**

不感帯幅を設定します。

**変更**ボタンをタッチすると数値入力ダイアログが表示されるので入力します。

入力可能範囲は、付録(2. 設定項目一覧<成立条件設定画面の設定項目一覧表>)をご覧ください。

**(5) OKボタン**

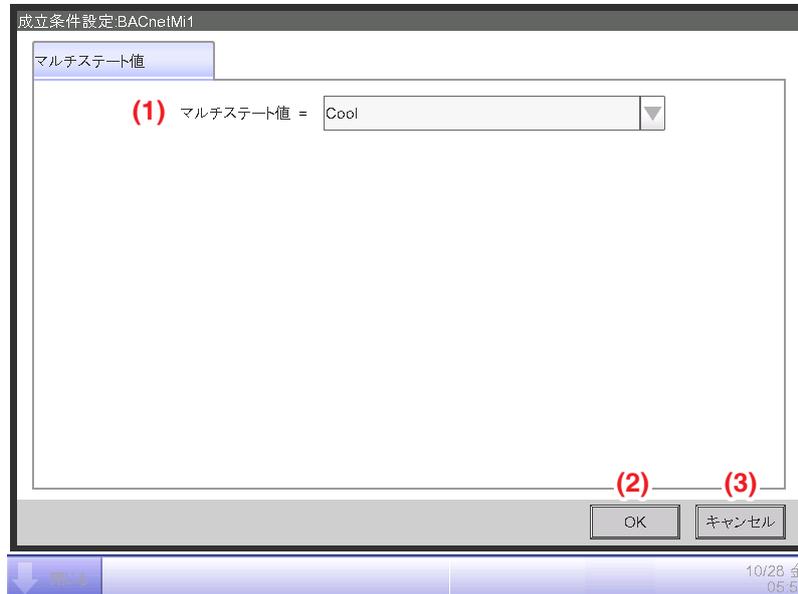
編集結果を保存し、画面を閉じます。

**(6) キャンセルボタン**

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■ マルチステート値タブ (成立条件設定画面)

成立条件設定画面でマルチステート値タブをタッチしたときに表示されます。  
検出対象のマルチステート値の成立条件を設定します。



### (1) マルチステート値コンボボックス

成立とみなすマルチステート値を選択します。

### (2) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (3) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■アナログ値条件の設定

検出対象のアナログ値条件は、外気冷房を行う場合や室温の設定範囲内のときだけ空調機を運転・停止する場合などに利用します。

条件式は、定数値との比較とアナログ値同士の比較の2とおりから選択できます。

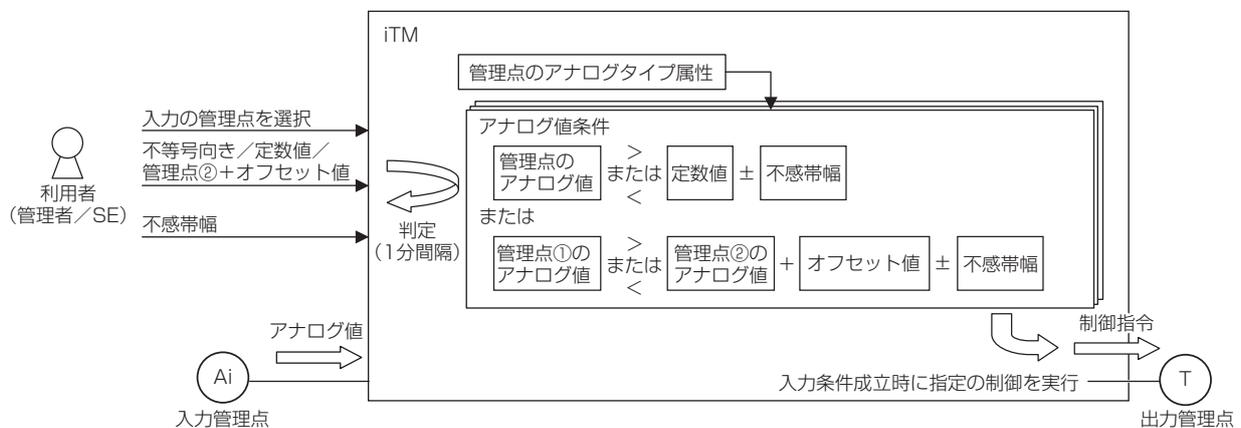
さらに比較は範囲指定ができるように「>」と「<」の2とおりから選択できます。

条件が成立した場合は入力を成立とし、不成立の場合は入力を不成立とします。

入力は1分ごとに成立/不成立を判定します。

また条件式にはアナログ値が判定値付近を上下したときに、制御が繰返し発生しないように不感帯幅を設定できます。

アナログ値同士の条件式の場合、アナログタイプ(温度・湿度・CO<sub>2</sub>・汎用)が同じ管理点同士のみ条件式に指定できます。

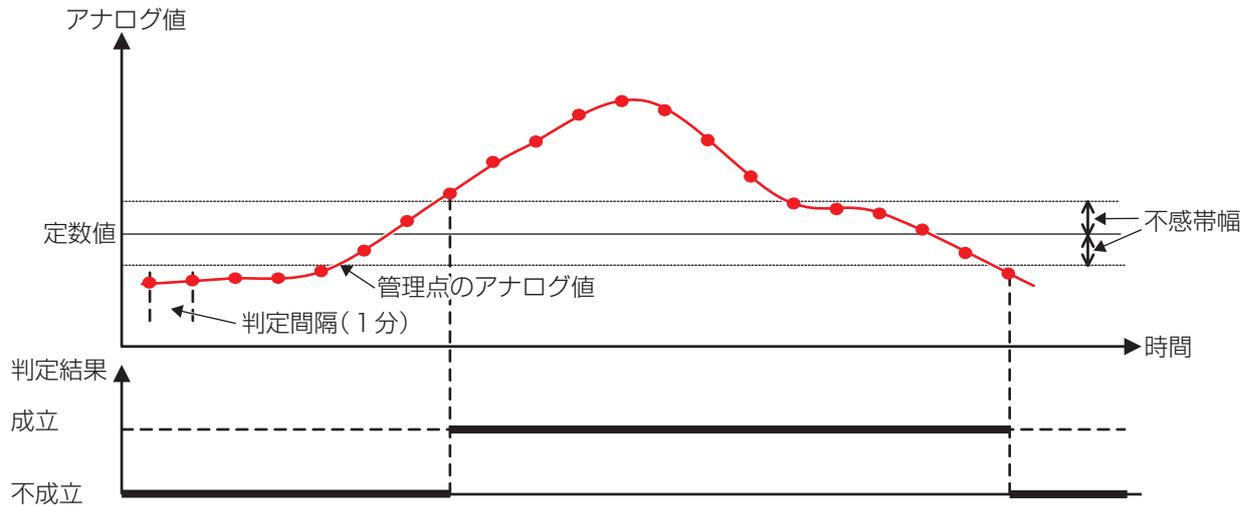


アナログ値条件判定の動作例を次に示します。

・管理点と定数値の大小比較判定は次のように行う。

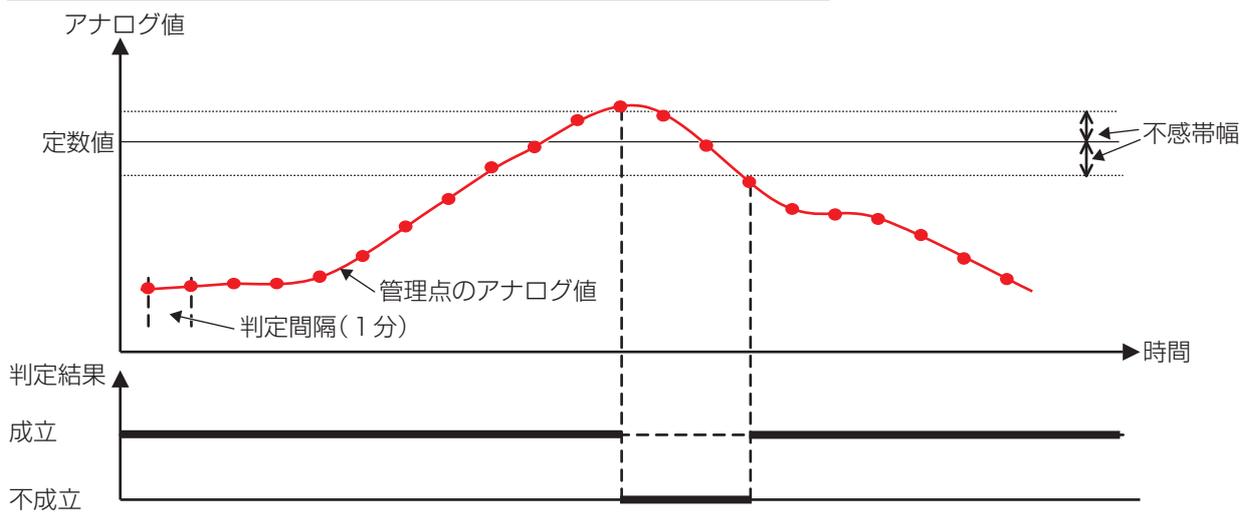
例：[管理点のアナログ値 > 定数値 ± 不感帯幅]

管理点アナログ値 > 定数値 + 不感帯幅	成立
管理点アナログ値 < 定数値 - 不感帯幅	不成立
上記以外	判定しない(前回の判定を継続)



例：[管理点のアナログ値 < 定数値 ± 不感帯幅]

管理点アナログ値 < 定数値 - 不感帯幅	成立
管理点アナログ値 > 定数値 + 不感帯幅	不成立
上記以外	判定しない(前回の判定を継続)

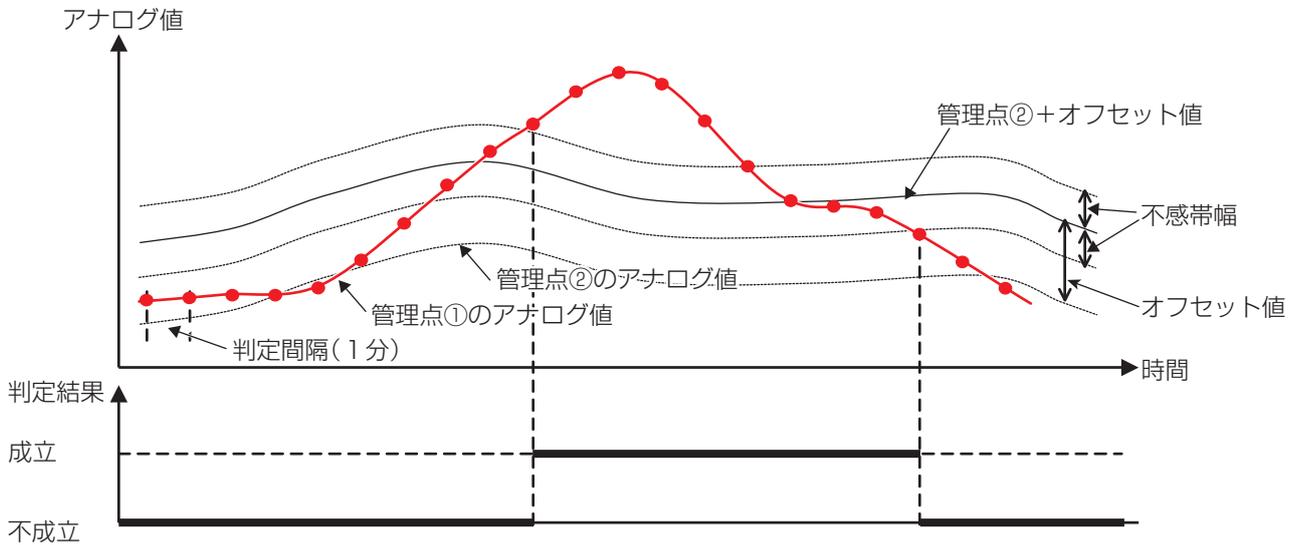


なお、上記2例を組み合わせることにより、範囲条件を設定することができる。

同様に、アナログ値同士の判定は次のように行う。

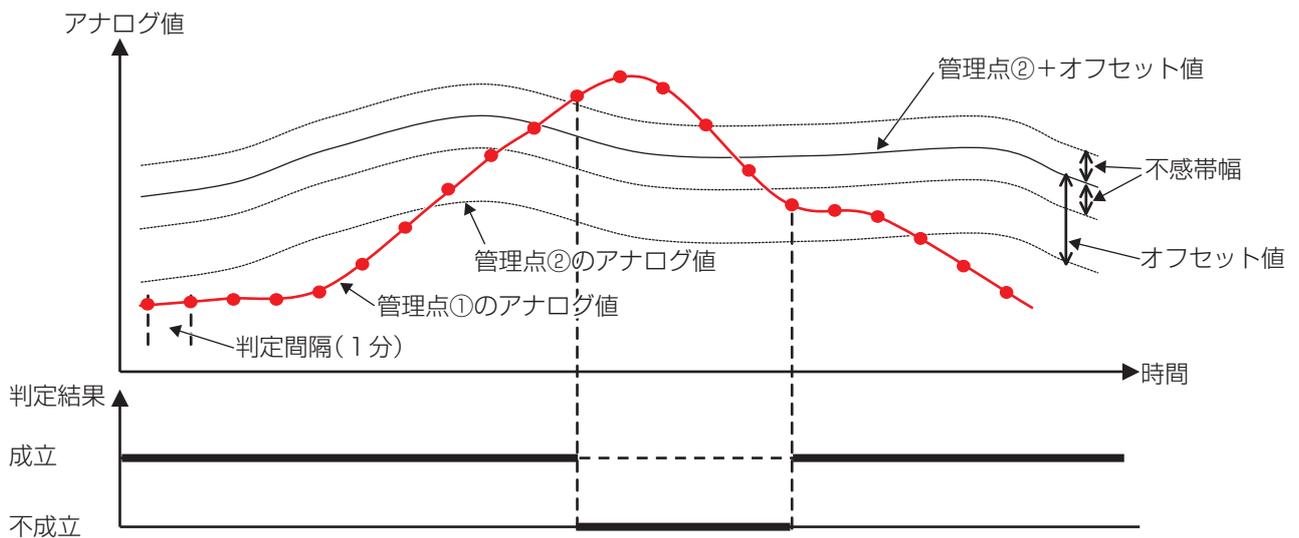
例：[管理点のアナログ値 > 管理点のアナログ値 + オフセット値 ± 不感帯幅]

管理点①アナログ値 > 管理点②アナログ値 + オフセット値 + 不感帯幅	成立
管理点①アナログ値 < 管理点②アナログ値 + オフセット値 - 不感帯幅	不成立
上記以外	判定しない(前回の判定を継続)



例：[管理点のアナログ値 < 管理点のアナログ値 + オフセット値 ± 不感帯幅]

管理点①アナログ値 < 管理点②アナログ値 + オフセット値 - 不感帯幅	成立
管理点①アナログ値 > 管理点②アナログ値 + オフセット値 + 不感帯幅	不成立
上記以外	判定しない(前回の判定を継続)



なお、上記2例を組み合わせることにより、範囲条件を設定することができる。

---

## NOTE

- アナログ値条件の設定は、不適切な設定（室温>200℃の条件など）であっても警告表示などを一切行いませんので、ご注意ください。
- アナログセンサーの故障などにより異常な値が入力された場合、アナログ値条件が常に成立（または不成立）となる可能性があります。運用時にはアナログ上下限異常発生時の連動プログラムを別途作成することをお勧めします。

## ■連動プログラム出力設定画面

連動プログラム設定画面で**変更**ボタン(出力)をタッチしたときに表示されます。  
連動プログラムの出力イベントの設定を行います。



### (1) イベント設定一覧表示

出力イベントの対象管理点/エリアの一覧を表示します。

### (2) 順序↑↓ボタン

イベント設定一覧で選択した出力イベントの順序を上下に移動させます。

### (3) アクション設定ボタン

イベント設定一覧で選択した出力イベントの動作を設定するためのアクション設定画面を表示します。

### (4) 候補管理点/エリア一覧表示

出力イベントの対象候補管理点/エリアの一覧を表示します。

### (5) 追加ボタン

候補管理点/エリアで選択した候補管理点/エリアを、出力イベントの対象としてイベント設定一覧に登録します。

出力イベント対象は最大25個までの管理点または1つのエリアが登録できます。

1つの連動プログラムに管理点とエリアを同時に登録することはできません。

### (6) 削除ボタン

イベント一覧で選択した対象管理点/エリアを削除します。

### (7) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (8) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

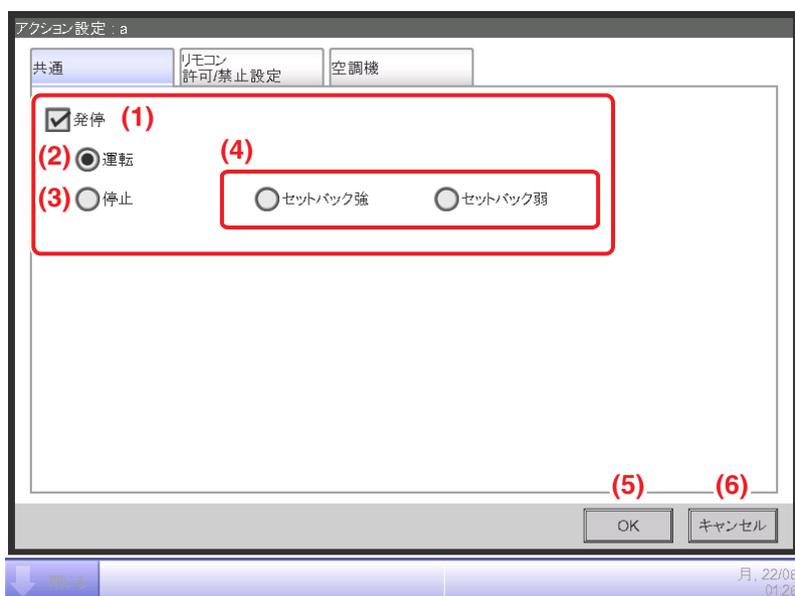
## ■アクション設定画面

連動プログラム出力設定画面で**アクション設定**ボタンをタッチしたときに表示されます。  
連動プログラムの出力イベントの動作設定を行います。

**共通・リモコン許可／禁止設定・空調機・換気・Ao, Mo**の5種類のタブがあり、  
それぞれのタブで設定できるイベント動作が異なります。  
選択した出力管理点/エリアの種別に応じたタブが表示されます。

## ■共通タブ(アクション設定画面)

アクション設定画面で**共通**タブをタッチしたときに表示されます。  
共通項目の動作を設定します。



### (1) 発停設定

制御対象の運転・停止を制御する場合、発停チェックボックスにチェックを入れます。

### (2) 運転ラジオボタン

制御対象を運転する場合に選択します。

### (3) 停止ラジオボタン

制御対象を停止する場合に選択します。

### (4) セットバック強・セットバック弱ラジオボタン

セットバック機能を設定する場合に、ラジオボタンでどちらか一方を選択します。  
現地設定機能のセットバック機能が有効な場合のみ表示されます。

### (5) OKボタン

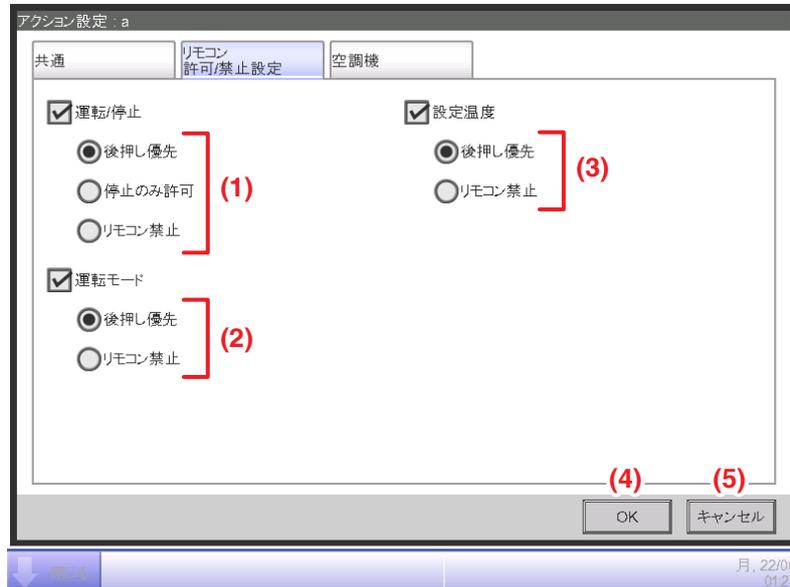
編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (6) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■ リモコン許可／禁止設定タブ(アクション設定画面)

アクション設定画面でリモコン許可／禁止設定タブをタッチしたときに表示されます。  
リモコン禁止／許可を設定します。リモコン禁止／許可機能が無効の場合は表示されません。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、設定内容をラジオボタンで選択します。

### (1) 運転/停止設定

手元リモコンから管理点への運転/停止指示の許可/禁止を設定します。

### (2) 運転モード設定

手元リモコンから管理点への運転モード指示の許可/禁止を設定します。  
制御対象がベンティエール・DESICAの場合、表示されません。

### (3) 設定温度設定

手元リモコンから管理点への設定温度指示の許可/禁止を設定します。  
制御対象がベンティエール・DESICAの場合、表示されません。

### (4) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

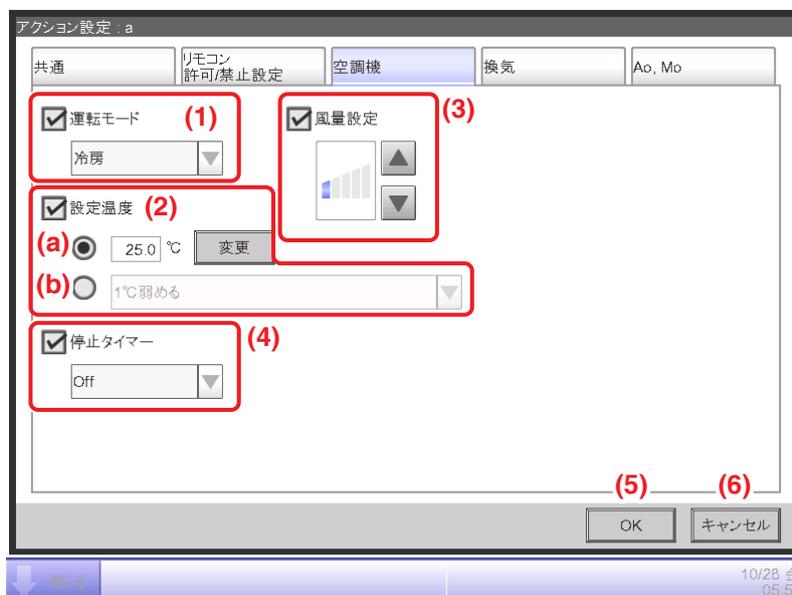
### (5) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■空調機タブ(アクション設定画面)

アクション設定画面で**空調機**タブをタッチしたときに表示されます。

空調機の動作を設定します。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、設定内容をコンボボックスで選択します。

### (1) 運転モード設定

運転モードを設定します。

設定内容は、「送風/冷房/暖房/温調/自動/ドライ」から選択します。

### (2) 設定温度設定

設定温度を設定します。

設定方法は (a) 温度設定または (b) 温度シフト設定のどちらか一方をラジオボタンで選択します。

温度設定を選択した場合は、**変更**ボタンをタッチし、数値入力ダイアログを表示して温度を入力します。入力可能範囲は0.1℃刻みで-30～70℃です。

(空調機に設定される温度は制御対象空調機の設定温度範囲内になります。)

温度シフト設定を選択した場合は、コンボボックスで温度シフト量を選択します。

温度シフト量は、「4℃弱める/3℃弱める/2℃弱める/1℃弱める/1℃強める/2℃強める/3℃強める/4℃強める」から選択します。

---

### (3) 風量設定

風量を設定します。

▲ボタンをタッチすると風量が一段階上がり、▼ボタンをタッチすると一段階下がります。  
設定可能な風量は制御対象によって異なります。

### (4) 停止タイマー設定

消し忘れ防止機能を設定します。

コンボボックスで「有効(On)/無効(Off)」を選択します。

### (5) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (6) キャンセルボタン

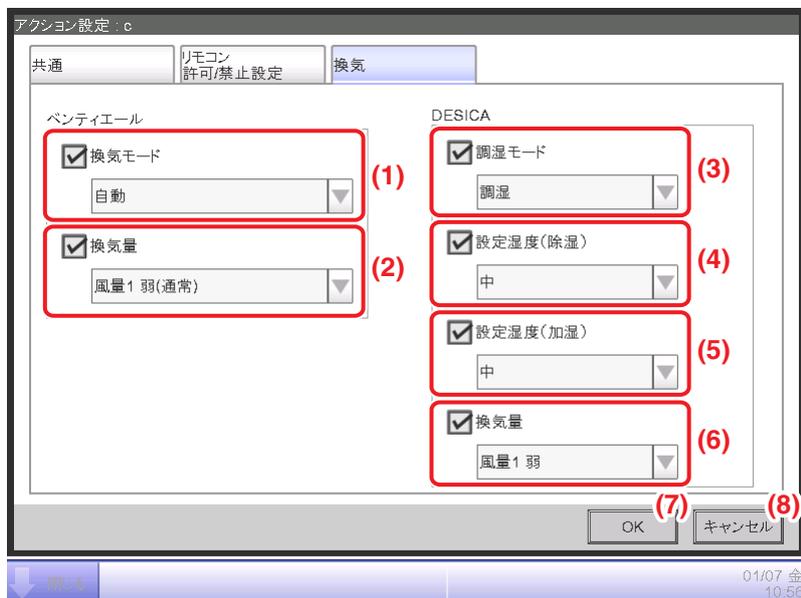
編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■換気タブ(アクション設定画面)

アクション設定画面で**換気タブ**をタッチしたときに表示されます。

ベンティエール・DESICAの動作を設定します。

ベンティエールの初期設定によっては、**換気タブ**が表示されない場合があります。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、コンボボックスで設定内容を選択します。

### (1) 換気モード設定

ベンティエールの換気モードを設定します。

設定内容は、「自動/全熱交/普通」から選択します。

### (2) 換気量設定 (ベンティエール)

ベンティエールの換気量を設定します。

設定内容は、「自動(通常)/風量1 弱(通常)/風量2(通常)/風量3 強(通常)/風量4(通常)/風量5 特強(通常)/自動(フレッシュアップ)/風量1 弱(フレッシュアップ)/風量2(フレッシュアップ)/風量3 強(フレッシュアップ)/風量4(フレッシュアップ)/風量5 特強(フレッシュアップ)」から選択します。

## NOTE

- iTMの換気量設定は5速機の表示になりますので、2速機・3速機がつながっている場合は以下の表にしたがって選択してください。

換気段数	ベンティエール	
	設定	iTMの設定値
2速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
3速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
	特強	風量5 特強

- ベンティエールの換気量を変えるためには、**(2) 換気量設定** (ベンティエール) のコンボボックスを設定する必要があり、DESICAの換気量を変えるためには、**(6) 換気量設定** (DESICA) のコンボボックスを設定する必要があります。エリアで両方の換気量を同時に変える場合は、それぞれのコンボボックスで適切な設定をしてください。

### **(3) 調湿モード設定**

DESICAの調湿モードを設定します。設定内容は、「調湿/換気/除湿/加湿」から選択します。

### **(4) 設定湿度(除湿)設定**

DESICAの設定湿度(除湿)を設定します。設定内容は、「低/中/高」から選択します。

### **(5) 設定湿度(加湿)設定**

DESICAの設定湿度(加湿)を設定します。設定内容は、「低/中/高」から選択します。

### **(6) 換気量設定(DESICA)**

DESICAの換気量を設定します。

設定内容は、「自動/風量1 弱/風量2/風量3 強/風量4/風量5 急」から選択します。

## NOTE

- iTMの換気量設定は5速機の表示になりますので、2速機・3速機がつながっている場合は以下の表にしたがって選択してください。

換気段数	DESICA	
	設定	iTMの設定値
2速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
3速機	自動	自動
	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
	急	風量5 急

- ベンティエールの換気量を変えるためには、**(2) 換気量設定** (ベンティエール) のコンボボックスを設定する必要があり、DESICAの換気量を変えるためには、**(6) 換気量設定** (DESICA) のコンボボックスを設定する必要があります。エリアで両方の換気量を同時に変える場合は、それぞれのコンボボックスで適切な設定をしてください。

### (7) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

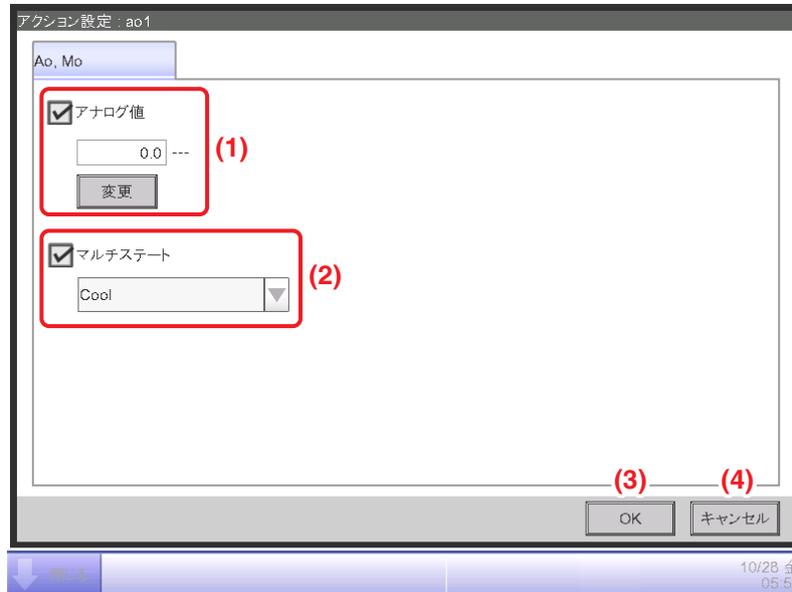
### (8) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

## ■Ao, Moタブ(アクション設定画面)

アクション設定画面でAo, Moタブをタッチしたときに表示されます。

Ao・Moの動作を設定します。



設定する項目のチェックボックスにチェックを入れ、**変更**ボタンで設定内容を入力します。

### (1) アナログ値設定表示

Aoはアナログ信号出力のことです。

本機能ではiTMに接続された信号出力装置(WAGO I/Oモジュール)により、外部機器の調整値に応じた電圧または、電流出力を行います。

(ダンパ・電動弁の開度など、ビル設備機器の制御を行います)

画面上で設定するアナログ値の範囲・刻み幅・単位は試運転時に設定されます。

(単位がない場合もあります)

詳細についてはお買い上げの販売店にお問合わせください。

### (2) マルチステート設定

Moのマルチステート値を選択して設定をします。

画面上で設定するマルチステート値は試運転時に設定されます。

## NOTE

エリアに対してマルチステートは設定できません。

### (3) OKボタン

編集結果を保存し、画面を閉じます。

### (4) キャンセルボタン

編集結果を破棄し、画面を閉じます。

---

## NOTE

各タブの設定項目、設定可能範囲は、  
付録(2. 設定項目一覧<アクション設定画面の設定項目一覧表>)をご覧ください。

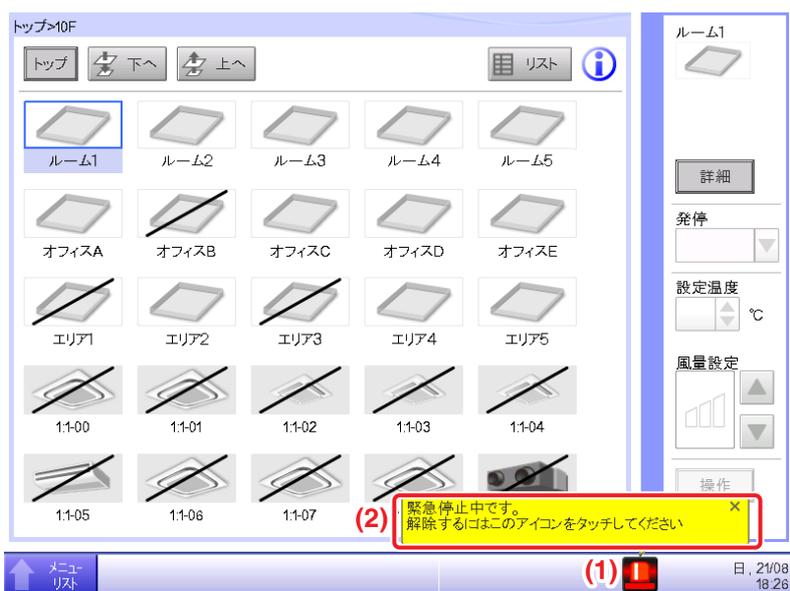
## 5-4 緊急停止の確認

iTMは火災発生などの緊急時に、火災報知器などの機器と連動して自動ですべての管理点の運転を停止し、ブザーを鳴らします。すべての防災信号入力が消されると自動で復旧します。メンテナンスなどで誤って緊急停止した場合、強制的に復旧することもできます。

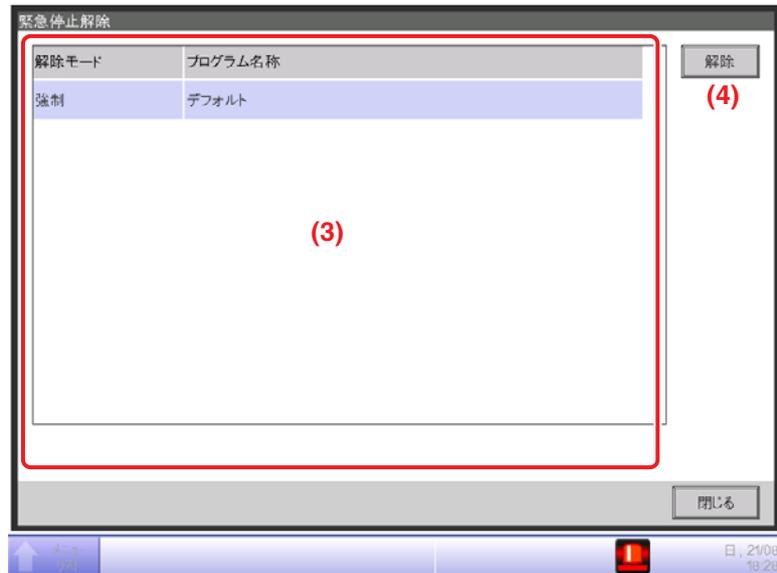
緊急停止した場合の画面表示と、強制解除の手順を説明します。

### NOTE

- 現地設定機能が有効であれば、任意の防災区画に区切って緊急停止を実施できます。  
(8-3 緊急停止の設定参照)
- 現地設定機能が無効の場合、全空調機一括での停止となります。
- 業務用換気機器は、集中制御機器からの火災信号などによる強制停止指令が行われた場合でも、24時間換気運転・ナイトパーズ運転・加湿エレメント乾燥運転により、一定時間送風運転を継続する場合があります。(2019年3月以前生産品)



1. 緊急停止した場合 (1) に緊急停止中アイコンが表示されブザーが鳴ります。  
同時に (2) に「緊急停止中です。解除するにはこのアイコンをタッチしてください」というメッセージが表示されます。
2. (1) のアイコンをタッチすると、緊急停止解除画面が表示されます。



3. (3) に緊急停止プログラムの一覧が表示されるので、解除したいプログラムを選択し (4) 解除ボタンをタッチします。(現地設定機能が無効の場合、プログラムは「デフォルト」だけしか表示されません。)

解除確認ダイアログが表示され、はいボタンをタッチして緊急停止を解除します。

#### NOTE

- 緊急停止プログラムを任意で作成するためには現地設定機能が有効である必要があります。
- 機器の接続状況によっては、緊急停止機能が動作しない場合があります。  
(通信異常や機器異常など)

## 6. システム設定

### 6-1 エリア設定のしかた

エリアの新規作成・削除・属性変更・移動を行い、エリアへの管理点を登録します。

(給湯システムエリアを選択している場合は、編集ができません。)

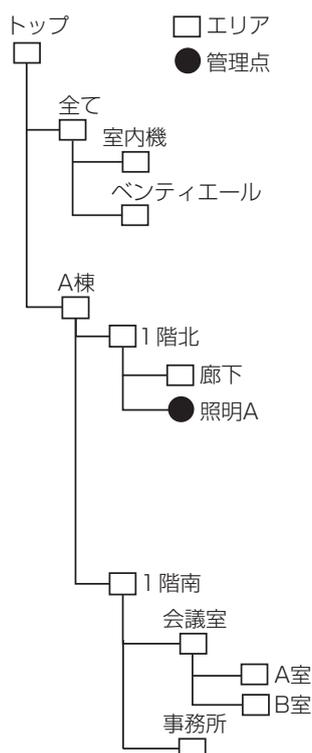
それにとまなうエリアの名称と詳細情報、アイコンの設定、およびエリアの順次起動/停止を設定します。

各設定の手順を説明します。

#### エリアの新規作成

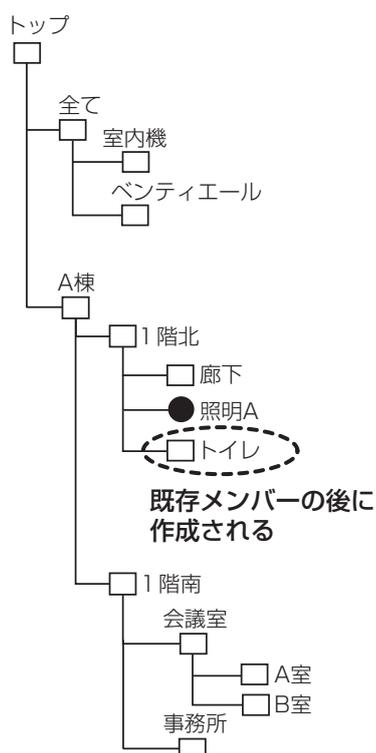
1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(1) エリア設定** ボタンをタッチして、エリア設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)

図 1



2. エリア設定画面の **(1) エリアリスト** には、登録されているエリアをツリー構造 (図 1) で表したときに、上にくるものから順番に一覧表示されます。  
新規作成したエリアを組み込む上位エリアを選択します。(例：1階北)  
**(2)** には、現在表示しているエリアの位置が表示されます。(例：トップ>A棟>1階北)
3. **(3) 新規** ボタンをタッチします。表示される名称入力ダイアログで、新規エリアの名称を入力し **OK** ボタンをタッチします。(例：トイレ)

図2



4. 手順2で選択したエリア(例：1階北)の下に、手順3で作成したエリア(例：トイレ)が  
**エリアリスト**にメンバーとして追加登録されます。(図2)

## NOTE

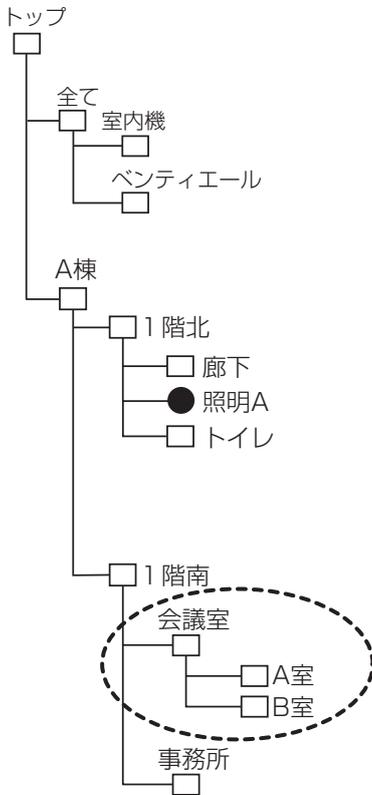
新規作成エリアは、既存管理点およびエリアの下位に作成されます。

下記の場合は新規作成できません。

- エリア数が650個を超える場合。
- エリアリストで10階層目のエリアを選択している場合。
- 選択中のエリア内に、650個の管理点およびエリアが存在する場合。
- 「全て」エリアおよび「全て」エリア直下のエリアを選択している場合。
- ほかのエリアと同じ名称の場合。(ただし「全て」エリア以下に準備されている室内機・ベンティエール・DESICA・Dio・アナログ・マルチステート・パルス・室外機・チラー・給湯との名称の重複は可能です。)

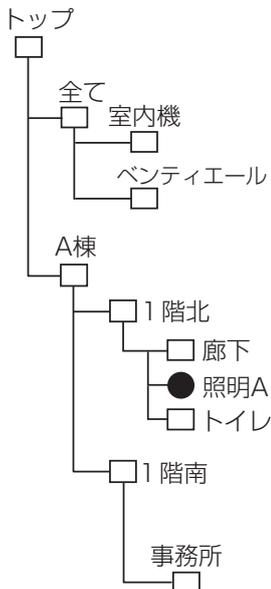
## エリアの削除

図3



1. エリアの削除は、(4) 削除したいエリア (例：会議室) を選択し (5) 削除ボタンをタッチします。削除確認ダイアログが表示され、はいボタンをタッチすると、選択したエリアが削除されます。

図4



2. エリア設定画面の **(6)** エリアリストに現在の登録一覧が表示されます。

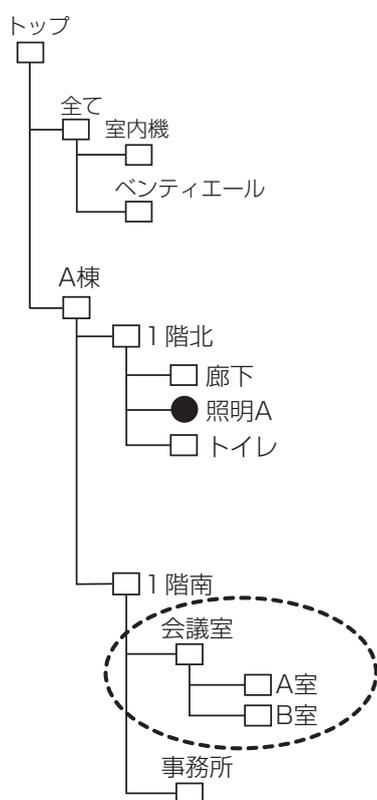
手順1で削除したエリア(例：会議室)とその下位に登録されていたエリア(例：A室/B室)も削除されています。

#### NOTE

「トップ」・「全て」エリアおよび「全て」エリア直下のエリアは削除できません。

### エリアの移動

図5



1. エリアを移動したいときは、**(7)** 移動したいエリア(例：会議室)を選択し、

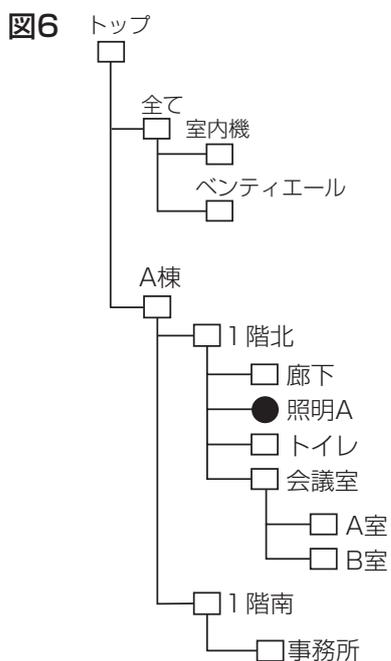
**(8)** 移動ボタンをタッチしエリア移動画面を表示します。



## NOTE

移動させるエリアとその下位のエリア (例：会議室、A室、B室) は表示されません。  
また、移動後にメンバー数の上限を超えるエリアも表示されません。

2. エリア移動画面で (9) 移動先のエリア (例：1階北) を選択し、(10) OKボタンをタッチします。



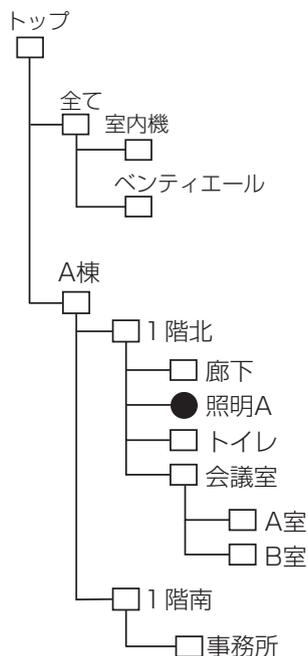
3. 手順2で選択したエリア (例：1階北) の下に、手順1で移動したエリア (11) (例：会議室) が表示されます。

## NOTE

「トップ」・「全て」エリアおよび「全て」エリア下のエリアは移動できません。  
これらに移動させることもできません。

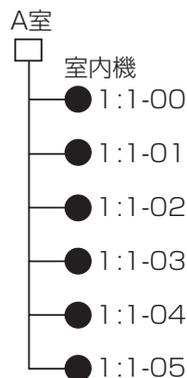
## エリアへの管理点・エリアの登録

図7



1. エリア設定画面の **(12)** エリアリストからメンバーを登録したいエリアを選択します。  
**(13)** 管理点登録ボタンをタッチしてエリアメンバー登録画面を表示します。

図8



2. **(14)** に、編集中心のエリア直下の管理点とエリアが一覧表示されます。表示順序は登録順です。  
**(15)** の一覧には、登録されていない管理点が表示されます。登録したい管理点(複数選択可)を選択し、**(16)** 追加ボタンで移動させ登録します。表示順を変更したい場合は、**(14)** 管理点・エリアの順序を**(17)** ↑ ↓ ボタンで変更します。メンバーから削除したい場合は **(14)** から選択し、**(18)** 削除ボタンで行うことができます。

---

## NOTE

### <ボタンについて>

下記の場合は追加ボタンが操作できません。

- 「全て」エリアおよび「全て」エリア直下を表示している場合。
- エリア内に650個以上のメンバーが存在する場合。
- 「全て」エリアに登録されている管理点が1300個を超える場合。

下記の場合は削除ボタンが操作できません。

- 「全て」エリアおよび「全て」エリアの直下を表示している場合。
- エリアを選択している場合。

### <エリアに管理点を登録する場合の注意>

- iTMから設定温度変更を操作できない機種（例：外気処理エアコン）と設定温度変更を操作できる機種を同じエリアに入れる場合は必ず、設定温度変更を操作できる機種をエリアメンバー登録画面のメンバーリストの一番上に登録してください。

3. (19) ジャンプボタンは、(14) の順番を一気に変更するときに使用します。

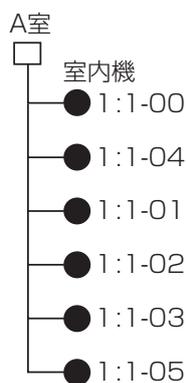
移動させたい管理点・エリア(例1：1-04)を選択し (19) ジャンプボタンをタッチすると表示順序変更画面が表示されます。移動させたい管理点・エリアは複数選択可能です。



4. (20) には、エリアメンバー登録画面で選択した管理点・エリアを除いた一覧が表示されます。

移動先を選択し (21) OKボタンをタッチします。手順3で選択した管理点・エリア(例1：1-04)が、表示順序変更画面で選択した管理点・エリアの下に移動されます。

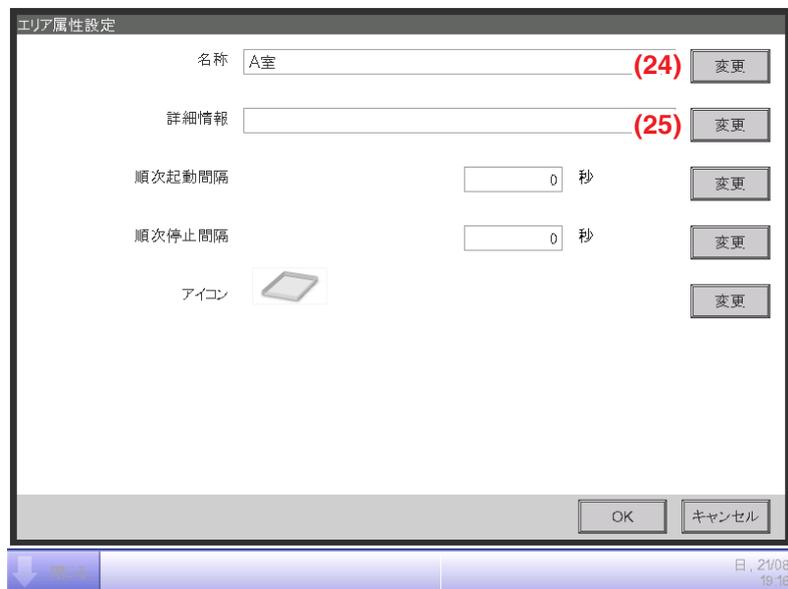
図9



## エリアの名称と詳細情報の設定



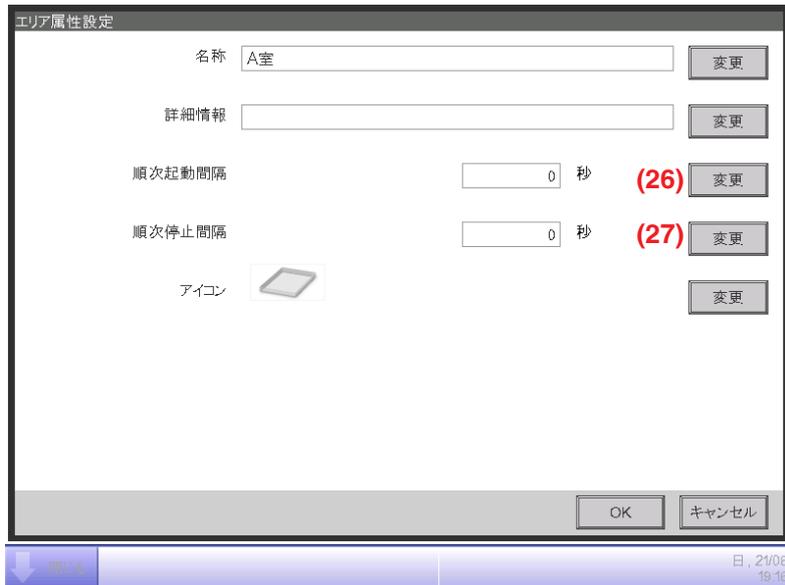
1. エリア設定画面の (22) エリアリストから名称・詳細情報を設定したいエリアを選択し、(23) 属性変更ボタンをタッチしエリア属性設定画面を表示します。



2. (24) (25) 変更ボタンをタッチし、表示される文字入力ダイアログで名称と詳細情報を設定します。

## 順次起動/停止間隔時間の設定

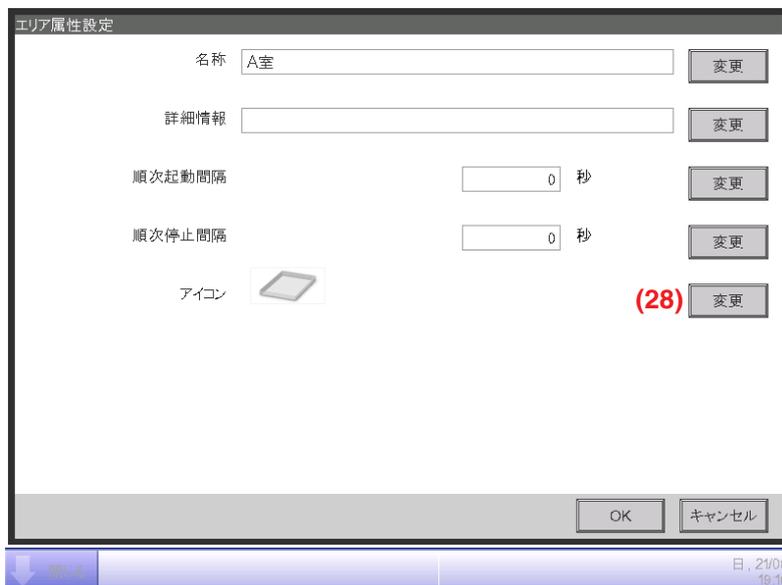
この機能は、エリアへの運転または停止指令時に、管理点が一齐に運転または停止するのを防ぎ、エリアメンバー登録画面の一覧に表示されている順に、管理点およびエリアを順次運転または停止させます。



1. エリア属性設定画面で、**(26) (27) 変更** ボタンをタッチします。表示される数値入力ダイアログで運転または停止を行う間隔時間を入力します。設定範囲は0～180秒です。



## アイコンの設定



1. エリア属性設定画面で、**(28) 変更**ボタンをタッチします。アイコン設定画面が表示されます。



2. 表示されたアイコン一覧からアイコンを選択し、**(29) OK**ボタンをタッチして設定します。

## エリア設定CSVファイルの保存と読み込み

エリアの設定をCSVファイル「AreaData.csv」としてUSBメモリに保存します。

またUSBメモリからCSVファイルを読み込みます。

(給湯システムエリアと給湯管理点は、保存と読み込みができません。)

読み込めるファイル名は「AreaData.csv」のみなのでファイル名が異なる場合は、あらかじめ変更しておきます。



1. 保存方法は、iTM本体にUSBメモリを接続し、エリア設定画面で、**(30) セーブ**ボタンをタッチします。確認ダイアログが表示され、「**エリアデータをCSVファイル形式で保存しますか？ 最大所要時間15秒**」のメッセージが出ます。**はい**ボタンをタッチし保存作業を始めます。正しく保存されると「**ファイルを保存しました。**」の成功メッセージが表示されます。
2. 読み込み方法は、CSVファイルを保存したUSBメモリをiTM本体に接続し、エリア設定画面で、**(31) ロード**ボタンをタッチします。確認ダイアログ「**ロードを実行すると既存のデータは削除されます。最大所要時間：15秒**」が表示されます。**はい**ボタンをタッチすると作業を始め、読み込みは完了します。

読み込むCSVファイル内に不備がある場合はエラー画面が表示されます。

エラーダイアログ表示後にUSBメモリを取り外し、エラー表示画面におけるエラーリストの内容を上から解消してください。

### NOTE

- CSVファイルのフォーマットについては、付録(3.エリア設定 CSVファイルフォーマット)をご覧ください。

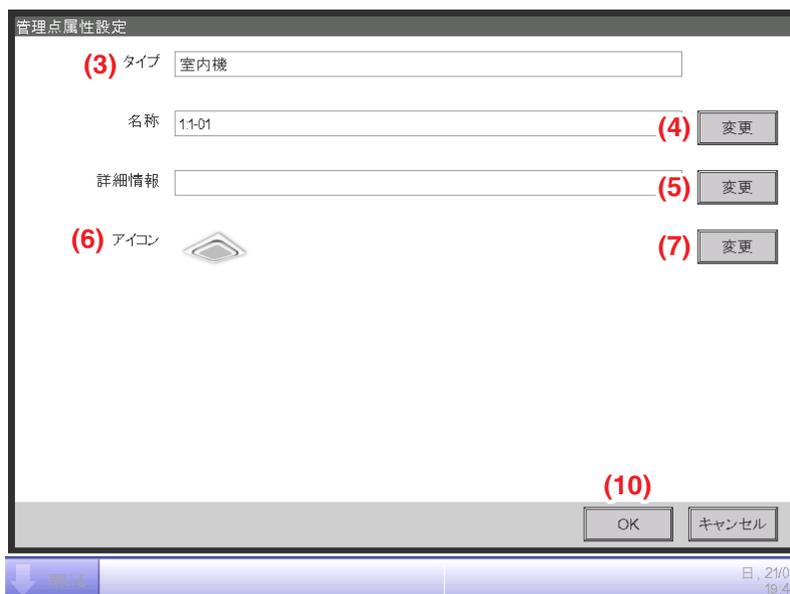
## 6-2 管理点設定のしかた

管理点の名称・詳細情報・アイコンの設定と変更をします。  
操作の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(2) 管理点設定** ボタンをタッチして、管理点属性変更画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. **(1)** に管理点一覧が表示されます。管理点を選択して **(2) 変更** ボタンをタッチし、管理点属性設定画面を表示します。



3. **(3)** に管理点の**タイプ**が表示されます。ここでは変更できません。  
管理点**名称**の **(4) 変更** ボタンをタッチし、文字入力ダイアログを表示させ名称を入力します。  
入力可能文字数は全角、半角問わず1～12文字です。

設定しようとする名称がほかと重複する場合、「同一名称の管理点が既に登録されています」というメッセージダイアログが表示され、設定できません。

管理点詳細情報の (5) 変更ボタンをタッチし、文字入力ダイアログを表示させて、詳細情報を入力します。入力可能文字数は最大で全角、半角問わず50文字です。必要がなければ入力は不要です。

4. (6) アイコンの設定は、(7) 変更ボタンをタッチし、アイコン設定画面を表示させます。



(8) からアイコンを選択し、(9) OKボタンをタッチして設定します。管理点属性設定画面に戻り、すべての表示を確認し (10) OKボタンをタッチして画面を閉じます。

---

## 6-3 パスワードの設定

管理者パスワード、画面ロック解除パスワード、給湯画面ロックパスワードを設定します。

給湯画面ロックパスワードは給湯機制御機能が有効でないと設定できません。

管理者パスワードを有効に設定した場合、標準画面およびレイアウト画面でメニューリスト画面切換えボタンをタッチしたときにパスワード入力ダイアログが表示され、管理者パスワードを知らないユーザーはメニューリスト画面を表示できません。

画面ロック機能を有効に設定した場合、標準画面およびレイアウト画面で

**画面ロック/解除**ボタンをタッチすると画面がロックされ、監視以外の操作ができなくなります。

給湯画面ロック機能を「有効」に設定した場合、**給湯システム**メイン画面で監視以外の操作ができなくなります。

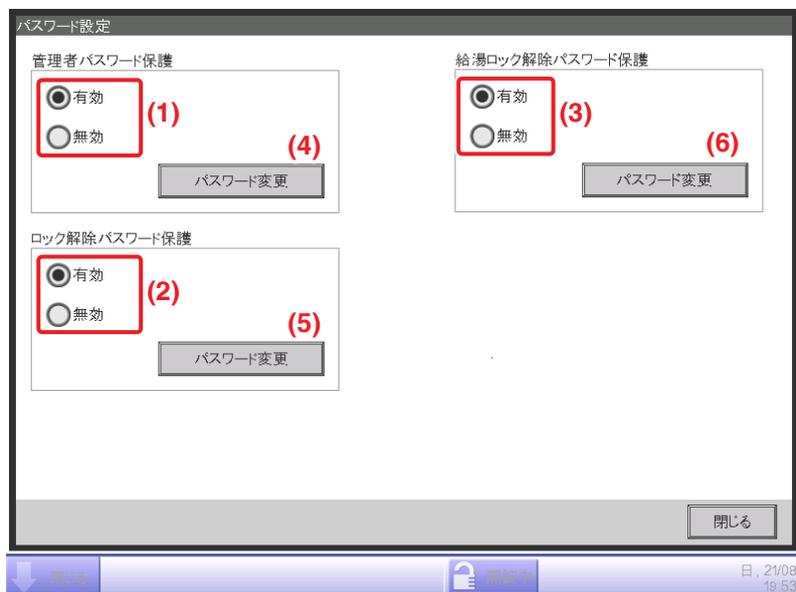
ロックを解除するには、**画面ロック/解除**ボタンをタッチしてパスワード入力ダイアログを表示させ、画面ロック解除パスワードを入力する必要があります。

### NOTE

- 管理者パスワードと画面ロックが同時に有効に設定されている場合、メニューリスト切換えボタンをタッチして管理者パスワードを入力すると、画面ロックも同時に解除されメニューリスト画面が表示されます。
- 画面ロックは、Web遠隔管理機能(現地設定機能)(9-2 Webアクセス設定と遠隔管理参照)を使用して解除できますが、画面ロックが解除されるとユーザーからでも監視以外の操作ができるようになりますのでご注意ください。
- 設定したパスワードは大切に保存してください。設定したパスワードを忘れた場合は別途有償のサービス保守になります。

設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(7) パスワード設定**ボタンをタッチして、パスワード設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. 管理者パスワードを有効にする場合は **(1)** の「**有効**」を、無効にする場合は「**無効**」を選択します。「**有効**」を選択すると新パスワード入力ダイアログが表示されるので、新しく設定するパスワードを入力します。パスワードは英数字1～15文字以内で設定できます。再度ダイアログが表示されますので、確認のためもう一度パスワードを入力します。**OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。
3. 画面ロック機能を有効にする場合は **(2)** の「**有効**」を、無効にする場合は「**無効**」を選択します。「**有効**」を選択すると新パスワード入力ダイアログが表示されるので、新しく設定するパスワードを入力します。パスワードは英数字1～15文字以内で設定できます。再度ダイアログが表示されますので、確認のためもう一度パスワードを入力します。**OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。
4. 給湯画面ロック機能を有効にする場合は **(3)** の「**有効**」を、無効にする場合は「**無効**」を選択します。「**有効**」を選択すると新パスワード入力ダイアログが表示されるので、新しく設定するパスワードを入力します。パスワードは英数字1～15文字以内で設定できます。再度ダイアログが表示されますので、確認のためもう一度パスワードを入力します。**OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。
5. 管理者パスワード、画面ロックパスワード、給湯画面ロックパスワードを変更する場合は、それぞれ **(4) (5) (6) パスワード変更**ボタンをタッチします。既存パスワード入力ダイアログが表示されますので、現在のパスワードを入力します。その後、新しく設定するパスワードを2回入力します。**OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。

## 6-4 点検中の設定と確認

特定の管理点を「点検中」に設定したり、「点検中」を解除します。

(給湯(オプション)管理点は対象外です。)

点検中に設定した管理点は、iTMでの運転・自動制御・状態の監視・信号の入力などの制御ができなくなります。ただし緊急停止は行われます。

設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(3) 点検中設定** ボタンをタッチして、修理中画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. 点検中に設定する場合は、**(1)** に表示されている候補管理点を選択して  
**(2) 追加** ボタンをタッチします。候補管理点が **(3)** に移動し、点検中に設定されます。  
**(5) OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。
3. 点検中を解除する場合は、**(3)** から点検中管理点を選択して **(4) 削除** ボタンをタッチします。  
点検中管理点が **(1)** に移動し、点検中が解除されます。  
設定が終われば **(5) OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。

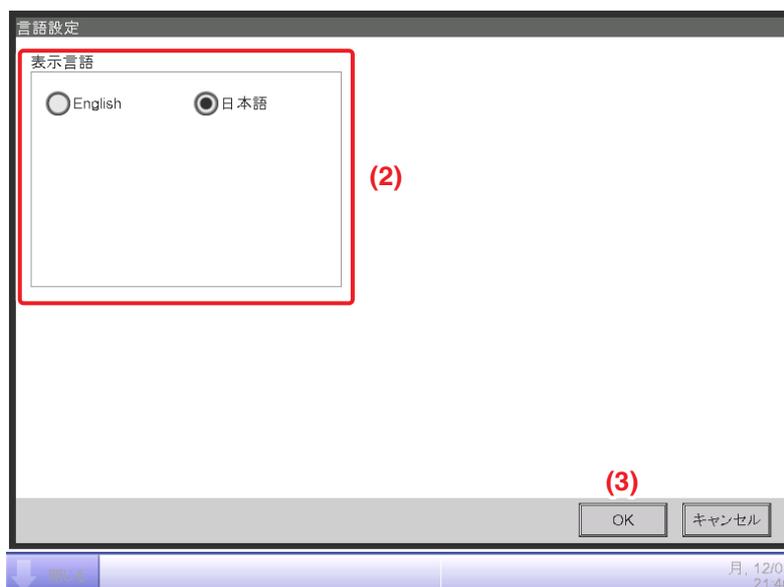
## 6-5 ロケールの設定

iTM本体で表示する言語・日付表示・時刻表示・小数点/CSV区切り文字・アイコン色を設定します。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(12) ロケール設定** ボタンをタッチして、ロケール設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)

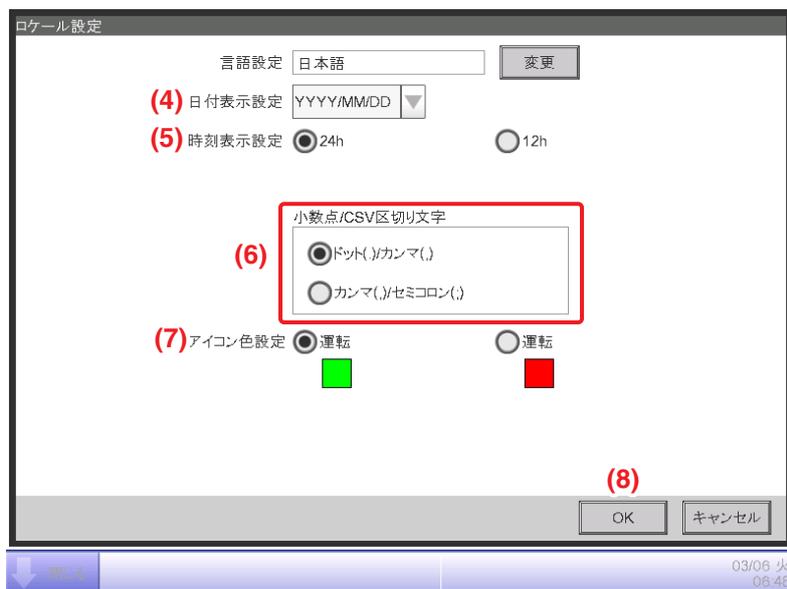


2. 表示する言語を選びます。**(1) 変更** ボタンをタッチして言語設定画面を開きます。



3. **(2)** から使用する言語を選択します。  
**(3) OK** ボタンをタッチして保存し、ロケール設定画面に戻ります。

#### 4. 表示形式、単位を設定します。



**(4) 日付表示設定**コンボボックスで日付の表示形式を設定します。

DD/MM/YYYY, MM/DD/YYYY, YYYY/MM/DDから選択できます。

**(5) 時刻表示設定**ラジオボタンで時刻の表示形式を選択します。

**(6) 小数点/CSV区切り文字**ラジオボタンで小数点とCSVファイルで使用する区切り文字を選択します。

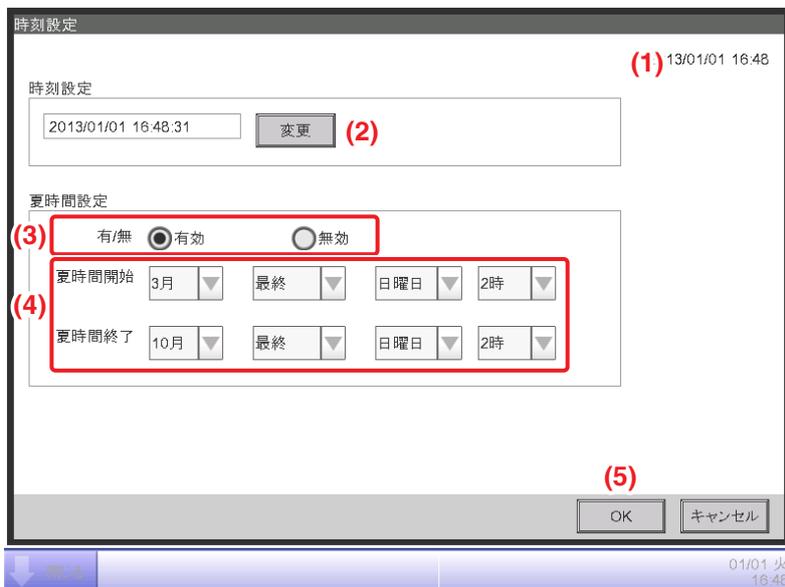
**(7) アイコン色設定**ラジオボタンで運転している管理点のアイコン色を選択します。

設定が終われば **(8) OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。

## 6-6 時刻の設定

現在時刻およびサマータイムの設定をします。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(11) 時刻設定** ボタンをタッチして、時刻設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. **(1)** に画面を開いたときの時刻が表示されます。変更する場合は **(2) 変更** ボタンをタッチして時刻設定ダイアログを表示し、日時を入力します。**OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。入力した値が不適切な場合はエラーダイアログが表示されますので、正しく入力し直してください。
3. サマータイムを適用する場合は **(3)** で「**有効**」を選択し、**(4)** のコンボボックスで開始日時・終了日時を選択します。サマータイムを適用しない場合は **(3)** で「**無効**」を選択します。選択可能範囲は次のとおりです。

開始月：1月～12月

終了月：1月～12月

開始週：第1～第4、最終

終了週：第1～第4、最終

開始曜日：日曜日～土曜日

終了曜日：日曜日～土曜日

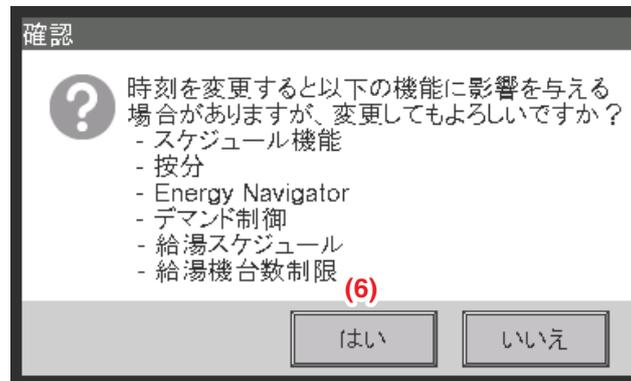
開始時刻：1時～4時

終了時刻：2時～4時

---

4. すべての入力が終われば **(5)** OKボタンをタッチします。

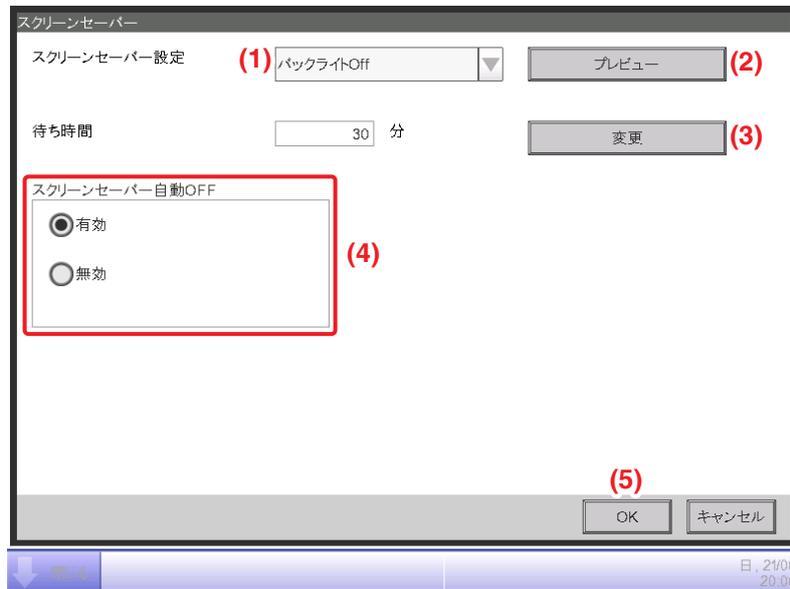
下記ダイアログが表示されますので、確認のうえ、**(6)** はいボタンをタッチして画面を閉じます。



## 6-7 スクリーンセーバーの設定

スクリーンセーバーの設定・変更、および画面消灯の設定を行います。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(8) スクリーンセーバー設定** ボタンをタッチして、スクリーンセーバー画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)

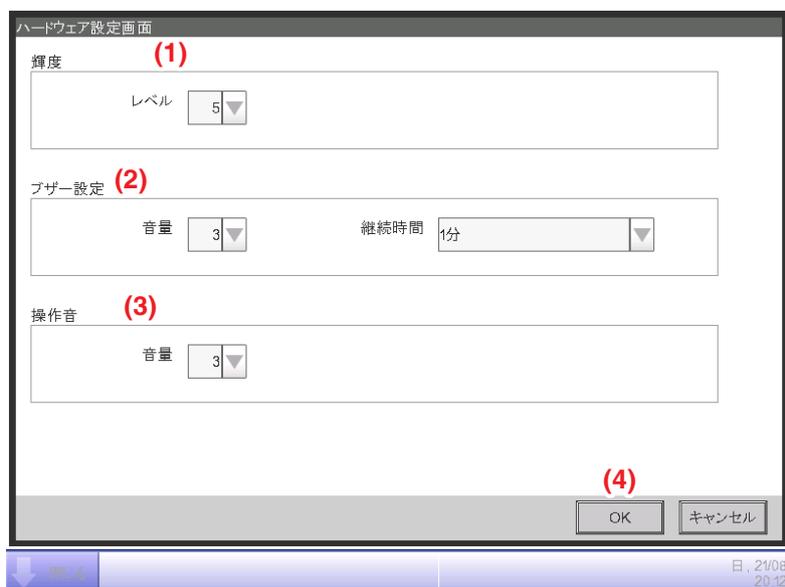


2. **(1) スクリーンセーバー設定** コンボボックスでスクリーンセーバー機能の有効・無効および種類を設定します。  
「無効／バックライトOff／画面1／画面2／画面3」から選択します。  
「バックライトOff」を選択した場合、手順3で設定する待ち時間経過後、画面が消灯します。  
**(2) プレビュー** ボタンをタッチすると、選択したスクリーンセーバーのプレビューが表示されます。画面に触れるとスクリーンセーバー設定画面に戻ります。
3. **(3) 変更** ボタンをタッチして、スクリーンセーバー表示、または画面が消灯するまでの**待ち時間**を入力します。**待ち時間**は1～60分の間で設定できます。
4. スクリーンセーバー表示中に異常が発生した場合および緊急停止した場合に、自動でスクリーンセーバーを解除して警報ブザーを鳴らし、異常発生お知らせアイコンを表示させるには **(4) スクリーンセーバー自動OFF** ラジオボタンで「**有効**」を選択します。スクリーンセーバーを表示させ続ける場合は「**無効**」を選択します。
5. **(5) OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。

## 6-8 ハードウェアの設定

iTM本体の画面の明るさ・音量などの設定を行います。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(9) ハードウェア設定** ボタンをタッチして、ハードウェア設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)

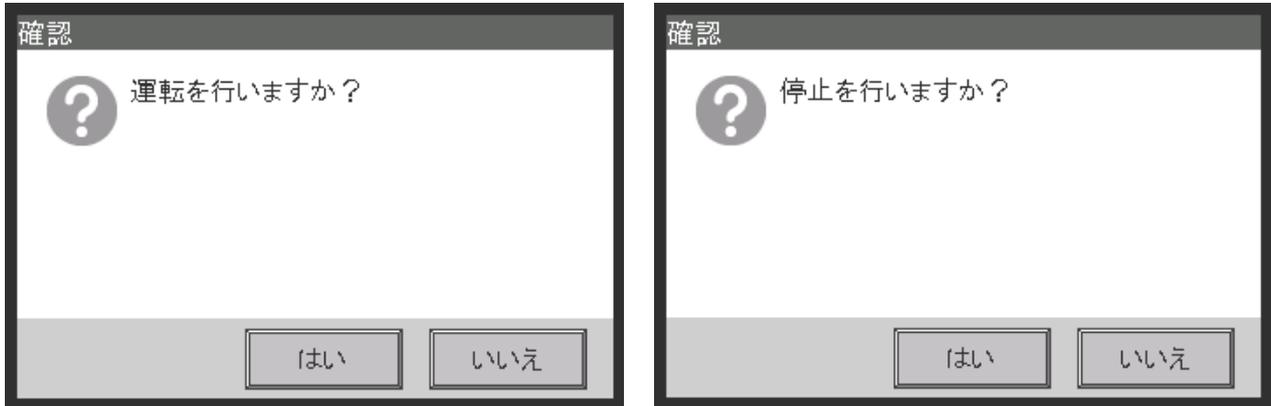


2. **(1) 輝度** コンボボックスで iTM の画面の明るさの **レベル** を設定します。  
1～8の範囲で設定できます。
3. **(2) ブザー設定** コンボボックスで異常発生時・緊急停止時に鳴るブザーの **音量**・**継続時間** を設定します。設定可能範囲は次のとおりです。  
**音量**：0～5  
**継続時間**：1分／3分／5分／無限
4. **(3) 操作音** コンボボックスで画面にタッチしたときの操作音の **音量** を設定します。  
0～5の範囲で設定できます。
5. **(4) OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。

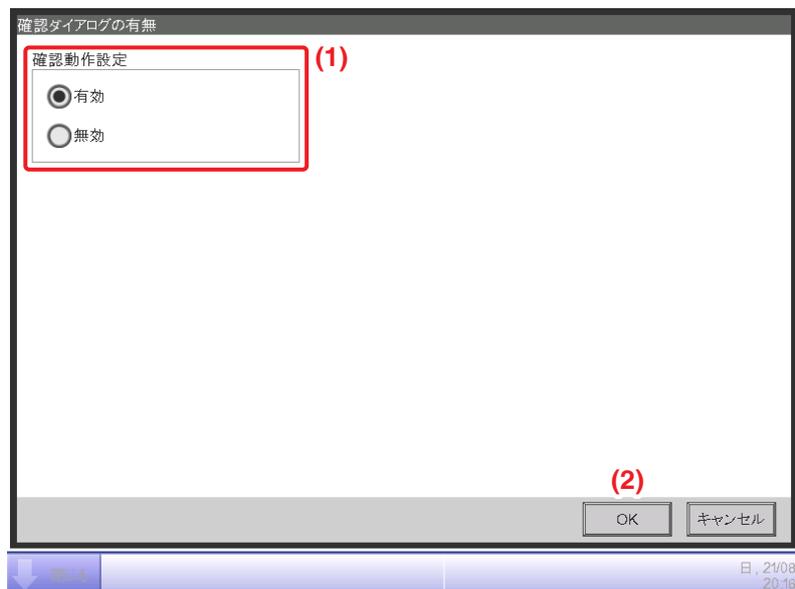
## 6-9 確認動作の設定

iTM標準画面から運転・停止の操作を行ったとき、操作を確認するダイアログを表示させるかどうかの設定を行います。

### <確認ダイアログ>



1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(13) 確認動作設定** ボタンをタッチして、確認ダイアログの有無画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)

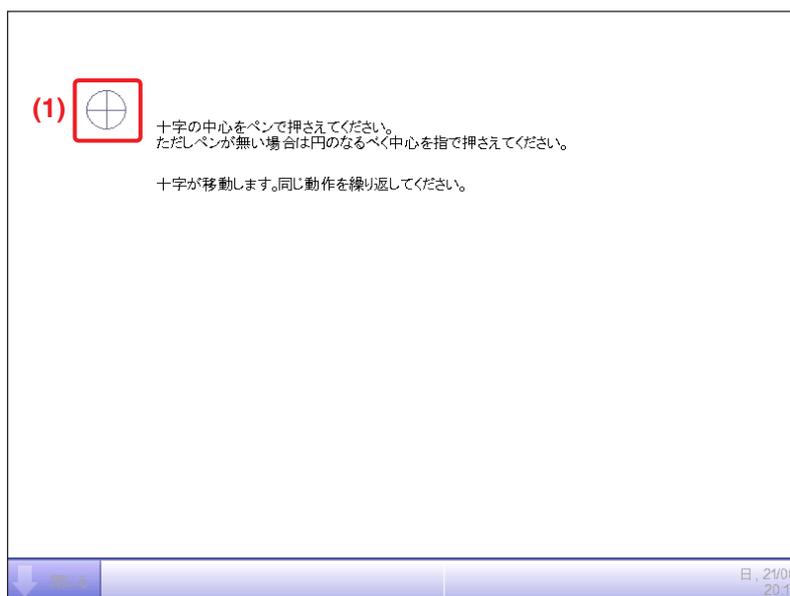


2. **(1) 確認動作設定** ラジオボタンで操作確認のダイアログを表示させる場合は「**有効**」を、表示させない場合は「**無効**」を選択します。
3. **(2) OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。

## 6-10 タッチパネルキャリブレーション

タッチパネルの補正をします。より正確な補正を行いたい場合は、タッチパネル用のペンをご用意ください。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(10) タッチパネルキャリブレーション**ボタンをタッチして、タッチパネルキャリブレーション画面を表示させます。  
(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. 画面に **(1) 十字マーク**が5回表示されるので、順番に十字の中心をタッチします。  
十字マークからかけ離れた場所をタッチすると、キャリブレーションは始めからやり直しになります。
3. 5回タッチし終わればキャリブレーション終了です。画面のどこかをタッチして画面を閉じます。

### NOTE

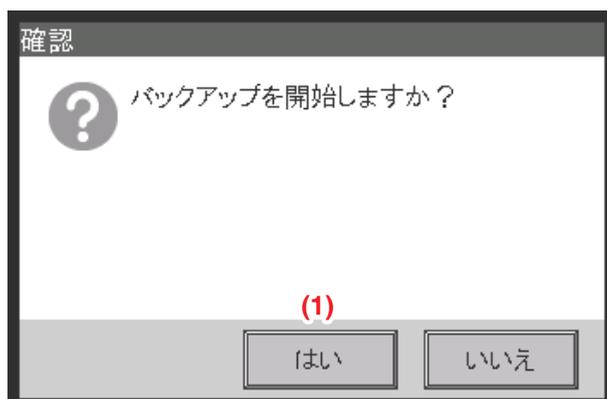
キャリブレーション終了後、30秒間画面をタッチしなかった場合、補正值はキャンセルされ、メニューリスト画面に戻ります。

## 6-11 バックアップ

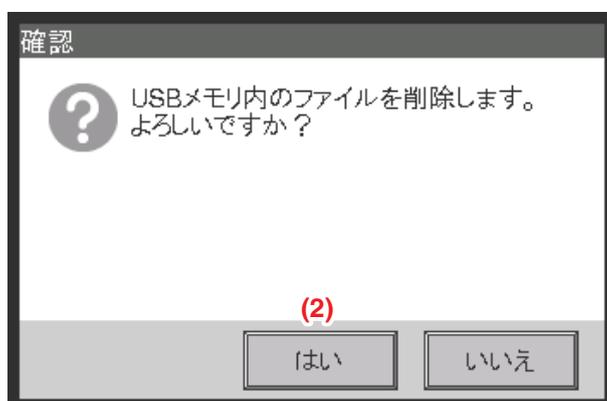
iTMの各種データをUSBメモリにバックアップします。バックアップ中はiTM本体画面からの操作はできませんが、各機能は通常どおり動作を継続しています。

バックアップしたデータはパソコンにコピーし、管理することができます。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(14) バックアップ**ボタンをタッチします。  
(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. 開始確認ダイアログが表示されるので、USBメモリをiTM本体に接続し、**(1) はい**ボタンをタッチします。

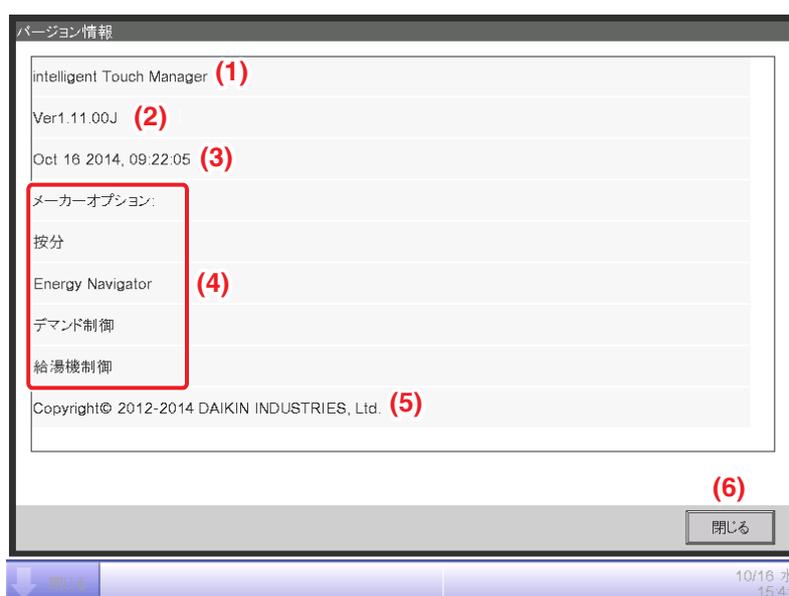


3. 接続されたUSBメモリ内のファイルをすべて削除します。  
確認ダイアログが表示されますので、問題がなければ、**(2) はい**ボタンをタッチしてバックアップを開始します。
4. バックアップには1Gバイトあたり約60分かかります。  
「バックアップが完了しました。」と表示されたら終了です。  
閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

## 6-12 バージョン情報の確認

iTMにインストールされているソフトのバージョン情報を確認します。表示される情報は下記のとおりです。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(15)** **バージョン情報** ボタンをタッチして、バージョン情報画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. 下記の情報が表示されます。

- (1) 製品名
- (2) ソフトウェアのバージョン
- (3) ソフトウェアが作成された日時
- (4) 使用可能なオプション機能
- (5) 著作権

3. **(6)** **閉じる** ボタンをタッチして画面を閉じます。

## 7. データ管理

### 7-1 履歴の確認と出力

iTMでは、さまざまな状態の変化や機器の異常などを、履歴情報として自動で保存しています。この履歴情報を表示またはデータとしてUSBメモリに保存することにより、メンテナンスや不具合の修正に活かすことができます。

ここでは履歴を表示し、出力する方法を説明します。

1. メニューリスト画面の**運用管理**タブで **(1)** **履歴** ボタンをタッチして、履歴画面を表示させます。  
(4-5 メニューリスト画面：運用管理タブ参照)

#### NOTE

履歴取得中は読み込み中ダイアログが表示されます。



2. **(1)** に最新の100件の履歴が表示されます。

**(2)** < ボタンをタッチすると現在表示中の履歴よりも古い100件の履歴を、> ボタンをタッチすると新しい100件の履歴を表示できます。

表示の内容は左から順に、**時刻・種別・履歴No.・内容・名称・指令元・Port・Addr.・ID・Code**です。

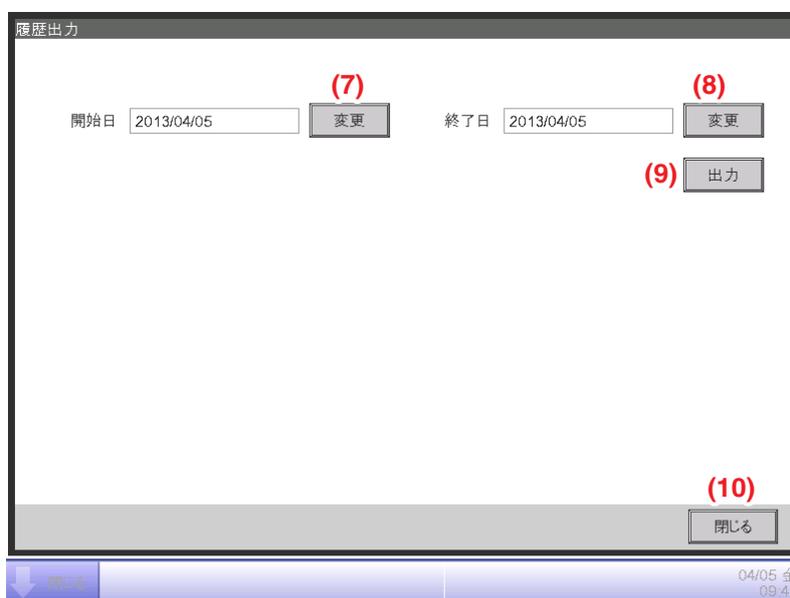
(3) 履歴種別設定で表示する履歴の種別を選択できます。チェックを入れた種別の履歴が (1) に表示されます。

(4) 表示日設定で履歴を表示する日付を指定します。画面を開いたときは現在の日付が指定されています。特定の日付を表示したいときは、**変更**ボタンをタッチして日時入力ダイアログを表示させ、日付を入力します。

また<ボタンをタッチすると、現在の表示日よりも1日前の日付を、>ボタンをタッチすると1日後の日付を表示します。

(5) **表示更新**ボタンをタッチすると、(3) で指定した履歴種別および (4) で指定した日付の最新履歴100件を (1) に表示します。

3. (6) **出力**ボタンをタッチすると、履歴出力画面が表示されます。



4. (7) **変更**ボタンをタッチし、開始日ダイアログを表示させ、データの出力開始日を入力します。

(8) **変更**ボタンをタッチし、終了日ダイアログを表示させ、データの出力終了日を入力します。

(9) **出力**ボタンをタッチすると、確認ダイアログが表示されるので、iTM本体にUSBメモリを接続し、**はい**ボタンをタッチします。

「ファイルを保存しました」と表示されたら終了です。

Historyの名称でフォルダーが保存されます。

すでにUSBにHistoryのフォルダが存在する場合は、HistoryXXの名称でフォルダが保存されます。(フォルダーを上書きしないように、XXには01~99の番号が自動で振られます)

(10) **閉じる**ボタンをタッチして履歴出力画面を閉じ、(11) **閉じる**ボタンをタッチして履歴画面を閉じます。

出力データはCSV出力ツールでCSV形式に変換することで、Excelなどの市販ソフトで読み込めるようになります。

#### NOTE

履歴の項目については、付録(4. 履歴項目一覧)をご覧ください。

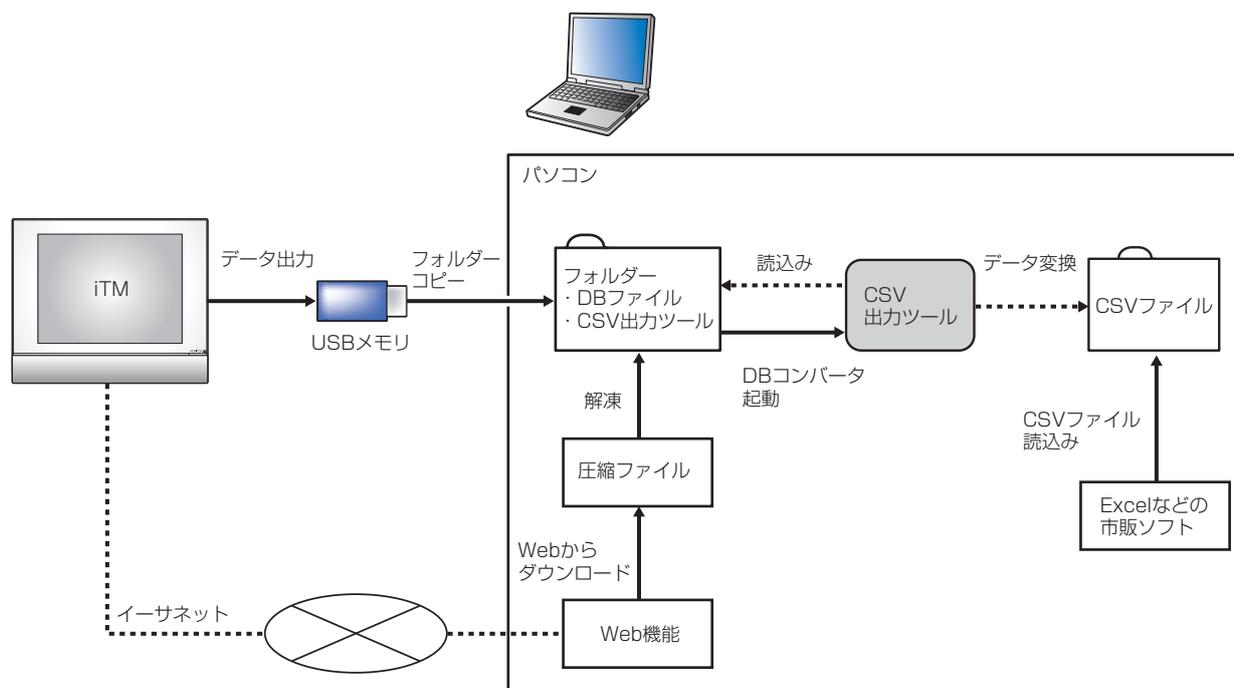
## 7-2 CSV出カツール

CSV出カツールは、パソコン上で動作する外部ツールで、iTMから出力したデータをCSV形式に変換します。

iTM本体からデータ出力したとき、またはWeb遠隔管理機能からデータをダウンロードしたとき、同時に保存されます。

CSV形式に変換が必要な出力データは、以下のとおりです。

- 履歴データ
- Energy Navigator  
エネルギーデータ  
管理点データ  
消し忘れデータ  
設定温度乖離データ



データ出力のデータフロー図

### NOTE

CSV出カツール起動時、エラーメッセージが表示される場合は、  
15- 1 サービスを依頼される前に：<CSV出カツールについて>をご覧ください。

---

## 出力データ変換手順

出力したデータをCSV形式に変換し、データを確認するまでの手順について説明します。

iTMでの作業

1. データを保存します。※

※Web遠隔管理(現地設定機能)を使用している場合は、Webブラウザを介して圧縮形式(.zip)でパソコンに保存することができます。  
圧縮ファイルを解凍してから、3.の処理を行ってください。



パソコンでの作業

2. データ出力したUSBメモリをパソコンに接続し、フォルダーをコピーします。



3. フォルダー内のCSV出力ツールを起動し、データを変換します。

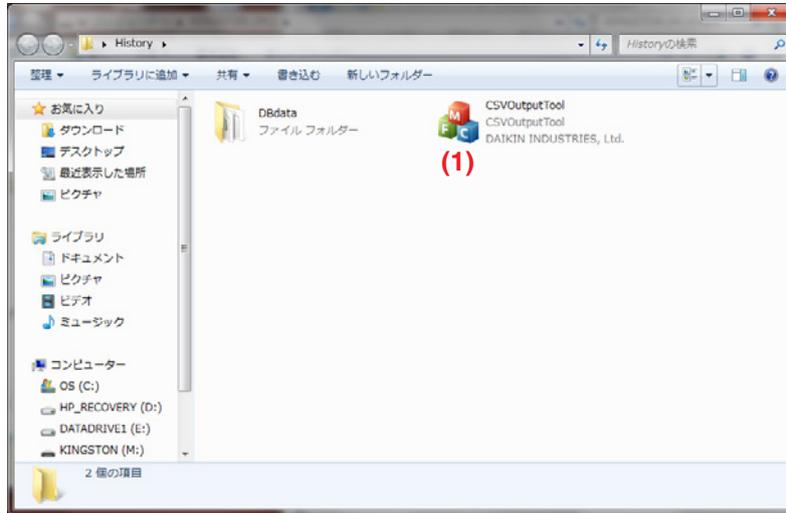
• 次ページ  
データ変換をご覧ください。



4. CSVファイルをExcelなどで読み込み、確認します。

## データ変換

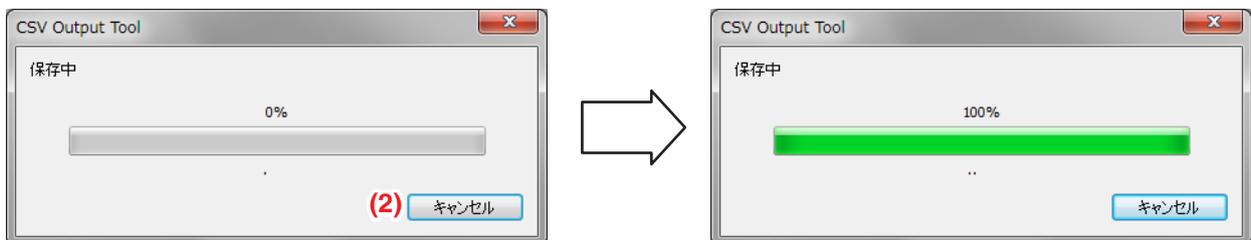
1. iTMから出力したデータをパソコンで開きます。



### NOTE

- フォルダー名は、出力データによって変わります。

2. (1) のCSVOutputTool.exe をダブルクリックするとCSV出カツールが起動し、データの変換を開始します。データ変換中は、以下のCSV出カツール画面が表示されます。



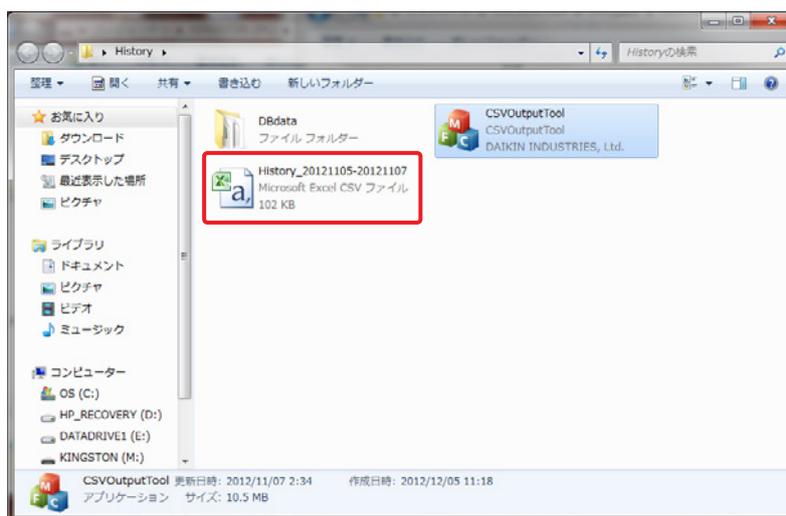
データ変換を中止したい場合は、(2) キャンセルボタンをクリックします。

3. 「ファイルを保存しました」と情報画面が表示されたら終了です。



ファイル名を確認した後、(3) OKボタンをクリックして、情報画面を閉じます。

4. フォルダーの中にCSV形式のファイルが保存されます。



#### NOTE

- 保存されるCSVファイル名は、出力データによって変わります。
- 年月日の順序は、出力したiTMのロケール設定・タイムゾーン設定・夏時間設定の日付表示形式になります。
- 保存されたCSVファイルの下記内容は、データ出力したiTMのロケール設定の日付表示形式になります。
  - ・ 言語
  - ・ 文字コード
  - ・ 日付の書式
  - ・ 時刻の書式
  - ・ 小数点／CSV区切り記号

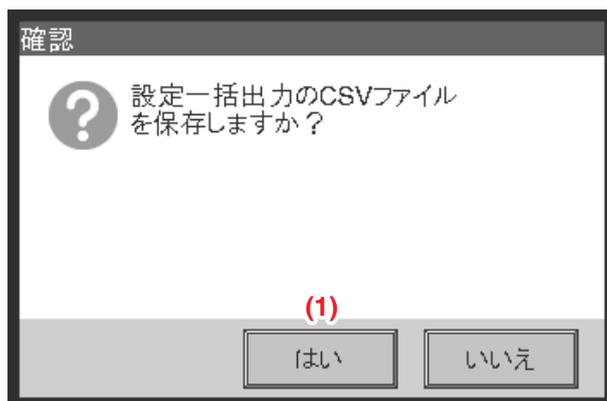
### 7-3 各機能の設定データ出力

iTMIにはさまざまな機能があり、それぞれに設定が必要となります。それらの現在の設定を確認したい場合には、設定一括出力機能を使用してCSVファイルを保存すれば、パソコンを使用して確認が可能になります。出力の手順を説明します。  
本機能で出力される設定は下表のとおりです。

#### <設定一括出力内容>

機能	出力内容
スケジュール制御	スケジュール制御に登録されているプログラムの設定内容 Schedule.csv
連動制御	連動制御に登録されているプログラムの設定内容 Interlock.csv
緊急停止制御	緊急停止に登録されているプログラムの設定内容 EmergencyStopCtrl.csv
自動冷暖切換	自動冷暖切換に登録されているグループの設定内容 AutoChangeOver.csv
Temp. Limit	Temp. Limitに登録されているグループの設定内容 TemperatureLimit.csv
Sliding Temp.	Sliding Temp.に登録されているグループの設定内容 SlidingTemperature.csv
HMO	HMOに登録されている管理点の設定内容 HtgModeOpt.csv
セットバック制御	リカバリ温度・セットバック温度の設定内容 Setback.csv
料金按分	現在の月より13ヵ月間の除外時間帯と夜間割引時間帯の設定内容 PwrPrpDis.csv
デマンド	デマンド制御に登録されているグループの設定内容 PowerLimitControl.csv
DESICA省エネ連動	DESICA省エネ連動に登録されているプログラムの設定内容 DESICAInterlock.csv

1. メニューリスト画面の**運用管理**タブの **(3) 設定一括出力** ボタンをタッチします。  
(4-5 メニューリスト画面：運用管理タブ参照)



---

2. 「設定一括出力のCSVファイルを保存しますか?」という確認ダイアログが表示されるので、iTM本体にUSBメモリを接続して、**(1) はい**ボタンをタッチします。保存には1MBあたり約2分かかります。

3. 「ファイルを保存しました。」と表示されたら終了です。閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

**NOTE**

- 各機能のCSVファイルフォーマットについては、  
付録(5. 設定一括出力 CSVファイルフォーマット)をご覧ください。

# 現地設定機能操作

## 8. 自動制御機能設定

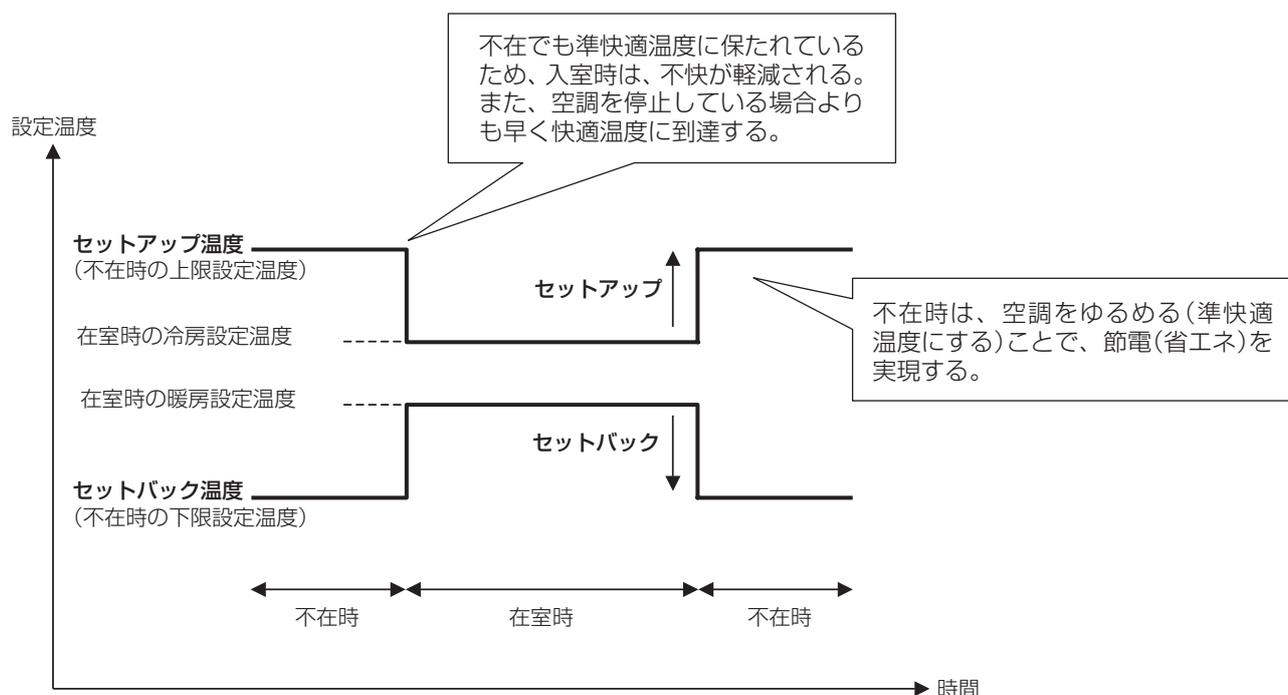
### 8-1 セットバックの設定

セットバック機能とは、空調機を運転している部屋に人がいなくなったとき、空調をゆるめ室温を適度に保つことで、入室時の不快を軽減すると共に、不在時のエネルギー消費も抑えられる機能です。

不在時に室温の下限温度を下げることを「セットバック」、不在時に室温の上限温度を上げることを「セットアップ」と呼びます。この2つを総じて「セットバック」と呼びます。

設定した下限温度から上限温度の範囲に室温を保つために、室内機の運転が必要ない場合は、室内機の運転を停止します。この状態を「セットバック停止」と呼びます。

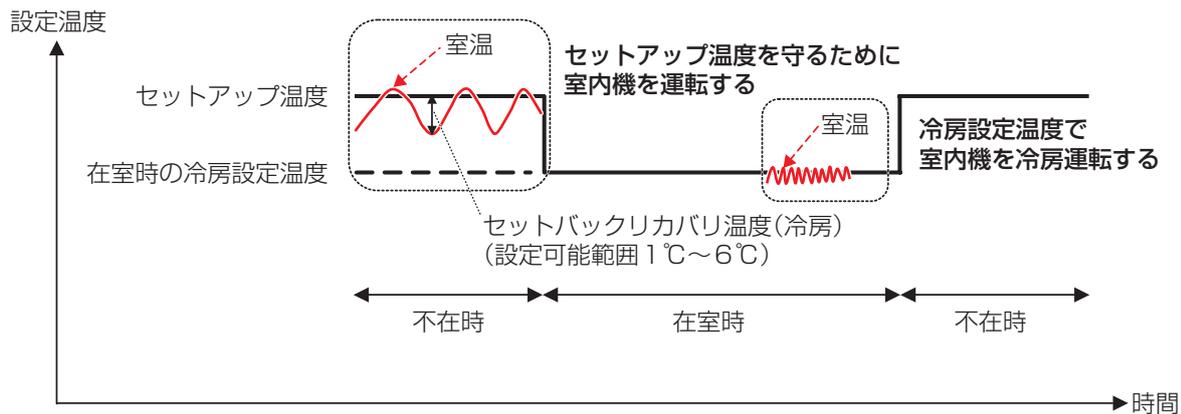
セットバックの設定温度は「**セットバック強**」・「**セットバック弱**」の2つが設定できます。用途に応じて設定してください。



本機能が有効に設定されている室内機およびエリアに対して、下記のように制御します。

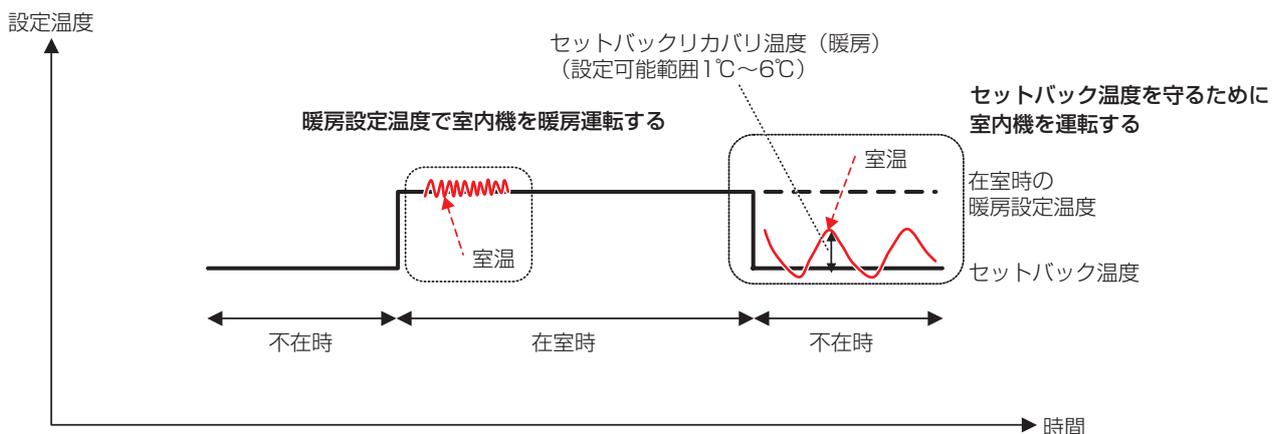
#### 制御対象の運転モードが冷房・自動(冷房)・温調(冷房)の場合

1. 室温が「設定温度+相対セットアップ温度」を下回っている間、室内機の運転を停止します。
2. 室温の監視を続け「設定温度+相対セットアップ温度」を上回ると運転を再開します。
3. その後室温が「設定温度+相対セットアップ温度」からセットバックリカバリ温度分下回ると、運転を停止します。ただし頻繁な室内機のON/OFFを防ぐために、30分間は停止しません。



### 制御対象の運転モードが暖房・自動(暖房)・温調(暖房)の場合

1. 室温が「設定温度－相対セットバック温度」を上回っている間、室内機を停止します。
2. 室温の監視を続け「設定温度－相対セットバック温度」を下回ると運転を再開します。
3. その後室温が「設定温度－相対セットバック温度」からリカバリ温度分上回ると、運転を停止します。ただし頻繁な室内機のON/OFFを防ぐために、30分間は停止しません。



### 制御対象の運転モードが送風・ドライの場合

在室時は通常運転します。

不在時はセットバック停止状態になり、以降の運転・停止制御はしません。

### 制御中の室内機の運転モードが送風・ドライに変更された場合

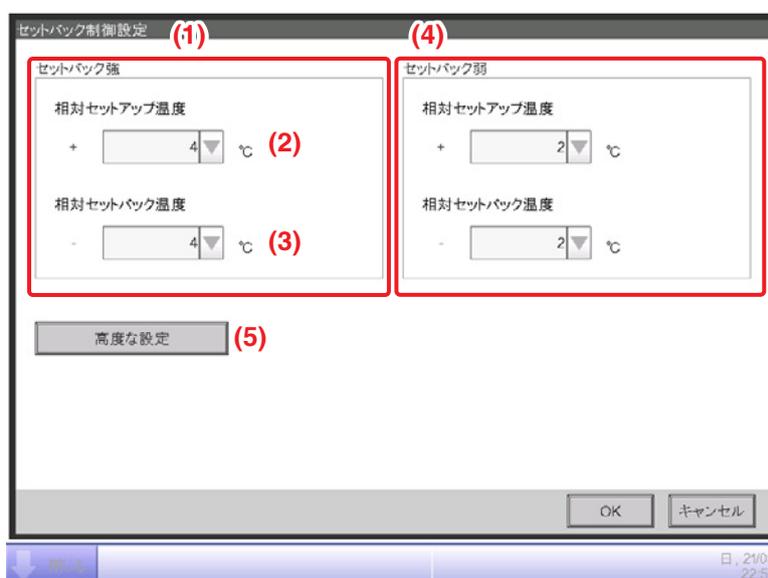
以降の運転・停止制御は行わず、変更時の状態(セットバック運転またはセットバック停止)が継続します。

## NOTE

- 運転している室内機をリモコンで停止したときは、運転は停止しますがセットバック制御は継続していますので、セットバック制御により運転をする場合があります。
- セットバック制御中にiTM本体やスケジュール機能(5-1 スケジュールの設定参照)で、室内機に運転・停止の指示をしたときは、セットバック制御は解除されます。
- セットバック制御中に、消し忘れ防止機能で室内機を停止しても、セットバック制御は継続しています。

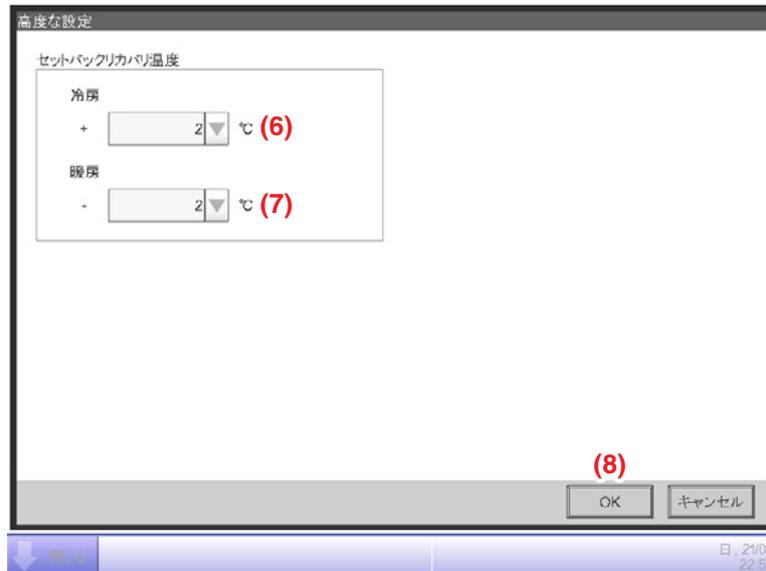
設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(9) セットバック制御設定** ボタンをタッチして、セットバック制御設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



2. **(1)** で**セットバック強**の相対温度を設定します。
  - (2) 相対セットアップ温度**コンボボックスで設定温度を選択します。
  - (3) 相対セットバック温度**コンボボックスで設定温度を選択します。選択可能な範囲はセットアップ、セットバック共に1°C刻みで1~7°Cです。
3. **(4)** で**セットバック弱**の相対温度を設定します。

手順は2と同じです。ただし**セットバック弱**のそれぞれの相対温度は、**セットバック強**の相対温度を超えて設定することはできません。
4. **(5) 高度な設定**ボタンをタッチすると、高度な設定画面でリカバリ温度の設定ができます。



(6) 冷房時セットバックリカバリ温度コンボボックスで温度を選択します。

(7) 暖房時セットバックリカバリ温度コンボボックスで温度を選択します。

選択可能な範囲は1℃刻みで1～6℃です。

設定が終われば (8) OKボタンをタッチしてセットバック制御設定画面に戻ります。

5. セットバックの機能の有効/無効は、標準画面の詳細設定、スケジュールのイベント設定、連動制御のアクション設定のそれぞれで表示される**共通**タブで設定します。

## ほかの機能との関係

### 1. 自動制御機能との関係

機能	室内機がセットバック(弱/強)中の場合の動作
スケジュール制御	室内機の動作に、セットバックを設定することができる。
予冷予熱	室内機がセットバック状態の場合、予冷予熱を実行しない。 予冷予熱機能による室内機の運転後にセットバックの指令があった場合には、室内機はセットバック状態になる。
連動制御	<b>【入力】</b> セットバック運転⇒運転とみなす。 セットバック停止⇒停止とみなす。 <b>【出力】</b> 室内機の動作に、セットバック(弱、強)を設定することができる。
緊急停止	対象となる室内機はセットバック中であっても緊急停止によりただちに停止される。
自動冷暖切換	自動冷暖切換機能は、セットバック中も動作する。 ただし、自動冷暖切換機能で温度差設定値を0℃に設定した場合、冷暖切換温度は設定温度±1.5℃であるので、相対セットアップ温度1℃または相対セットバック温度-1℃と設定してもそれを守れない場合がある。 また、運転と停止の繰り返し(ハンチング)防止のため、30分は停止しない制限時間を設けているので、相対セットバック温度・相対セットアップ温度をそれよりも大きい値にしているときでも、それを守れない場合がある。
Temp. Limit	Temp. Limit機能は室内機が停止中に動作する機能であるため、セットバック機能とは関係しない。
Sliding Temp.	セットバック弱の場合も、セットバック強の場合も、Sliding Temp.による設定温度変更にあわせてセットバック温度を変更する。 セットバック温度は、Sliding Temp.による設定温度変更前も、変更後も下記の式で算出する。 セットアップ温度＝設定温度＋相対セットアップ温度 セットバック温度＝設定温度－相対セットバック温度
HMO	セットバック中にはHMO機能は働かない。
消し忘れ防止機能	消し忘れ防止機能が有効である場合、停止タイマー設定時間経過後、室内機は運転状態にしたがって停止またはセットバック停止になる。

### 2. データ管理機能との関係

機能	室内機がセットバック(弱/強)中の場合の動作
料金按分	セットバック運転時⇒運転中とみなして按分します。 セットバック停止時⇒停止中とみなして按分します。

### 3. ほかの機能への影響

		運転・停止変化を始動条件に利用	運転・停止状態を判定に利用
集中監視		—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒セットバック運転中として扱う</li> <li>• セットバック停止中⇒セットバック停止中として扱う</li> </ul>
自動制御	スケジュール	—	—
	予冷・予熱	—	—
	連動	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバックによる運転指令⇒運転の始動条件として扱う</li> <li>• セットバックによる停止指令⇒停止の始動条件として扱う</li> </ul>	—
	緊急停止	—	—
	自動冷暖 切替	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒運転中として扱わない</li> <li>• セットバック停止中⇒停止中として扱う</li> </ul>
	Temp. Limit	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒運転中として扱う</li> <li>• セットバック停止中⇒停止中として扱わない</li> </ul>
	Sliding Temp.	—	—
	HMO	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒運転中として扱わない</li> <li>• セットバック停止中⇒停止中として扱う</li> </ul>
	消し忘れ 防止	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバックによる運転指令⇒運転の始動条件として扱わない</li> <li>• セットバックによる停止指令⇒停止の始動条件として扱う</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒運転中として扱わない</li> <li>• セットバック停止中⇒停止中として扱う</li> </ul>
データ管理	料金按分	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒運転中として扱う</li> <li>• セットバック停止中⇒停止中として扱う</li> </ul>
	Energy Navigator (消し忘れ 抽出)	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒運転中として扱わない</li> <li>• セットバック停止中⇒停止中として扱う</li> </ul>
	運転時間 トレンド	—	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバック運転中⇒運転中として扱う</li> <li>• セットバック停止中⇒停止中として扱う</li> </ul>
	発停回数 トレンド	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>• セットバックによる運転指令⇒運転の始動条件として扱う</li> <li>• セットバックによる停止指令⇒停止の始動条件として扱う</li> </ul>	—

## 8-2 自動冷暖切替の設定

自動冷暖切替機能を使用すれば、運転モードの「自動」に対応していない空調機でも、室温の変化に応じて冷房と暖房を自動で切り換えて運転することができます。また運転モードを切り換えたときには設定温度も自動で変更します。

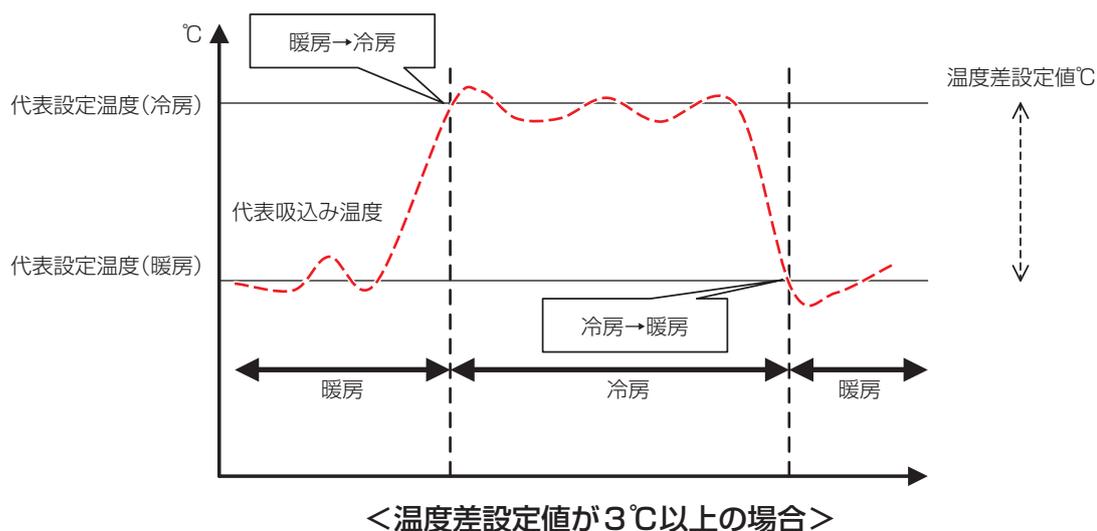
本機能を有効にすると、5分ごとに、代表室温／代表設定温度から制御条件を判定し、条件が設立した場合に運転モードを切り換えます。運転モードを冷房に切り換えた直後30分間は判定を行いません。ただし、設定温度が変更された場合は、即時に再判定を行い、以後は5分ごとに判定を行います。

制御条件の判定は、温度差設定値に応じて次の4つのパターンで行います。

温度差設定値が0・1・2℃の場合には温度維持範囲が常に3℃となるように運転モードを切り換えます。

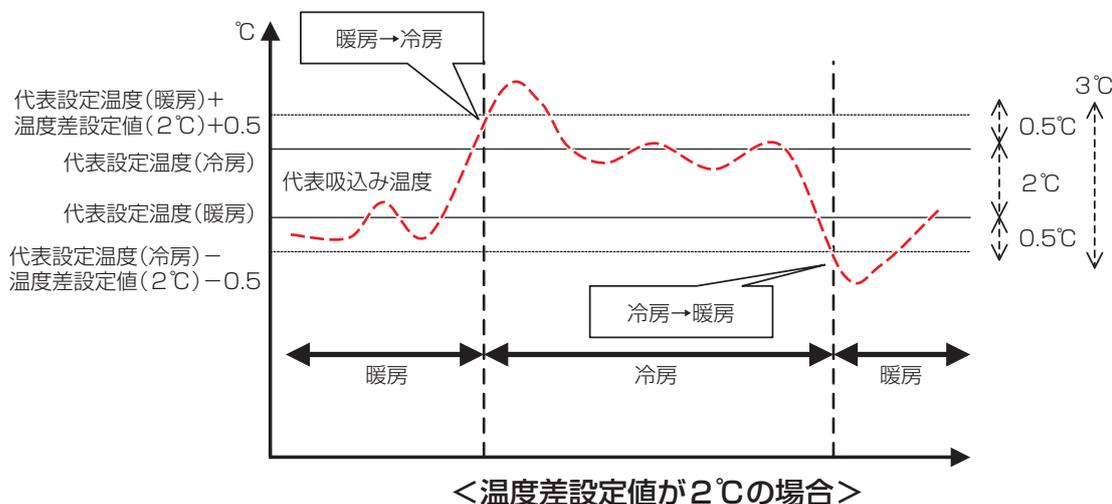
### 温度差設定値が3℃以上の場合

- ・ 代表吸込み温度 - 代表設定温度(暖房) > 温度差設定値 の場合、暖房→冷房に切り換える
- ・ 代表設定温度(冷房) - 代表吸込み温度 > 温度差設定値 の場合、冷房→暖房に切り換える



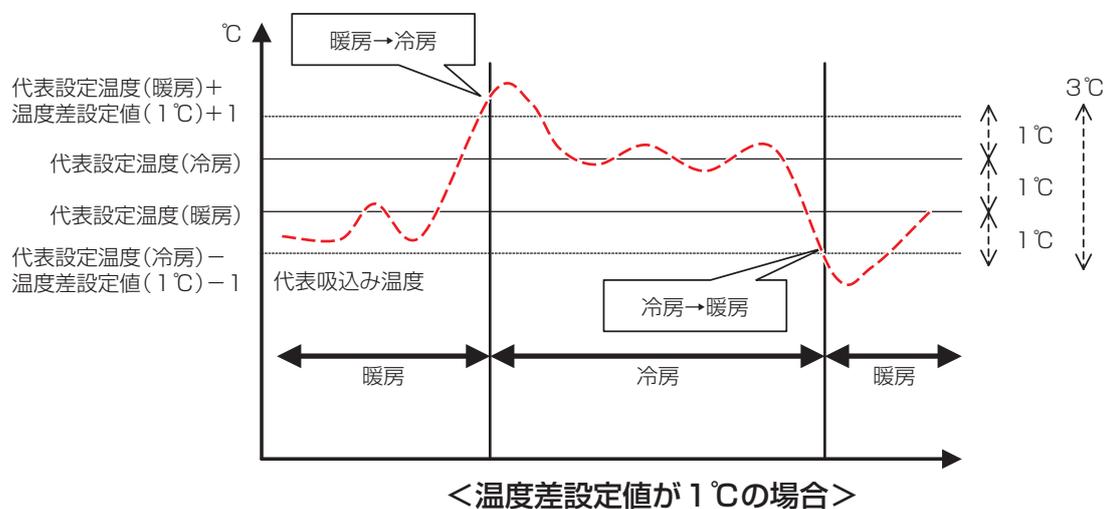
## 温度差設定値が2℃の場合

- ・ 代表吸込み温度 - 代表設定温度(暖房) > 温度差設定値 + 0.5 の場合、暖房→冷房に切り換える
- ・ 代表設定温度(冷房) - 代表吸込み温度 > 温度差設定値 + 0.5 の場合、冷房→暖房に切り換える



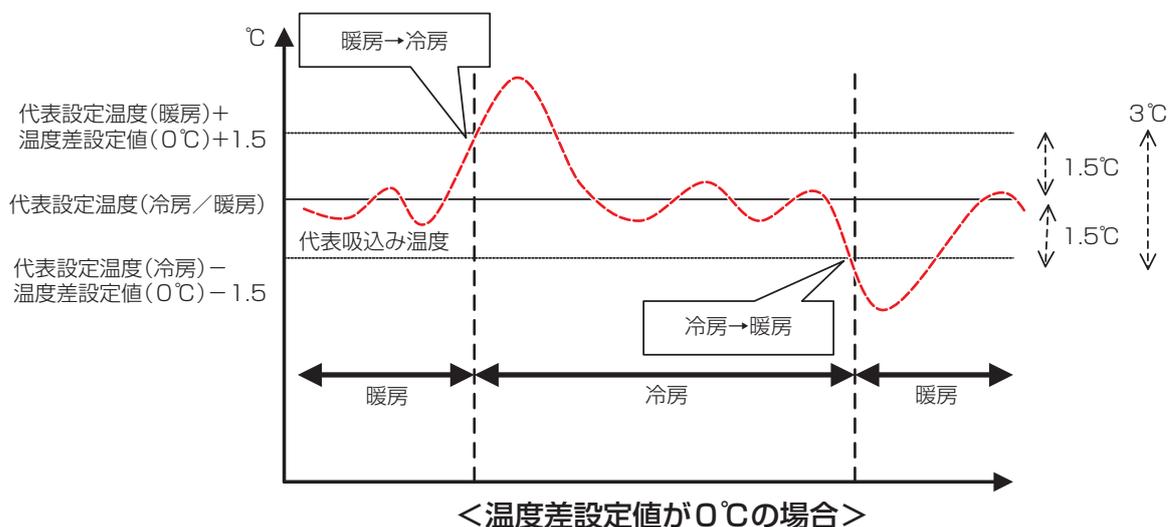
## 温度差設定値が1℃の場合

- ・ 代表吸込み温度 - 代表設定温度(暖房) > 温度差設定値 + 1 の場合、暖房→冷房に切り換える
- ・ 代表設定温度(冷房) - 代表吸込み温度 > 温度差設定値 + 1 の場合、冷房→暖房に切り換える



## 温度差設定値が0℃の場合

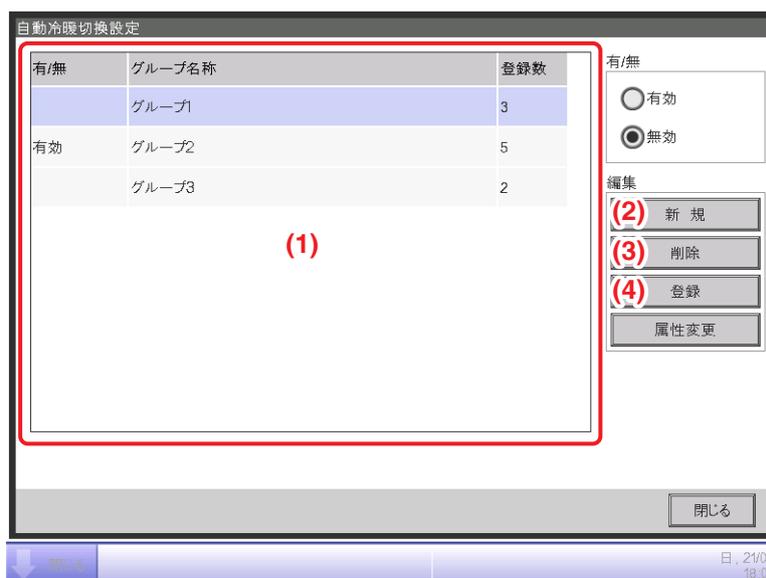
- 代表吸込み温度 - 代表設定温度(暖房) > 温度差設定値 + 1.5 の場合、暖房→冷房に切り換える
- 代表設定温度(冷房) - 代表吸込み温度 > 温度差設定値 + 1.5 の場合、冷房→暖房に切り換える



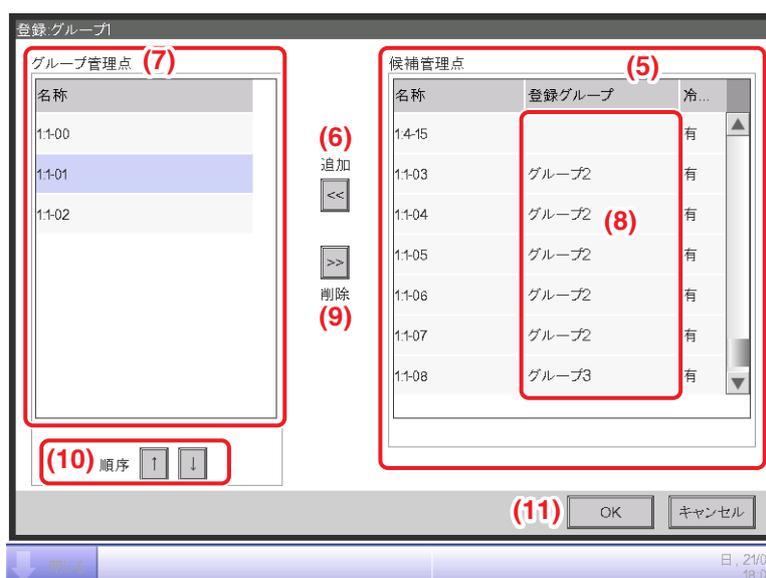
自動冷暖切換グループの作成と設定手順を説明します。

### 自動冷暖切換グループの作成と編集

- メニューリスト画面の自動制御タブで **(4)** 自動冷暖切換設定 ボタンをタッチして、自動冷暖切換設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



2. (1) に登録されている自動冷暖切替グループの一覧が表示されます。新規にグループを作成する場合は (2) **新規** ボタンをタッチして、名称設定ダイアログを表示させグループの名称を入力します。すでにあるグループと同じ名称は使用できません。グループは最大512グループまで作成することができます。
3. グループを削除する場合は、(1) のグループを選択し (3) **削除** ボタンをタッチします。
4. グループの管理点を追加・削除する場合は、(1) から編集したいグループを選択して、(4) **登録** ボタンをタッチし、グループ管理点登録画面を表示します。

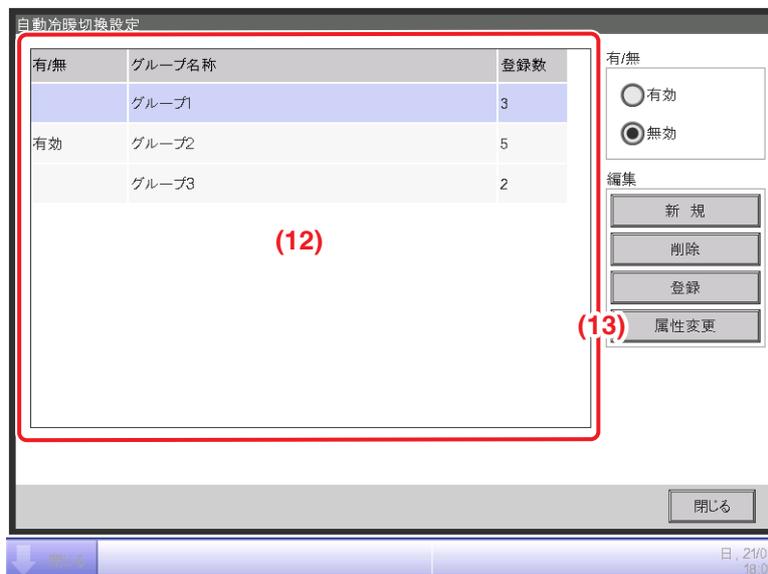


5. (5) **候補管理点**に管理点の一覧が表示されるので、登録したい管理点を選択し (6) **追加** ボタンをタッチすると (7) **グループ管理点**に移動し、グループに登録されます。最大で64点の管理点を登録できます。1つの管理点を複数のグループに登録することはできません。 (8) **登録グループ**に、属しているグループが表示されていますので、どのグループにも属していない管理点を選択します。 (7) から管理点を選択し (9) **削除** ボタンをタッチすれば登録から削除できます。グループ内の登録順序を入れ換えたい場合は (10) **順序** ボタンで順列を変更します。登録が終われば (11) **OK** ボタンをタッチして自動冷暖切替設定画面に戻ります。

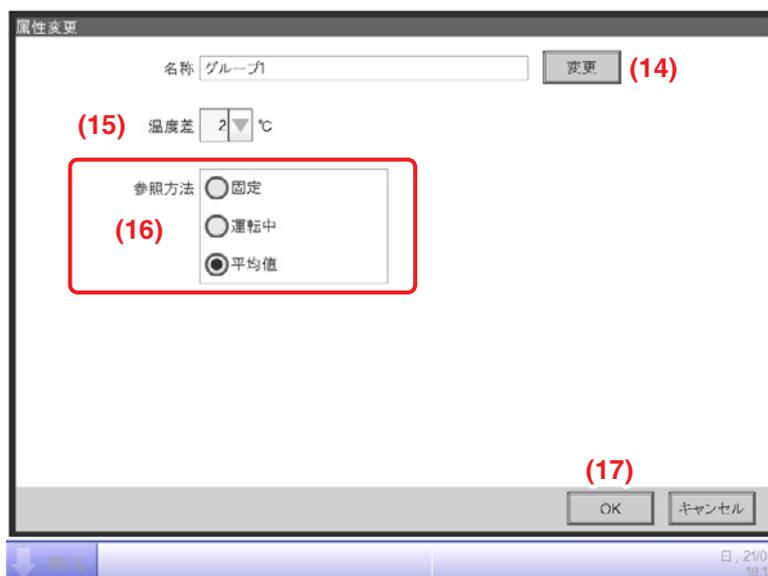
#### NOTE

- 登録できるのは室内機管理点のみです。1つのグループには、同一空間にある室内機のみを登録するようにしてください。
- 予期せぬ運転モードに切り換わる場合があるので、冷暖選択権のない室内機を登録するときは、同じ冷媒系統に属する冷暖選択権のある室内機と同じグループに登録してください。

## 切換条件の設定



1. (12) グループ一覧を選択し、(13) 属性変更ボタンをタッチして属性変更画面を表示します。



2. (14) 変更ボタンをタッチすると、名称設定ダイアログが表示され、グループの名称を変更できます。

3. **(15) 温度差**コンボボックスで温度差設定値を選択します。1℃刻みで0～7℃の範囲で設定します。

「温度差」とは室内機の設定温度に対して許容する温度の差です。室温と代表設定温度の差がこの温度差を超えると運転モードが切り換わります。

また冷房から暖房に切り換わったときは、この温度差の設定値分だけ設定温度を下げます。

暖房から冷房に切り換わったときは、この温度差の設定値分だけ設定温度を上げます。

(例) 室内機の設定温度：22℃、温度差設定値：4℃で暖房運転中、室内温度が26℃を超えると冷房運転に切り換わり、設定温度が26℃に変更されます

4. **(16) 参照方法**ラジオボタンでグループの室内温度と設定温度を判定する方法を次の3つの中から選択します。デフォルトでは平均値が選択されています。

**固定**：グループの先頭に登録されている室内機のもつ室温情報と設定温度を、代表室温と代表設定温度として使用します。このモードの場合、室内機が停止していてもその室内機の情報を使用します。ただし、その室内機の運転モードが冷房／暖房／自動以外の場合、通信異常中および点検中の場合は、本機能は働きません。

**運転中**：グループ内で冷房または暖房、自動で運転している室内機を探し、その室内機のもつ室温情報と設定温度を、代表室温と代表設定温度として使用します。運転中の室内機を探す順番はグループへの管理点の登録順とします。条件に合致する室内機がグループ内にない場合は固定と同様の参照方法になります。このモードの場合、HMO機能で停止中の室内機は運転中とみなします。

**平均値**：グループ内の冷房または暖房、自動で運転している室内機のもつ室温情報の平均値と設定温度の平均値を、代表室温と代表設定温度として使用します。条件に合致する室内機がグループ内にない場合は固定と同様の参照方法になります。このモードの場合、HMO機能で停止中の室内機は運転中とみなします。

**NOTE**

制御開始時の運転モードの判定は、次のとおりとします。

- 室温の平均値 ≤ 設定温度の平均値 の場合、暖房運転中とみなす。
- 室温の平均値 > 設定温度の平均値 の場合、冷房運転中とみなす。

5. すべての設定が終われば **(17) OK** ボタンをタッチして自動冷暖切替設定画面に戻ります。

## 自動冷暖切換の適用

有/無	グループ名称	登録数
	グループ1	3
有効	グループ2	5
	グループ3	2

(18) でグループを選択し、自動冷暖切換機能を有効にしたい場合は (19) 有/無ラジオボタンの「有効」を、無効にしたい場合は「無効」を選択します。

### ほかの制御機能と併用する場合の注意

1. 本機能とSliding Temp.機能を同一室内機に対して同時に設定した場合、Sliding Temp.機能によって冷房の設定温度が下げられると、本機能によって暖房に切り換わったときの設定温度がかなり低くなる可能性があります。

(例)Sliding Temp.機能の設定温度下限が20℃で、本機能の設定温度差が4℃の場合

1. 設定温度20℃で暖房運転を開始。
2. 室温が24℃になったところで本機能により冷房に切り換わる。
3. 冷房に切り換わったところでSliding Temp.機能により外気温に応じた設定温度に変更される。
4. 外気温が下がるとSliding Temp.機能により設定温度が20℃まで下げられる。

さらに室温が下がり16℃になったところで本機能により暖房に切り換わる。そのとき設定温度が16℃になる。最初20℃で暖房していたが、暖房→冷房→暖房と切り換わることで設定温度が16℃になった。

2. スケジュール機能・連動制御機能と併用した場合、本機能設定時に想定したとおりの動作をしなくなる可能性があります。

(例) 本機能の室温・設定温度参照方法を固定にし、設定温度差を4℃に設定した場合

1. 室温・設定温度参照用の室内機を設定温度20℃で暖房運転。
2. リモコンからその室内機の運転モードを冷房に変更。
3. 室温が20℃以上になったら自動冷暖グループの室内機の運転モードを冷房にし、設定温度を20℃にする。リモコンで運転モードを変更しなければ、室温が24℃以上になるまで暖房モードで動作し、冷房に切り換わったときに設定温度が24℃にならない。

## 8-3 緊急停止の設定

iTMには標準機能として緊急停止機能が搭載されています。(5-4 緊急停止の確認参照)

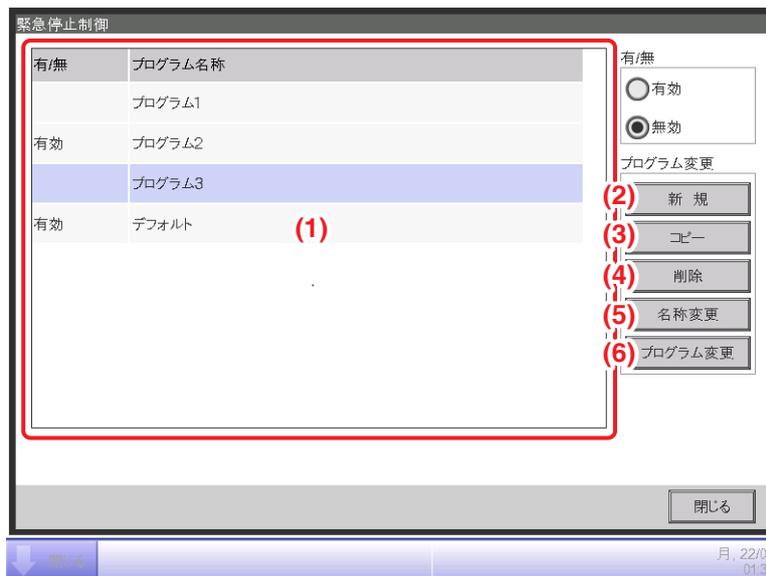
緊急停止は主に火災時を想定した制御機能であり、緊急停止プログラムにしたがって、緊急停止信号として設定された入力信号が入力されたときに、出力として設定された管理点を停止します。デフォルトプログラムでは緊急停止信号が入力されると、管理点として登録されているすべてのDⅢ機器(ただし、給湯(オプション)管理点は除く)を停止します。

デフォルトプログラムは有効・無効の切り替え以外、編集できません。

現地設定機能で緊急停止機能が有効な場合、任意の緊急停止プログラムの作成を行うことができますようになります。

プログラムの作成と設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(3) 緊急停止制御設定** ボタンをタッチし、緊急停止制御設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



2. **(1)** に緊急停止プログラムの一覧が表示されるので、目的に応じた各ボタンをタッチします。

### **(2) 新規** ボタン

プログラムを新規作成します。緊急停止プログラムは最大32点(デフォルトプログラム1個を含む)まで作成できます。

### **(3) コピー** ボタン

選択したプログラムを複製できます。

### **(4) 削除** ボタン

選択したプログラムを削除します。

### **(5) 名称変更** ボタン

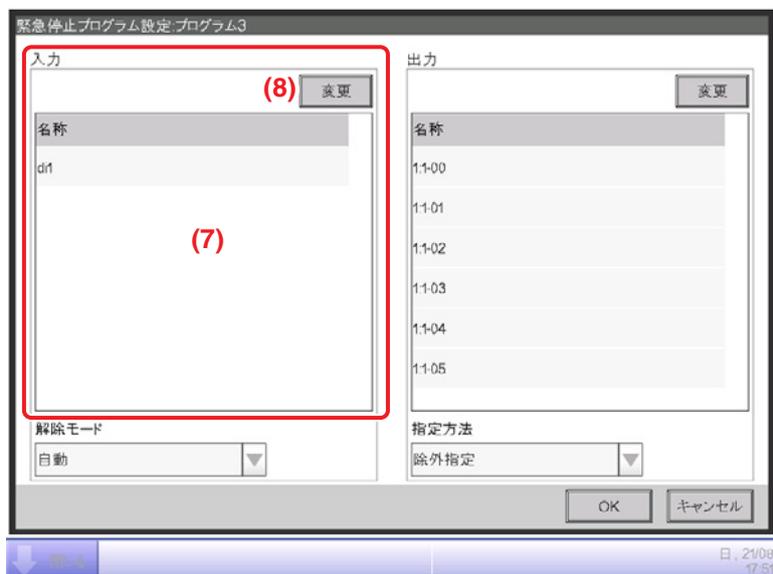
名称設定ダイアログが表示され選択したプログラムの名称を変更できます。

### **(6) プログラム変更** ボタン

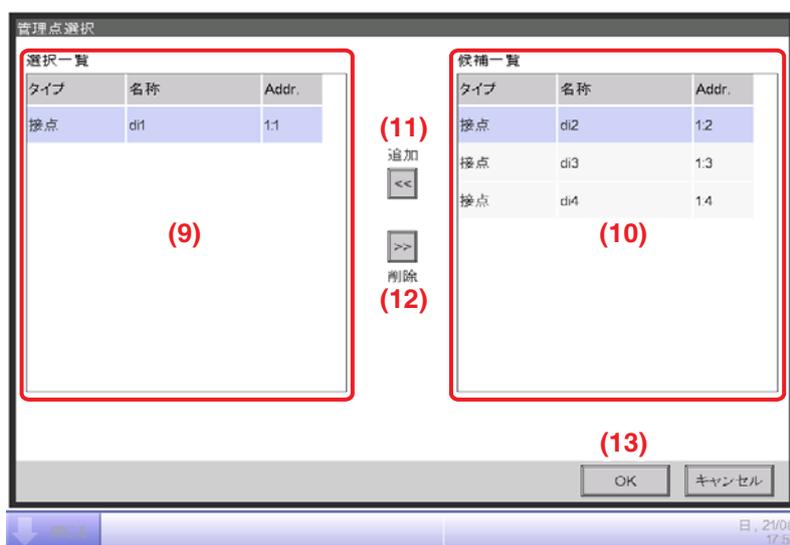
プログラムを編集できます。

3. **新規・コピー・名称変更** ボタンをタッチしたときは名称設定ダイアログが表示され、プログラムの名称を入力します。プログラムの名称は最大20文字まで設定できます。

**OK** ボタンをタッチして画面を閉じると、(1) の一覧に追加されるので (6) **プログラム変更** ボタンをタッチし、緊急停止プログラム設定画面を表示します。



4. (7) **入力**の名称に緊急停止信号として入力する管理点の一覧が表示されます。(8) **変更** ボタンをタッチして管理点選択画面を表示します。

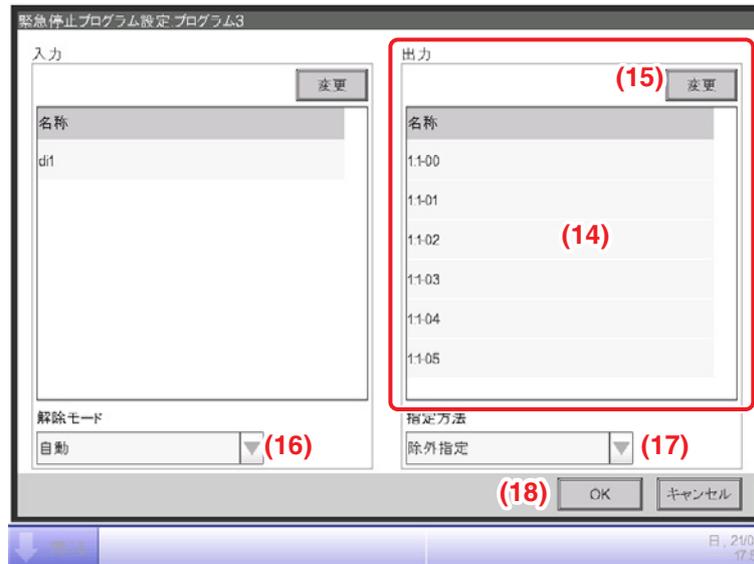


5. (9) **選択一覧**に登録されている管理点の一覧、(10) **候補一覧**に登録可能な管理点の一覧が表示されます。

管理点を追加する場合は (10) から選択し (11) **追加** ボタンをタッチします。管理点を登録から削除したい場合には (9) から選択し (12) **削除** ボタンをタッチします。

管理点は最大6つまで登録できます。

編集が終われば (13) **OK** ボタンをタッチして緊急停止プログラム設定画面に戻ります。

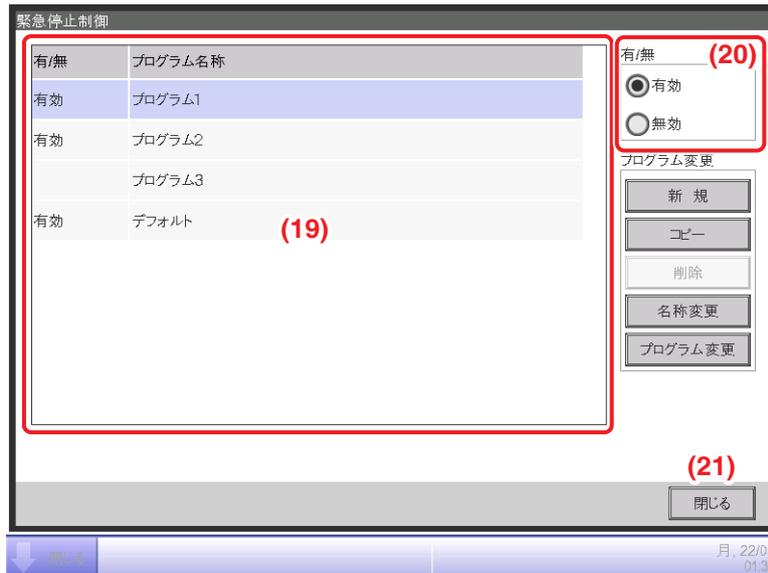


6. **(14)** 出力の名称に緊急停止の対象となる管理点の一覧が表示されます。**(15)** 変更ボタンをタッチして、手順5と同様に管理点の登録を行います。
7. **(16)** 解除モードコンボボックスで、緊急停止プログラムの解除方法を「自動」または「手動」から選択します。
- (17)** 指定方法コンボボックスで **(14)** の出力一覧を緊急停止の対象とするか、除外の対象とするかを選択します。

#### NOTE

- 緊急停止プログラムの作成後に、新規登録された管理点は、次のように扱います。
  - ・ **(14)** の一覧を緊急停止の対象とするプログラムにおいては、緊急停止しません。
  - ・ **(14)** の一覧を除外の対象とするプログラムにおいては、緊急停止します。
- 業務用換気機器は、集中制御機器からの火災信号などによる強制停止指令が行われた場合でも、24時間換気運転・ナイトパーズ運転・加湿エレメント乾燥運転により、一定時間送風運転を継続する場合があります。(2019年3月以前生産品)

編集が終われば **(18)** OKボタンをタッチして緊急停止制御画面に戻ります。



8. (19) でプログラムを選択し、(20) でプログラムの「有効」または「無効」を選択します。  
設定が終われば (21) 閉じる ボタンをタッチして画面を閉じます。

### 緊急停止の解除

デフォルトプログラムでは、緊急停止の信号入力解除されると、緊急停止も自動で解除されます。  
(強制解除は可能です。)

この章で作成したプログラムは手動解除が設定できます。

手動解除に設定した場合、緊急停止解除画面(5-4 緊急停止の確認参照)で解除ボタンを  
タッチすると、確認ダイアログが表示されます。

確認のうえ、はいボタンをタッチして緊急停止を解除します。

## 8-4 Temp. Limit(室温上下限保証)機能の設定

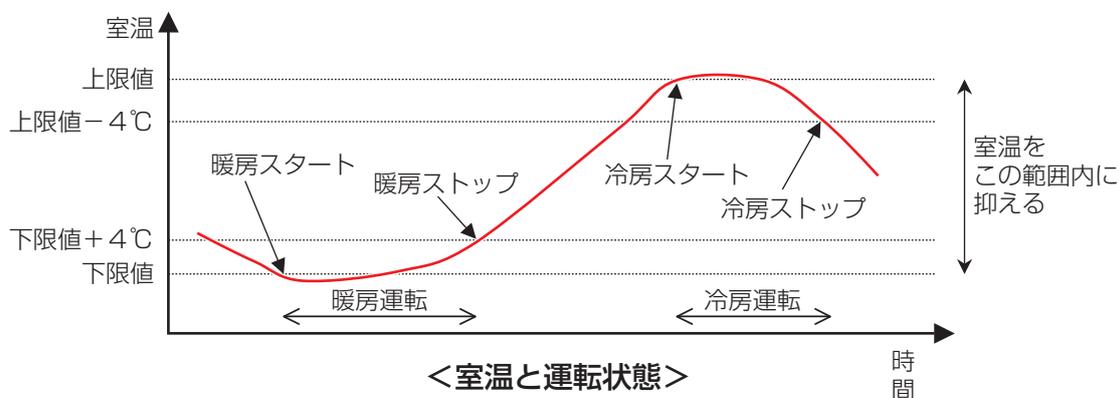
Temp. Limit機能とは、室温が設定した上限値・下限値を超えた場合、冷房・暖房運転を自動で開始し、室温が上下限を超えないように保つ機能です。本機能により、無人の室内に置かれた物品の結露や過熱を防ぐことが可能です。

Temp. Limitグループを作成し本機能を有効に設定すると、グループに登録されている室内機に対して、5分ごとに下記の処理を行います。

- 停止中かつ室温>室温上限値 の場合、冷房運転指令を送信する。
- 停止中かつ室温<室温下限値 の場合、暖房運転指令を送信する。
- 本機能により冷房運転中で、室温<室温上限値 - (4℃)または 室温<冷房設定温度 の場合、停止指令を送信する。
- 本機能により暖房運転中で、室温>室温下限値 + (4℃)または 室温>暖房設定温度 の場合、停止指令を送信する。

### NOTE

冷房運転指令または暖房運転指令が送信されたとき、以降30分間は判定を行いません。ただし、グループメンバーやグループ属性が変更された場合、即時に判定を行い、以後は5分ごとに判定を行います。



ただし、次の状態の室内機には上記の処理を行いません。

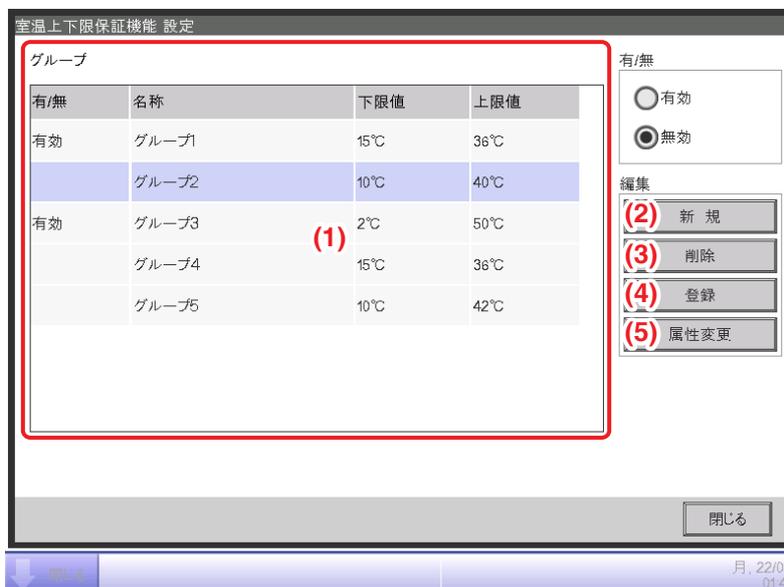
- スケジュール制御機能・連動制御機能などの、本機能以外の機能からの指令によって運転中の室内機。
- 本機能の指令によって運転中に、本機能以外の機能から運転の指令を受けた室内機。
- 吸込み温度が取得できない室内機。

### NOTE

- 本機能の指令によって運転を開始した室内機が、吸込み温度の取得ができなくなった場合は、運転したままになるのでご注意ください。

設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(5) Temp. Limit** ボタンをタッチして、  
室温上下限保証機能設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



2. **(1)** にTemp. Limitグループの一覧が表示されるので、目的に応じた各ボタンをタッチします。

#### **(2) 新規**ボタン

グループを新規作成し、名称設定ダイアログで名称を入力します。すでにあるグループと同じ名称は使用できません。Temp. Limitグループは最大8グループまで作成できます。

OKボタンをタッチして画面を閉じると一覧に追加されます。

#### **(3) 削除**ボタン

選択したグループを削除します。

#### **(4) 登録**ボタン

選択したグループに管理点を登録/削除するための、グループメンバー登録画面を表示します。

#### **(5) 属性変更**ボタン

選択したグループの名称・室温の上下限値を設定するための、グループ属性設定画面を表示します。

3. グループメンバー登録画面を表示し、グループのメンバーを登録します。



(6) グループ管理点にグループに登録されている管理点の一覧、(7) 候補管理点に登録可能な管理点の一覧が表示されます。

管理点を追加する場合は (7) から選択し (8) 追加ボタンをタッチします。管理点を登録から削除したい場合には (6) から選択し (9) 削除ボタンをタッチします。

登録できる管理点は室内機のみで、1グループに最大512点まで登録できます。複数のグループに同一の室内機を重複して登録することはできません。

編集が終われば (10) OKボタンをタッチして室温上下限保証機能設定画面に戻ります。

#### NOTE

- 冷暖選択権をもたない室内機の場合は、グループ内に同一冷媒系統に属する、冷暖選択権のある室内機を登録してください。
- 同じ制御を行いたい室内機であれば、同一空間にない室内機を同じグループに登録することもできます。

4. 属性変更画面を表示し、グループの属性を設定します。

属性変更

名称   (11)

下限値 (12)  °C

上限値 (13)  °C

(14)

閉じる 月, 22/08 01:47

(11) 変更ボタンをタッチすると、文字入力ダイアログが表示されグループの名称を変更できます。

(12) に室温の下限値を、(13) に上限値をそれぞれ数値入力ダイアログで入力します。上限値の設定可能範囲は1℃刻みで32℃～50℃、下限値の設定可能範囲は1℃刻みで2℃～16℃です。

編集が終われば (14) OKボタンをタッチして室温上下限保証機能設定画面に戻ります。

室温上下限保証機能設定

グループ

有/無	名称	下限値	上限値
有効	グループ1	15°C	36°C
有効	グループ2	10°C	40°C
有効	グループ3	2°C	50°C
無効	グループ4	15°C	36°C
有効	グループ5	10°C	42°C

有/無 (16)

有効

無効

編集

(17)

閉じる 月, 22/08 01:47

5. (15) でグループを選択し、Temp. Limit機能を有効にしたい場合は (16) 有/無ラジオボタンの「有効」を、無効にしたい場合は「無効」を選択します。

設定がすべて終われば (17) 閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

---

## 本機能を使用する場合

対象となる室内機の停電自動復帰は「無」のままで使用してください。

必ずご使用の前に販売店にご連絡ください。

## 8-5 Sliding Temp.の設定

Sliding Temp.機能とは、建物の外と直接出入りするような部屋で、外気温と室温の差が大きくなりすぎないようにするために、外気温の変動に伴い室内機の設定温度を変更する機能です。本機能は冷房時のみ機能します。

Sliding Temp.グループを作成し本機能を有効に設定すると、5分ごとにAi管理点で外気温を計測し、グループに登録されている室内機の設定温度を変更します。

外気温と設定温度の関連付けは次の式によって行います。

- 外気温が外気温上限値より高い場合

設定温度 = 設定温度上限値

- 外気温が外気温下限値より低い場合

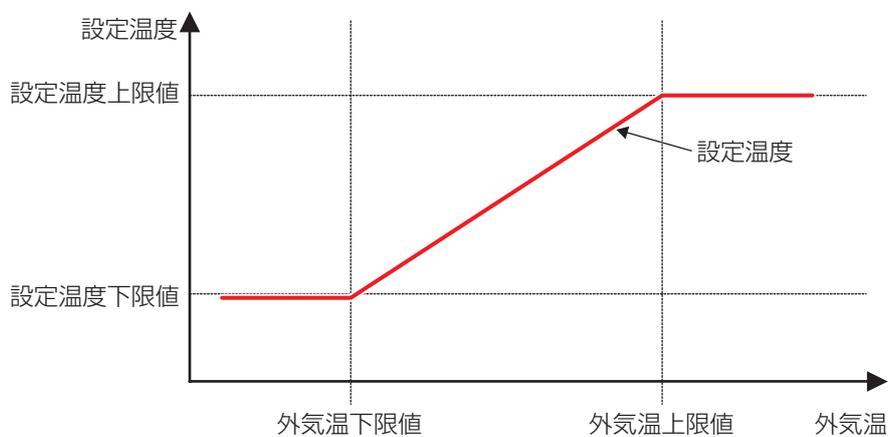
設定温度 = 設定温度下限値

- 外気温が外気温上下限値の範囲内の場合

設定温度 = (外気温 - 外気温下限値) × (設定温度上限値 - 設定温度下限値) / (外気温上限値 - 外気温下限値) + 設定温度下限値

### NOTE

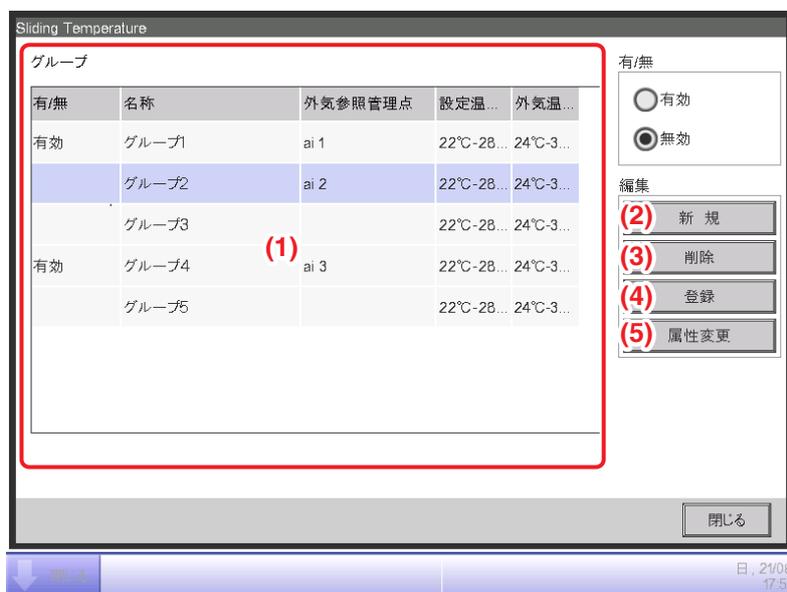
- 計算した設定温度は小数点以下を切り捨てた値とします。



外気温と設定温度の関連

設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(6) Sliding Temp.** ボタンをタッチして、Sliding Temperature設定画面を表示させます。  
(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



2. **(1)** にSliding Temp.グループの一覧が表示されるので、目的に応じた各ボタンをタッチします。

#### **(2) 新規ボタン**

グループを新規作成し、名称設定ダイアログでグループの名称を入力します。すでにあるグループと同じ名称は使用できません。Sliding Temp.グループは最大8グループまで作成できます。**OK**ボタンをタッチして画面を閉じると、リストに追加されます。

#### **(3) 削除ボタン**

選択したグループを削除します。

#### **(4) 登録ボタン**

選択したグループのメンバーを登録・削除するためのグループメンバー登録画面が表示されます。

#### **(5) 属性変更ボタン**

選択したグループの名称、外気温・設定温度の上下限值の設定をするためのグループ属性設定画面が表示されます。

3. グループメンバー登録画面を表示し、グループのメンバーを登録します。



(6) グループ管理点にグループに登録されている管理点の一覧、(7) 候補管理点に登録可能な管理点の一覧が表示されます。

管理点を追加する場合は (7) から選択し (8) 追加ボタンをタッチします。管理点を登録から削除したい場合には (6) から選択し (9) 削除ボタンをタッチします。

登録できる管理点は室内機のみで、1グループに最大512点まで登録できます。複数のグループに同一の室内機を重複して登録することはできません。

編集が終われば (10) OKボタンをタッチしてSliding Temperature設定画面に戻ります。

#### NOTE

同じ制御を行いたい室内機であれば、同一空間にない室内機を同じグループに登録することもできます。

4. 属性変更画面を表示し、グループの属性を設定します。

(11) 変更ボタンをタッチすると文字入力ダイアログが表示され、グループの名称を変更できます。

(12) 変更ボタンをタッチすると、Ai管理点選択画面が表示され、外気温を測定するAi管理点の登録ができます。

(13) に登録可能なAi管理点の一覧が表示されるので選択します。複数のグループに同一のAi管理点を重複して登録することもできます。

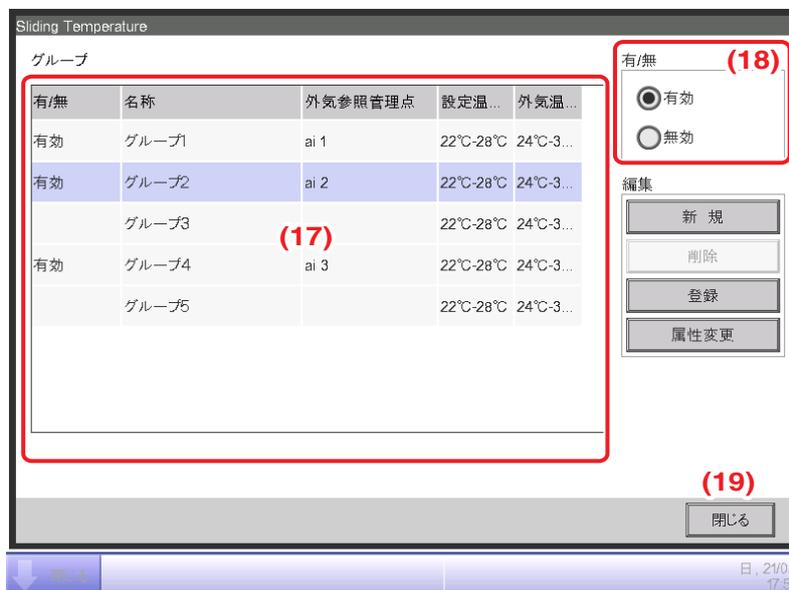
(14) OKボタンをタッチしてグループ属性設定画面に戻ります。

(15) に外気温の上下限値を数値入力ダイアログで入力します。

(16) に設定温度の上下限値を数値入力ダイアログで入力します。

外気温の上下限値の設定可能範囲は1℃刻みで18℃～34℃、設定温度の上下限値の設定可能範囲は1℃刻みで16℃～32℃です。

編集が終われば**OK**ボタンをタッチしてSliding Temperature設定画面に戻ります。



5. (17) でグループを選択し、Sliding Temp.機能を有効にしたい場合は (18) 有/無ラジオボタンの「有効」を、無効にしたい場合は「無効」を選択します。

設定がすべて終われば (19) 閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

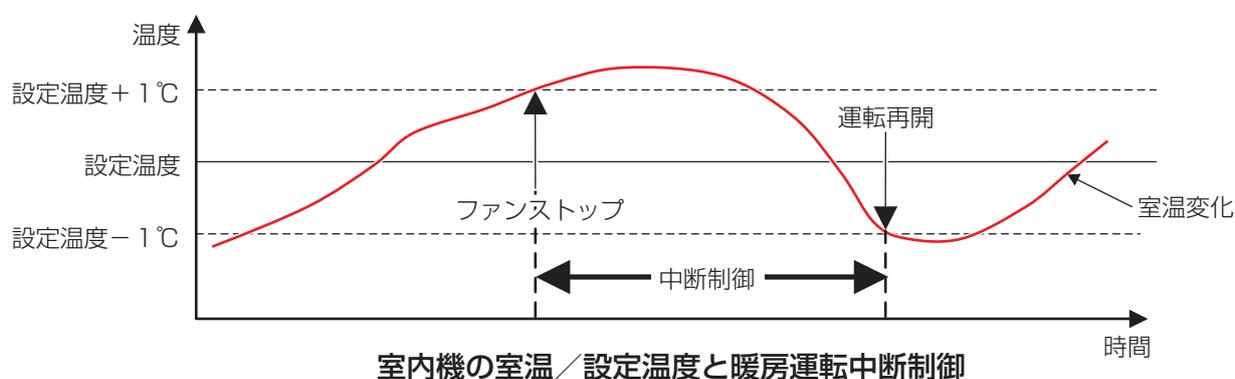
## 8-6 HMO (暖房時最適停止制御) 機能の設定

HMO (暖房時最適停止制御) 機能とは、暖房運転中にムダな温度上昇と不快感を抑えるために、運転表示のまま室内機を停止させる機能です。

本機能が有効に設定されている室内機に対して、5分ごとに下記の処理を行います。

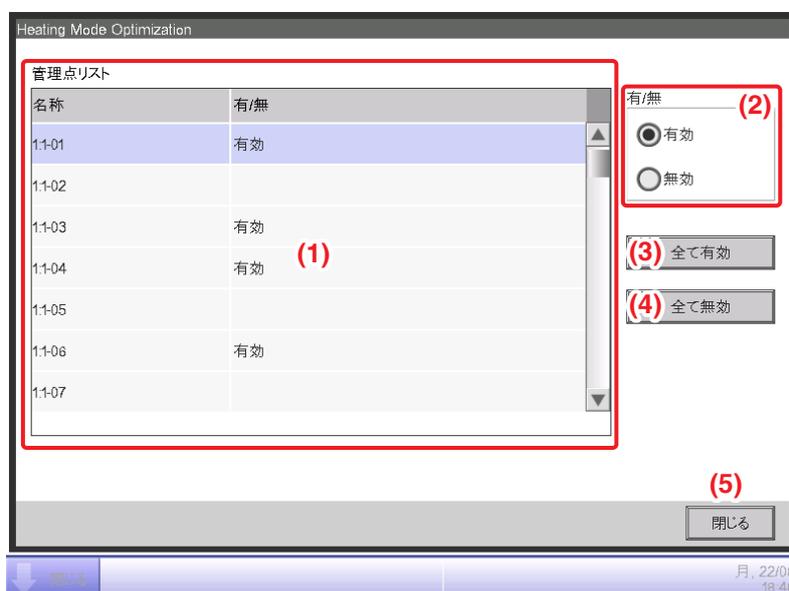
- 暖房運転中かつ吸込み温度 > 設定温度 + 1℃ の場合、室内機を停止する。ただしITMの表示は運転のままとする (リモコンの表示は停止)。
- 本機能により停止中で、吸込み温度 < 設定温度 - 1℃ の場合、室内機を運転する。
- 本機能により停止中で、Heating Mode Optimization設定画面で暖房時最適停止制御「有効」→「無効」に変更した場合、室内機を運転する。
- 本機能により停止中で、運転モードが暖房以外に変更された場合、室内機を運転する。

本機能で制御中の室内機で吸込み温度が取得できなかった場合、上記の制御判定は行わずその時点での運転状態を維持し、成功するまで5分ごとに吸込み温度の取得を続けます。



設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(7) HMO設定** ボタンをタッチして、Heating Mode Optimization設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



- 
2. (1) **管理点リスト**に室内機の名称と本機能の有効・無効が一覧で表示されるので選択し、
- (2) **有/無**ラジオボタンで**有効・無効**を選択します。
- (3) **全て有効**ボタンをタッチすると、一覧に表示されているすべての室内機を、有効に設定します。
- (4) **全て無効**ボタンをタッチすると、一覧に表示されているすべての室内機を、無効に設定します。

設定が終われば (5) **閉じる** ボタンをタッチして画面を閉じます。

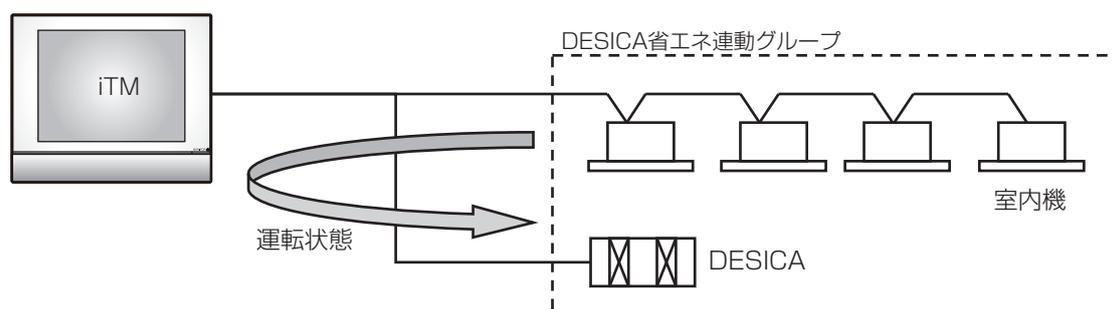
## 8-7 DESICA省エネ連動機能の設定

### 概要

DESICA省エネ連動機能とは、室内機の運転状態をiTMからDESICAに定期的に通知することで、室内機と連動させてDESICAを運転させる機能です。

室内機の設定温度を加味して、DESICAは運転を行うため、ムダな運転を省けて省エネにつながります。

DESICA省エネ連動グループを作成し機能を有効にすると、グループに登録した室内機の状態をグループに登録したDESICAへ通知します。



### NOTE

- iTMを2台設置している場合、「従集中」のiTMでは自動制御タブのDESICA省エネ連動ボタンは表示されません。「主集中」に設定しているiTMから本機能を設定してください。
- DESICA省エネ連動グループに室内機を登録していない場合は、iTMからDESICAに通知を行いません。
- iTMと集中管理コントローラーを併設している場合、iTMのDESICA省エネ連動機能のみ、有効にするように設定してください。

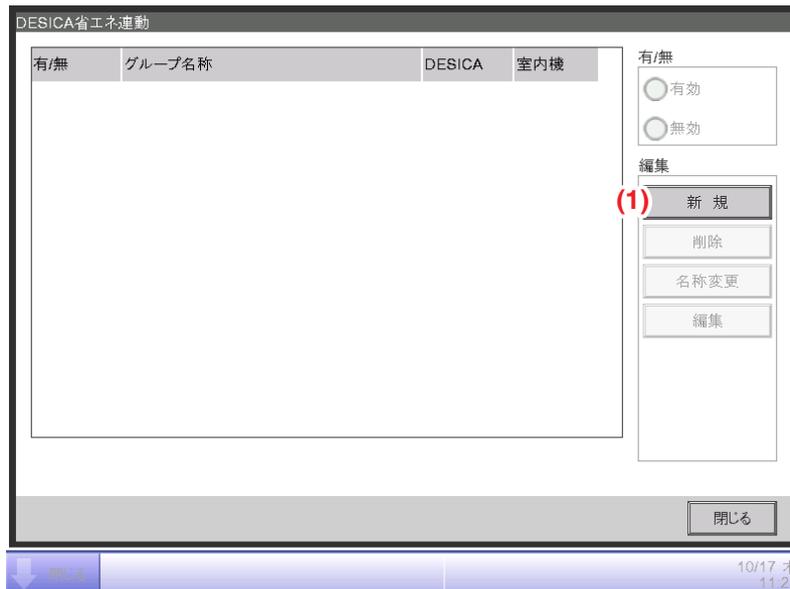
## DESICA省エネ連動グループの作成と設定

下記のモデルケースを例に、グループの作成と設定の手順を説明します。

グループ名称：省エネグループ1

グループ管理点：DESICA2台、室内機4台

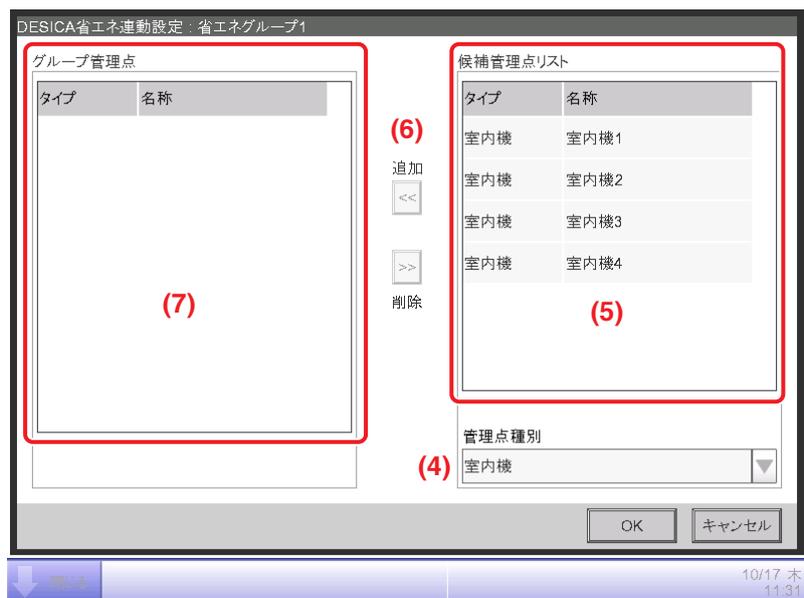
1. メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(1) DESICA省エネ連動** ボタンをタッチして、DESICA省エネ連動画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



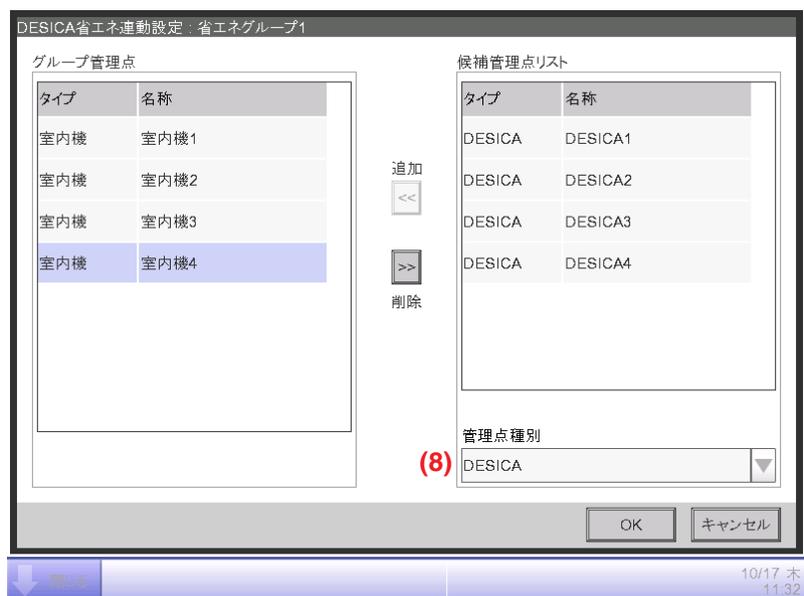
2. **(1) 新規** ボタンをタッチして、グループ名称ダイアログを表示させグループの名称を入力します。「**省エネグループ1**」と入力します。



3. **(2)** DESICA省エネ連動グループ一覧で作成したグループを選択し、**(3) 編集** ボタンをタッチして、DESICA省エネ連動グループ設定画面を表示します。



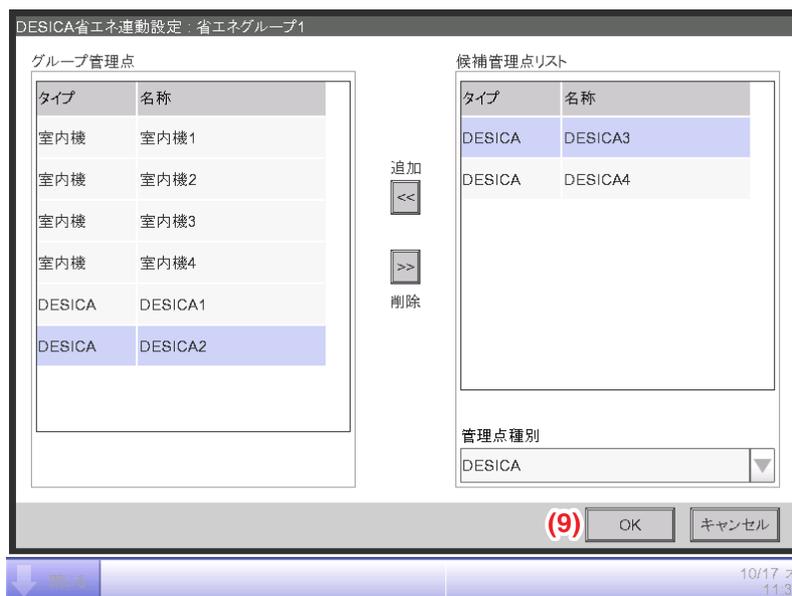
4. (4) 管理点種別コンボボックスで、「室内機」を選択します。  
 (5) 候補管理点リストから「室内機1」～「室内機4」を選択し、(6) 追加ボタンをタッチして  
 (7) グループ管理点一覧に追加します。



5. (8) 管理点種別コンボボックスで、「DESICA」を選択します。  
 手順4と同様の手順で「DESICA1」・「DESICA2」を登録します。

#### NOTE

- DESICAを複数のDESICA省エネ連動グループに重複して登録することはできません。
- 室内機は複数のDESICA省エネ連動グループに重複して登録することが可能です。



6. 設定が終われば (9) OKボタンをタッチして、DESICA省エネ連動画面に戻ります。

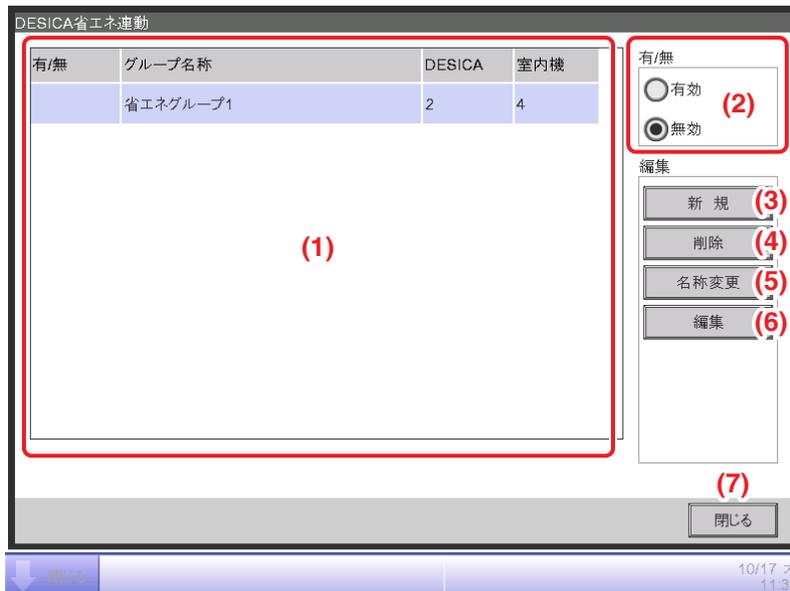


7. (10) 「省エネグループ1」を選択し、(11) 有/無ラジオボタンで「有効」を選択します。  
 一覧の有/無欄に「有効」と表示されたことを確認し、(12) 閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

## 画面とボタンの詳細

### ■DESICA省エネ連動制御画面

メニューリスト画面の **(11) DESICA省エネ連動** ボタンをタッチしたときに表示されます。  
DESICA省エネ連動グループの確認・新規作成・削除・編集などを行います。



#### (1) DESICA省エネ連動グループ一覧表示

DESICA省エネ連動グループの一覧を表示します。

#### (2) 有/無ラジオボタン

DESICA省エネ連動グループの有効/無効を設定します。

#### (3) 新規ボタン

DESICA省エネ連動グループを新規作成します。タッチすると名称入力ダイアログが表示されます。DESICA省エネ連動グループは最大100グループまで作成できます。グループ名称は全角・半角問わず1～32文字の範囲で設定できます。すでに登録されたグループ名称と同じものは使用できません。

#### (4) 削除ボタン

DESICA省エネ連動グループ一覧で選択したDESICA省エネ連動グループを削除します。タッチすると削除確認ダイアログが表示されます。

#### (5) 名称変更ボタン

DESICA省エネ連動グループ一覧で選択したグループ名称を変更します。タッチすると文字入力ダイアログが表示されます。

---

**(6) 編集ボタン**

DESICA省エネ連動グループ設定画面を表示します。

DESICA省エネ連動グループに登録する室内機とDESICAの編集ができます。

**(7) 閉じるボタン**

DESICA省エネ連動制御画面を閉じます。

## ■DESICA省エネ連動グループ設定画面

DESICA省エネ連動設定メイン画面の**編集**ボタンをタッチしたときに表示されます。

DESICA省エネ連動グループに、室内機とDESICAの登録・削除を行います。



### (1) グループ管理点一覧表示

DESICA省エネ連動グループに登録されている室内機およびDESICAを表示します。

### (2) 候補管理点リスト表示

管理点種別コンボボックスで選択した、DESICA省エネ連動グループに登録する候補管理点の一覧を表示します。エリアは候補管理点の一覧には表示されません。

### (3) 追加ボタン

候補管理点リストで選択した管理点をグループ管理点一覧に登録します。

管理点はDESICA・室内機それぞれ64点まで登録できます。

### (4) 削除ボタン

グループ管理点一覧で選択した管理点を削除します。

### (5) 管理点種別選択コンボボックス

候補管理点リストに表示する管理点を選択します。

「室内機／DESICA」から選択します。

### (6) OKボタン

編集結果を保存して、DESICA省エネ連動グループ設定画面を閉じます。

### (7) キャンセルボタン

編集結果を破棄して、DESICA省エネ連動グループ設定画面を閉じます。

## 9. システム設定

### 9-1 ネットワーク設定

iTMはインターネットを経由して遠隔地から操作を行ったり、異常が発生したときに電子メールで連絡を受け取ることが可能です。これらの機能を利用するにはiTM本体のネットワーク設定が必要になります。

設定の手順を説明します。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(4) ネットワーク設定** ボタンをタッチして、ネットワーク設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)

ネットワーク設定

(1) コントローラ名称 intelligent Touch Manager 変更

(2) ホスト名 localhost 変更

(3) IPアドレス 192.168.0.1 変更

(4) サブネットマスク 255.255.255.0 変更

(5) デフォルトゲートウェイ 0.0.0.0 変更

(6) プライマリDNS 0.0.0.0 変更

(7) セカンダリDNS 0.0.0.0 変更

Webサーバ設定

OK キャンセル

閉じる 月, 22/08 18:43

コントローラ名称

intelligent Touch Manager 残り文字数: 39

OK キャンセル

<文字入力ダイアログ>

IPアドレス

192 168 0

OK キャンセル

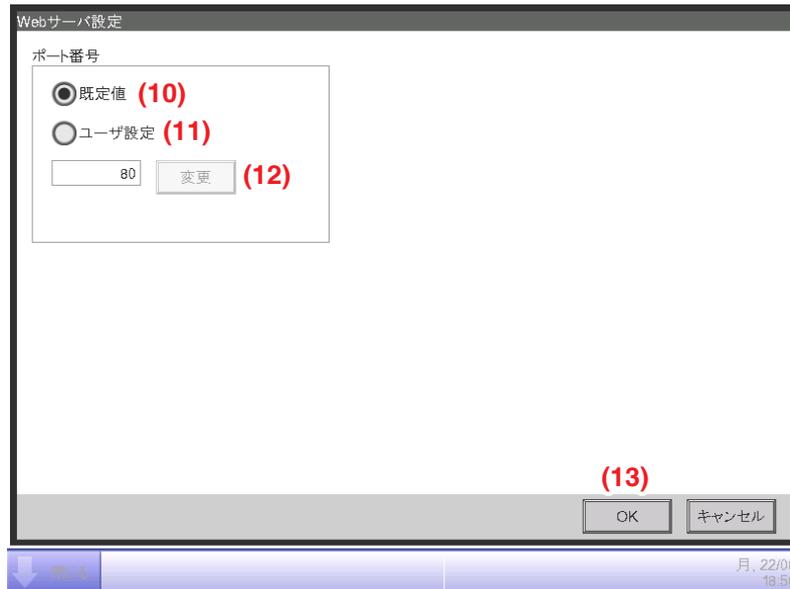
<IPアドレス入力ダイアログ>

2. 現在の設定が表示されています。**変更**ボタンをタッチして入力ダイアログを開き、設定を変更できます。設定に必要な情報はネットワーク管理者にご確認ください。

- (1) コントローラ名称
- (2) ホスト名
- (3) IPアドレス
- (4) サブネットマスク
- (5) デフォルトゲートウェイアドレス
- (6) プライマリDNSアドレス
- (7) セカンダリDNSアドレス

3. Webサーバーのポート番号を設定します。

(8) Webサーバ設定ボタンをタッチするとWebサーバ設定画面が表示されるので、Webサーバーのポート番号を設定します。



**(10)** 既定値を選択するとデフォルトのポート「80」を使用します。

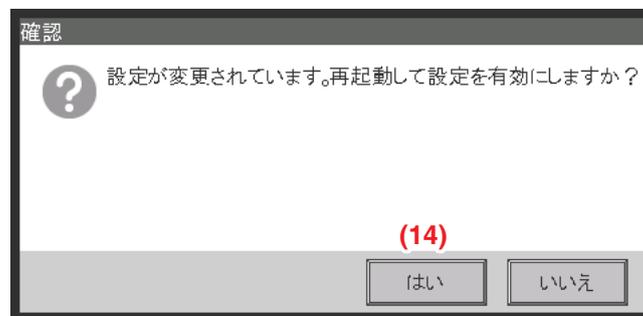
**(11)** ユーザ設定を選択するとポート番号「8080」が表示されます。

**(12)** 変更ボタンをタッチして、数値入力ダイアログを表示させると変更ができます。

**(13)** OKボタンをタッチして画面を閉じます。

入力可能なポート番号は、付録(1. iTM監視制御機能一覧)をご覧ください。

4. 必要な設定が終われば **(9)** OKボタンをタッチすると、確認ダイアログが表示されます。

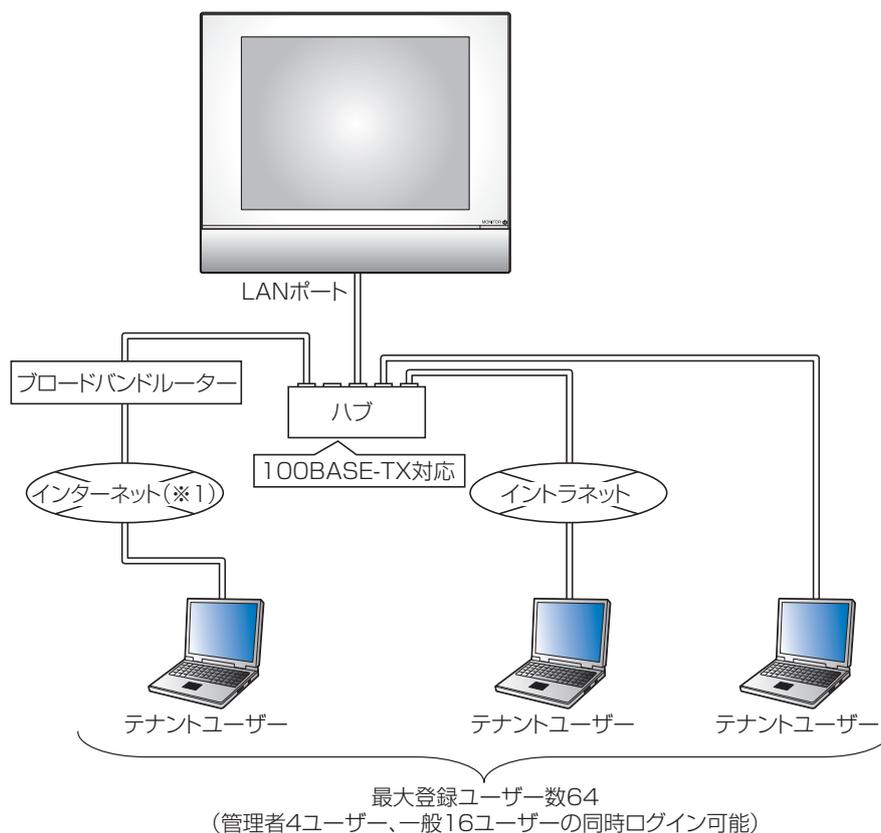


5. 再起動確認のメッセージが表示されます。**(14)** はいボタンをタッチすると設定が反映され、iTMが再起動します。

## 9-2 Webアクセス設定と遠隔管理

ネットワーク設定がされているiTMは、インターネット(※1)経由でアクセスして遠隔地のパソコンから操作することができます。Webユーザーは複数登録することができ、操作権限も制限することができます。第三者による閲覧・操作を防ぐため、Web遠隔監視に使用するパソコンに、必要に応じてスクリーンセーバーを設定してください。

本機能を利用するために必要なパソコンのスペックは周辺機器仕様表(CB15A003)をご覧ください。



### NOTE

Web画面の拡大・縮小はしないでください。

- パソコンのDPI設定(テキストやその他の項目の大きさ)は100%としてください。
- Webブラウザの拡大率は100%としてください。

※1 本製品は、電気通信事業者の通信回線に直接接続することはできません。

インターネット接続をする場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

別途、お客様にてインターネット契約が必要です。なお、インターネット接続をする場合は、必ずVPNルーターを使用して、お客様側でセキュリティを確保してください。

---

## NOTE

### Web遠隔管理機能をお使いの場合

<不正利用を防ぐために>

- 本製品はネットワーク技術を利用しているため、次のようなセキュリティリスクがあります。

- ※情報漏えい

- ※なりすましによる不正操作

- ※攻撃による機器の停止

そのため、本製品はセキュリティを確保したネットワーク環境でご使用ください。

- セキュリティ強化のために利用ユーザーの管理にあたっては、下記の点を遵守ください。

- ※ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する

- ※パスワードは他者に推定されにくい英数字の組み合わせにする

- 本製品ではシステムの保全のため、ユーザー操作、機器の動作状況を記録しています。

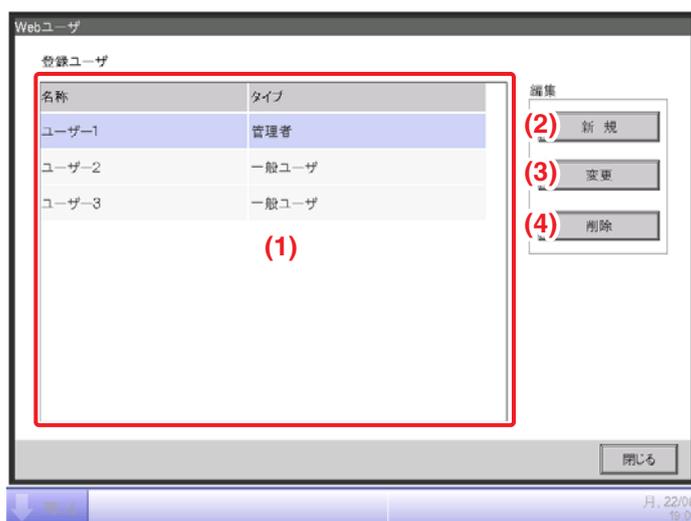
これは履歴画面で確認が可能です。

ユーザーの作成と操作手順を説明します。

## Webユーザーの登録

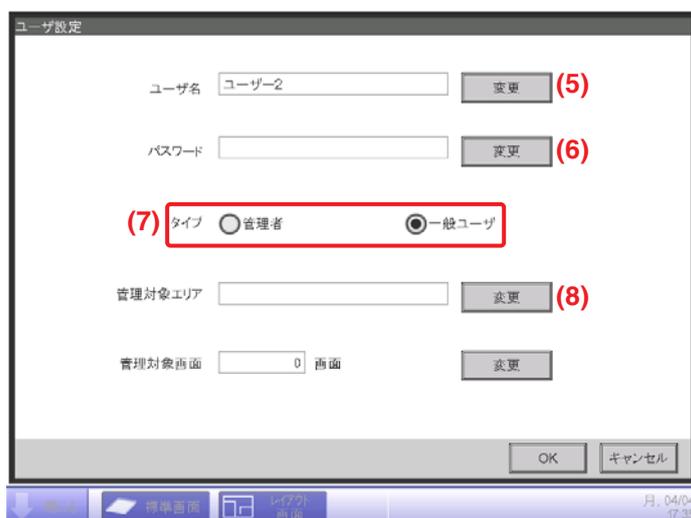
WebにアクセスするWebユーザーを登録します。Webユーザーの種類には管理者と一般があり、一般ユーザーが操作できる範囲は設定で制限することができます。管理者ユーザーは最大4ユーザー、一般ユーザーは最大60ユーザーまで登録できます。同時に管理者4ユーザー・一般16ユーザーまでアクセスすることができます。

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(6) Web アクセス設定** ボタンをタッチして、Webユーザ設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



- (1) **登録ユーザ**に登録されているWebユーザーの一覧が表示されます。
- (2) **新規**ボタンでユーザーを新規作成します。
- (3) **変更**ボタンをタッチすると、選択したユーザーの設定を編集できます。
- (4) **削除**ボタンをタッチすると、選択したユーザーを削除できます。

2. **(2) 新規**または **(3) 変更**ボタンをタッチするとユーザ設定画面が表示されます。



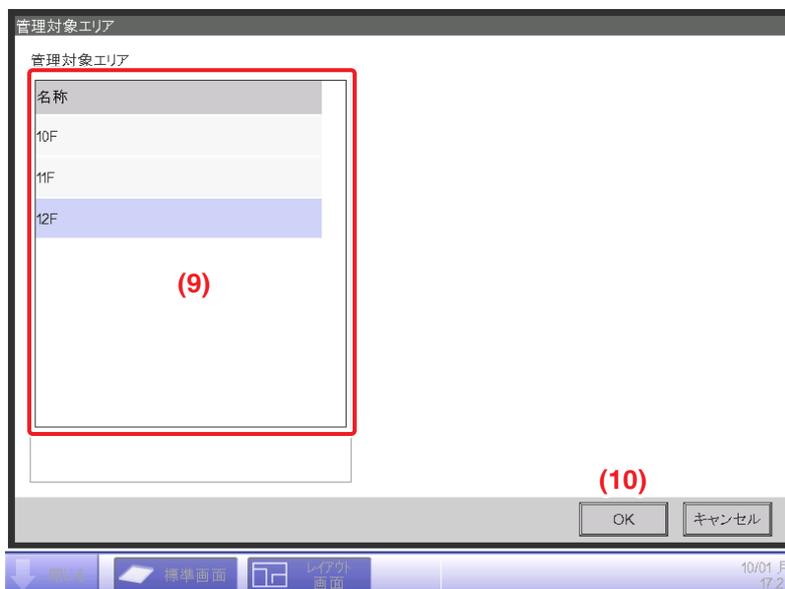
(5) **変更**ボタンをタッチして文字入力ダイアログを表示させ、ユーザーの名前を入力します。全角半角問わず、1～15文字の範囲で入力します。

(6) **変更**ボタンをタッチしてパスワード入力ダイアログを表示させ、ログインパスワードを設定します。確認のため2回同じパスワードを入力します。パスワードは半角英数字0～15文字で設定できます。

(7) **タイプ**でユーザーの種別を選択します。

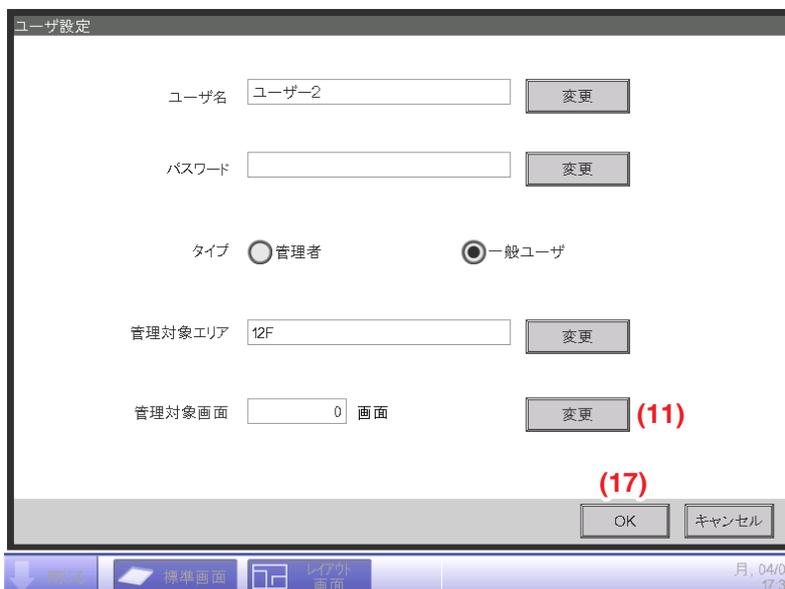
**一般ユーザ**を選択した場合、管理対象を登録するため、管理対象エリアと管理対象(レイアウト)画面をそれぞれ設定します。

3. (8) **変更**ボタンをタッチすると管理対象エリア画面が表示されます。

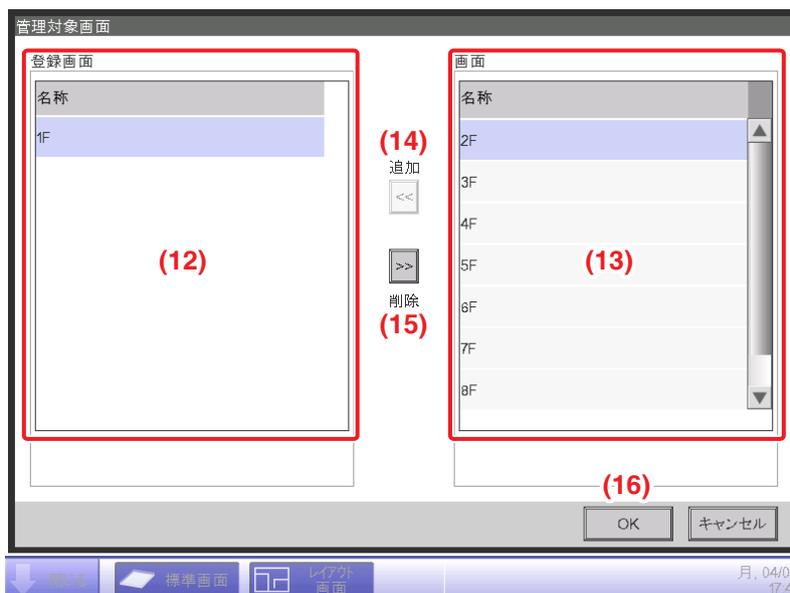


(9) **管理対象エリア**に登録可能なエリアの一覧が表示されます。エリアを1つ選択し

(10) **OK**ボタンをタッチします。設定が保存されユーザ設定画面に戻ります。



4. **(11)** 変更ボタンをタッチすると管理対象画面が表示されます。



**(12)** 登録画面に登録されている管理対象のレイアウト画面の一覧、**(13)** 画面に登録可能なレイアウト画面の一覧が表示されます。

**(13)** から選択し **(14)** 追加ボタンをタッチすると、管理対象のレイアウト画面が登録できます。レイアウト画面は1つだけ登録できます。

**(12)** から選択し **(15)** 削除ボタンをタッチすると、登録一覧から削除できます。

登録が終われば **(16)** OKボタンをタッチして、ユーザ設定画面に戻ります。

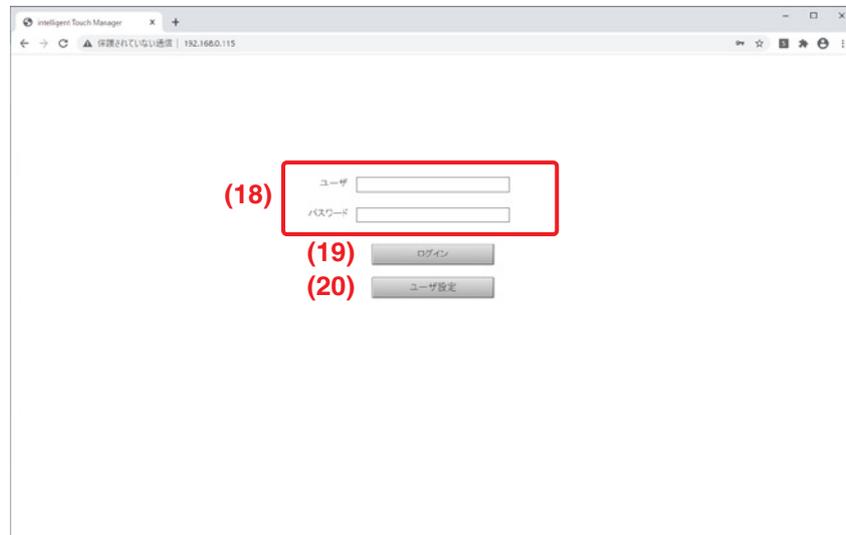
ユーザ設定画面で **(17)** OKボタンをタッチし保存すると、Webユーザーが登録されます。

#### NOTE

- 管理者を選択した場合、管理対象エリアと管理対象(レイアウト)画面の設定は不要です。
- ユーザー名称に使用できる文字は、文字/入力ダイアログで表示されている文字のみです。
- パスワードには特殊文字は使用できません。
- レイアウト画面(4-4 レイアウト画面参照)に管理対象エリアに含まれない管理点/エリアが表示されていても、レイアウト画面上ではその管理点/エリアの監視操作が可能です。
- Webの一般ユーザーがレイアウト画面を登録する場合、一般ユーザーが操作できる範囲内になるように管理対象画面の設定を行ってください。

## パソコンからのログイン・ログオフ

1. パソコンのWebブラウザを起動し、ネットワーク設定で設定したiTM本体のIPアドレスを入力 (http:// [iTMのIPアドレス] )し、iTMにアクセスするとログイン画面が表示されます。



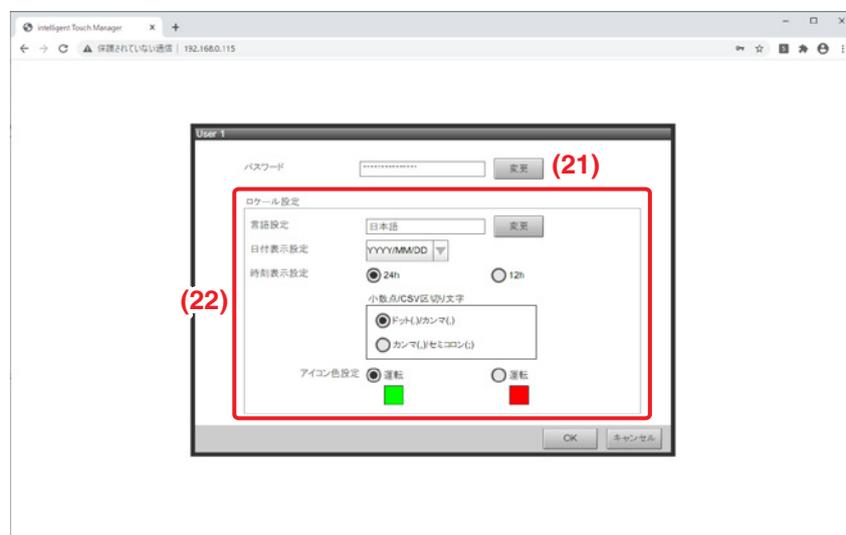
ログイン画面の表示言語はiTM本体のロケール設定にしたがいます。

- (18) に「ユーザ名」・「パスワード」を入力し (19) ログインボタンをクリックします。認証に成功すればWeb遠隔管理画面 (アイコン表示) が表示されます (次ページ参照)。

### NOTE

複数回パスワードを間違えるとログインできなくなります。  
5分程度お待ちいただいて再度ログインしてください。

2. 「ユーザ名」・「パスワード」を入力し、(20) ユーザ設定ボタンをクリックするとユーザ設定画面が表示され、ログインパスワードの変更とロケール設定ができます。

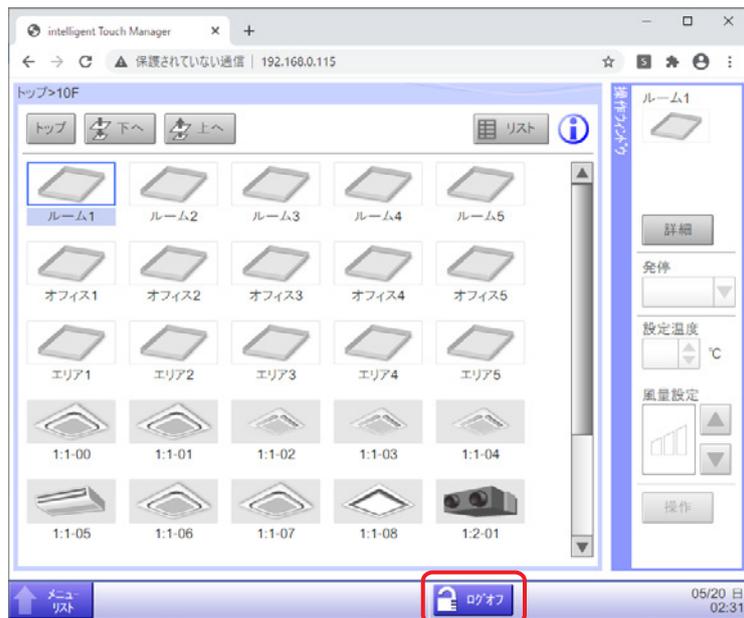


(21) 変更ボタンでログインパスワードの変更ができます。

(22) ロケール設定でパソコンを使用するときのロケール設定をします。設定できる内容は iTM本体のロケール設定と同じです。6-5 ロケールの設定を参照して設定してください。

3. ログオフするには、Web遠隔管理画面の**ログオフ**ボタンをクリックします(本ページ下参照)。確認画面が表示されるので、**はい**ボタンをクリックしてログオフします。

## Web遠隔管理画面

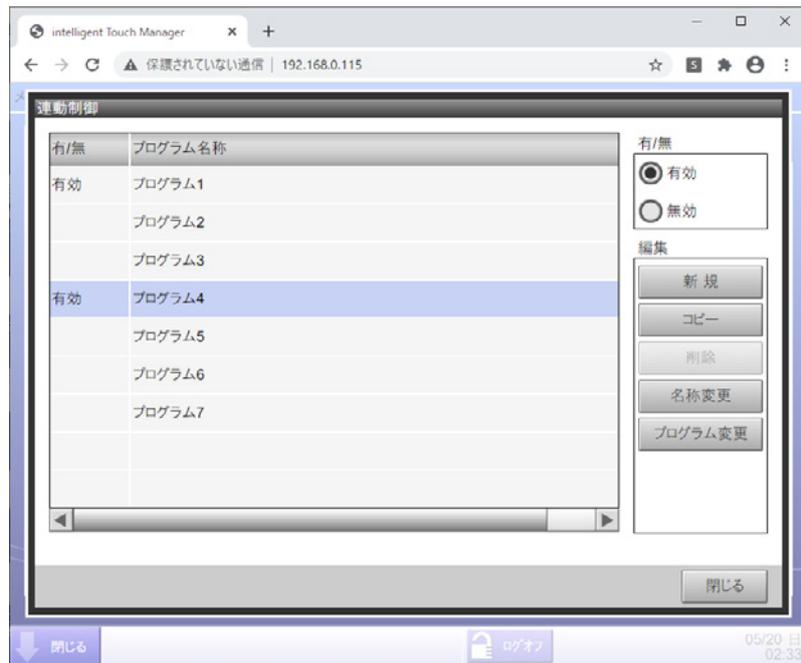


ログオフボタン

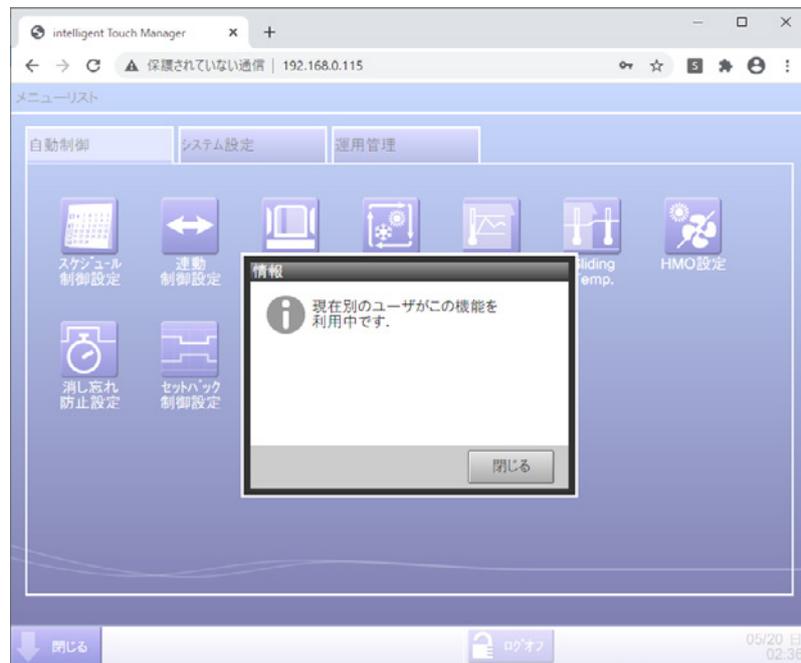
ログイン後の操作は、基本的にITM本体からの操作と同じです。操作手順は該当のページをご覧ください。

一般ユーザーはユーザ設定で許可された機能しか利用できません。また管理者ユーザーであっても、ほかの管理者ユーザーが操作中の場合には同じ機能設定画面を開くことはできません。

## WebユーザーAが連動制御画面を開いている



## WebユーザーBが連動制御設定ボタンを押すと情報ダイアログが表示される



## NOTE

- iTMのデータの保存を行うために、iTM本体では、USBメモリに保存しますが、Web遠隔管理機能では、パソコンのハードディスクドライブに保存します。
- Web遠隔管理機能では、パソコンのハードディスクドライブに次の機能のデータのみ保存可能です。
  - ・ 料金按分(10- 1 料金按分参照) ・ Energy Navigator(12. Energy Navigator参照)
  - ・ 履歴(7- 1 履歴の確認と出力参照) ・ 設定一括出力(7- 3 各機能の設定データ出力参照)
- Web遠隔管理機能では、パソコンのハードディスクドライブにZIP圧縮されたファイルとして保存されます。
- iTMのエリア設定などを行うために、iTM本体では、USBメモリからファイルの読み込みを行えますが、Web遠隔管理機能では、パソコンからファイルの読み込みは行えません。
- Web遠隔管理機能では、ログイン画面によりユーザーを制限できるため、パソコン画面上の画面ロック機能(6- 3 パスワードの設定 参照)を有していません。
- Web遠隔管理機能では、iTM本体のハードウェア設定を誤って行わせないため、iTM本体固有の機能(スクリーンセーバー ・ ハードウェア設定 ・ タッチパネルキャリブレーション)を利用できません。
- Web遠隔管理機能では、標準画面(リスト)の表示項目を多く表示させるため、パソコン画面上に表示される標準画面(リスト)の操作ウィンドウを開閉することができます。
- Web遠隔管理機能では、ログイン中に通信が切断された場合、パソコン画面上で再ログイン可能になるまで約4分間の時間が必要になります。
- 「通信が切断されました。数分後に再度アクセスしてください。」と表示されている場合はブラウザを更新して再度ログインしてください。

### 9-3 電子メール異常発報の設定

ネットワーク設定がされているiTMであれば、管理点に機器異常やアナログ上下限異常が発生したとき、あらかじめ設定されたメールアドレスに対して、発生日時やエラーコードなどを電子メールで送信することができます。

電子メールで送信する際の送信方式は以下の2種類です。

定期送信：異常を検知して異常がすぐ解消されない場合にメールを送信します。

(最大5分以内にメールを送信)

メール送信後、登録されているすべての機器の異常が解消されるまでは、設定した再送間隔でメールが送信されます。

即時送信：登録されている機器の異常を検知した場合、即時にメールを送信します。

メールは異常が発生した機器ごとに送信します。異常が継続していても再送はしません。

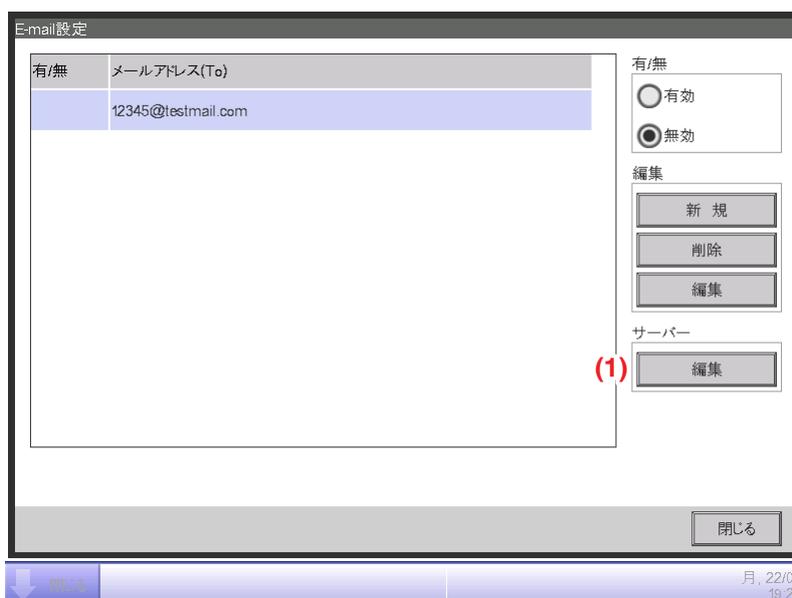
#### NOTE

- iTM本体以外にSMTPサーバー・電子メール受信端末が必要になります。

設定の手順を説明します。

#### メールサーバーの設定

1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(5) 電子メール設定** ボタンをタッチして、E-mail設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：システム設定タブ参照)



2. **(1) 編集** ボタンをタッチしてサーバー画面を表示します(次ページ参照)。**送信**タブと**サーバー設定**タブがあるので、切り換えてそれぞれを設定します。設定が終われば**(2) OK** ボタンをタッチしてE-mail設定画面に戻ります。

## ■送信タブ

(3) サイト名を設定します。(4) 変更ボタンをタッチして、サイト名設定ダイアログを表示させ、最大20文字までで入力します。サイト名は送信メールの件名と本文で使用されます。

### NOTE

サイト名が未設定の場合は、送信メールの件名と本文でサイト名が表示されません。

(5) 送信方式を選択します。

(5) 送信方式を定期送信に選択した場合、(6) 再送間隔で電子メールの再送信間隔をコンボボックスから選択します。1～72時間まで1時間刻みで選択できます。一度電子メールを送信したあと、検知した異常がここで設定した時間経過しても解消されていない場合、再度電子メールを送信します。

(7) メールアドレス (From) で送信元のアドレスを設定します。(8) 変更ボタンをタッチして、メール送信元設定ダイアログを表示させ、最大128文字まででアドレスを入力します。

## ■サーバー設定タブ

サーバー

送信      サーバー設定

SMTPサーバー

(9) アドレス SMTP Server Address      変更

(10) ポート 25      変更

認証方式

(11) 方式 POP Before SMTP      ▼

POPサーバー

(12) アドレス POP Server Address      変更

(13) ポート 110      変更

(14) ユーザID User ID      変更

(15) パスワード \*\*\*\*      変更

OK      キャンセル

月, 22/08  
19:30

メール送信に使用するサーバーの情報が表示されます。各項目の**変更**ボタン・コンボボックスで設定します。設定に必要な情報はネットワーク管理者にご確認ください。

(9) SMTPサーバーのURLまたはIPアドレス

(10) SMTPサーバーのポート番号

(11) メール送信の認証方式：認証なし／POP Before SMTP／SMTP-AUTHから選択します。

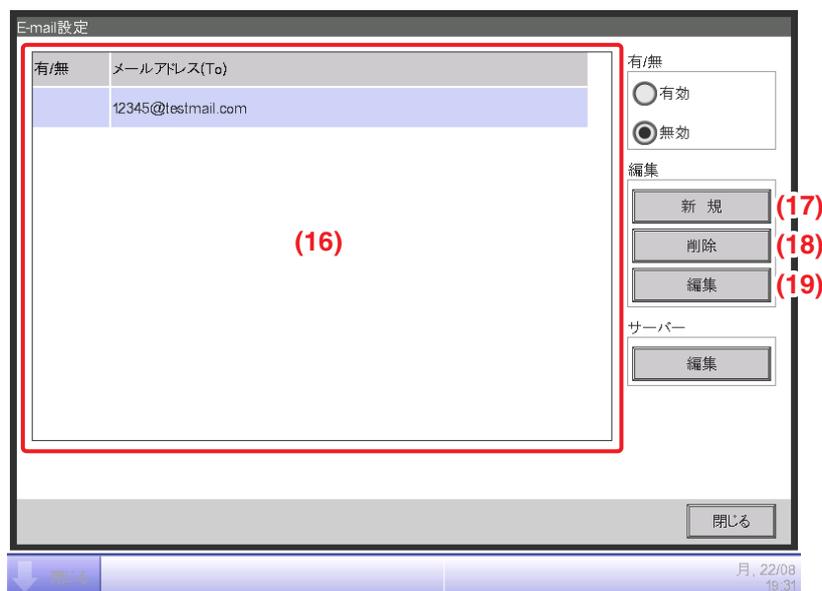
(12) POP Before SMTPの認証方式で使用するPOPサーバーのURLまたはIPアドレス

(13) POP Before SMTPの認証方式で使用するPOPサーバーのポート番号

(14) POPサーバーの認証またはSMTP認証に使用するユーザID

(15) POPサーバーの認証またはSMTP認証に使用するパスワード

## 送信先メールアドレスの設定と試送メールの送信



(16) に登録されている送信先のメールアドレス一覧が表示されるので、目的に応じた各ボタンをタッチします。

### (17) 新規ボタン

メールアドレスを新規作成します。タッチするとメールアドレス設定ダイアログが表示されるので、128文字までのアドレスを入力してください。

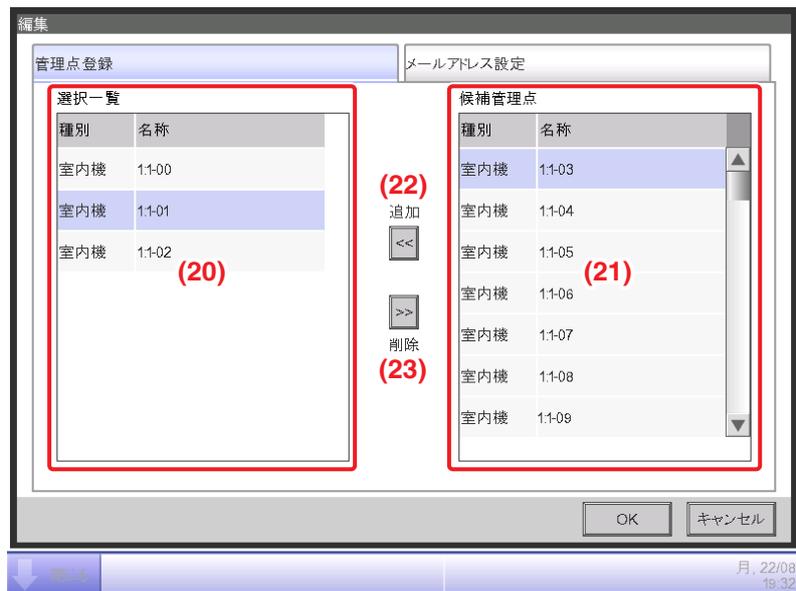
### (18) 削除ボタン

選択したメールアドレスを削除します。

### (19) 編集ボタン

選択したメールアドレスを編集します。タッチすると編集画面が表示されます(次ページ参照)。  
管理点登録タブとメールアドレス設定タブで設定します。

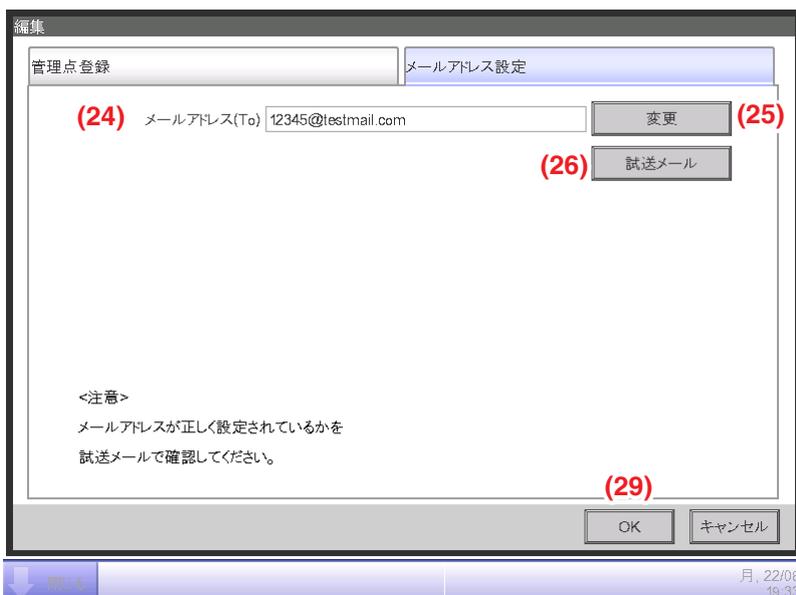
## ■管理点登録タブ



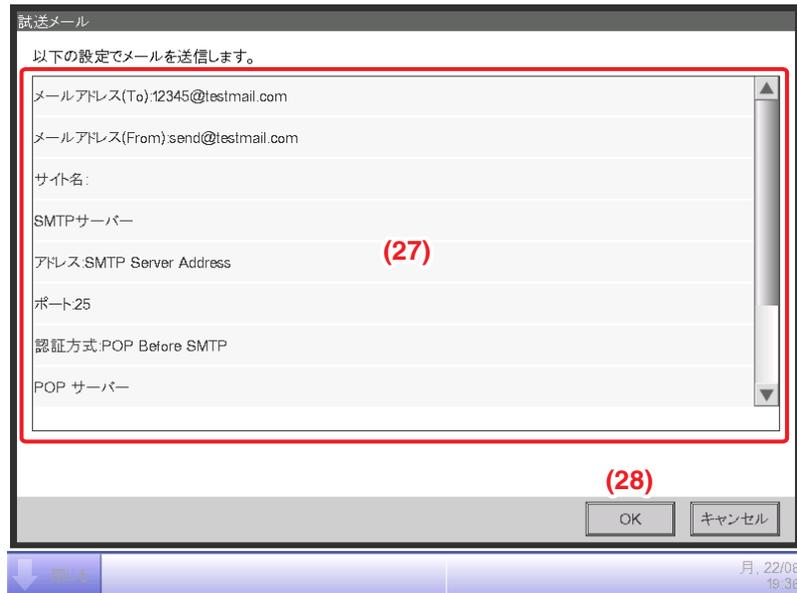
(20) 選択一覧に登録されている異常監視対象の管理点選択一覧、(21) 候補管理点に登録可能な候補管理点一覧が表示されます。(21) から監視対象とする管理点を選択し、(22) 追加ボタンをタッチして登録します。

管理点は最大512点まで登録することが可能です。(20) から管理点を選択し、(23) 削除ボタンをタッチすると登録から削除できます。

## ■メールアドレス設定タブ

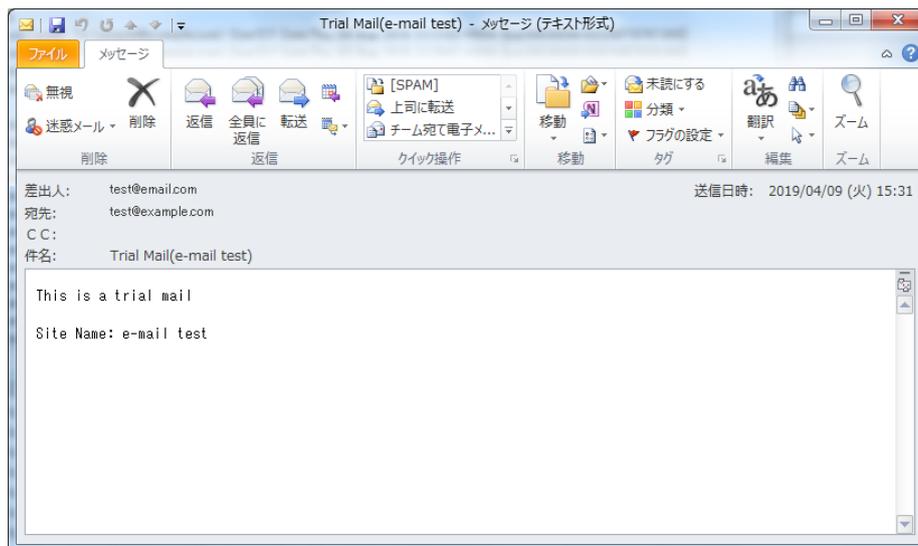


(24) メールアドレス (To) に現在のメールアドレスが表示されます。変更する場合は (25) 変更ボタンをタッチしてメールアドレス設定ダイアログを表示させ入力します。(26) 試送メールボタンをタッチすると試送メール画面が表示されます。



(27) に現在の設定が表示されます。内容は下表のとおりです。

項目	表示内容	備考	
送信先メールアドレス	メールアドレス (To):[アドレス]		
送信元アドレス	メール アドレス (From):[アドレス]		
サイト名	サイト名:[名称]		
SMTPサーバー	タイトル	SMTPサーバー	
	アドレス	アドレス:[アドレス]	
	ポート番号	ポート:[ポート番号]	
認証設定	認証方式	認証方式:[認証方式]	[認証なし]/ [POP Before SMTP]/ [SMTP-AUTH]のどれか。
	タイトル	POPサーバー	認証方式が[POP Before SMTP]のときに表示。
	POPサーバーアドレス	アドレス:[アドレス]	
	POPサーバーポート番号	ポート:[ポート番号]	
	ユーザID	ユーザ ID:[ID]	認証方式が認証なし以外のと きに表示。



(28) OKボタンをタッチすると、試送メールが送信され、メールアドレス設定タブに戻ります。設定が終われば (29) OKボタンをタッチして画面を閉じます。

# オプション機能操作

## 10. 料金按分(オプション機能)

### 10-1 料金按分

料金按分機能は、テナントビルなどにおいて空調機の総使用エネルギー量などを計量器で計測し、テナントごとの使用エネルギー量などに按分する機能です。按分結果はCSVファイルとして出力することも可能です。

本機能を利用するには、按分グループの設定・入力機器の設定など、料金按分を行うための試運転が必要です。詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

iTMの電源がOFFの場合は、按分計算できません。按分計算を行う場合はiTMの電源をOFFにしないでください。

ここではiTM本体で行う操作の説明をします。

iTMは、空調機用の電源の幹線部にパルス出力付き積算計量器を取り付け、その積算値を出すものです。室内機ごとに、推定した負荷の比率によって按分(比例按分)計算します。計量法による計算ではありません。

#### データ集計期間の設定

1. メニューリスト画面の**運用管理**タブで **(2) 按分** ボタンをタッチして、按分画面を表示させます。  
(4-5 メニューリスト画面：運用管理タブ参照)

2. **(1) 集計期間設定**でデータ集計する期間を設定します。

任意の期間を指定して集計する方法(期間指定)と日にちを指定し直前の1ヵ月間を集計する方法(月指定)の2種類から選べます。

氷蓄熱機を含む料金按分を行っている場合、月指定で集計を行い1ヵ月単位で集計してください。1ヵ月単位でない場合、夜間割引契約電力量が正しく適用されません。

- (2) 期間指定**ラジオボタンを選択すると、集計開始日と終了日を設定できます。

集計開始日および集計終了日それぞれの (3) 変更ボタンをタッチして、日時入力ダイアログを表示させ日付を入力します。

入力可能な範囲は、画面を開いた日の前年同月1日から画面を開いた日の前日までの範囲で、かつ開始日と終了日が逆にならない範囲です。

(4) 月指定ラジオボタンを選択し、計算日を設定します。

前月の集計日から1月間をデータ集計期間とします。

たとえばiTM本体の日付が10月20日で計算日を20日に設定した場合、9月20日～10月19日までの按分結果を保存します。

氷蓄熱機を含む料金按分を行っている場合、計算日には、夜間割引契約の締め日を設定してください。

(5) 変更ボタンをタッチして集計日を入力します。入力可能な範囲は1～31日です。

ただし設定した集計日が月によって存在しない場合は、カレンダーに矛盾しない集計期間になるように自動で調整されます。

## データ集計と按分結果の出力

名称	電力使用...	停止時の電力...
1:1-00	20.650	0.000
1:1-01	20.650	0.000
1:1-02	20.650	0.000
1:1-03	20.650	0.000
1:1-04	25.808	0.000
1:1-05	25.808	0.000

- (6) 実行ボタンをタッチすると確認ダイアログが表示されます。iTM本体にUSBメモリを接続し、はいボタンをタッチしてデータ集計とUSBメモリにフォルダーの保存を開始します。データ集計には60分程度かかる場合があります。

2. 集計が終わると、**(7) 集計結果**にデータ集計期間とデータ集計結果を表示し、PPD\_集計開始年月日\_集計終了年月日フォルダーがUSBに保存されます。USBに保存されるフォルダーの中身は次のとおりになります。

- 集計開始年月日\_集計終了年月日.csv
- Area.csv
- Hourly.csv
- Ryoukin.xlsx
- Ryoukin Ice.xlsx

USBを接続せずに集計すると集計結果は表示されますが、ファイルは保存されません。

3. **(8) 閉じる** ボタンをタッチして画面を閉じます。

### 高度な設定

名称	電力使用...	停止時の電力...
----	---------	-----------

**(9) 除外時間帯 特別に按分する日 夜間割引時間帯** ボタンは、高度な設定を行うためのボタンです。

**(9) 除外時間帯 特別に按分する日 夜間割引時間帯** ボタンをタッチすると、高度な設定画面が表示されます。

## 除外時間帯の設定



高度な設定画面の**除外時間帯**タブでは、設定されたデータ集計期間から除外する時間を設定することができます。除外時間に設定するとその時間帯は按分のためのデータ集計を行いません。

この設定は、通常は行う必要はありません。

必要な場合のみ、十分にご確認のうえ設定してください。

上記の画面の内容で設定すると、除外時間は下図のとおりになります。



## 特別に按分する日の設定



高度な設定画面の**特別に按分する日**タブでは、設定した除外時間を特別に按分する日を設定することができます。十分にご確認のうえ設定してください。

## ■夜間割引時間帯設定

月	契約電力量
1月	30000
2月	0
3月	0
4月	0
5月	0

高度な設定画面の**夜間割引時間帯**タブでは、夜間割引時間帯と夜間割引契約電力量を設定することができます。按分方式が空調負荷按分の場合のみ設定することができます。十分にご確認のうえ設定してください。

### NOTE

按分方式が空調負荷按分以外の場合、ボタンは除外時間帯 特別按分する日となり、夜間割引時間帯の設定はできません。

---

## 10-2 料金計算シート

- iTM本体には、按分結果を料金に換算する機能と、按分結果を印字する機能はありません。  
iTM本体から按分結果をUSBメモリに保存することができますので、この按分結果をパソコンに取り込み、編集および印刷を行うことができます。
- 按分結果をUSBメモリに保存したとき、同時に表計算ソフトMicrosoft Excelを使用した料金計算シートが保存されます。  
この料金計算シートを使用してパソコン上で操作することで、按分結果を料金に換算してテナントごとに印刷することができます。
- 本機能を利用するために必要なパソコンのスペックは周辺機器仕様表 (CB15A003) をご覧ください。

### NOTE

iTMの設定は以下のとおりにしてください。

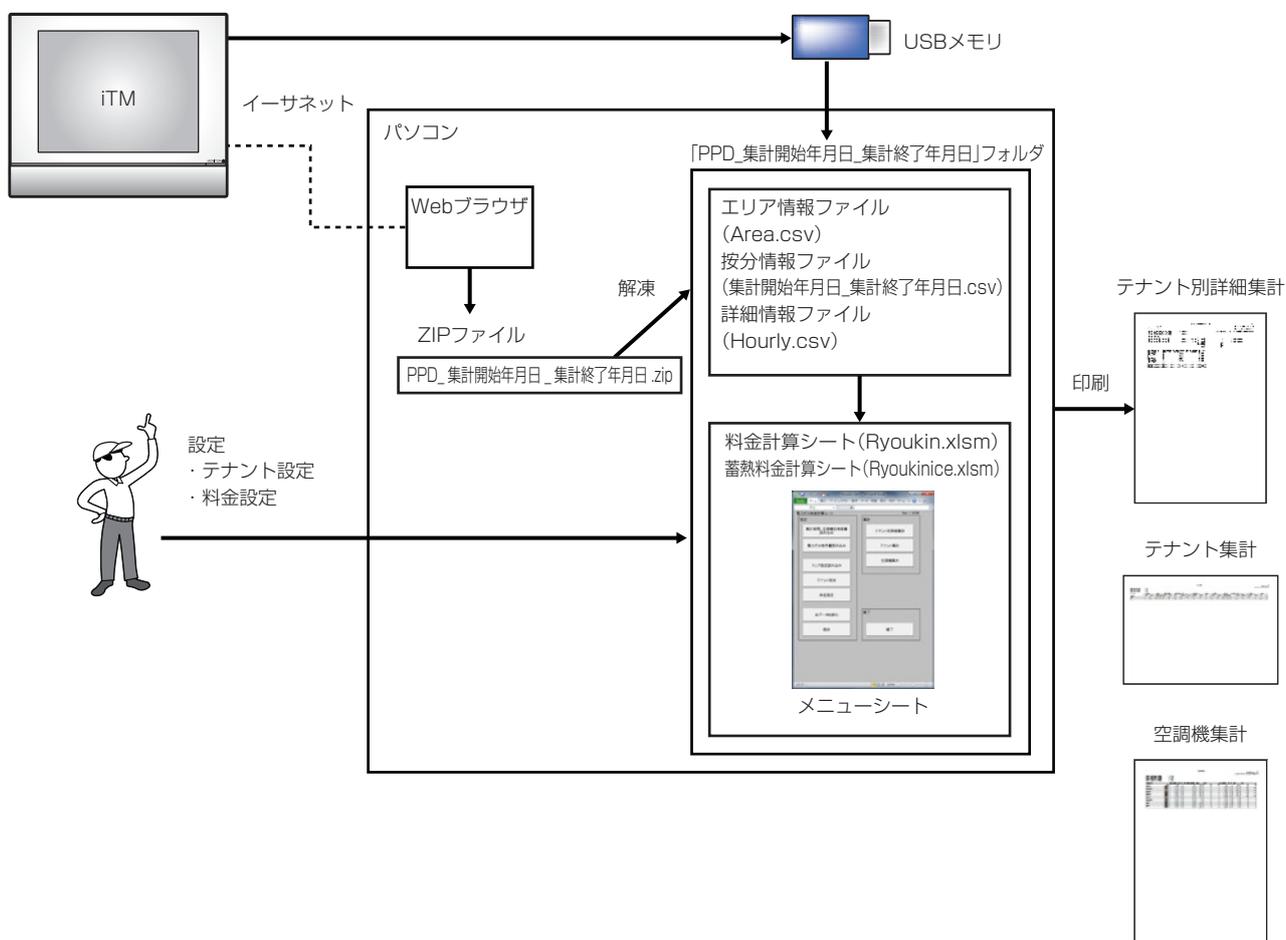
- 表示言語：日本語
- 日付表示：YYYYMMDD
- 小数点／CSV区切り記号：「.」ドット／「,」カンマ

## 概要

iTMによって按分された結果が、CSVファイルで出力されますので、Excelを使用して料金按分を行います。

Excelの料金計算シートの仕様について説明します。

- iTMでは按分機能によって按分した結果を1時間単位で13カ月間保存しており、指定した期間で集計します。
- 集計後、iTMに接続したUSBメモリにCSV形式のファイルで保存されます。  
※Web機能(現地設定機能)を使用することで、Webブラウザを介してパソコンに按分データを保存することができます。
- USBメモリのCSVファイルを、Excelが動作するパソコンに移動します。
- 料金計算シートによって按分結果の集計処理を行い、按分集計結果を印刷します。



## NOTE

料金計算シートはサンプルとして提供するものです。

以下のような処理を行った場合、ワークシートが正常に動作しなくなる場合があります。

また、ワークシートが直接書き換えられた場合に対するチェックも行いません。

正常に動作しなくなった場合は、全データ初期ボタンをクリックすることにより、ワークシートを購入時の状態に戻すことができます。

- 長すぎるテナント名を入力すると、印刷画面の桁があふれる場合があります。
- ありえないような大きな料金単価を設定した場合、正常に計算が行えないことがあります。

エラーダイアログが表示されるときや正常に動作しない場合は、

15-1 サービスを依頼される前に：<料金計算シートについて>をご覧ください。

<料金計算シートについて>

Ve-upコントローラーとの互換性はありません。

Ve-upコントローラーに付属している料金計算シートでは、iTmから取り出したCSVファイルの料金計算はできません。

iTmから按分結果を保存した時に同時に保存された計算シートをご使用ください。

## ■料金シートの種類

料金計算シートには、**電力ガス料金計算シート**と**蓄熱料金計算シート**の2種類があります。按分グループのタイプ(通常型・蓄熱型・GHP型)によって料金計算シートの使用方法が異なります。

詳細は下記の表を参照してください。

システム内に存在する 按分グループのタイプ	使用する計算シート
通常型のみ	電力ガス料金計算シート (Ryoukin.xlsx)
GHP型のみ	電力ガス料金計算シート (Ryoukin.xlsx)
蓄熱型のみ	蓄熱料金計算シート (RyoukinIce.xlsx)
通常型とGHP型	電力ガス料金計算シート (Ryoukin.xlsx)
通常型と蓄熱型	蓄熱料金計算シート (RyoukinIce.xlsx)
GHP型と蓄熱型	【GHP型】電力ガス料金計算シート (Ryoukin.xlsx) 【蓄熱型】蓄熱料金計算シート (RyoukinIce.xlsx)
通常型とGHP型と蓄熱型	【通常・GHP型】電力ガス料金計算シート (Ryoukin.xlsx) 【蓄熱型】蓄熱料金計算シート (RyoukinIce.xlsx)

※複数のDⅢ-NETポートを使用し、按分グループのタイプがGHP型・蓄熱型の2種類が存在する場合、GHP型は電力ガス料金計算シート、蓄熱型は蓄熱料金計算シートと、2種類の料金計算シートを使用し、料金換算・印刷を行ってください。

### NOTE

- 按分の種類にあった料金計算シートを使用してください。  
按分の種類にあわない料金計算シートを使用した場合、正しく料金換算ができません。  
例) 蓄熱型を電力ガス料金計算シートで、GHP型を蓄熱料金計算シートで使用した場合、夜間電力使用量、ガス使用量が正しく料金換算されません。
- 蓄熱型は蓄熱料金計算シートを、GHP型は電力ガス料金計算シートを使用してください。

---

## 電力ガス料金按分結果編集手順

iTMでUSBメモリに保存した按分結果(集計開始年月日\_集計終了年月日.csv)を、電力ガス料金計算シートを使用し料金換算して印刷する手順について説明します。

### 【設定手順】

#### 1. 起動

- 電力ガス料金計算シートを起動します。



#### 2. CSVファイル読み込み

- **エリア設定読み込み** ボタンをクリックして、エリア設定情報を読み込みます。  
(エリア設定読み込み 参照)
- **集計期間、空調機定格容量読み込み** ボタンをクリックして、集計期間・空調機定格容量を読み込みます。(集計期間、空調機定格容量読み込み 参照)
- **電力ガス使用量読み込み** ボタンをクリックして、電力ガス使用量を読み込みます。  
(電力ガス使用量読み込み 参照)



#### 3. テナント操作

- 「テナント設定」を行います。  
テナント名称および空調機を登録します。(テナント設定 参照)
- 「料金設定」を行います。  
基本料金および単価を設定します。(料金設定 参照)



#### 4. 保存

- **保存** ボタンをクリックして設定を保存します。

### 【印刷手順】

#### 5. 印刷

- 印刷様式により、テナント別詳細・テナント集計・空調機集計のどれかを選び印刷します。  
(印刷画面参照)

## 1. 起動

按分結果を保存したUSBメモリをお手元のパソコンに接続し、コピーします。

按分結果を保存したUSBメモリには、電力ガス料金計算シート「Ryoukin.xlsx」ファイルが含まれています。

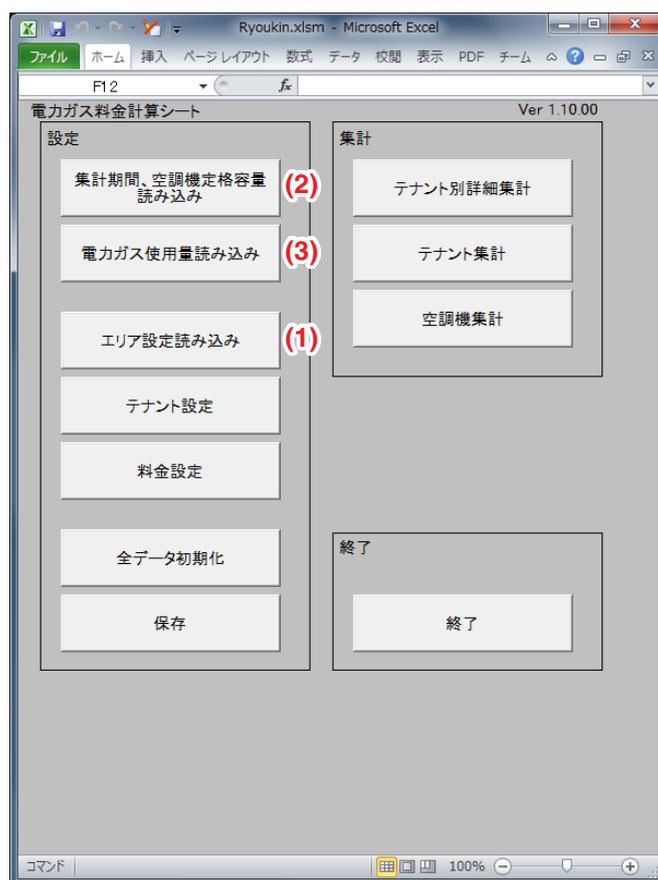
コピーした「Ryoukin.xlsx」ファイルを起動します。

メニューシートが表示されます。

### NOTE

- 料金計算シートは、必ずパソコンにコピーしてご使用ください。
- はじめて料金計算シートをご使用になる場合や、按分の再試運転などを行い按分の設定を変更したときは、空調機の情報が変わります。ワークシートを初期化し、再設定をしてください。

## 2. CSVファイル読み込み

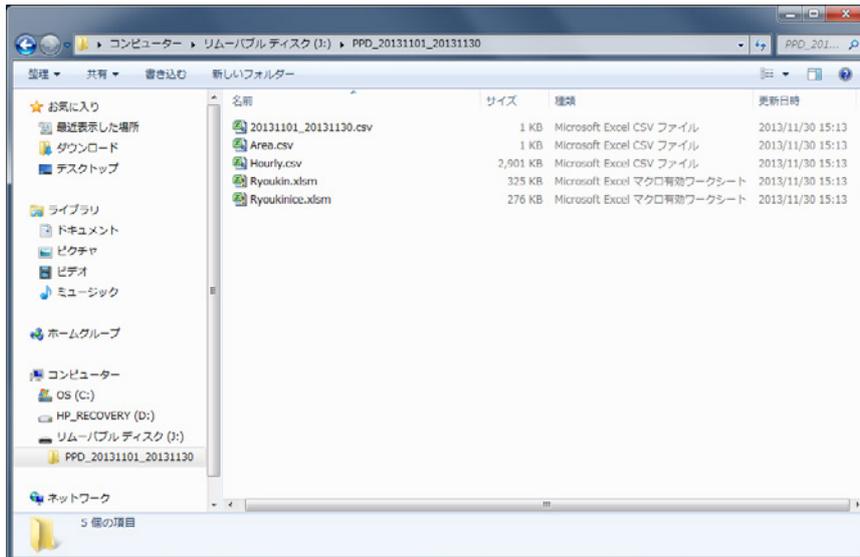


## ■ エリア設定読み込み

電力ガス料金計算シートの **(1) エリア設定読み込み** ボタンにより、iTМが作成したエリア情報ファイルを読み込みます。

**(1) エリア設定読み込み** ボタンをクリックすると、ファイル読み込み画面が表示されます。

エリア情報ファイル「**Area.csv**」を選択すると、電力ガス料金計算シートのエリア設定シート上にCSVファイルの内容が読み込まれます。



エリア設定を読み込むことで、テナントに空調機を登録するときにはエリアを指定し、エリアに登録されている空調機を一括で登録することができます。

テナントへの登録を行う必要がない場合、エリア設定を読み込む必要はありません。

これにより登録できる空調機は、iTМでエリア設定した空調機の中で、按分試運転で按分対象として登録した空調機のみです。

iTМでは、按分集計結果画面で「実行」の操作を行ったときに、エリア情報ファイルが更新されます。

### NOTE

- CSVファイルのフォーマットについては、  
付録(6. 料金計算シート<エリア情報 CSVファイルフォーマット>)をご覧ください。

## ■集計期間・空調機定格容量読み込み

電力ガス料金計算シートの **(2) 集計期間、空調機定格容量読み込み** ボタンにより、iTMが作成した按分情報ファイルを読み込みます。

**(2) 集計期間、空調機定格容量読み込み** ボタンをクリックすると、ファイル読み込み画面が表示されます。情報ファイルを選択すると、電力ガス料金計算シート上にCSVファイルの内容が読み込まれます。

iTMでは、按分集計結果画面で「実行」の操作を行ったときに、以下の名前で、按分情報ファイルを新規作成します。

ファイル名：集計開始年月日 \_ 集計終了年月日 .csv

USBメモリからCSVファイルを取り出さない状態で、「実行」を繰り返して行った場合は、CSVファイルが上書き保存されます。

期間指定を同一期間として、「実行」を行う場合は、USBメモリに保存されているCSVファイルを取り出したあとに「実行」を行ってください。

### NOTE

- CSVファイルのフォーマットについては、付録(6. 料金計算シート<エリア情報 CSVファイルフォーマット>)をご覧ください。

## ■電力ガス使用量読み込み

電力ガス料金計算シートの **(3) 電力ガス使用量読み込み** ボタンにより、iTMが作成した詳細情報ファイルを読み込みます。

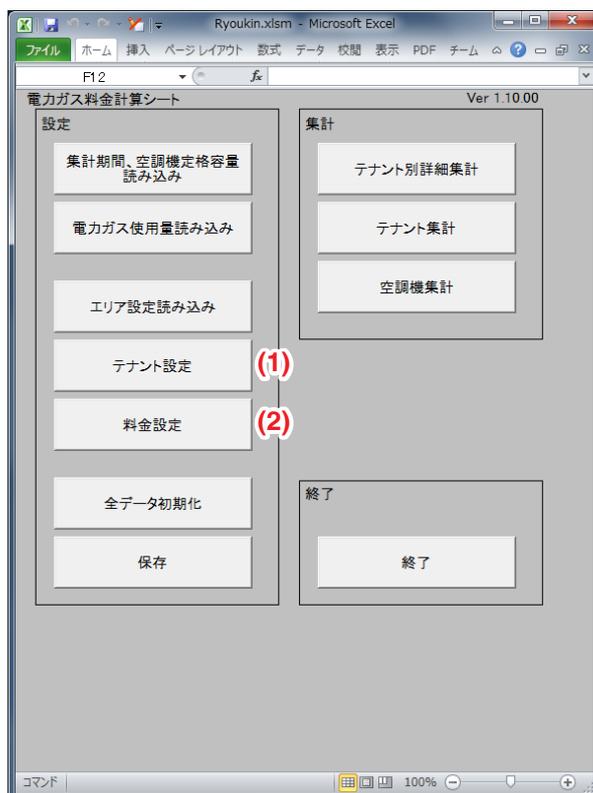
**(3) 電力ガス使用量読み込み** ボタンをクリックすると、ファイル読み込み画面が表示されます。詳細情報ファイル「Hourly.csv」を選択すると、電力ガス料金計算シート上に詳細情報が読み込まれます。

iTMでは、按分集計結果画面で「実行」の操作を行ったときに、詳細情報ファイルを新規作成します。

### NOTE

- CSVファイルのフォーマットについては、付録(6. 料金計算シート<エリア情報 CSVファイルフォーマット>)をご覧ください。

### 3. テナント操作



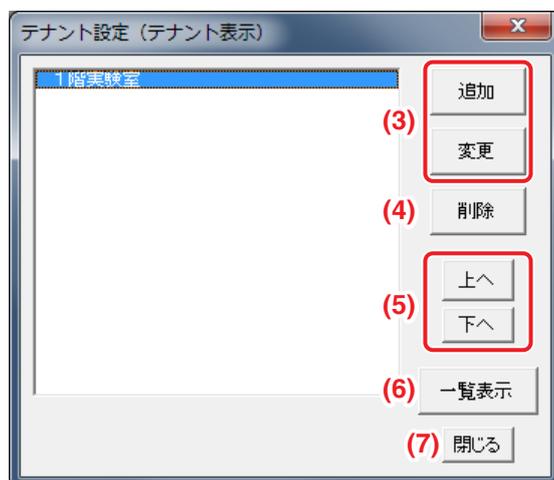
#### ■テナント設定

電力ガス料金計算シートの **(1) テナント設定** ボタンをクリックすると、テナント設定 (テナント表示) 画面が表示されます。

テナント設定 (テナント表示) 画面では、テナントの追加・変更・削除・テナントの並換え・テナント情報の一覧表示をすることができます。

#### NOTE

テナント登録を行う場合は、はじめに集計期間、空調機定格容量・電力ガス使用量を読み込んでください。



### (3) 追加・変更ボタン

テナント登録画面が表示されます。

### (4) 削除ボタン

選択しているテナント設定を削除します。

### (5) 上へ・下へボタン

テナント名を表示する順番を入れ換えます。

### (6) 一覧表示ボタン

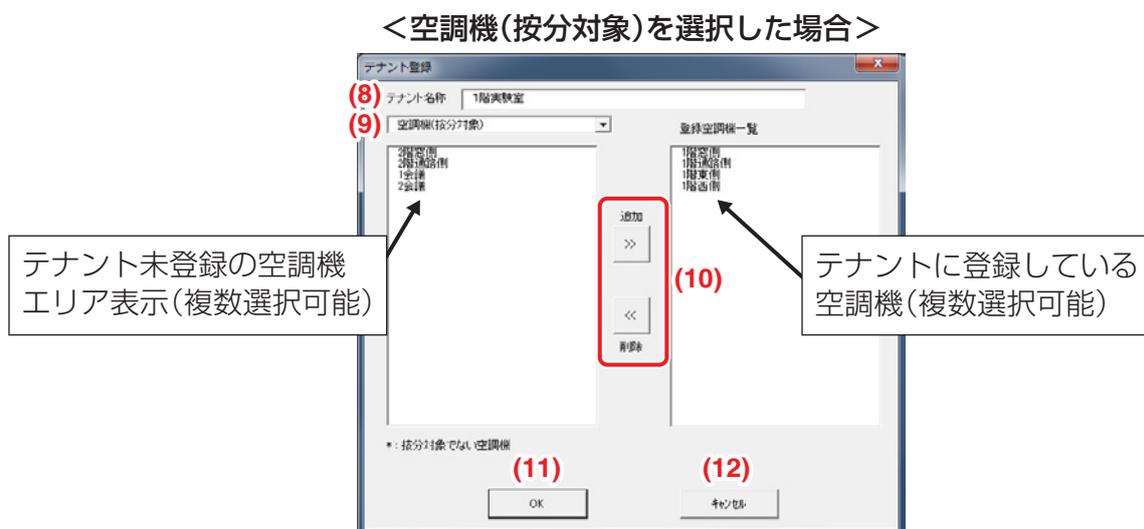
テナント設定 (一覧表示) 画面が表示されます。「テナント設定 (一覧表示)」をご覧ください。

### (7) 閉じるボタン

テナント設定 (テナント表示) 画面を閉じます。

## ■テナント登録

テナント設定 (テナント表示) 画面で、(3) 追加ボタンまたは変更ボタンをクリックすると、テナント登録画面が表示されます。テナント登録画面では、テナント名称の設定および空調機の登録ができます。



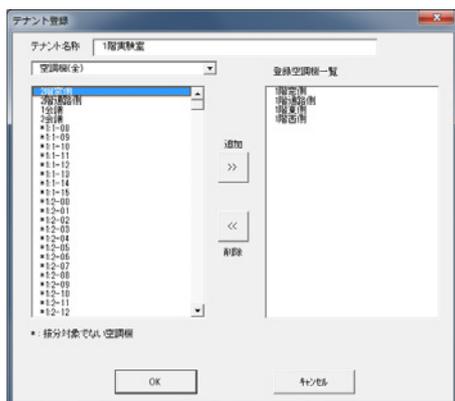
(8) テナント名称に、追加・変更したいテナント名を入力してください。

テナント名称は全角/半角に関係なく、15文字まで入力可能です。

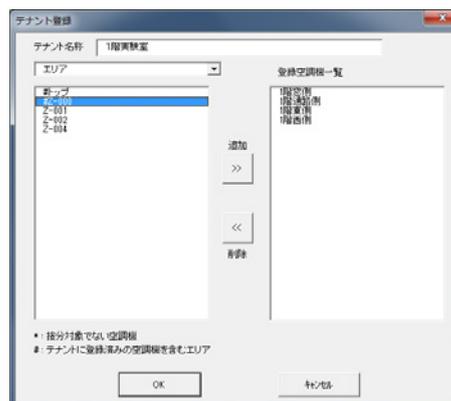
(「&」の特殊文字は印刷されません。「&」を印刷する場合は「&&」と入力します)

(9) コンボボックスより、空調機 (按分対象) /空調機 (全) /エリアを選択することができます。

### <空調機(全)を選択した場合>



### <エリアを選択した場合>



#### • コンボボックスが「空調機(按分対象)」の場合

按分試運転により按分対象に指定された空調機の中で、どのテナントにも登録されていない空調機が表示されます。

#### • コンボボックスが「空調機(全)」の場合

512台すべての空調機が表示されます。

按分対象でない空調機名称の前には「\*」が付きます。

#### • コンボボックスが「エリア」の場合

iTMに登録されているエリア名称が表示されます。

エリアに登録されている空調機の中で、すでにテナントに登録されている空調機がある場合、エリア名称の前に「#」が付きます。

### (10) 空調機の追加／削除

• 登録空調機一覧で項目を選択し、**削除**ボタンをクリックすることで、テナントに登録されている空調機を削除することができます。

• 未登録空調機一覧(按分対象)(全)で項目を選択し、**追加**ボタンをクリックすることで、テナントに空調機を登録することができます。

• エリア一覧で項目を選択し、**追加**ボタンをクリックすることで、エリアに含まれている空調機をテナントに登録することができます。

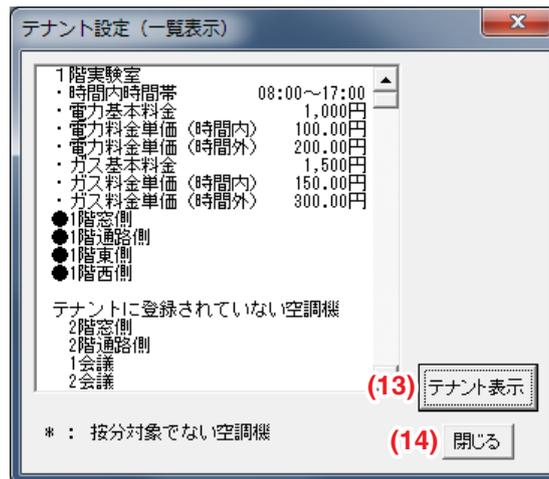
エリア名称の前に「#」が付いている場合、すでにテナントに登録されていた空調機はそのテナントから外され、現在設定しているテナントに登録されます。

(11) OKボタンをクリックすると、設定した内容が各ワークシートに反映されます。

(12) キャンセルボタンをクリックすると、設定した内容を登録せずに、テナント登録画面を閉じます。

## ■テナント設定（一覧表示）

テナント設定（テナント表示）画面で、**(6)** 一覧表示ボタンをクリックすると、テナント設定（一覧表示）画面が表示されます。各テナントに設定されている時間内時間帯、電力基本料金・時間内電力料金単価・時間外電力料金単価・ガス基本料金・時間内ガス料金単価・時間外ガス料金単価・空調機名称・テナントに未登録の空調機名称を一覧で表示します。（按分対象でない空調機は空調機名称の前に「\*」が付きます。）



**(13)** テナント表示ボタンをクリックすると、テナント設定（テナント表示）画面に戻ります。

**(14)** 閉じるボタンをクリックすると、テナント設定画面を閉じます。

## ■料金設定

電力ガス料金計算シートの **(2)** **料金設定** ボタンをクリックすると、料金設定画面が表示されます。

ここではテナント名称と、テナントに設定されている時間内時間帯・電力基本料金・時間内電力料金単価・時間外電力料金単価・ガス基本料金・時間内ガス料金単価・時間外ガス料金単価の設定内容を表示します。

テナント名	時間内時間帯	電力基本料金 (円)	時間内電力料金単価 (円)	時間外電力料金単価 (円)	ガス基本料金 (円)	時間内ガス料金単価 (円)	時間外ガス料金単価 (円)
1階実験室	08:00~17:00	1,000	100.00	200.00	1,500	150.00	300.00
会議室	08:00~17:00	1,100	110.00	220.00	0	0.00	0.00

### **(15)** 時間帯設定ボタン

時間帯設定画面が表示されます。

「■時間帯設定」をご覧ください。

### **(16)** 電力基本料金設定ボタン

電力基本料金設定画面が表示されます。

「■電力基本料金設定」をご覧ください。

### **(17)** 電力料金単価設定ボタン

電力料金単価設定画面が表示されます。

「■電力料金単価設定」をご覧ください。

### **(18)** ガス基本料金設定ボタン

ガス基本料金設定画面が表示されます。

「■ガス基本料金設定」をご覧ください。

### **(19)** ガス料金単価設定ボタン

ガス料金単価設定画面が表示されます。

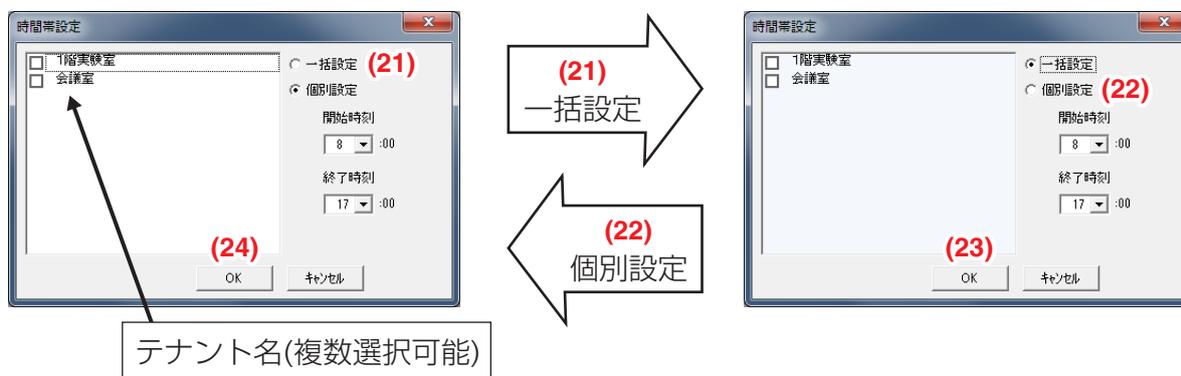
「■ガス料金単価設定」をご覧ください。

### **(20)** 閉じるボタン

料金設定画面を閉じます。

## ■ 時間帯設定

(15) 時間帯設定ボタンをクリックすると、時間帯設定画面が表示されます。



(21) 一括設定ラジオボタン選択時

開始時刻 (時単位) と終了時刻 (時単位) を設定し、(23) OKボタンをクリックすると確認画面が表示されます。確認画面のOKボタンをクリックすると、すべてのテナントの時間内時間帯が設定されます。テナントがない場合は時間帯は設定されません。

(22) 個別設定ラジオボタン選択時

テナント名を選択し、開始時刻 (時単位) と終了時刻 (時単位) を設定し (24) OKボタンをクリックします。選択したテナントの時間内時間帯が設定されます。

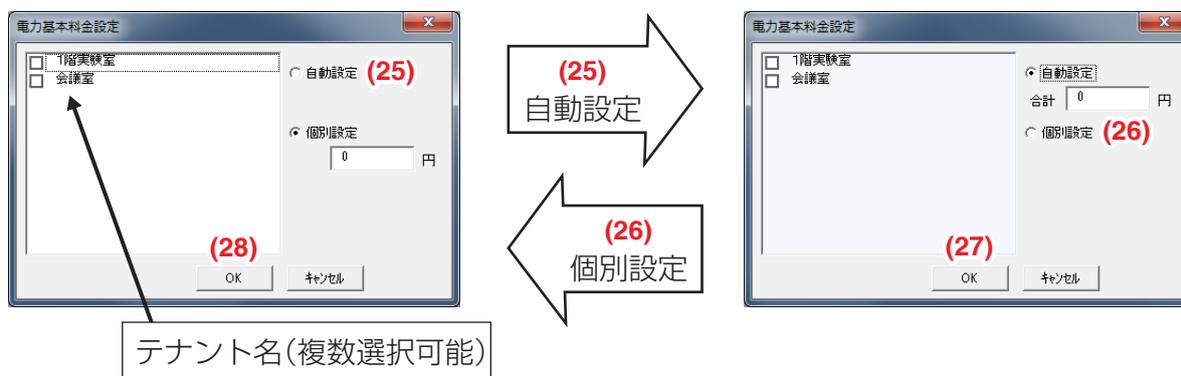
テナントを選択しないで (24) OKボタンをクリックすると、警告画面が表示され、時間内時間帯は設定されません。

### NOTE

曜日ごとに時間帯設定をすることはできません。  
設定できる時間帯は1つのみです。

## ■ 電力基本料金設定

(16) 電力基本料金設定ボタンをクリックすると、電力基本料金設定画面が表示されます。



### (25) 自動設定ラジオボタン選択時

すべての空調機に対する合計の基本料金を入力し、(27) OKボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログのOKボタンをクリックすると、各テナントに含まれている空調機の能力に応じて、合計の料金を配分します。

テナント設定シートで対応するテナントの基本料金に配分した値を設定します。

このときの空調機の能力は、空調機設定シートの馬力コードを元に求めます。

基本料金を配分するとき、1円以下は1円単位に切り上げます。

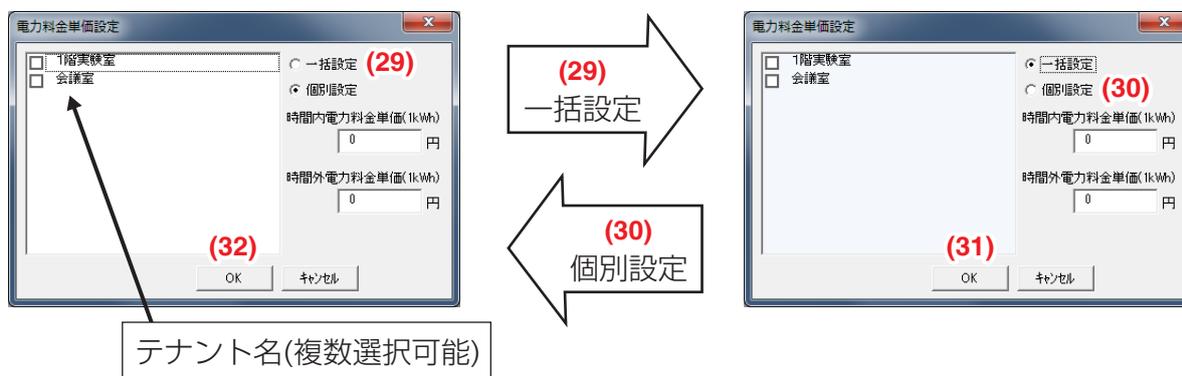
その結果、テナントに設定した基本料金の合計が入力した合計より大きくなる場合があります。

### (26) 個別設定ラジオボタン選択時

テナント名を選択し、基本料金(円単位)を入力したあと、(28) OKボタンをクリックします。入力した料金を、テナント設定シートの対応するテナントの基本料金に設定します。

## ■ 電力料金単価設定

(17) 電力料金単価設定ボタンをクリックすると、電力料金単価設定画面が表示されます。



(29) 一括設定ラジオボタン選択時

時間内電力料金単価・時間外電力料金単価 (小数点第2位まで有効) を入力したあと、

(31) OKボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログのOKボタンをクリックすると、入力した料金を、テナント設定シートのすべてのテナントの時間内電力料金単価、時間外電力料金単価に設定します。

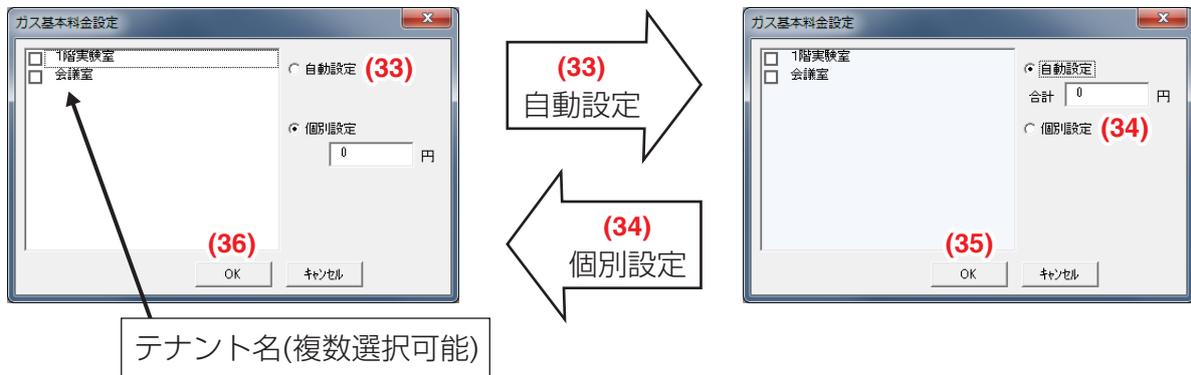
(30) 個別設定ラジオボタン選択時

テナント名を選択し、時間内電力料金単価・時間外電力料金単価 (小数点第2位まで有効) を入力したあと、(32) OKボタンをクリックします。

入力した料金を、テナント設定シートに対応するテナントの時間内電力料金単価・時間外電力料金単価に設定します。

## ■ガス基本料金設定

(18) ガス基本料金設定ボタンをクリックすると、ガス基本料金設定画面が表示されます。



### (33) 自動設定ラジオボタン選択時

すべての空調機に対する合計のガス基本料金を入力し、(35) OKボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログのOKボタンをクリックすると、各テナントに含まれている空調機の能力に応じて、合計の料金を配分します。

テナント設定シートで対応するテナントの基本料金に配分した値を設定します。

このときの空調機の能力は、空調機設定シートの馬力コードを元に求めます。

基本料金を配分するとき、1円以下は1円単位に切り上げます。

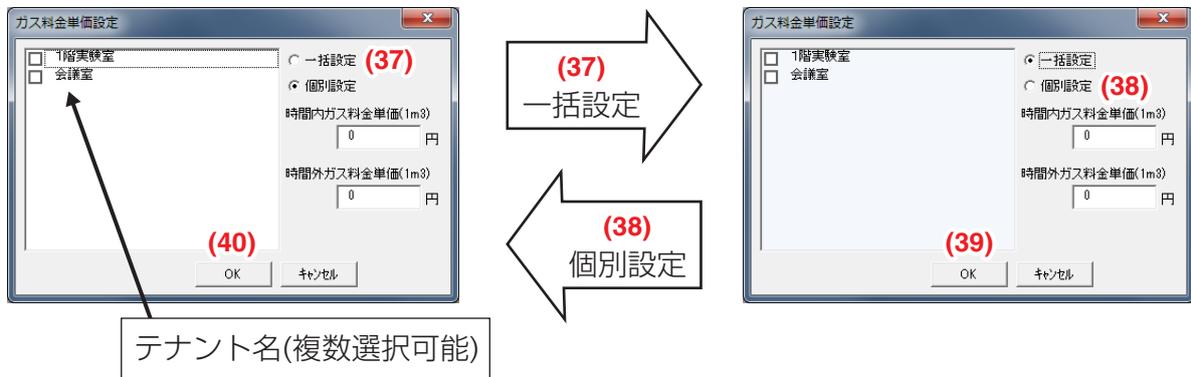
その結果、テナントに設定した基本料金の合計が入力した合計より大きくなることがあります。

### (34) 個別設定ラジオボタン選択時

テナント名を選択し、ガス基本料金(円単位)を入力したあと、(36) OKボタンをクリックします。入力した料金を、テナント設定シートの対応するテナントの基本料金に設定します。

## ■ガス料金単価設定

(19) ガス料金単価設定ボタンをクリックすると、ガス料金単価設定画面が表示されます。



(37) 一括設定ラジオボタン選択時

時間内ガス料金単価・時間外ガス料金単価(小数点第2位まで有効)を入力したあと、

(39) OKボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログのOKボタンをクリックすると、入力した料金を、テナント設定シートに対応するテナントの時間内ガス料金単価、時間外ガス料金単価に設定します。

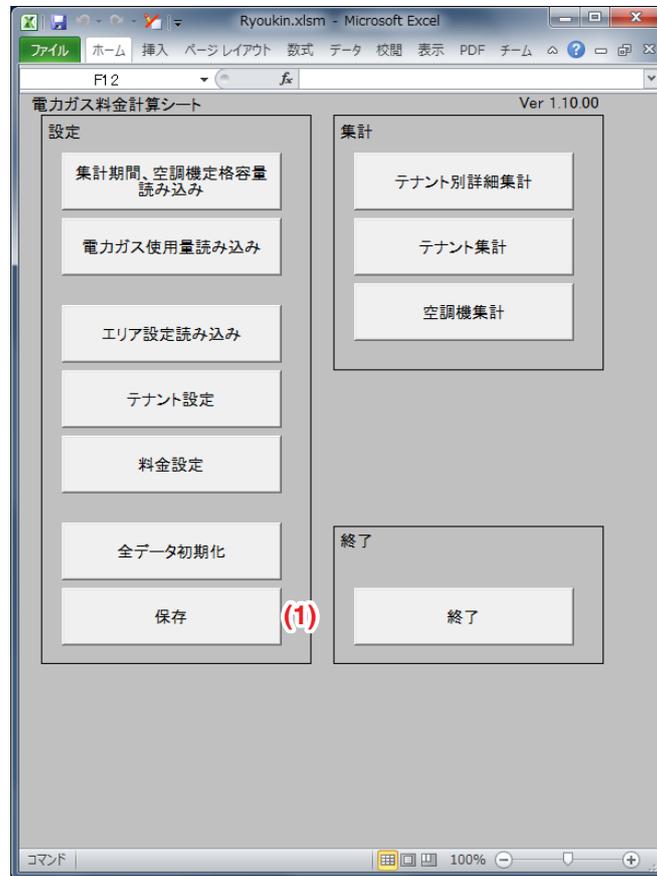
(38) 個別設定ラジオボタン選択時

テナント名を選択し、時間内ガス料金単価・時間外ガス料金単価(小数点第2位まで有効)を入力したあと、(40) OKボタンをクリックします。

入力した料金を、テナント設定シートのすべてのテナントの時間内ガス料金単価・時間外ガス料金単価に設定します。

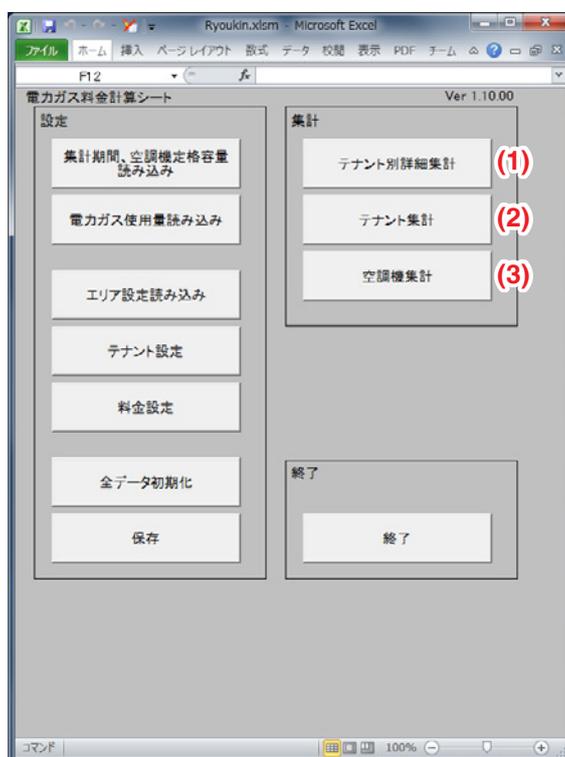
## 4. 保存

電力ガス料金計算シートの **(1) 保存** ボタンをクリックすると、設定データ (読み込んだデータ・設定したデータ) が料金計算シートに保存されます。

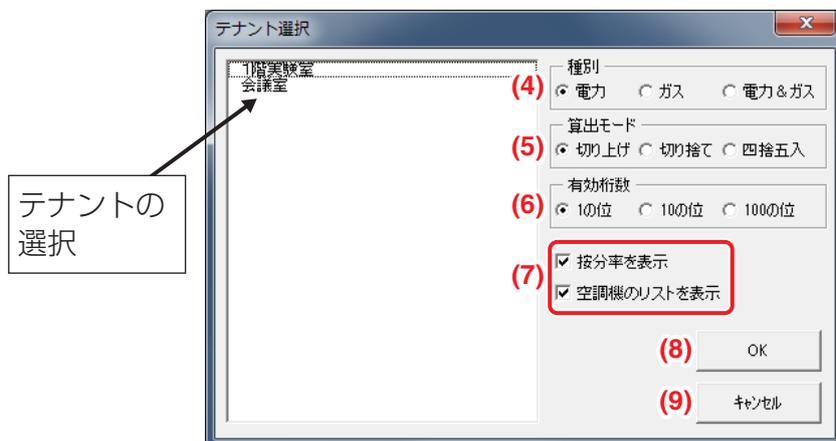


## 5. 印刷

### ■テナント別詳細集計



電力ガス料金計算シートの (1) テナント別詳細集計ボタンをクリックすると、テナント選択画面が表示されます。



#### (4) 種別

テナント別詳細集計に表示する結果を、電力量のみ・ガス量のみ・電力量とガス量を合計した料金から選択します。

- 「電力」を選択したときは、電力量のみの料金が表示されます。
- 「ガス」を選択したときは、ガス量のみの料金が表示されます。
- 「電力&ガス」を選択したときは、電力量とガス量を合計した料金が表示されます。

## (5) 算出モード

請求する合計料金の有効桁数以下の数字を、「切り上げ・切り捨て・四捨五入」のどれにするか選択します。

- 「切り上げ」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り上げて料金計算します。
- 「切り捨て」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り捨てて料金計算します。
- 「四捨五入」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を四捨五入して料金計算します。

電力・ガスの使用量については、電力量は0.1Whの桁、ガス量は0.0001m<sup>3</sup>の桁を切り上げています。

## (6) 有効桁数

料金請求時の合計を、1円単位・10円単位・100円単位のどれにするか選択します。

- 「1の位」を選択したときは、1円単位の料金が表示されます。
- 「10の位」を選択したときは、10円単位の料金が表示されます。
- 「100の位」を選択したときは、100円単位の料金が表示されます。

例：

種別「電力&ガス」、算出モード「切り上げ」、有効桁数「10の位」を選択した場合、詳細集計結果では電力料金・ガス料金が1円の位を切り上げ、10円単位で表示されます。

## (7) 表示オプション

按分率・空調機のリストを表示するか設定します。

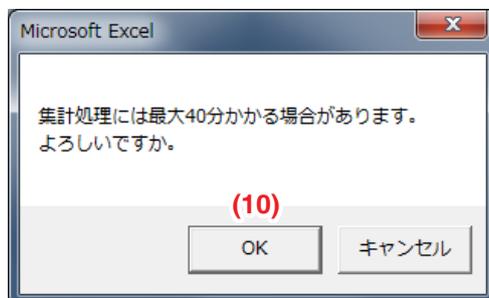
## (8) OKボタン

選択したテナントの電力・ガス料金を集計します。

## (9) キャンセルボタン

テナント選択画面を閉じます。

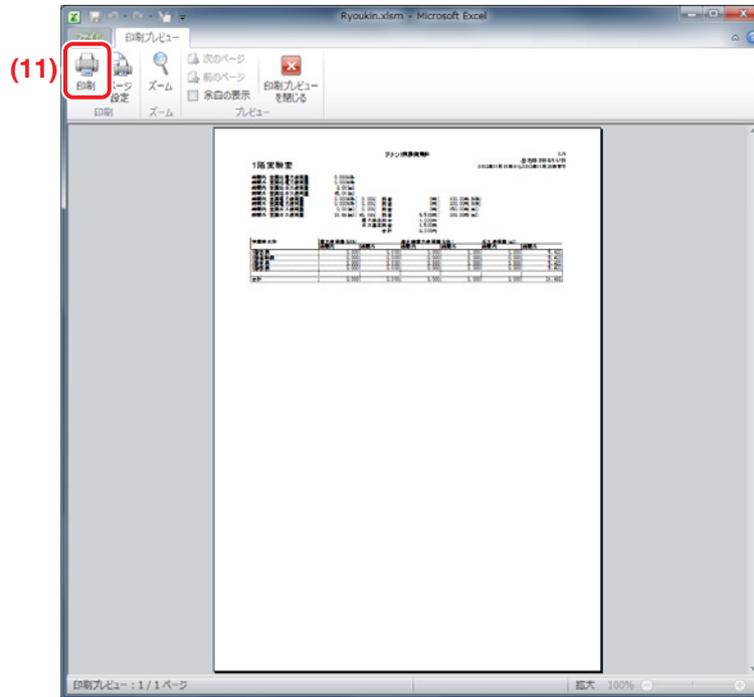
1. テナント選択画面でテナントを1つ選択し、**(8) OKボタン**をクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログの **(10) OKボタン** をクリックすると、選択したテナントの集計画面がプレビュー画面として表示されます。

## NOTE

プレビュー画面の表示は、読み込んだCSVファイルの大きさやパソコンの性能により、時間がかかることがあります。



2. **(11) 印刷**ボタンをクリックすると、プリンタで印刷することができます。  
印刷画面に表示される項目は、テナント選択画面の表示種別や表示オプションによって異なります。

## テナント別詳細集計例

### <表示種別を [ 電力&ガス ]、表示オプションをすべて有効にした場合>

テナント別詳細集計

出力日 2012/10/22  
1/1  
2012年11月01日から2012年11月20日まで

1階事務所

総使用量

テナントの使用量

按分率 (テナント使用量 / 総使用量)

従量料金 (使用量 × 単価)  
1円以下算出モードの設定にしたがって計算します。

集計期間

単価

基本料金、合計  
合計は、算出モード、  
有効桁数にしたがって  
計算・表示します。

時間内 空調総電力使用量	8,256.000kWh						
時間外 空調総電力使用量	4,128.000kWh						
時間内 空調総ガス使用量	1,000.000m <sup>3</sup>						
時間外 空調総ガス使用量	500.000m <sup>3</sup>						
時間内 空調電力使用量	10.000kWh ( 0.12%)						
時間外 空調電力使用量	5.000kWh ( 0.12%)						
時間内 空調ガス使用量	10.000m <sup>3</sup> ( 0.12%)						
時間外 空調ガス使用量	5.000m <sup>3</sup> ( 0.12%)						

料金	300円 ( 30.00円/kWh)
料金	150円 ( 30.00円/kWh)
料金	300円 ( 30.00円/m <sup>3</sup> )
料金	150円 ( 30.00円/m <sup>3</sup> )
電力基本料金	1,000円
ガス基本料金	1,000円
合計	2,900円

空調機名称	電力使用量(kWh)		停止時電力使用量(kWh)		ガス使用量(m <sup>3</sup> )	
	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外
室内機0	1.000	0.500	0.200	0.100	1.000	0.500
室内機1	2.000	1.000	0.400	0.200	2.000	1.000
室内機2	3.000	1.500	0.600	0.300	3.000	1.500
室内機3	4.000	2.000	0.800	0.400	4.000	2.000
合計	10.000	5.000	2.000	1.000	10.000	5.000

空調機別使用量のリスト

料金按分の設定を「停止時の計算をしない」としている場合は  
停止時電力使用量を別に計上し、表示します。

### <表示種別を [ ガス ]、表示オプションをすべて有効にした場合>

テナント別詳細集計

出力日 2012/10/22  
1/1  
2012年11月01日から2012年11月20日まで

1階事務所

時間内 空調総ガス使用量 1,000.000m<sup>3</sup>

時間外 空調総ガス使用量 500.000m<sup>3</sup>

時間内 空調ガス使用量 10.000m<sup>3</sup> ( 0.12%)

時間外 空調ガス使用量 5.000m<sup>3</sup> ( 0.12%)

料金 300円 ( 30.00円/m<sup>3</sup>)

料金 150円 ( 30.00円/m<sup>3</sup>)

ガス基本料金 1,000円

合計 1,450円

空調機名称	ガス使用量(m <sup>3</sup> )	
	時間内	時間外
室内機0	1.000	0.500
室内機1	2.000	1.000
室内機2	3.000	1.500
室内機3	4.000	2.000
合計	10.000	5.000

<表示種別を [電力&ガス]、[按分率を表示] を無効、[空調機のリストを表示] を有効にした場合>

テナント別詳細集計

1/1  
出力日 2012/10/22  
2012年11月01日から2012年11月20日まで

1階事務所

時間内 空調総電力使用量	8,256.000kWh				
時間外 空調総電力使用量	4,128.000kWh				
時間内 空調総ガス使用量	1,000.000m <sup>3</sup>				
時間外 空調総ガス使用量	500.000m <sup>3</sup>				
時間内 空調電力使用量	10.000kWh	料金	300円 (	30.00円/kWh)	
時間外 空調電力使用量	5.000kWh	料金	150円 (	30.00円/kWh)	
時間内 空調ガス使用量	10.000m <sup>3</sup>	料金	300円 (	30.00円/m <sup>3</sup> )	
時間外 空調ガス使用量	5.000m <sup>3</sup>	料金	150円 (	30.00円/m <sup>3</sup> )	
		電力基本料金	1,000円		
		ガス基本料金	1,000円		
		合計	2,900円		

空調機名称	電力使用量(kWh)		停止時電力使用量(kWh)		ガス使用量(m <sup>3</sup> )	
	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外
室内機0	1.000	0.500	0.200	0.100	1.000	0.500
室内機1	2.000	1.000	0.400	0.200	2.000	1.000
室内機2	3.000	1.500	0.600	0.300	3.000	1.500
室内機3	4.000	2.000	0.800	0.400	4.000	2.000
合計	10.000	5.000	2.000	1.000	10.000	5.000

<表示種別を [電力&ガス]、[按分率を表示] を有効、[空調機のリストを表示] を無効にした場合>

テナント別詳細集計

1/1  
出力日 2012/10/22  
2012年11月01日から2012年11月20日まで

1階事務所

時間内 空調総電力使用量	8,256.000kWh				
時間外 空調総電力使用量	4,128.000kWh				
時間内 空調総ガス使用量	1,000.000m <sup>3</sup>				
時間外 空調総ガス使用量	500.000m <sup>3</sup>				
時間内 空調電力使用量	10.000kWh ( 0.12%)	料金	300円 (	30.00円/kWh)	
時間外 空調電力使用量	5.000kWh ( 0.12%)	料金	150円 (	30.00円/kWh)	
時間内 空調ガス使用量	10.000m <sup>3</sup> ( 0.12%)	料金	300円 (	30.00円/m <sup>3</sup> )	
時間外 空調ガス使用量	5.000m <sup>3</sup> ( 0.12%)	料金	150円 (	30.00円/m <sup>3</sup> )	
		電力基本料金	1,000円		
		ガス基本料金	1,000円		
		合計	2,900円		

<表示種別を [電力&ガス]、[按分率を表示] を無効、[空調機のリストを表示] を無効にした場合>

テナント別詳細集計

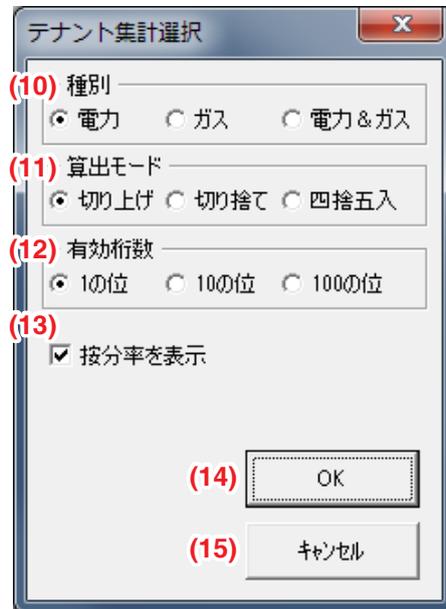
1/1  
出力日 2012/10/22  
2012年11月01日から2012年11月20日まで

1階事務所

時間内 空調総電力使用量	8,256.000kWh				
時間外 空調総電力使用量	4,128.000kWh				
時間内 空調総ガス使用量	1,000.000m <sup>3</sup>				
時間外 空調総ガス使用量	500.000m <sup>3</sup>				
時間内 空調電力使用量	10.000kWh	料金	300円 (	30.00円/kWh)	
時間外 空調電力使用量	5.000kWh	料金	150円 (	30.00円/kWh)	
時間内 空調ガス使用量	10.000m <sup>3</sup>	料金	300円 (	30.00円/m <sup>3</sup> )	
時間外 空調ガス使用量	5.000m <sup>3</sup>	料金	150円 (	30.00円/m <sup>3</sup> )	
		電力基本料金	1,000円		
		ガス基本料金	1,000円		
		合計	2,900円		

## ■テナント集計

電力ガス料金計算シートの (2) テナント集計ボタンをクリックすると、テナント集計選択画面が表示されます。



### (10) 種別

テナント別詳細集計には、電力量のみの料金が表示されます。

### (11) 算出モード

請求する合計料金の有効桁数以下の数字を、「切り上げ・切り捨て・四捨五入」のどれにするか選択します。

- 「切り上げ」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り上げて料金計算します。
- 「切り捨て」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り捨てて料金計算します。
- 「四捨五入」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を四捨五入して料金計算します。

電力・ガスの使用量については、電力量は0.1Whの桁、ガス量は0.0001m<sup>3</sup>の桁を切り上げています。

### (12) 有効桁数

料金請求時の合計を、1円単位・10円単位・100円単位のどれにするか選択します。

- 「1の位」を選択したときは、1円単位の料金が表示されます。
- 「10の位」を選択したときは、10円単位の料金が表示されます。
- 「100の位」を選択したときは、100円単位の料金が表示されます。

例：

種別「電力&ガス」、算出モード「切り上げ」、有効桁数「10の位」を選択した場合、詳細集計結果では電力料金・ガス料金が1円の位を切り上げ、10円単位で表示されます。

### (13) 表示オプション

按分率を表示するかを設定します。

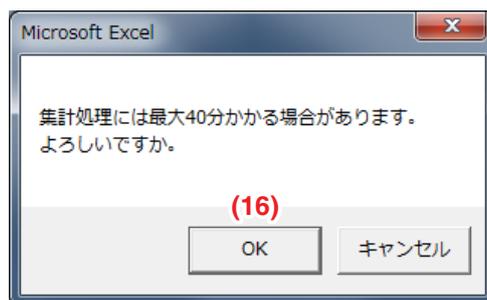
#### (14) OKボタン

テナントごとの電力・ガス料金を集計します。

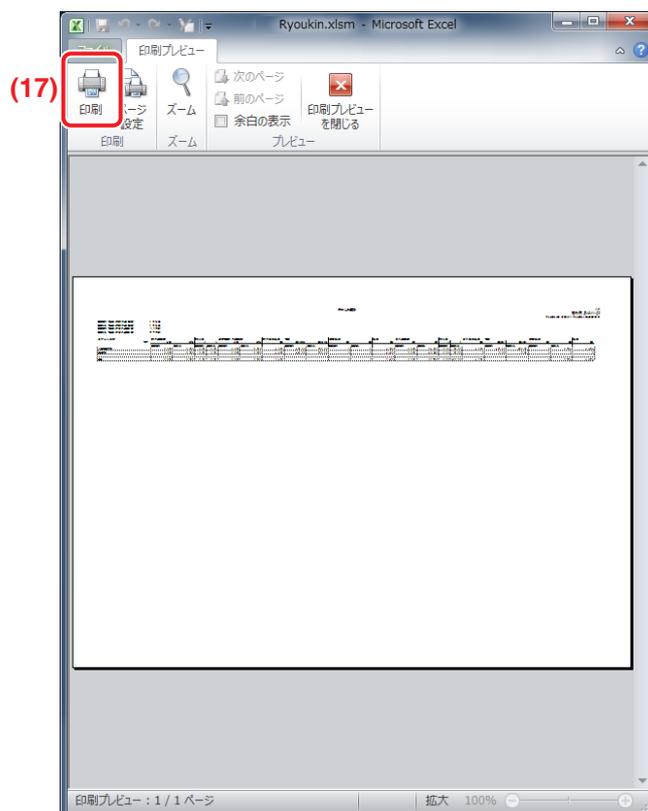
#### (15) キャンセルボタン

テナント集計選択画面を閉じます。

1. (14) OKボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログの (16) OKボタンをクリックすると、テナントの集計画面をプレビュー画面として表示します。



2. (17) 印刷ボタンをクリックすると、プリンタで印刷することができます。

印刷画面に表示される項目は、テナント選択画面の表示種別や表示オプションによって異なります。

## テナント集計例

テナント集計

1/1  
出力日 2012/11/30  
2012年11月01日から2012年11月20日まで

換気内 空調給電力使用量 1,029.98kWh  
 換気外 空調給電力使用量 18.546kWh  
 換気内 空調給ガス使用量 367.851㎡  
 換気外 空調給ガス使用量 32.538㎡

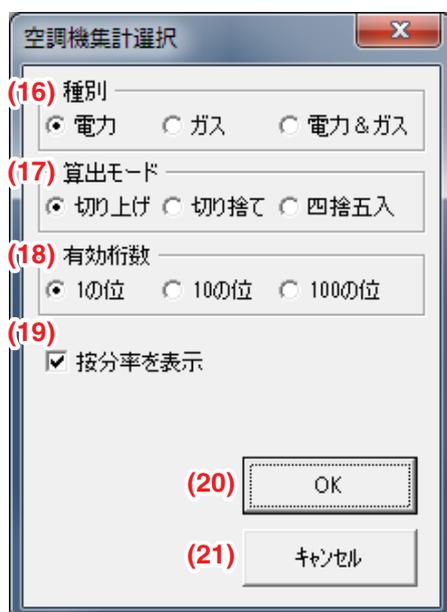
テナント名称	電力使用量				部分率				停止時電力使用量				電力基本料金				従量料金				料金				ガス使用量				部分率				ガス基本料金				従量料金				料金			
	計	内	外	外	計	内	外	外	計	内	外	外	計	内	外	外	計	内	外	外	計	内	外	外	計	内	外	外	計	内	外	外	計	内	外	外								
商業ビル	1,004.441	6.144	97.81	33.14	0.000	0.000	3.879	999	50	1,003.437	308	1,007.624	367.85	32.54	100.00	100.00	2,000	999	50	367.484	1.627	374.111																						
会議室	0.000	0.000	0.00	0.00	0.000	0.000	2.728	100	50	0	0	2.728	0.00	0.00	0.00	0.00	1,500	100	50	0	0	1,500																						
会議室	0.000	0.000	0.00	0.00	0.000	0.000	3.384	100	50	0	0	3.384	0.00	0.00	0.00	0.00	1,500	100	50	0	0	1,500																						
合計	1,004.441	6.144	97.81	33.14	0.000	0.000	10.001			1,003.437	308	1,013.746	367.85	32.54	100.00	100.00	5,000			367.484	1.627	374.111																						

### NOTE

按分率はシステム全体の比率を示します。テナント単位ではありません。

## ■空調機集計

電力ガス料金計算シートの**(3) 空調機集計**ボタンをクリックすると、空調機集計選択画面が表示されます。



### (16) 種別

テナント別詳細集計には、電力量のみの料金が表示されます。

### (17) 算出モード

請求する合計料金の有効桁数以下の数字を、「切り上げ・切り捨て・四捨五入」のどれにするか選択します。

- 「切り上げ」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り上げて料金計算します。
- 「切り捨て」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り捨てて料金計算します。
- 「四捨五入」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を四捨五入して料金計算します。

電力・ガスの使用量については、電力量は0.1Whの桁、ガス量は0.0001m<sup>3</sup>の桁を切り上げています。

### (18) 有効桁数

料金請求時の合計を、1円単位・10円単位・100円単位のどれにするか選択します。

- 「1の位」を選択したときは、1円単位の料金が表示されます。
- 「10の位」を選択したときは、10円単位の料金が表示されます。
- 「100の位」を選択したときは、100円単位の料金が表示されます。

例：

種別「電力&ガス」、算出モード「切り上げ」、有効桁数「10の位」を選択した場合、詳細集計結果では電力料金・ガス料金が1円の位を切り上げ、10円単位で表示されます。

### (19) 表示オプション

按分率を表示するかを設定します。

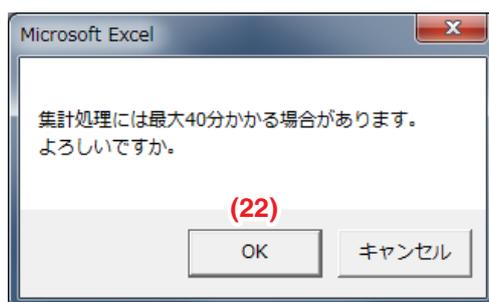
## (20) OKボタン

空調機ごとの電力・ガス料金を集計します。

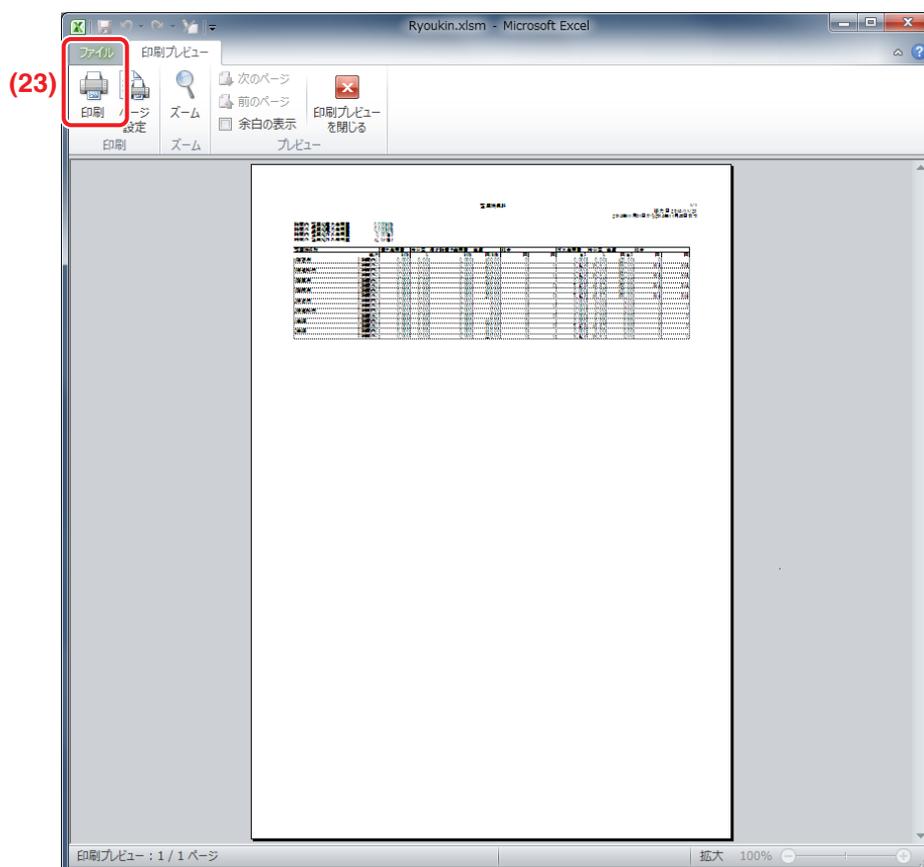
## (21) キャンセルボタン

空調機集計選択画面を閉じます。

1. (20) OKボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログの (22) OKボタンを押すと、空調機の集計画面をプレビュー画面として表示します。



2. (23) 印刷ボタンをクリックすると、プリンタで印刷することができます。

印刷画面に表示される項目は、テナント選択画面の表示種別や表示オプションによって異なります。

# 空調機集計例

空調機集計

1/1  
出力日 2012/11/30  
2012年11月01日から2012年11月20日まで

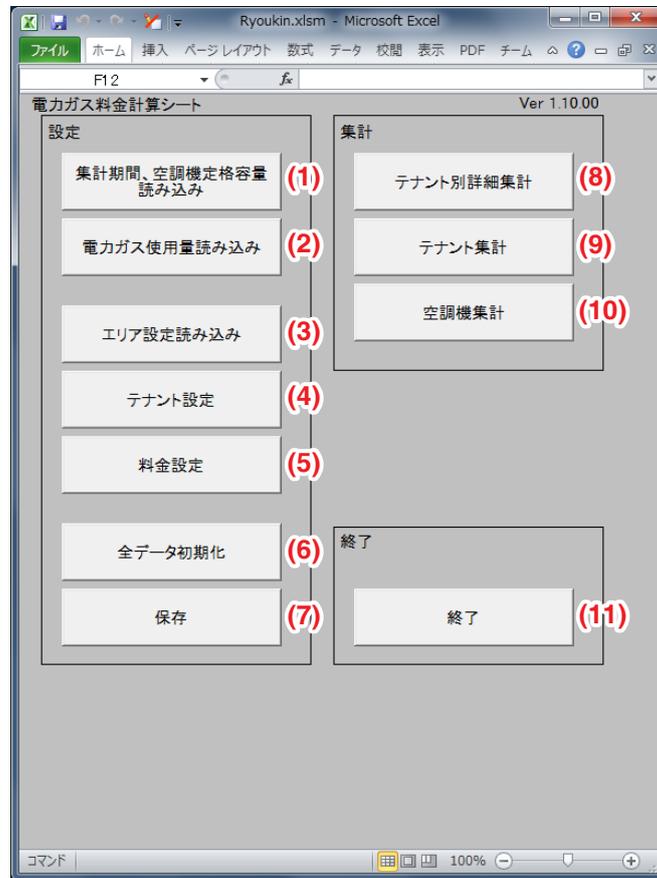
時間内 空調総電力使用量 36.981kWh  
 時間外 空調総電力使用量 18.590kWh  
 時間内 空調総ガス使用量 12.6505m<sup>3</sup>  
 時間外 空調総ガス使用量 7.190m<sup>3</sup>

空調機名称	単位	電力使用量		停止時電力使用量	単価			料金			ガス使用量		単価		料金		
		kWh	%		kWh	円	円	円	m <sup>3</sup>	%	円	円	円				
1階窓側	時間内	3.198	8.65	0.000	100.00	320		1.200	8.65	120.00	144						
	時間外	1.054	5.69	0.000	50.00	53	373	0.520	5.69	60.00	31	175					
1階通路側	時間内	3.188	8.62	0.000	100.00	319		1.490	8.62	120.00	178						
	時間外	1.054	5.69	0.000	50.00	53	372	0.740	5.69	60.00	44	222					
1階東側	時間内	4.034	10.91	0.000	100.00	404		1.870	10.91	120.00	224						
	時間外	2.001	10.79	0.000	50.00	101	505	0.960	10.79	60.00	117	34					
1階西側	時間内	4.021	10.87	0.000	100.00	403		1.960	10.87	120.00	163						
	時間外	2.085	10.98	0.000	50.00	102	505	0.300	10.98	60.00	18	81					
2階窓側	時間内	5.005	13.53	0.000	0.00	0		2.950	13.53	120.00	354						
	時間外	2.456	13.25	0.000	0.00	0	0	2.100	13.25	60.00	126	480					
2階通路側	時間内	4.746	12.83	0.000	0.00	0		3.780	12.83	120.00	453						
	時間外	3.890	20.98	0.000	0.00	0	0	2.560	20.98	60.00	153	606					
1会議室	時間内	6.363	17.21	0.000	0.00	0		0.000	17.21	0.00	0						
	時間外	4.020	21.68	0.000	0.00	0	0	0.000	21.68	0.00	0	0					
2会議室	時間内	6.426	17.38	0.000	0.00	0		0.000	17.38	0.00	0						
	時間外	2.030	10.95	0.000	0.00	0	0	0.000	10.95	0.00	0	0					

時間内従量料金と  
時間外従量料金の合計

## 電力ガス料金計算メニュー画面

電力ガス料金計算シートを起動すると、以下の画面が表示されます。



### (1) 集計期間、空調機定格容量読み込みボタン

iTMが作成したCSVファイルから集計期間、空調機定格容量を読み込みます。

### (2) 電力ガス使用量読み込みボタン

iTMが作成したCSVファイルから電力ガス使用量を読み込みます。

### (3) エリア設定読み込みボタン

テナントへ空調機を登録するとき、iTMが管理しているエリアに含まれている空調機を一括登録できます。

このエリアの設定を、iTMが作成するCSVファイルを読み込むことにより行います。

### (4) テナント設定ボタン

テナントの追加・削除・変更を行います。

テナントの追加・変更では、テナントの名称設定および空調機の登録を行います。

### (5) 料金設定ボタン

基本料金は個別設定のほかに、テナントに登録されている空調機の能力割による自動設定が可能です。

---

## (6) 全データ初期化ボタン

ワークシートに設定された内容を初期状態に戻します。

ワークシートを初期化すると、以下のデータはすべて消去されます。

- 集計期間、空調機定格容量読み込みデータ
- 電力ガス使用量読み込みデータ
- エリア設定読み込みデータ
- テナント設定データ
- 料金設定データ
- 基本料金設定データ
- 単価設定データ
- メニューシートの印刷オプションの設定データ（初期設定値に戻ります。）

## (7) 保存ボタン

設定データ（読み込んだデータ・設定したデータ）が料金計算シートに保存されます。

## (8) テナント別詳細集計ボタン

テナント別の料金按分画面を作成し、プレビュー画面表示を行います。

プレビュー画面から印刷を選ぶことで、テナント別の詳細な按分集計結果を印刷できます。

## (9) テナント集計ボタン

テナントの料金按分画面を作成し、プレビュー画面表示を行います。

プレビュー画面から印刷をクリックすることで、テナントの按分集計結果を印刷できます。

## (10) 空調機集計ボタン

空調機の料金按分画面を作成し、プレビュー画面表示を行います。

プレビュー画面から印刷をクリックすることで、空調機の按分集計結果を印刷できます。

## (11) 終了ボタン

電力ガス料金計算シートを終了します。

設定が変更された状態で電力ガス料金計算シートを終了するときに、Microsoft Excelが保存の確認を求めてきます。電力ガス料金計算シートを保存することで、電力ガス料金計算シートで行った更新内容が保存されます。

## 蓄熱料金按分結果編集手順

iTMでUSBメモリに保存した按分結果(集計開始年月日\_集計終了年月日.csv)を、蓄熱料金計算シートを使用し料金換算して印刷する手順について説明します。

### 【設定手順】

#### 1. 起動

- 蓄熱料金計算シートを起動します。



#### 2. CSVファイル読み込み

- エリア設定読み込み** ボタンをクリックして、エリア設定情報を読み込みます。  
(エリア設定読み込み 参照)
- 集計期間、空調機定格容量読み込み** ボタンをクリックして、集計期間・空調機定格容量を読み込みます。(電力集計データ読み込み 参照)



#### 3. テナント操作

- 「テナント設定」を行います。  
テナント名称および空調機を登録します。(テナント設定 参照)
- 「料金設定」を行います。  
電力基本料金および電力料金単価を設定します。(料金設定 参照)



#### 4. 保存

- 保存** ボタンをクリックして設定を保存します。

### 【印刷手順】

#### 5. 印刷

- 印刷様式により、テナント別詳細集計・テナント集計・空調機集計のどれかを選び印刷します。(印刷画面参照)

## 1. 起動

按分結果を保存したUSBメモリをお手元のパソコンに接続し、コピーします。

按分結果を保存したUSBメモリには、蓄熱料金計算シート「Ryoukinlce.xlsm」ファイルが含まれています。

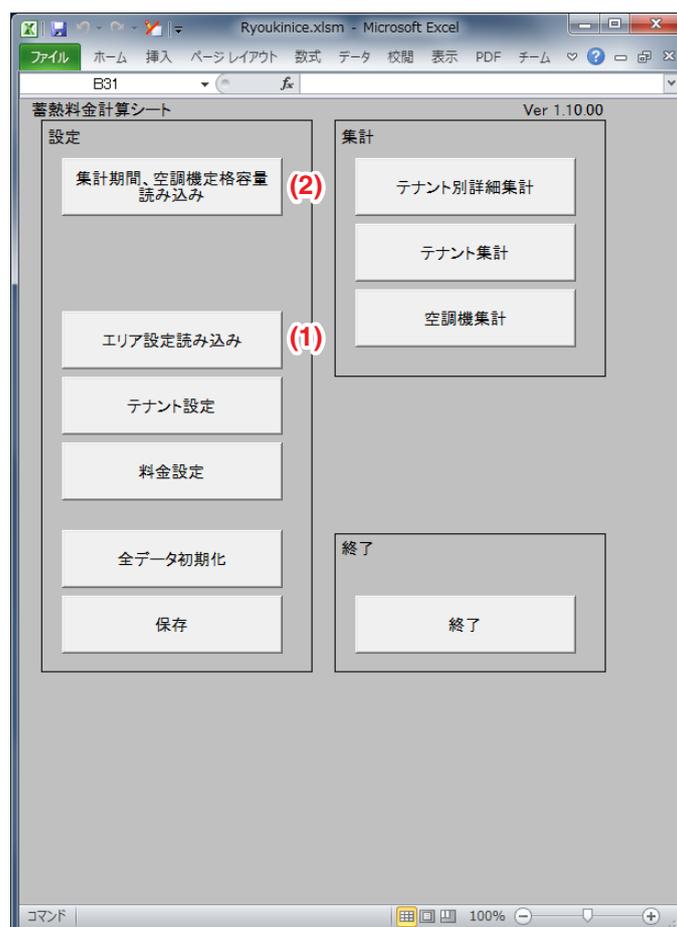
コピーした「Ryoukinlce.xlsm」ファイルを起動します。

メニューシートが表示されます。

### NOTE

- 料金計算シートは、必ずパソコンにコピーしてご使用ください。
- はじめて料金計算シートをご使用になる場合や、按分の再試運転などを行い按分の設定を変更したときは、空調機の情報が変更されます。全データを初期化して、再設定をしてください。

## 2. CSVファイル読込み

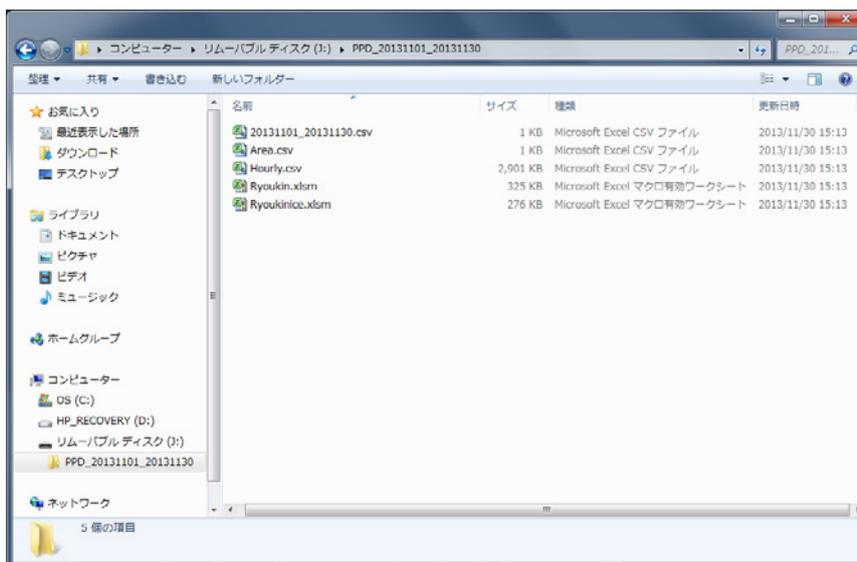


## ■ エリア設定読み込み

蓄熱料金計算シートの **(1) エリア設定読み込み** ボタンにより、iTМが作成したエリア情報ファイルを読み込みます。

**(1) エリア設定読み込み** ボタンをクリックすると、ファイル読み込み画面が表示されます。

エリア情報ファイル「Area.csv」を選択すると、蓄熱料金計算シートのエリア設定シート上に CSVファイルの内容が読み込まれます。



エリア設定を読み込むことで、テナントに空調機を登録するときにはエリアを指定し、エリアに登録されている空調機を一括で登録することができます。

テナントに空調機の登録を行う必要がない場合、エリア設定を読み込む必要はありません。

これにより登録できる空調機は、iTМでエリア設定した空調機の中で、按分試運転で按分対象として登録した空調機のみです。

iTМでは、按分集計結果画面で「実行」の操作を行ったときに、エリア情報ファイルが更新されます。

### NOTE

- CSVファイルのフォーマットについては、  
付録(6. 料金計算シート<エリア情報 CSVファイルフォーマット>)をご覧ください。

---

## ■集計期間・空調機定格容量読み込み

蓄熱料金計算シートの **(2) 集計期間、空調機定格容量読み込み** ボタンにより、iTMが作成した按分情報ファイルを読み込みます。

**(2) 集計期間、空調機定格容量読み込み** ボタンをクリックすると、ファイル読み込み画面が表示されます。情報ファイルを選択すると、蓄熱料金計算シート上にCSVファイルの内容が読み込まれます。

iTMでは、按分集計結果画面で「実行」の操作を行ったときに、以下の名前で、按分情報ファイルを新規作成します。

ファイル名：集計開始年月日 \_ 集計終了年月日 .csv

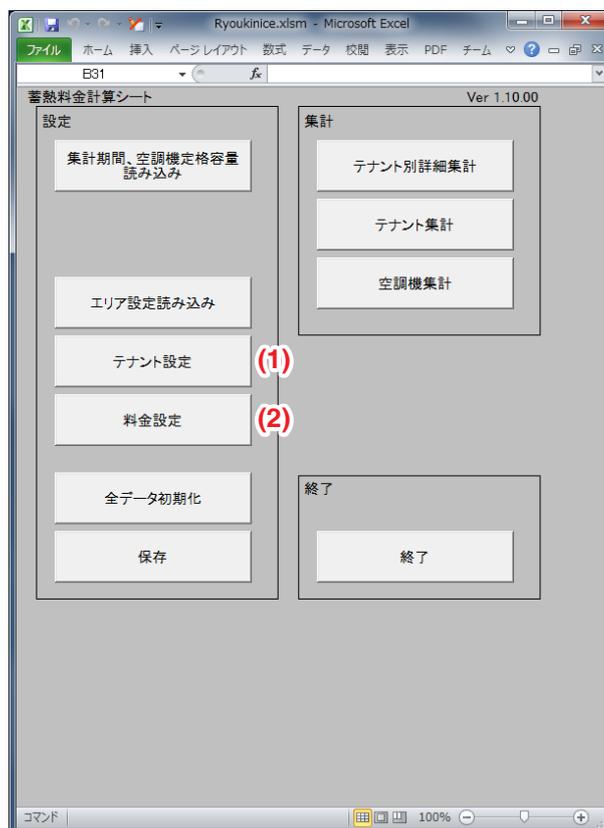
USBメモリからCSVファイルを取り出さない状態で、「実行」を繰り返して行った場合は、CSVファイルが上書き保存されます。

期間指定を同一期間として、「実行」をされる場合は、USBメモリに保存されているCSVファイルを取り出したあとに「実行」を行ってください。

### NOTE

- CSVファイルのフォーマットについては、付録(6. 料金計算シート<エリア情報 CSVファイルフォーマット>)をご覧ください。

### 3. テナント操作



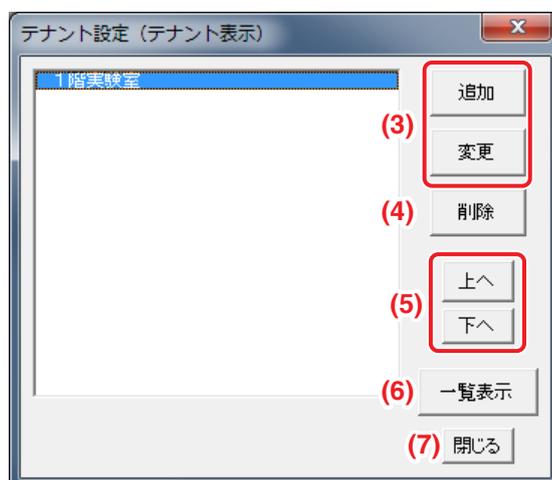
#### ■テナント設定

蓄熱料金計算シートの **(1)** テナント設定ボタンをクリックすると、テナント設定 (テナント表示) 画面が表示されます。

テナント設定 (テナント表示) 画面では、テナントの追加・変更・削除・テナントの並換え・テナント情報の一覧表示をすることができます。

#### NOTE

テナント登録を行う場合は、はじめに集計期間・空調機定格容量を読み込んでください。



### (3) 追加・変更ボタン

テナント登録画面が表示されます。

### (4) 削除ボタン

選択しているテナント設定を削除します。

### (5) 上へ・下へボタン

テナント名を表示する順番を入れ換えます。

### (6) 一覧表示ボタン

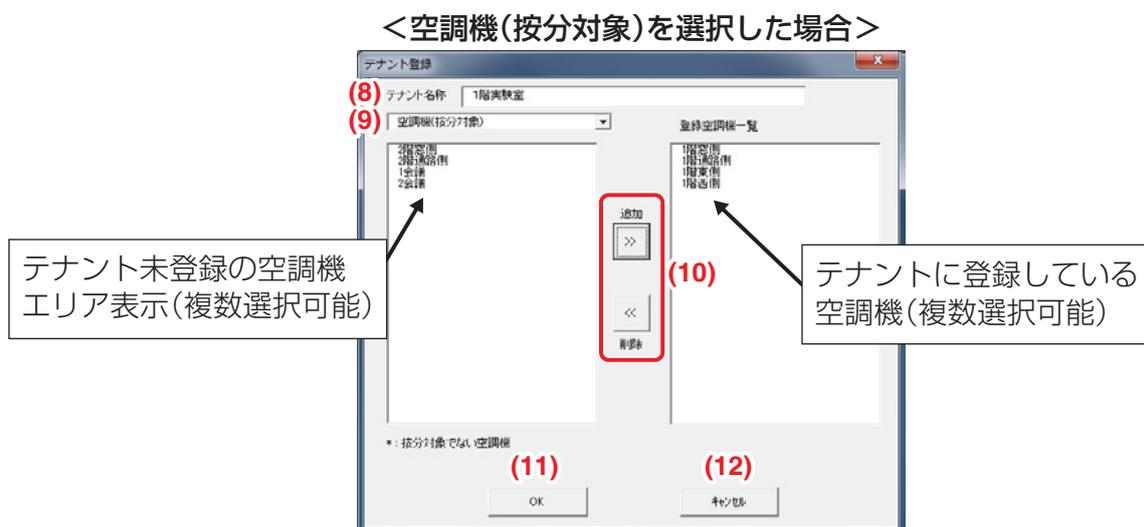
テナント設定 (一覧表示) 画面が表示されます。「テナント設定 (一覧表示)」をご覧ください。

### (7) 閉じるボタン

テナント設定 (テナント表示) 画面を閉じます。

## ■テナント登録

テナント設定 (テナント表示) 画面で、(3) 追加ボタンまたは変更ボタンをクリックすると、テナント登録画面が表示されます。テナント登録画面では、テナント名称の設定および空調機の登録ができます。



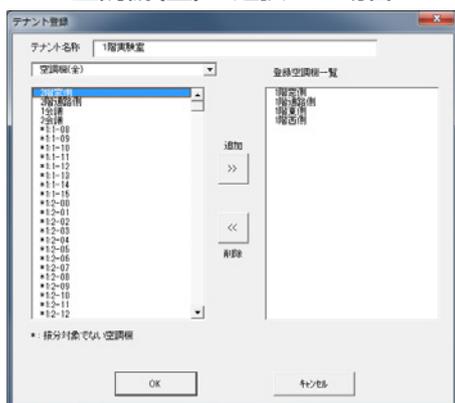
(8) テナント名称に、追加・変更したいテナント名を入力してください。

テナント名称は全角/半角に関係なく、15文字まで入力可能です。

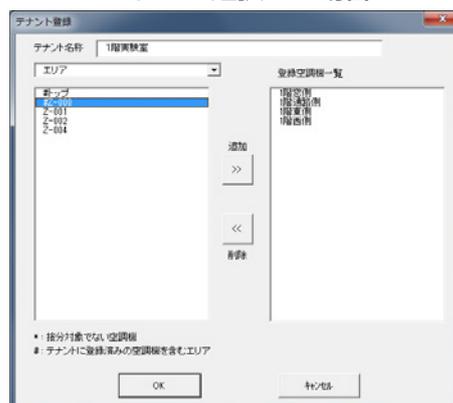
(「&」の特殊文字は印刷されません。「&」を印刷する場合は「&&」と入力します)

(9) コンボボックスより、空調機 (按分対象) /空調機 (全) /エリアを選択することができます。

<空調機(全)を選択した場合>



<エリアを選択した場合>



• コンボボックスが「空調機(按分対象)」の場合

按分試運転により按分対象に指定された空調機の中で、どのテナントにも登録されていない空調機が表示されます。

• コンボボックスが「空調機(全)」の場合

512台すべての空調機が表示されます。

按分対象でない空調機名称の前には「\*」が付きます。

• コンボボックスが「エリア」の場合

iTMに登録されているエリア名称が表示されます。

エリアに登録されている空調機の中で、すでにテナントに登録されている空調機がある場合、エリア名称の前に「#」が付きます。

(10) 空調機の追加／削除

• 登録空調機一覧で項目を選択し、**削除**ボタンをクリックすることで、テナントに登録されている空調機を削除することができます。

• 未登録空調機一覧(按分対象)(全)で項目を選択し、**追加**ボタンをクリックすることで、テナントに空調機を登録することができます。

• エリア一覧で項目を選択し、**追加**ボタンをクリックすることで、エリアに含まれている空調機をテナントに登録することができます。

エリア名称の前に「#」が付いている場合、すでにテナントに登録されていた空調機はそのテナントから外され、現在設定しているテナントに登録されます。

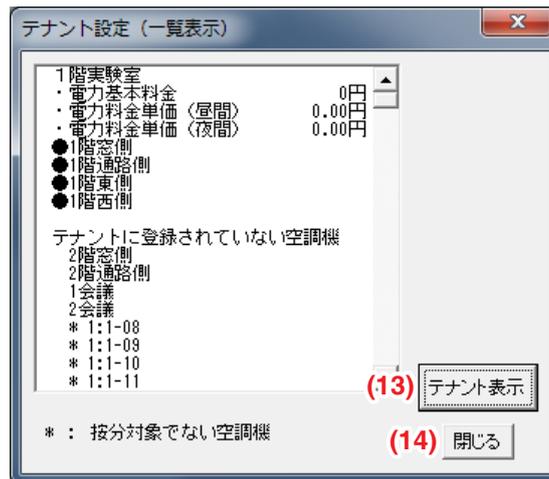
(11) OKボタンをクリックすると、設定した内容が各ワークシートに反映されます。

(12) キャンセルボタンをクリックすると、設定した内容を登録せずに、テナント登録画面を閉じます。

## ■テナント設定(一覧表示)

テナント設定(テナント表示)画面で、**(6)** 一覧表示ボタンをクリックすると、テナント設定(一覧表示)画面が表示されます。各テナントに設定されている電力基本料金・電力料金単価(昼間)・電力料金単価(夜間)・空調機名称・テナントに未登録の空調機名称を一覧で表示します。

(按分対象でない空調機は空調機名称の前に「\*」が付きます。)



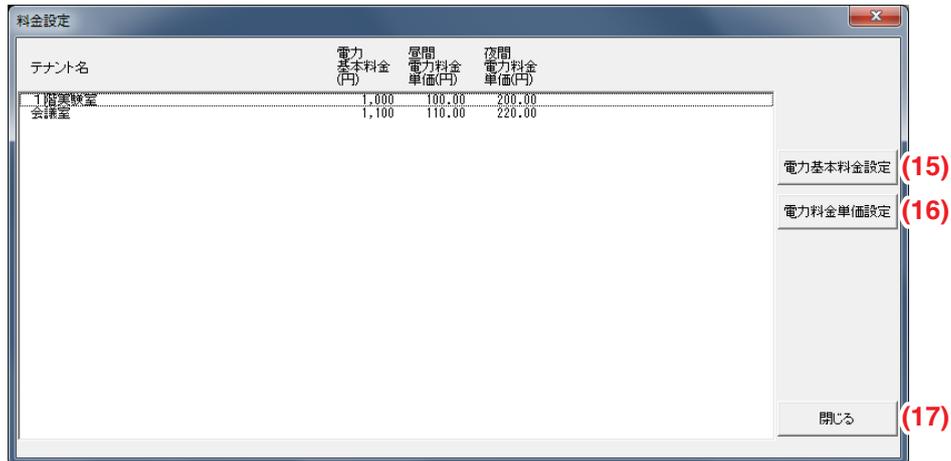
**(13)** テナント表示ボタンをクリックすると、テナント設定(テナント表示)画面に戻ります。

**(14)** 閉じるボタンをクリックすると、テナント設定画面を閉じます。

## ■料金設定

蓄熱料金計算シートの **(2) 料金設定** ボタンをクリックすると、料金設定画面が表示されます。

ここではテナント名称と、テナントに設定されている電力基本料金・昼間電力料金単価・夜間電力料金単価の設定内容を表示します。



### (15) 電力基本料金設定ボタン

電力基本料金設定画面が表示されます。

「**■基本料金設定**」をご覧ください。

### (16) 電力料金単価設定ボタン

電力料金単価設定画面が表示されます。

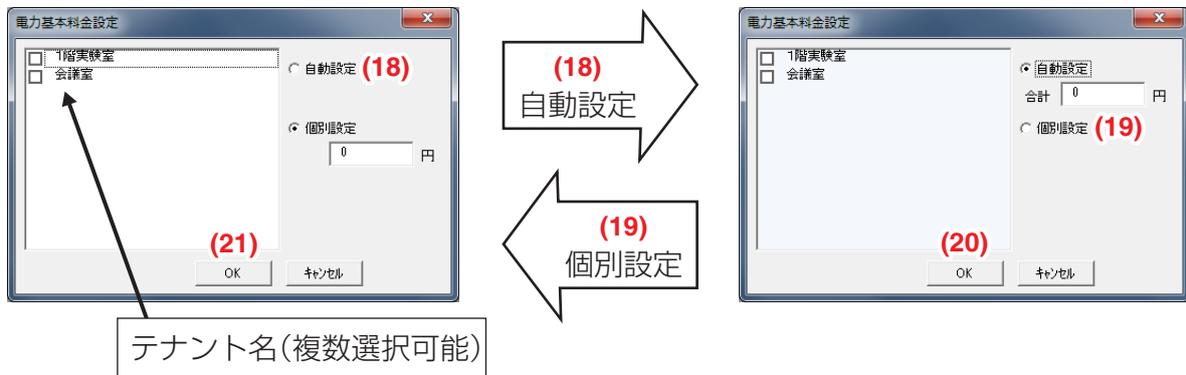
「**■電力料金単価設定**」をご覧ください。

### (17) 閉じるボタン

料金設定画面を閉じます。

## ■ 電力基本料金設定

(15) 電力基本料金設定ボタンをクリックすると、電力基本料金設定画面が表示されます。



### (18) 自動設定ラジオボタン選択時

すべての空調機に対する合計の基本料金を入力し、(20) OKボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログのOKボタンをクリックすると、各テナントに含まれている空調機の能力に応じて、合計の料金を配分します。

テナント設定シートで対応するテナントの基本料金に配分した値を設定します。

このときの空調機の能力は、空調機設定シートの馬力コードを元に求めます。

基本料金を配分するとき、1円以下は1円単位に切り上げます。

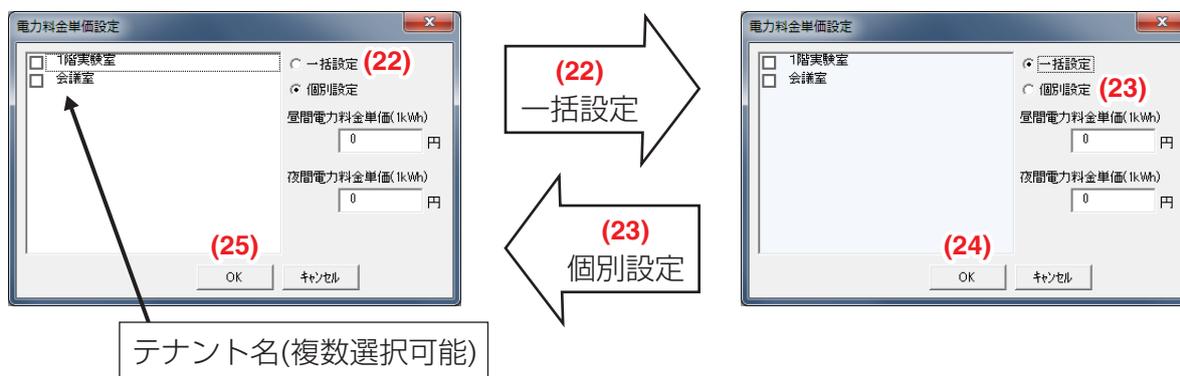
その結果、テナントに設定した基本料金の合計が入力した合計より大きくなる場合があります。

### (19) 個別設定ラジオボタン選択時

テナント名を選択し、基本料金(円単位)を入力したあと、(21) OKボタンをクリックします。入力した料金を、テナント設定シートの対応するテナントの基本料金に設定します。

## ■ 電力料金単価設定

(16) 電力料金単価設定ボタンをクリックすると、電力料金単価設定画面が表示されます。



(22) 一括設定ラジオボタン選択時

昼間電力料金単価・夜間電力料金単価 (小数点第2位まで有効) を入力したあと、(24) OKボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログのOKボタンをクリックすると、入力した料金を、テナント設定シートのすべてのテナントの昼間電力料金単価・夜間電力料金単価に設定します。

(23) 個別設定ラジオボタン選択時

テナント名を選択し、昼間電力料金単価・夜間電力料金単価 (小数点第2位まで有効) を入力したあと、(25) OKボタンをクリックします。

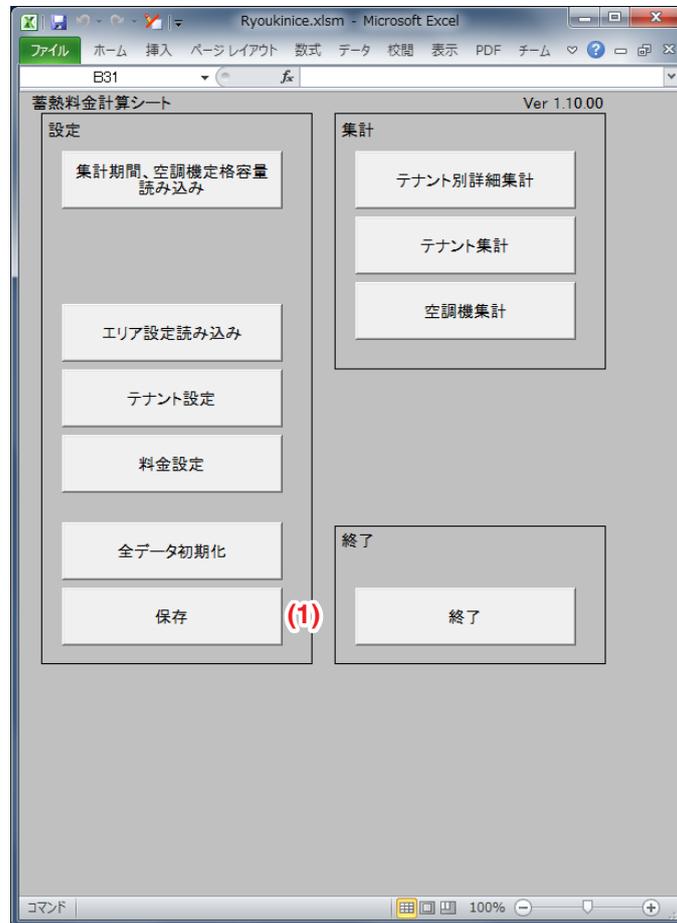
入力した料金を、テナント設定シートに対応するテナントの昼間電力料金単価・夜間電力料金単価に設定します。

### NOTE

蓄熱型の空調機が接続されていない場合、夜間電力料金単位は「0」を入力してください。

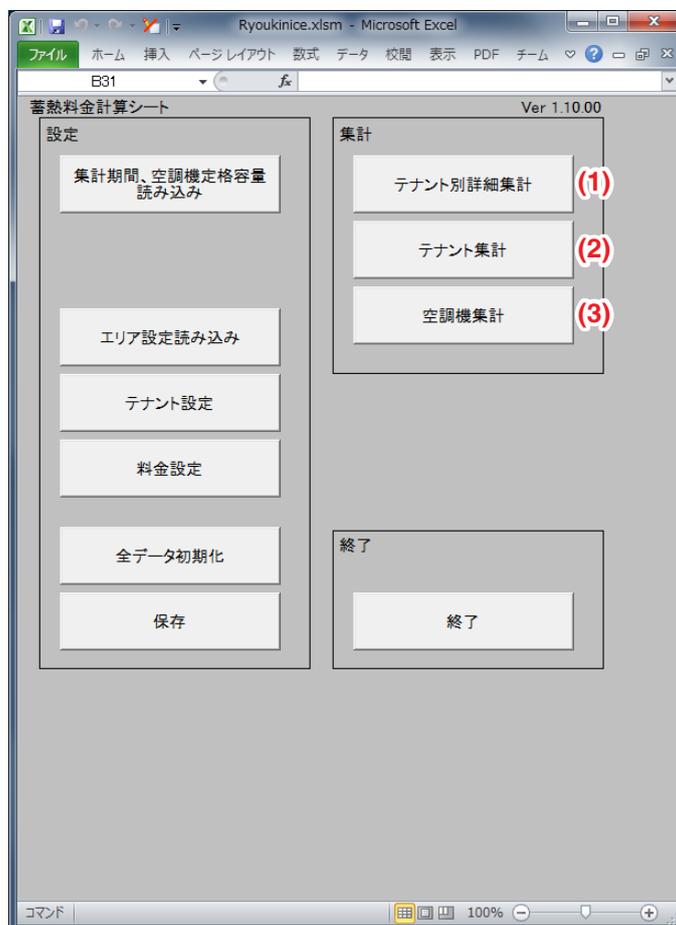
## 4. 保存

蓄熱料金計算シートの **(1) 保存** ボタンをクリックすると、設定データ (読み込んだデータ・設定したデータ) が料金計算シートに保存されます。

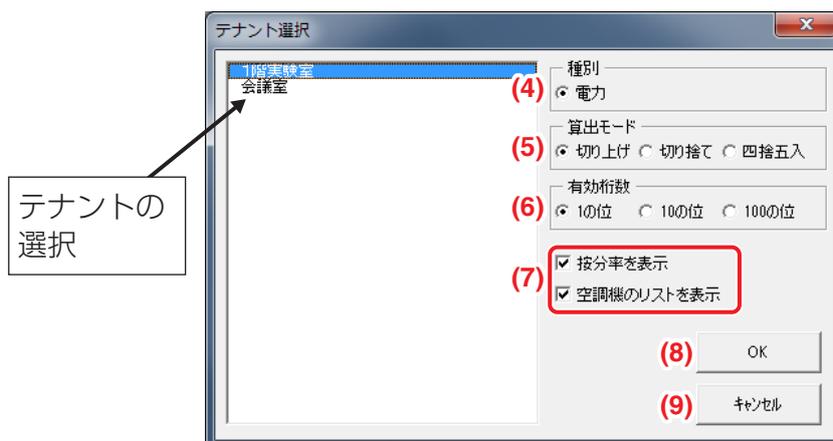


## 5. 印刷

### ■テナント別詳細集計



蓄熱料金計算シートの (1) テナント別詳細集計ボタンをクリックすると、テナント選択画面が表示されます。



#### (4) 種別

テナント別詳細集計には、電力量のみの料金が表示されます。

## (5) 算出モード

請求する合計料金の有効桁数以下の数字を、「切り上げ・切り捨て・四捨五入」のどれにするか選択します。

- 「切り上げ」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り上げて料金計算します。
- 「切り捨て」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り捨てて料金計算します。
- 「四捨五入」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を四捨五入して料金計算します。

電力の使用量については、0.1Whの桁を切り上げています。

## (6) 有効桁数

料金請求時の合計を、1円単位・10円単位・100円単位のどれにするか選択します。

- 「1の位」を選択したときは、1円単位の料金が表示されます。
- 「10の位」を選択したときは、10円単位の料金が表示されます。
- 「100の位」を選択したときは、100円単位の料金が表示されます。

例：

算出モード「切り上げ」、有効桁数「10の位」を選択した場合、詳細集計結果では電力料金が1円の位を切り上げ、10円単位で表示されます。

## (7) 表示オプション

按分率・空調機のリストを表示するかを設定します。

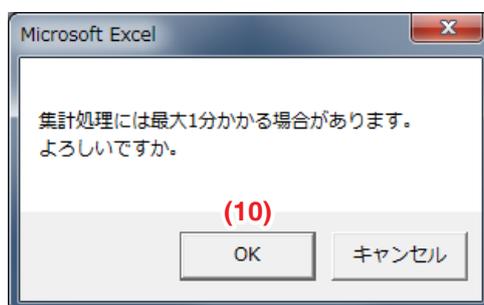
## (8) OKボタン

選択したテナントの電力料金を集計します。

## (9) キャンセルボタン

テナント選択画面を閉じます。

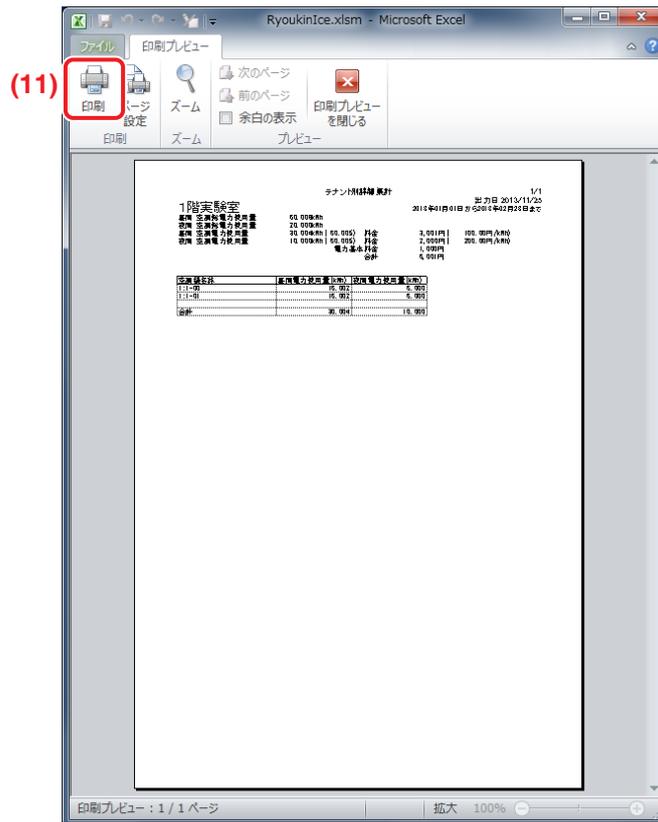
1. テナント選択画面でテナントを1つ選択し、**(8) OKボタン**をクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログの **(10) OKボタン** をクリックすると、選択したテナントの集計画面がプレビュー画面として表示されます。

## NOTE

プレビュー画面の表示は、読み込んだCSVファイルの大きさやパソコンの性能により、時間がかかることがあります。



2. **(11) 印刷**ボタンをクリックすると、プリンタで印刷することができます。

印刷画面に表示される項目は、テナント選択画面の表示種別や表示オプションによって異なります。

### テナント別詳細集計例

テナント別詳細集計				1/1												
				出力日 2013/03/01												
				2013年01月01日から2013年02月28日まで												
<b>1階事務所</b>																
昼間 空調総電力使用量	60.008kWh															
夜間 空調総電力使用量	20.000kWh															
昼間 空調電力使用量	30.004kWh ( 50.00%)	料金	3,001円 ( 100.00円/kWh)													
夜間 空調電力使用量	10.000kWh ( 50.00%)	料金	2,000円 ( 200.00円/kWh)													
		電力基本料金	1,000円													
		合計	6,001円													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>空調機名称</th> <th>昼間電力使用量(kWh)</th> <th>夜間電力使用量(kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>室内機0</td> <td>15.002</td> <td>5.000</td> </tr> <tr> <td>室内機1</td> <td>15.002</td> <td>5.000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30.004</td> <td>10.000</td> </tr> </tbody> </table>					空調機名称	昼間電力使用量(kWh)	夜間電力使用量(kWh)	室内機0	15.002	5.000	室内機1	15.002	5.000	合計	30.004	10.000
空調機名称	昼間電力使用量(kWh)	夜間電力使用量(kWh)														
室内機0	15.002	5.000														
室内機1	15.002	5.000														
合計	30.004	10.000														

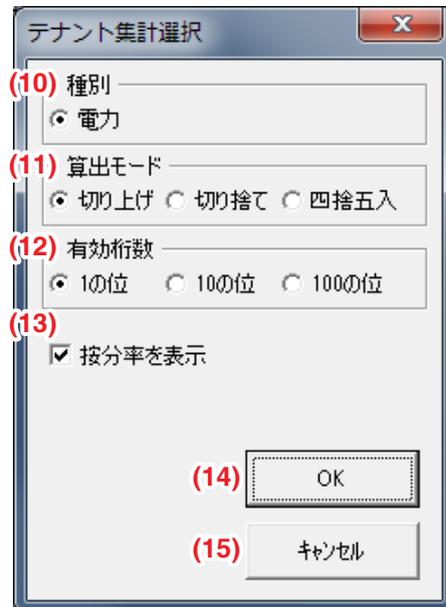
電力集計が  
昼間、夜間別  
になります。

### NOTE

蓄熱型の空調機が接続されていない場合、夜間電力使用量は0kwh表示になります。

## ■テナント集計

蓄熱料金計算シートの (2) テナント集計ボタンをクリックすると、テナント集計選択画面が表示されます。



### (10) 種別

テナント別詳細集計には、電力量のみの料金が表示されます。

### (11) 算出モード

請求する合計料金の有効桁数以下の数字を、「切り上げ・切り捨て・四捨五入」のどれにするか選択します。

- 「切り上げ」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り上げて料金計算します。
- 「切り捨て」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り捨てて料金計算します。
- 「四捨五入」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を四捨五入して料金計算します。

電力の使用量については、0.1Whの桁を切り上げています。

### (12) 有効桁数

料金請求時の合計を、1円単位・10円単位・100円単位のどれにするか選択します。

- 「1の位」を選択したときは、1円単位の料金が表示されます。
- 「10の位」を選択したときは、10円単位の料金が表示されます。
- 「100の位」を選択したときは、100円単位の料金が表示されます。

例：

算出モード「切り上げ」、有効桁数「10の位」を選択した場合、詳細集計結果では電力料金が1円の位を切り上げ、10円単位で表示されます。

### (13) 表示オプション

按分率を表示するかを設定します。

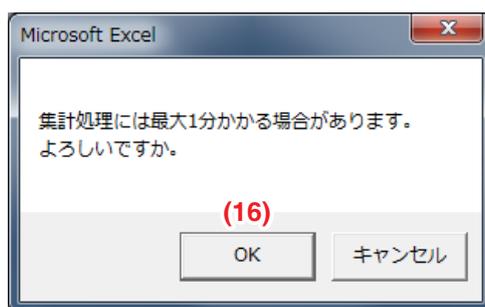
#### (14) OKボタン

テナントごとの電力料金を集計します。

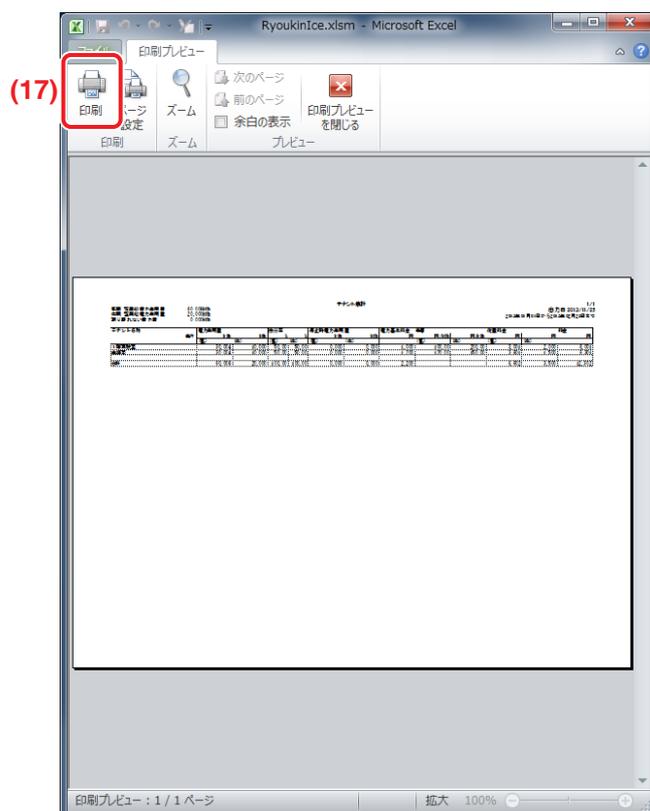
#### (15) キャンセルボタン

テナント集計選択画面を閉じます。

1. (14) OKボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログの (16) OKボタンをクリックすると、テナントの集計画面をプレビュー画面として表示します。



2. (17) 印刷ボタンをクリックすると、プリンタで印刷することができます。

印刷画面に表示される項目は、テナント集計選択画面の表示種別や表示オプション、空調機のタイプ(通常型・蓄熱型)によって異なります。

## テナント集計例

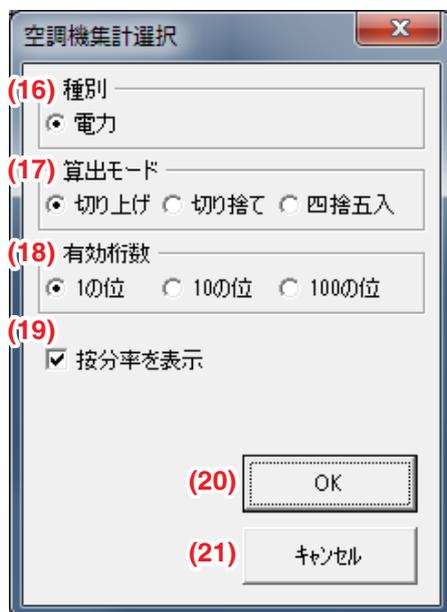
テナント集計														
												1/1		
												出力日 2013/03/01		
												2013年01月01日から2013年02月28日まで		
時間内 空調総電力使用量		60.008kWh												
時間外 空調総電力使用量		20.000kWh												
割り振れない電力量		0.000kWh												
テナント名称	電力使用量		按分率		停止時電力使用量		電力基本料金			従量料金			料金	
	(昼) kWh	(夜) kWh	(昼) %	(夜) %	(昼) kWh	(夜) kWh	円	円/kWh	円/kWh	(昼) 円	(夜) 円	円	円	
1階実験室	30.004	10.000	50.00	50.00	0.000	0.000	1.000	100.00	200.00	3.001	2.000	6.001	6.001	
会議室	30.004	10.000	50.00	50.00	0.000	0.000	1.200	120.00	150.00	3.601	1.500	6.301	6.301	
合計	60.008	20.000	100.00	100.00	0.000	0.000	2.200			6.602	3.500	12.302		

### NOTE

- 蓄熱型の空調機が接続されていない場合、夜間電力使用量・割り振れない電力量は0kwh表示になります。
- 按分率はシステム全体の比率を示します。テナント単位ではありません。

## ■空調機集計

蓄熱料金計算シートの (3) 空調機集計ボタンをクリックすると、空調機集計選択画面が表示されます。



### (16) 種別

テナント別詳細集計には、電力量のみの料金が表示されます。

### (17) 算出モード

請求する合計料金の有効桁数以下の数字を、「切り上げ・切り捨て・四捨五入」のどれにするか選択します。

- 「切り上げ」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り上げて料金計算します。
- 「切り捨て」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を切り捨てて料金計算します。
- 「四捨五入」を選択したときは、有効桁数で決定した下位一桁を四捨五入して料金計算します。

電力の使用量については、0.1Whの桁を切り上げています。

### (18) 有効桁数

料金請求時の合計を、1円単位・10円単位・100円単位のどれにするか選択します。

- 「1の位」を選択したときは、1円単位の料金が表示されます。
- 「10の位」を選択したときは、10円単位の料金が表示されます。
- 「100の位」を選択したときは、100円単位の料金が表示されます。

例：

算出モード「切り上げ」、有効桁数「10の位」を選択した場合、詳細集計結果では電力料金が1円の位を切り上げ、10円単位で表示されます。

### (19) 表示オプション

按分率を表示するかを設定します。

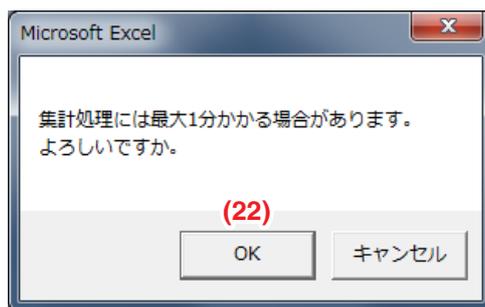
## (20) OKボタン

空調機ごとの電力料金を集計します。

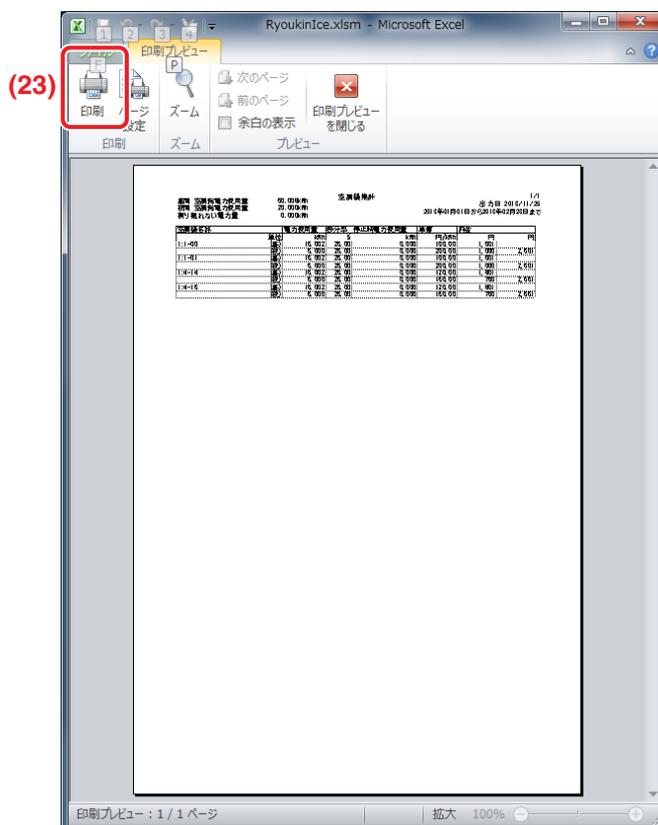
## (21) キャンセルボタン

空調機集計選択画面を閉じます。

1. (20) OKボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログの (22) OKボタンをクリックすると、空調機の集計画面をプレビュー画面として表示します。



2. (23) 印刷ボタンをクリックすると、プリンタで印刷することができます。

印刷画面に表示される項目は、空調機集計選択画面の表示種別や表示オプションによって異なります。

## 空調機集計例

空調機集計							
						1/1	
						出力日 2013/03/01	
						2013年01月01日から2013年02月28日まで	
時間内 空調総電力使用量	60.008kWh						
時間外 空調総電力使用量	20.000kWh						
割り振れない電力量	0.000kWh						
空調機名称	電力使用量	按分率	停止時電力使用量	単価	料金		
	単位	kWh	%	kWh	円	円	円
1階窓側	(昼)	15.002	25.00	0.000	100.00	1,501	2,501
	(夜)	5.000	25.00	0.000	200.00	1,000	
1階通路側	(昼)	15.002	25.00	0.000	100.00	1,501	2,501
	(夜)	5.000	25.00	0.000	200.00	1,000	
1階東側	(昼)	15.002	25.00	0.000	120.00	1,801	2,551
	(夜)	5.000	25.00	0.000	150.00	750	
1階西側	(昼)	15.002	25.00	0.000	120.00	1,801	2,551
	(夜)	5.000	25.00	0.000	150.00	750	

時間内従量料金と  
時間外従量料金の合計

### NOTE

- 蓄熱型の空調機が接続されていない場合、夜間電力使用量・割り振れない電力量は0kwh表示になります。

## 蓄熱料金計算シートメニュー画面

蓄熱料金計算シートを起動すると、以下の画面が表示されます。



### (1) 集計期間、空調機定格容量読み込みボタン

iTMが作成したCSVファイルから集計期間、空調機定格容量を読み込みます。

### (2) エリア設定読み込みボタン

iTMが作成したCSVファイルからエリアの設定を読み込みます。

テナントへ空調機を登録するとき、iTMが管理しているエリアに含まれている空調機を一括登録できます。

### (3) テナント設定ボタン

テナントの追加・削除・変更を行います。

テナントの追加・変更では、テナントの名称設定および空調機の登録を行います。

### (4) 料金設定ボタン

基本料金は個別設定のほかに、テナントに登録されている空調機的能力割による自動設定が可能です。

---

#### (5) 全データ初期化ボタン

ワークシートに設定された内容を初期状態に戻します。

ワークシートを初期化すると、以下のデータはすべて消去されます。

- 集計期間、空調機定格容量読み込みデータ
- エリア設定読み込みデータ
- テナント設定データ
- 料金設定データ
- 基本料金設定データ
- 単価設定データ
- メニューシートの印刷オプションの設定データ (初期設定値に戻ります。)

#### (6) 保存ボタン

設定データ (読み込んだデータ・設定したデータ) が蓄熱料金計算シートに保存されます。

#### (7) テナント別詳細集計ボタン

テナント別の料金按分画面を作成し、プレビュー画面表示を行います。

プレビュー画面から印刷をクリックすることで、テナント別の詳細な按分集計結果を印刷できます。

#### (8) テナント集計ボタン

テナントの料金按分画面を作成し、プレビュー画面表示を行います。

プレビュー画面から印刷をクリックすることで、テナントの按分集計結果を印刷できます。

#### (9) 空調機集計ボタン

空調機の料金按分画面を作成し、プレビュー画面表示を行います。

プレビュー画面から印刷をクリックすることで、空調機の按分集計結果を印刷できます。

#### (10) 終了ボタン

蓄熱料金計算シートを終了します。

設定が変更された状態で蓄熱料金計算シートを終了するときに、Microsoft Excelが保存の確認を求めてきます。蓄熱料金計算シートを保存することで、蓄熱料金計算シートで行った更新内容が保存されます。

---

## 11. デマンド(オプション機能)

### 11-1 デマンド制御

デマンド制御とは、最大需要電力(最大デマンド値)を抑え、基本料金(契約電力料金)の低減を支援するための制御です。

**最大需要電力(最大デマンド値)※1を保証する制御ではありません。**

iTMで受信可能な遮断レベルは電力パルスモードで最大8段階、デマコン連動モードで最大3段階です。その遮断レベルを受信時に対象機器の制御を設定することができます。

※1：30分ごとの平均電力のうち、月間でもっとも大きい値。

#### NOTE

消費電力の少ないガスヒートポンプエアコン(GHP)のみを制御する場合、本デマンド制御機能を使おうとしても、最大需要電力(最大デマンド値)の抑制効果は期待できません。

本機能を利用するには、入力信号の設定や入力機器の設定など、デマンド制御を行うための試運転が必要です。詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

#### 電力料金の考えかた

ここでは、電力料金の考えかたとデマンド制御の機能を説明します。

一般にいう電力料金とは、次の2つに分けられています。

- ①基本料金(契約電力料金)
- ②従量料金(電力量料金)

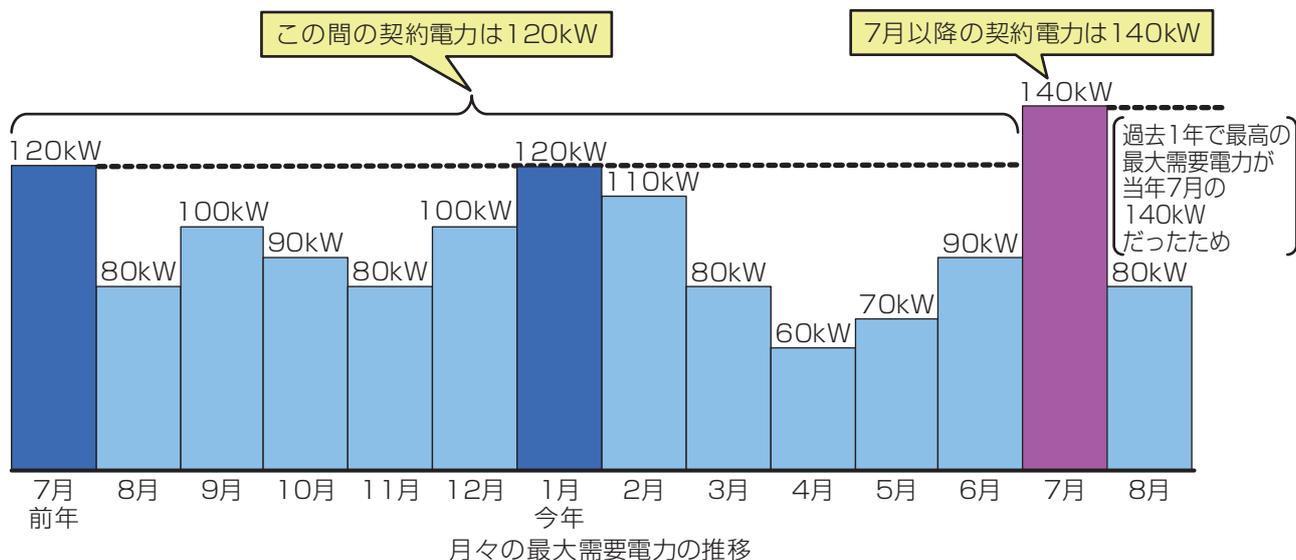
①+②がお客様が電力会社に支払う電気料金です。

電力会社は当月を含む過去1年間の需要電力のうちで、**最大需要電力(最大デマンド値)を元に契約電力料金**を決めます。

(電力会社は、刻々と変化する需要電力を測定し、30分単位で平均電力を算出します。1ヵ月のうちで最大の値をその月の最大需要電力としています)

**翌月の契約電力料金は過去1年のうち数日間だけ現れる最大需要電力(最大デマンド値)で決まります。**したがって、最大デマンド値を制御することで電力基本料金を安定化させることにつながります。

## <契約電力の変化例>



たった30分間の電力量最大値であっても以降1年間の契約電力料金が変わります。

### デマンド制御

電力の基本料金を決める最大需要電力(最大デマンド値)がお客様が設定する目標値を超えないよう空調機などを制御します。

室内機の設定温度シフト制御・室内機の強制サーモOFF・室外機的能力制御を組みあわせて制御を行うため、従来の間欠運転制御に比べ室内環境の悪化を抑えることができます。

また、発停制御を使用し、ベンティエール・DESICA・D3チラー(ただし、JIZAI・ヘキサゴンのみ)・D3Dio・External Dio・BACnet Dio、汎用アダプターを經由して空調機以外の設備を制御することができます。

### デマンド制御履歴(電力パルスモードのみ)

2年分のデマンド制御履歴(各時限の電力デマンド値・目標電力など)を保存でき、USBメモリおよびWeb機能を用いてCSV形式で保存することができます。

---

## 11-2 デマンド制御の設定から運用開始まで

デマンド制御の運用を始めるまでの流れを説明します。

### 【準備作業手順】

- 電力量計の電力デマンドパルス信号の使用許可を、お客様から電力会社に申請して頂きます。



- 電力量計からの電力デマンドパルス信号をiTM電力量計接続用端子台に接続するために別途工事が必要です。  
(一般的には、電気工事の区分になります。)



- 目標電力をどのように設定するか、どのように制御するかを、打合わせのうえ決定して頂きます。

### 【デマンド制御の設定手順(お客様で設定)】

- 「目標電力設定」を行います。(電力パルスモードのみ)  
目標電力を設定します。



- 「設定温度制御設定」を行います。  
制御グループ・冷房設定温度上限・暖房設定温度下限・開始レベル・シフト量を設定します。



- 「室外機能力制御設定」を行います。  
制御グループ・能力値(%)を設定します。



- 「発停制御設定」を行います。  
制御グループ・開始レベルを設定します。



- 「制御設定」を行います。  
設定温度制御の有効/無効を設定します。  
室外機能力制御の有効/無効を設定します。  
発停制御の有効/無効を設定します。

### 【運用開始】

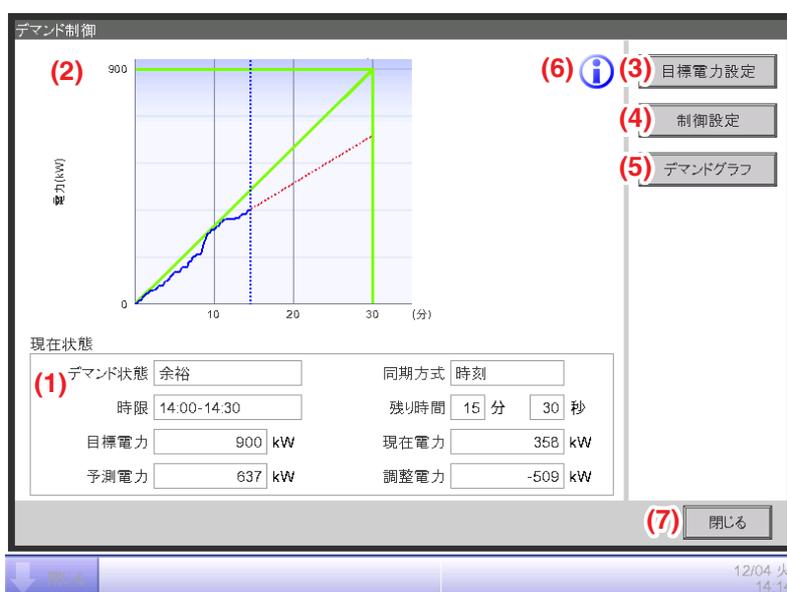
- デマンド制御機能の運用を開始します。

## 11-3 情報画面

### デマンド制御画面

デマンド制御を開始するために、室内機の設定温度シフト制御・室外機的能力制御・発停制御・目標電力を設定します。

- メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(10) デマンド制御** ボタン (4-5 メニューリスト画面参照) をタッチまたは、集中監視画面で **一括監視 デマンド制御** アイコン (4-2 標準画面 (アイコン) 参照) をタッチします。



#### (1) 現在状態の表示エリア

30秒ごとに表示を自動で更新します。

デマンド状態：現在のデマンドの状態を表示します。

デマンド制御では、現在の遮断レベルと予測演算結果から現在の状態(予測状態)を判定します。予測状態は次の4つがあり、予測部が現在の電力レベルと調整電力の大きさに判断しています。

予測状態とその判断基準

		現在電力のレベル	
		基準ラインより 現在電力が上	基準ラインより 現在電力が下
調整電力	プラス	制御不足	制御維持
	マイナス	制御維持	制御過多

余裕：遮断レベルが0で、予測演算結果が制御過多の場合。

制御の必要がない状態。

注意：遮断レベルが0で、予測演算結果は制御不足の場合。

予測部の制限(遮断禁止時間帯など)によってまだ制御を開始していない特殊な状態。

限界：遮断レベルが8(最高レベル)で、予測演算結果が制御不足の場合。

現在の制御設定では、目標電力を超過しそうな場合の警報。

遮断：現在の遮断レベルに対して、制御不足の場合は遮断レベルを上げる。

制御過多の場合は遮断レベルを下げる。制御維持の場合は遮断レベルを維持する。

表示形式は状態に応じて「余裕・注意・限界・遮断(1~8)」となります。

時限：現在の時限を表示します。表示方法はシステム設定にあわせてます。

目標電力：現在の時限での目標電力を表示します。

予測電力：現在の時限での予測電力を表示します。

同期方式：デマンド時限を30分として制御を行います。

時刻同期方式：内部時計の正時/30分を時限開始とする方式

外部同期方式：設定されたポート番号の本体管理点に外部同期信号ラインを  
接続することで、本体管理点に対するON信号とする方式

残り時間：現在の時限での残り時間を表示します。

現在電力：現在の時限での電力消費量を表示します。

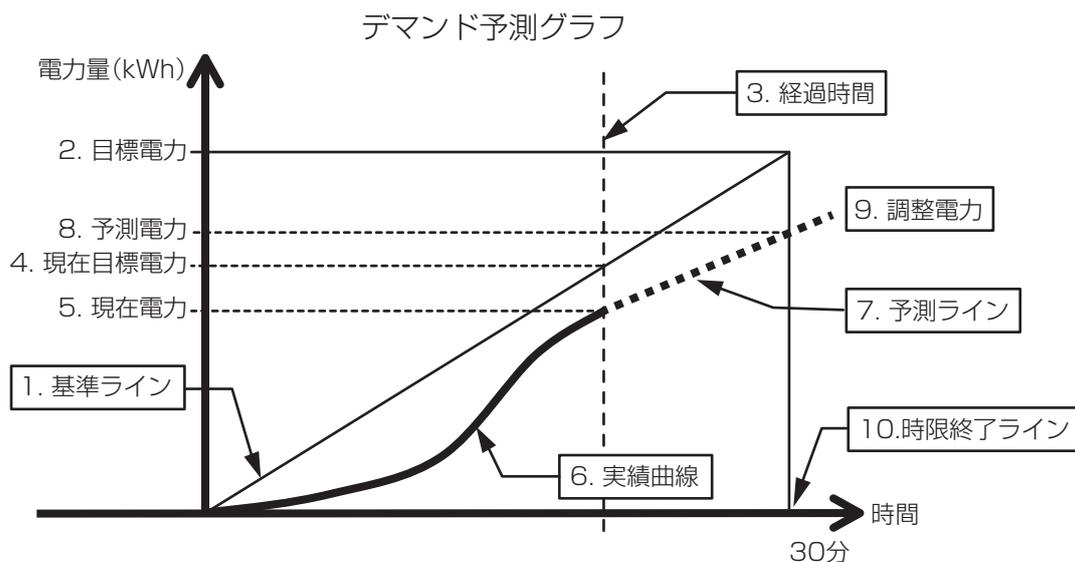
調整電力：現在の時限での調整電力を表示します。

## (2) デマンド予測の表示エリア

電力デマンド予測グラフを表示します。30秒ごとに表示を自動で更新します。

縦軸を電力量(kW)、横軸を時間(分)として、現在の予測状態を表示します。

用語	説明
1. 基準ライン	デマンド時限の30分間で目標電力を理想的に使用した場合の直線
2. 目標電力	このデマンド時限における目標電力
3. 経過時間	制御時限開始時間から現在までの経過時間
4. 現在目標電力	経過時間における基準ライン上の電力量
5. 現在電力	制御時限開始から現在までの積算電力使用量
6. 実績曲線	デマンド時限開始時から現在までの電力消費の実績を示す曲線
7. 予測ライン	現在時点で予測される電力使用の傾きを持つライン 現在時点から時限終了方向へ延長して表示する
8. 予測電力	予測ラインと時限終了ラインとの交点の電力
9. 調整電力	予測電力と目標電力、経過時間を元に算出される調整が必要な電力量
10. 時限終了ライン	デマンド時限の終了時刻を表す



### (3) 目標電力設定ボタン

目標電力を設定するための目標電力画面を表示させます。  
デマンド予測部が動作していない場合は、グレイアウトします。

### (4) 制御設定ボタン

制御設定画面を表示させます。  
デマンド予測部が動作していない場合は、グレイアウトします。

### (5) デマンドグラフボタン

デマンドグラフ画面を表示させます。

### (6) インフォメーションボタン

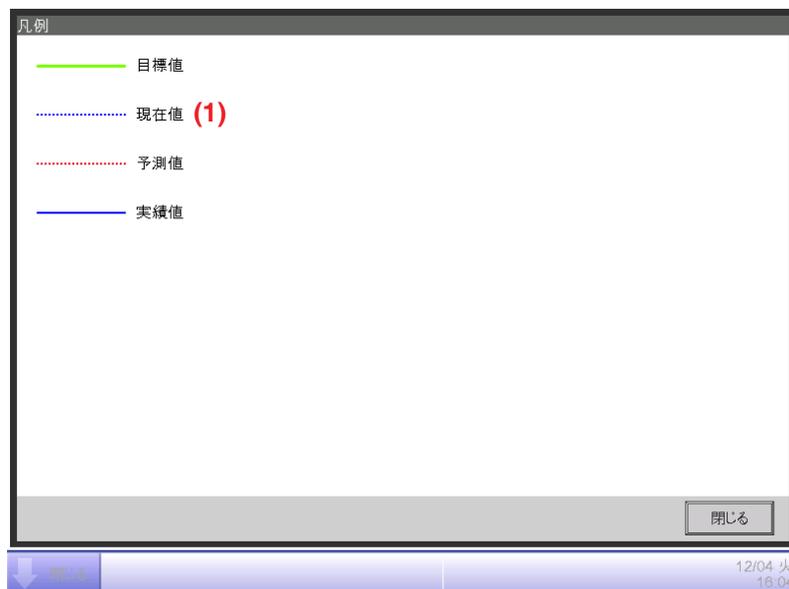
凡例画面を表示させます。

### (7) 閉じるボタン

デマンド制御画面を閉じて、**デマンド制御**ボタンで遷移してきた場合は自動制御画面へ、**一括監視 デマンド制御**アイコンで遷移してきた場合は集中監視画面へ戻ります。

## 凡例画面

1. デマンド制御画面の**インフォメーション**ボタン(11-3 情報画面：デマンド制御画面をご覧ください)をタッチすると、凡例画面を表示します。



### (1) 凡例

デマンド制御画面に表示されるデマンド予測グラフの凡例を表示します。

## 11-4 各種設定画面

### 制御設定画面

1. 各モード時、以下のボタンをタッチすると、制御設定画面を表示します。

電力パルスモード：デマンド制御画面の**制御設定**ボタン(11-3 情報画面参照)をタッチします。

デマコン連動モード：メニューリスト画面の**自動制御**タブで **(10) デマンド制御**ボタン(4-5 メニューリスト画面参照)をタッチします。



#### (1) 制御種別・制御状態の表示エリア

制御種別(「設定温度制御/室外機能力制御/発停制御」)の現在の制御状態を表示します。

単一選択のみ可能で、複数選択はできません。

制御状態欄には、無効時は「無効」と表示し、有効時には遮断レベルを表示します。遮断レベルは電力パルスモード「0～8」、デマコン連動モード「0～3」となります。30秒ごとに表示を自動で更新します。

#### (2) 有/無ラジオボタン

選択されている制御種別の「有効/無効」状態が変更します。タッチ後、確認ダイアログが表示されます。**はい**ボタンをタッチした場合、選択されている制御種別の「有効/無効」を切り換え、確認ダイアログを閉じて、制御設定画面に戻ります。

**いいえ**ボタンをタッチした場合、確認ダイアログを閉じて、制御設定画面へ戻ります。

#### NOTE

- 設定温度シフト制御の基準となる設定温度は、設定温度シフトが動作するデマンドレベルに達したときの設定温度となります。  
設定を有効のままiTMを起動した場合は、起動時の設定温度が基準となります。

### (3) 変更ボタン

選択されている制御種別の設定変更画面を表示します。

選択されている制御種別が「有効」の場合は、設定変更画面で設定確認のみです。

### (4) 制御状態ボタン

選択されている制御種別の制御状態画面を表示します。

### (5) 閉じるボタン

制御設定画面を閉じて、以下の画面を表示します。

電力パルスモード：デマンド制御画面へ戻ります。

デマコン連動モード：自動制御画面へ戻ります。

## 設定温度制御設定画面

1. 制御設定画面の**制御種別**リストから「**設定温度制御**」を選択して**変更**ボタン  
(11-4 各種設定画面参照)をタッチし、設定温度制御設定画面を表示します。

### (1) 制御グループリスト

制御グループ一覧を表示します。(8グループ固定)

複数グループ選択はできません。

表示項目は以下のとおりです。

- グループ名称：制御グループ名称(「制御グループA～制御グループH」)
- 管理点数：制御グループに含まれる管理点数

### (2) 制御グループ設定ボタン

制御グループ設定画面を表示します。

制御グループに含む管理点を設定します。

### (3) OKボタン

設定温度制御設定画面を閉じて、制御設定画面に戻ります。

設定温度制御有効時、設定内容の確認だけで、選択不可となります。

<異常処理>

• 遮断レベルが高いほど消費電力を抑える制御になるように、設定内容を選んでください。

消費電力の強さ

[強] サーモOFF > 16℃ > 15℃… 1℃ > 0℃ [弱]

正しい設定		誤った設定	
遮断レベル1	2.0℃	遮断レベル1	サーモOFF
遮断レベル2	3.0℃	遮断レベル2	3.0℃
遮断レベル3	サーモOFF	遮断レベル3	2.0℃

### (4) キャンセルボタン

設定温度制御設定画面を閉じて、制御設定画面に戻ります。

### (5) 開始レベルコンボボックス (設定温度制御有効時はテキストエリア)

制御開始時の遮断レベルを選択します。

設定温度制御有効時、テキストエリア表示となり、開始レベルの変更はできません。

初期状態はレベル1です。

### (6) 冷房設定温度上限テキストフィールド

冷房時、デマンド制御機能の設定温度シフトの上限値を設定できます。

変更ボタンをタッチすると、数値入力ダイアログが表示され、冷房設定温度上限値を変更できます。0.1℃単位で設定ができます。

設定温度制御有効時、冷房設定温度上限値を変更できません。(変更ボタンが非表示になります。)

初期状態は28.0℃です。

### (7) 暖房設定温度下限テキストフィールド

暖房時、デマンド制御機能の設定温度シフトの下限値を設定できます。

変更ボタンをタッチすると、数値入力ダイアログが表示され、暖房設定温度下限値を変更できます。0.1℃単位で設定ができます。

設定温度制御有効時、暖房設定温度下限値を変更できません。(変更ボタンが非表示になります。)

初期状態は18.0℃です。

### (8) シフト量コンボボックス (設定温度制御有効時はテキストエリア)

電力パルスモード時「1～8」、デマコン連動モード時「1～3」の遮断レベルの設定温度シフト量を表示します。

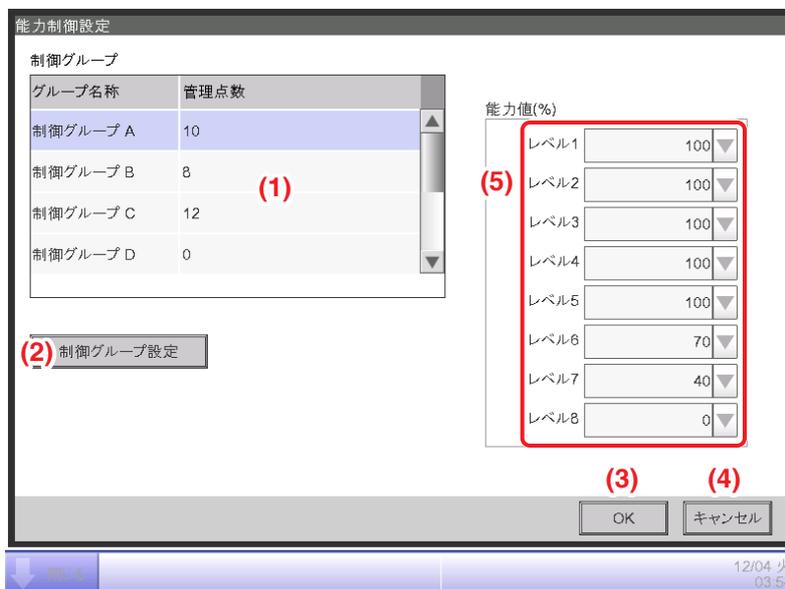
1.0℃単位で設定ができます。

初期状態はすべて0.0℃です。

設定温度制御有効時、テキストエリア表示となり、シフト量の変更はできません。

## 能力制御設定画面

1. 制御設定画面の**制御種別**リストの「**室外機能力制御**」を選択して**変更**ボタン (11-4 各種設定画面参照) をタッチし、能力制御設定画面を表示します。



### (1) 制御グループリスト

制御グループ一覧を表示します。(8グループ固定)

複数グループの選択はできません。

表示項目は以下のとおりです。

- グループ名称：制御グループ名称(制御グループA～制御グループH)
- 管理点数：制御グループに含まれる管理点数。

### (2) 制御グループ設定ボタン

制御グループ設定画面を表示します。

制御グループに含む管理点を設定します。

---

### (3) OKボタン

能力制御設定画面を閉じて、制御設定画面に戻ります。

室外機能力制御有効時、設定内容の確認だけで、選択不可となります。

<異常処理>

- 遮断レベルが高いほど消費電力を抑える制御になるように、設定内容を選んでください。

消費電力の抑制の強さ

[強] 0%>40%>70%>100% [弱]

正しい設定		誤った設定	
遮断レベル1	70%	遮断レベル1	0%
遮断レベル2	40%	遮断レベル2	40%
遮断レベル3	0%	遮断レベル3	70%

### (4) キャンセルボタン

能力制御設定画面を閉じて、制御設定画面に戻ります。

### (5) 能力値コンボボックス (室外機能力制御有効時はテキストエリア)

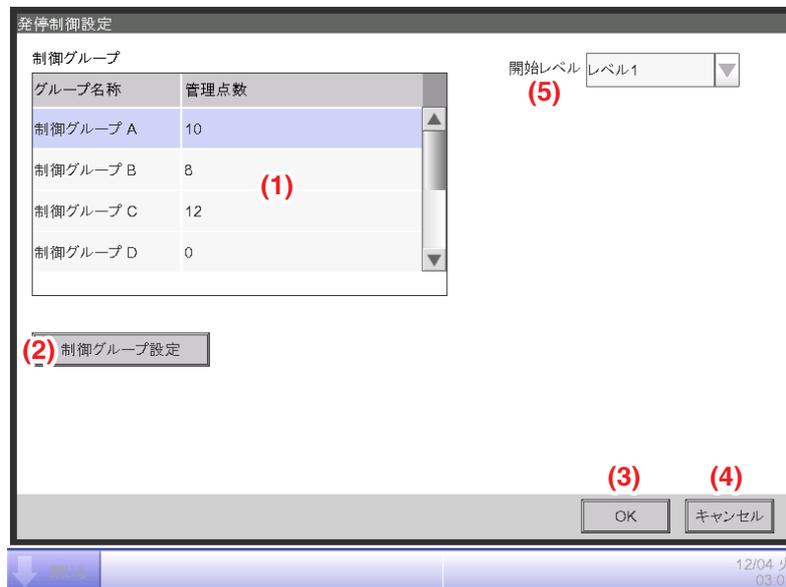
電力パルスモード時「1～8」、デマコン連動モード時「1～3」の遮断レベルの室外機能力値を表示します。

初期状態はすべて100%です。

室外機能力制御有効時、テキストエリア表示となり、室外機能力値の変更はできません。

## 発停制御設定画面

1. 制御設定画面の**制御種別**リストの「**発停制御**」を選択して**変更**ボタン  
(11-4 各種設定画面参照)をタッチし、発停制御設定画面を表示します。



### (1) 制御グループリスト

制御グループ一覧を表示します。(8グループ固定)

単一選択のみ可能で、複数選択はできません。

表示項目は以下のとおりです。

- グループ名称：制御グループ名称(制御グループA～制御グループH)
- 管理点数：制御グループに含まれる管理点数。

### (2) 制御グループ設定ボタン

制御グループ設定画面を表示します。

制御グループ設定画面で、制御グループに含む管理点を設定します。

### (3) OKボタン

発停制御設定画面を閉じて、制御設定画面に戻ります。

発停制御有効時、設定内容の確認だけで、選択不可となります。

### (4) キャンセルボタン

発停制御設定画面を閉じて、制御設定画面に戻ります。

### (5) 開始レベルコンボボックス(発停制御有効時はテキストエリア)

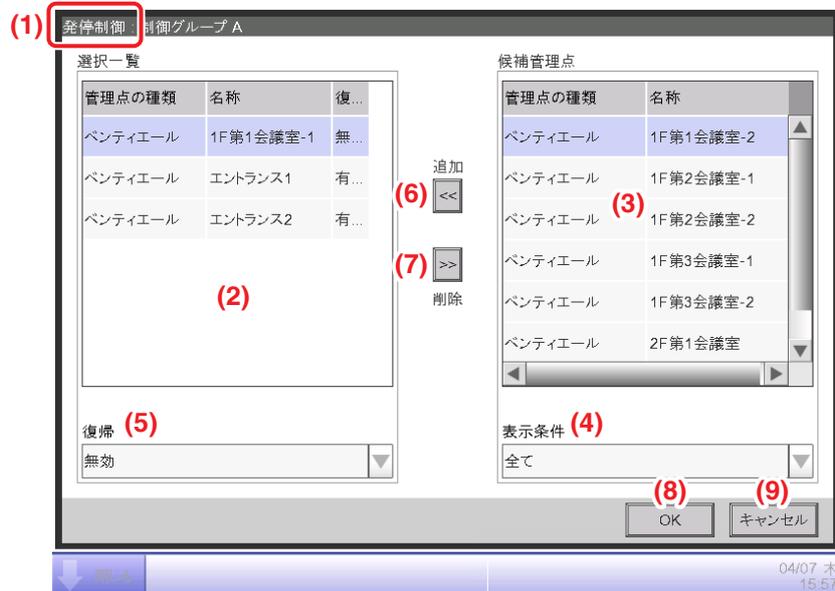
制御開始時の遮断レベルを選択します。

初期状態は「レベル1」です。

発停制御有効時、テキストエリア表示となり、開始レベルの変更はできません。

## 制御グループ設定画面

1. 設定温度制御・室外機能力制御・発停制御画面の**制御グループ設定**ボタン  
(11-4 各種設定画面参照)をタッチし、制御グループ設定画面を表示します。



### (1) 制御種別フィールド

制御設定画面の制御種別に応じて、「設定温度制御/能力制御/発停制御」を表示します。

### (2) 選択一覧リスト

制御グループに登録されている管理点の一覧を表示します。複数管理点の選択ができます。管理点の種類・名称が表示されます。管理点が削除された場合、「不明」と表示します。室外機の場合は、デマンドアドレスを無効に変更された時も、「不明」と表示します。

### (3) 候補管理点リスト

制御グループに登録可能な管理点の一覧が表示されます。複数管理点の選択ができます。管理点の種類・名称が表示されます。ほかの制御グループに登録されている管理点は表示されません。

### (4) 表示条件コンボボックス

候補管理点リストに表示する管理点の種類を表示します。表示条件は「全て/室内機/室外機/その他」から選択できます。選択後は候補管理点リストの先頭のリストを選択します。

### (5) 復帰コンボボックス

選択した管理点に対して、デマンド制御が解除されたときに自動復帰させるかどうかを、「有効/無効」で選択します。「有効」を選択すると、対象の管理点が運転中にデマンド制御により停止すると、デマンド制御が解除されたときに、管理点は停止から運転に自動で復帰します。

---

## (6) 追加ボタン

(3) 候補管理点リストで選択されている管理点を (2) 選択一覧リストに追加します。追加ボタンをタッチ後、(2) 選択一覧リストに追加された項目は選択状態となります。以下の場合、追加ボタンを選択不可とします。

- (2) 選択一覧リストと (3) 候補管理点リストの選択数が制御グループに登録できるユニット数の上限を超える場合
- (3) 候補管理点リストが空の場合
- 有効時

## (7) 削除ボタン

(2) 選択一覧リストで選択されている管理点を (3) 候補管理点リストに戻します。削除ボタンをタッチ後、(3) 候補管理点リストに追加された項目は選択状態となります。不明表示の管理点を選択し、削除をタッチした場合は、(2) 選択一覧リストから不明表示の管理点が削除されます。(3) 候補管理点リストには追加されません。以下の場合、削除ボタンを選択不可とします。

- (2) 選択一覧リストが空の場合
- 有効時

## (8) OKボタン

設定を反映して、制御グループ設定画面を閉じ、遷移元の画面(設定温度制御/室外機能力制御/発停制御)に戻ります。

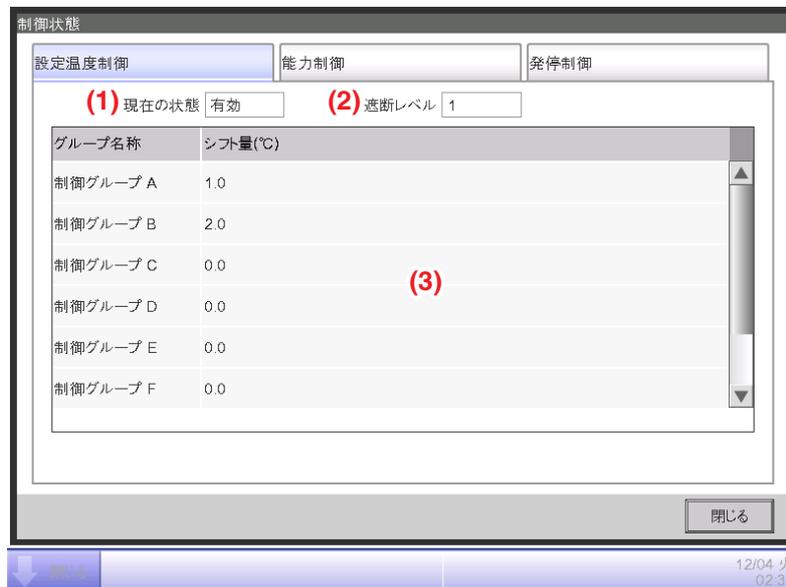
各制御有効時、設定内容の確認だけで、選択不可となります。

## (9) キャンセルボタン

設定を破棄して、制御グループ設定画面を閉じて、遷移元の画面(設定温度制御/室外機能力制御/発停制御)に戻ります。

## 制御状態画面：設定温度制御

1. 制御設定画面の**制御状態**ボタン(11-4 各種設定画面参照)をタッチし、制御状態画面(設定温度制御タブ)を表示します。



### (1) 現在の状態

制御の「有効/無効」を表示します。

### (2) 遮断レベル

現在の遮断レベルを表示します。

無効時は「無効」、有効時に電力パルスモードは遮断レベル「0～8」、デマコン連動モードは遮断レベル「0～3」を表示します。

30秒ごとに表示を自動で更新します。

### (3) 状態リスト

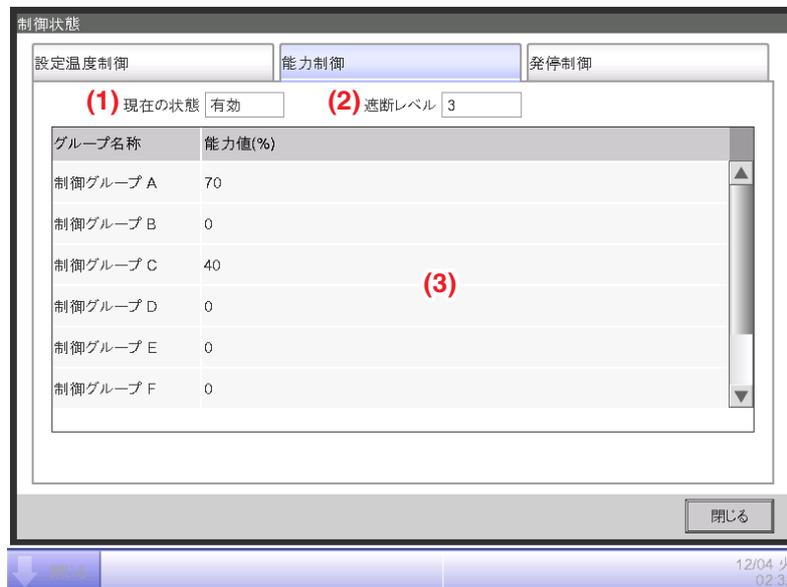
制御グループ名称とシフト量状態を一覧表示します。

無効時、または遮断レベルが0のとき、シフト量状態を「-」と表示します。

30秒ごとに表示を自動で更新します。

## 制御状態画面：能力制御

1. 制御設定画面の(11-4 各種設定画面参照) **制御状態** ボタンをタッチし、制御状態画面(能力制御タブ)を表示します。



### (1) 現在の状態

制御の「有効/無効」を表示します。

### (2) 遮断レベル

現在の遮断レベルを表示します。

無効時は「無効」、有効時に電力パルスモードは遮断レベル「0～8」、デマコン連動モードは「0～3」を表示します。

30秒ごとに表示を自動的に更新します。

### (3) 状態リスト

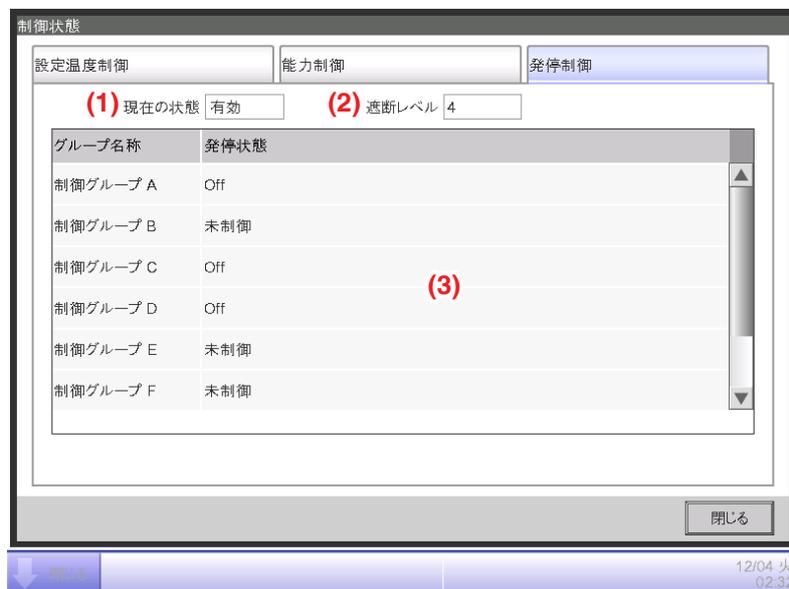
制御グループ名称と能力値状態を一覧表示します。

無効時または遮断レベルが0のとき、能力値状態を「-」と表示します。

30秒ごとに表示を自動で更新します。

## 制御状態画面：発停制御

1. 制御設定画面(11-4 各種設定画面参照)の**制御状態**ボタンをタッチし、制御状態画面(発停制御タブ)を表示します。



### (1) 現在の状態

制御の「有効/無効」を表示します。

### (2) 遮断レベル

現在の遮断レベルを表示します。

無効時は「無効」、有効時に電力パルスモードは遮断レベル「0～8」、デマコン連動モードは「0～3」を表示します。

30秒ごとに表示を自動で更新します。

### (3) 状態リスト

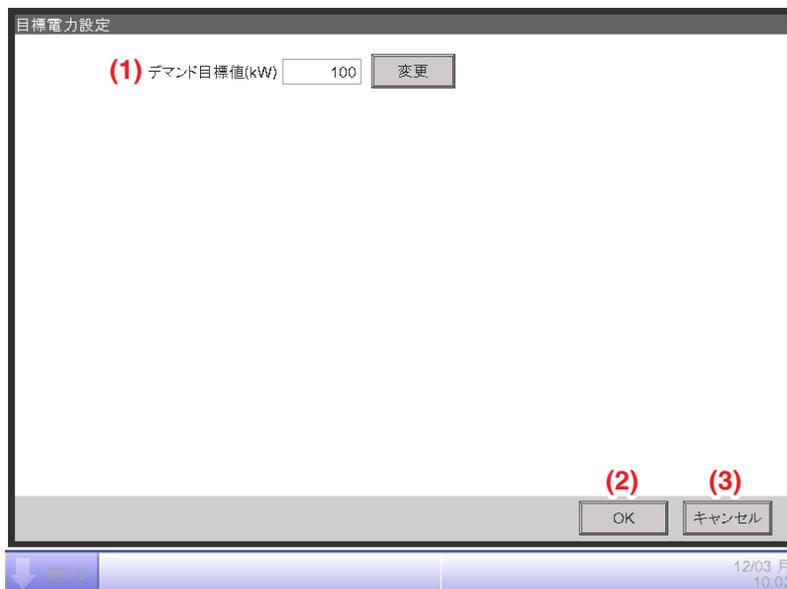
制御グループ名称と発停状態を一覧表示します。

無効時または遮断レベルが0のとき、発停状態を「-」と表示します。

30秒ごとに表示を自動で更新します。

## 11-5 目標電力設定画面

1. デマンド制御画面の**目標電力設定**ボタン(11-3 情報画面参照)をタッチし、目標電力設定画面を表示します。



### (1) デマンド目標値テキストフィールド

デマンド目標値を設定します。

**変更**ボタンをタッチすると、数値入力ダイアログが表示され、デマンド目標値の変更ができます。

1kW単位で変更ができます。

初期状態は「100」kW

### (2) OKボタン

変更を反映し、目標電力設定画面を閉じて、デマンド制御画面に戻ります。

### (3) キャンセルボタン

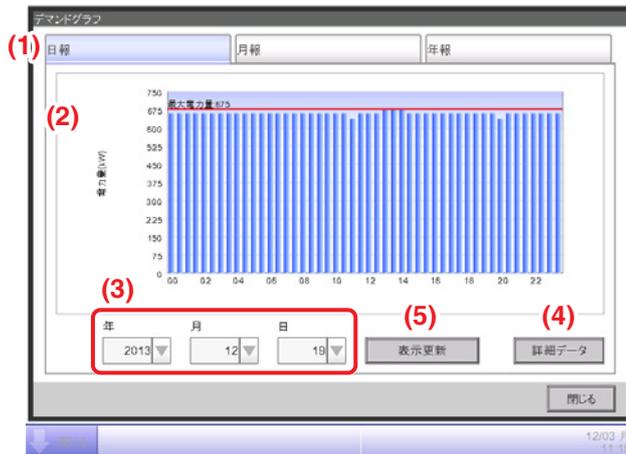
変更せずに目標電力設定画面を閉じて、デマンド制御画面に戻ります。

## 11-6 運用画面

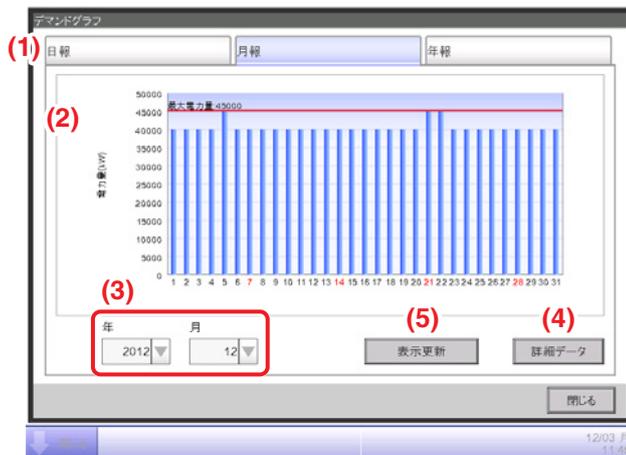
### デマンドグラフ画面

1. デマンド制御画面のデマンドグラフボタン(11-3 情報画面参照)をタッチし、デマンドグラフ画面を表示します。

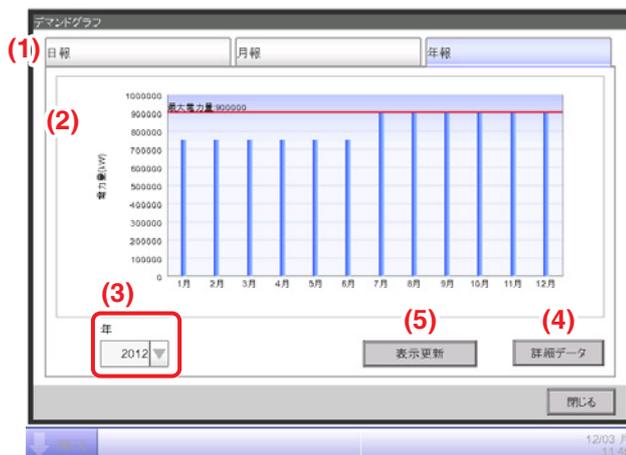
#### 日報タブ



#### 月報タブ



#### 年報タブ



---

### (1) メニュー選択タブ

年報／月報／日報の中から選択します。

初期表示は日報が選択されています。

### (2) デマンドグラフの表示エリア

時限内の最大電力の履歴がグラフ表示されます。

指定年月日の各デマンド時限のデマンドを棒グラフで表示します。

横軸は「日報：時/月報：日/年報：月」を表示します。

グラフ内の最大電力デマンドを数値/ラインで表示します。

### (3) [年月日] 設定エリア

表示されているグラフの時限の表示と変更を [年] [月] [日] コンボボックスで行います。

#### [年] コンボボックス

- 設定可能範囲は「2010～2035 (昇順)」とする。
- 初期表示設定は、当日の年が選択されます。

#### [月] コンボボックス

- 設定可能範囲は「1～12 (昇順)」とする。
- 初期表示設定は、当月の月が選択されます。

#### [日] コンボボックス

- 設定可能範囲は「1～31 (昇順)」とする。
- 初期表示設定は、当日の日が選択されます。

### (4) 詳細データボタン

詳細データ画面を表示します。

#### NOTE

詳細データ画面を表示する際は、必ず (5) 表示更新ボタンで表示更新を行ってから、

(4) 詳細データボタンをタッチしてください。

### (5) 表示更新ボタン

タッチ後、(3) に表示された時限のグラフを (2) に表示します。

(3) に表示された年月日が存在しない日の場合は、グレイアウトします。

## 詳細データ画面

1. デマンドグラフ画面の**日報/月報/年報**タブの**詳細データ**ボタン(11-6 運用画面参照)をタッチし、詳細データ画面(日報/月報/年報)を表示させます。

### 日報タブ

詳細データ(日報)

(1) 日 [2012/12/03]

時間	電力デマンド(kW)	目標値(kW)	最大予測値(kW)
00:00	120	200	130
00:30	118	200	133
01:00	121	200	140
01:30	123	200	125 (2)
02:00	121	200	123
02:30	119	200	122
03:00	117	200	122

(3) 出力 閉じる

12/04 火 07:43

### 月報タブ

詳細データ(月報)

(1) 月 [2012/12]

日	最大電力デマンド(kW)
1	120
2	118
3	171
4	123 (2)
5	121
6	119
7	117

閉じる

12/04 火 07:42

### 年報タブ

詳細データ(年報)

(1) 年 [2012]

月	最大電力デマンド(kW)
1	120
2	130
3	90
4	87 (2)
5	88
6	95
7	145

閉じる

12/04 火 07:42

**(1) 日報：年月日/月報：年月/年報：年**テキストフィールド

デマンドグラフ画面で指定した「日報：年月日/月報：年月/年報：年」を表示します。  
年月日/年月の表示方法はシステム設定の設定にあわせてます。

**(2) 詳細データ一覧リスト**

「日報：指定年月日、月報：指定年月、年報：指定月」の各デマンド時限の電力デマンドを一覧表示します。(下表参照)

詳細データが無効の場合は、「不明」と表示します。

このリストの項目は選択することができません。

**【日報】**

列番号	タイトル	説明
1	時限	選択した年月日の時限を30分単位で表示します
2	電力デマンド(kW)	各時限での最大電力デマンド値を表示します
3	目標値(kW)	各時限での目標値を表示します
4	最大予測値(kW)	各時限での最大予測値を表示します
5	最大遮断レベル	各時限での最大遮断レベルを表示します

**【月報】**

列番号	タイトル	説明
1	日	選択した年月を一日単位で表示します
2	最大電力デマンド(kW)	各日の最大電力デマンド値を表示します

**【年報】**

列番号	タイトル	説明
1	月	選択した年を一月単位で表示します
2	最大電力デマンド(kW)	各月の最大電力デマンド値を表示します

**(3) 出力ボタン(詳細データ画面：日報のみ)**

日報の詳細データをすべてCSVファイルに保存します。

出力ボタンをタッチすると、確認ダイアログが表示されます。

はいボタンをタッチした場合、USBメモリにCSV形式で保存し、確認ダイアログを閉じて、詳細データ画面(日報)に戻ります。

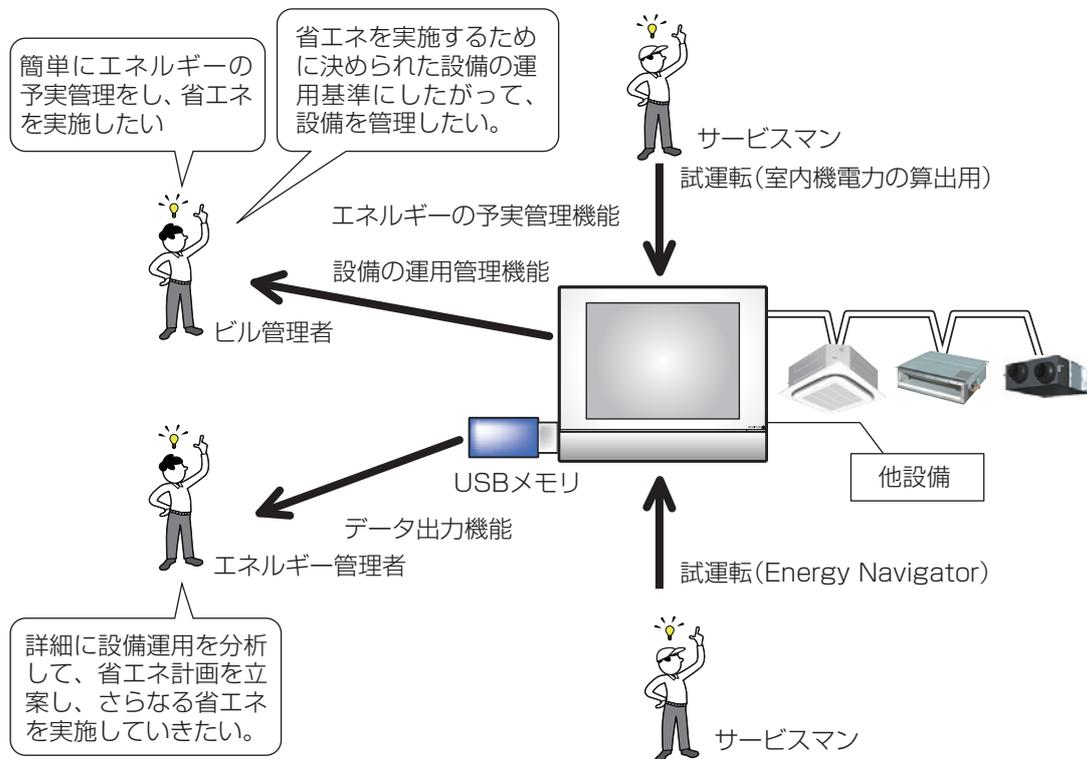
いいえボタンをタッチした場合、確認ダイアログを閉じて、詳細データ画面(日報)に戻ります。

## 12. Energy Navigator(オプション機能)

### 12-1 Energy Navigator機能

今日、各国でエネルギー削減やCO<sub>2</sub>削減のための法規制が強化されています。そのため物件で、どれだけエネルギーを消費しているのか、または法律を順守するための消費エネルギー計画に対する現状の実績を把握し、消費エネルギーを削減する必要がある場合は改善を行う必要があります。設備の管理者やエネルギーの管理者には、設備の運用状況を分析し省エネ計画を立案し、また省エネを実現するための設備の運用基準を定める、といった計画的な運用管理が求められています。

#### Energy Navigatorの概略



Energy Navigator機能はこのようなエネルギーの予実管理・設備の運用管理をサポートする機能で、次の3つの機能を備えています。

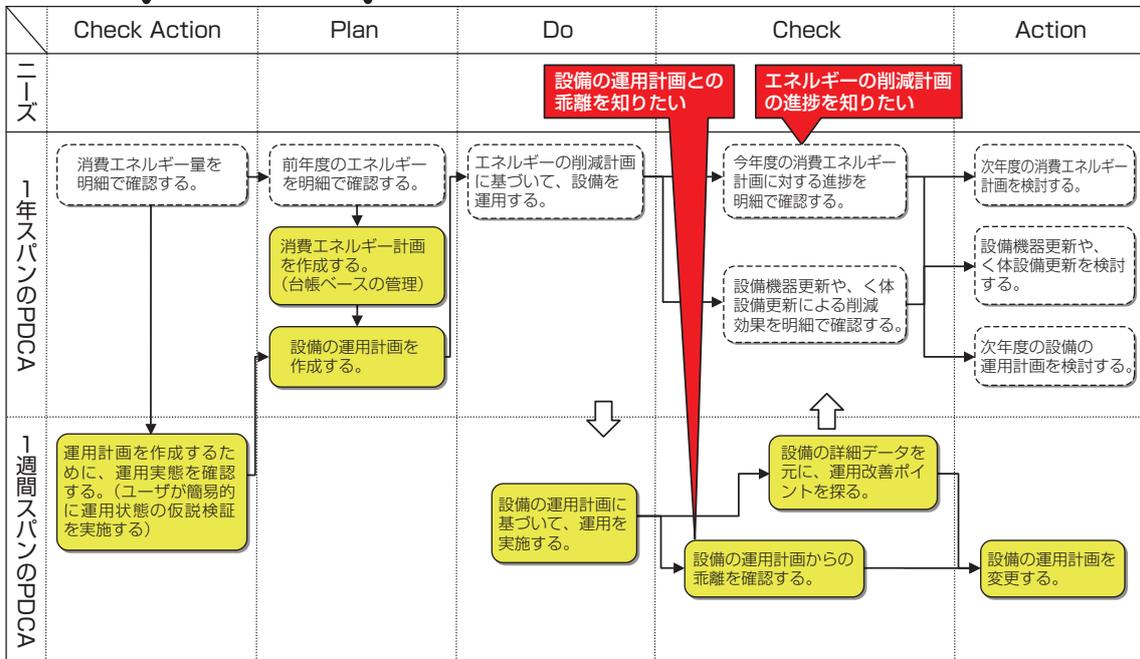
- エネルギーの予実管理機能
- 設備の運用管理機能(運用計画からの乖離をグラフなどで表示)
- データ出力機能

これらの機能と電力メーター・按分試運転を併用することで、さまざまなニーズ・利用シーンに対応することができます。本機能を利用するには、入力エネルギーの設定や入力機器の設定など試運転が必要です。詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

<ビルの空調の運用状況を簡単に把握したい場合>

ITMを導入した年度は、エネルギーの消費実績や設備の運用状態を確認し、次年度から設備の運用管理を実施したいユーザーの開始位置

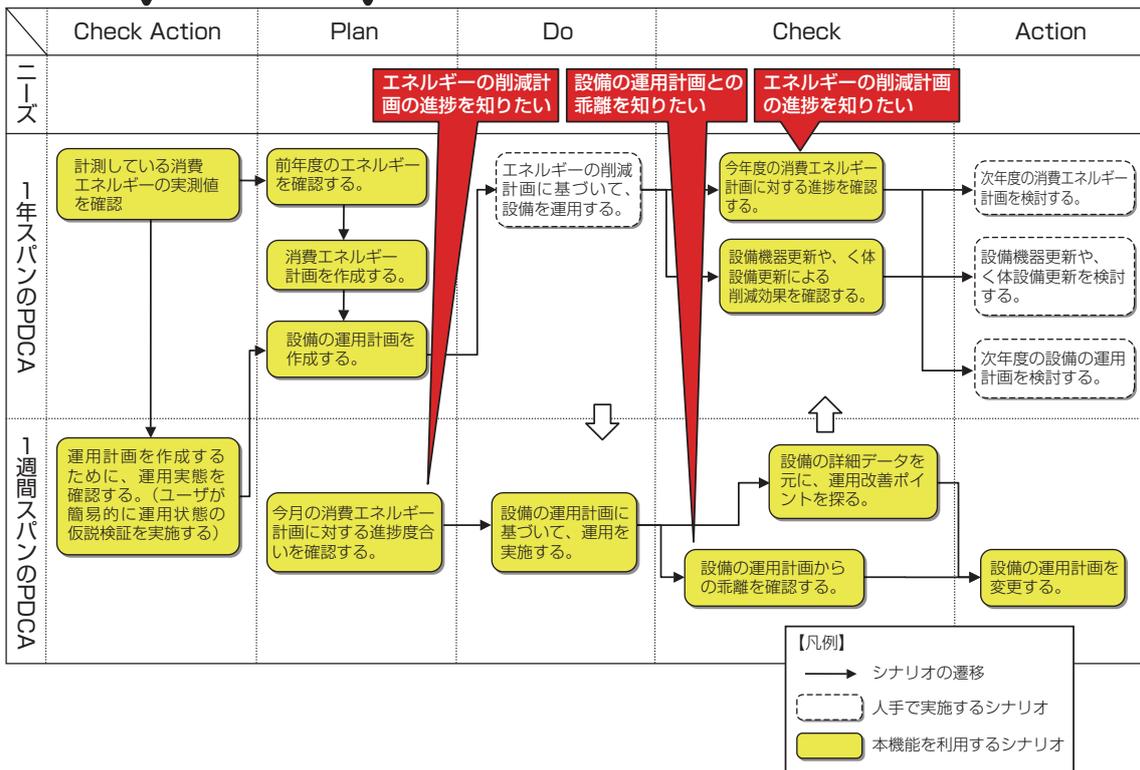
ITM導入直後から設備の運用管理を実施したいユーザーの開始位置



<ビルのエネルギーをまるごと把握したい場合>

ITMを導入した年度は、エネルギーの消費実績や設備の運用状態を確認し、次年度からエネルギーのマネジメントを実施したいユーザーの開始位置

ITM導入直後からエネルギーのマネジメントを実施したいユーザーの開始位置



---

本章では、各機能の説明と設定および使用方法を説明します。

**NOTE**

本機能を使用するためには、事前の試運転が必要になります。  
ご使用前にお買い上げの販売店にご連絡ください。

## 12-2 エネルギーの予実管理

消費エネルギー実績値から消費エネルギー計画値の達成状況、および計画達成期限時点での消費量の予測値を算出し、年/月単位でグラフ化することで予実の管理が容易に行えます。

また、前年の消費エネルギー実績値と、今年度の消費エネルギー実績値を比較することもできます。

消費エネルギー計画の有無によって利用できる機能が異なるので、下表をご覧ください。

エンジニアリング内容		エネルギー予実管理機能		
消費エネルギー計画 有無	消費エネルギー 予測(月間)機能	エネルギーの予実表示機能(12-3 エネルギー予実の確認参照)		
		年間エネルギー 予実表示機能	月間エネルギー 予実表示機能	前年度エネルギー 比較機能
有	○	○(※1)	○	○(※1)
無	×	△	△	○(※1)

エンジニアリング内容		エネルギー予実管理機能			
消費エネルギー計画 有無	消費エネルギー 計画値登録機能 (消費エネルギー 計画値の設定 参照)	消費エネルギー 実績値登録機能 (消費エネルギー 実績値の設定 参照)	グループ登録機能 (エネルギーグループ の設定参照)	エネルギー種別/エネルギー換算 係数登録機能	
				エネルギー種別 登録機能 (エネルギー種別 の設定参照)	エネルギー換算 係数登録機能
有	○	○	○(※2)	○	○
無	○	○	○(※2)	○	○

○：利用可能

△：一部の機能が利用可能

×：利用不可能

(※1) 電力メーターを設置していない場合、消費エネルギー実績値を手入力することで利用できます。

(※2) 電力メーターを設置していない場合、メーターを設置している管理点とは分けてエネルギーグループを作成してください。

エネルギーの予実管理は下記の流れで行います。

• エネルギー種別の設定



• エネルギーグループの設定



• 消費エネルギー計画値の設定



• 消費エネルギー実績値の設定

設定および使用の手順を説明します。

## エネルギー種別の設定・エネルギーグループの設定

### ■エネルギー種別の設定

予実を管理するエネルギーの種別と管理点のグループを設定します。

メニューリスト画面の**Energy Navigator**タブを表示します。(4-5 メニューリスト画面：Energy Navigatorタブ参照)

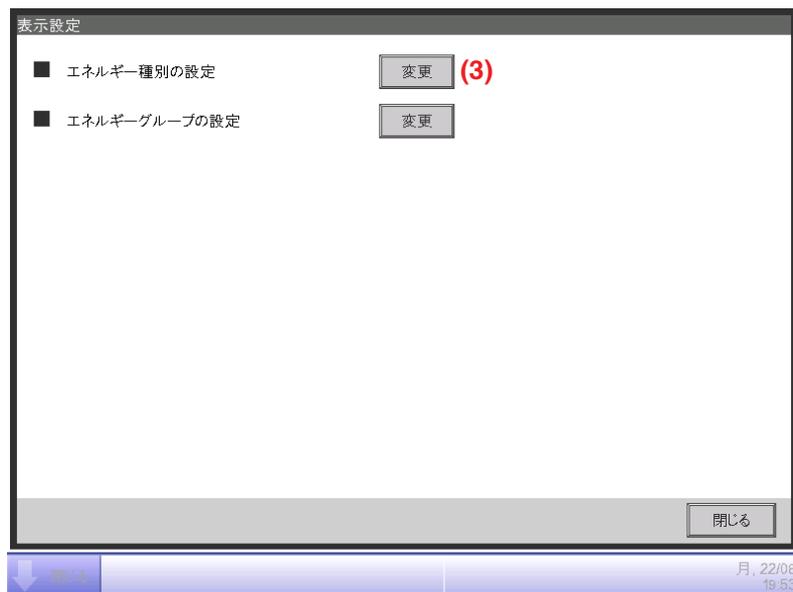


1. **(1) エネルギーの予実管理**ボタンをタッチして、エネルギー予実管理画面を表示します。

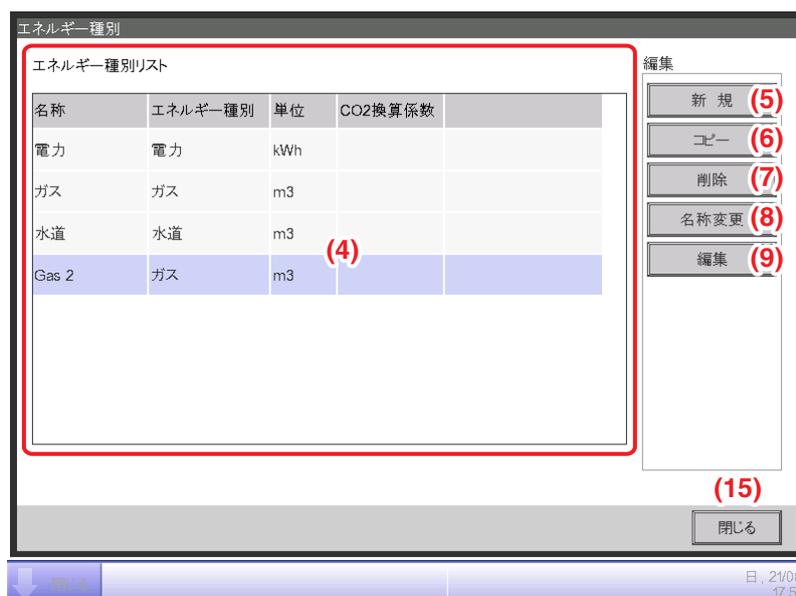
エネルギー予実管理画面は、**年間の予実管理・月間の予実管理・前年度比較**の3つのタブからなります。



2. (2) 表示設定ボタンをタッチして、表示設定画面を表示します。すべてのタブに表示設定ボタンは表示されています。



3. (3) 変更ボタンをタッチしてエネルギー種別画面を表示します。



4. エネルギー予実管理画面のグラフに使用するエネルギー種別を設定します。

(4) に登録されているエネルギー種別一覧が表示されます。

目的に応じた各ボタンをタッチします。

#### (5) 新規ボタン

エネルギー種別を新規作成します。エネルギー種別はデフォルトで登録されている電力・ガス・水道を含めて最大30個まで登録できます。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力してOKボタンをタッチすると、

(4) に新規エネルギー種別として登録されます。

エネルギー種別の名称は最大16文字まで設定できます。

#### (6) コピーボタン

選択したエネルギー種別を複製して新規エネルギー種別を作成します。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力してOKボタンをタッチすると (4) に登録されます。

エネルギー種別の名称は最大16文字まで設定できます。

#### (7) 削除ボタン

選択したエネルギー種別を削除します。

#### (8) 名称変更ボタン

選択したエネルギー種別の名称を変更できます。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力してOKボタンをタッチすると名称が変更されます。エネルギー種別の名称は最大16文字まで設定できます。

デフォルトで登録されているエネルギー種別の名称は変更できません。

#### (9) 編集ボタン

選択したエネルギー種別を編集するための、エネルギー種別／CO<sub>2</sub>換算係数編集画面が表示されます。

5. 選択したエネルギー種別の詳細を設定します。

**(10) エネルギー種別**をコンボボックスで「電力／ガス／水道」から選択します。

**(11) 単位**を **(10)** で選択したエネルギー種別から表示します。

エネルギー種別が「電力」の場合は「kWh」、「ガス・水道」の場合は「m<sup>3</sup>」固定です。

**(12) CO<sub>2</sub>換算係数**を設定します。

**変更**ボタンをタッチして数値入力ダイアログを表示させて入力します。

入力可能範囲は0.001刻みで0～9999.999です。単位は **(10)** で選択したエネルギー種別に  
したがって表示されます。

エネルギー換算種別設定画面で、新規エネルギー換算種別を登録している場合、

**(13) その他 換算係数**に新規換算係数を入力します。

**変更**ボタンをタッチして数値入力ダイアログを表示させて入力します。入力可能範囲は  
0.001刻みで0～9999.999です。単位は **(10)** で選択したエネルギー種別に  
したがって表示されます。

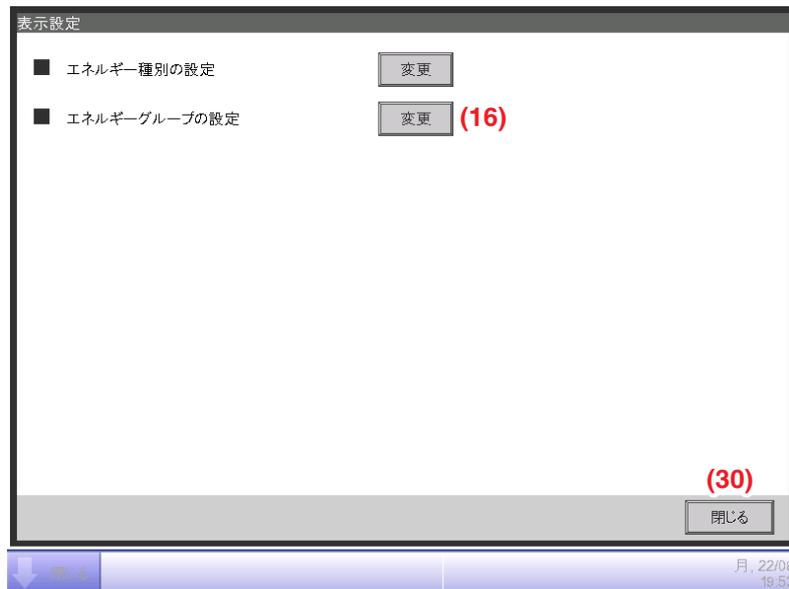
6. **(14) OK**ボタンをタッチして設定を保存し、エネルギー種別画面に戻ります。

エネルギー種別の設定を終えれば **(15) 閉じる**ボタンをタッチして表示設定画面に戻ります。

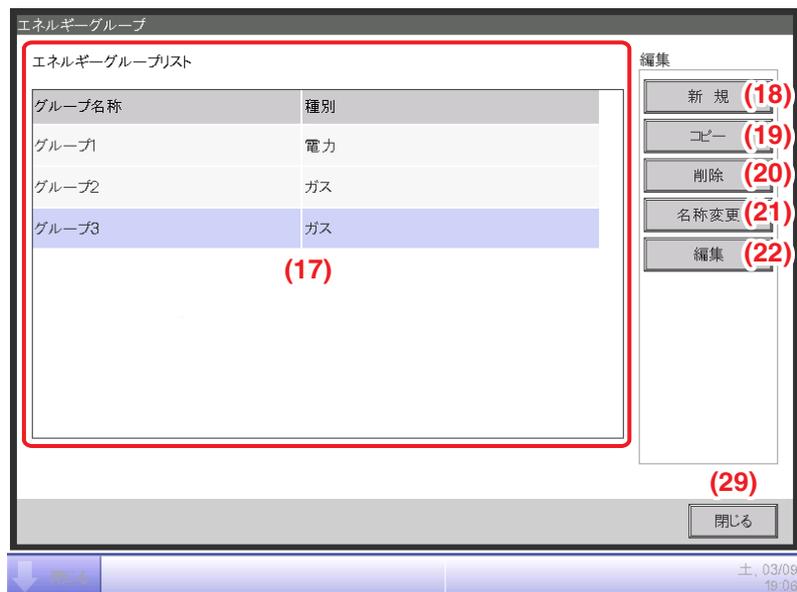
#### NOTE

新規エネルギー換算種別の登録に関してはお買い上げの販売店にお問合わせください。

## ■エネルギーグループの設定



1. エネルギーグループの設定を行うために (16) 変更ボタンをタッチしてエネルギーグループ画面を表示します。



2. エネルギーの予実管理を行うエネルギーグループを設定します。

(17) にエネルギーグループの一覧が表示されます。

目的に応じた各ボタンをタッチします。

### (18) 新規ボタン

エネルギーグループを新規作成します。エネルギーグループは最大30グループまで作成できます。名称入力ダイアログが表示されるので、入力してOKボタンをタッチすれば、(17) に新規エネルギーグループとして登録されます。

エネルギーグループの名称は最大16文字まで設定できます。

### (19) コピーボタン

選択したグループを複製して新規エネルギーグループを作成します。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力して**OK**ボタンをタッチすると **(17)** に登録されます。エネルギーグループの名称は最大16文字まで設定できます。

### (20) 削除ボタン

選択したエネルギーグループを削除します。

### (21) 名称変更ボタン

選択したエネルギーグループの名称を変更できます。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力して**OK**ボタンをタッチすると名称を変更します。エネルギーグループの名称は最大16文字まで設定できます。

### (22) 編集ボタン

選択したグループの設定を行うためのグループ画面が表示されます。



3. エネルギーの予実管理に使用するデータを、どの管理点から取得するかを設定します。

エネルギーグループにはPi管理点のみ登録が可能で、1グループあたり最大100点まで登録できます。また複数のエネルギー種別を含むPi管理点も登録できます。1つのエネルギーグループに複数のPi管理点を登録することもできます。

**(23)** に登録されている管理点の一覧が表示されます。

**(24)** に登録可能な候補管理点の一覧が表示されるので選択して、**(25)** **種別** コンボボックスでエネルギーの種別を「**電力**／**ガス**／**水道**」から選択します。エネルギー種別画面に登録されているエネルギー種別が選択できます。

**(26)** **追加** ボタンをタッチすると **(23)** に登録されます。

**(23)** から選択して **(27)** **削除** ボタンをタッチすると登録から削除されます。

---

**(28)** OKボタンをタッチして設定を保存し、エネルギーグループ画面に戻ります。

エネルギーグループの設定を終えれば **(29)** 閉じるボタンをタッチして表示設定画面に戻ります。

表示設定画面で **(30)** 閉じるボタンをタッチして画面を閉じ、エネルギー予実管理画面に戻ります。

## 消費エネルギー計画値の設定・消費エネルギー実績値の設定

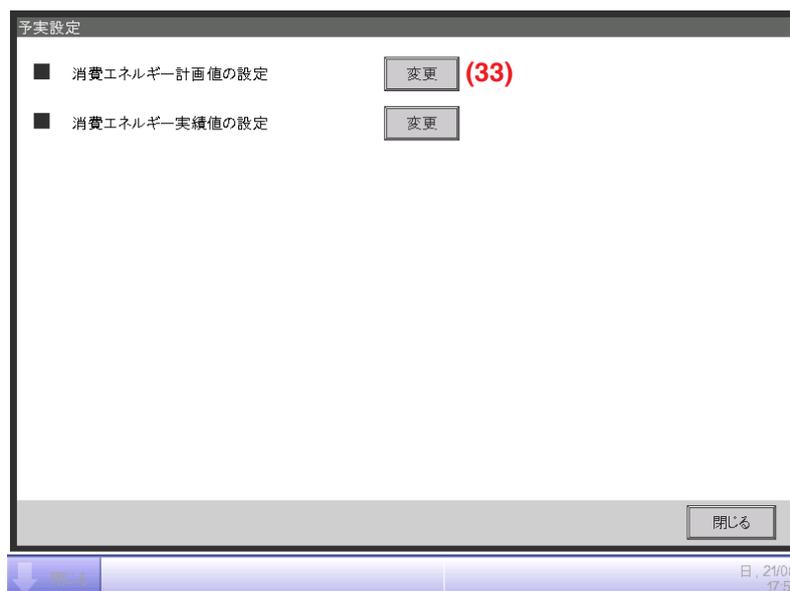
### ■消費エネルギー計画値の設定

消費エネルギーの計画(計画値)と、実際に消費したエネルギーの値(実績値)を設定します。



1. エネルギー予実管理画面の各タブにある **(31)** 表示対象コンボボックスで、登録したエネルギーグループを選択できます。

消費エネルギー計画値の設定および消費エネルギー実績値を登録するエネルギーグループを選択し、**(32)** 予実設定ボタンをタッチすると予実設定画面が表示されます。



2. 消費エネルギー計画値の設定を行うために、**(33)** 変更ボタンをタッチして消費エネルギー計画設定画面を表示します。

3. エネルギー予実管理画面で選択したエネルギーグループの消費エネルギー計画値を設定します。

**(34) エネルギー種別**コンボボックスで、消費エネルギー計画値を設定するエネルギー種別を、「電力／ガス／水道」から選択します。選択しているエネルギーグループに含まれるエネルギー種別が選択できます。

**(35) 年度選択**タブで今年度と前年度を切り換えて、それぞれ目標設定します。今年度とは現在を含む集計開始月から終了月までで、前年度はその1年前です。

**(36)** で目標設定の単位を選択します。**(a) 年単位で設定**または**(b) 月単位で設定**を選択します。

- **(a)** 年単位で目標設定する場合

**(37) 変更**ボタンをタッチして、数値入力ダイアログを表示させ、対前年の削減率を入力します。入力後、**(38)** に削減率が表示されます。

**(38) 削減率(前年比)**の値に応じて、**(39)** に**年間の消費エネルギー計画値**が表示されます。

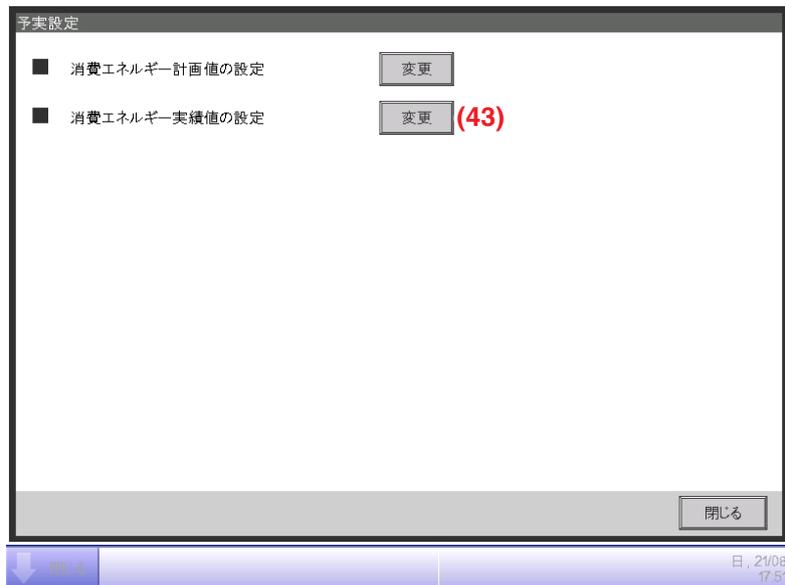
- **(b)** 月単位で目標設定する場合

**(40)** に集計開始月から12ヵ月分の一覧が表示されます。

それぞれ選択し**(41) 変更**ボタンをタッチして数値入力ダイアログを表示させ、目標値を入力します。入力可能範囲は、刻み幅0.1で0～2000000です。

4. 設定が終われば**(42) OK**ボタンをタッチし、設定を保存し予実設定画面に戻ります。

## ■消費エネルギー実績値の設定



1. 消費エネルギー実績値の設定を行うために、(43) 変更ボタンをタッチして消費エネルギー実績設定画面を表示します。



2. エネルギー予実管理画面で選択したエネルギーグループの消費エネルギー実績値を登録します。  
(44) エネルギー種別コンボボックスで、消費エネルギー実績値を入力するエネルギー種別を「電力／ガス／水道」から選択します。  
(45) 年度選択タブで、今年度と前年度を切り換えて、それぞれ実績値を入力します。  
今年度とは現在を含む集計開始月から終了月までで、前年度はその1年前です。  
(46) 消費エネルギー実績値リストに集計開始月から12カ月分の一覧が表示されるので選択します。  
(47) 変更ボタンをタッチして数値入力ダイアログを表示させ、実績値を入力します。

---

Pi管理点によって計測した実績値は、変更することができません。

入力可能範囲は、刻み幅0.1で0~20000000です。

**(48)** に消費エネルギーに対するCO<sub>2</sub>換算係数が表示されます。単位は選択しているエネルギー種別に応じたものが表示されます。**変更**ボタンをタッチして、数値入力ダイアログを表示させ換算係数を入力します。

入力可能範囲は0.001刻みで0~9999.999です。

3. エネルギー換算種別設定画面で新規エネルギー換算種別を登録した場合、**(49) その他 換算係数**が表示され、エネルギー種別に応じた単位(【新規換算種別で登録した単位】/kWh)を表示します。必要に応じて換算係数を入力します。

入力可能範囲は0.001刻みで0~9999.999です。

4. 設定が終われば **(50) OK**ボタンをタッチし、設定を保存し予実設定画面に戻ります。

## 12-3 エネルギー予実の確認

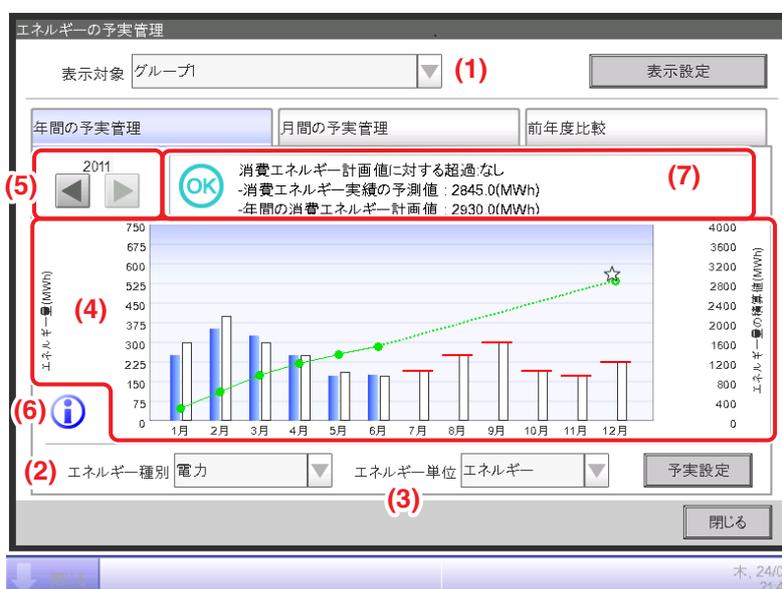
設定した消費エネルギーの計画値と、実際に消費したエネルギーの実績値から計画の達成状況を判断し、グラフに表示します。

また、現在の実績値から算出することで、計画達成期限時点での消費量の予測値および計画を達成するための目標値を表示します。

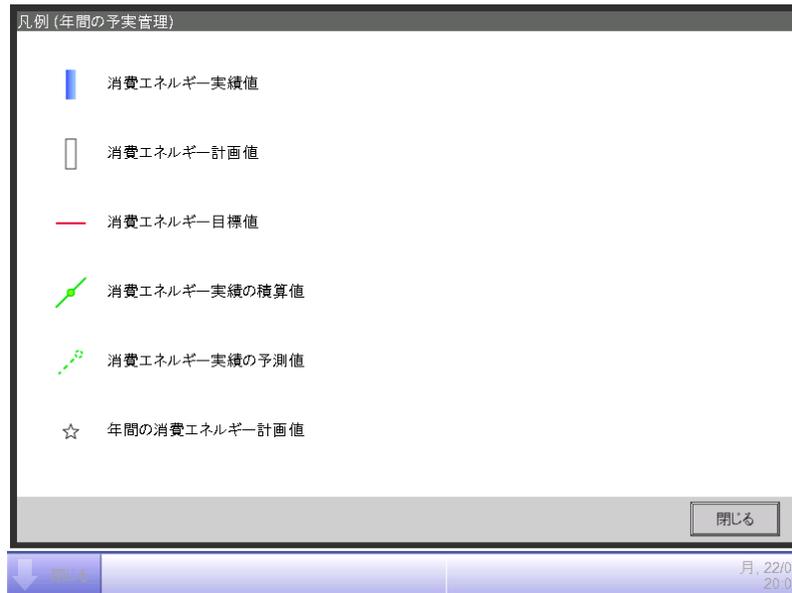
エネルギー予実管理画面は、**年間の予実管理**、**月間の予実管理**、**前年度比較**の3つのタブからなります。それぞれのタブで予実の確認をします。

メニューリスト画面の**Energy Navigator**タブで**エネルギーの予実管理**ボタンをタッチします。  
(4-5 メニューリスト画面：Energy Navigatorタブ参照)

### 年間の予実管理タブ(エネルギー予実管理画面)



1. **(1) 表示対象**コンボボックスでエネルギーグループを選択すると、年間の予実管理状況が表示されます。
2. **(2) エネルギー種別**コンボボックスでグラフに表示するエネルギーの種別を設定します。「電力/ガス/水道」から選択します。  
エネルギー単位が「CO<sub>2</sub>」または「新規換算種別」の場合だけ、すべてのエネルギーのCO<sub>2</sub>排出量を合算した「合計」が選択できるようになります。
3. **(3) エネルギー単位**コンボボックスでグラフに表示するエネルギー単位を「エネルギー/CO<sub>2</sub>/新規換算種別」から選択すると、**(4)**にグラフが表示されます。  
グラフの横軸には集計開始月から1年間の各月、左の縦軸には各月の消費エネルギー量、右の縦軸には各月のエネルギー積算消費量を示しています。  
**(5)**で表示する年度を切り換えます。  
**(6) インフォメーション**ボタンをタッチするとグラフのそれぞれの凡例が表示されます。



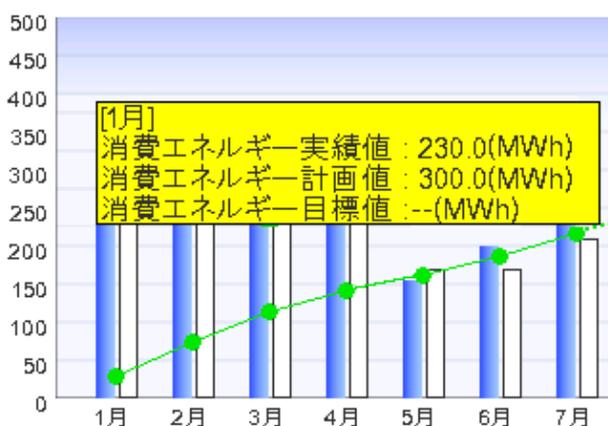
4. (7) には消費エネルギー計画値の達成状況に応じて、アイコンと共にメッセージが表示されます。またグラフの各月をタッチすると、その月の消費エネルギー実績値・計画値・目標値がツールチップで表示されます。

表示する画面が昨年の場合

分類		表示内容	
		アイコン	メッセージ
消費エネルギー実績値と消費エネルギー計画値が共に存在する場合	消費エネルギーの積算－消費エネルギー計画値の積算 $>0$		消費エネルギー計画値に対する超過: $\dots\%$ ( $\dots$ kWh) -消費エネルギー実績の積算値 : $\dots$ kWh -年間の消費エネルギー計画値 : $\dots$ kWh
	消費エネルギーの積算－消費エネルギー計画値の積算 $\leq 0$		消費エネルギー計画値に対する超過: なし -消費エネルギー実績の積算値 : $\dots$ kWh -年間の消費エネルギー計画値 : $\dots$ kWh
消費エネルギー実績値のみが存在する場合 (消費エネルギー計画値を設定していない場合)		—	消費エネルギー積算値 : $\dots$ kWh
消費エネルギー実績値、消費エネルギー計画値が共に存在しない場合		—	(メッセージを表示しない)

表示する画面が今年の場合

分類		表示内容	
		アイコン	メッセージ
消費エネルギー予測値と消費エネルギー計画値が共に存在する場合	消費エネルギー実績の予測値－消費エネルギー計画値の積算 >0		消費エネルギー計画値に対する超過：・・・% (・・・kWh) －消費エネルギー実績の予測値：・・・kWh －年間の消費エネルギー計画値：・・・kWh
	消費エネルギー実績の予測値－消費エネルギー計画値の積算 ≤0		消費エネルギー計画値に対する超過：なし －消費エネルギー実績の予測値：・・・kWh －年間の消費エネルギー計画値：・・・kWh
消費エネルギー予測値のみが存在する場合 (消費エネルギー計画値を設定していない場合)		—	消費エネルギー実績の予測値：・・・kWh
消費エネルギー予測値、消費エネルギー計画値が共に存在しない場合		—	(メッセージを表示しない)



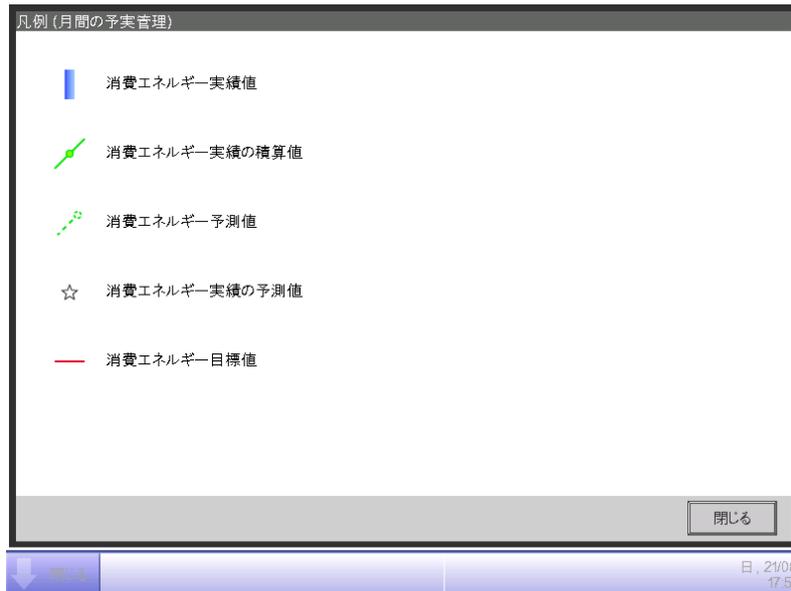
NOTE

実績値・計画値のデータが不足している場合は、項目が表示できないことがあります。

## 月間の予実管理タブ(エネルギー予実管理画面)



1. **(8) 表示対象**コンボボックスでエネルギーグループを選択すると、月間の予実管理状況が表示されます。
2. **(9) エネルギー種別**コンボボックスでグラフに表示するエネルギーの種別を選択します。「電力/ガス/水道」から選択します。  
エネルギー単位が「CO<sub>2</sub>」または「新規換算種別」の場合だけ、すべてのエネルギーのCO<sub>2</sub>排出量を合算した「合計」が選択できるようになります。
3. **(10) エネルギー単位**コンボボックスでグラフに表示するエネルギーの単位を「エネルギー/CO<sub>2</sub>/新規換算種別」から選択すると、**(11)**にグラフが表示されます。  
グラフの横軸には集計開始日から終了日の1カ月間の各日、左の縦軸には各日の消費エネルギー量、右の縦軸には各日のエネルギー積算消費量を示しています。  
**(12)**で表示する月を1カ月前または1カ月に切り換えます。  
**(13) インフォメーション**ボタンをタッチするとグラフのそれぞれの凡例が表示されます。

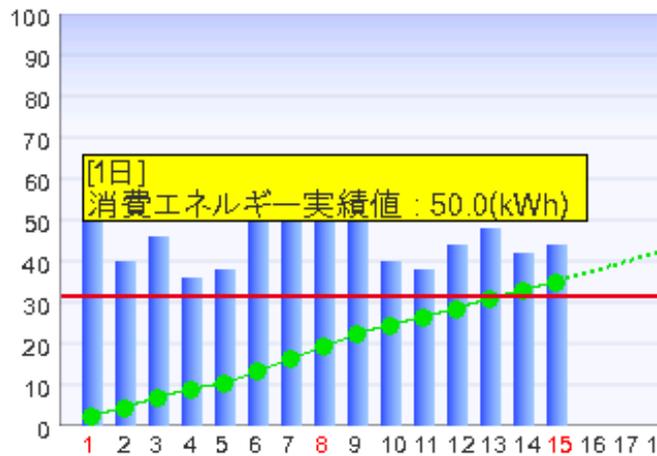


4. (14) には消費エネルギー計画値の達成状況に応じて、アイコンと共にメッセージが表示されます。  
 また各日をタッチすると、その日の消費エネルギー実績値がツールチップで表示されます。  
 表示する画面が現在の月の場合

達成状況	アイコン	達成状況のメッセージ
余裕		このままで推移すると、目標を達成することができます。 -消費エネルギー実績の予測値 : . . . . . kWh -消費エネルギー目標値 : . . . . . kWh
注意		消費エネルギー目標値に対する超過 : . . % ( . . . . . kWh) -消費エネルギー実績の予測値 : . . . . . kWh -消費エネルギー目標値 : . . . . . kWh
危険		既に消費エネルギー目標値を超えています。 -消費エネルギー実績の予測値 : . . . . . kWh -消費エネルギー目標値 : . . . . . kWh

表示する画面が過去の月の場合

分類	分類表示内容	メッセージ
	アイコン	
消費エネルギーの積算 消費エネルギー計画値 > 0		消費エネルギー目標値に対する超過 : . . % ( . . . . . kWh) -消費エネルギー積算値 : . . . . . kWh -消費エネルギー目標値 : . . . . . kWh
消費エネルギーの積算 消費エネルギー計画値 ≤ 0		消費エネルギー目標値を達成しました。 -消費エネルギー積算値 : . . . . . kWh -消費エネルギー目標値 : . . . . . kWh



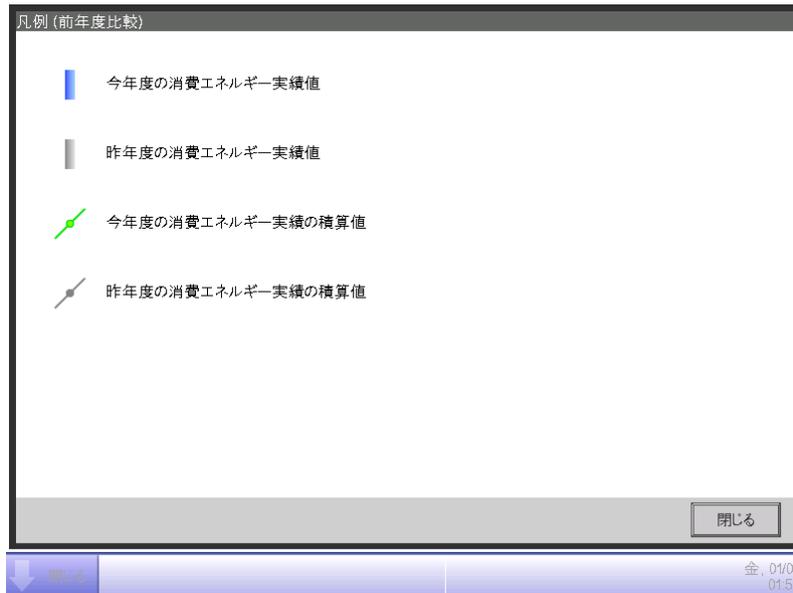
**NOTE**

実績値・計画値のデータが不足している場合は、項目が表示できないことがあります。

## 前年度比較タブ(エネルギー予実管理画面)

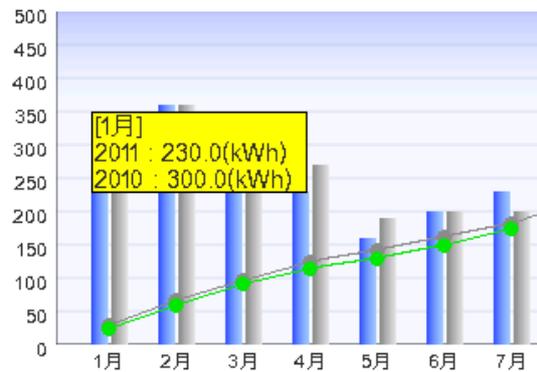


1. **(15) 表示対象**コンボボックスでエネルギーグループを選択すると、現在年と1年前の消費エネルギーが月ごとに表示されます。
2. **(16) エネルギー種別**コンボボックスでグラフに表示するエネルギーの種別を選択します。「電力/ガス/水道」から選択します。  
エネルギー単位が「CO<sub>2</sub>」または「新規換算種別」の場合だけ、すべてのエネルギーのCO<sub>2</sub>排出量を合算した「合計」が選択できるようになります。
3. **(17) エネルギー単位**コンボボックスでグラフに表示するエネルギーの単位を「エネルギー/CO<sub>2</sub>/新規換算種別」から選択すると、**(18)**にグラフが表示されます。  
グラフの横軸には集計開始月から1年間の各月、左の縦軸にはエネルギー予実管理(年間の予実管理タブ)で選択されているエネルギー種別に応じた各月の消費エネルギー量、右の縦軸には同じく年間タブに応じた各月のエネルギー積算消費量を示しています。  
このグラフを使用することで、昨年度に対して、今年度の省エネ運用の効果を容易に把握することができます。  
**(19) インフォメーション**ボタンをタッチするとグラフのそれぞれの凡例が表示されます。



4. (20) には消費エネルギー計画値の達成状況に応じてメッセージが表示されます。  
 また各月をタッチすると、その月の消費エネルギー実績値と前年の実績値がツールチップで表示されます。

メッセージ	
消費エネルギー実績の積算値	
- . . . . .	: . . . . . kWh
- . . . . .	: . . . . . kWh



#### NOTE

実績値・計画値のデータが不足している場合は、項目が表示できないことがあります。

## 12-4 設備の運用管理機能(運用計画からの乖離)

省エネを前提とした運用ルールを定め、そのルールから逸脱している管理点を抽出することができます。

設備の停止を想定している時間帯に稼働していた空調機や、空調機の運用計画として取り決めている設定温度以外の設定温度で運用している空調機を抽出し、グラフ/リスト化する機能です。

按分試運転実施の有無、運用ルール作成の有無によって利用できる機能が異なるので、下表をご覧ください。

エンジニアリング内容		設備の運用管理		
按分 試運転有無	運用ルール 作成有無	運用ルール作成機能	抽出期間/対象設定機能	
			抽出期間設定機能	抽出対象設定機能
有	有	○	○	○
有	無	○	○	○
無	有	○	○	○
無	無	○	○	○

エンジニアリング内容		設備の運用管理	
按分 試運転有無	運用ルール 作成有無	消し忘れ抽出機能	
		消し忘れ抽出表示作成機能	詳細表示機能
有	有	○	○
有	無	△ (デフォルトルールでの抽出が可能)	○
無	有	△ (CT値を元に、消し忘れ時に消費した電力量を表示する。)※1	○
無	無	△ (CT値を元に、消し忘れ時に消費した電力量を表示する。)※1 (デフォルトルールでの抽出が可能)	○

エンジニアリング内容		設備の運用管理	
按分 試運転有無	運用ルール 作成有無	設定温度乖離抽出機能	
		設定温度乖離表示機能	詳細表示機能
有	有	○	○
有	無	△ (デフォルトルールでの抽出が可能)	○
無	有	△ (CT値を元に、設定温度乖離時に消費した電力量を表示する。)※1	○
無	無	△ (CT値を元に、設定温度乖離時に消費した電力量を表示する。)※1 (デフォルトルールでの抽出が可能)	○

※1 CT値とは室外機の電流から算出した電力値です。  
詳しくはお買い上げの販売店にお問合わせください。

○：利用可能  
△：一部の機能が利用可能  
×：利用不可能

デフォルトで次の2つの運用ルールをあらかじめ用意してあります。内容の変更/削除も可能ですので、用途に応じてご利用ください。

- 消し忘れ

曜日：月～日曜日、特別日設定なし/利用可能時間帯：9:00～21:00(12h表示の場合はAM9:00～PM9:00)/設定温度：設定なし

- 設定温度乖離

曜日：月～日曜日、特別日設定なし/利用可能時間帯：9:00～21:00(12h表示の場合はAM9:00～PM9:00)/設定温度：冷房24℃・暖房24℃

設定および使用の手順を説明します。

## 設備運用ルールの設定

設備の運用ルールを設定します。

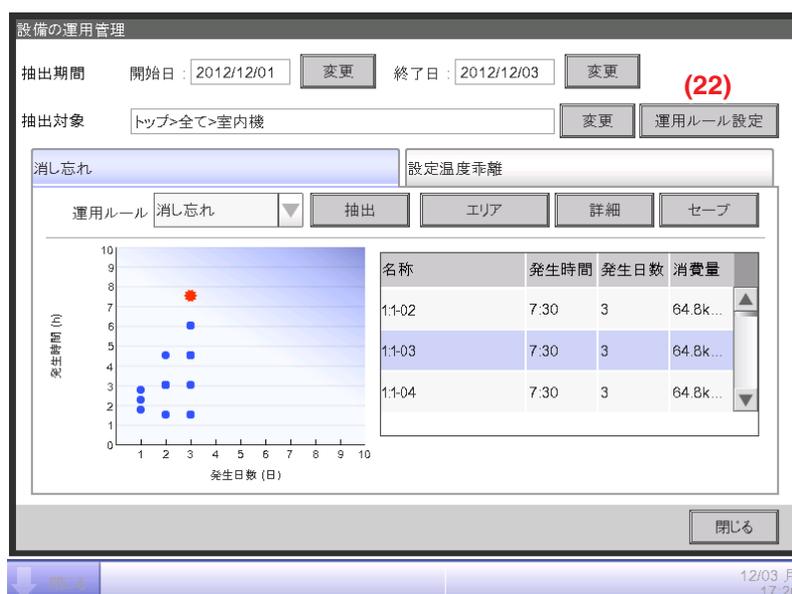
メニューリスト画面の**Energy Navigator**タブを表示します。

(4-5 メニューリスト画面：Energy Navigatorタブ参照)

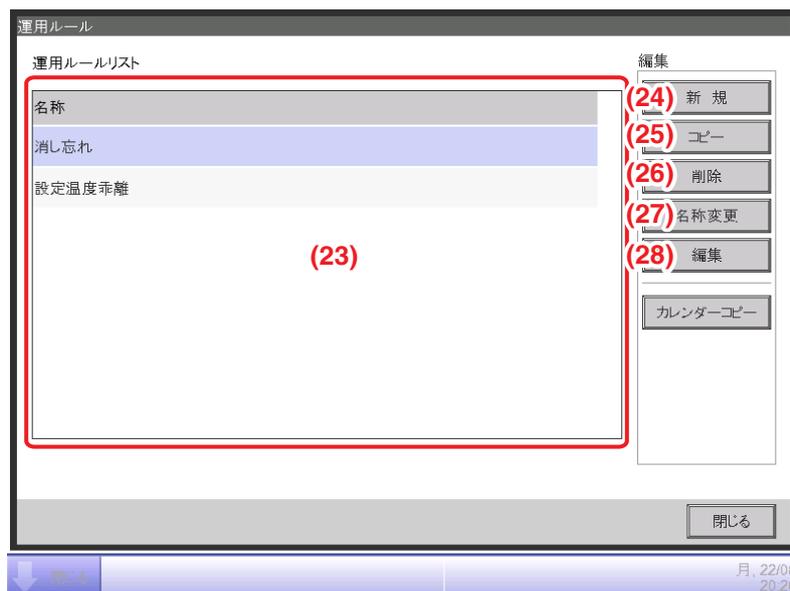


1. **(21) 設備の運用管理**ボタンをタッチして、設備の運用管理画面を表示します。

設備の運用管理画面は、**消し忘れタブ**と**設定温度乖離タブ**との2つのタブからなります。



2. **(22) 運用ルール設定**ボタンをタッチして、運用ルール画面を表示します。どちらのタブにも運用ルール設定ボタンは表示されています。



3. **(23) 運用ルールリスト**に登録されている運用ルールの一覧が表示されるので、目的に応じた各ボタンをタッチします。

#### **(24) 新規ボタン**

運用ルールを新規作成します。運用ルールはデフォルトで登録されているルールを含めて最大10個まで作成できます。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力して**OK**ボタンをタッチすれば、**(23)**に登録されます。運用ルールの名称は最大16文字まで設定できます。

#### **(25) コピーボタン**

選択したルールを複製して新規運用ルールを作成します。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力して**OK**ボタンをタッチすれば**(23)**に登録されます。運用ルールの名称は最大16文字まで設定できます。

#### **(26) 削除ボタン**

選択した運用ルールを削除します。

#### **(27) 名称変更ボタン**

選択した運用ルールの名称を変更できます。

名称入力ダイアログが表示されるので、入力して**OK**ボタンをタッチすれば名称が変更されます。運用ルールの名称は最大16文字まで設定できます。

#### **(28) 編集ボタン**

選択した運用ルールの設定を行うための運用ルール編集画面が表示されます。

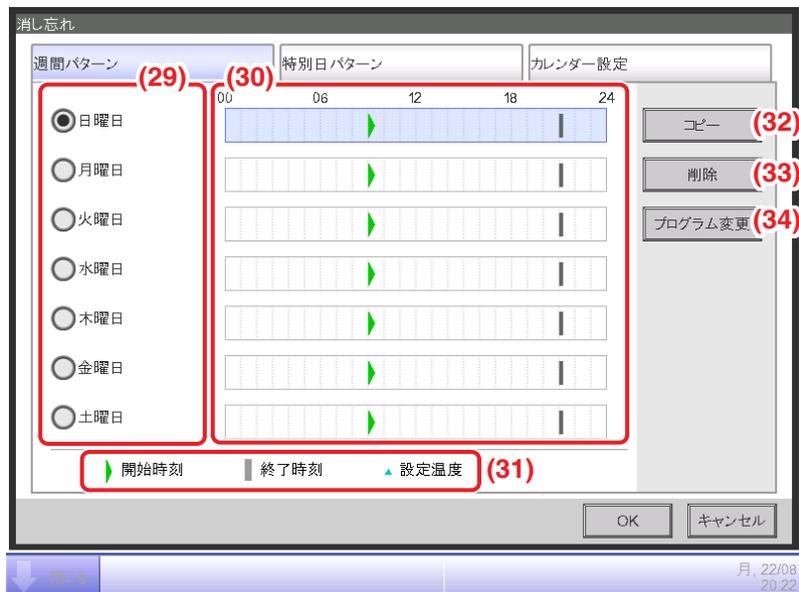
運用ルール編集画面には**週間パターン**／**特別日パターン**／**カレンダー設定**の3つのタブがあります。切り換えてそれぞれ設定します。

### NOTE

運用ルールを変更した場合は、それまでの抽出データは削除されます。

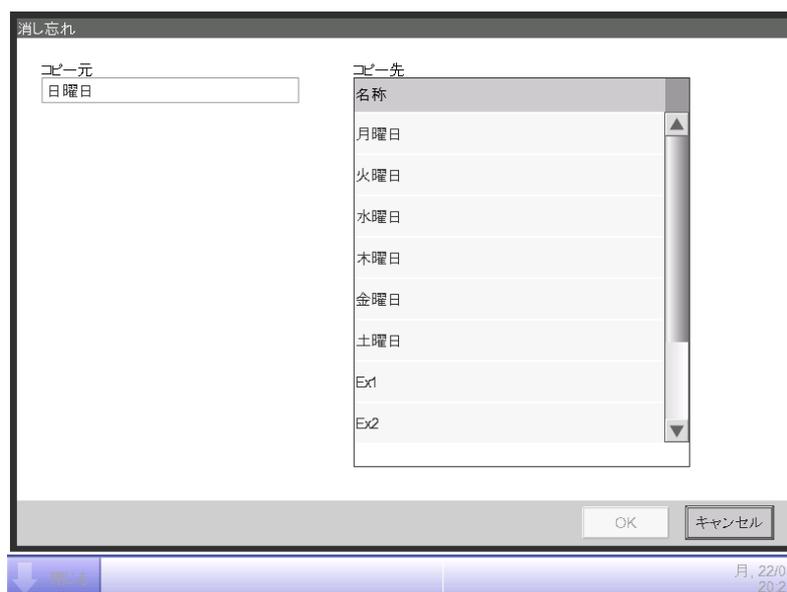
各タブでの設定手順を説明します。

## 週間パターンタブ(運用ルール編集画面)

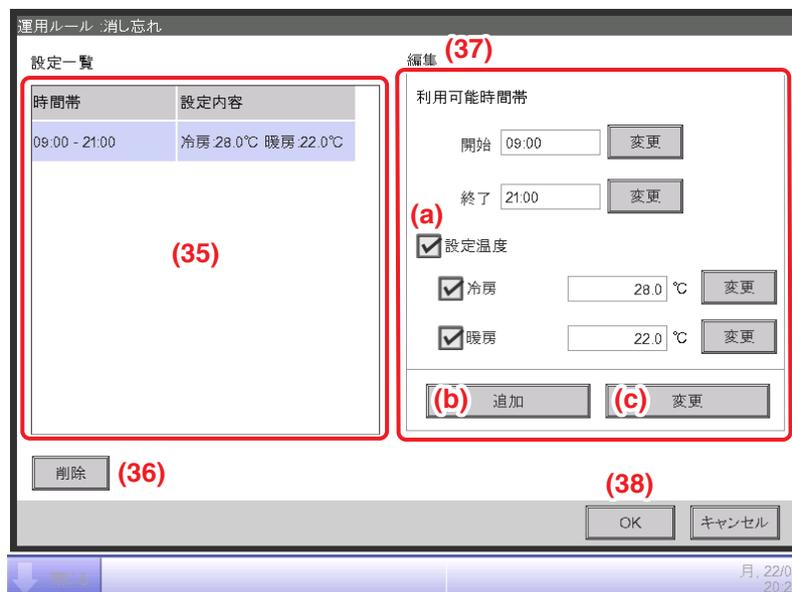


1 週間の運用ルールを設定します。ルールを設定したい曜日すべてに入力してください。

1. (29) で編集する曜日を選択します。  
(30) に運用ルールの内容が表示されます。(31) に凡例が表示されています。
2. (32) コピーボタンをタッチすると、現在選択されている曜日の運用ルールをコピーし、コピー先選択画面で選んだ曜日に貼り付けます。コピー先の運用ルールは上書きされます。

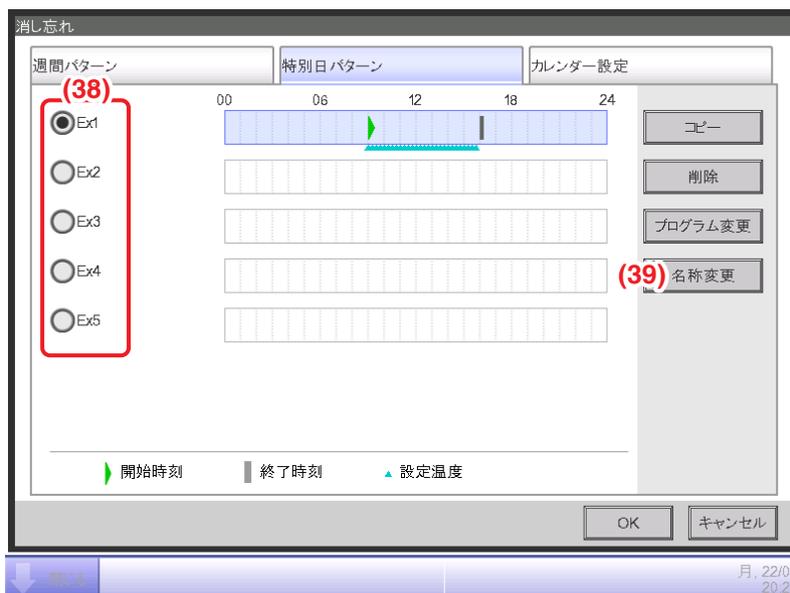


3. **(33)** 削除ボタンをタッチすると、選択した曜日の運用ルールを削除します。
4. **(34)** プログラム変更ボタンをタッチすると、選択した曜日の運用ルールを編集するために、運用ルール画面を開きます。



5. **(35)** 設定一覧に登録されている運用ルールの一覧が表示されます。  
利用可能時間帯および設定温度の設定内容を表示しています。
  - 一覧から選択して **(36)** 削除ボタンをタッチすると運用ルールを削除します。
  - **(37)** 編集で利用可能時間帯と設定温度を設定します。  
利用可能時間帯には開始時間と終了時間を入力します。変更ボタンをタッチし、時刻入力ダイアログを表示させ時刻を入力します。  
00:00~24:00(12h表示の場合はAM00:00~PM12:00)の範囲内で15分刻みで設定できます。15分刻み以外の数値を入力した場合、ダイアログが表示され15分刻みに切り捨てられます。また、日をまたぐ設定はできません。  
利用可能時間に設定温度を適用する場合 **(a)** にチェックを入れます。  
冷房・暖房それぞれに温度は設定できます。チェックボックスにチェックを入れ、変更ボタンをタッチして、数値入力ダイアログを表示させ温度を入力します。  
入力可能範囲は刻み幅0.1℃で-30~70℃です。
  - **(b)** 追加ボタンをタッチすると **(35)** に新しい設定を追加します。  
1つの運用ルールに最大10個まで設定できます。
  - **(35)** から既存の運用ルールを選択して、**(37)** に新しい設定を入力し、**(c)** 変更ボタンをタッチすると設定内容を変更できます。
6. **(38)** OKボタンをタッチして運用ルール編集画面に戻ります。

## 特別日パターンタブ(運用ルール編集画面)



1 週間の運用ルールとは別に、特別日の運用ルールを設定します。特別日のパターンは5種類まで設定できます。

1. (38) で編集する特別日を選択します。

以降の手順と確認方法は週間パターンと同じです。同様の手順で運用ルールを設定します。

2. (39) 名称変更ボタンをタッチすると、名称入力ダイアログが表示され選択した特別日の名称を変更できます。

## カレンダー設定タブ(運用ルール編集画面)



特別日パターンタブで作成した特別日パターンを、カレンダーに登録します。最大40個まで設定できます。

1. **(40)** にすでに登録されている特別日パターンの一覧が表示されます。
2. **(41)** パターンコンボボックスで登録したい特別日パターンを選択し、**(42)** で登録する日を設定します。月日または月/週曜日を選択して設定します。  
月日と月/週曜日で重複して指定した場合は、月/週曜日指定を優先します。  
それぞれの入力可能範囲は次のとおりです。  
月：1月/2月/3月/4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月/毎月  
日：1～31ただし実在しない日は選択できません。  
週：第1/第2/第3/第4/最終  
曜日：日曜日/月曜日/火曜日/水曜日/木曜日/金曜日/土曜日  
**(43)** 追加ボタンをタッチするとカレンダーに特別日パターンが登録されます。
3. 一覧の順番を変更したい場合は **(44)** ↑ ↓ ボタンで上下に移動させます。
4. 一覧から選択して **(45)** 削除ボタンをタッチすると、設定を削除できます。
5. **(46)** プレビューボタンをタッチすると、カレンダー形式で現在日から1年間の登録状況が確認できます。

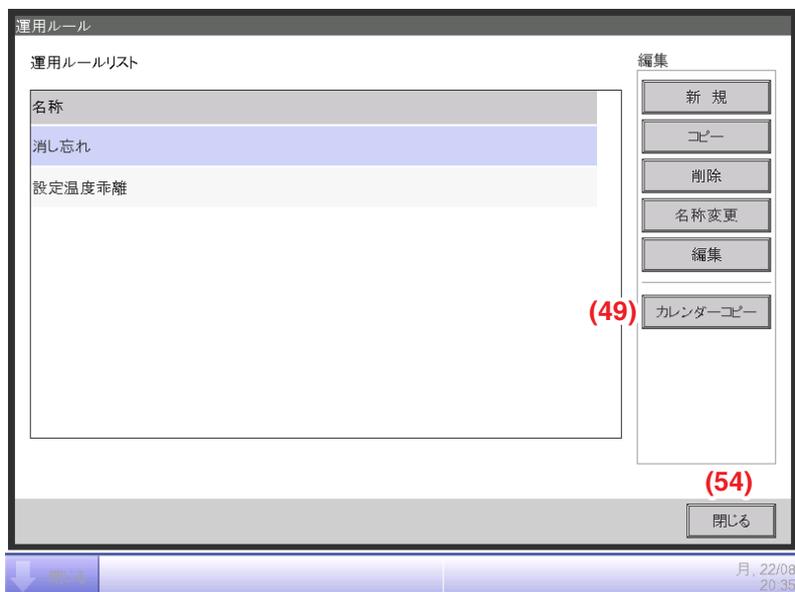


6. **(47)** 閉じるボタンをタッチして、カレンダープレビュー画面を閉じます。  
運用ルール編集画面で **(48)** OKボタンをタッチして運用ルール画面に戻ります。

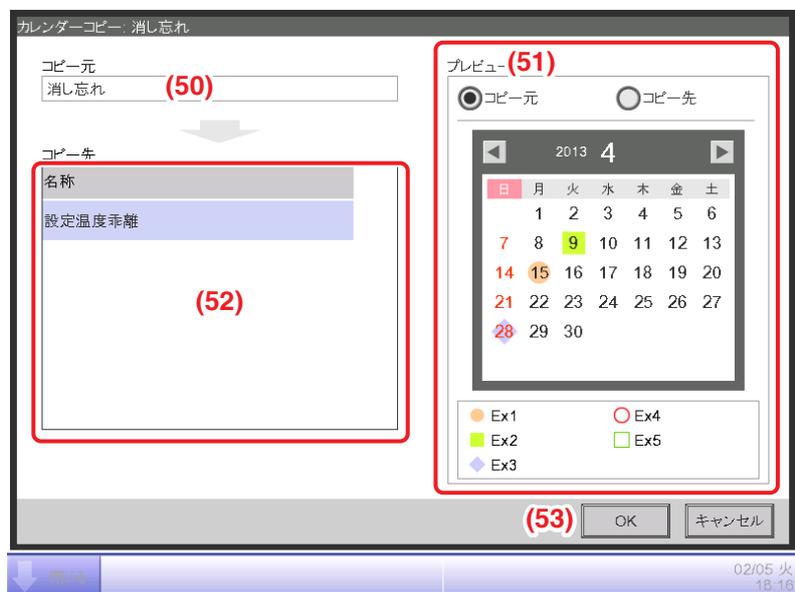
## 特別日カレンダーのコピー

特別日の設定を行ったカレンダーを、運用ルール間でコピーできます。

1. 運用ルール画面を表示させます。



2. コピーしたいカレンダーが登録されている運用ルールを選択し、(49) カレンダーコピーボタンをタッチするとカレンダーコピー画面が表示されます。



3. (50) コピー元
4. (51) プレビューでコピー元、コピー先それぞれの運用ルールのカレンダーがプレビューできます。ボタンを切り換えて確認してください。
5. (52) でコピー先の運用ルールを選択し、(53) OKボタンをタッチして貼り付けます。このとき、コピー先の運用ルールのカレンダー設定は上書きされます。

---

6. 運用ルール画面での設定が終われば **(54)** **閉じる** ボタンをタッチして設備の運用管理画面に戻ります。

## 12-5 設備の運用状況の確認

設定した運用ルールから逸脱した運用が行われている室内機の管理点を抽出し画面に表示します。またUSBメモリに保存することも可能です。

抽出期間・抽出対象・適用する運用ルールを選択して抽出を実行すると、グラフとリストに表示されます。

抽出対象はエリア単位で指定し、そのエリアに含まれる子エリアと管理点が対象になります。抽出結果の表示はエリア抽出モードと管理点抽出モードの2つがあります。

エリア抽出モードの場合、エリア単位で抽出し、選択したエリアに含まれる子エリアのみを表示します。

管理点抽出モードの場合、選択したエリアに含まれる全管理点(子エリアの管理点も含む)が表示されます。

抽出内容には、停止時間帯に運転をしていた管理点を抽出する**消し忘れ**抽出タブと、設定温度と乖離していた室内機を抽出する**設定温度乖離**タブの2つのタブがあります。

### NOTE

消し忘れ発生時間および設定温度乖離発生時間は1時限単位で抽出が行われます。

※ 1時限…1時間を4等分した15分 例) 

- 消し忘れ発生時間  
時限中全時間運転しており、運用ルールで停止中と設定されている場合。
- 設定温度乖離発生時間  
時限中全時間運転しており、平均設定温度(実績)と設定温度(運用ルール)との乖離が増エネルギー側になっている場合。  
ただし、時限中に複数の運転モードで運転された場合は抽出対象外となります。
- 抽出結果で表示される消費エネルギー量は目安であり、実際と異なる場合があります。

メニューリスト画面の**Energy Navigator**タブで、**設備の運用管理**ボタンをタッチして設備の運用管理画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：Energy Navigatorタブ参照)

## 消し忘れタブ (設備の運用管理画面)

### ■消し忘れタブ (設備の運用管理画面)

The screenshot shows the '消し忘れ' (Forgot) tab in the equipment management system. The interface includes the following elements:

- (1) 抽出期間 (Extraction Period): 開始日 (Start Date): 2012/12/01, 終了日 (End Date): 2012/12/03.
- (2) 抽出対象 (Extraction Target): トップ>全て>室内機 (Top > All > Indoor Unit).
- (3) 運用ルール (Operation Rule): 消し忘れ (Forgot).
- (4) 抽出 (Extract) button.
- (5) 発生時間 (Occurrence Time) graph: A scatter plot showing occurrence times (発生時間 (分)) on the y-axis (0 to 10) and occurrence dates (発生日数 (日)) on the x-axis (1 to 10). A red star indicates a specific event.
- (6) 発生時間 (Occurrence Time) table: A table with columns for 名称 (Name), 発生時間 (Occurrence Time), 発生日数 (Occurrence Date), and 消費量 (Consumption).
- (7) 設定温度乖離 (Setting Temperature Deviation) and (8) 詳細 (Details) buttons.

名称	発生時間	発生日数	消費量
11-02	7:30	3	64.8k...
11-03 (6)	7:30	3	64.8k...
11-04	7:30	3	64.8k...

(1) に抽出期間が表示されます。抽出期間は昨年度の現在月と同月の1日から現在日までの期間で連続した日で1ヵ月以内です。

(2) で抽出対象を設定します。変更ボタンをタッチすると抽出対象設定画面に登録されているエリアの一覧が表示されるので選択し、OKボタンをタッチして保存します。

(3) 運用ルールコンボボックスで登録した中から運用ルールを選択し、(4) 抽出ボタンをタッチすると抽出が行われます。

(5) に抽出結果のグラフが表示されます。

#### <グラフの説明>

- 横軸は消し忘れが発生した日数を表示します。エリアで表示する場合は、エリアに含まれる管理点の消し忘れ発生日の合計を表示します。
- 縦軸には時間の積算値を表示します。
- 消し忘れが発生した管理点/エリアを青の●で表示します。
- 一覧で選択された管理点/エリアはオレンジの★で表示します。
- 消し忘れが発生した管理点/エリア数が50点を超えた場合は、発生時間の多い順に50点を表示します。

---

(6) に抽出結果の一覧が表示されます。一覧には管理点エリア名称・発生日数・発生時間・消費エネルギー量が表示されています。

消し忘れが発生した管理点／エリア数が50点を超えた場合は、発生時間・発生日数の多い上位50点を表示します。

(5)・(6) 共に初期状態では管理点が表示されているので、エリアで表示したいときは(7) **エリア** ボタンをタッチします。(7) はエリア表示中は**管理点** ボタンになり、タッチすると管理点での表示に切り換わります。

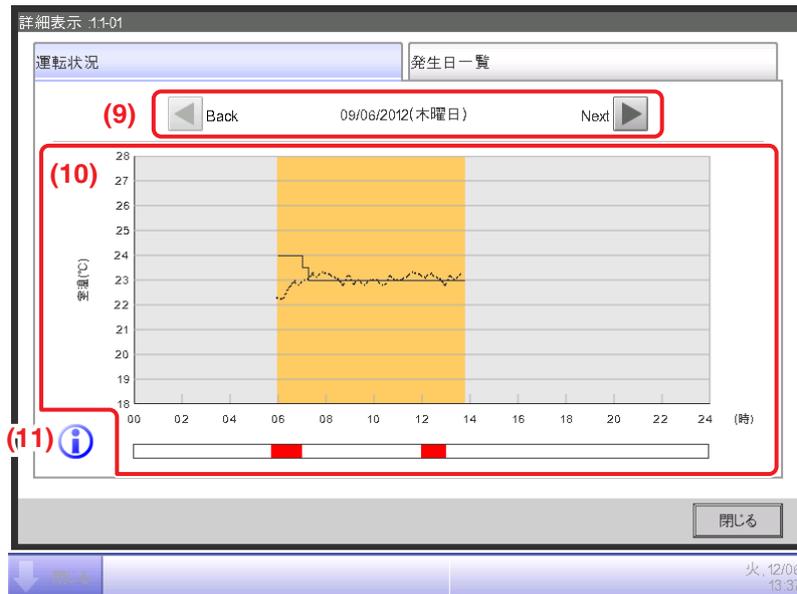
管理点表示のときにリストから管理点を選択し、(8) **詳細** ボタンをタッチすると詳細表示画面が表示されます。

詳細表示画面には**運転状況**と**発生日一覧**の2つのタブがあります。

#### NOTE

グラフおよびリストに表示されるのは、抽出対象に含まれる室内機管理点のみです。

## ■ 運転状況タブ (詳細表示画面)



(9) で詳細を表示する年月日を設定します。初期状態では抽出期間の開始日が表示されています。  
Next・Backボタンにタッチして表示日の変更もできます。

(10) に運転状態のグラフが表示されます。横軸に時刻、縦軸に温度が表示されます。

(11) インフォメーションボタンをタッチするとグラフのそれぞれの凡例が表示されます。



### NOTE

運転モードが「送風」または「ドライ」のときは、設定温度が表示されません。

## ■発生日一覧タブ(詳細表示画面)

詳細表示 11-02

運転状況 発生日一覧

発生日一覧リスト

発生日	発生時間	消費量
2012/06/02(土曜日)	0:15	22.6kWh
2012/06/03(日曜日)	5:45	4.5kWh
2012/06/04(月曜日)	0:45	36.5kWh

(12)

(13)

閉じる

12/03 月 17:28

(12) 発生日一覧リストに選択した管理点で抽出された、運用ルールから逸脱した発生日の一覧が表示されます。発生日・発生時間・消費エネルギー量が表示されます。

詳細の確認が終われば (13) 閉じるボタンをタッチし、画面を閉じて設備の運用管理画面に戻ります。

## ■設定温度乖離タブ(設備の運用管理画面)

設備の運用管理

抽出期間 開始日: 2012/12/01 変更 終了日: 2012/12/03 変更

抽出対象 トップ>6F Office 変更 運用ルール設定

消し忘れ 設定温度乖離

運用ルール 設定温度乖離 ▼ 抽出 エリア 詳細 セーブ

発生時間 (h)

名称	発生時間	発生日数	消費量
11-02	3:00	3	1.9kWh
11-03	1:30	3	0.7kWh
11-04	1:30	1	0.5kWh

(14)

閉じる

12/03 月 17:28

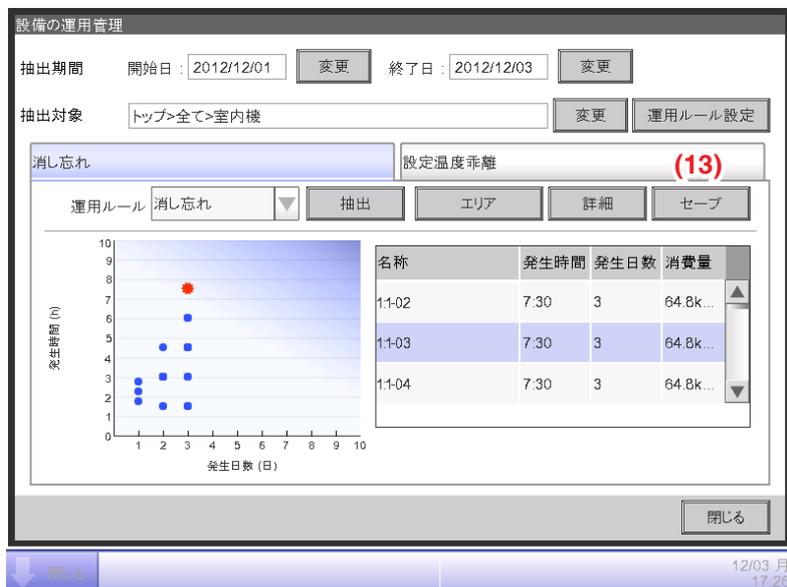
消し忘れタブと同様に、抽出期間・抽出対象・運用ルールを設定し、運用状況を表示します。確認方法と操作手順は消し忘れタブと同じです。

(12-5 設備の運用状況の確認：消し忘れタブ参照)

各タブでの抽出、確認が終われば (14) 閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

## 抽出データの出力

消し忘れ・設定温度乖離の抽出条件と結果を出力します。



iTM本体にUSBメモリを接続し **(13) セーブ** ボタンをタッチすると、現在画面に表示されている条件でフォルダーを保存します。

保存されるフォルダーの名称は出力元のタブによって変わります。出力される管理点/エリアは上位50個が出力されます。

**消し忘れ** タブ : Mng Point Data-TurnOffXX

**設定温度乖離** タブ : Mng Point Data-SetPointXX

(フォルダーを上書きしないように、XXには01～99の番号が自動で振られます)

保存が終了するとダイアログが表示されるので、**OK** ボタンをタッチして画面を閉じます。

出力データはCSV出力ツールでCSV形式に変換することで、Excelなどの市販ソフトで読み込めるようになります。

### NOTE

CSVファイルのフォーマットについては、  
付録(7. Energy Navigator CSV ファイルフォーマット)をご覧ください。

## 12-6 データ出力機能

Energy Navigator機能以外に、高度な分析を行いたいユーザーのために、計測しているデータをUSBメモリに保存することができます。

消し忘れ・設定温度乖離の発生している管理点・エリアについてのデータは、先に述べたように、設備の運用管理画面から出力できます。

ここではエネルギー予実管理データおよび管理点のデータを出力する手順を説明します。

メニューリスト画面の**Energy Navigator**タブを表示します。(4-5 メニューリスト画面：Energy Navigatorタブ参照)

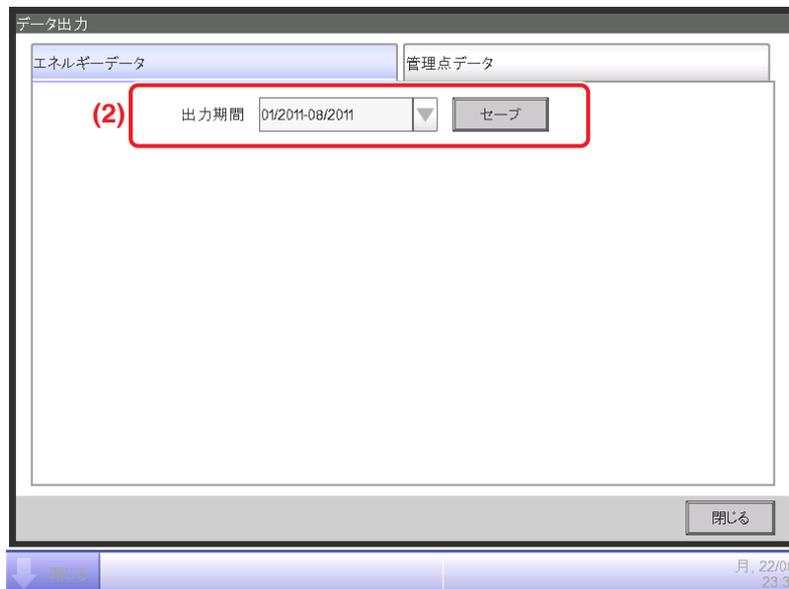


**(1)** データ出力ボタンをタッチしてデータ出力画面を表示します。データ出力画面は、エネルギーデータタブと管理点データタブとの2つのタブからなります。

## エネルギーデータ・管理点データ

### ■エネルギーデータタブ(データ出力画面)

エネルギー予実管理の情報を出力します。



**(2) 出力期間**コンボボックスで、データを出力する年度を今年度または昨年度から選択します。iTM本体にUSBメモリを接続し、**セーブ**ボタンをタッチすると確認ダイアログが表示され、**OK**ボタンをタッチするとデータ出力が開始されます。EnergyDataXXの名称でフォルダーが保存されます。(フォルダーを上書きしないように、XXには01～99の番号が自動で振られます)保存が終了するとダイアログが表示されるので、**OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。出力データはCSV出力ツールでCSV形式に変換することで、Excelなどの市販ソフトで読み込めるようになります。

#### NOTE

CSVファイルのフォーマットについては、  
付録(7. Energy Navigator CSV ファイルフォーマット)をご覧ください。

## ■管理点データタブ(データ出力画面)

任意の管理点のデータを出力します。

データ出力

エネルギーデータ 管理点データ

出力期間

開始日 2012/11/01 変更 終了日 2012/12/03 変更

(3) セーブ

閉じる

閉じる 12/03 月 17:47

iTM本体にUSBメモリを接続し、**(3) セーブ**ボタンをタッチすると確認ダイアログが表示され、**OK**ボタンをタッチするとデータ出力が開始されます。

USBメモリの第1階層に管理点データフォルダーを作成してファイルを保存します。

保存が終了するとダイアログが表示されるので、**OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。

出力データはCSV出力ツールでCSV形式に変換することで、Excelなどの市販ソフトで読み込めるようになります。

### NOTE

CSVファイルのフォーマットについては、

付録(7. Energy Navigator CSV ファイルフォーマット)をご覧ください。

---

## 13. 給湯機制御

13-1 給湯機制御機能.....	360
• システム構成 .....	362
• 各機能の説明 .....	363
13-2 給湯システムの監視・制御 .....	365
• 給湯システムメイン画面 .....	365
• 情報画面 .....	367
• スケジュール運転のしかた .....	368
• 満蓄運転のしかた .....	369
• 停止のしかた .....	370
• 給湯システム画面のロック設定.....	371
13-3 給湯の詳細設定.....	373
• 出湯温度の設定.....	374
• タンク湯温の設定.....	374
• タンク最低水位の設定 .....	375
• 給湯機能力の設定.....	375
• 給湯詳細設定の確認.....	376
13-4 給湯スケジュールの設定 .....	378
• 給湯スケジュールの作成 .....	380
13-5 給湯機台数制限の設定 .....	399
13-6 メインタンクの切換.....	402
13-7 給湯運転データの出力 .....	404
13-8 給湯運転データの確認.....	405
• 運転データモニタソフトのインストール .....	407
• 運転データモニタソフトの設定方法.....	411
• 運転データの表示方法 .....	415
• 各画面の構成 .....	417
• 運転データモニタソフトの活用方法.....	421

---

## 13-1 給湯機制御機能

給湯機制御機能は、iTMから給湯システム(MEGA・Q)の監視・制御をすることができる機能です。給湯機制御機能を用いるには、サービスマンによる設定が必要です。

給湯システムを運転するときは、満蓄運転またはスケジュール運転を、給湯システムを停止するときは停止をタッチすることで、簡単に給湯システムを運転・停止できます。

### 1. スケジュール運転

- 設定した給湯スケジュールにしたがって、給湯システムを運転します。
- 年間で給湯スケジュールを設定することにより、日常の給湯運転の管理を自動化できます。
- 給湯スケジュールは、1日の時刻ごとの目標水位を設定し、曜日ごとに設定できます。臨時休業日など、特定日の設定も可能です。
- 業種に応じた給湯運転パターンを用意しているため、業種に応じた最適な給湯運転パターンをワンタッチで設定できます。  
(福祉施設、病院、給食センター、ホテル・旅館、ビジネスホテル、スポーツ施設、飲食店舗)
- 給湯スケジュールは5パターンまで設定することができます。  
「春／夏／秋／冬」のように四季に応じた給湯スケジュールの設定が可能です。

### 2. 満蓄運転

- 目標水位を100%として、運転します。  
常に目標水位を100%として、給湯システムを運転するので、湯切れの心配がありません。

### 3. 出湯温度／保温温度設定

- 出湯温度は、高め温度と標準温度を設定できます。  
給湯スケジュール設定では、高め温度か標準温度かを選択します。
- 貯湯タンクの保温温度を設定できます。

### 4. ヒートポンプ給湯機の運転モード設定

- 給湯機能力設定で、ヒートポンプ給湯機の加熱能力を変更できます。  
標準(35kW)、省エネ(30kW)、ハイパワー(40kW)から設定します。
- 給湯負荷の小さい夏場には、省エネモードに変更することで、消費電力を抑えることができます。

### 5. 給湯機台数制限設定

- 2台以上の連結したヒートポンプ給湯機に対して、運転可能な台数に制限をかけることができます。
- 実施する期間と時間帯、台数制限(パーセント)を設定することで、消費電力の低減につながります。

---

## 6. 給湯システムの監視

下記項目を監視できます。

- 貯湯タンクの現在水位、1時間ごとの貯湯タンクの水位
- 現在の給湯運転パターン
- 給湯システムの異常

## 7. 省エネナビ機能

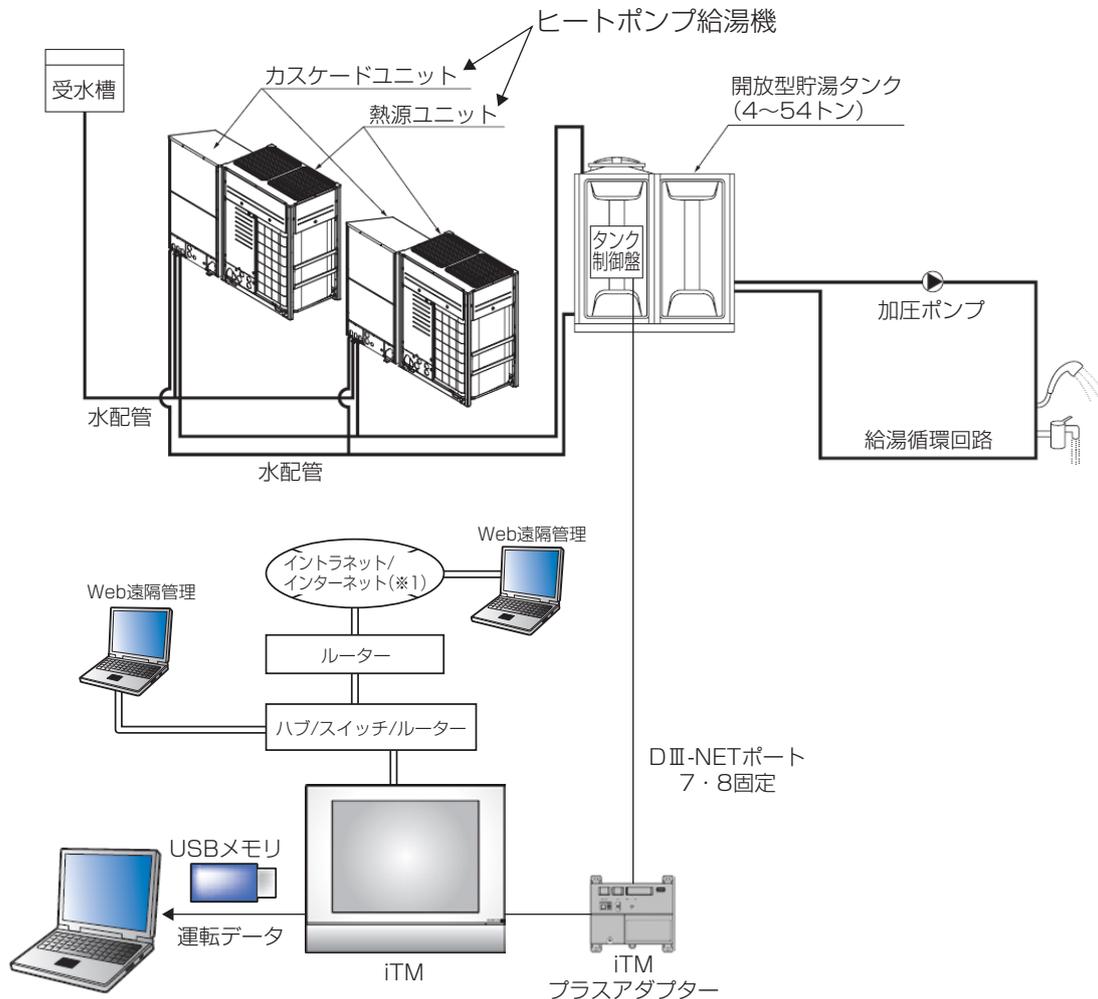
別ソフトウェアである「運転データモニタソフト」を用いて、過去の給湯運転状況の確認や、推奨水位表示による、給湯運転パターンの補正ができます。

### NOTE

- 給湯機制御機能では、1日の時間帯は 前日の22：00～当日の21：59になります。
- 給湯システムを自動制御機能のスケジュール・連動制御・緊急停止で操作することはできません。
- 給湯システムを点検中設定機能で、点検中にすることはできません。

## システム構成

給湯システムのシステム構成は下記のとおりになります。



1つの給湯システムは下記の最大数で給湯機器を監視・制御することができます。

iTMでは、2つの給湯システムまで制御・監視することができます。

- 貯湯タンク 2台
- ヒートポンプ給湯機 12台
- (• 再加熱ユニット 12台)

※1 別途、お客様にてインターネット契約が必要です。なお、インターネット接続をする場合は、必ずVPNルーターを使用して、お客様側でセキュリティを確保してください。

## 各機能の説明

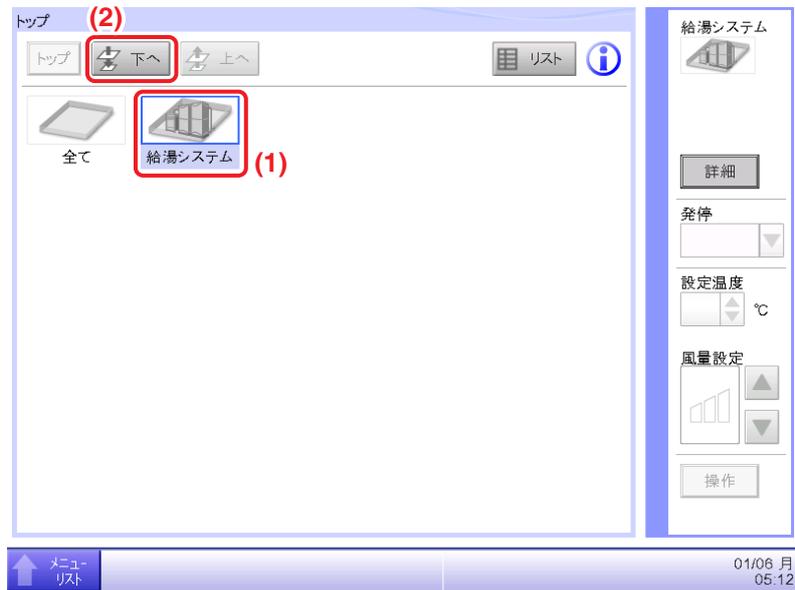
### 制御機能

機能	説明	参照先
スケジュール運転	設定された給湯スケジュールに基づいて給湯システムを運転します。	13-2 給湯システムの監視・操作
満蓄運転	目標水位を100%として、給湯システムを運転します。	
停止	給湯システムの運転を停止します。	
給湯システム画面のロック設定	給湯システムメイン画面のみを操作できないように画面ロックすることができます。	13-3 給湯の詳細設定
出湯温度の設定	ヒートポンプ給湯機の出湯温度の高め温度と標準温度を設定します。	
タンク湯温の設定	貯湯タンクの保温温度を設定します。タンク湯温を下回ると保温運転を開始します。	
タンク最低水位の設定	貯湯タンクの最低水位を設定します。最低水位を下回ると自動で運転を開始します。	
給湯機能力の設定	ヒートポンプ給湯機の加熱能力を設定します。省エネ／標準／ハイパワーから選択します。	
給湯スケジュール設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各時刻の目標水位と各曜日の出湯温度を設定します。</li> <li>• 出湯温度は、高め温度と標準温度から選択します。</li> <li>• 給湯スケジュールは、5パターンまで設定できます。</li> <li>• 有効期間の設定と有効／無効の設定ができます。</li> <li>• 特定日の設定ができます。</li> <li>• 1週間の給湯スケジュールを一覧で確認できます。</li> </ul>	13-4 給湯スケジュールの設定
給湯機台数制限の設定	ヒートポンプ給湯機の運転台数を制限することができます。制限したい期間・時間を設定し、台数制限をパーセントで設定します。	13-5 給湯機台数制限の設定
メインタンクの切換	2タンクシステムの場合、メインタンクとサブタンクを切り換えます。	13-6 メインタンクの切換
給湯運転データの出力と確認	給湯システムの運転データをUSBメモリに保存します。別ソフトウェアの「運転データモニタソフト」に読み込ませることで、過去の運転状況の把握などが可能です。	13-7 給湯運転データの出力 13-8 給湯運転データの確認

## 監視機能

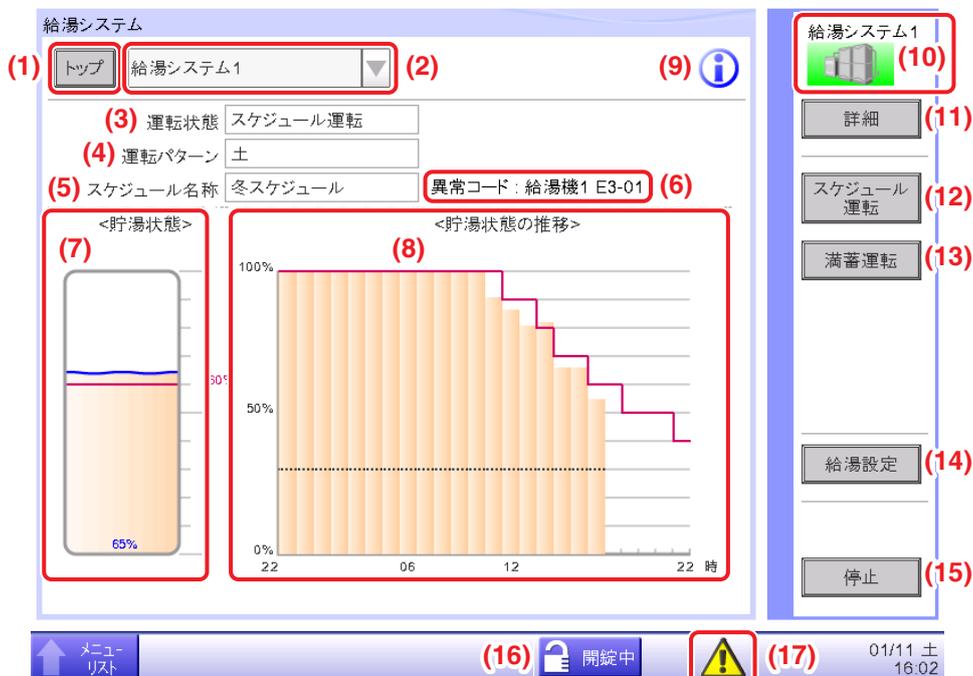
画面	項目	参照先
給湯システムメイン画面	<ul style="list-style-type: none"><li>• 運転状態</li><li>• 給湯運転パターン</li><li>• スケジュール名称</li><li>• エラーコード</li><li>• 現在の貯湯タンクの現在水位と目標水位</li><li>• 1時間ごとの貯湯タンクの貯湯状態と目標水位、設定最低水位</li></ul>	13-2 給湯システムの監視・操作
詳細情報画面	現在の運転状態などの監視項目に加えて、出湯温度やタンク湯温などの設定内容を確認できます。	13-3 給湯の詳細設定

## 13-2 給湯システムの監視・制御



標準画面のトップボタンをタッチします。(1) 給湯システムを選択し、(2) 下へボタンをタッチすると、給湯システムメイン画面が表示されます。

### 給湯システムメイン画面



#### (1) トップボタン

トップボタン：トップにあるエリアと管理点を表示します。

#### (2) 給湯システム選択コンボボックス

複数の給湯システムが接続されている場合、監視・制御する給湯システムを選択します。

---

### (3) 運転状態表示

現在の運転状態を表示します。

「スケジュール運転／満蓄運転／停止」のどれかが表示されます。

### (4) 運転パターン表示

現在のスケジュールの運転パターンを表示します。

### (5) スケジュール名称表示

現在の給湯スケジュールの名称を表示します。

### (6) エラーコード表示エリア

機器が異常のときは、「エラーコード：機器名称とエラーコード」を表示します。

### (7) 貯湯状態表示エリア

現在の残湯量（橙色）、目標水位（赤色）を表示します。

### (8) 貯湯状態の推移表示エリア

1時間ごとの残湯量（橙色）、目標水位（赤色）、最低水位（黒色）を表示します。

### (9) インフォメーションボタン

貯湯状態の推移グラフの凡例表示、システムに関する問い合わせ連絡先を表示します。

### (10) 選択中の給湯システム表示

選択中の給湯システムの名称とアイコンを表示します。

### (11) 詳細ボタン

選択中の給湯システムの詳細情報画面を表示します。

### (12) スケジュール運転ボタン

スケジュール運転を開始します。

### (13) 満蓄運転ボタン

目標水位100%として運転します。

### (14) 給湯設定ボタン

給湯詳細画面を表示します。

### (15) 停止ボタン

給湯システムを停止します。お湯は生成されません。

### (16) 給湯画面ロック/解除ボタン

給湯システムメイン画面の監視以外の操作をロックまたは解除します。

給湯画面ロックが無効な場合は、非表示になります

パスワードの設定手順は、6-3 パスワードの設定をご覧ください。

### (17) 異常監視アイコン

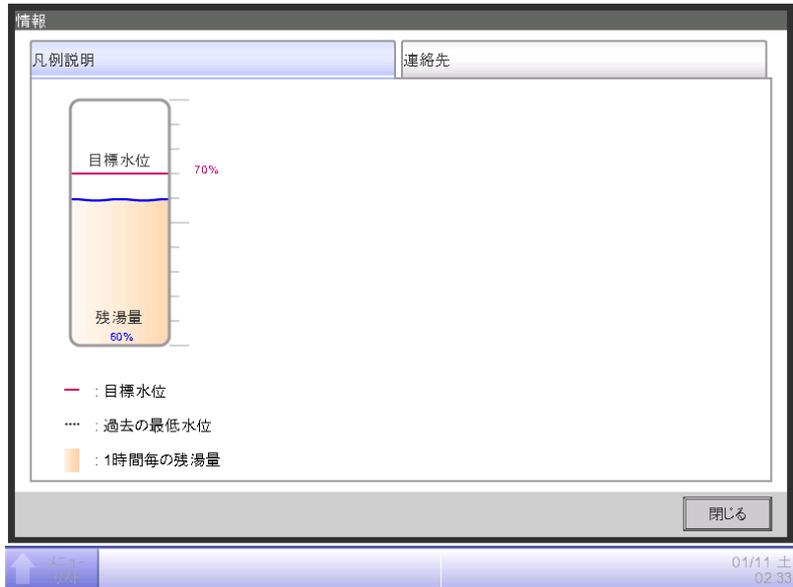
異常を検知した場合、異常発生をお知らせします。

詳細は、4-2 標準画面（アイコン）の (6) 一括監視アイコンA異常発生検知をご覧ください。

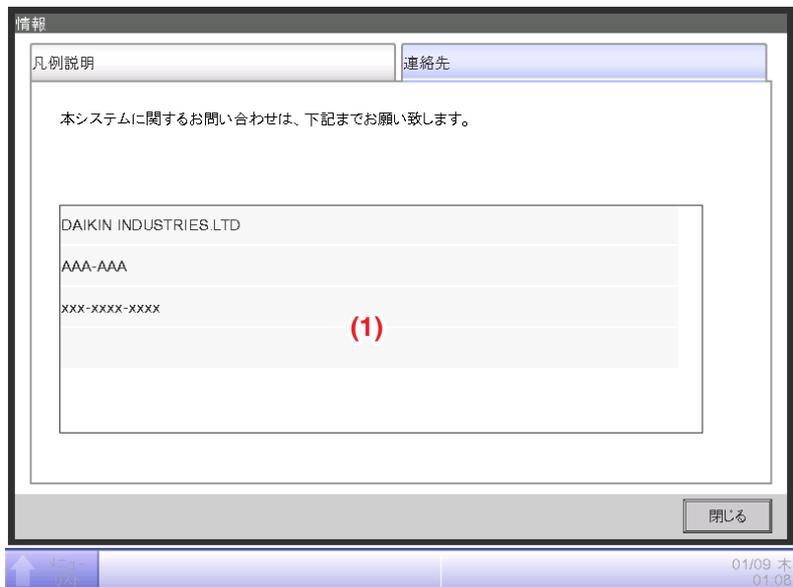
## 情報画面

給湯システムメイン画面で**インフォメーション**ボタンをタッチすると表示されます。  
凡例説明タブ・連絡先タブからなります。

### • 凡例説明タブ

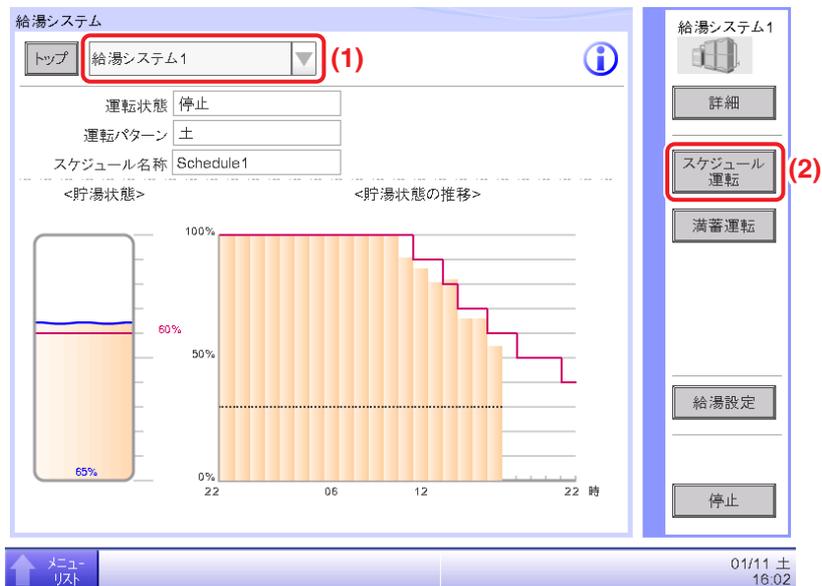


### • 連絡先タブ

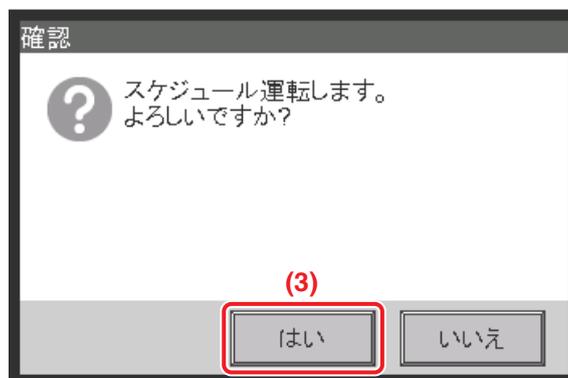


(1) 記載内容を変更する場合は、お買い上げの販売店にお問合わせください。

## スケジュール運転のしかた

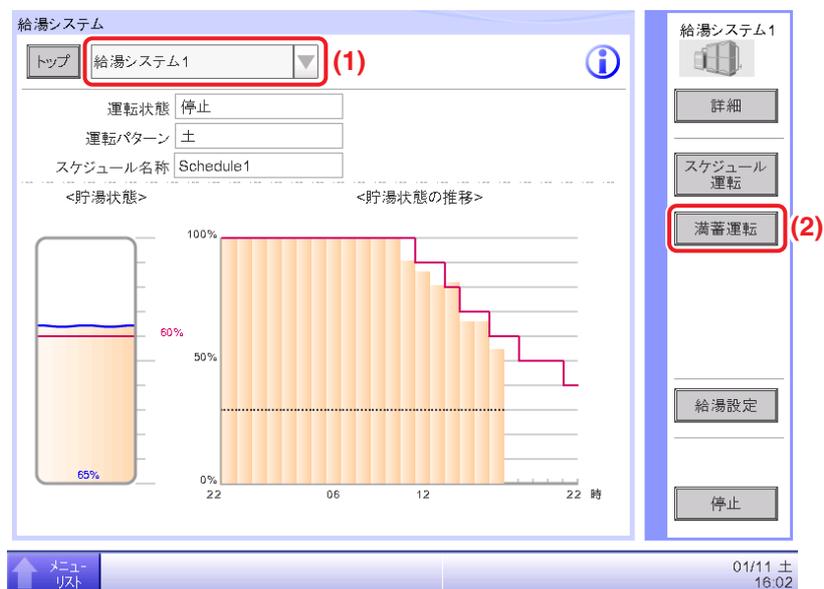


1. 給湯システムメイン画面の (1) コンボボックスから給湯システムを選択します。  
(給湯システムがひとつの場合、選択できません。)
2. (2) スケジュール運転ボタンをタッチすると、確認ダイアログが表示されます。

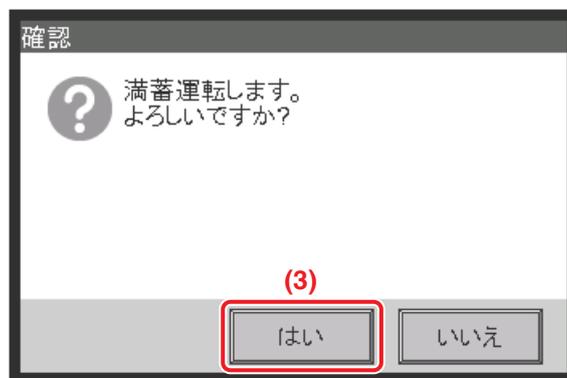


3. (2) はいボタンをタッチすると、スケジュール運転を開始します。

## 満蓄運転のしかた

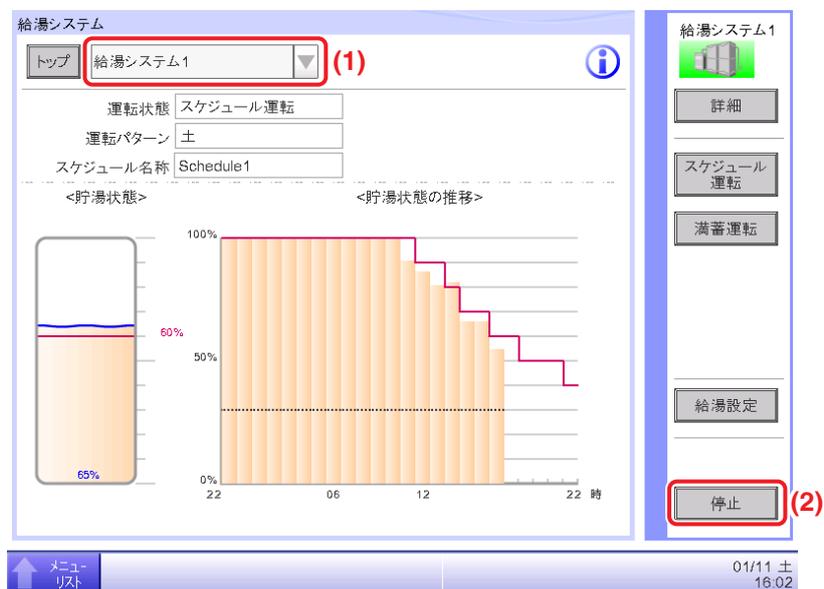


1. 給湯システムメイン画面の (1) コンボボックスから給湯システムを選択します。  
(給湯システムがひとつの場合、選択できません。)
2. (2) 満蓄運転ボタンをタッチすると、確認ダイアログが表示されます。

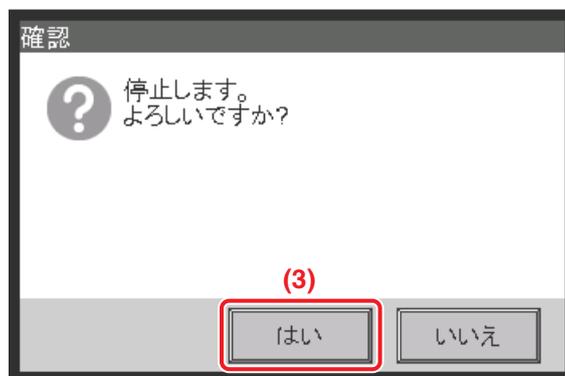


3. (3) はいボタンをタッチすると、満蓄運転を開始します。

## 停止のしかた



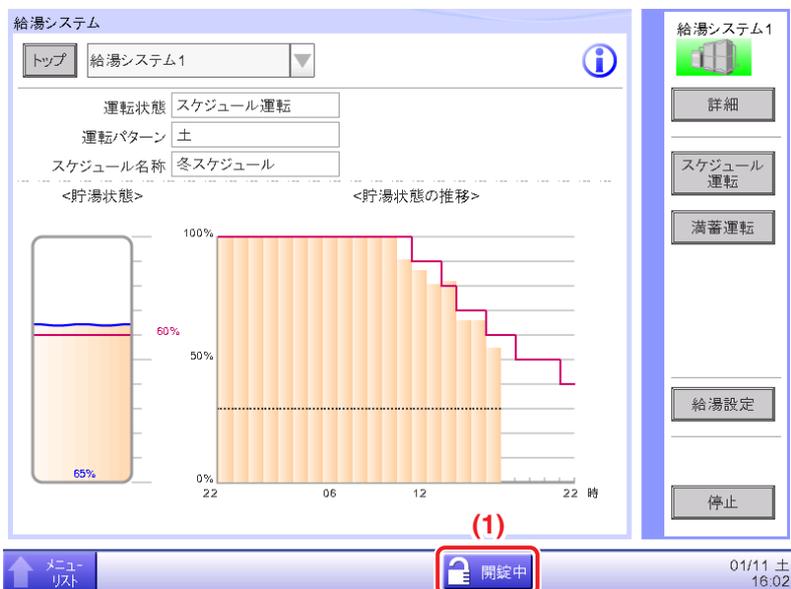
1. 給湯システムメイン画面の **(1)** コンボボックスから目的の給湯システムを選択します。  
(給湯システムがひとつの場合、選択できません。)
2. **(2)** 停止ボタンをタッチすると、確認ダイアログが表示されます。



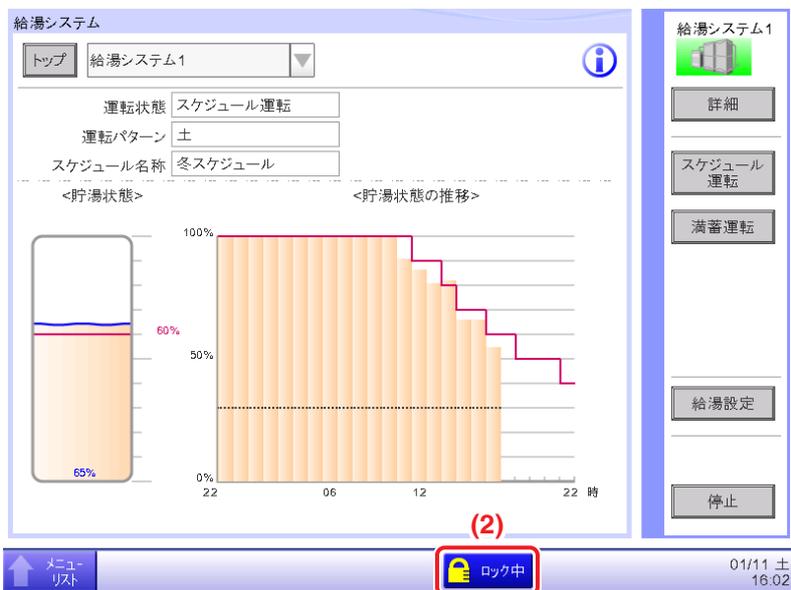
3. **(3)** はいボタンをタッチすると、すべてのヒートポンプ給湯機を停止します。

## 給湯システム画面のロック設定

空調用の画面ロックとは別に、給湯画面のみをロックし、操作できないようにすることができます。給湯画面ロック解除パスワードの設定は、6-3 パスワードの設定をご覧ください。



1. 給湯画面ロック解除パスワードの設定を行うと **(1) 開錠中**ボタンが表示されます。給湯画面をロックする場合は、**(1) 開錠中**ボタンをタッチします。確認ダイアログが表示されるので、**はい**ボタンをタッチするとボタンは**ロック中**となり、給湯画面がロックされます。



2. 給湯画面のロックを解除する場合は、**(2) ロック中**ボタンをタッチします。パスワード入力ダイアログが表示されるので、設定したパスワードを入力するとボタンは**開錠中**となり、給湯画面のロックが解除されます。

---

## NOTE

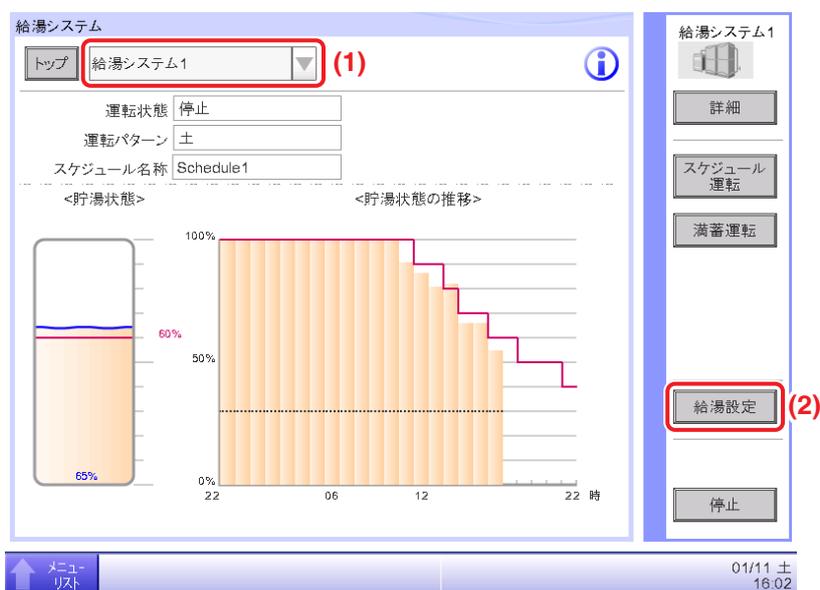
- パスワード解除の優先順位は下記のとおりです。

管理者パスワード > 画面ロック解除パスワード > 給湯ロック解除パスワード

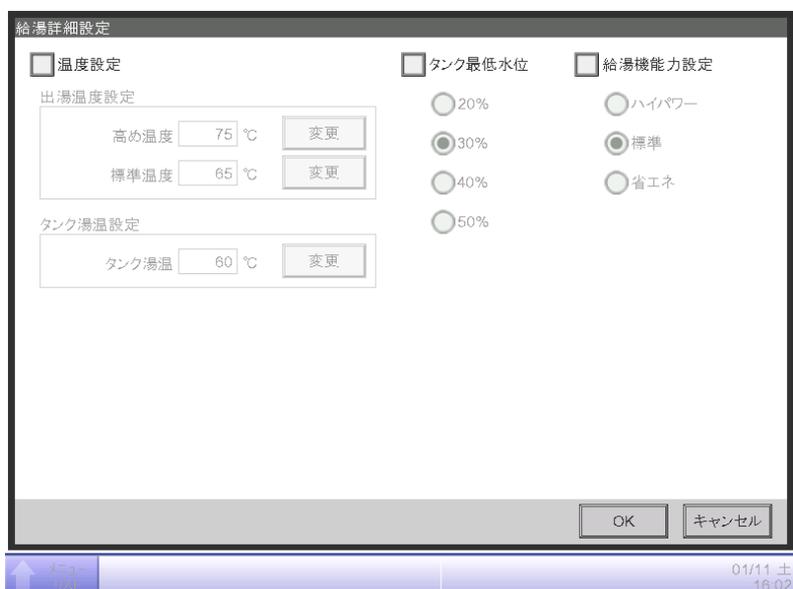
同時に複数のパスワード設定を行っている場合、解除されたパスワードより低い優先順位のパスワードは同時に解除されません。

管理者パスワードを解除した場合は、全てのパスワードが解除されます。

### 13-3 給湯の詳細設定



1. 給湯システムメイン画面の (1) コンボボックスから給湯システムを選択します。  
(給湯システムがひとつの場合、選択できません。)
2. (2) 給湯設定ボタンをタッチすると、給湯詳細設定画面が表示されます。



3. 給湯詳細設定画面でそれぞれの設定を行います。

## 出湯温度の設定

(3) 温度設定チェックボックスにチェックを入れ、高め温度、標準温度の (4) 変更ボタンで設定内容を入力します。

設定範囲：高め温度「66℃～最高出湯温度」、標準温度「60℃～出湯温度設定高め温度」

複数の給湯システムを「システム一括」制御に設定している場合、各システムの最高出湯温度の最も低い温度が高め温度の上限温度になります。

## タンク湯温の設定

(5) 温度設定チェックボックスにチェックを入れ、タンク湯温の (6) 変更ボタンで設定内容を入力します。

設定範囲：50℃～(出湯温度設定の標準温度－5℃) ※最高温度は80℃

## タンク最低水位の設定



(7) タンク最低水位チェックボックスにチェックを入れ、(8) のラジオボタンでタンク最低水位を「20%」・「30%」・「40%」・「50%」から選択し設定します。

## 給湯機能力の設定



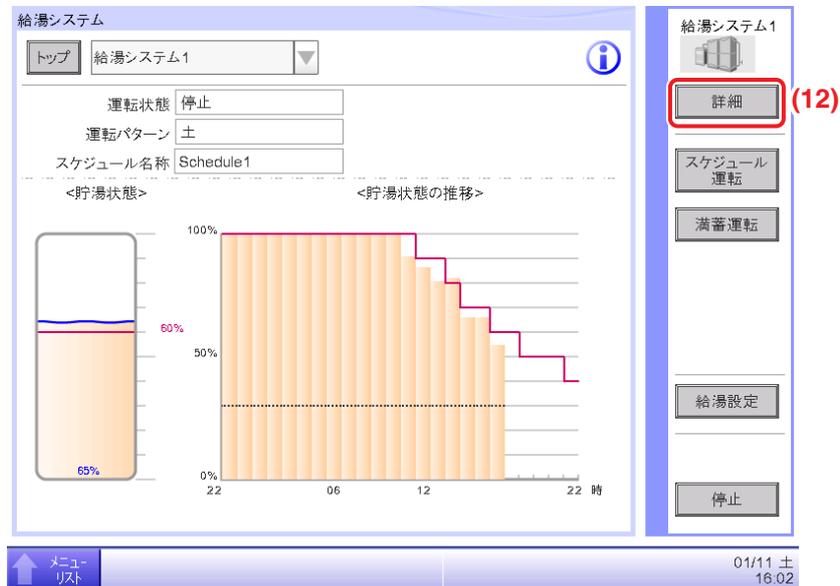
(9) 給湯機能力設定チェックボックスにチェックを入れ、(10) のラジオボタンで給湯機能力を「ハイパワー」・「標準」・「省エネ」から選択して設定します。給湯負荷の小さい夏期は、「省エネ」に設定することで消費電力を抑えた効率の良い運転が可能になります。

### NOTE

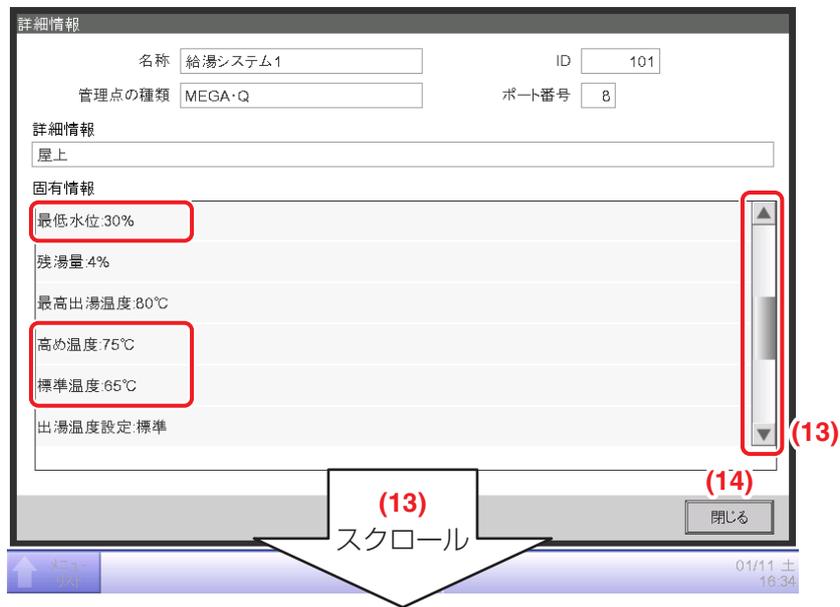
給湯負荷によっては、設定変更により湯切れにつながるおそれがあります。  
十分に検討したうえで、設定変更をしてください。

4. 設定が終われば (11) OKボタンをタッチして給湯システムメイン画面に戻ります。

### 給湯詳細設定の確認



5. (12) 詳細ボタンをタッチすると、詳細情報画面が表示されます。



6. 詳細情報画面の (13) ボタンをタッチし、固有情報をスクロールして設定内容を確認します。

固有情報欄で確認できる項目は下記のとおりです。

表示項目	表示内容
所属エリア	すべての所属エリア
運転状態	運転状態 (スケジュール運転/満蓄運転/停止)
スケジュール	現在のスケジュール名称
運転パターン	現在の運転パターン名称 (週間パターンまたは特別日パターン名称)
エラーコード	機器名称とエラーコード
目標水位	現在の目標水位 (%)
最低水位	設定されている最低水位 (%)
残湯量	現在の残湯量 (%)
最高出湯温度	設定されている最高出湯温度 (°C)
高め温度	設定されている高め温度 (°C)
標準温度	設定されている標準温度 (°C)
出湯温度設定	現在の設定されている出湯温度設定 (高め/標準)
出湯温度	現在の出湯温度 (°C)
タンク湯温設定	設定されているタンク湯温 (°C)
タンク湯温	現在のタンク湯温 (°C)
給湯機能力	給湯機能力 (ハイパワー/標準/省エネ)
給湯機台数制限	給湯機台数制限 (有効/無効)
メインタンク (タンク1台時は非表示)	メインタンクのタンク名称

7. 確認が終われば **(14)** 閉じる ボタンをタッチして画面を閉じます。

## 13-4 給湯スケジュールの設定

下記のモデルケースを例に、スケジュールプログラムの作成・設定の手順を説明します。

給湯システム名称：給湯システム1

### 給湯機詳細設定

設定項目		設定値
出湯温度設定	高め温度	80℃
	標準温度	75℃
タンク湯温設定		65℃
タンク最低水位		30%
給湯機能力設定		標準

### スケジュール内容

#### • スケジュールプログラム名称：春スケジュール

有効期間：4月1日～5月31日

毎週日曜日～月曜日：出湯温度 標準

目標水位 業種選択の福祉施設を使用

(詳細は、付録8. 給湯システムを参照)

特別日：5月1日：出湯温度 標準

目標水位 業務選択の福祉施設から毎時間－10%

時間	目標水位	時間	目標水位	時間	目標水位	時間	目標水位
22:00	90%	4:00	90%	10:00	80%	16:00	40%
23:00	90%	5:00	90%	11:00	70%	17:00	40%
0:00	90%	6:00	90%	12:00	70%	18:00	30%
1:00	90%	7:00	90%	13:00	60%	19:00	30%
2:00	90%	8:00	90%	14:00	50%	20:00	30%
3:00	90%	9:00	90%	15:00	50%	21:00	20%

• スケジュールプログラム名称：冬スケジュール

有効期間：12月1日～3月31日

毎週日曜日～月曜日：出湯温度 高め

目標水位 業種選択の福祉施設から毎時間+10%

時間	目標水位	時間	目標水位	時間	目標水位	時間	目標水位
22:00	100%	4:00	100%	10:00	100%	16:00	60%
23:00	100%	5:00	100%	11:00	90%	17:00	60%
0:00	100%	6:00	100%	12:00	90%	18:00	50%
1:00	100%	7:00	100%	13:00	80%	19:00	50%
2:00	100%	8:00	100%	14:00	70%	20:00	50%
3:00	100%	9:00	100%	15:00	70%	21:00	40%

特別日：第3土曜日：出湯温度 高め

目標水位 毎時間 100%

時間	目標水位	時間	目標水位	時間	目標水位	時間	目標水位
22:00	100%	4:00	100%	10:00	100%	16:00	100%
23:00	100%	5:00	100%	11:00	100%	17:00	100%
0:00	100%	6:00	100%	12:00	100%	18:00	100%
1:00	100%	7:00	100%	13:00	100%	19:00	100%
2:00	100%	8:00	100%	14:00	100%	20:00	100%
3:00	100%	9:00	100%	15:00	100%	21:00	100%

---

## 給湯スケジュールの作成

給湯機制御スケジュール作成の流れを説明します。

給湯スケジュールの設定を行ってから、最後に、給湯スケジュールを有効にします。

### 事前設定

出湯温度・タンク湯温・タンク最低水位・給湯機能力を事前に設定します。

### 春スケジュールの作成

#### 1. スケジュール名称の変更と有効期間の設定

- スケジュール名称の変更
- 有効期間の設定

スケジュールを実施する期間を設定します。



#### 2. 週間スケジュールの設定

- 運転スケジュールの作成 (業種選択)

業種別の目標水位を使用して、日曜日～土曜日のスケジュールを作成します。



#### 3. 特別日スケジュールの設定

- 特別日運転スケジュールの設定  
目標水位・出湯温度を設定します。
- 特別日 (5月1日) のカレンダー設定

スケジュール実施する日を設定します。



#### 4. スケジュールの有効化



---

## 冬スケジュールの作成

### 5. 運転スケジュールのコピー

春スケジュールをコピーして冬スケジュールを作成します。



### 6. スケジュール名称の変更と有効期間の設定

- スケジュール名称の変更
- 有効期間の設定

スケジュールを実施する期間を設定します。



### 7. 週間スケジュールの設定

- 週間運転スケジュールの設定  
日曜日の目標水位・出湯温度を設定します。
- 週間運転スケジュールのコピー

日曜日の目標水位・出湯温度設定を、月曜日～土曜日にコピーします。



### 8. 特別日スケジュールの設定

- 特別日運転スケジュールの設定  
目標水位・出湯温度を設定します。
- 特別日(毎月第3土曜日)のカレンダー設定

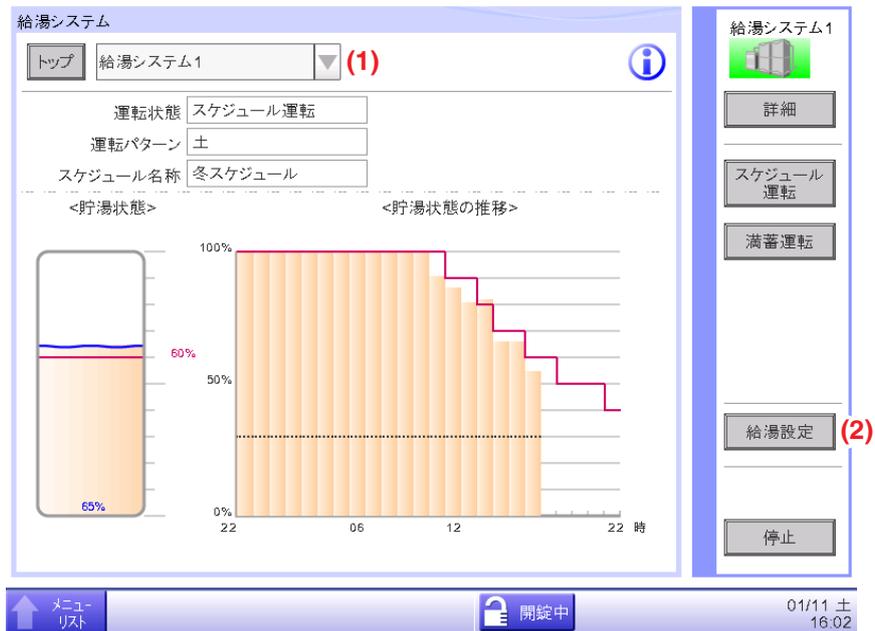
スケジュール実施する日を設定します。



### 9. スケジュールの有効化

## ■事前設定

給湯システムメイン画面の **(1)** 給湯システム選択コンボボックスで、給湯システム1を選択します。



**(2)** 給湯設定ボタンをタッチして、給湯詳細設定画面を表示させます。



**(3)** 温度設定のチェックボックスにチェックを入れ、**(4)** 変更ボタンをタッチします。数字入力ダイアログが表示されるので、「80」を入力しOKボタンをタッチします。

(5) 変更ボタンをタッチします。

数字入力ダイアログが表示されるので、「75」を入力しOKボタンをタッチします。

タンク湯温設定の (6) 変更ボタンをタッチします。

数字入力ダイアログが表示されるので、「65」を入力しOKボタンをタッチします。

(7) タンク最低水位のチェックボックスにチェックを入れ、30%を選択します。

(8) 給湯機能力設定のチェックボックスにチェックを入れて、標準を選択します。

給湯詳細設定

温度設定

出湯温度設定

高め温度 80 °C 変更

標準温度 75 °C 変更

タンク湯温設定

タンク湯温 65 °C 変更

タンク最低水位

20%

30%

40%

50%

給湯機能力設定

ハイパワー

標準

省エネ

OK キャンセル

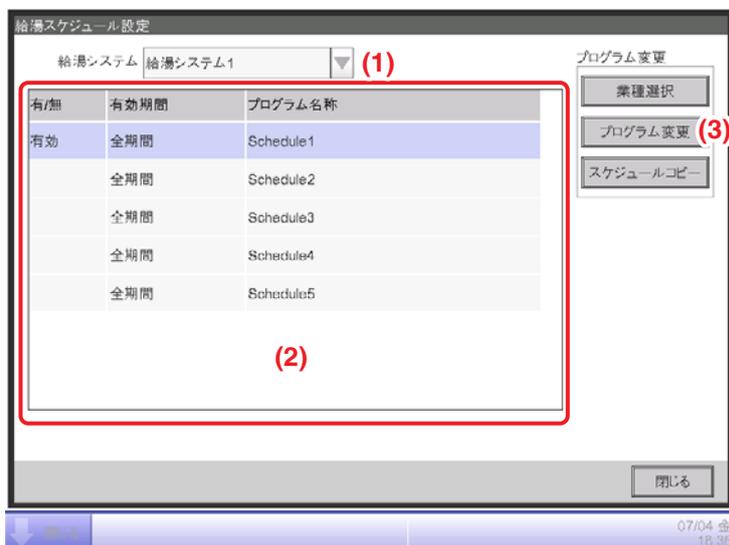
07/04 金 19:01

(9) OKボタンをタッチして、給湯システムメイン画面へ戻ります。

## 春スケジュールの作成

### 1. スケジュール名称変更と有効期間の設定

メニューリスト画面の自動制御タブで給湯スケジュールボタンをタッチして、給湯スケジュール設定画面を表示させます。(4-5 メニューリスト画面：自動制御タブ参照)



#### ■スケジュール名称の変更

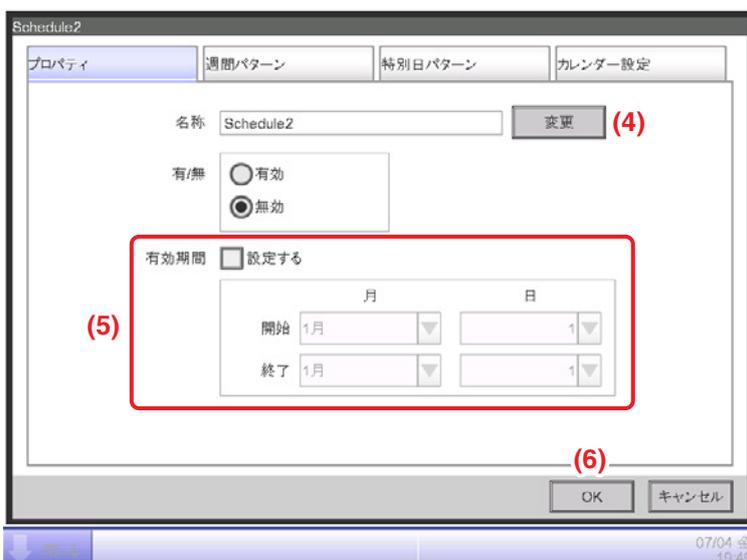
(1) 給湯システム選択コンボボックスで給湯システム1を選択します。

#### NOTE

給湯システムが1システムの場合、給湯システム選択コンボボックスは表示されません。

(2) スケジュール情報一覧表示から「Schedule2」を選択します。

(3) プログラム変更ボタンをタッチして、プロパティタブを表示させます。



(4) 変更ボタンをタッチして入力ダイアログを表示し、スケジュールの名称を設定します。「春スケジュール」と入力します。

## ■有効期間の設定

(5) 有効期間チェックボックスにチェックを入れて、コンボボックスに開始「4月1日」、終了「5月31日」を入力します。(6) OKボタンをタッチして、給湯スケジュール設定画面に戻ります。

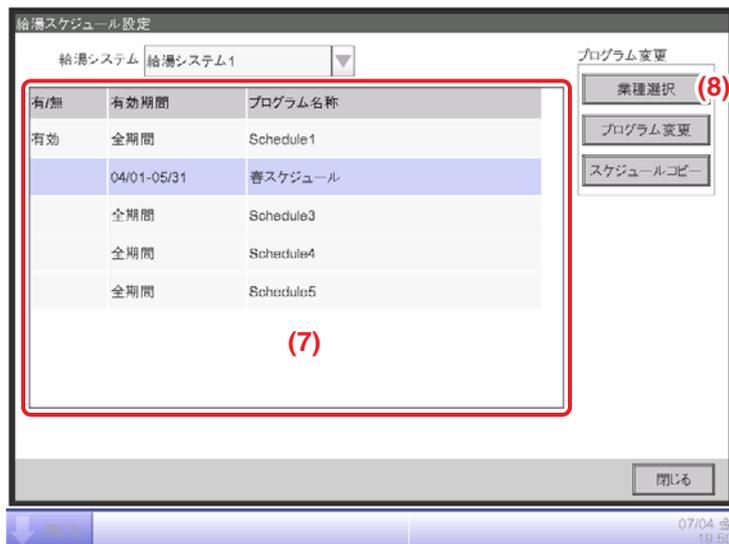
### NOTE

Schedule1を無効に変更することはできません。

ほかのスケジュール設定が有効に設定されていない期間は、Schedule1にしたがって運転します。

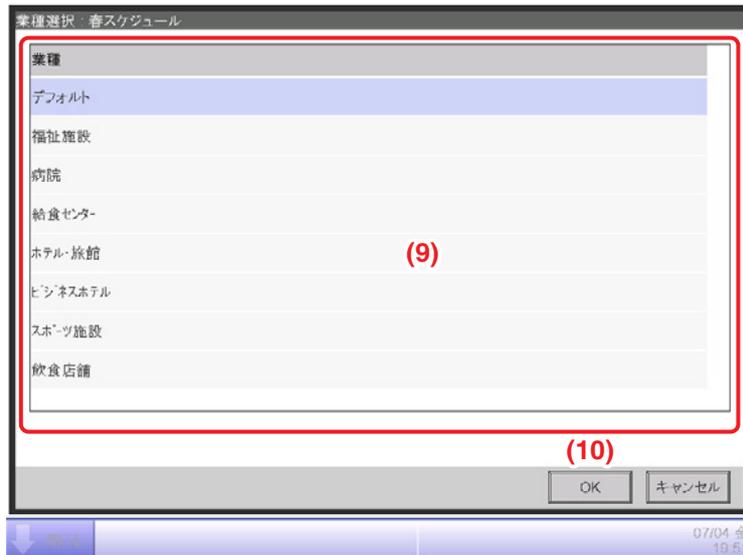
## 2. 週間スケジュールの設定

### ■運転スケジュールの作成(業種選択)



(7) スケジュール情報一覧表示から「春スケジュール」を選択します。

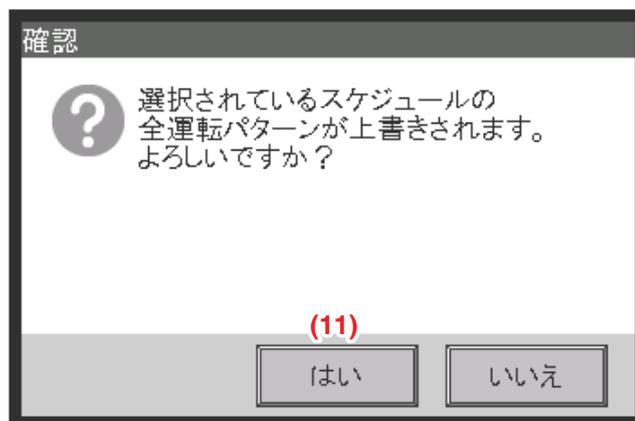
(8) 業種選択ボタンをタッチして、業務選択画面を表示させます。



## NOTE

デフォルトは、すべての時間において目標水位100%になります。

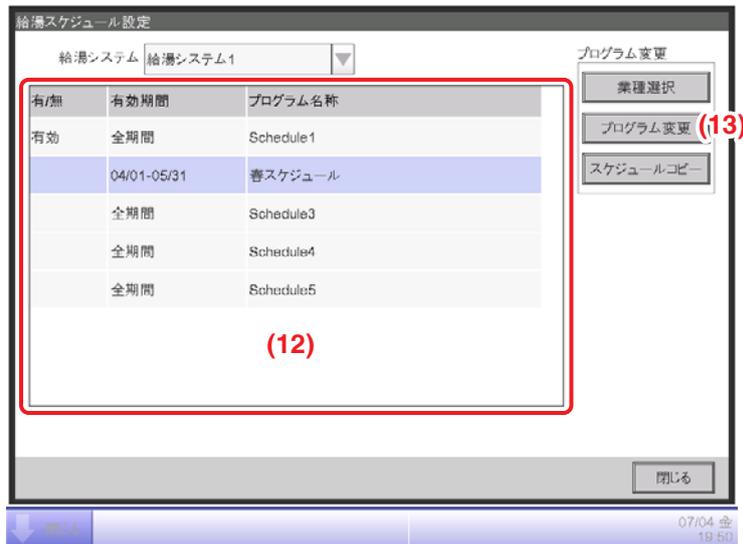
(9) 業種一覧表示から「福祉施設」選択し、(10) OKボタンをタッチします。  
確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログで (11) はいボタンをタッチします。  
これで、福祉施設の運転スケジュールが日～土曜日に反映されました。

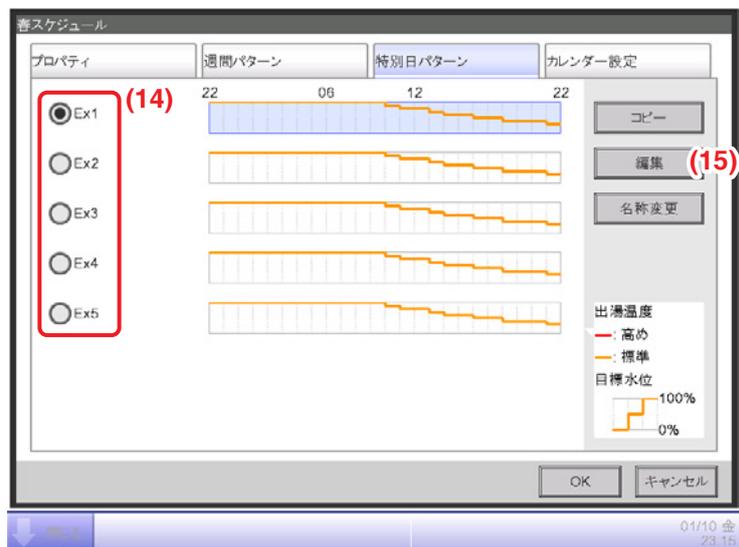
### 3. 特別日スケジュールの設定

#### ■特別日運転スケジュールの設定



(12) スケジュール情報一覧表示から「春スケジュール」を選択します。

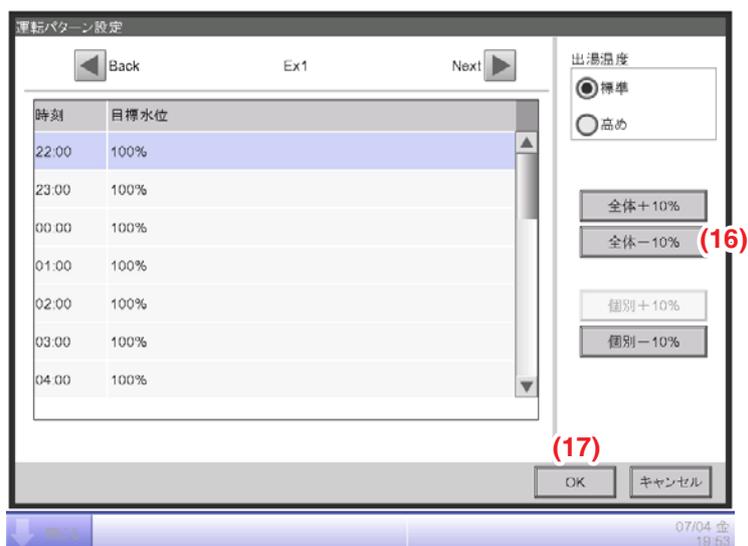
(13) プログラム変更ボタンをタッチして、プロパティタブを表示させます。  
特別日パターンタブをタッチします。



(14) 特別日選択ラジオボタンで「Ex1」を選択します。

後で、Ex1のカレンダー設定でEx1を5月1日に設定します。

(15) 編集ボタンをタッチして、運転パターン設定画面を表示させます。

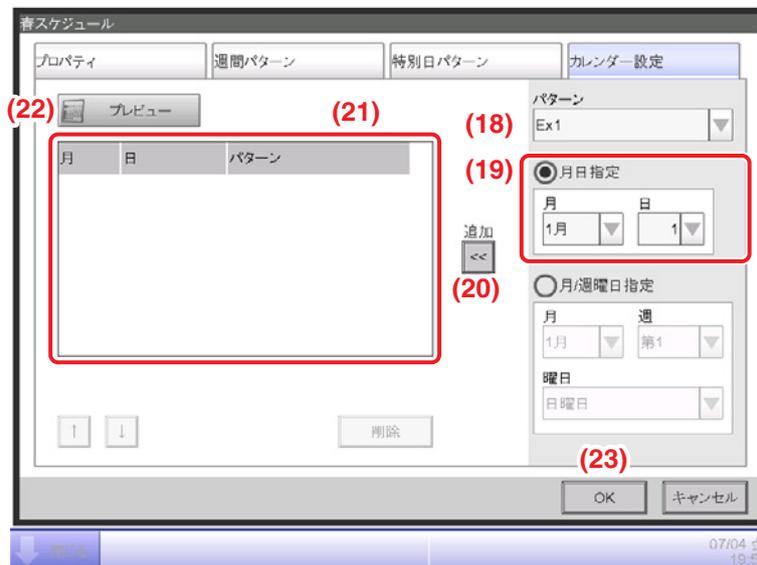


(16) 全体-10%ボタンをタッチします。

(17) OKボタンをタッチして、特別日パターンタブ画面へ戻ります。

## ■特別日(5月1日)のカレンダー設定

カレンダー設定タブをタッチします。



(18) パターンコンボボックスで、作成した「Ex1」を選択します。

(19) 月日指定ラジオボタンを選択し、コンボボックスで設定したい月/日を選択します。  
「5月1日」に設定したいので、次のように選択します。

月：5月、日：1

(20) 追加ボタンをタッチすると特別日パターンが登録され、(21)に表示されます。

(22) プレビューボタンをタッチすると、特別日パターンを反映したカレンダーをプレビュー表示することができます。

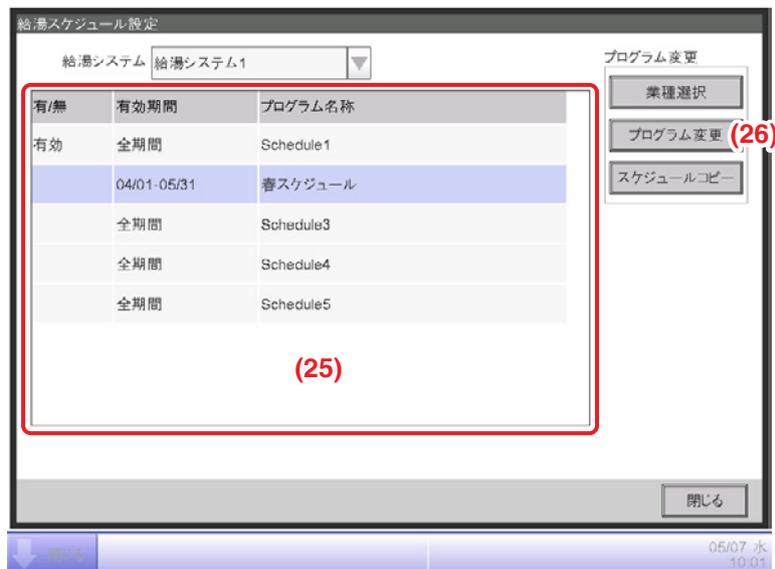


(24) 閉じるボタンをタッチしてスケジュール編集画面に戻ります。

これで、春スケジュールが作成できました。

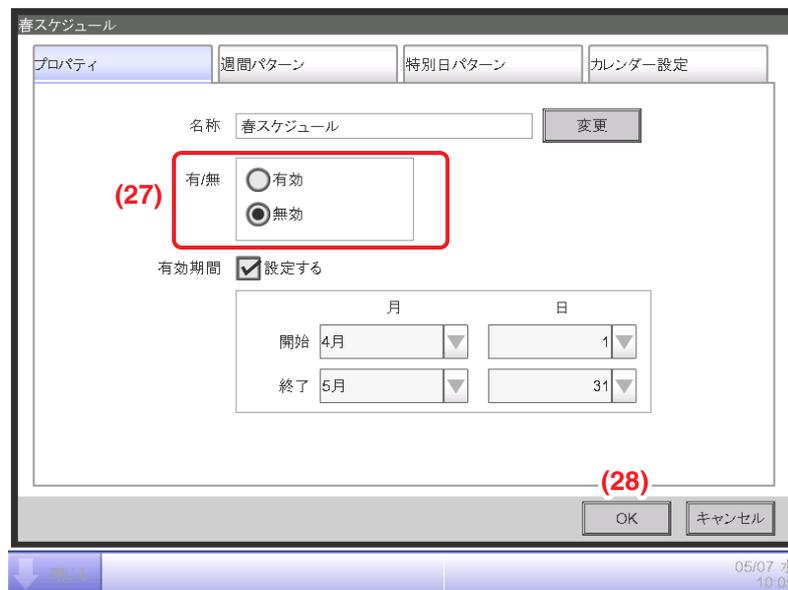
(23) OKボタンをタッチして、給湯スケジュール設定画面へ戻ります。

## 4. スケジュールの有効



(25) スケジュール情報一覧表示から「春スケジュール」を選択します。

(26) プログラム変更ボタンをタッチして、プロパティタブを表示させます。



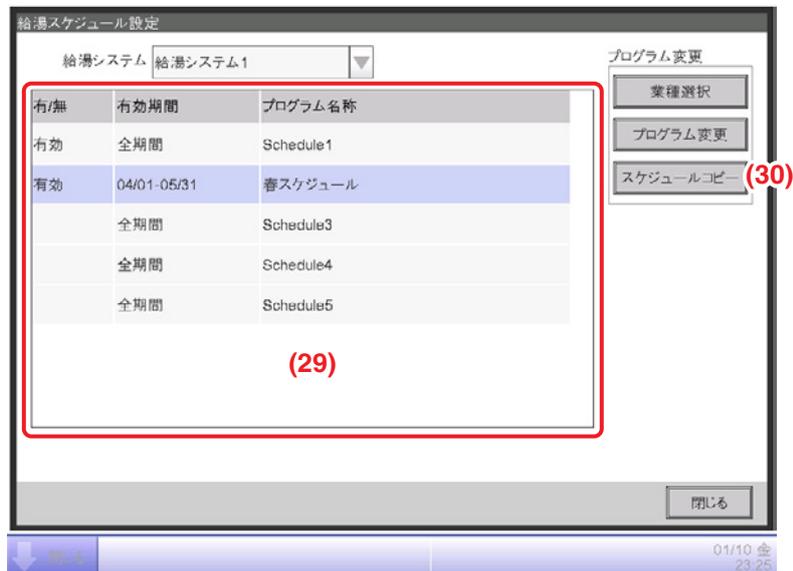
(27) 有/無ラジオボタンで「有効」を選択します。

これで「春スケジュール」のスケジュールが設定できました。

(28) OKボタンをタッチして給湯スケジュール設定画面に戻ります。

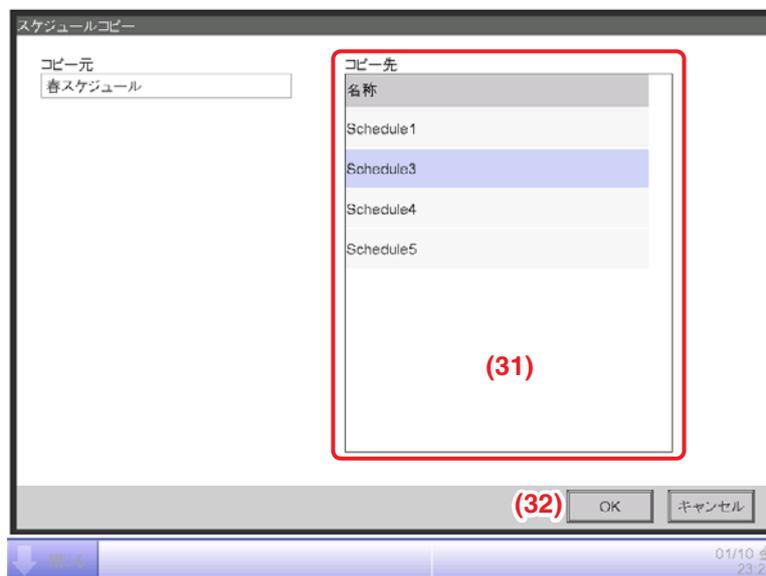
## 冬スケジュールの作成

### 5. 運転スケジュールのコピー



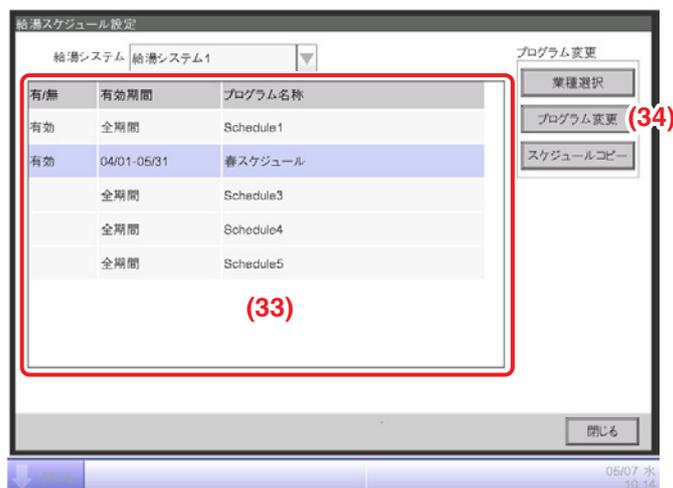
(29) スケジュール情報一覧表示から「春スケジュール」を選択します。

(30) スケジュールコピーボタンをタッチして、スケジュールコピー画面を表示させます。



(31) コピー先一覧表示から「Schedule3」を選択し、(32) OKボタンをタッチします。

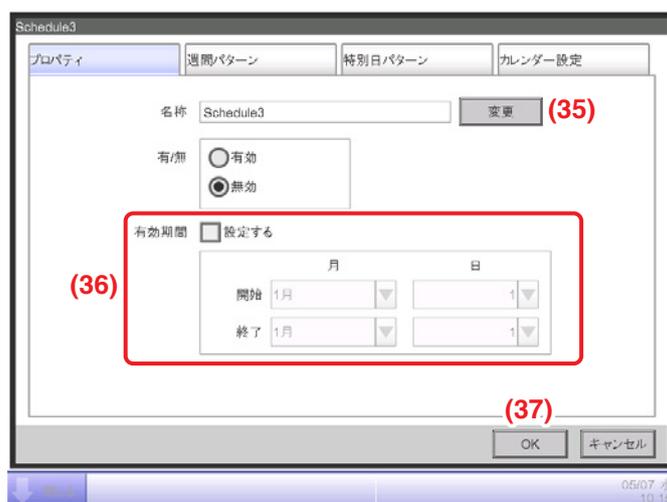
## 6. スケジュール名称変更と有効期間の設定



### ■スケジュール名称の変更

(33) スケジュール情報一覧表示から「Schedule3」を選択します。

(34) プログラム変更ボタンをタッチして、プロパティタブを表示させます。



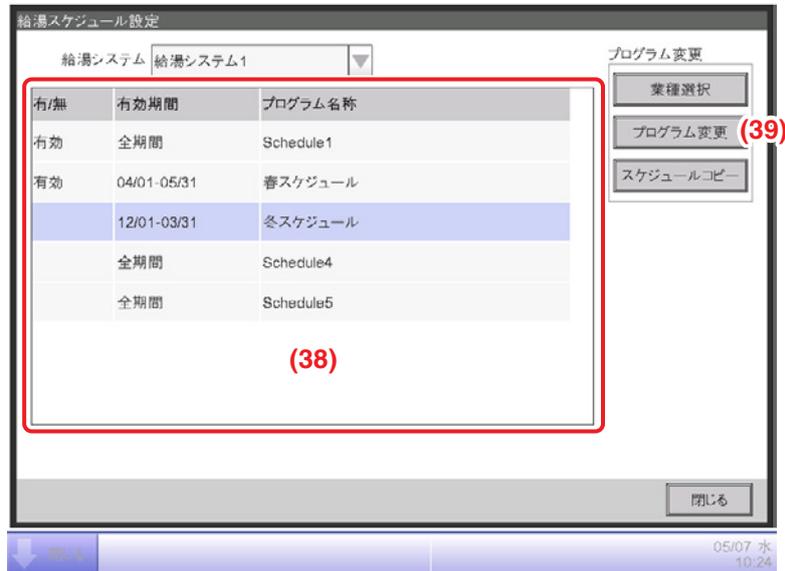
(35) 変更ボタンをタッチして入力ダイアログを表示し、スケジュールの名称を設定します。「冬スケジュール」と入力します。

### ■有効期間の設定

(36) 有効期間チェックボックスにチェックを入れて、コンボボックスで開始「12月1日」、終了「3月31日」と入力します。(37) OKボタンをタッチして、給湯スケジュール設定画面へ戻ります。

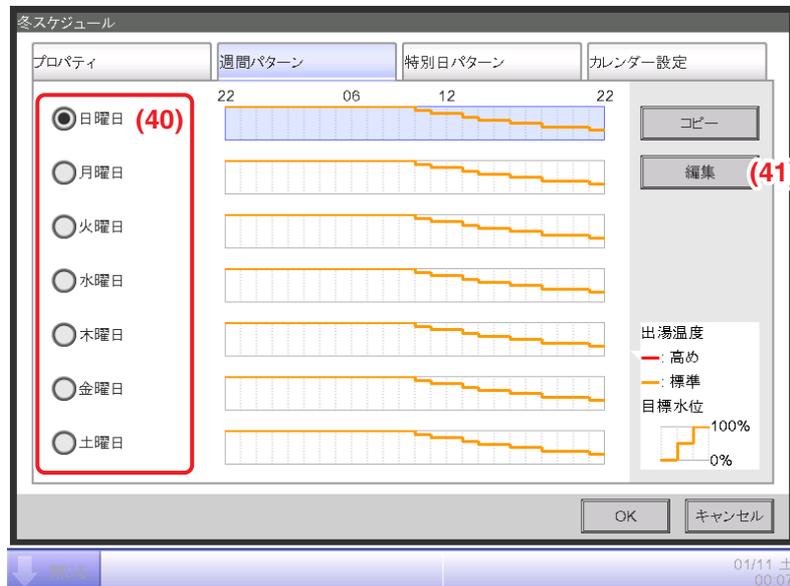
## 7. 週間運転スケジュールの設定

### ■ 週間運転スケジュールの設定



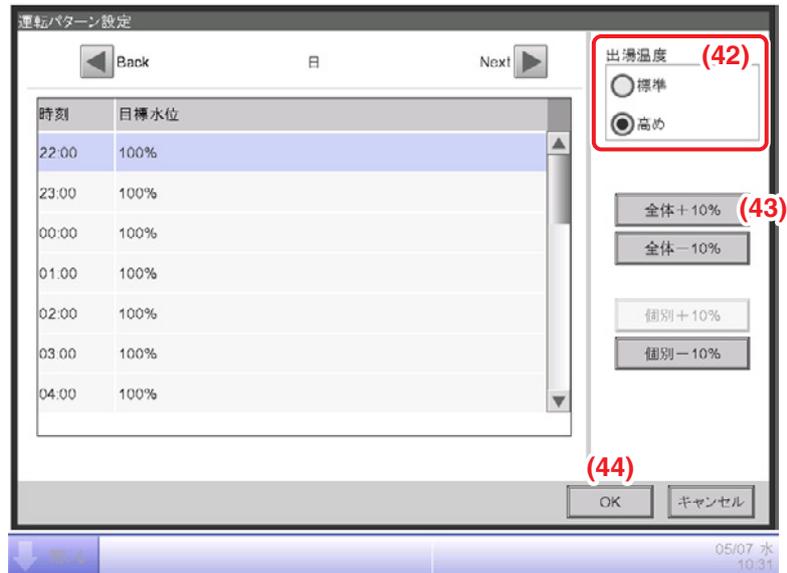
(38) スケジュール情報一覧表示から「冬スケジュール」を選択します。

(39) プログラム変更ボタンをタッチして、プロパティタブを表示させます。  
週間パターンタブをタッチします。



(40) 曜日選択ラジオボタンで「日曜日」を選択します。

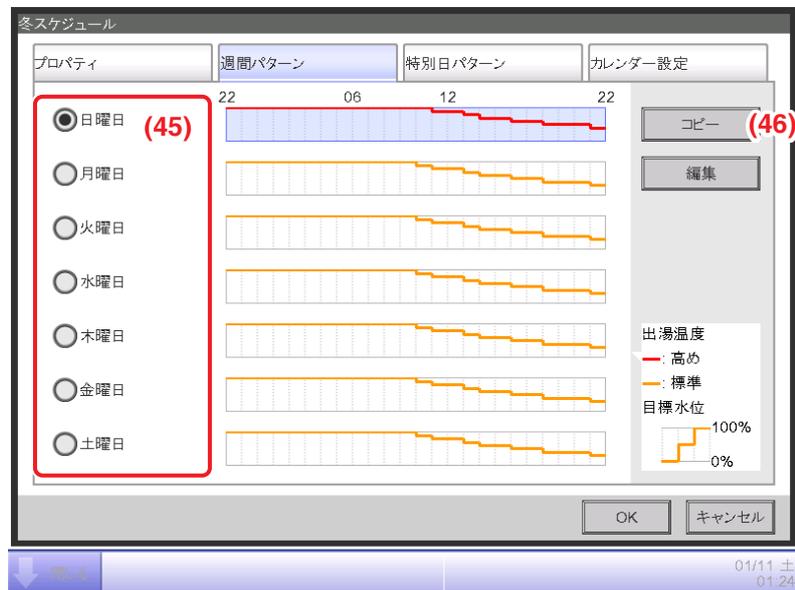
(41) 編集ボタンをタッチして運転パターン設定画面を表示させます。



- (42) 出湯温度ラジオボタンで「高め」を選択します。
- (43) 全体+10%ボタンをタッチします。
- (44) OKボタンをタッチして、週間パターンタブ画面へ戻ります。

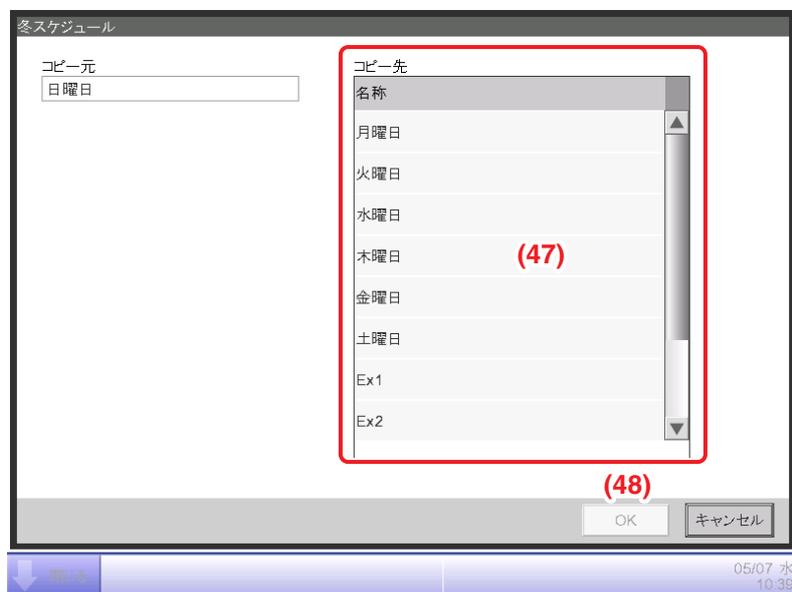
## ■週間運転スケジュールのコピー

週間パターンタブをタッチして表示させます。



(45) 曜日選択ラジオボタンで「日曜日」を選択します。

(46) コピーボタンをタッチして、運転パターン設定画面を表示させます。



(47) コピー先一覧から月曜日～土曜日まですべてドラッグ選択し、

(48) OKボタンをタッチして、週間パターンタブ画面へ戻ります。

## 8. 特別日スケジュールの設定

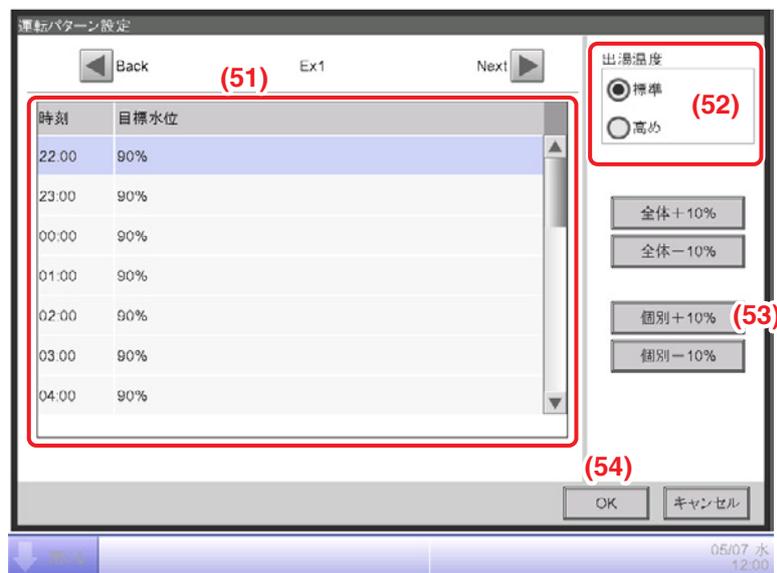
### ■特別日運転スケジュールの設定

特別日パターンタブをタッチして表示させます。



(49) 特別日選択ラジオボタンで「Ex1」を選択します。

(50) 編集ボタンをタッチします。



(52) 出湯温度ラジオボタンで「高め」を選択します。

(51) 運転パターン一覧で「22：00」を選択して、(53) 個別+10%ボタンをタッチします。

(上記と同じようにしてほかの時間帯目標水位を100%になるように変更します。)

すべての目標水位を変更したあとに、(54) OKボタンをタッチして、特別日パターンタブ画面へ戻ります。

## ■特別日(毎月第三土曜日)のカレンダー設定

カレンダー設定タブをタッチして表示します。



(58) に表示されている5月1日のパターンを選択し、削除ボタンをタッチして削除します。

(55) パターンコンボボックスで、作成した「Ex1」を選択します。

(56) 月/週曜日指定ラジオボタンを選択し、コンボボックスで設定したい月/週/曜日を選択します。

「毎月第3土曜日」に設定したいので、次のように選択します。

月：毎月、週：第3、曜日：土曜日

(57) 追加ボタンをタッチすると特別日パターンが登録され、(58) に表示されます。

カレンダーに設定できる特別日運転スケジュールは最大40件です。

(59) プレビューボタンをタッチすると、特別日パターンを反映した1年分のカレンダーをプレビュー表示することができます。

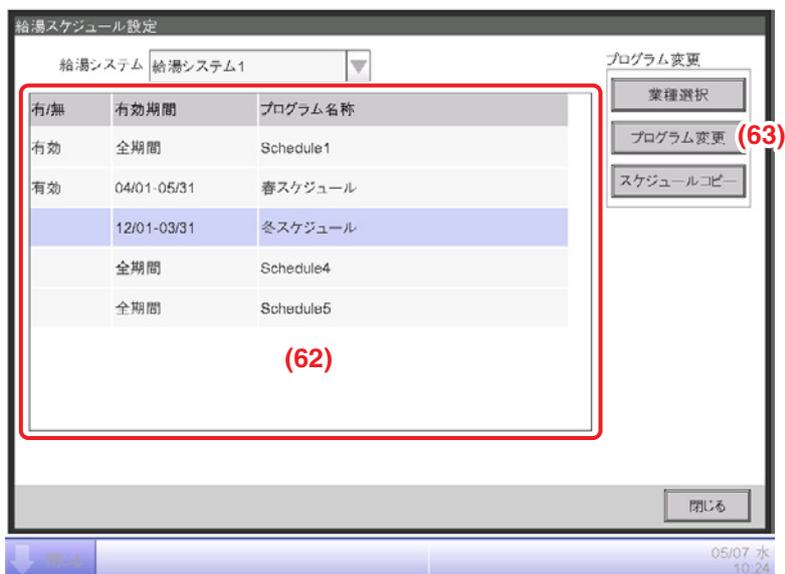


(61) 閉じるボタンをタッチしてスケジュール編集画面に戻ります。

これで、冬スケジュールが作成できました。

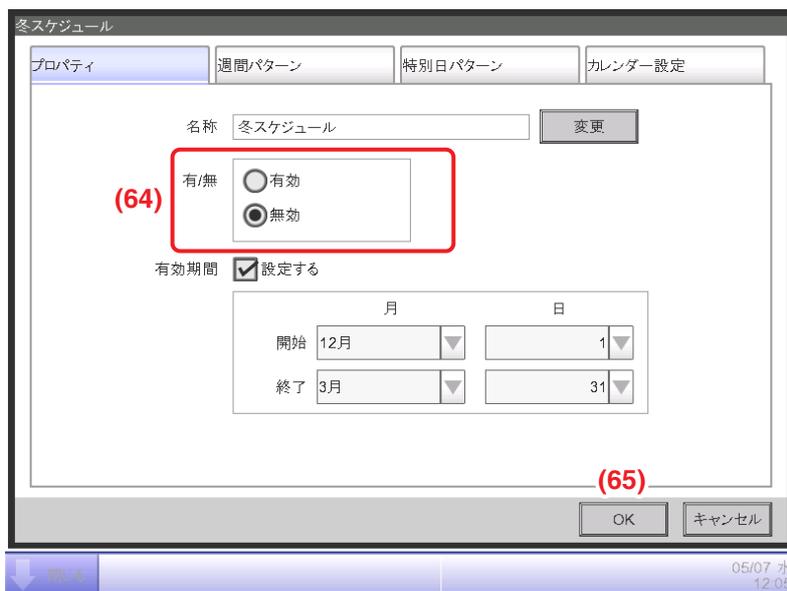
(60) OKボタンをタッチして、給湯スケジュール設定画面へ戻ります。

## 9. スケジュールの有効



(62) スケジュール情報一覧表示から「冬スケジュール」を選択します。

(63) プログラム変更ボタンをタッチして、プロパティタブを表示させます。



(64) 有/無ラジオボタンで「有効」を選択します。

これで「春スケジュール」と「冬スケジュール」の設定が終了しました。

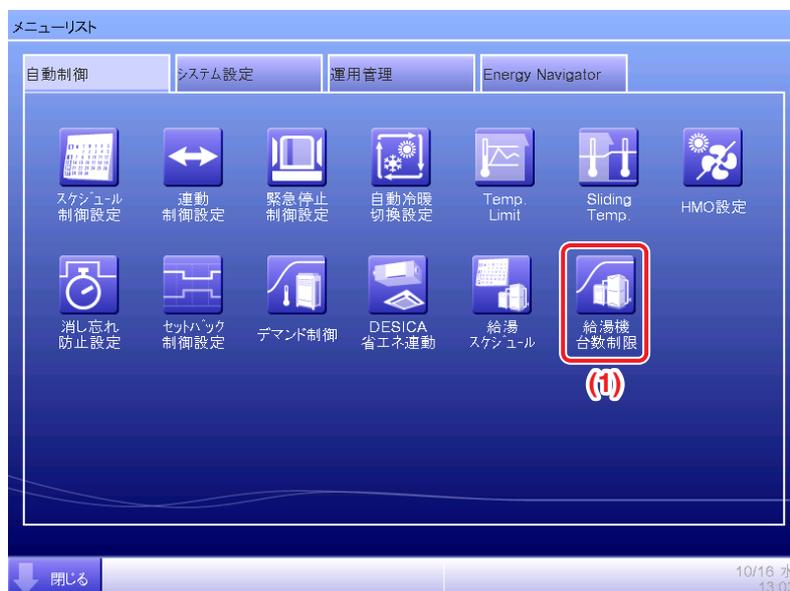
(65) OKボタンをタッチして給湯スケジュール設定画面に戻ります。

### NOTE

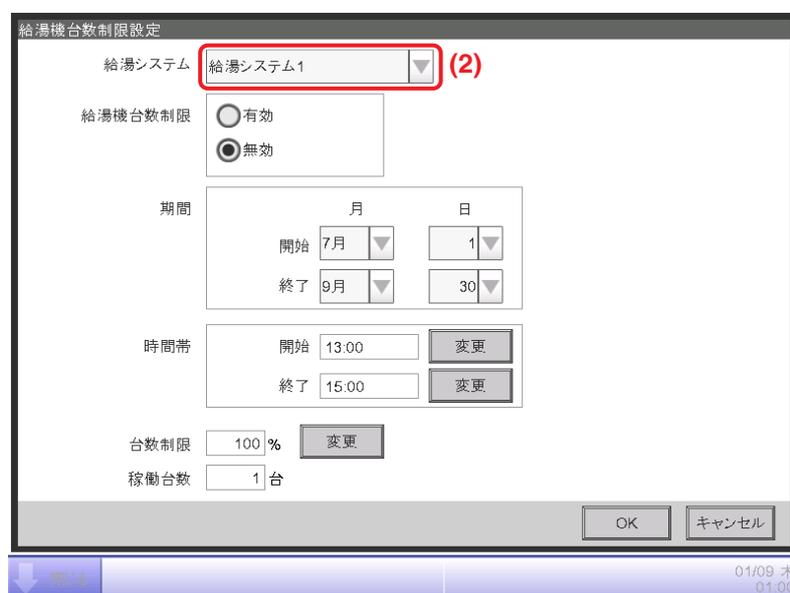
スケジュール情報一覧で、先頭以外のスケジュールで有効に設定した有効期間が重複した場合は、「給湯スケジュールの有効期間が重なっています」のエラーメッセージが表示されます。

## 13-5 給湯機台数制限の設定

給湯機台数制限を設定すると、その期間は接続されているヒートポンプ給湯機の運転台数を制限できます。(満蓄運転には反映されません。)



1. メニューリスト画面の自動制御タブで (1) 給湯機台数制限ボタンをタッチします。  
給湯機台数制限設定画面が表示されます。



2. 給湯機台数制限設定画面の (2) コンボボックスから給湯システムを選択します。  
(給湯システムがひとつの場合、選択できません。)

3. **(3) 給湯機台数制限**ラジオボタンで「有効」・「無効」を設定します。

4. **(4) 期間**コンボボックスで**開始**時期と**終了**時期を選択します。

各コンボボックスで選択可能な範囲は次のとおりです。

月：1月/2月/3月/4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月

日：1～31 (実在しない日は選択できません)

#### NOTE

- 給湯機台数制限開始・終了期間を2月29日に設定した場合、うるう年以外は3月1日として設定します。
- 24時間給湯機台数制限は、開始22：00、終了22：00  
(12h表示の場合は、開始PM10：00、終了PM10：00)に設定します。

5. **(5) 時間帯**表示の**変更**ボタンをタッチします。日時入力ダイアログを表示して、給湯機台数制限を有効にする時間帯を入力します。

入力可能範囲は1時間刻みで00：00～23：00

(12h表示の場合はAM00：00～PM11：00)です。

---

6. **(6) 台数制限の変更**ボタンをタッチします。数字入力ダイアログを表示して、稼働させる給湯機の台数をパーセンテージで入力します。

台数制限を入力すると、**(7) 稼働台数**に稼働可能な台数を表示します。

例) 100% : すべてのヒートポンプ給湯機運転可

50% : すべてのヒートポンプ給湯機の半分のみ運転可

0% : すべてのヒートポンプ給湯機運転禁止

※3台で60%の場合は、1台運転になります。(小数点は切捨てになります。)

※1台の場合は、0%のとき運転停止し、それ以外の場合は運転します。

7. 設定が終われば **(8) OK**ボタンをタッチして画面を閉じます。

#### NOTE

給湯機台数制限を設定すると、湯切れ防止のため目標水位を先読みして、内部的に目標水位を変更する場合があります。

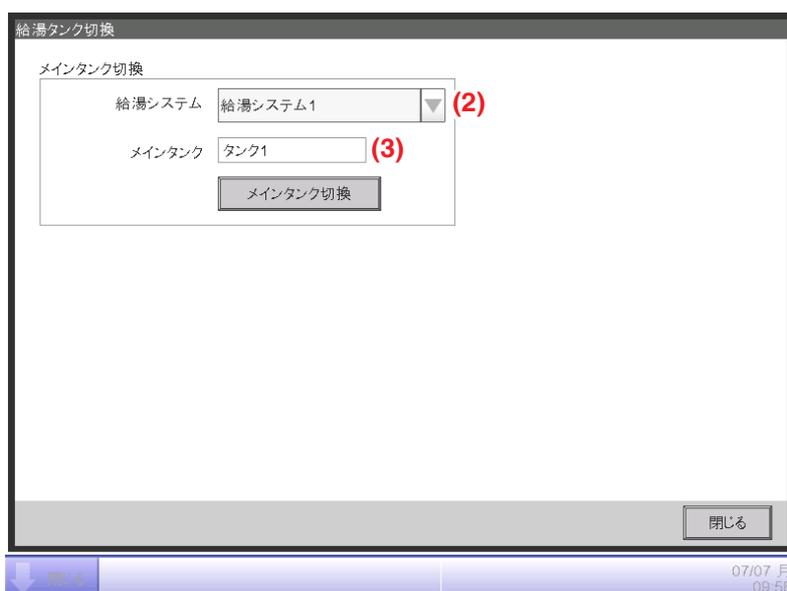
## 13-6 メインタンクの切換

2タンクシステムで、メインの貯湯タンクを清掃・点検する場合、メインタンクとサブタンクを切り換える必要があります。

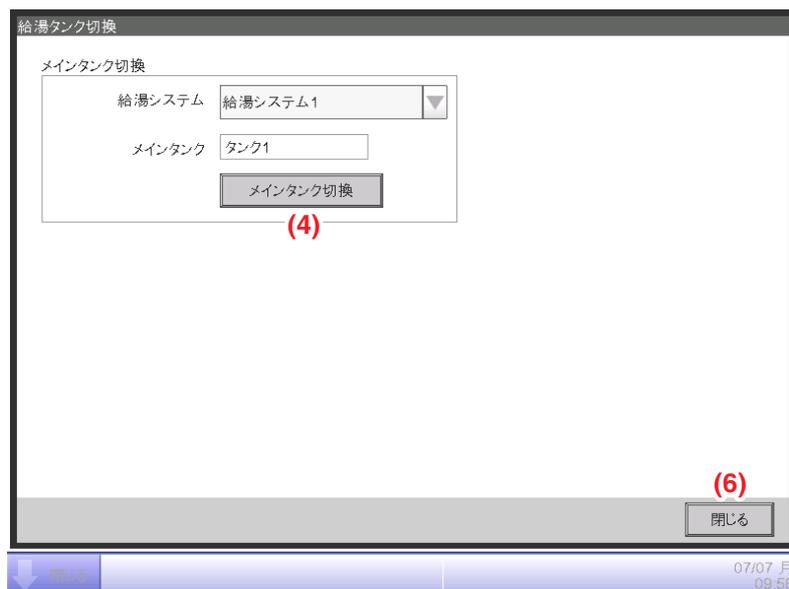
また、メインタンクの異常時に、メインタンクとサブタンクを切り換えることで応急運転が可能です。



1. メニューリスト画面の**システム設定**タブで **(1) 給湯タンク切換**ボタンをタッチします。  
給湯タンク切換画面が表示されます。



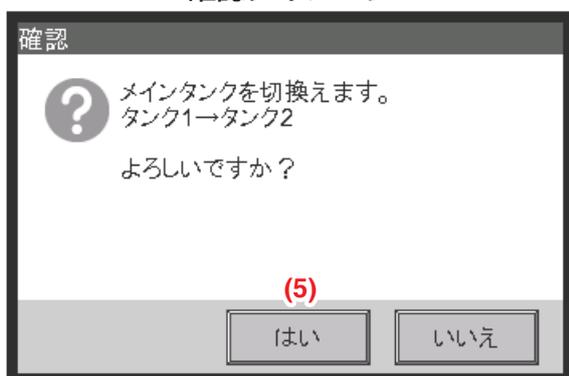
2. 給湯タンク切換画面の **(2) コンボボックス**から給湯システムを選択します。  
(給湯システムがひとつの場合、選択できません。)
- (3) メインタンク**表示エリアに現在のメインタンクが表示されます。



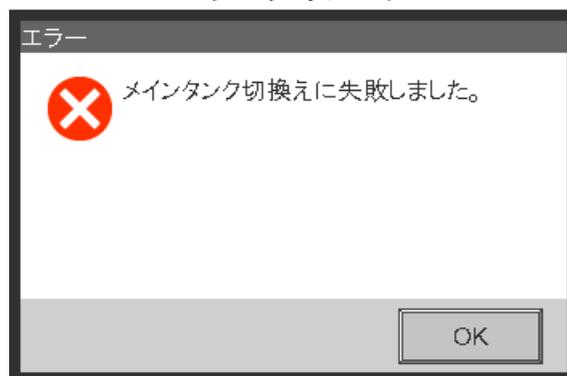
3. (4) **メインタンク切換**ボタンをタッチします。

次の確認ダイアログが表示されるので、(5) **はい**ボタンをタッチするとタンクを切り換えます。タンクの切換えに失敗した場合は、次のエラーダイアログが表示されます。

<確認ダイアログ>



<エラーダイアログ>



4. 正常に切換えが終了したら、(6) **閉じる**ボタンで画面を閉じます。

5. 給湯詳細情報画面でメインタンクが変更されていることを確認します。

NOTE

- タンクの切換えは給湯システムが停止中でないと行えません。  
タンクを切り換えるときは、給湯システムメイン画面で一度給湯システムを停止してから行い、タンクを切り換えたあとに再度運転してください。
- どちらか一方または両方の貯湯タンクが通信異常または電源遮断時、タンクを切り換えることはできません。タンクの切換えに失敗すると、エラーダイアログが表示されるので、OKボタンをタッチしてください。

## 13-7 給湯運転データの出力

メニューリスト画面の**運用管理**タブを表示します。

(4-5 メニューリスト画面：運用管理タブ参照)



1. (1) 給湯運転データ出力ボタンをタッチします。
2. 「給湯運転データファイルを保存しますか?」という確認ダイアログが表示されるので、iTM本体にUSBメモリを接続して、**はい**ボタンをタッチします。
3. 給湯運転データ保存には、1Gバイトあたり約60分かかります。  
「**ファイルを保存しました。**」の表示で終了です。閉じるボタンをタッチして画面を閉じます。

<USBメモリに保存されるデータ>

MEGAQDataフォルダーが保存されます。

MEGAQDataフォルダーには、給湯システムごとにフォルダーが作成され運転データファイルが保存されています。

### NOTE

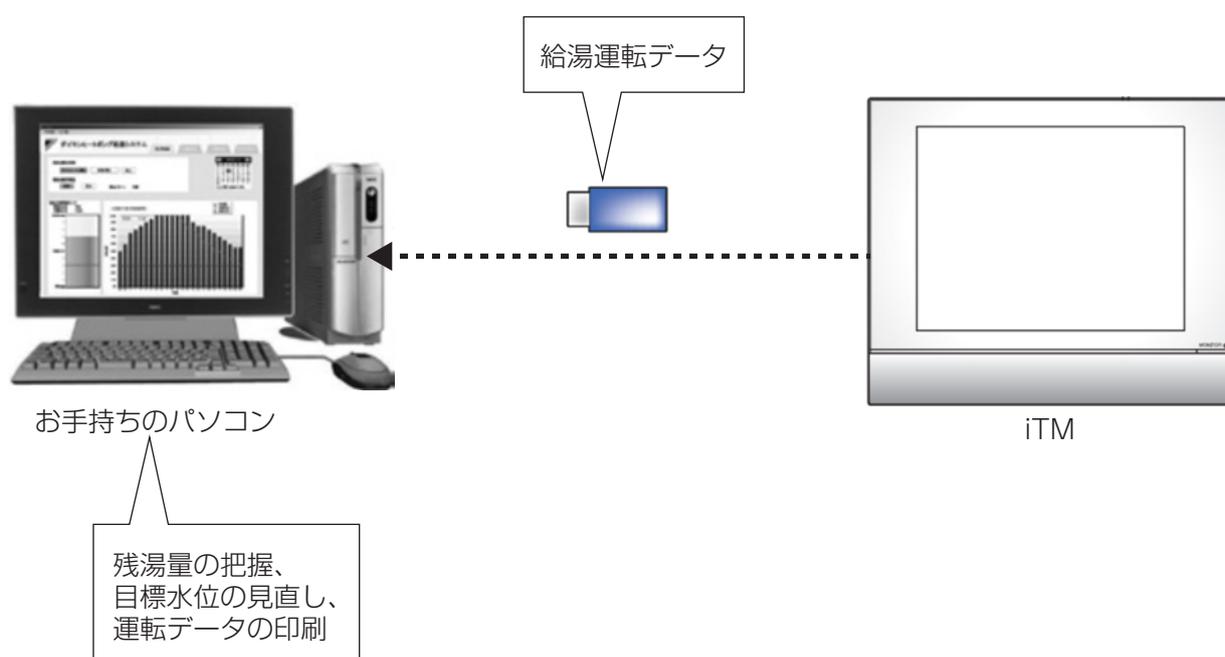
- 給湯運転データは、1年以上経過すると自動で削除されます。  
定期的に給湯運転データの取り出しを行ってください。
- Web遠隔管理画面から給湯運転データ出力はできません。  
(Web遠隔管理画面では給湯運転データ出力ボタンが表示されません。)
- 使用するUSBメモリは、給湯システムが1システムの場合は2Gバイト以上、2システムの場合は4Gバイト以上の空き容量が必要です。

## 13-8 給湯運転データの確認

給湯システム機能では、運転データモニタソフトを使用することができます。

運転データモニタソフトをお持ちのパソコンにインストールし、iTMの給湯運転データをUSBメモリに保存します。給湯運転データを保存したUSBメモリをパソコンに接続し、読み込ませることで、給湯システムの運転状況を把握することができます。

給湯システムの運転状況を把握することによって、残湯量の確認、目標水位の確認を行い、効率よく給湯システムを稼働させるためのスケジュール設定の見直しを行います。



iTMには、最大1年分の給湯運転データが蓄積されます。

パソコンに取り込んだ運転データは、最大7年分保存されます。

7年以上の運転データを保存したい場合は、パソコンに保存された運転データの退避をしてください。

### NOTE

Web遠隔管理機能での給湯運転データ出力はできません。

---

## 確認できる項目

運転データモニタソフトの画面は4つの画面から構成されており、それぞれの画面で確認できる項目は下記になります。

各画面は、給湯システムごとに表示します。

	タンク水位画面	日報作成画面	月報作成画面	省エネお知らせ画面
運転パターン	○	○	○	○
目標水位	○	○		○
残湯量	○	○	○	○
最低水位設定	○	○		
設定出湯温度	○	○	○	○
設定タンク湯温	○	○	○	○
能力設定	○	○	○	
給湯機稼働率		○	○	
給湯機夜間活動率			○	
再加熱稼働率		○	○	
使用量		○		
給湯負荷		○	○	○
外気温度		○	○	
推奨水位				○
異常履歴		○	○	

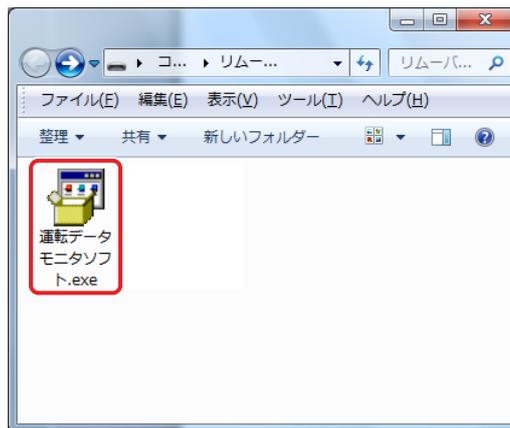
各画面の詳細は、運転データの表示方法をご覧ください。

本機能を利用するために必要なパソコンのスペックは周辺機器仕様表 (CB15A003) をご覧ください。

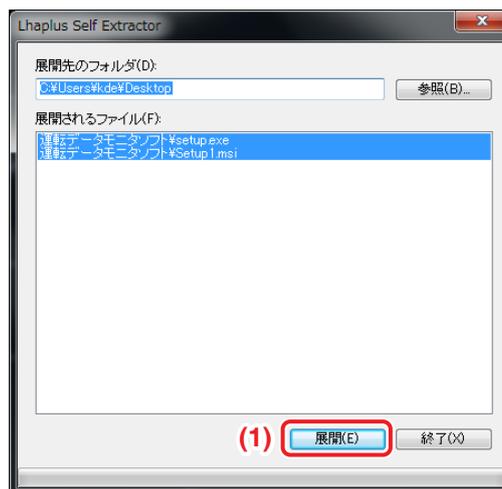
## 運転データモニタソフトのインストール

お手持ちのパソコンに、運転データモニタソフトをインストールします。  
運転データモニタソフトは、サービスマンが用意したCDなどからお手持ちのパソコンに  
運転データモニタソフトをコピーして、インストール作業を行います。

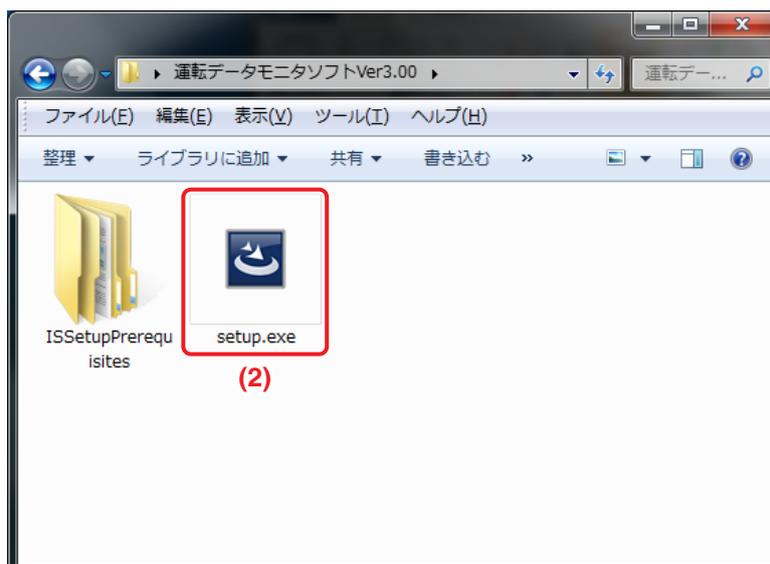
1. CDなどに入っている「**運転データモニタソフト.exe**」をパソコンの任意の場所に  
コピーします。※拡張子(.exe)は、表示されない場合があります。  
表示の有無は、パソコン表示の設定によります。



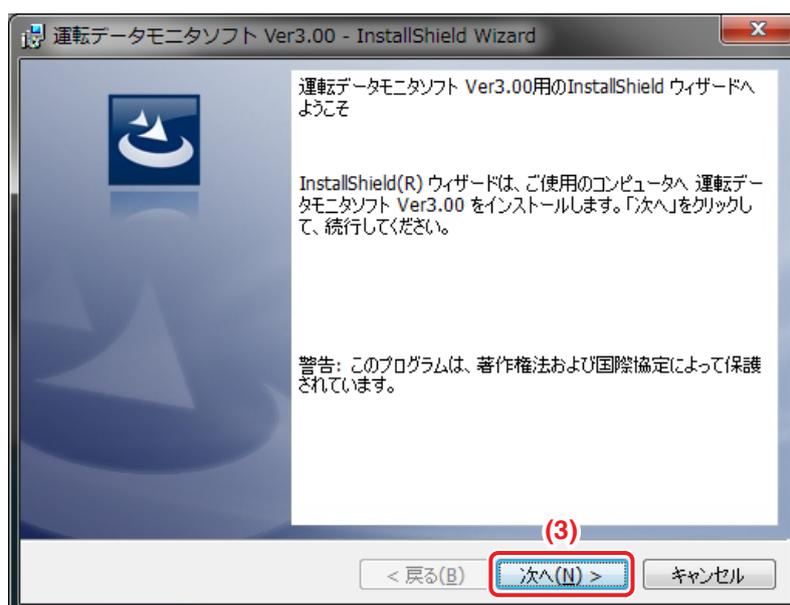
2. パソコンにコピーした「**運転データモニタソフト.exe**」をダブルクリックします。  
ユーザーアカウント制御画面が表示され、「次の不明な発行元からのプログラムに  
このコンピュータへの変更を許可しますか?」と聞かれますので、はいボタンをクリックします。  
以下の画面が表示されます。



3. **(1) 展開**ボタンをクリックします。  
運転データモニタソフトフォルダーが作成されます。  
作成される場所は、**展開先のフォルダ**で指示した場所になります。

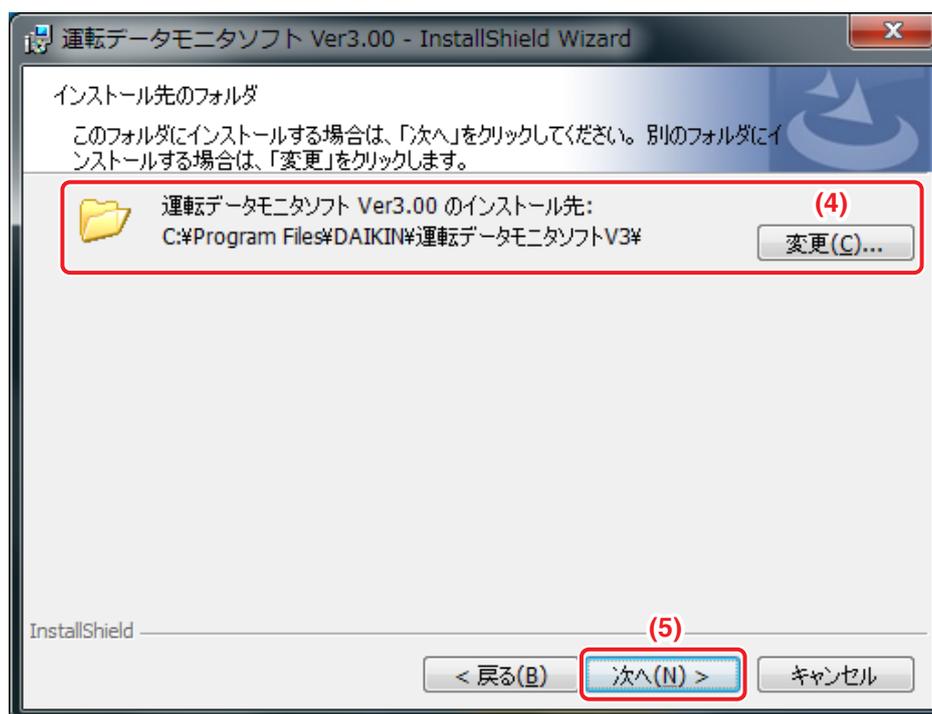


4. フォルダーにある、**(2) setup.exe**をダブルクリックします。  
**setup.exe**をダブルクリックすると、下記の画面が表示されます。



5. **(3) 次へ**ボタンをクリックします。

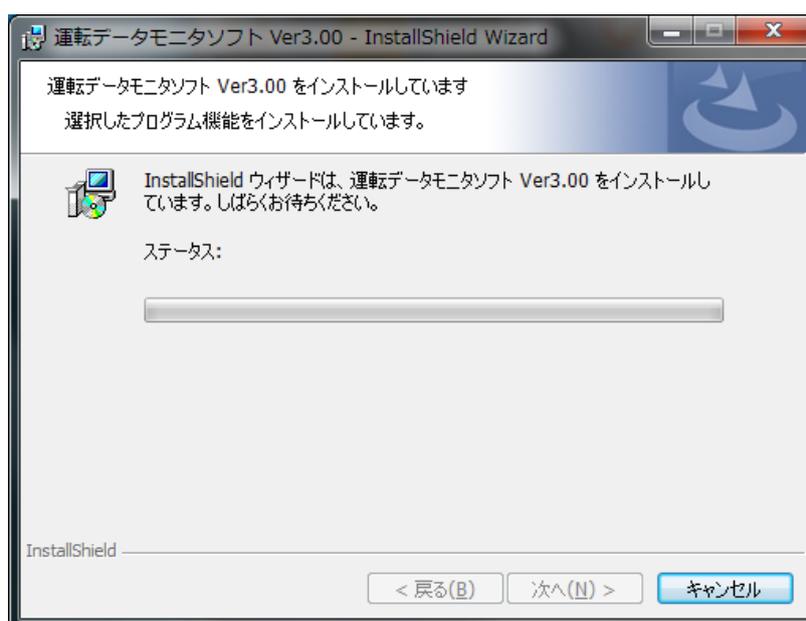
以下の画面が表示されます。



6. 運転データモニタソフトのインストール場所を (4) で選択します。  
通常は変更する必要がありません。

設定が完了したあとに、(5) 次へボタンをクリックします。

7. 運転データモニタソフトのインストールが始まります。  
インストール中は以下の画面が表示されます。



- 
8. インストールが完了すると、下図の画面が表示され、デスクトップ上に「運転データモニタソフト監視盤プログラム」のショートカットが作成されます。



9. **(6) 閉じる** ボタンをクリックします。

以上で、運転データモニタソフトのパソコンへのインストールは完了です。  
次に、運転データモニタソフトの設定を行います。

## 運転データモニタソフトの設定方法

運転データモニタソフトを使用可能にする設定をします。

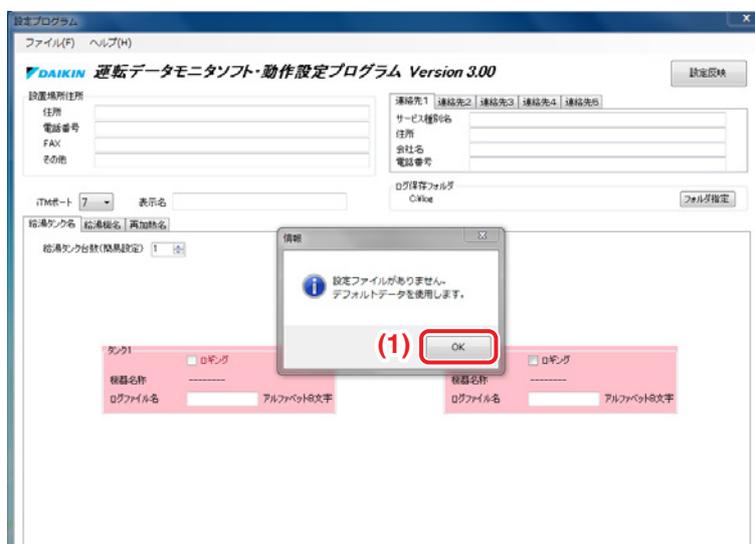
運転データモニタソフトは、「動作設定プログラム」でお使いの給湯システムの給湯機器の台数や、設置場所などの情報を設定します。

1. インストールが完了し、インストール完了画面を閉じると動作設定プログラム起動画面が表示されます。

情報ダイアログが表示されますので、**(1) OK**ボタンをクリックします。

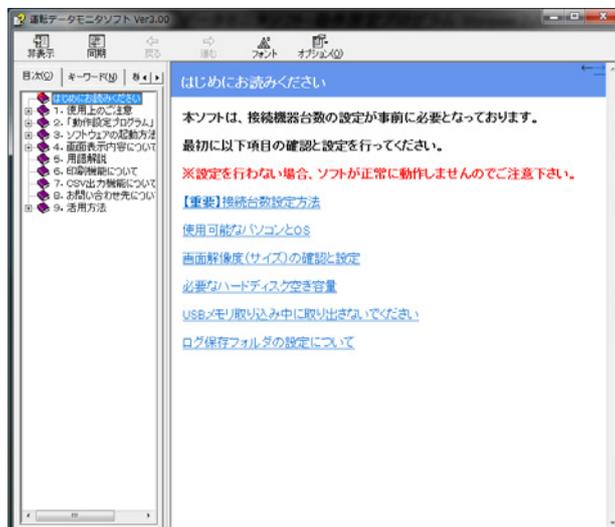
- 「スタートメニュー」-「すべてのプログラム」-「DAIKIN」-「運転データモニタソフト Ver3.\* \*」からでも動作設定プログラムを起動できます。（\* \*には数字が入ります。）

### <動作設定プログラム起動画面>



2. ヘルプ画面が表示されますので、必要に応じて、ヘルプ機能も使用しながら、運転データモニタソフトの設定作業を進めます。

### <ヘルプ画面>



3. 動作設定プログラム画面で、(2) のiTMポートから給湯システムのポートを選択し、お使いの給湯機器の台数を設定します。

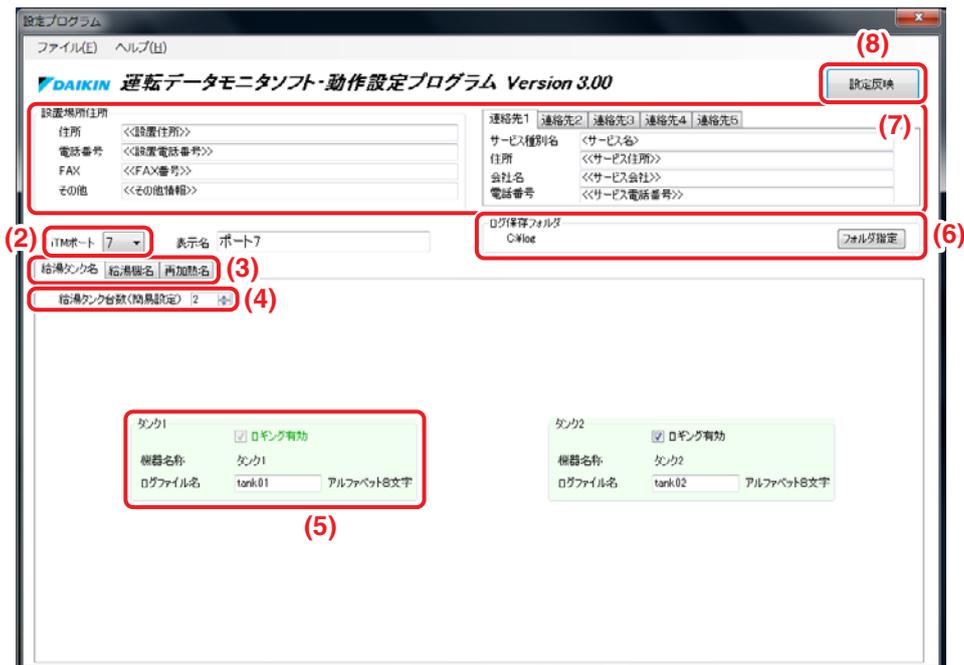
ご使用の給湯システム分設定をしてください。

最大構成台数：貯湯タンク…………… 2台(初期値：2台)

ヒートポンプ給湯機…12台(初期値：1台)

再加熱ユニット……………12台(初期値：0台)

### <動作設定プログラム画面(給湯タンク名タブ)>



(3) のタブで各給湯機器を切り換えて、台数を設定します。

- **給湯タンク名**：貯湯タンクの台数を設定します。
- **給湯機名**：ヒートポンプ給湯機の台数を設定します。
- **再加熱名**：再加熱ユニットの台数を設定します。

(4) で台数を設定します。設定した台数に応じて (5) の色が変わります。

(次ページの動作設定プログラム画面(給湯機名)参照)

- 有効な給湯機器：緑色で表示されます。
- 無効な給湯機器：ピンク色で表示されます。

4. (6) でUSBメモリから取り込んだ運転データ(ログデータ)の保存場所を設定します。

特に希望の保存場所がない場合は、このままで問題ありません。

5. (7) で設置場所の住所とサービス連絡先を入力します。

- サービス連絡先は、5カ所まで入力することができます。
- 入力できる文字数(全角・半角どちらでも)：設置場所住所……………29文字まで  
サービス連絡先…27文字まで

6. 設定が完了したあとに、(8) の**設定反映**をクリックして、設定を反映します。

## ＜動作設定プログラム画面（給湯機名タブ）＞

設定プログラム  
ファイル(E) ヘルプ(H)

**DAIKIN 運転データモニタソフト・動作設定プログラム Version 3.00** 設定反映

設置場所住所  
住所 <<設置住所>>  
電話番号 <<設置電話番号>>  
FAX <<FAX番号>>  
その他 <<その他情報>>

連絡先1 連絡先2 連絡先3 連絡先4 連絡先5  
サービス種別名 <<サービス名>>  
住所 <<サービス住所>>  
会社名 <<サービス会社>>  
電話番号 <<サービス電話番号>>

iTMポート 7 表示名 ポート7

ログ保存フォルダ C:\log フォルダ指定

給湯機台数(簡易設定) 1 (4)

給湯機名	再加熱名
給湯機1 機器名称 給湯機1 ログファイル名 HSRC01	給湯機2 機器名称 給湯機2 ログファイル名 HSRC02
給湯機3 機器名称 給湯機3 ログファイル名 HSRC03	給湯機4 機器名称 給湯機4 ログファイル名 HSRC04
給湯機5 機器名称 給湯機5 ログファイル名 HSRC05	給湯機6 機器名称 給湯機6 ログファイル名 HSRC06
給湯機7 機器名称 給湯機7 ログファイル名 HSRC07	給湯機8 機器名称 給湯機8 ログファイル名 HSRC08
給湯機9 機器名称 給湯機9 ログファイル名 HSRC09	給湯機10 機器名称 給湯機10 ログファイル名 HSRC10
給湯機11 機器名称 給湯機11 ログファイル名 HSRC11	給湯機12 機器名称 給湯機12 ログファイル名 HSRC12

## ＜動作設定プログラム画面（再加熱名タブ）＞

設定プログラム  
ファイル(E) ヘルプ(H)

**DAIKIN 運転データモニタソフト・動作設定プログラム Version 3.00** 設定反映

設置場所住所  
住所 <<設置住所>>  
電話番号 <<設置電話番号>>  
FAX <<FAX番号>>  
その他 <<その他情報>>

連絡先1 連絡先2 連絡先3 連絡先4 連絡先5  
サービス種別名 <<サービス名>>  
住所 <<サービス住所>>  
会社名 <<サービス会社>>  
電話番号 <<サービス電話番号>>

iTMポート 7 表示名 ポート7

ログ保存フォルダ C:\log フォルダ指定

再加熱台数(簡易設定) 0 (4)

再加熱名	再加熱名
再加熱1 機器名称 再加熱1 ログファイル名 REHE01	再加熱2 機器名称 再加熱2 ログファイル名 REHE02
再加熱3 機器名称 再加熱3 ログファイル名 REHE03	再加熱4 機器名称 再加熱4 ログファイル名 REHE04
再加熱5 機器名称 再加熱5 ログファイル名 REHE05	再加熱6 機器名称 再加熱6 ログファイル名 REHE06
再加熱7 機器名称 再加熱7 ログファイル名 REHE07	再加熱8 機器名称 再加熱8 ログファイル名 REHE08
再加熱9 機器名称 再加熱9 ログファイル名 REHE09	再加熱10 機器名称 再加熱10 ログファイル名 REHE10
再加熱11 機器名称 再加熱11 ログファイル名 REHE11	再加熱12 機器名称 再加熱12 ログファイル名 REHE12

7. 情報ダイアログが表示されますので、**(8)** OKボタンをクリックします。

### <情報ダイアログ>



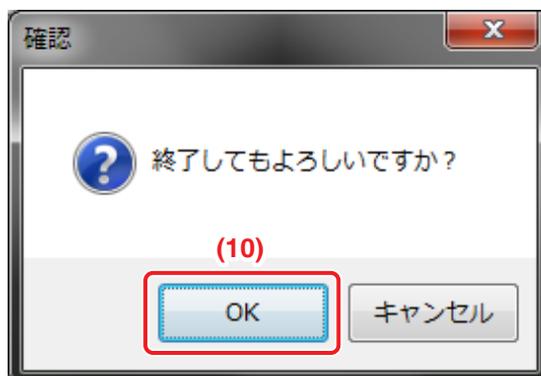
8. 動作設定プログラムを終了するには、**(9)** ×ボタンをクリックします。

### <動作設定プログラム画面>



9. 確認ダイアログが表示されますので、**(10)** OKボタンをクリックします。

### <確認ダイアログ>



動作設定プログラムが終了します。

## 運転データの表示方法

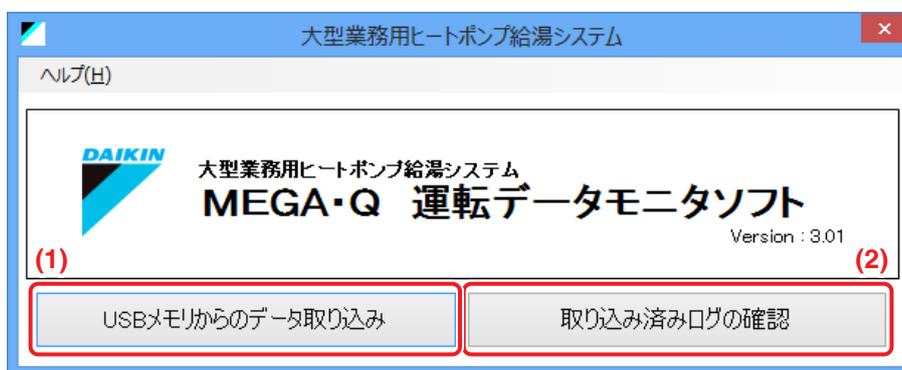
1. 運転データモニタソフトをインストールしたパソコンに、給湯運転データを保存したUSBメモリを接続し、運転データを読み込みます。  
給湯運転データのUSBへの保存方法は、13-7 給湯運転データの出力をご覧ください。
2. デスクトップ上に作成されている「運転データモニタソフトVer3.\*\*監視盤プログラム」のショートカットをダブルクリックします。(\*\*には数字が入ります。) または、「スタートメニュー」-「すべてのプログラム」-「DAIKIN」-「運転データモニタソフトVer3.\*\*」-「監視プログラム」からでも起動できます。

### <「運転データモニタソフト監視盤プログラム」のショートカット>



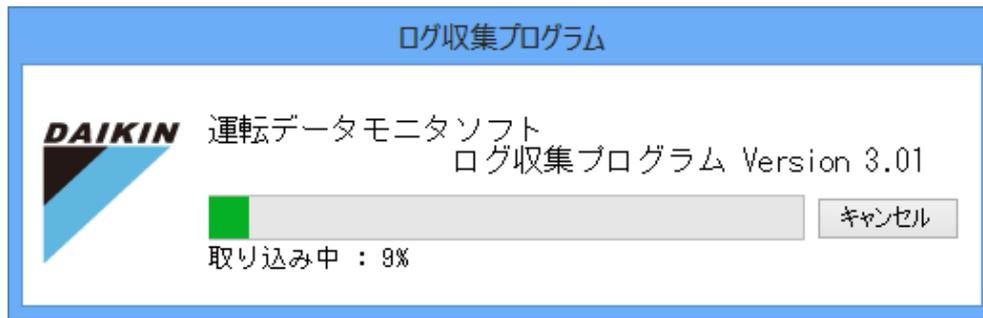
監視プログラムが起動すると監視盤プログラム起動画面が表示されます。

### <監視盤プログラム起動画面>



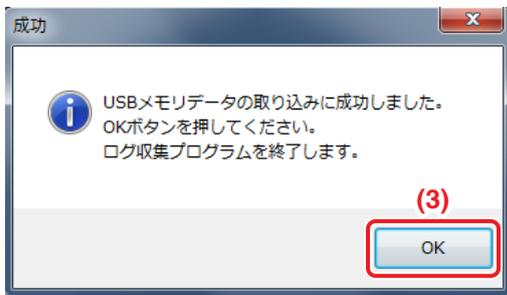
3. (1) **USBメモリからのデータ取り込み**ボタンをクリックします。  
USBメモリから運転データを自動で取り込みます。  
運転データを取り込み中は、運転データ取り込み中画面が表示されます。

<運転データ取り込み中画面>



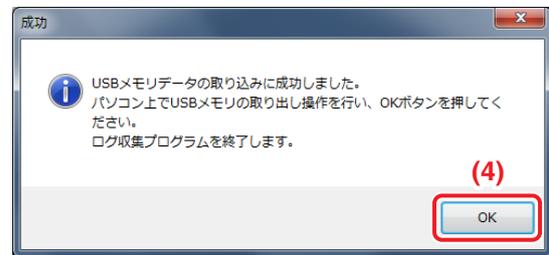
取込みが完了し、USBメモリをパソコンから取り外し可能な状態になると、下記の運転データ取り込み完了画面が表示されます。

<運転データ取り込み完了画面>



- この画面が表示されたときは、パソコンからUSBメモリを取り外してから、**(3) OKボタンをクリックしてください。**

<運転データ取り込み完了画面>



- この画面が表示されたときは、パソコン上でUSBメモリを取り出します。パソコンからUSBメモリを取り外してから、**(4) OKボタンをクリックしてください。**

4. **(2) 取込み済ログの確認**ボタンをクリックすると、運転データが表示されます。

## 各画面の構成

### ■タンク水位画面



#### エリア (1)

システムからタンク水位表示をするiTMポートを切り換えることができます。

#### エリア (2)

タブをクリックして表示させたい画面に切り換えることができます。

#### エリア (3)

カレンダーから表示させたい日を選択することができます。

#### エリア (4)

カレンダーで選択された日の「運転状態」・「運転パターン」・「設定出湯温度」・「設定タンク湯温」・「能力設定」を表示します。

選択された日の21時59分または最新のデータ(※1)を表示します。

※1：21時59分のデータが存在しない場合

#### エリア (5)

カレンダーで選択された日の時刻ごとの「残湯量」・「目標水位」・「最低水位設定値」をグラフで表示します。データがない時刻は、表示されません。

1日は、カレンダーで選択された日の前日の22時00分から21時59分となり、各時刻の00分のデータを表示します。

#### エリア (6)

カレンダーで選択された日の終わり(22時00分)または最新の時間(※2)の「残湯量」と「目標水位」を表示します。

※2：22時00分のデータが存在しない場合

エリア (5) の21時データは、21時00分のデータを表示しますので、エリア (6) のデータとは異なります。

## ■日報画面

DAIKIN MEGA-Q 運転データモニターソフト

日作年月日: 2016年12月 8日

運転パターン: Schedule1 月  
 設定タンク湯温: 60.0℃  
 設定出湯温度: 標準

設定最低水位: 40%  
 能力設定: 省エネ

本日の給湯負荷: 11.1 kWh  
 夜間稼働率: 73%

時刻	外気温度	目標水位	残湯量	給湯機稼働率	使用量	給湯負荷
22:00	3.3℃	50%	69%	87%	0.97 m <sup>3</sup>	0.1 kW
23:00	2.9℃	100%	77%	89%	1.99 m <sup>3</sup>	0.1 kW
0:00	2.7℃	100%	82%	89%	1.72 m <sup>3</sup>	0.1 kW
1:00	2.2℃	100%	88%	89%	0.28 m <sup>3</sup>	0.0 kW
2:00	3.0℃	100%	98%	63%	1.01 m <sup>3</sup>	0.1 kW
3:00	3.2℃	100%	100%	89%	0.00 m <sup>3</sup>	0.0 kW
4:00	3.7℃	100%	100%	89%	0.00 m <sup>3</sup>	0.0 kW
5:00	4.9℃	100%	100%	24%	0.00 m <sup>3</sup>	0.0 kW
6:00	4.8℃	100%	100%	0%	0.00 m <sup>3</sup>	0.0 kW
7:00	3.1℃	100%	100%	32%	0.68 m <sup>3</sup>	0.0 kW
8:00	3.1℃	70%	98%	75%	0.68 m <sup>3</sup>	0.0 kW
9:00	6.7℃	70%	96%	0%	1.03 m <sup>3</sup>	0.1 kW
10:00	8.5℃	70%	93%	0%	1.03 m <sup>3</sup>	0.1 kW
11:00	9.9℃	70%	90%	6%	0.68 m <sup>3</sup>	0.0 kW
12:00	9.7℃	70%	88%	89%	0.68 m <sup>3</sup>	0.0 kW
13:00	12.0℃	70%	86%	14%	2.06 m <sup>3</sup>	0.1 kW
14:00	10.3℃	70%	80%	86%	0.68 m <sup>3</sup>	0.0 kW
15:00	11.9℃	70%	78%	4%	1.03 m <sup>3</sup>	0.1 kW
16:00	12.0℃	70%	75%	0%	0.00 m <sup>3</sup>	0.0 kW
17:00	10.1℃	70%	75%	47%	0.68 m <sup>3</sup>	0.0 kW
18:00	8.3℃	70%	73%	89%	0.34 m <sup>3</sup>	0.0 kW
19:00	9.7℃	40%	72%	19%	0.68 m <sup>3</sup>	0.0 kW
20:00	9.4℃	40%	70%	0%	1.37 m <sup>3</sup>	0.1 kW
21:00	8.0℃	50%	66%	9%	1.72 m <sup>3</sup>	0.1 kW

異常履歴

No.	発生時間	異常コード	異常ユニット
1	16:22	C3-01	タンク1
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

### エリア (1)

システムから日報作成するiTMポートを切り換えることができます。

### エリア (2)

タブをクリックして、表示させたい画面に切り換えることができます。

### エリア (3)

日報年月日で選択された日の運転データを確認することができます。

また、お湯の使用量を確認することもできます。

「運転パターン」・「設定出湯温度」・「設定タンク湯温」・「設定最低水位」・「能力設定」は、同一日での最新データが表示されます。

データが存在しない時刻は、「-」表示になります。

### エリア (4)

フリー記載欄です。印刷するときに使用します。

### エリア (5)

日報年月日で選択された日に発生した異常履歴を表示します。

## ■月報画面

(1) システム(S) ヘルプ(H)

(2) 日別作成 月報作成 省エネお知らせ

(3) 月報年月: 2016/12 集計

日	運転パターン	設定出湯温度	設定タンク湯温	能力設定	給湯負荷	残湯量	給湯機(平均稼働)	給湯機(夜間稼働)	平均外気温度	
1	Schedule1	月	標準	600 °C	省エネ	0.9 kWh	68 %	40 %	66 %	12.4 °C
2	Schedule1	火	標準	600 °C	省エネ	0.9 kWh	68 %	46 %	66 %	11.1 °C
3	Schedule1	水	標準	600 °C	省エネ	1.0 kWh	69 %	47 %	72 %	8.4 °C
4	Schedule1	木	標準	600 °C	省エネ	0.9 kWh	72 %	49 %	73 %	8.3 °C
5	Schedule1	金	標準	600 °C	省エネ	1.0 kWh	67 %	45 %	77 %	8.5 °C
6	Schedule1	土	標準	600 °C	省エネ	1.0 kWh	66 %	47 %	77 %	5.5 °C
7	Schedule1	日	標準	600 °C	省エネ	0.8 kWh	73 %	42 %	69 %	6.2 °C
8	Schedule1	月	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	66 %	45 %	73 %	6.8 °C
9	Schedule1	火	標準	600 °C	省エネ	1.3 kWh	66 %	51 %	81 %	6.3 °C
10	Schedule1	水	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	66 %	50 %	81 %	7.2 °C
11	Schedule1	木	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	64 %	50 %	79 %	8.5 °C
12	Schedule1	金	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	67 %	51 %	82 %	8.7 °C
13	Schedule1	土	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	66 %	51 %	77 %	6.8 °C
14	Schedule1	日	標準	600 °C	省エネ	1.0 kWh	68 %	46 %	76 %	5.3 °C
15	Schedule1	月	標準	600 °C	省エネ	1.2 kWh	99 %	58 %	75 %	5.1 °C
16	Schedule1	火	標準	600 °C	省エネ	0.8 kWh	95 %	38 %	44 %	3.8 °C
17	Schedule1	水	標準	600 °C	省エネ	0.6 kWh	92 %	34 %	32 %	5.4 °C
18	Schedule1	木	標準	600 °C	省エネ	0.9 kWh	72 %	49 %	73 %	8.3 °C
19	Schedule1	金	標準	600 °C	省エネ	1.0 kWh	67 %	45 %	77 %	8.5 °C
20	Schedule1	土	標準	600 °C	省エネ	1.0 kWh	66 %	47 %	77 %	5.5 °C
21	Schedule1	日	標準	600 °C	省エネ	0.8 kWh	73 %	42 %	69 %	6.2 °C
22	Schedule1	月	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	66 %	45 %	73 %	6.8 °C
23	Schedule1	火	標準	600 °C	省エネ	1.3 kWh	66 %	51 %	81 %	6.3 °C
24	Schedule1	水	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	66 %	50 %	81 %	7.2 °C
25	Schedule1	木	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	64 %	50 %	79 %	8.5 °C
26	Schedule1	金	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	67 %	51 %	82 %	8.7 °C
27	Schedule1	土	標準	600 °C	省エネ	1.1 kWh	66 %	51 %	77 %	6.8 °C
28	Schedule1	日	標準	600 °C	省エネ	1.0 kWh	68 %	46 %	76 %	5.3 °C
29	Schedule1	月	標準	600 °C	省エネ	1.2 kWh	99 %	58 %	75 %	5.1 °C
30	Schedule1	火	標準	600 °C	省エネ	0.8 kWh	95 %	38 %	44 %	3.8 °C
31	Schedule1	水	標準	600 °C	省エネ	0.6 kWh	92 %	34 %	32 %	5.4 °C
合計						35.1 kWh				
平均							73 %	53 %	73 %	7.0 °C

(4) メモ

(5) 異常履歴

No.	発生日	異常コード	異常ユニット
1	12月8日	C3-01	タンク1
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

### エリア (1)

システムから月報作成するiTMポートを切り換えることができます。

### エリア (2)

タブをクリックして、表示させたい画面に切り換えることができます。

### エリア (3)

月報年月日で選択された月を選択します。選択後、**集計**ボタンをクリックします。

選択された月の日々の運転データを確認することができます。

「運転パターン」・「設定出湯温度」・「設定タンク湯温」・「能力設定」は、データが存在しない時刻は、「-」表示になります。

### エリア (4)

フリー記載欄です。印刷するときに使用します。

**集計**ボタンをクリックしてデータ集計結果を表示後、入力することができます。

### エリア (5)

月報年月日で選択された月に発生した異常履歴を表示します。

## ■省エネお知らせ画面

省エネお知らせ

ファイル(F) システム(S) ヘルプ(H)

DAIKIN MEGA-Q 大型業務用ヒートポンプ給湯システム 運転データモニターソフト

タンク水位 日報作成 月報作成 省エネお知らせ

(3) 開始年月日 2014年11月27日 終了年月日 2014年12月16日 分析  
スケジュールパターン 1 運転パターン 火  
設定出湯温度 標準 設定タンク湯温 60.0°C

(4) タンク水位経過

時刻	平均外気温	平均目 標 水 位	平 均 残 湯 量	M I N 残 湯 量	M A X 残 湯 量	平 均 給 湯 負 荷	推 奨 水 位
22:00	6.5 °C	100 %	74 %	61 %	98 %	0.1 kW	--- %
23:00	6.5 °C	100 %	76 %	66 %	93 %	0.1 kW	--- %
0:00	7.0 °C	100 %	78 %	70 %	89 %	0.1 kW	--- %
1:00	6.0 °C	100 %	79 %	72 %	83 %	0.0 kW	--- %
2:00	5.3 °C	100 %	84 %	79 %	92 %	0.0 kW	--- %
3:00	4.6 °C	100 %	90 %	83 %	100 %	0.0 kW	--- %
4:00	5.4 °C	100 %	95 %	88 %	100 %	0.0 kW	--- %
5:00	5.3 °C	100 %	98 %	93 %	100 %	0.0 kW	--- %
6:00	5.7 °C	100 %	99 %	98 %	100 %	0.0 kW	--- %
7:00	5.8 °C	100 %	100 %	100 %	100 %	0.0 kW	--- %
8:00	6.5 °C	70 %	98 %	95 %	99 %	0.1 kW	--- %
9:00	7.8 °C	70 %	94 %	92 %	96 %	0.1 kW	--- %
10:00	8.8 °C	70 %	91 %	87 %	93 %	0.1 kW	--- %
11:00	9.0 °C	70 %	88 %	84 %	90 %	0.0 kW	--- %
12:00	9.8 °C	70 %	85 %	83 %	87 %	0.0 kW	--- %
13:00	9.8 °C	70 %	83 %	81 %	85 %	0.1 kW	--- %
14:00	9.5 °C	70 %	80 %	80 %	81 %	0.0 kW	--- %
15:00	9.5 °C	70 %	81 %	79 %	83 %	0.0 kW	--- %
16:00	8.5 °C	70 %	81 %	77 %	86 %	0.0 kW	--- %
17:00	6.8 °C	70 %	81 %	75 %	89 %	0.0 kW	--- %
18:00	6.6 °C	70 %	81 %	74 %	92 %	0.0 kW	--- %
19:00	6.9 °C	50 %	80 %	72 %	92 %	0.0 kW	--- %
20:00	6.0 °C	40 %	79 %	70 %	95 %	0.1 kW	--- %
21:00	5.7 °C	47 %	76 %	66 %	95 %	0.1 kW	--- %

### エリア (1)

システムから省エネお知らせ表示をするiTMポートを切り換えることができます。

### エリア (2)

タブをクリックして、表示させたい画面に切り換えることができます。

### エリア (3)

運転データを分析したい期間を選択します。その期間分の分析したい「スケジュールパターン」および「運転パターン」を選択し、**分析**ボタンをクリックします。

「設定出湯温度」・「設定タンク湯温」が、選択された期間での最新データを表示します。

### エリア (4)

分析結果を表示します。推奨水位を確認することができます。

## 運転データモニタソフトの活用方法

運転データモニタソフトを使用して、下記について確認することができます。

### ■省エネ性を高めたい

設定しているスケジュール設定にムダがないかを確認します。

#### 1. 残湯量と目標水位を確認する。

- 1日の終わりの残湯量が目標水位に対して多い場合は、昼間の目標水位が高めに設定され、昼間に生成する湯の量が多くなっている可能性があります。
- 各時刻の残湯量と目標水位から、過剰供給となっている時間は目標水位を下げるすることができます。
- 「省エネお知らせ画面」の推奨水位も参考にしながら、設定してください。

残湯量と目標水位を確認できる画面は、下記になります。

タンク水位画面	日報作成画面	月報作成画面	省エネお知らせ画面
○	○	×	○

#### 2. 湯の使用量の多い時間帯を確認する。

- 残湯量の少ない時間または給湯負荷の多い時間帯が、湯が多く使用されている時間帯です。給湯負荷の多い時間は、スケジュール設定で目標水位も高く設定します。
- 使用量を確認すれば、具体的な湯の量もわかります。

時間ごとの残湯量または使用量を確認できる画面は、下記になります。

タンク水位画面	日報作成画面	月報作成画面	省エネお知らせ画面
○	○	×	○

#### 3. 湯の使用量の多い曜日を確認する。

- 各曜日の給湯負荷を確認することで、一番多く使用される曜日を知ることができます。
- 給湯負荷の多い曜日は、スケジュール設定目標水位も高く設定します。  
逆に、給湯負荷の少ない曜日は、目標水位を低く設定します。

日ごとの給湯負荷を確認できる画面は、下記になります。

タンク水位画面	日報作成画面	月報作成画面	省エネお知らせ画面
×	×	○	×

#### 4. 夜間の給湯機の稼働率を確認する。

- 給湯機の稼働率から確認できます。  
給湯機(夜間)の稼働率が高いほど、夜間の電力を利用できていることになります。

夜間の給湯稼働率を確認できる画面は、下記になります。

タンク水位画面	日報作成画面	月報作成画面	省エネお知らせ画面
×	×	○	×

# お手入れについて

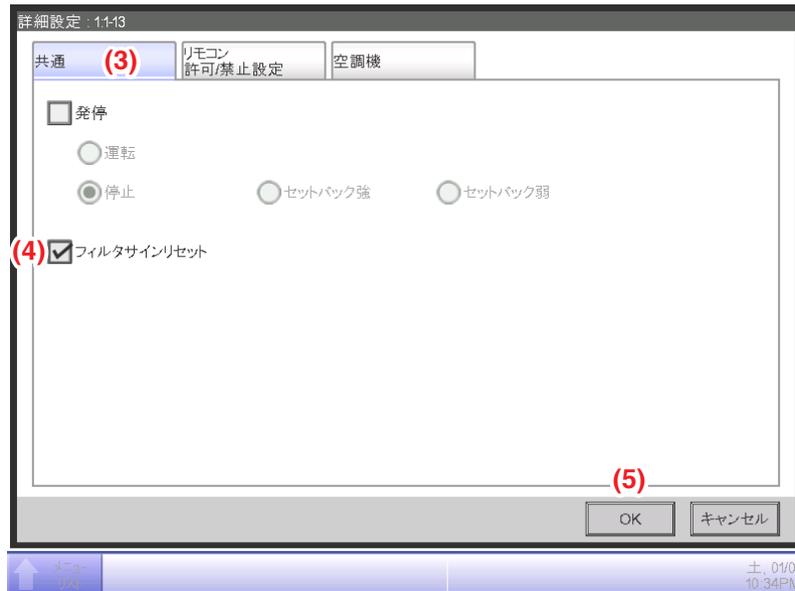
## 14. お手入れのしかた

### 14-1 フィルターサインのリセットのしかた

フィルターサインを表示している空調機を清掃後に、フィルターサインをリセットします。



1. 標準画面でフィルターサインを表示している (1) を選択し、(2) 操作ボタンをタッチします。詳細設定画面が表示されます。



2. 詳細設定画面で (3) 共通タブをタッチし共通画面を表示します。(4) フィルタサインリセットチェックボックスにチェックを入れ、リセットを有効にします。(5) OKボタンをタッチして画面を閉じます。

#### NOTE

フィルターサインが出ていないときは選択できません。

## 14-2 液晶表示部のお手入れのしかた

iTMの液晶表示部および本体が汚れたときには、柔らかい布に水でうすめた中性洗剤をしみこませて固くしぼり、汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

#### ⚠ 注意

- 中性以外の洗剤・有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)・消毒液(次亜塩素酸水など)などを使用しないでください。印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 固い布で強くこすると、液晶表示部に傷がつく場合があります。  
汚れは柔らかい布でふき取ってください。
- 液晶表示部に水滴や汚れが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。

---

## 14-3 給湯用貯湯タンクの清掃について

### ■ 1タンクシステムの場合

貯湯タンクのお湯を抜いて清掃する場合は、必ず以下のことをお守りください。

- 貯湯タンク入口の仕切弁を閉じ、給湯機器すべての電源を遮断して作業してください。仕切弁を閉めずに清掃すると、突然貯湯タンク内にお湯が入り、大変危険です。
- 貯湯タンク内部のセンサー・フロートスイッチに衝撃を与えないようにしてください。電源復帰時、正常に動作しない場合があります。
- 清掃がすべて終了しシステム復旧する場合は、清掃前に閉めた仕切弁が開いていることをご確認ください。

### ■ 2タンクシステムの場合

貯湯タンクが2基設置され、おののおにタンクセンサーキットが取り付けられ、仕切弁によって切り離す水回路の場合、仕切弁によって切り離すことでシステムを止めずに貯湯タンクの清掃ができます。

① iTMで清掃する側の貯湯タンクをサブタンクとして設定してください。

(清掃しない側の貯湯タンクをメインタンクに設定)

設定は、本書の13-6 メインタンクの切替をご覧ください。

(先に電源を遮断すると切替えができません。)

② 清掃する側のタンクセンサーキットの電源を遮断してください。

電源を遮断した貯湯タンクはスケジュール運転が満蓄運転を行った場合、

iTMに下記の異常が表示されますが、システム運転は可能です。

タンク1が電源遮断された場合：タンク1UE

タンク2が電源遮断された場合：タンク2UE

③ 貯湯タンク間の連結管、清掃する側の入口・出口の仕切弁を閉めてください。

閉めずに清掃すると、清掃時に突然貯湯タンク内にお湯が入り大変危険です。

④ 貯湯タンク内部のセンサー、フロートスイッチに衝撃を与えないようにしてください。

電源復帰時、正常に作動しないことがあります。

⑤ 清掃中は片側の貯湯タンクのみ供給となるため、湯切れ防止を考慮して、満蓄運転を選択してください。(13-2 給湯システムメイン画面参照)

⑥ もう片方の貯湯タンクを清掃する場合は、もう片方の貯湯タンクについて上記①～④の操作を行ってください。

⑦ 清掃がすべて終了しシステムを復旧する場合は、③で閉めた仕切弁がすべて開いていることを確認し、メインタンクをもとの設定に戻して運転してください。

(通常タンク1がメインタンクです。)

# 知っておいてください

## 15. 調子がおかしいときは

### 15-1 サービスを依頼される前に

<iTM本体について>

■ iTMの画面表示が消えた。

- 本体のMONITORボタンのLEDを確認してください。  
橙に点灯していればモニターOFFになっています。MONITORボタンを押してモニターONにしてください。LEDが緑の点灯になります。
- iTMのスクリーンセーバー設定で、バックライト自動OFFの設定をしているとき、一定時間画面に触れないと自動で画面を消灯します。  
指で画面に触れてください。再度画面が表示されます。

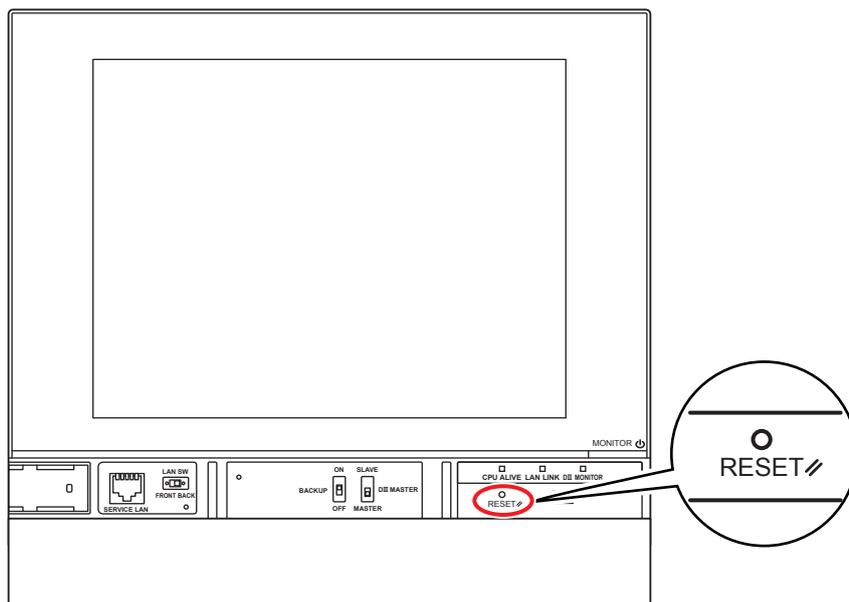
■ バックライトOFF設定をしているのにバックライトが消えない。

- バックライトOFFは標準画面表示中に、一定時間画面に触れない場合自動でOFFにする機能です。  
画面表示が「操作/詳細」「システム設定」などの場合は自動OFFしません。

■ iTMが操作・モニター不能になってしまった。

- 前面スライドカバーをずらして、iTM右下のリセットボタンを押してください。  
このスイッチを押すことにより、iTMは再起動します。

- このスイッチを押しても、エリア・管理点・スケジュールなどの設定内容は消えません。
- 按分機能を使用している場合、iTMの再起動中はパルス入力を受け付けることができません。また、デマンド機能を使用している場合、iTMの再起動後、遮断レベル8のデマンド制御がかかります。



---

■ iTMへの電源を遮断する。

- iTMへの電源のON・OFFは、手元開閉器のON・OFFで行います。  
iTM本体に電源供給をON・OFFするスイッチは付いておりません。

 **注意**

- 無理な力で、スイッチを押したりしないでください。部品の破損・故障の原因になります。
- iTMは静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊するおそれがありますので、操作前に体にたまった静電気を除去してください。静電気はアースされた金属部（制御盤など）に触れることにより除去できます。

■ システム異常が発生し、「セーフモード起動中SDカードが故障している可能性があります。」とエラーダイアログが表示される。

- ご購入店に修理を依頼してください。

<iTMの操作について>

■ 標準画面の操作で操作用のボタンではない部分をタッチして操作音が鳴る。

- iTMは画面のどこをタッチしても操作音が鳴るように設計しています。故障ではありません。

■ 画面を見ていると定期的に画面がちらついている。

- iTMは標準画面を表示させていると、空調機の現在の状態を表示させるために画面を3秒ごとに更新しています。更新のときに、画面がちらついて見えることがありますが、故障ではありません。

■ iTMの画面に触れて操作を行っても表示画面がなかなか更新されない。

- 接続している空調機との通信状態によっては、表示の更新に時間がかかる場合がありますが、数秒お待ちいただければ更新されます。

■ 液晶表示画面について。

- 液晶表示画面はとても精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しない画素抜けや常時点灯しているものがあります。また、液晶表示画面はその性質上、温度変化などで多少むらが発生することがあります。これは液晶パネル特有の現象であり、故障ではありませんのでご了承願います。

■ 標準画面で、エリアにフィルターサインが表示されていた。

- 空調機のフィルターを洗浄し、洗浄サインを手元リモコンでリセットしたにもかかわらず標準画面のフィルターサインが消えない。

標準画面においてエリアアイコンに表示されるフィルターサインは、エリア内の空調機すべてのフィルターがリセットされてはじめて消えるようになっています。

同一エリア内に、洗浄した空調機以外にも洗浄サインを表示している空調機がないかご確認ください。

■ 操作ボタンをタッチしても反応しないことがある。

操作ボタンをタッチしても反応しなかったり、操作ボタンでない場所をタッチして反応する場合

- タッチパネルを補正してください。(6-10 タッチパネルキャリブレーション参照)
- タッチする力を強くしてください。

■ 標準画面で、操作ボタンがタッチできない。

- 選択している管理点が「手動操作禁止」に設定されていませんか？

下図のようにリスト画面表示したときに「手動操作禁止」と表示されていれば「手動操作禁止」に設定されています。



■ リモコン許可/禁止設定が表示されない。

システム設定画面エリア／管理点一覧で設定温度制限が表示されない。

- 上位集中機器(マスターステーションⅢなど)を接続している場合は、リモコン許可/禁止設定、設定温度制限設定を行うことができません。または、iTMが2台接続されている場合、従設定側のiTMは、リモコン許可/禁止設定、設定温度制限設定を行うことができません。

■ iTMで手元リモコン操作禁止にしている状況で、iTMが故障し、空調機の運転・停止などの設定がまったくできない。

- 応急的対策として、iTMの電源を遮断してください。そうすることにより、5分程度で空調機の手元リモコンからすべて操作可能になります。

iTM以外にも集中制御機器がある場合は、いったんすべての集中制御機器の電源を遮断してください。

---

■ 室内機などが通信異常で表示されている。

- iTMを再起動した場合など、本体起動直後は室内機の状態が表示されない(通信異常)ことがあります。  
10分程度すると通常状態になりますのでしばらくお待ちください。

■ スケジュールが動作する日時になっても機器が設定どおりに動作しない。

- 集中監視画面で対象機器のアイコンが点検中になっていないか確認します。  
点検中の場合は、機器への指示をしません。  
点検終了後にシステム設定タブの点検中設定ボタンから点検中を解除します。
- 集中監視画面で対象機器のアイコンが緊急停止になっていないか確認します。  
緊急停止中の場合は、機器への指示をしません。  
緊急停止の解除方法は、8-3 緊急停止の設定をご覧ください。
- 運用管理タブの履歴ボタンをタッチして、スケジュールが動作する日時のおとに「コントローラー(名称)、起動(内容)」が履歴表示されていないか確認します。  
iTМ起動前に停電があった可能性があります。  
停電の場合は、機器への指示をしません。

■ USBメモリへのファイル書き込みが失敗してしまう。

iTMにはバックアップ機能や設定一括出力機能など、接続したUSBメモリにファイルを保存する機能が備わっています。

USBメモリへのファイル書き込みが失敗してしまう場合は、以下のような状態になっていないかご確認ください。

- 保存しようとしているUSBメモリの空き容量が十分ではない。  
USBメモリの空き容量を確認してください。
- 保存しようとしているUSBメモリが書き込み禁止になっている。  
書き込み禁止状態を解除して使用してください。  
解除方法については使用しているUSBメモリの取扱説明書などで確認してください。
- 保存しようとしているUSBメモリにすでに同名のファイルが存在している場合、  
下記のどれかを実施してください。  
すでにUSBメモリに保存されているファイルをパソコンへ移動する。  
すでにUSBメモリに保存されているファイルのファイル名を変更する。  
すでにUSBメモリに保存されているファイルを削除する。  
(削除しても良いファイルかよく確認してください)
- USBメモリがiTМに接続されていない。  
USBメモリをiTМに接続し、再度ファイル出力を実行してください。
- USBメモリへファイル出力中にUSBメモリを抜いてしまった。  
ファイル出力処理中にUSBメモリを抜かないでください。  
USBメモリをiTМに接続し、再度ファイル出力を実行してください。

## <空調機の動作について>

### ■ 空調機が運転しない。

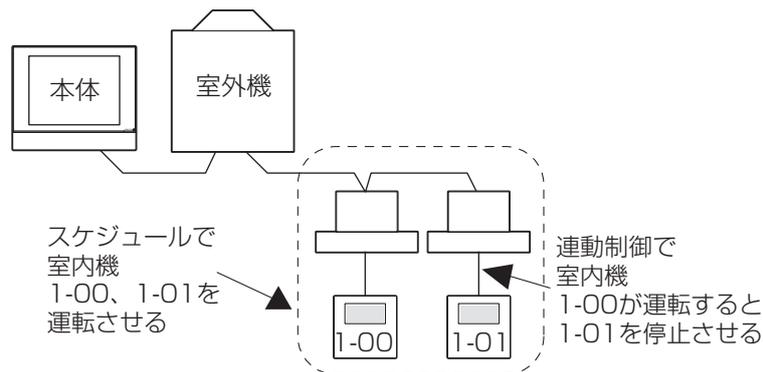
- 連動制御で空調機が停止している場合があります。連動制御の確認を行ってください。

以下のような場合、空調機1-01は運転されません。

(1-00・1-01共に運転されるが、その後1-01が連動制御により停止する。)

1-00 1-01スケジュールで室内機1-00、1-01を運転させる

連動制御で室内機1-00が運転すると1-01を停止させる



上記の場合、1-01をスケジュール設定で運転させたにもかかわらず、連動制御で停止してしまう。⇒運転していないように見える。

スケジュール設定・連動制御設定を行う場合は、ほかのスケジュールプログラム・連動制御プログラムを考慮したうえで検討してください。

### ■ iTMで室内機などを運転すると、別の機器が停止する。(想定外の動きをする)

- 連動制御の設定内容を確認してください。

室内機を運転時に別の機器を停止する連動制御が設定されている可能性があります。

下記の方法で設定内容をご確認ください。

1. 設定一括出力機能を使用して連動制御機能での設定内容を確認する。

設定一括出力機能については7-3 各機能の設定データ出力をご覧ください。

2. 履歴で該当機器の制御状態を確認する。

履歴機能については7-1 履歴の確認と出力をご覧ください。

■ リモコンで室内機が運転できなくなった。

- リモコン操作禁止の設定がされていませんか？

リモコン操作禁止の設定状態により室内機は運転/停止、運転モード、設定温度の変更などが行えなくなる場合があります。

リモコン操作禁止の設定状態は標準画面(一覧)や詳細設定画面のリモコン許可/禁止設定タブで確認ができます。(2-3 手元リモコン操作の許可、禁止の設定参照)

■ ルームエアコンの運転ができなくなった。

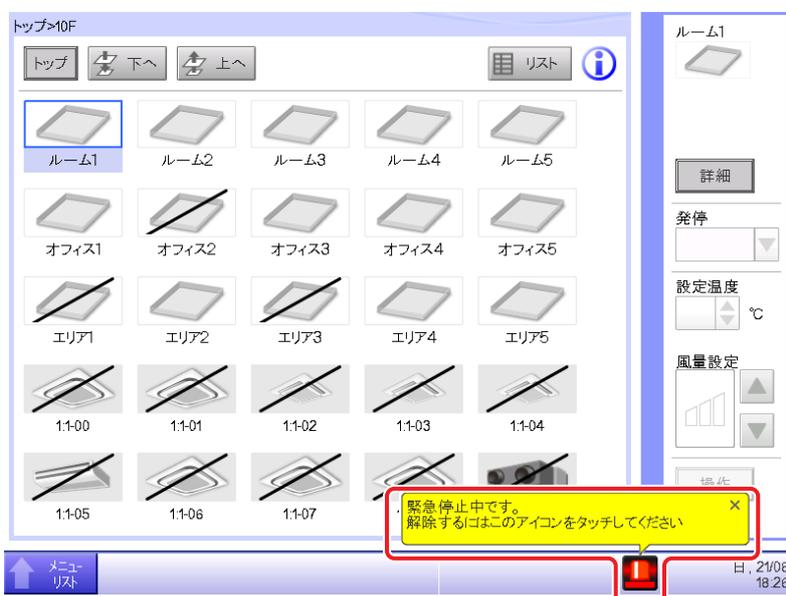
「リモコン許可/禁止設定」の「運転モード」を「禁止」にすると、「運転/停止」を「後押し優先」にしている場合、「運転/停止」および「設定温度」も「禁止」されます。

■ 標準画面で、エリアまたは室内機の運転操作ができなくなった。

- 下図のように標準画面に「緊急停止中」のアイコンが表示されていませんか？

緊急停止指令を入力されると、デフォルト設定の場合はiTMに接続されているすべての空調機が停止します。また、緊急停止指令を入力されている間は集中制御機器・手元リモコンどちらからも空調機を運転することはできません。

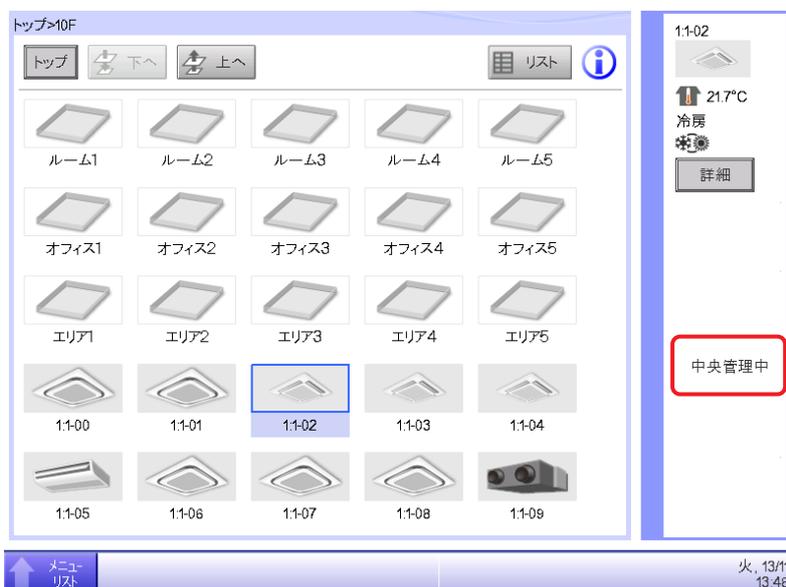
緊急停止入力指令が解除されると「緊急停止中」のアイコン表示が消えて、iTMからの操作が可能になります。



■ 標準画面で運転・停止などの空調機操作ができなくなった。

- 下図のように監視画面に「中央管理中」が表示されていませんか？

「中央管理中」は上位集中機器（マスターステーションⅢなど）から下位集中操作禁止を受け、上位集中を優先している場合、iTMは監視のみとなります。



■ iTMに表示される以下の項目は製品に搭載されているセンサーの値です。製品の設置状況によっては計測器で測定した値と異なる場合があります。十分ご理解のうえ各機能をご使用ください。

- 外気温
- 室温
- 室内湿度
- 室外湿度
- CO<sub>2</sub>

### <DESICAの動作について>

■ DESICAが停止せず標準画面のリスト表示で「換気運転中」と表示される。

- 運転停止後に外気循環運転を行っているためです。  
約20～100分間 換気運転中になります。
- 運転停止後に機内乾燥運転を行っているためです。  
約60分間 換気運転中になります。
- ナイトパーズ運転・24時間換気運転を「入」に設定しているためです。

■ 調湿モードを「換気」・「除湿」・「加湿」に切り換えても、自動で「調湿」運転になる。

- 外気温度が35℃以上のときに、「加湿」・「換気」に設定したためです。
- 外気温度が5℃以下のときに、「除湿」・「換気」に設定したためです。  
本体および室内吹出口に露がつくことを防止しています。

- iTMに表示されるDESICAの温度・湿度は、DESICA本体に内蔵された温湿度センサーの値をもとにしているため、実際の温度・湿度と異なる場合があります。  
十分ご理解のうえで使用ください。

#### 室内湿度・室温

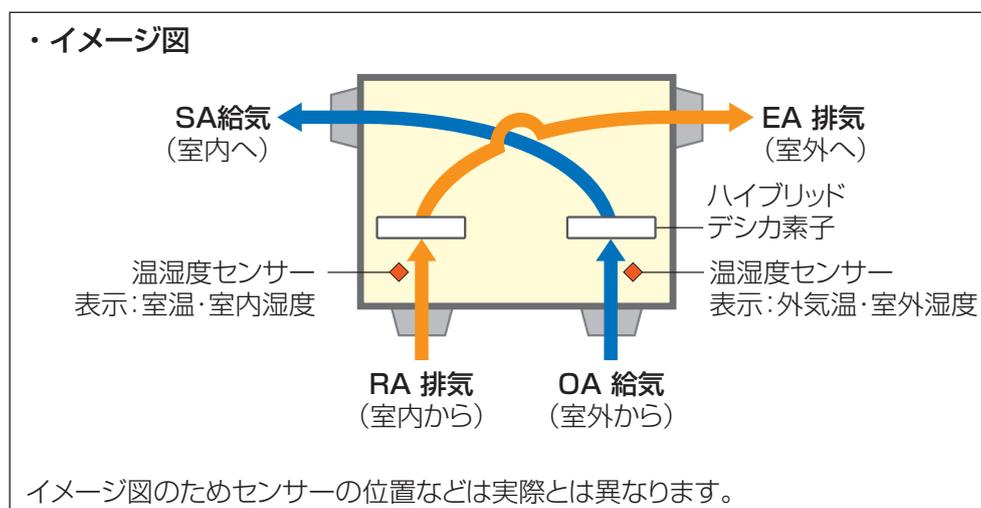
DESICAの室内吸込 (RA) 側の温度・湿度です。

検知湿度・温度は、設置環境の影響を受けることがあります。

#### 室外湿度・外気温

DESICAの室外吸込 (OA) 側の温度・湿度です。

検知湿度・温度は、設置環境 (直射日光など)、運転状況の影響を受けることがあります。



- DESICAと室内機をリモコングループしている場合、リモコンからは「換気」運転が可能です。iTMから「換気」運転を行うことはできません。  
また、リモコンで「換気」運転にした場合、iTMではDESICAとリモコングループされた室内機管理点の運転状態は、「送風」になります。  
運転状態は「送風」となりますが、iTMから「送風」運転を指示することで、室内機を「送風」運転に変更することは可能です。

連動制御をご使用時にリモコンで「換気」運転にした場合、iTMは「送風」運転と認識し、入力条件を室内機の「送風」運転に設定された連動プログラムが実行されることとなりますので、十分ご理解のうえで使用ください。

---

## <Webアクセス機能について>

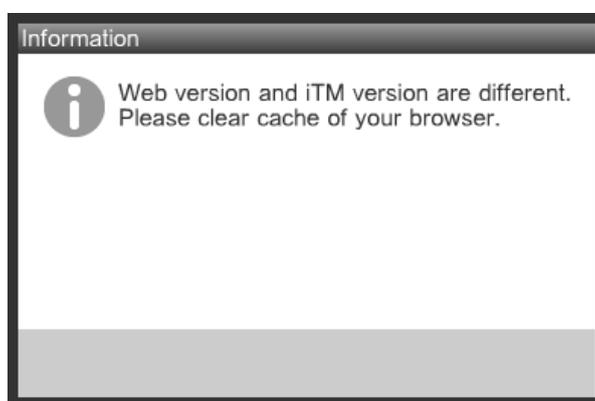
■ Webアクセス機能を使用したが、画面が正しく表示されなかった。

- ネットワーク設定が正しく行われていますか？

Webアクセス機能を使用する場合はネットワーク設定が正しく行われている必要があります。  
ネットワーク設定については9-1 ネットワーク設定をご覧ください。

- パスワードは\*または・として表示されます。区別はありません。
- 使用しているブラウザにキャッシュが残っていると正しく表示されない場合があります。

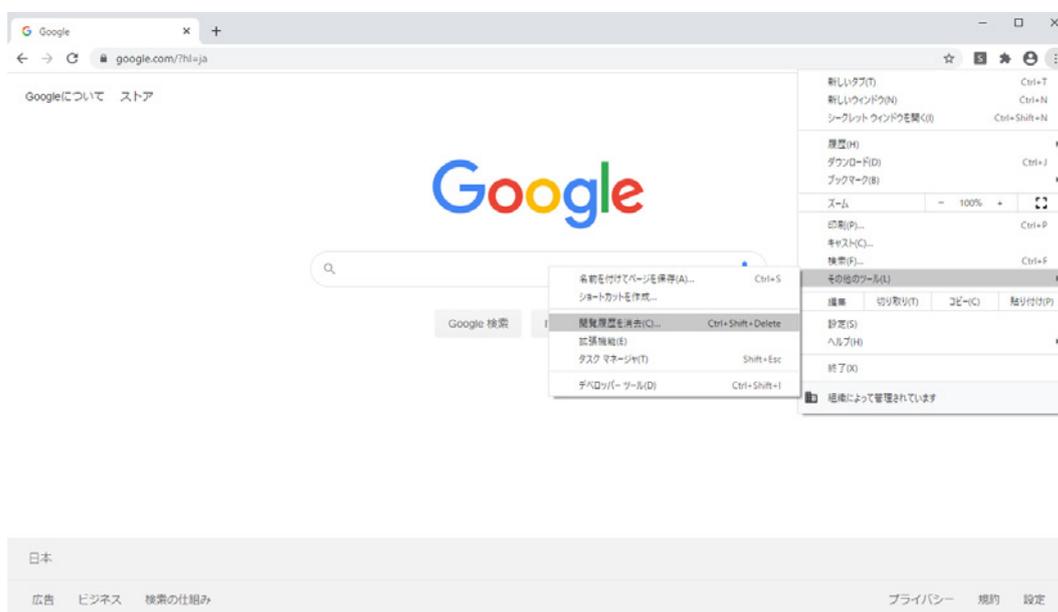
パソコンでiTMにアクセス時、ブラウザにキャッシュが残っている場合は、  
以下のようなメッセージが表示されます。



次ページの手順でブラウザのキャッシュを削除してください。

## <Google chromeの場合>

1. Google chromeの設定ツールより[その他のツール]-[閲覧履歴を消去]を選択する。

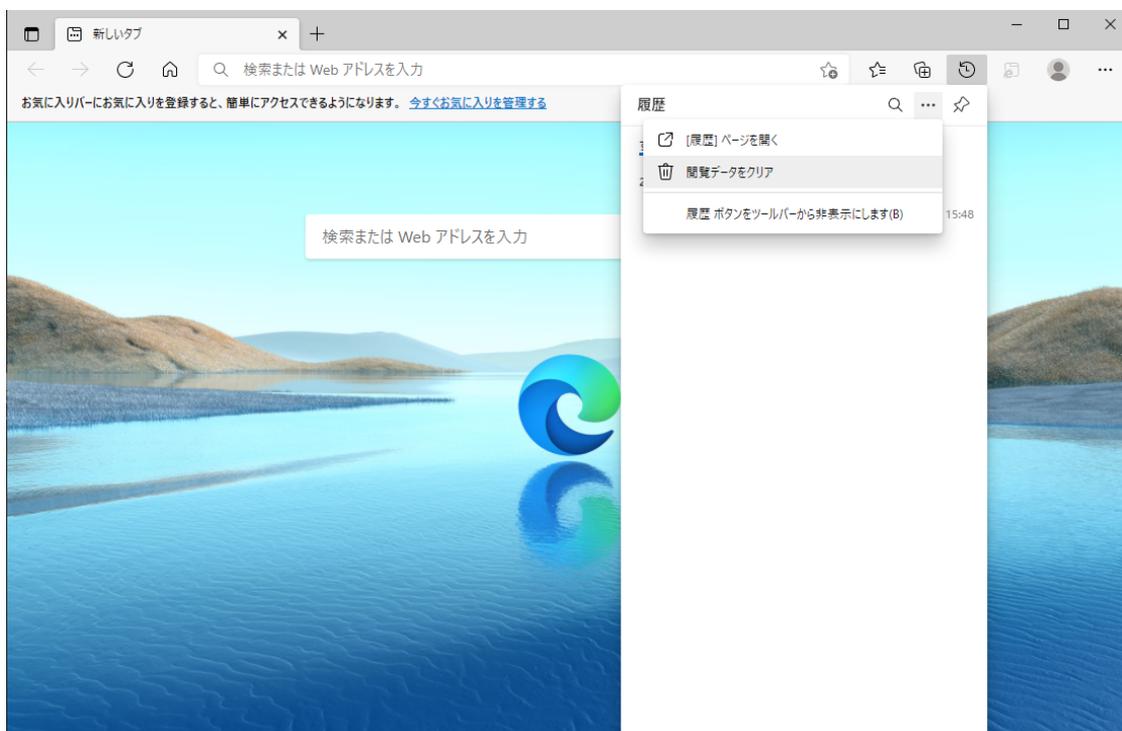


2. 期間で (1) 全期間を選択し、(2) 閲覧履歴、(3) Cookieと他のサイトデータ、(4) キャッシュされた画像とファイルを選択して (5) データを削除ボタンをクリックする。



## <Edge (Chromiumベース) の場合>

1. Edgeの設定ツールより[履歴]-[…]-[閲覧データをクリア]を選択する。



2. 時間の範囲を (1) すべての期間に設定し、(2) 閲覧の履歴、(3) Cookieおよびその他のサイトデータ、(4) キャッシュされた画像とファイルにチェックを入れ、(5) 今すぐクリアボタンを押下してください。



## ■ログインに失敗したとき、下記の原因があります。

(1) パスワードが間違っている

正しいパスワードを入力してください。

(2) すでに同じユーザーでログインしている

別のユーザーでログインしてください。

(3) 一般ユーザーの場合、すでに同時ログイン数の上限(16ユーザー)を超えている

別のユーザーがログアウトするのを待ってからログインしてください。

(4) 複数回パスワードを間違えて入力している

5分程度お待ちいただいて再度ログインしてください。

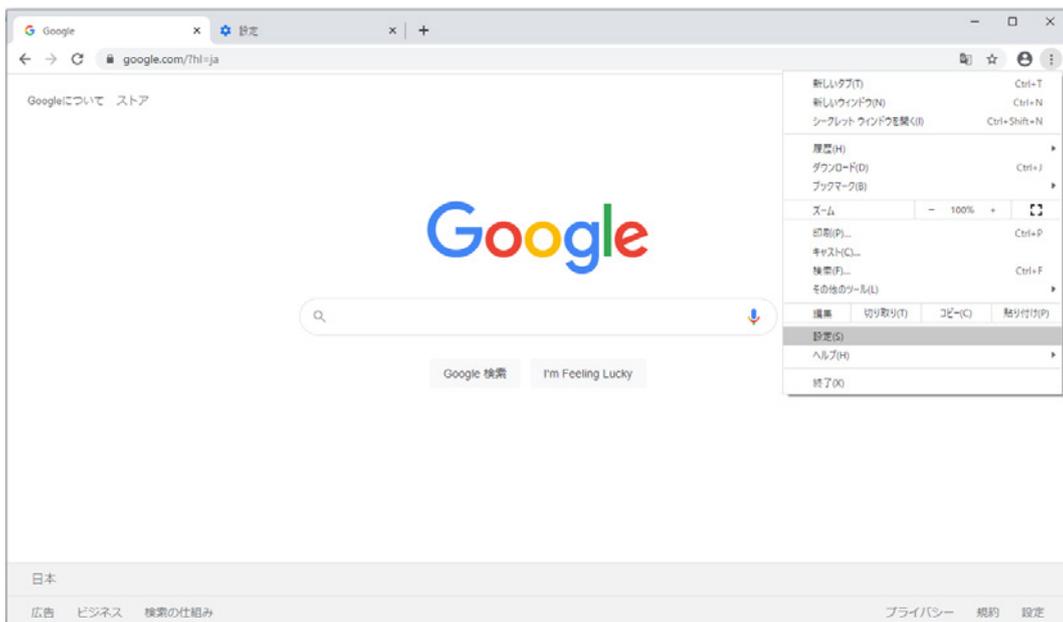
## ■Webアクセス機能でファイル保存を行ったときに、保存先ダイアログが表示されなかった。

- 使用しているブラウザの設定によっては正しく表示されない場合があります。

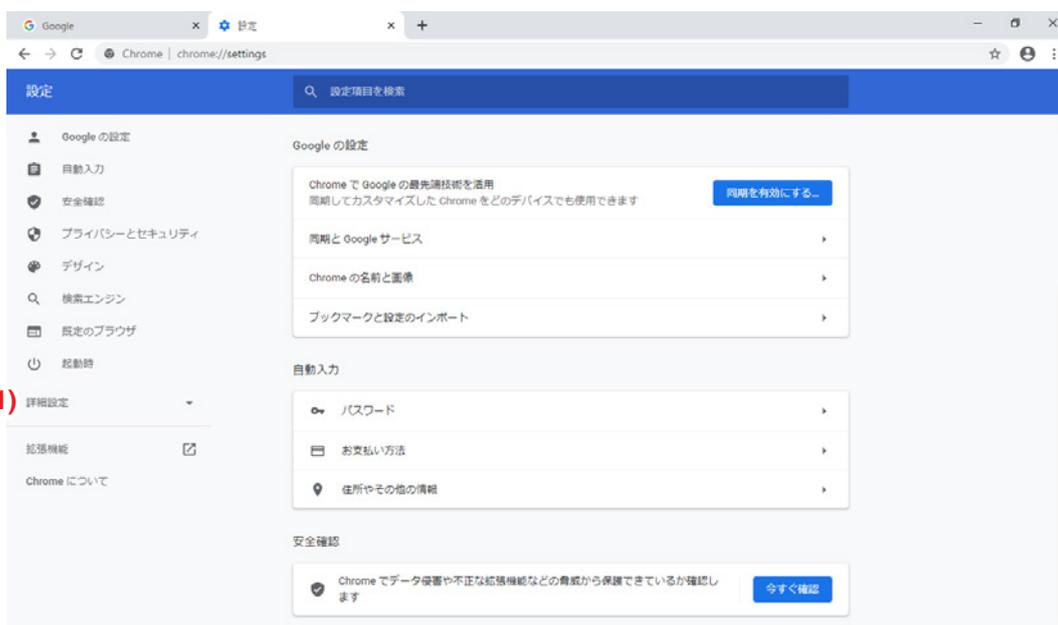
下記の手順でダウンロードの保存先を設定してください。

### <Google Chromeの場合>

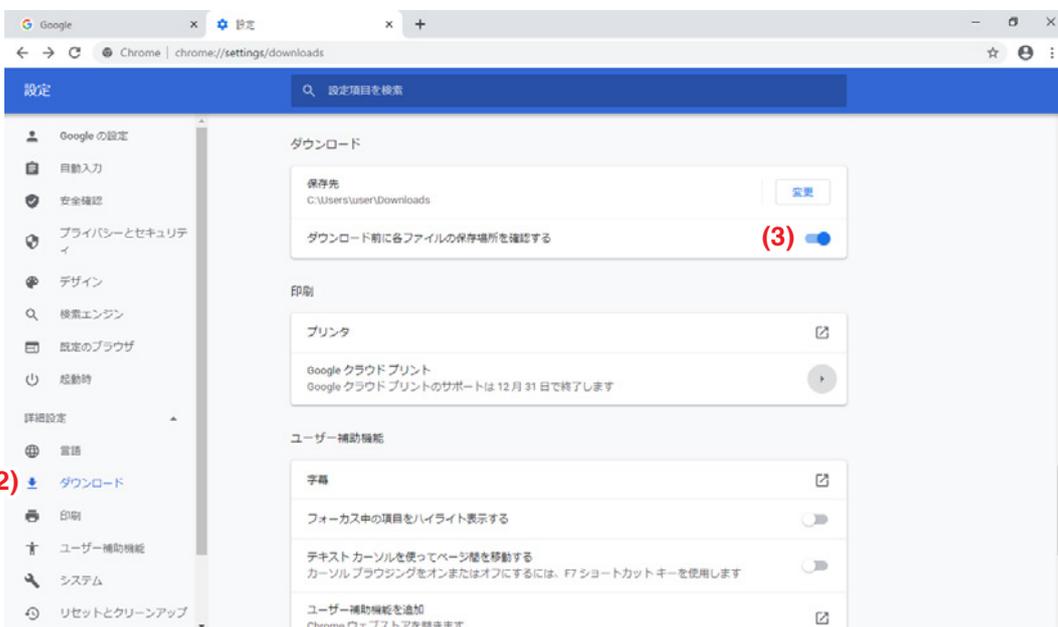
1. Google chromeの設定ツールより[設定]を選択する。



## 2. (1) 詳細設定を選択する。

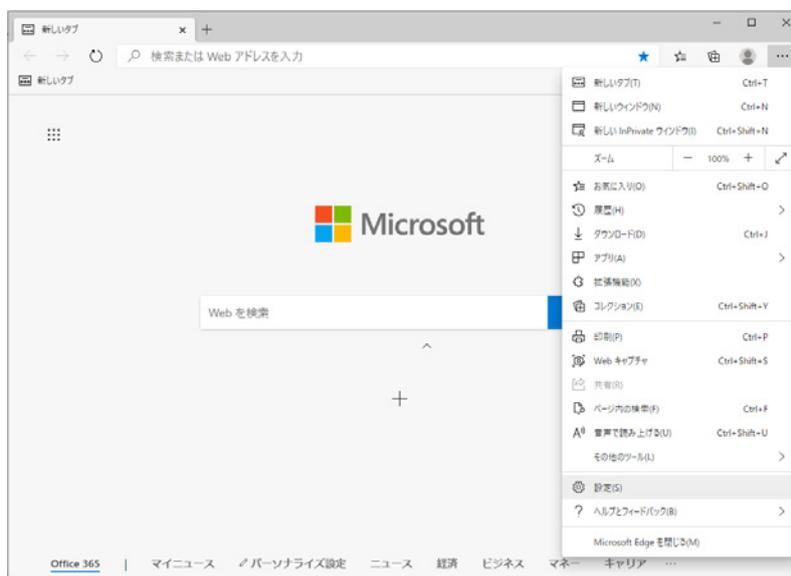


3. (2) ダウンロードを選択しダウンロードメニューの  
(3) ダウンロード前に各ファイルの保存場所を確認するを有効にする。

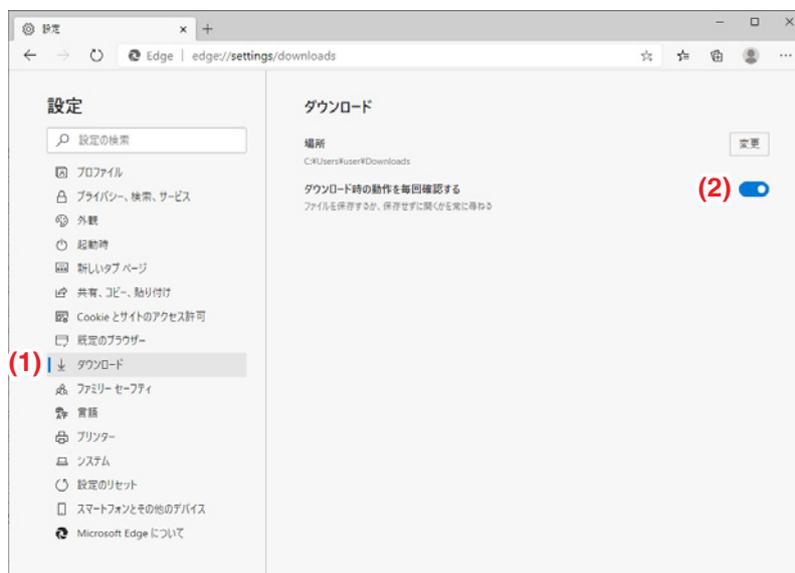


## <Edge (Chromiumベース) の場合>

1. Edgeの設定ツールより[設定]を選択する。



2. (1) ダウンロードを選択し、ダウンロードメニューの  
(2) ダウンロード時の動作を毎回確認するを有効にする。

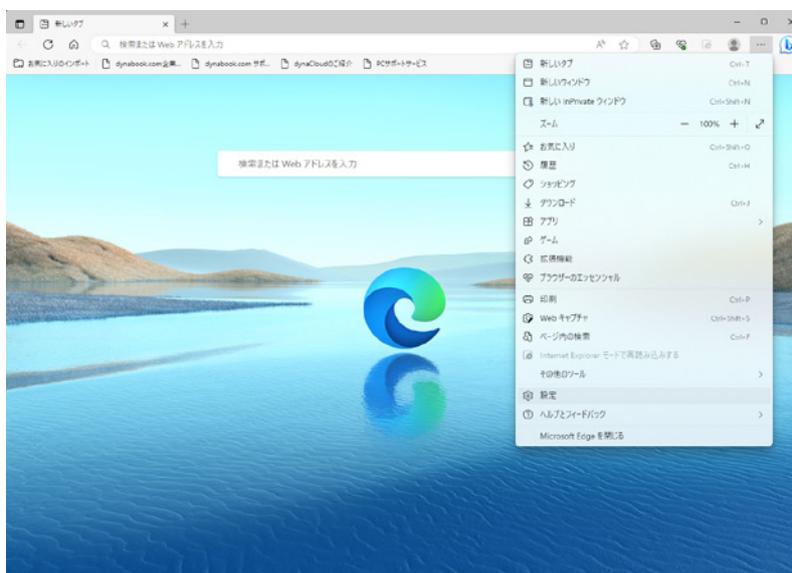


上記の内容設定後、Webアクセス機能を使用してファイルダウンロードするときに、ブラウザの下に表示される名前を付けて保存ボタンを押すと保存先を指定できます。

## ■Web遠隔管理機能で、ログイン中に通信が切断された。

- 「通信が切断されました。数分後に再度アクセスしてください。」と表示されている場合はブラウザを更新して再度ログインしてください。  
ログインできない場合は、約4分間待機後に再度ログインしてください。
- Edgeのブラウザを使用している場合、ブラウザの設定によってはスリープ機能が動作して通信切断されることがあります。  
下記の手順でスリープ機能を無効に設定してください。  
なお、PCによって設定画面が異なる場合があります。

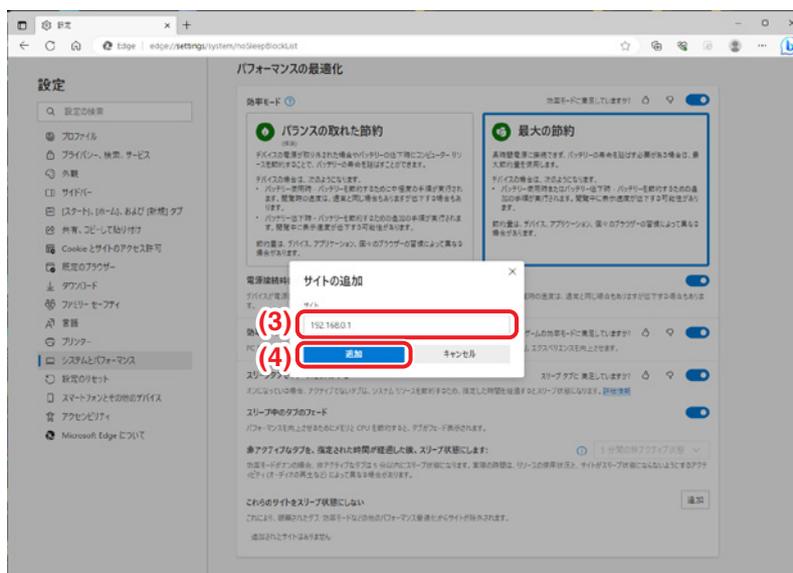
### 1. Edgeの設定ツールより[設定]を選択する。



2. (1) システムとパフォーマンスを選択し、パフォーマンスの最適化メニューのこれらのサイトをスリープ状態にしないの (2) 追加ボタンをクリックします。



3. **(3)** サイトに、iTMのIPアドレスを入力し、**(4)** 追加ボタンをクリックします。  
接続するiTMが複数ある場合は、複数追加してください。



以上でEdgeのスリープ機能の無効設定は終わりです。

## <按分機能について>

### ■「按分」アイコンが表示されない

按分機能が設定されていません。お買い上げの販売店にお問合せください。



### ■ 停止時の電力量について

按分結果表示中の「停止時の電力量」とは、空調機が停止中に消費するクランクケースヒーターの電力を按分しないように設定している場合、その電力量をどの空調機にも割り振れないため、その合計値を表示するものです。

その分の電力量は、共益費などとして別途取扱う必要があります。

### ■ テナント単位で電力・ガス使用量を表示したい

iTM本体で按分を行う場合、電力・ガス使用量は空調機単位またはエリア単位で表示されます。テナント単位で電力・ガス量を表示したい場合は、料金計算シートを利用してください。

### ■ 電力・ガス使用量を料金に換算したい

iTM本体では、換算することができません。

電力・ガス使用量を料金に換算したい場合は、料金計算シートを利用してください。

### ■ 按分結果を印刷したい

iTM本体には、印刷機能がありません。

按分結果を印刷したい場合は、料金計算シートを利用して、お手元のパソコンおよびプリンタを使用してください。

### ■ 蓄熱契約電力量・夜間割引時間帯について

- 契約電力量・夜間割引時間帯は、蓄熱型の空調機が接続されている場合、電力会社との契約により毎月決められるものです。

契約電力量・夜間割引時間帯を設定する場合は、契約内容にしたがってください。

## ■ 除外時間帯・特別に按分する日の設定について

- 除外時間帯・特別に按分する日の設定は、通常型の空調機に対してのみ有効です。  
この設定を行った場合でも、蓄熱型の空調機は終日料金按分計算を行います。  
また、設定は1パターンのみで、エリアごとに異なる設定をすることはできません。

## ■ 割り振れない総電力量について

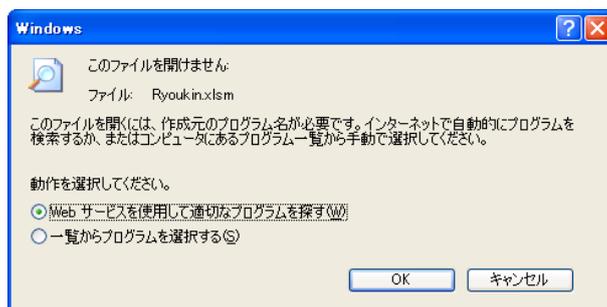
- 蓄熱運転時の料金計算は、蓄熱に要した電力量を、通常空調運転に消費した電力量の比率で按分したものです。  
指定した期間、通常空調運転に消費した電力量がない場合に表示します。

## <料金計算シートについて>

### (Excel 2007以前のバージョン使用時)

#### ■ 料金計算シートが起動できない

- 以下のメッセージが表示され、料金計算シートが起動できない場合は、Excelのバージョンが2010または2013ではありません。  
Excel 2010または2013で起動してください。



#### ■ 料金計算シート (Ryoukin.xlsxm、RyoukinIce.xlsxm) 起動時に、ポップアップが表示されて操作ができない

- 「セキュリティの警告」のポップアップにある、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。コンテンツを有効にしなかった場合、料金計算シートを使用することはできません。

#### ■ エリア設定・集計期間・空調機定格容量・電力ガス使用量のCSVファイルが読み込めない

- 表示言語が「日本語」ではない  
iTmで表示言語設定を「日本語」に設定し、USBメモリに保存したCSVファイルを読み込んでください。
- Ve-upコントローラーでUSBメモリに保存したCSVファイルを読み込んだ場合  
iTmからUSBメモリに保存したCSVファイルを読み込んでください。



■ 入力した料金設定と、合計金額の計算が合わない

- 料金設定の入力値が範囲外です。範囲内の数値を入力してください。

金額(テナント) : 0~999,999,999円

金額(空調機1台) : 0~ 9,999,999円

金額(基本料金) : 0~ 9,999,999円

金額(単価設定) : 0~ 9,999,999円

■ 集計の各ボタンをクリックしても、集計画面(印刷プレビュー画面)が表示できない

- プリンタが設定されていません。パソコンのプリンタ設定をしてください。



■ 各集計ができないなど、料金計算シートが正常に動作しない

- 料金計算シートが正常に動作しなくなった場合は、メニューシートの**全データ初期化**ボタンをクリックしてください。

※この場合、設定した内容はすべて消去されますのでテナント名など、すべて再設定が必要です。それでも正常にうごかない場合は、再度iTMから按分結果と料金計算シートをUSBメモリに保存し、使用してください。

■ エリア登録/テナント登録を変更する場合

- 月なかばで、間仕切りが変更になるなどして、エリア登録またはテナント登録を変更する場合は、変更を行う前日までの按分結果をいったん保存しておいてください。

「期間指定」により任意の期間を指定して保存ができます。

変更を行った月は、変更前後2回に分けて保存してください。

■ 料金計算シートで夜間電力使用量、ガス使用量が表示されない

- 料金計算シートの使用が間違っています。

蓄熱型は蓄熱料金計算シートを、GHP型は電力ガス料金計算シートを使用してください。

按分の種類にあわない料金計算シートを使用した場合、正しく料金換算できません。

## <CSV出カツールについて>

### ■ CSV出カツール起動時、エラーメッセージが表示される

- データ不正メッセージが表示された場合、下記の原因があります。

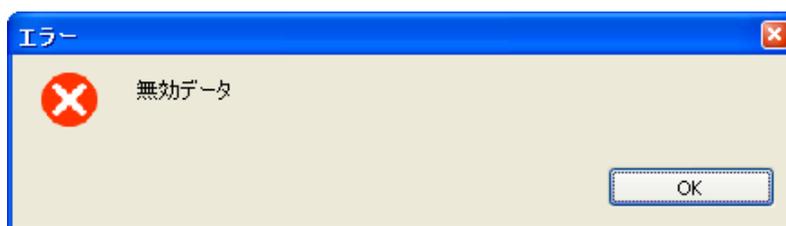
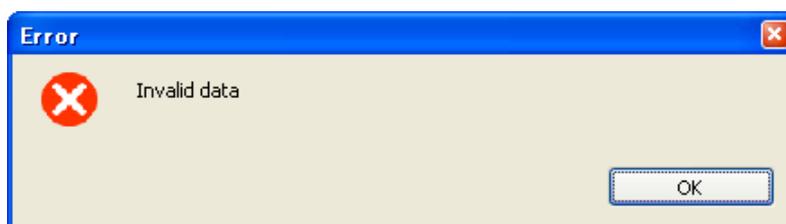
①DBデータとソフトバージョンが不一致

現在ご使用のiTMからデータをUSBメモリに保存し、CSV出カツールを起動してください。

②DBファイルが壊れている、または、ファイル名変更などのファイル不正

再度iTMからデータをUSBメモリに保存し、CSV出カツールを起動してください。

### データ不正 メッセージ



- ファイル出力失敗メッセージが表示された場合、下記の原因があります。

①空き容量の少ないUSBメモリを使用

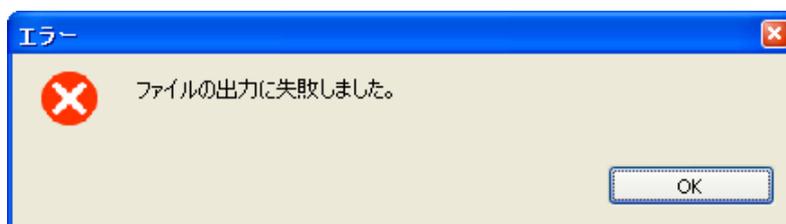
出力データをフォルダーごとパソコンにコピーして、CSV出カツールを起動してください。

または、空き容量の大きなUSBメモリを使用してください。

②フォルダーの書き込み禁止

フォルダーを書き込み可能にして、CSV出カツールを起動してください。

### ファイル出力失敗 メッセージ



## <デマンド機能について>

■ デマンド制御を行っているが、空調機に対する制御が行われない場合は以下のことが考えられます。

- 制御グループの登録および遮断レベルごとの制御の設定が行われていない。
- 遮断制御(室内機の設定温度シフト制御・室外機的能力制御・発停制御)が有効になっていない。
- 電力パルスモード時、電力量計からの電力デマンドパルス信号がPi管理点に入力されていない。(関西電力の電力供給地域では、時限パルス信号がDi管理点に入力されているか)
- デマコン連動モード時、デマンドコントローラーから遮断信号がiTMに接続されているか。

■ 制御グループ、各遮断レベルでの空調機への制御を変更したいが、変更するタイミングはいつでもよいのか。

- デマンド制御を止めても影響の少ない時間帯(早朝や深夜)に行ってください。

制御グループ、各遮断レベルでの空調機の制御を変更するには、制御状態(設定温度シフト制御・室外機的能力制御・発停制御)を無効にする必要があります。

無効の間は、デマンド制御が実行されません。

■ iTMの時刻がずれてきたので修正したいが、いつ修正するのが良いか。

- デマンド制御では時刻同期方式/外部同期方式どちらの場合でも、iTMの時計を基準にして制御を行います。

したがって、時計は受電設備内の電力量計の時計と定期的に同期を取ってください。

月に一度時計合わせすることをおすすめします。

ただし、デマンド制御を行っている状態で時計を修正すると、修正した時限およびその次の時限の制御が正しく行われません。

時刻の設定は、空調機の消費電力が少ない時間帯(早朝か深夜)にデマンド制御を止めて(無効にして)設定することをおすすめします。

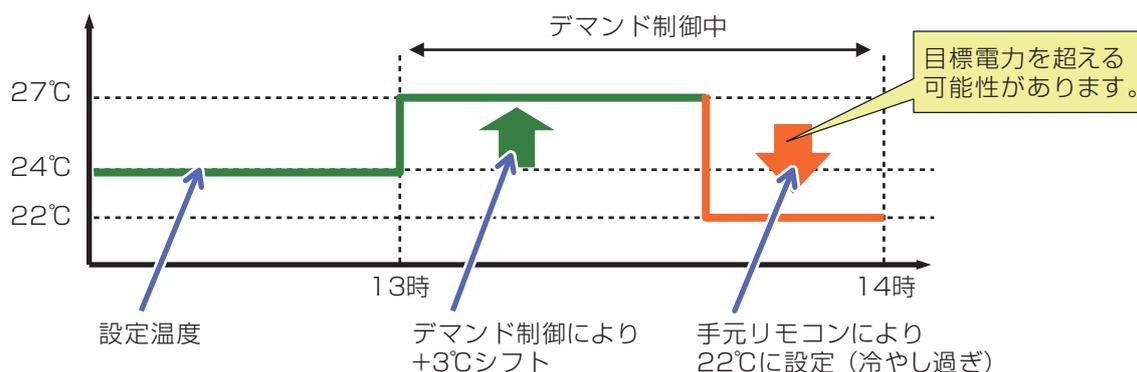
■ 室内機の設定温度シフト制御を行っているが、設定温度が変わってしまう。

- 手元リモコンからの設定温度の変更をしていないかどうか確認してください。

デマンド制御を行っている最中でも、手元リモコンからの設定温度の変更を受け付けます。

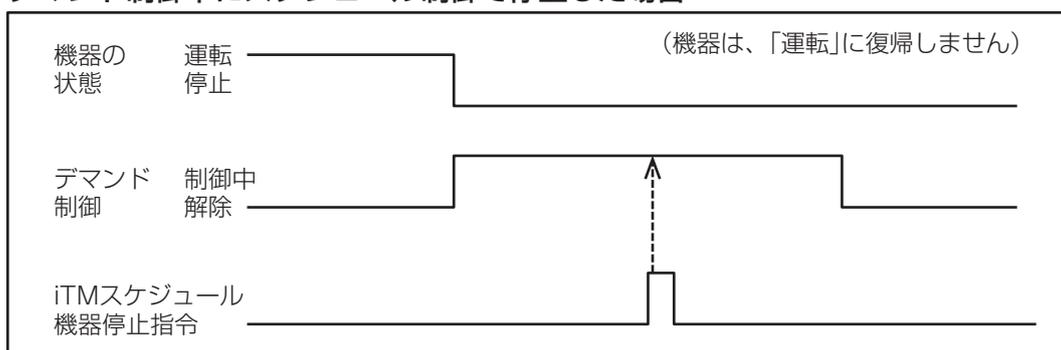
より効果的にデマンド制御を行いたいときは、手元リモコンの操作を禁止してください。

(2-3 手元リモコン操作の許可・禁止の設定参照)

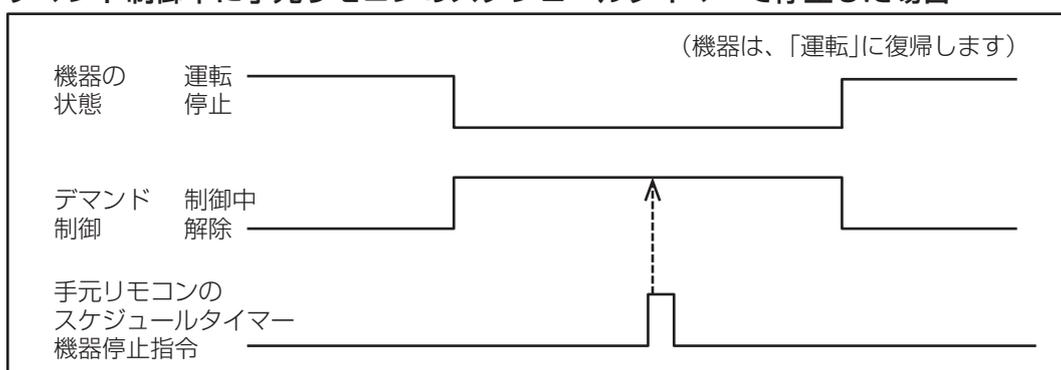


- 
- デマンド制御と按分機能を併用することはできるか。
    - デマンド制御と按分機能を併用することができます。  
しかし、デマコン連動モードの場合は、Di/Piポートを3ポート使用するため、iTMプラスアダプター/DK-CONNECT DⅢ Plus ADPの増設が必要です。  
電力パルスモードで使用する場合は、iTMだけで使用することができます。
  - iTMの制御対象にベンディエールがあるが、デマンド制御はできるか。
    - 発停制御で停止させることができます。
  - 目標電力を変更したいが、変更するタイミングはいつでもよいのか。(電力パルスモード時)
    - デマンド制御を行っている状態で、目標電力の変更を行うことができます。  
ただし、変更が反映されるのはデマンド制御の次の時限(最大30分後)からになります。  
例) 10時12分に目標電力を変更すると、10時30分以降の制御から有効になります。
  - 複数のiTMから同じ制御対象に、デマンド制御できないか。
    - 複数のiTMからデマンド制御を行うと、効果的な制御ができません。  
1台でのデマンド制御を守ってください。
  - ほかの設備を接点出力で止めることはできないか。
    - デマンド制御は、空調機以外に接点制御のための商品: D3Dio・External Dio・BACnet Dio経由で発停制御ができます。  
※D3Dio・External Dio・BACnet Dioの設定で後押し優先にしないようにご注意ください。
  - 同一システムに室外機能力制御と設定温度シフト制御を同時に使用することはできるか。
    - 可能です。ただし、同一の遮断レベルで
      - 室外機能力制御 : 0%
      - 設定温度シフト制御 : 3℃シフトのように設定しても、室外機はサーモOFFの状態になりますので、設定温度シフト制御を行うメリットがなくなります。  
デマンド制御設定を設計する場合は、各制御との関連性も考慮したうえで、設計する必要があります。
  - 発停制御の自動復帰について
    - 自動復帰を「有効」に設定すると、デマンド制御により停止した機器はデマンド制御解除時に、運転を自動で開始します。
    - デマンド制御中に、iTMのスケジュール制御、連動制御などの自動制御により停止した機器は、デマンド制御が解除しても停止のままになります。
    - デマンド制御中に他集中機器(マスターステーションⅢなど)や手元リモコンのスケジュール機能などの自動制御で停止しても、デマンド制御解除時は運転を開始しますので、自動制御との併用はしないようにしてください。例えば、デマンド制御中に手元リモコンのスケジュールタイマー機能により停止しても、デマンド解除時に運転を開始します。

### デマンド制御中にスケジュール制御で停止した場合



### デマンド制御中に手元リモコンのスケジュールタイマーで停止した場合



- デマンド制御開始後に、「点検中」となった機器は、  
点検中解除→デマンド制御解除の順番の場合、デマンド制御解除時に自動復帰します。  
デマンド制御解除→点検中解除の順番の場合、点検中解除時に自動復帰します。
- デマンド制御開始後に、「通信異常」となった機器は、機器により動作が異なります。  
<ベンティエール、DESICAの場合>  
通信異常復帰→デマンド制御解除の順番の場合、デマンド制御解除時に自動復帰します。  
デマンド制御解除→通信異常復帰の順番の場合、通信異常復帰時に自動復帰します。  
<D3Dio、External Dio、BACnet Dioの場合>  
通信異常復帰→デマンド制御解除の順番の場合、デマンド制御を解除しても**停止**のままとなります。  
デマンド制御解除→通信異常復帰の順番の場合、通信異常復帰時に自動復帰します。

#### ■ チラーに対するデマンド制御について

制御対象のチラーは、ヘキサゴンとJIZAIになります。それ以外のチラーを制御対象に含めないでください。

iTMからはデマンド制御のON/OFFをチラーに対して送信します。

デマンド制御開始時に、「デマンド制御 ON」を送り、デマンド制御解除時に「デマンド制御 OFF」を送ります。

デマンド制御ON時のデマンド制御内容は、モジュールリモコンで設定した制御にしたがいます。

## <給湯機制御機能について>

### ■湯温設定において、80℃以上の設定ができない。

- 出湯温度の上限値を試運転時に80℃に設定しているためです。貯湯タンクの種類によっては、上限値を変更することができます。詳細は、お買い上げの販売店にお問合わせください。

### ■運転データが欠落している時間帯がある。

- 下記2つの原因が考えられます。

#### 1. 停電などにより、iTMの電源が遮断されていた可能性があります。

iTMの電源が遮断されていると運転データを取得できず、運転データが欠落します。

### NOTE

運転データは、毎時ごとに確定させています。確定されていない運転データは、iTMの電源が遮断されると、消滅します。例えば、17時30分にiTMの電源が遮断されると、17時から17時30分までの運転データは消滅します。

#### 2. iTMと給湯システム間に通信異常が発生していた可能性があります。給湯システムに通信異常が発生していると、運転データを受け取れないので、運転データが欠落します。

### ■給湯詳細設定画面について

- 同一の給湯システムに対して複数ユーザーが給湯詳細設定画面を開くことができません。

### ■スケジュールについて

- 自動制御タブのスケジュール制御設定では、給湯スケジュール設定はできません。
- 給湯スケジュールを設定する場合は、自動制御タブの給湯スケジュール制御設定でスケジュール設定をしてください。

### ■E-mail設定について

異常発生時のメール送信時は、エラーコード表示優先度のもっとも高い異常のみを発報します。

### ■エラーコード表示優先度について

機器と異常種別で優先度を決定します。優先度は下記のエラーコード表示優先度をご覧ください。

エラーコード表示優先度

機器 \ 異常種別	通信異常	機器異常
タンクユニット	[1]	[4]
給湯機	[2]	[5]
再加熱機	[3]	[6]

同一機器間の優先度は集中アドレスの数字が小さい順になります。

- タンクユニット [1] メインタンク ⇒ [2] サブタンク
- 給湯機 [1] 7:1-00 ⇒ [2] 7:1-01 ⇒ … ⇒ [12] 7:1-11
- 再加熱機 [1] 7:2-00 ⇒ [2] 7:2-01 ⇒ … ⇒ [12] 7:2-11

## ■給湯詳細設定画面について

エラーコード	異常内容
E1	熱源・カスケードユニット：プリント基板ASSY EEPROM設定不良
E2	熱源・カスケードユニット：漏電検知作動
E3	熱源・カスケードユニット：高圧圧カスイッチ作動・漏電検知作動
E4	熱源・カスケードユニット：低圧圧カスイッチ作動
E5	熱源・カスケードユニット：インバーター圧縮機ロック
E7	熱源ユニット：ファン電動機ロック
E9	熱源・カスケードユニット：電子膨張弁駆動部異常
F3	熱源・カスケードユニット：吐出管温度異常
H7	熱源ユニット：ファン電動機センサー異常
H9	熱源ユニット：空気用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
J3	熱源・カスケードユニット：吐出管(一次側)用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
J4	熱源ユニット：空気熱交ガス管用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
J5	熱源ユニット：吸入管(一次側)用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
J6	熱源ユニット：空気熱交用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
J7	熱源・カスケードユニット：液管サーミスタ異常、過冷却熱交液管サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
J8	熱源ユニット：空気熱交液管サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
J9	熱源ユニット：過冷却熱交出口サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)
JA	熱源・カスケードユニット：吐出管用圧力センサー異常
JC	熱源・カスケードユニット：吸入管用圧力センサー異常
L1	熱源・カスケードユニット：インバータープリント基板不良
L4	熱源・カスケードユニット：インバーター冷却不良
L5	熱源・カスケードユニット：圧縮機用電動機地絡、短絡、パワーユニット短絡
L8	熱源・カスケードユニット：圧縮機過負荷、圧縮機用電動機断線
L9	熱源・カスケードユニット：圧縮機ロック
LC	熱源・カスケードユニット：インバーター⇄熱源・カスケード制御ユニット間伝送異常
P1	熱源・カスケードユニット：電源電圧不平衡、欠相
P4	熱源・カスケードユニット：パワーユニット温度センサー異常
PJ	熱源・カスケードユニット：インバーター・ファンドライバ組合わせ不良、制御プリント基板種別設定不良
U0	熱源・カスケードユニット：冷媒不足、電子膨張弁不良、閉鎖弁開け忘れなどによる低圧低下
U1	熱源・カスケードユニット：逆相、欠相
U2	熱源・カスケードユニット：電源電圧異常、瞬時停電、インバータープリント基板⇄メインプリント基板接触不良
U4	カスケードユニット：カスケードユニット内誤配線異常
U5	リモコン⇄タンクセンサーキット間伝送異常
U5	リモコン基板不良またはリモコン制御時設定不良
U7	熱源ユニット⇄カスケードユニット間伝送異常
UA	熱源・カスケードユニット：カスケードユニット⇄タンクセンサーキット間通信異常 タンクセンサーキット⇄給湯システムコントローラー間通信異常 メインタンク重複異常(2タンクシステム時)
UC	熱源・カスケードユニット、タンクセンサーキット：集中アドレス重複
UE	熱源・カスケードユニット・タンクセンサーキット：カスケードユニット⇄タンクセンサーキット間伝送異常 給湯システムコントローラー通信異常 タンクセンサーキット設定間違い 給湯システムコントローラーでの接続機器台数設定間違い
A6	カスケードユニット：断水異常
80	カスケードユニット：入口水温サーミスタ異常
81	カスケードユニット：出口水温サーミスタ異常
81	タンクセンサーキット：サーミスタ異常
C4	熱交ポンプユニット：熱交用サーミスタ異常
42	カスケードユニット：電動三方弁異常
HJ-07	カスケードユニット：配管系統異常、電動二方弁異常、減圧弁異常
C3-01	タンクセンサーキット：水位センサー異常
C3-02	タンクセンサーキット：下限水位スイッチ異常
C3-03	タンクセンサーキット：上限水位スイッチ異常
EC-02	タンクセンサーキット：タンク内水温低下異常
9A	タンクセンサーキット：下限水位スイッチ作動

※※ (白抜き)のエラーコードの場合は、システムは運転しますが、必ず表示内容を確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

---

## <ほかの制御機能と併用する場合の注意>

### ■消し忘れ防止の設定

- HMO機能による空調機の運転・停止は、本機能の動作に影響を与えません。
- 予冷・予熱制御機能と同時に設定すると、本機能により空調機が設定時刻より前に停止し、設定時刻に設定温度にならないことがあります。

(例)

1. 継続時間を30分に設定する。
2. スケジュールで9:00に20℃、予冷・予熱機能を有効に設定する。
3. 予冷・予熱機能により8:15から空調機が自動で運転を開始する。
4. 本機能により8:45に空調機が停止し、スケジュールで設定していた9:00には空調機が停止した状態になる。

### ■Temp. Limit (室温上下限保証) 機能の設定

- HMO機能で制御中の室内機は、本機能で制御することはできません。
- 本機能が設定されている室内機に消し忘れ防止機能を設定すると、消し忘れ防止で停止したあとに、本機能でふたたび運転する可能性があります。
- Sliding Temp.機能と併用すると、設定温度によっては5分ごとに運転と停止を繰り返す(ハンチング)ことがあります。

(例) Sliding Temp.機能の外気温から算出された設定温度が32℃になる場合で、本機能の上限設定値が32℃の場合。

1. 室温が32℃以上になり、本機能により冷房運転が開始される。
2. Sliding Temp.機能により、冷房設定温度が32℃に設定される。
3. 室温が32℃未満になった場合、室温<冷房設定温度になり本機能からの指令で冷房運転が停止する。
4. 室温が32℃以上になり、本機能により冷房運転を開始する。(1.に戻る)

### ■HMO

- 本機能による室内機の運転・停止は連動制御機能の入力条件になります。
- 本機能で停止中の室内機は、iTMでは運転中と認識されるので、集中監視・消し忘れ防止・履歴などのほかの機能でも「停止」状態と認識されることはありません。
- 本機能で停止中の室内機をリモコンにより運転させたときに、室温が設定温度を1℃以上上回っていた場合、次の室温判定時に室内機は停止します。
- 本機能で停止中の室内機は、料金按分では停止中として扱われ、停止中に消費された電力は「停止時の電力」として計算されます。
- Temp. Limit機能によって運転中の室内機を、本機能で停止させることはできません。

---

## ■自動冷暖切換の設定

- 本機能とSliding Temp.機能を同一室内機に対して同時に設定した場合、Sliding Temp.機能によって冷房の設定温度が下げられると、本機能によって暖房に切り換わったときの設定温度がかなり低くなる可能性があります。

(例)

Sliding Temp.機能の設定温度下限が20℃で、本機能の設定温度差が4℃の場合

1. 設定温度20℃で暖房運転を開始。
2. 室温が24℃になったところで本機能により冷房に切り換わる。
3. 冷房に切り換わったところでSliding Temp.機能により外気温に応じた設定温度に変更される。
4. 外気温が下がるとSliding Temp.機能により設定温度が20℃まで下げられる。  
さらに室温が下がり16℃になったところで本機能により暖房に切り換わる。そのとき設定温度が16℃になる。最初20℃で暖房していたが、暖房→冷房→暖房と切り換わることで設定温度が16℃になった。

- スケジュール機能・連動制御機能と併用した場合、本機能設定時に想定したとおりの動作をしなくなる可能性があります。

(例)

本機能の室温・設定温度参照方法を固定にし、設定温度差を4℃に設定した場合

1. 室温・設定温度参照用の室内機を設定温度20℃で暖房運転。
2. リモコンからその室内機の運転モードを冷房に変更。
3. 室温が20℃以上になったら自動冷暖グループの室内機の運転モードを冷房にし、設定温度を20℃にする。リモコンで運転モードを変更しなければ、室温が24℃以上になるまで暖房モードで動作し、冷房に切り換わったときに設定温度が24℃にならない。

---

## ■Sliding Temp.の設定

- 本機能で制御中に、ほかの機能から設定温度が変更された場合、一度その設定温度が適用されますが、その後本機能により再度設定温度が変更されます。
- 自動冷暖切換機能と併用する場合、本機能によって冷房の設定温度が下げられると、自動冷暖切換機能で暖房に切り換わったときの設定温度が、想定外に低くなる場合があります。

(例1)

本機能の設定温度下限が20℃で、自動冷暖切換機能の設定温度差が4℃の場合

1. 設定温度20℃で暖房運転を開始する。
  2. 室温が24℃になったところで自動冷暖切換機能により冷房に切り換わる。
  3. 冷房に切り換わったところで本機能により外気温に応じた設定温度に下げられる。
  4. 外気温が下がると本機能により設定温度が20℃まで下げられる。
  5. さらに室温が下がり16℃になったところで自動冷暖切換機能により暖房に切り換わる。  
そのとき設定温度が16℃になる。
- 本機能が設定されている場合、予冷予熱機能はご利用いただけません。
  - Temp. Limit機能と併用すると、設定温度によっては5分ごとに運転と停止を繰り返す(ハンチング)ことがあります。

(例2)

本機能の外気温から算出された設定温度が32℃になる場合で、Temp. Limit機能の上限設定値が32℃の場合

1. 室温が32℃以上となりTemp. Limit機能により冷房運転が開始される。
2. 本機能により、冷房設定温度が32℃に設定される。
3. 室温が32℃未満になった場合、室温<冷房設定温度となりTemp. Limit機能からの指令で冷房運転が停止する。
4. 室温が32℃以上となりTemp. Limit機能により冷房運転を開始する。(1.に戻る)

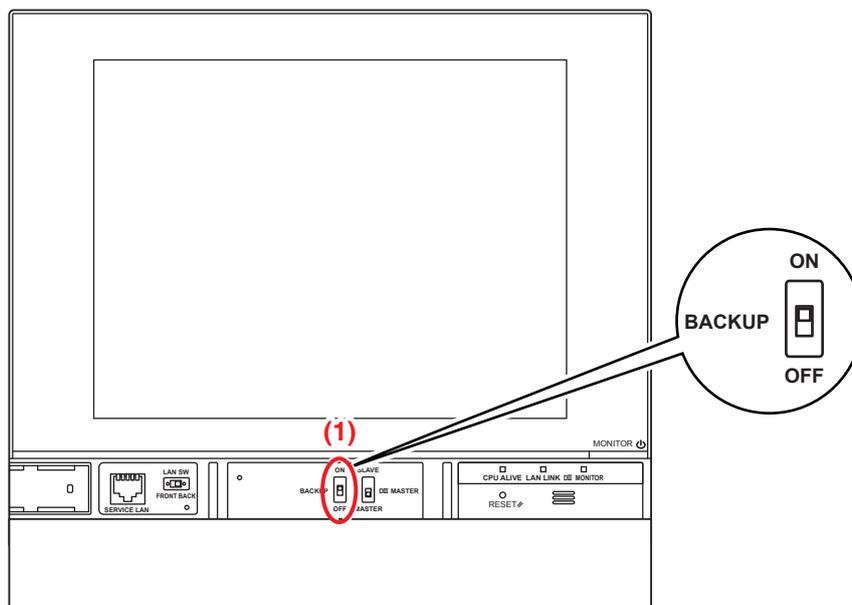
## ■Energy Navigator設備の運用管理機能運用ルールの設定

- 無人の場合に動作する自動制御(セットバック機能、Temp. Limit機能、予冷・予熱機能)では、自動制御をしている時間帯は運用ルールの適用を除外します。
- 有人の場合に動作する自動制御(自動冷暖切換機能、HMO機能、消し忘れ防止機能、Sliding Temp.機能、スケジュール制御機能、連動制御機能)では、自動制御している時間帯は運用ルールを適用します。
- 点検中の管理点には、運用ルールの適用を除外します。

## 15-2 内蔵バッテリーON/OFFについて

iTMは停電中や電源OFFの間も時計を稼働させるために内蔵バッテリーを装備しています。

内蔵バッテリーのON/OFFは、**(1) BACKUP用電源**スイッチで設定します。BACKUP用電源スイッチは、本体の前面スライドカバーをずらして、ねじ止めされたカバーを外したところにあります(下図参照)。通常はONに設定します。



### 電源を長期間遮断する場合

長期間(6ヵ月以上) iTMの電源を遮断したままにする場合、BACKUP用電源スイッチをOFFにしてください。

(このスイッチをOFFにしても、エリア・スケジュールなどの設定内容は消えません。)

- iTMに長期間電源が供給されないと、バッテリーが放電してしまうおそれがあります。
- 再度、iTMをご使用になる場合は、BACKUP用電源スイッチをONにしてください。

### ⚠ 注意

- ほかのスイッチには手を触れないでください。
- スイッチを無理な力で切り換えしないでください。部品の破損・故障の原因になります。
- iTMは静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊するおそれがありますので、操作される前に体にたまった静電気を除去してください。  
静電気はアースされた金属部(制御盤など)に触れることにより除去できます。

## 15-3 異常発生お知らせ機能について

異常が発生した場合、標準画面の一括監視の異常発生アイコンで、異常発生管理点の確認ができます。



1. 異常を検知した場合、  で点滅し、吹出し注意文でお知らせします。  
設定されていればブザーが鳴ります。



**点滅表示：システム異常**

(赤)

文面：システム異常が発生しています。このアイコンをタッチして確認し、復旧してください。



**点滅表示：機器異常・アナログ異常**

(黄)

文面：異常が発生しています。このアイコンをタッチして確認してください。



**点灯表示：通信異常** ※ブザーなしで文面も表示されません。

(青)

アイコンをタッチすると異常発生お知らせダイアログを表示します。

### NOTE

ユーザー権限が制限されている場合(6-3 パスワードの設定参照)、アイコンをタッチするとパスワード入力ダイアログを表示します。正しいパスワードを入力すると、異常発生お知らせダイアログが表示します。



2. 異常発生お知らせ画面の**異常発生お知らせ一覧**タブに異常一覧が表示されます。

一覧内容は以下のとおりです。

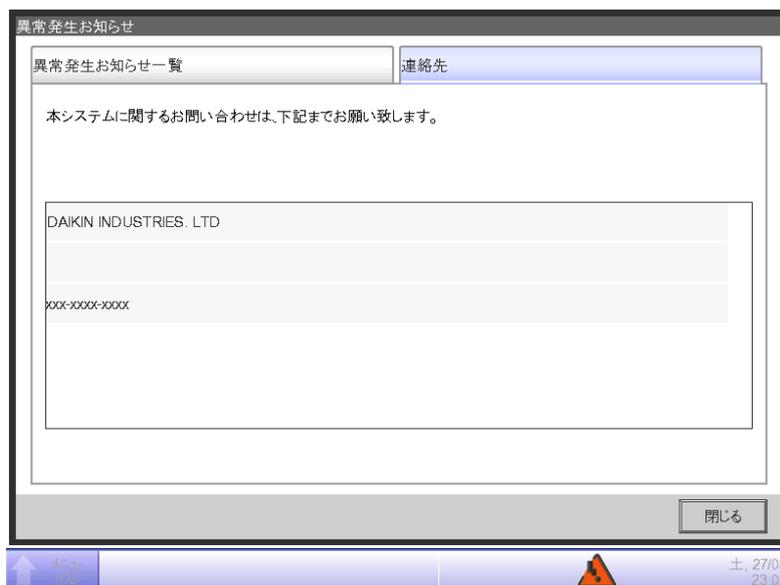
**時刻**：異常発生時刻

**名称**：異常が発生した管理点の名称/システム

**異常内容**：異常の内容

**異常コード**：エラーコードNo.

**連絡先**タブの連絡先画面に登録されている販売店にご連絡ください。



## NOTE

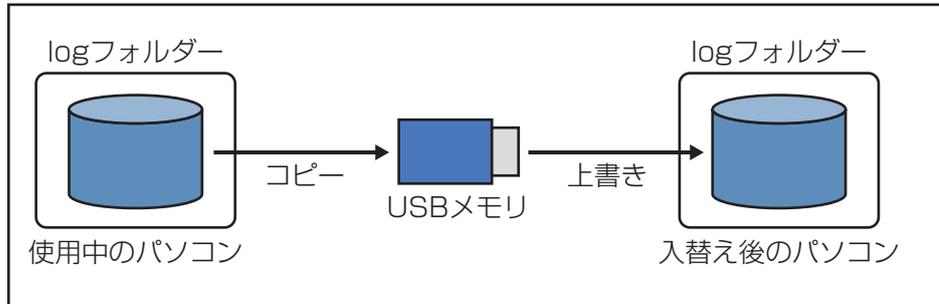
- 一度異常一覧に表示した機器異常/アナログ異常/料金按分(オプション機能)(10-1 料金按分参照)のシステム異常は、次回からは表示されません。

---

## 15-4 パソコン入替え時の給湯運転データ移行について

運転データモニタソフトを使用するパソコンを入れ替える場合、運転データを移行する必要があります。

### 【運転データの移行方法】



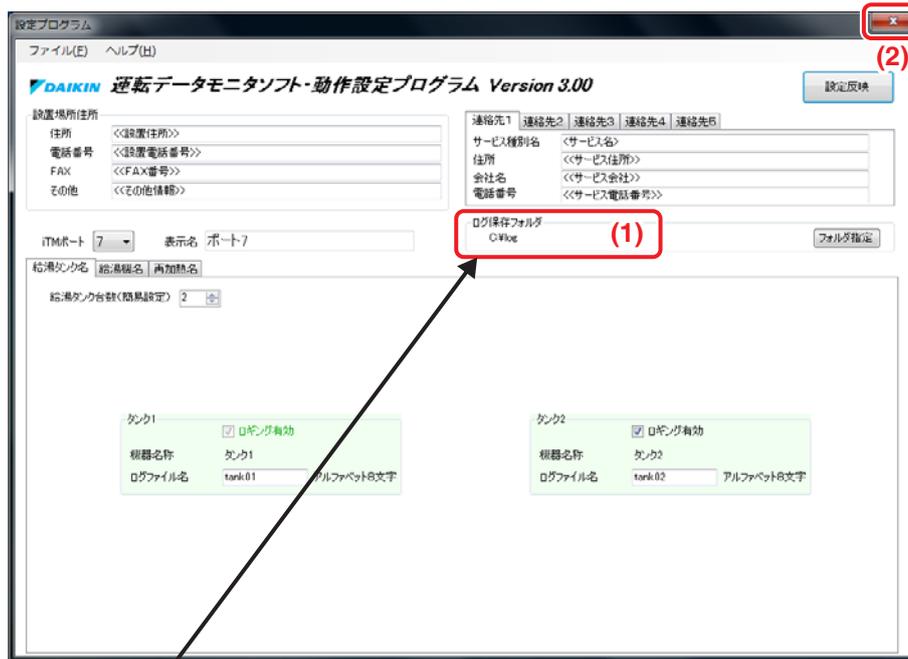
※使用中のパソコンの運転データ保存フォルダーを一度USBメモリにコピーします。  
その後、入替え後のパソコンの運転データ保存フォルダーに上書きします。

## パソコン入替え時の運転データ引継ぎ方法

1. 運転データが保存されているフォルダー名を確認します。

- 「スタートメニュー」－「すべてのプログラム」－「DAIKIN」－「運転データモニタソフト Ver3.\* \*」から動作設定プログラムを起動します。  
(\*\*には数字が入ります。)

### <動作設定プログラム画面>



### <拡大図>

ログ保存フォルダ  
C:\log

フォルダ指定

現在の運転データ保存フォルダーは **(1) ログ保存フォルダ**に表示されています。

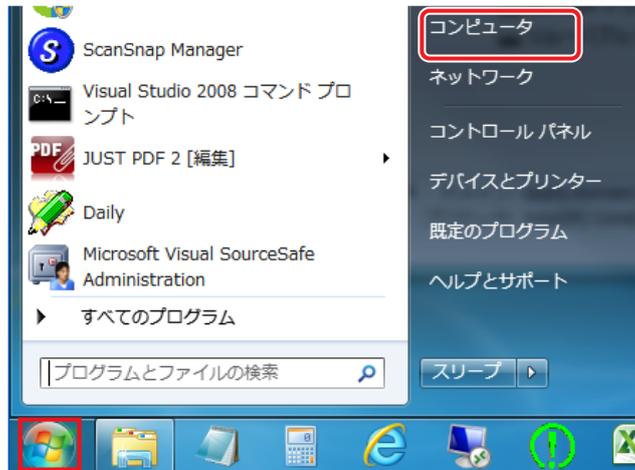
上の画面の運転データ保存フォルダーは、Cドライブの直下にある「log」フォルダーになります。  
(デフォルト値です。)

- 運転データ保存フォルダーの確認が終わったら、**(2) ×**ボタンをクリックし、動作設定プログラムを終了します。

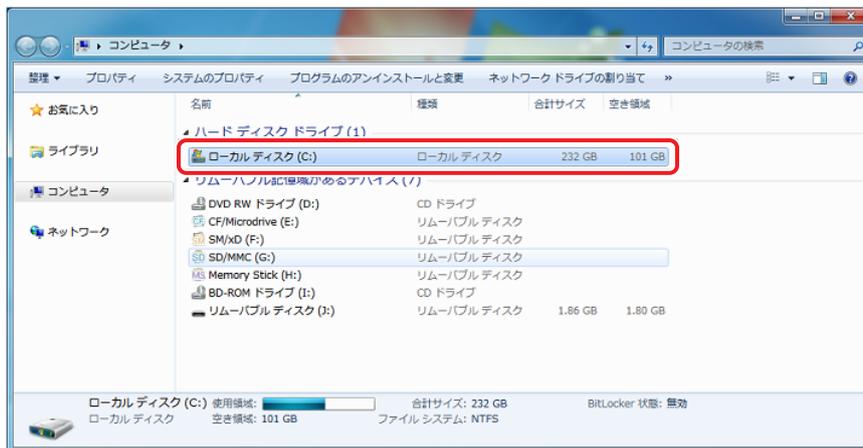
※以降の説明は、運転データ保存フォルダーを「C:¥log」として説明します。

2. 運転データが保存されているフォルダー（この説明では「C:¥log」）まで移動します。

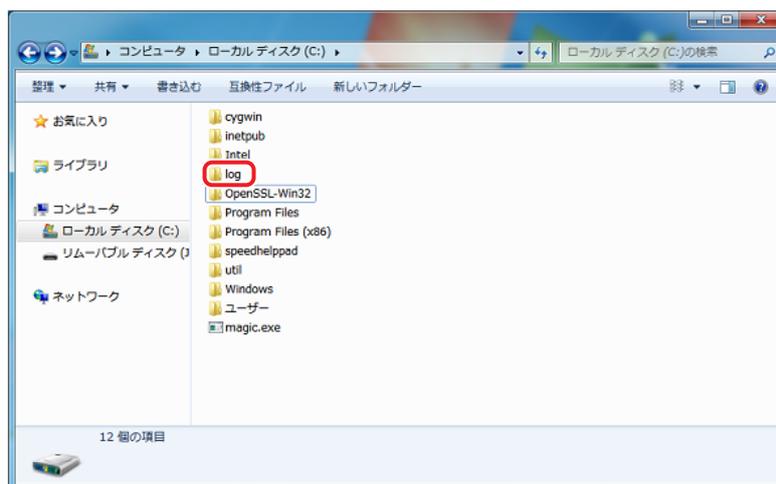
- 「スタートボタン(左下のWindowsマーク)」⇒「コンピュータ」を開きます。



- Cドライブを開きます。



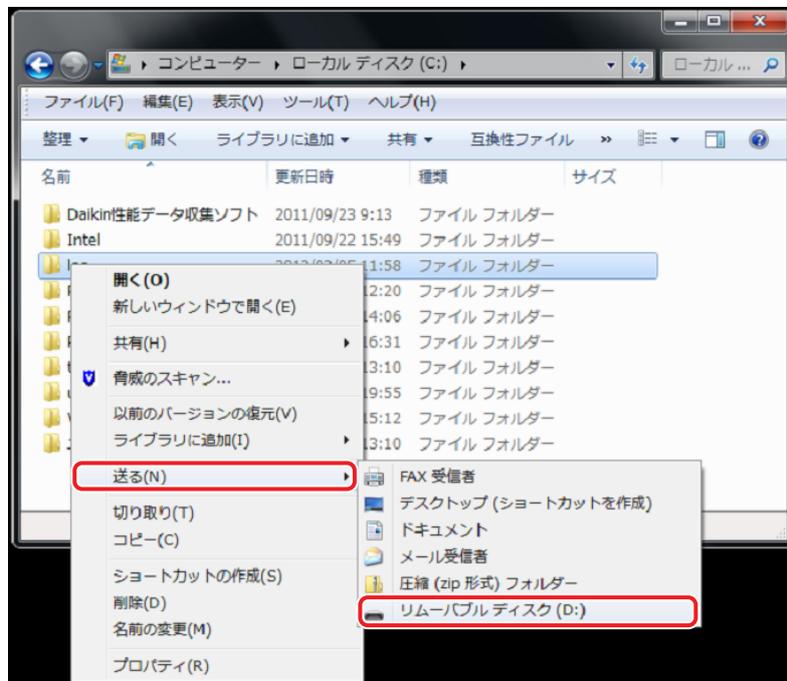
- 「log」フォルダーを確認できる位置まで移動します。



3. 現在の運転データをUSBメモリにコピーします。

- 入替え前のパソコンにUSBメモリを挿入します。
- 「log」フォルダーを右クリックし、「送る」をクリックします。

USBメモリは「リムーバブルディスク」として表示されます。



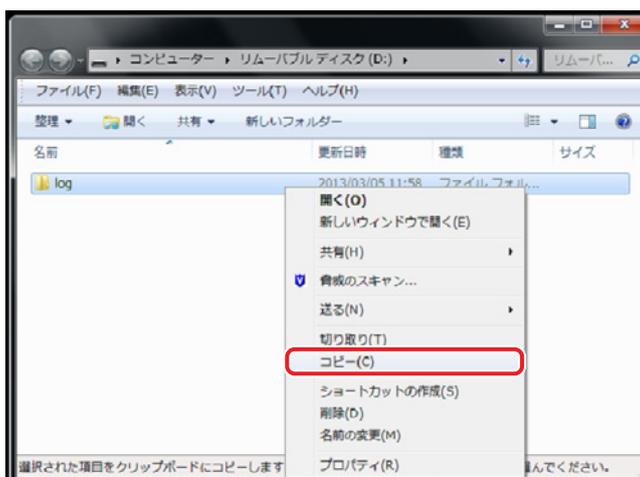
- 「リムーバブルディスク」をクリックします。

4. 入替え後のパソコンの「log」フォルダーに上書きします。

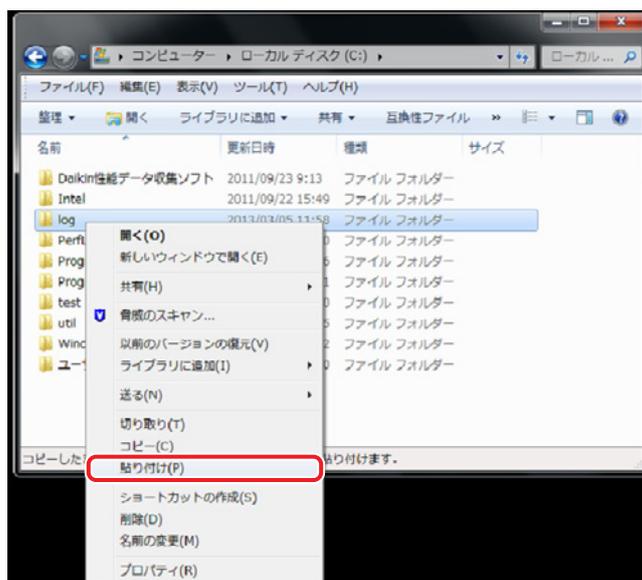
- USBメモリを使用中のパソコンから取り外し、入替え後のパソコンに挿入します。
- USBメモリを挿入すると「自動再生」ポップアップが開きますので、「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。



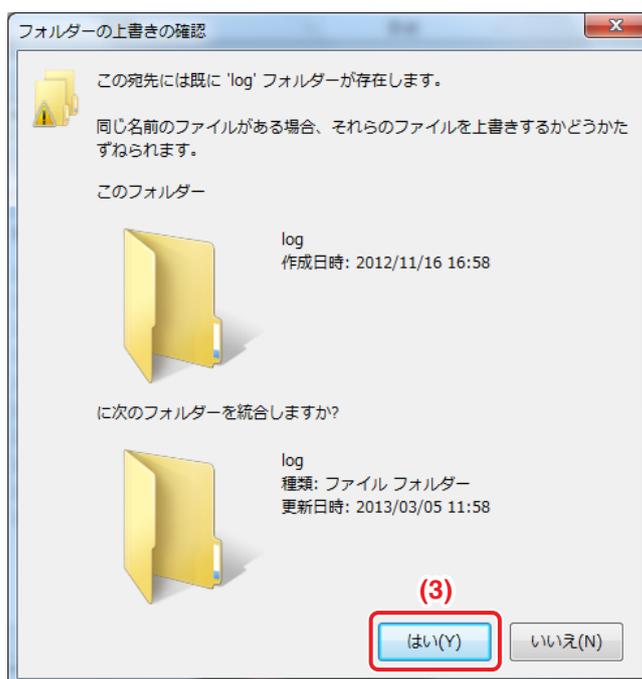
- 選択するとUSBメモリにあるフォルダーの一覧が表示されます。USBメモリの「log」フォルダーを右クリックし、「コピー」をクリックします。



- 入替え後のパソコンのCドライブを選択して右クリックし、「貼り付け」をクリックします。



- 貼り付け時の上書き確認ダイアログが表示されますので、**(3)**「はい」をクリックします。  
(使用中のパソコンと入替え先のパソコンの運転データ保存フォルダー名が異なるときは表示されません。)



以上で使用中のパソコンから入替え後のパソコンへの、運転データの移行は終わりです。

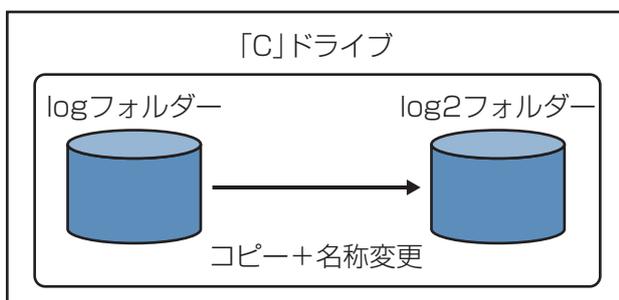
## 15-5 7年間以上の給湯運転データの移行作業について

運転データモニタソフトでパソコンに取り込んだ運転データは、最大7年間保存されます。7年を超えた場合は直近の7年間の運転データが保存され、それ以前の運転データは削除されます。7年以上の運転データを保存したい場合は、以下の手順により運転データの移行を行ってください。

### 【運転データの移行方法】

#### A) 現在の運転データ保存フォルダーがあるドライブと同じドライブに運転データを移行する場合

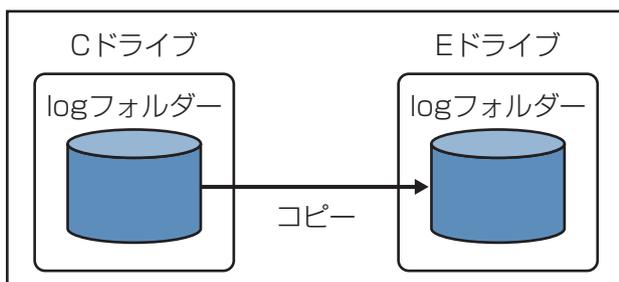
図1-A 同ドライブでの移行方法



※「log」フォルダー（運転データ保存フォルダー）をコピーする。  
コピーしたフォルダーの名称を「log2」に変更する。

#### B) 現在の運転データ保存フォルダーがあるドライブとは別のドライブに運転データを移行する場合

図1-B 別のドライブでの移行方法



※運転データ移行先のフォルダー名の変更は任意です。

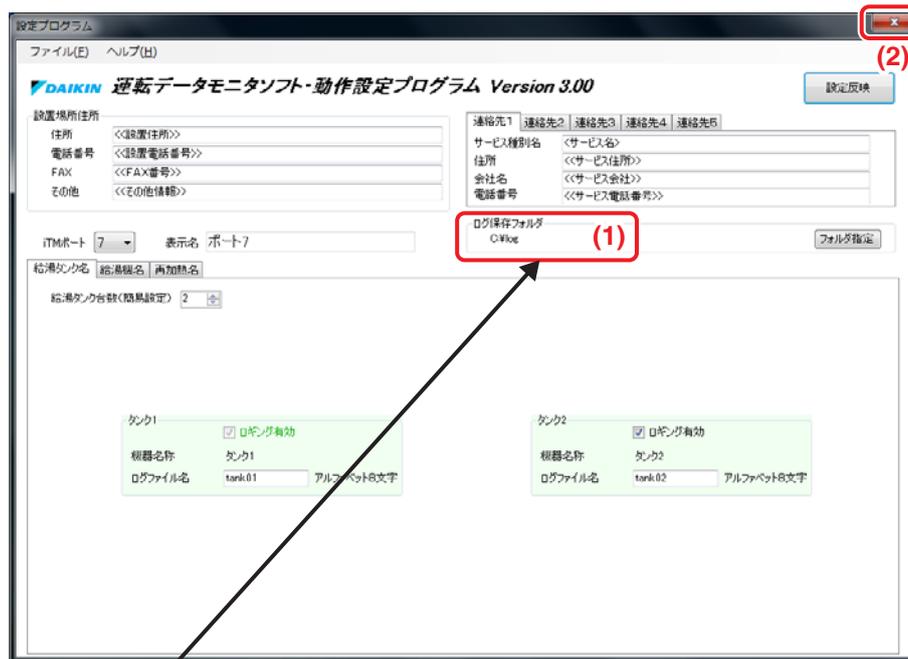
次ページ以降で、A) B) それぞれの操作方法を説明します。

## 7年間以上の運転データの保存方法

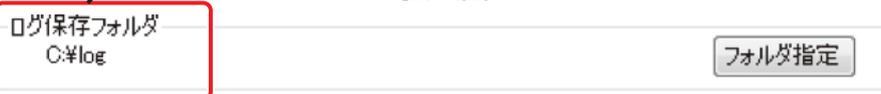
1. 運転データが保存されているフォルダー名を確認します。

- 「スタートメニュー」－「すべてのプログラム」－「DAIKIN」－「運転データモニタソフト Ver3.\*\*」から動作設定プログラムを起動します。  
(\*\*には数字が入ります。)

### <動作設定プログラム画面>



### <拡大図>



現在の運転データ保存フォルダーは (1) ログ保存フォルダに表示されています。

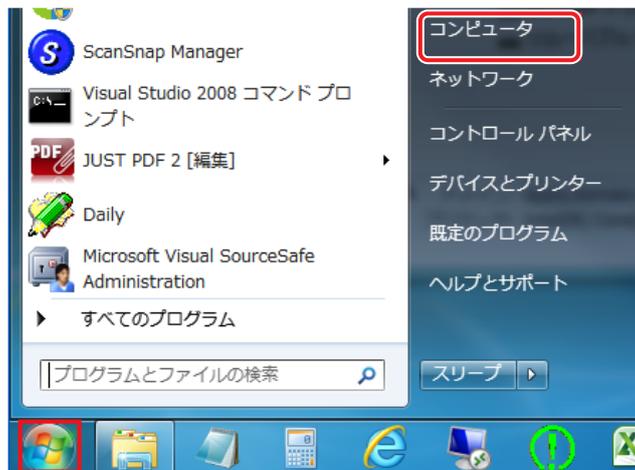
上の画面の運転データ保存フォルダーは、Cドライブの直下にある「log」フォルダーになります。  
(デフォルト値です)

- 運転データ保存フォルダーの確認が終わったら、(2) ×ボタンをクリックし、動作設定プログラムを終了します。

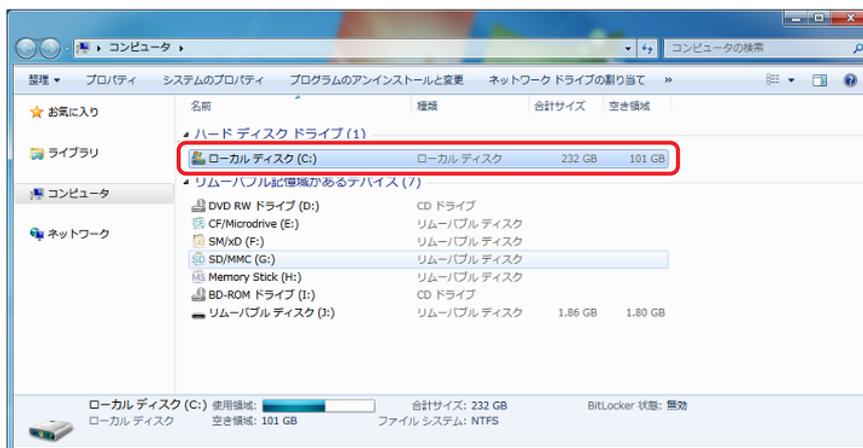
※以降の説明は、運転データ保存フォルダーを「C:¥log」として説明します。

2. 運転データが保存されているフォルダー（この説明では「C:¥log」）まで移動します。

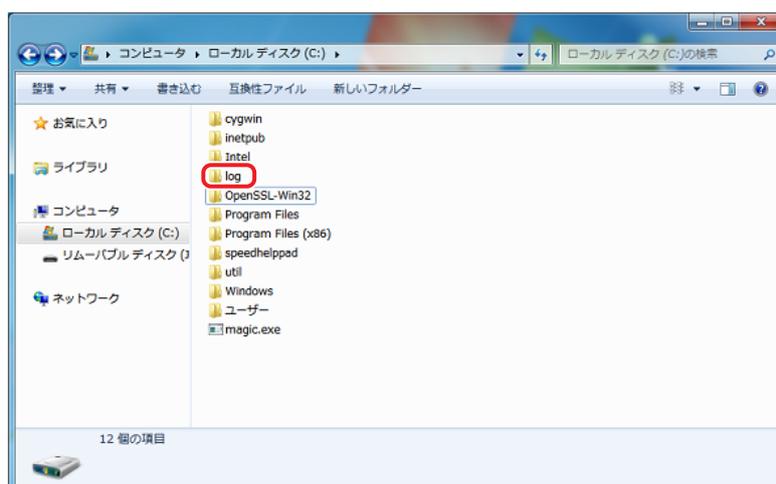
- 「スタートボタン(左下のWindowsマーク)」⇒「コンピュータ」を開きます。



- Cドライブを開きます。

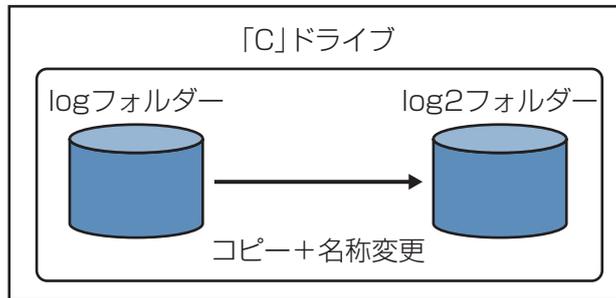


- 「log」フォルダーが確認できる位置まで移動します。

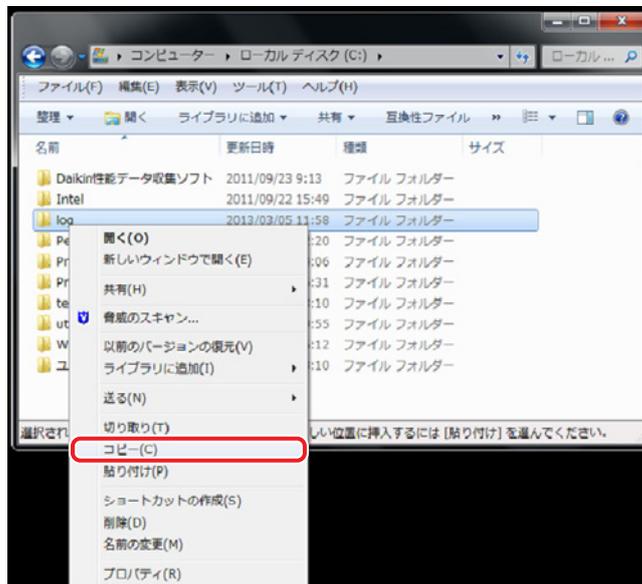


### 3. 運転データの移行

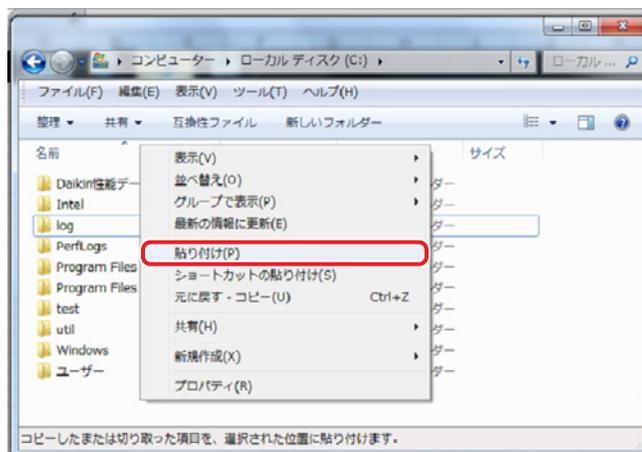
A) 現在の運転データ保存フォルダーがあるドライブと同じドライブに運転データを移行する場合



- Cドライブの「log」フォルダーを右クリックし、「コピー」をクリックします。



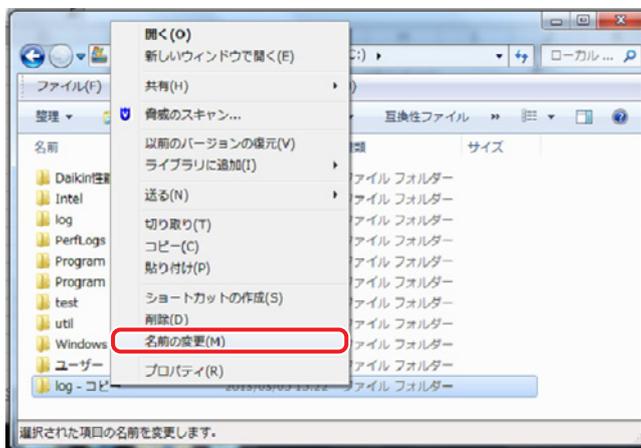
- 表示されているフォルダー一覧の中の任意の場所を右クリックし、「貼り付け」をクリックします。



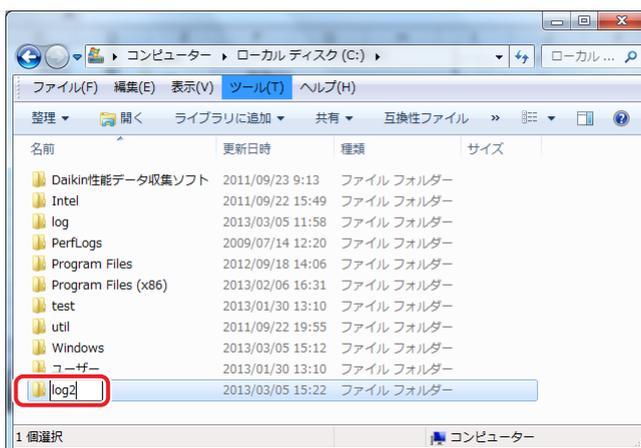
貼り付け後、「log - コピー」というフォルダーが作成されます。

フォルダー名を変更したい場合は以下の手順でフォルダー名を変更します。

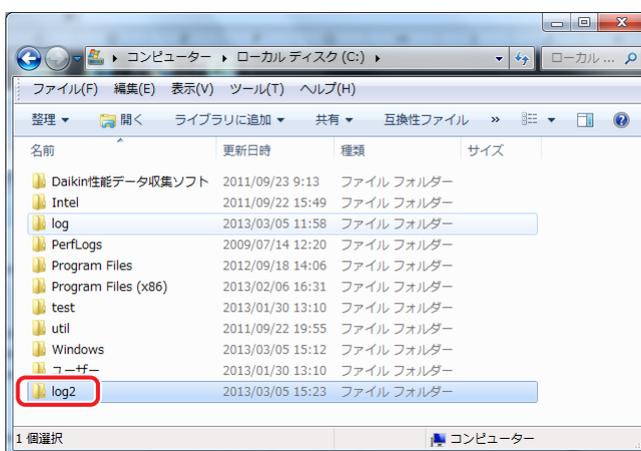
- 「log - コピー」フォルダーを右クリックし、「名前の変更」をクリックします。



- フォルダー名が入力可能になりますので、変更するフォルダー名を入力します。  
「log - コピー」を「log2」に変更します。

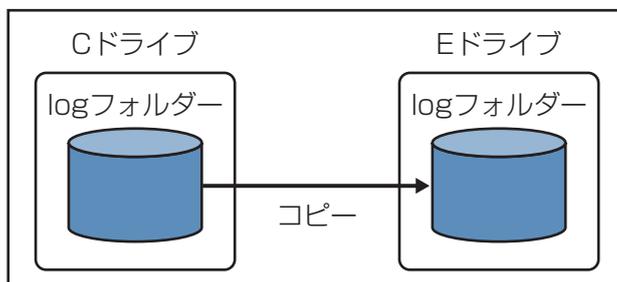


- 入力が終わるとフォルダー名が変更されます。

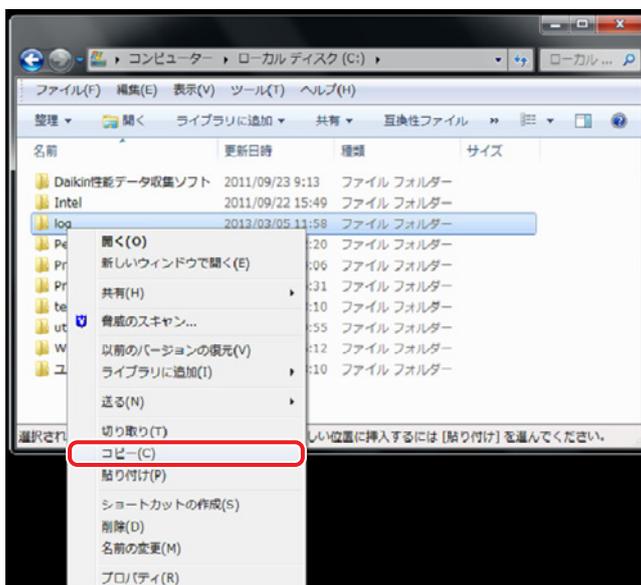


以上でデータのバックアップ作業は終わりです。

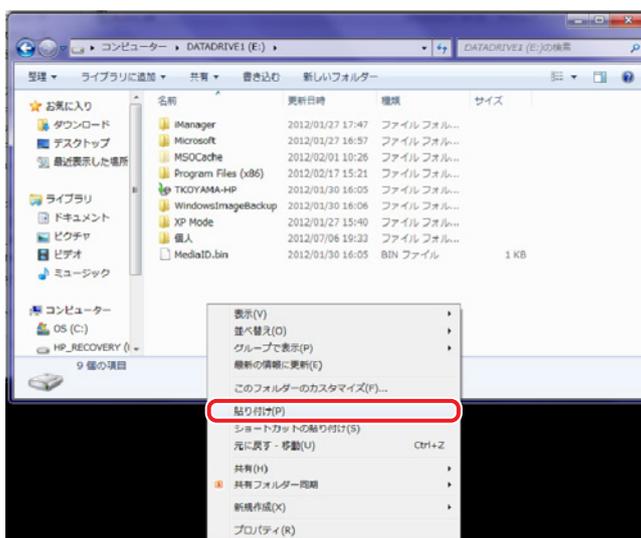
B) 現在の運転データ保存フォルダーがあるドライブとは別のドライブに運転データを移行する場合



- Cドライブの「log」フォルダーを右クリックし、「コピー」をクリックします。



- 運転データ保存フォルダーを作成するドライブを選択します。
- 表示されているフォルダー一覧の中の任意の場所を右クリックし、「貼り付け」をクリックします。



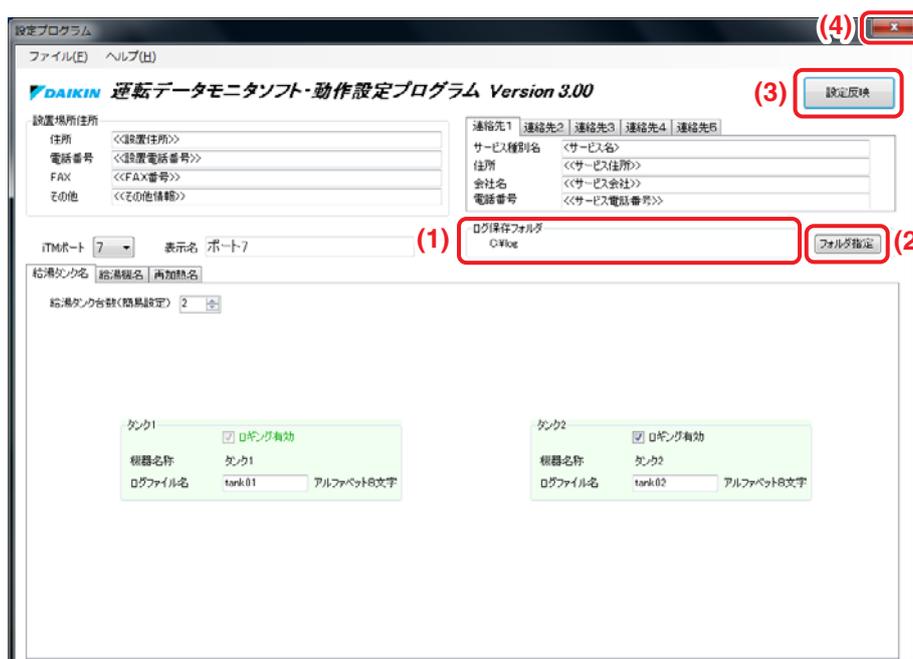
以上でデータの移行作業は完了です。

## 移行させた期間の運転データの表示方法

任意の場所に退避させた期間の運転データを表示させたい場合は、「動作設定プログラム」で運転データ保存フォルダを変更します。

1. 「スタートメニュー」－「すべてのプログラム」－「DAIKIN」－「運転データモニタソフト Ver3.\*.\*」から動作設定プログラムを起動します。  
(\*\*には数字が入ります。)

### <動作設定プログラム画面>



2. (1) に表示された現在の運転データ保存フォルダを確認します。
3. (2) フォルダ指定ボタンで移行したフォルダを選択します。
4. 選択後、(3) 設定反映ボタンをクリックします。
5. (4) ×ボタンをクリックし、動作設定プログラムを終了します。

### NOTE

- 運転データ保存フォルダを変更した場合は、ログ保存フォルダは必ず元の場所に戻してください。
- 運転データ保存フォルダを変更したままで「USBメモリからのデータ取り込み」を実行すると、移行させた運転データが上書きされてしまいます。

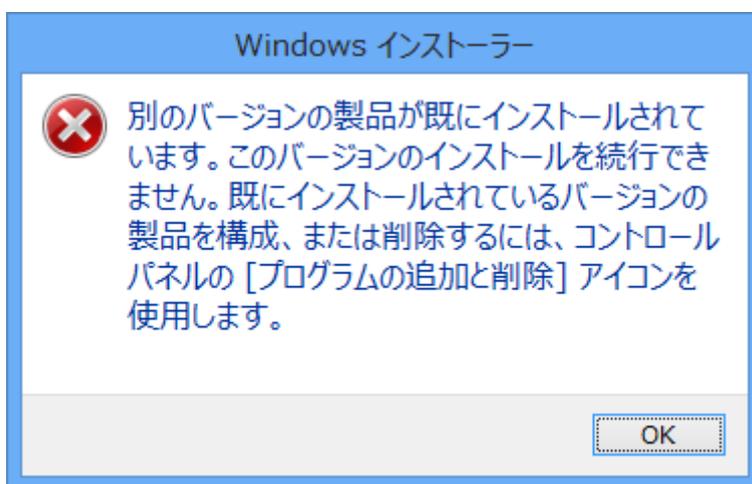
## 15-6 運転データモニタソフトのバージョンアップ

運転データモニタソフトをバージョンアップする場合、パソコンにインストールされているバージョンのソフトをアンインストールする必要があります。

すでにパソコンに取り込んだデータおよび監視盤プログラムで設定した内容は、そのまま引き継がれます。

古いバージョンの運転データモニタソフトは、以下の手順によりアンインストールを行ってください。

古いバージョンの運転データモニタソフトがインストールされているパソコンに新しいバージョンの運転データモニタソフトをインストールしようとする、下記画面が表示されます。

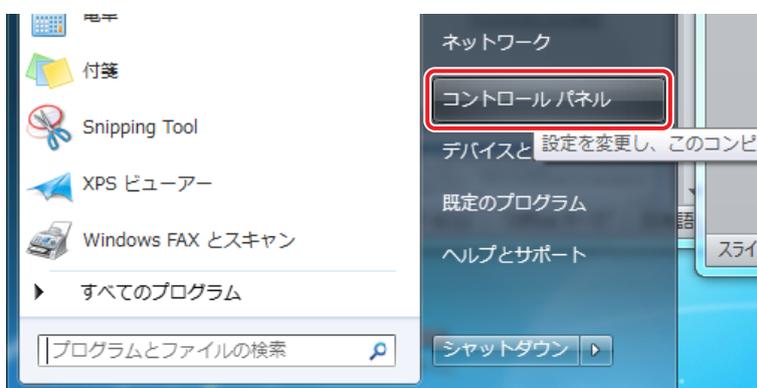


OKボタンをクリックして、古いバージョンの運転データモニタソフトのアンインストール作業を行います。

1. コントロールパネルを開きます。

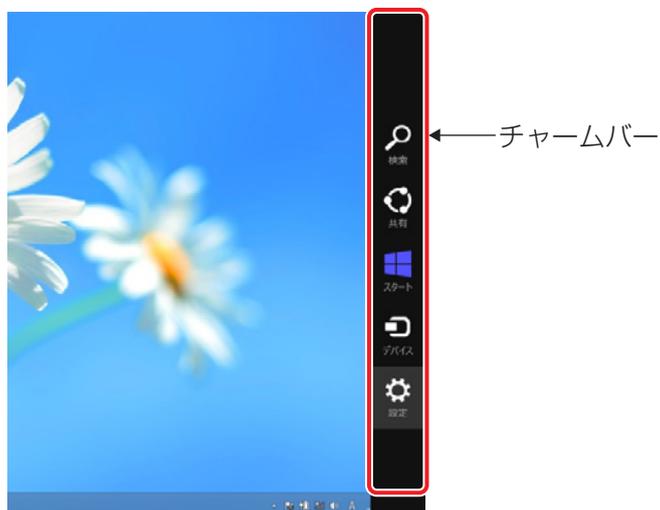
<Windows7の場合>

- 「スタートボタン(左下のWindowsマーク)」⇒「コントロールパネル」を開きます。

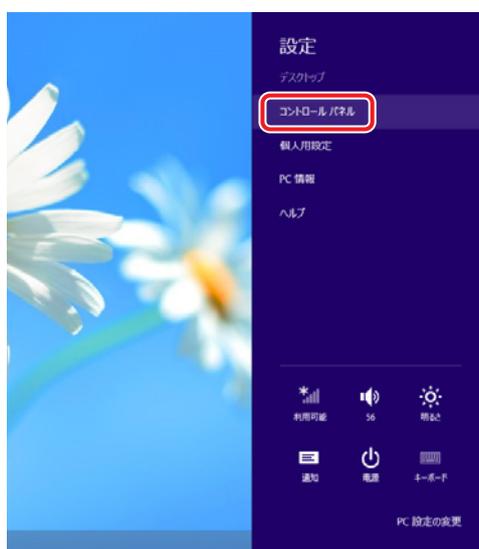


## <Windows8.1の場合>

- 画面右上隅にカーソルをあわせて、チャームバーを表示します。  
チャームバーを表示させたままカーソルを下にもってくることによって、チャームバーの黒い帯が表示されます。



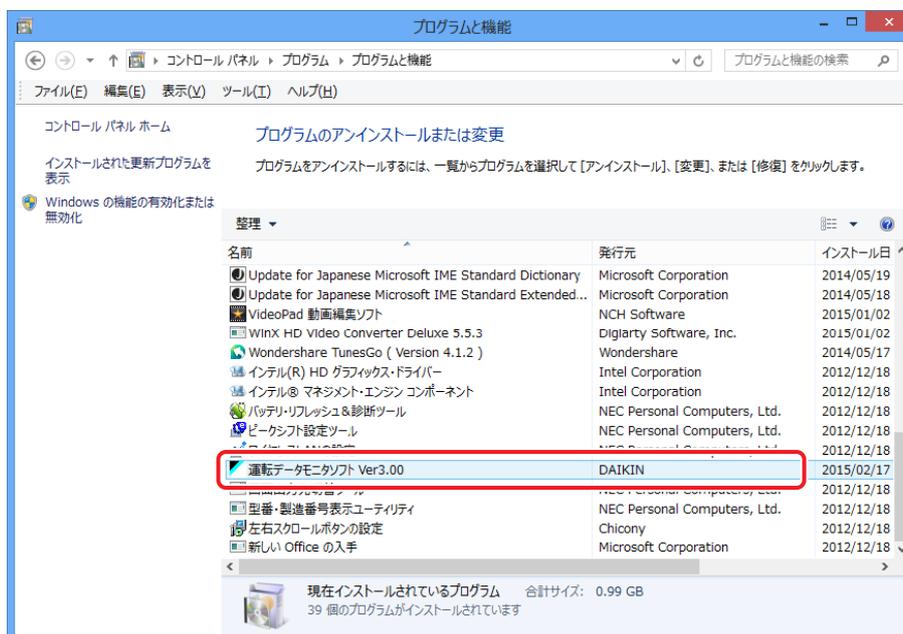
- チャームバーの「設定」をクリックして、「コントロールパネル」を開きます。



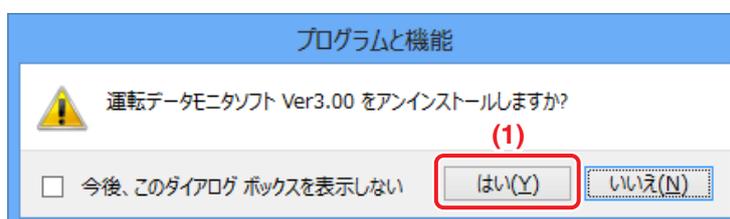
2. コントロールパネルにある「プログラムと機能」を開きます。



3. 古いバージョンの運転データモニタソフトを選択し、右クリックして、「アンインストール」を選択します。



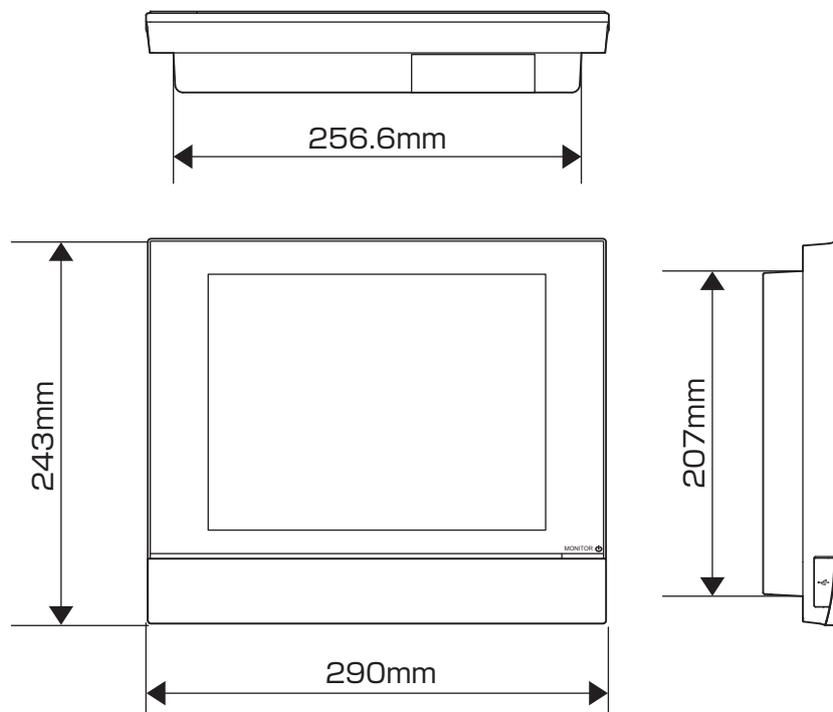
4. 確認画面が表示されるので、(1) はいボタンをクリックします。



- 
5. プログラム一覧から古いバージョンの運転データモニタソフトがなくなっていることを確認し、  
「プログラムと機能」を閉じます。
  6. 13-8 給湯運転データの確認：運転データモニタソフトのインストールにしたがって、  
新しいバージョンの運転データモニタソフトをインストールしてください。

## 16. 仕様について

### 16-1 iTMハードウェア仕様表



電源	AC100~240V 50/60Hz
消費電力	19W
緊急停止入力	常時a接点 接点電流約10mA
外形	W290×H243×D50
重量	2.2kg
使用可能温度	0~40℃
使用可能湿度	85%以下

---

## 16-2 周辺機器仕様表

詳細については、周辺機器仕様表 (CB15A003) をご覧ください。

## 16-3 著作権・商標について

- SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



- 当製品には、イーソル株式会社のリアルタイムOS「eT-Kernel」、ネットワークプロトコル「PrCONNECT/Pro」、ファイルシステム「PrFILE2」、USBスタック「PrUSB」が搭載されています。
- Fugue © 1999-2011 Kyoto Software Research, Inc. All rights reserved.
- (株)リコーがデザイン制作したTrueTypeフォントを使用しています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。  
“Mini Wnn” (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2003 All Rights Reserved.



- Windows・Microsoft Edge・Excelは、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- BACnet<sup>®</sup>は、米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) の登録商標です。
- Google Chromeは、Google LLCの登録商標です。

---

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
- Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

/\* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly  
jloup@gzip.org

Mark Adler  
madler@alumni.caltech.edu

The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt> (zlib format), [rfc1951.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1951.txt) (deflate format) and [rfc1952.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1952.txt) (gzip format).

\*/

# 付録

## 1. iTM 監視制御機能一覧

設定箇所			設定数	
集中監視操作	エリア	作成エリア数	最大650個(「全て」エリア除く)	
		エリアに登録できる管理点総数	最大1300管理点	
		1エリアに対する登録数	最大650点	
		階層数	最大10階層	
	管理点 ※全管理点の総数650点とする	室内機管理点 (室内機管理点・ベンティエール管理点・DESICA管理点・チラー管理点・給湯管理点)		最大512管理点 (室内機・ベンティエール・DESICA・チラー・給湯の総合計)
			室外機管理点 (室外機管理点・スカイエア仮想室外機管理点)	最大256管理点 (室外機管理点・スカイエア仮想室外機管理点の総合計。ただし、室外機管理点は56管理点まで。)
			External管理点 BACnet管理点 Internal Ai管理点	最大512管理点 (External管理点およびBACnet管理点、Internal Aiの合計)
		本体ポート管理点	最大32管理点 (ポート1:1は緊急停止用)	
		Internal Pi管理点	最大56管理点	
		レイアウト表示画面	レイアウトに用いる画像数	最大60枚
			画像1枚に置けるアイコン数	最大100アイコン
		履歴	保存件数	最大50万件 (iTm) ※内部開発情報を含めた履歴件数です。 内部開発履歴については確認できません。
	自動制御機能	スケジュール機能	スケジュールプログラム数	最大100点
			スケジュールパターン数	週間7パターン
特別日5パターン				
イベント数			1スケジュール 最大20個	
年間カレンダー			カレンダー表示	1年分
		カレンダー最大登録数	40件	
連動制御機能		連動プログラム数	最大500点	
		入力に使用する管理点数	最大50管理点	
		出力1 イベント数	管理点最大25個、 エリア:1エリア(管理点登録不可)	
		出力2 イベント数	管理点最大25個、 エリア:1エリア(管理点登録不可)	
緊急停止機能		緊急停止プログラム数	最大32点 (デフォルトプログラムを含む)	
		1グループに登録できる管理点数	最大650管理点	
		緊急停止信号に使用する管理点数	最大6管理点	
自動冷暖切換機能		作成グループ数	最大512グループ	
		1グループに登録できる管理点数	最大64管理点	
Temp. Limit機能		作成グループ数	最大8グループ	
		1グループに登録できる管理点数	最大512管理点	
Sliding Temp.機能		作成グループ数	最大8グループ	
		1グループに登録できる管理点数	最大512管理点	
		1グループに登録できるAi管理点数	最大1管理点	
HMO機能		HMO制御可能な管理点数	最大512管理点	
消し忘れ防止機能		継続時間設定	30分・60分・90分・120分・ 150分・180分から選択可能	
セットバック制御機能		相対セットアップ温度設定	セットバック強・弱共に1~7℃ まで選択可能	
	相対セットバック温度設定			

設定箇所		設定数		
自動制御機能	セットバック制御機能	リカバリ温度設定	冷房リカバリ温度：1～6℃ 暖房リカバリ温度：1～6℃ まで選択可能	
		DESICA連動制御	作成グループ数	最大100グループ
			1グループに登録できる管理点数	ビルマル室内機：最大64管理点 DESICA：最大64管理点 (合計 最大128管理点)
データ管理機能	料金按分機能	按分グループ最大数	最大80グループ	
		1グループに登録できる入力ポート数	最大80ポート	
		1グループに登録できる管理点数	最大512管理点	
		特別に按分する日	表示した日から1年分	
		料金按分データ出力	保存日数	最大13ヵ月分保存
		除外時間帯設定	除外時間帯パターン数	週間 7パターン
		夜間割引時間帯設定	夜間割引時間帯	指定方法：終日、期間、早朝・深夜 時間設定：00：00-24：00 (終日の場合は固定)
		契約電力量設定	月：1月～12月 契約電力量：0～9999999 (kWh)	
		Energy Navigator機能	エネルギー予実管理	各エナジーグループ表示
			消費エネルギー計画値設定	前年比削減率 0～100まで入力可能 年間の消費エネルギー計画値 入力 月間計画値 1～12月分入力
			消費エネルギー実績値登録	換算係数0～9999.999まで入力可能
			エナジーグループ数	最大30グループ
			登録できるPi管理点総数	最大100管理点
			エネルギー種別登録数	最大30個
			エネルギー換算係数登録	各エネルギーに1つ
			運用ルール作成数	最大10個
			運用ルールパターン数	週間7パターン 特別日5パターン
			詳細運用ルール	10パターン
			抽出期間設定	最大1ヵ月分の抽出設定が可能
			消し忘れ抽出	抽出期間設定にしたがって表示 ※最大13ヵ月分保存
	設定温度乖離		抽出期間設定にしたがって表示 ※最大13ヵ月分保存	
	年度月設定	1～12		
	データ出力	年間エネルギー予実データ	2年間	
		月間エネルギー予実データ	最大13ヵ月分保存	
		消し忘れデータ	抽出期間設定にしたがって出力 ※最大13ヵ月分保存	
		設定温度乖離データ	抽出期間設定にしたがって出力 ※最大13ヵ月分保存	
		管理点データ	抽出期間設定にしたがって出力 ※最大13ヵ月分保存 Web遠隔管理の場合は、 最大2ヵ月分の出力可能	
省エネ機能	設定温度シフト制御	シフトできる温度	1～4℃弱める， 1～4℃強める	

設定箇所			設定数		
リモート アクセス機能	Web遠隔管理機能	Webユーザー登録数	管理ユーザー 最大4ユーザー 一般ユーザー 最大60ユーザー		
		電子メール異常発報機能	SMTPサーバー設定	SMTPサーバーアドレス：0～128文字 SMTPサーバーポート番号：1～65535 認証方式：認証なし POP before SMTP SMTP-AUTH POPサーバーアドレス：0～128文字 POPサーバーポート番号：1～65535 ユーザーID：0～64文字 パスワード：0～64文字が設定可能	
		送信条件	送信対象 最大512管理点 再送間隔：1～72時間(1時間単位) サイト名：0～20文字 送信方式：定期送信・即時送信		
		電子メール	宛先メールアドレス 最大10個		
			送信元メールアドレス 1個		
システム機能	システム 設定機能	パスワード設定	管理者パスワード	1～15文字入力	
			ロック解除パスワード	1～15文字入力	
			給湯画面ロック解除パスワード	1～15文字入力	
		管理点・エリア設定	集中監視操作を参照		
		日付時刻設定	現在時刻設定	2010/1/1 0:0:0 ~ 2035/12/31 23:59:59 まで	
			サマータイム設定	サマータイム開始日： 月 1～12月 週 第1～第4、最終週 曜日 日～土 時刻 1:00～4:00(1時間単位) サマータイム終了日： 月 1～12月 週 第1～第4、最終週 曜日 日～土 時刻 2:00～4:00(1時間単位)	
		ネットワーク設定	ホスト名	1～63文字	
			IPアドレス	1～223(*),0～255,0～255,0～255 ※127は使用できません。	
			サブネットマスク	0～255,0～255,0～255	
			デフォルトゲートウェイ	1～223(*),0～255,0～255,0～255 ※127は使用できません。	
	プライマリDNS		または 0,0,0,0		
	セカンダリDNS				
	Webサーバーのポート番号		1024～65535		
	コントローラ名称		1～64文字		
	履歴記録	集中監視操作を参照			
	ロケール 設定機能	言語設定	設定言語数	英/日の2言語	
		日付表示設定	日付表示設定数	「DD/MM/YYYY」, 「MM/DD/YYYY」,「YYYY/MM/DD」 の3パターン	
		小数点フォーマット 設定	区切り記号設定	「.」「,」か「.」「;」	
		アイコン色設定	運転アイコン色	赤・緑	
	ハードウェア設定機能	画面輝度の設定	1～8の8段階		
		警報ブザーの音量	0～5の6段階		
		警報ブザーの鳴動時間	1分・3分・5分・無限の4パターン		
		タッチ操作の音量	0～5の6段階		

設定箇所			設定数	
システム機能	スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの設定	無効、バックライトOff、 画面1～3	
		待ち時間	1～60分	
		異常時スクリーンセーバーOff	有効/無効を設定	
デマンド 制御機能	目標電力設定(電力パルスモード)	デマンド目標値	1～99999kW	
		設定温度制御設定	設定温度制御有効/無効	有効/無効
			制御グループ数	最大8グループ
			管理点登録数	最大512管理点
			冷房設定温度上限	15.0～35.0℃
			暖房設定温度上限	15.0～35.0℃
			開始レベル	電力パルスモード：1～8
				デマコン連動モード：1～3
	各レベルのシフト量	0.0～16.0℃、サーモOFF		
	能力制御設定画面	能力制御有効/無効	有効/無効	
		制御グループ数	最大8グループ	
		管理点登録数	最大80管理点	
		各レベルの能力設定	100/70/40/0%	
	発停制御	発停制御有効/無効	有効/無効	
		制御グループ数	最大8グループ	
		管理点登録数	最大512管理点	
		開始レベル	電力パルスモード：1～8	
	デマコン連動モード：1～3			
	デマンドグラフ(日報)	表示年月日	2010/01/01～2035/12/31	
デマンドグラフ(月報)	表示年月	2010/01～2035/12		
デマンドグラフ(年報)	表示年	2010～2035		
給湯制御機能	システム	システム数	2システム	
	管理点	貯湯タンク台数	2台	
		給湯機台数	12台	
		再加熱ユニット数	12台	
	給湯スケジュール機能	スケジュールプログラム数	給湯システムごとに5点	
		スケジュールパターン数	週間7パターン	
			特別日5パターン	
		年間カレンダー	カレンダー表示	1年分
	カレンダー最大登録数		40件	
	給湯運転データ出力機能	運転データ	1年間	
	給湯機台数制限機能	台数制限	0～100%	
	給湯メイン画面	貯湯タンクの水位	残湯量：0～100%(1%刻み)	
			目標水位：0～100%(10%刻み)	
			最低水位：20%/30%/40%/50%	
	給湯詳細設定画面	出湯温度設定	高め温度：66℃～最高出湯温度	
標準温度：60℃～ 出湯温度設定の高め温度				
タンク湯温設定		50℃～80℃		
最高出湯温度		80℃/85℃/90℃		
給湯機能力設定	ハイパワー/標準/省エネ			

## 2. 設定項目一覧

各タブの設定項目・設定可能範囲は下表のとおりです。

< 詳細設定画面の設定項目一覧表 >

設定箇所	設定項目	設定内容	設定可能範囲【○：設定可能、△：条件付設定可能、×：設定不可能、[ ]内：項目間グレイアウト条件】								備考	
			管理点種別									
			室内機	ベンティエール	DESICA	チラー	Dio	Analog (Ao)	マルチステート(Mo)	室外機		
共通タブ	発停	運転	○	○	○	○	○	×	×	×		
		予冷制御										スケジュールのみ設定可能
		予熱制御										
		停止	○	○	○	○	○	×	×	×		
		セットバック強	△※1	×	×	×	×	×	×	×		
	予冷熱設定温度	摂氏	(例) 25.0℃									スケジュールのみ設定可能
			フィルタサイン	○※10	○※10	○※10	×	×	×	×	×	
	リモコン許可/禁止設定	運転/停止	後押し優先	△※8	△※8	△※8	△※8	×	×	×	×	
			停止のみ許可	△※8	△※8	△※8	△※8	×	×	×	×	
		運転モード	リモコン禁止	△※8	△※8	△※8	△※8	×	×	×	×	リモコン許可/禁止無効時、タブごと非表示
後押し優先			△※8	×	×	△※8	×	×	×	×		
設定温度		リモコン禁止	△※8	×	×	△※8	×	×	×	×		
		後押し優先	△※8	×	×	△※8	×	×	×	×		
運転モード		送風	送風	○	×	×	×	×	×	×	×	
			冷房	○	×	×	○	×	×	×	×	
			暖房	○	×	×	○	×	×	×	×	
			温調	○	×	×	×	×	×	×	×	
	自動		○	×	×	×	×	×	×	×		
	ドライ		△※2	×	×	×	×	×	×	×		
	設定温度		摂氏	(例) 30℃	○※7※13	×	×	○※7	×	×	×	
設定温度	温度シフト	摂氏	4℃弱める									
		3℃弱める										
		2℃弱める										
		1℃弱める										
		1℃強める										
		2℃強める										
		3℃強める										
4℃強める										スケジュール、連動のみ設定可能		
空調機タブ	風量設定	1速	○※12	×	×	×	×	×	×	×		
		2速	○※12	×	×	×	×	×	×	×		
		3速	○※12	×	×	×	×	×	×	×		
		4速	○※12	×	×	×	×	×	×	×		
		5速	○※12	×	×	×	×	×	×	×		
	風向	自動	○※12	×	×	×	×	×	×	×		
		風向0	○	×	×	×	×	×	×	×		
		風向1	○	×	×	×	×	×	×	×		
		風向2	○	×	×	×	×	×	×	×		
		風向3	○	×	×	×	×	×	×	×		
停止タイマー	スイング	○	×	×	×	×	×	×	×			
	On	○	×	×	×	×	×	×	×			
設定温度制限	有効/無効	有効	△※9	×	×	×	×	×	×	×		
		無効	△※9	×	×	×	×	×	×	×		
暖房時制限	MAX 摂氏	(例) 32℃	△※7※9	×	×	×	×	×	×	×	MAXとMINは逆転しないように制限	
		MIN 摂氏	(例) 16℃	△※7※9	×	×	×	×	×	×		
換気モード	有効/無効	有効	△※9	×	×	×	×	×	×	×		
		無効	△※9	×	×	×	×	×	×	×		
換気モード	MAX 摂氏	(例) 32℃	△※7※9	×	×	×	×	×	×	×	MAXとMINは逆転しないように制限	
		MIN 摂氏	(例) 16℃	△※7※9	×	×	×	×	×	×		
換気タブ	換気量 (ベンティエール)	自動 (通常)	×	×	△※3※4	×	×	×	×	×		
		風量1弱 (通常)	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
		風量2 (通常)	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
		風量3強 (通常)	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
		風量4 (通常)	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
		風量5特強 (通常)	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
		自動 (フレッシュアップ)	×	×	△※3※4※5	×	×	×	×	×		
		風量1弱 (フレッシュアップ)	×	×	△※3※5	×	×	×	×	×		
		風量2 (フレッシュアップ)	×	×	△※3※5	×	×	×	×	×		
		風量3強 (フレッシュアップ)	×	×	△※3※5	×	×	×	×	×		
	風量4 (フレッシュアップ)	×	×	△※3※5	×	×	×	×	×			
	風量5特強 (フレッシュアップ)	×	×	△※3※5	×	×	×	×	×			
	換気モード	自動	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
		全熱交	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
		普通	×	×	△※3	×	×	×	×	×		
調湿モード	調湿	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	換気	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	除湿	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
設定湿度 (除湿)	加湿	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	低	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	中	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
設定湿度 (加湿)	高	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	低	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	中	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
換気量 (DESICA)	自動	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	風量1弱	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	風量2	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	風量3強	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
	風量4	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×			
風量5急	×	×	△※3※11	○	×	×	×	×				

設定箇所	設定項目	設定内容	設定可能範囲【○：設定可能、△：条件付設定可能、×：設定不可能、[ ]内：項目間グレイアウト条件】								備考
			管理点種別								
			室内機	ペンディエール	DESICA	チラー	Dio	Analog (Ao)	マルチステート(Mo)	室外機	
詳細設定画面	有効/無効	有効	×	×	×	×	○	×	×	×	集中監視操作の 詳細設定のみ 設定可能
		無効	×	×	×	×	○	×	×	×	
	リピートモード リピート間隔	1	×	×	×	×	○	×	×	×	
		2	×	×	×	×	○	×	×	×	
		3	×	×	×	×	○	×	×	×	
		4	×	×	×	×	○	×	×	×	
		5	×	×	×	×	○	×	×	×	
		6	×	×	×	×	○	×	×	×	
		7	×	×	×	×	○	×	×	×	
		8	×	×	×	×	○	×	×	×	
		9	×	×	×	×	○	×	×	×	
		10	×	×	×	×	○	×	×	×	
	アナログ値 (例) 0.00	×	×	×	×	×	○※6	×	×		
	マルチステート (例) 冷房/暖房	×	×	×	×	×	×	○	×		
低騒音設定	On									エリアの場合設定不可能	
	Off									スケジュールのみ 設定可能	

- ※1 セットバック制御現地設定機能無効時、非表示
- ※2 運転モード(ドライ)無効時、非表示
- ※3 換気モード無効時、換気タブが非表示
- ※4 換気量風量自動無効時、非表示
- ※5 換気量フレッシュアップ無効時、非表示
- ※6 設定したアナログ値の範囲・刻み幅・単位で表示
- ※7 システム設定で選択したC/Fに対応して表示

- ※8 DIII- NET試運転の設定と集中機器接続状態でリモコン許可/禁止無効時、非表示
- ※9 DIII- NET試運転の設定と集中機器接続状態で設定温度制限無効時、非表示
- ※10 フィルタサイン非点灯時、非表示
- ※11 グレイアウト
- ※12 ドライ時、グレイアウト
- ※13 送風・ドライ時、グレイアウト

< イベント設定画面の設定項目一覧表 >

設定箇所	設定項目	設定内容	設定可能範囲 【○：表示、△：条件付表示、×：非表示、( )内：数値範囲】										備考			
			管理点種別													
			室内機	ペンティエール	DESICA	チャラー	Dio	Analog (Ao)	マルチステート	室外機	エリア					
共通タブ	発停	運転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		予冷制御	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		予熱制御	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		停止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		セットバック強	△※1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△※1		
		セットバック弱	△※1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△※1		
		予冷熱設定温度	摂氏 (例) 25.0℃	○(16.0~32.0℃) ※7※11	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(16.0~32.0℃) ※7※11		
		フィルタサイン													集中監視操作の詳細設定のみ設定可能	
		リモコン許可/禁止設定	運転/停止	後押し優先	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	
				停止のみ許可	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	
運転モード	リモコン禁止		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○			
	後押し優先		○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○			
設定温度	リモコン禁止		○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○			
	後押し優先		○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○			
空調機タブ	運転モード		送風	○※10	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○※10		
			冷房	○※10	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○※10		
			暖房	○※10	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○※10		
			温調	○※10	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○※10		
		自動	○※10	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○※10			
		ドライ	△※2※10	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△※2※10			
		設定温度	摂氏 (例) 30℃	○(-30.0~70.0℃) ※7※9※10	×	×	○(-30.0~70.0℃) ※7	×	×	×	×	×	○(-30.0~70.0℃) ※7※9※10			
	設定温度	温度シフト	4℃弱める	○※7※8※10	×	×	×	×	×	×	×	×	○※7※8※10			
			3℃弱める	○※7※8※10	×	×	×	×	×	×	×	×	○※7※8※10			
			2℃弱める	○※7※8※10	×	×	×	×	×	×	×	×	○※7※8※10			
1℃弱める			○※7※8※10	×	×	×	×	×	×	×	×	○※7※8※10				
1℃強める			○※7※8※10	×	×	×	×	×	×	×	×	○※7※8※10				
2℃強める			○※7※8※10	×	×	×	×	×	×	×	×	○※7※8※10				
3℃強める			○※7※8※10	×	×	×	×	×	×	×	×	○※7※8※10				
風量設定	1速	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○				
	2速	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○				
	3速	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	室内機により 選択できる風量は 異なります。			
風向	風向0															
	風向1															
	風向2															
	風向3															
	風向4															
イベント設定画面	停止タイマー	On	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○			
		Off	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○			
	設定温度制限	冷房時制限	有効/無効	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
			MAX	摂氏 (例) 32℃	○(-30.0~70.0℃) ※7※12	×	×	×	×	×	×	×	×	○(-30.0~70.0℃) ※7※12	MAXとMINは逆転 しないように制限	
		暖房時制限	MIN	摂氏 (例) 16℃	○(-30.0~70.0℃) ※7※12	×	×	×	×	×	×	×	×	○(-30.0~70.0℃) ※7※12		
			有効/無効	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
	MAX	摂氏 (例) 32℃	○(-30.0~70.0℃) ※7※13	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(-30.0~70.0℃) ※7※13	MAXとMINは逆転 しないように制限		
		MIN	摂氏 (例) 16℃	○(-30.0~70.0℃) ※7※13	×	×	×	×	×	×	×	×	○(-30.0~70.0℃) ※7※13			
	換気タブ	換気量 (ペンティエール)	自動 (通常)	×	△※3※4	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○		
			風量1弱 (通常)	×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○		
風量2 (通常)			×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
風量3強 (通常)			×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
風量4 (通常)			×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
風量5特強 (通常)			×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
自動 (フレッシュアップ)			×	△※3※4※5	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
風量1弱 (フレッシュアップ)			×	△※3※5	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
風量2 (フレッシュアップ)			×	△※3※5	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
風量3強 (フレッシュアップ)			×	△※3※5	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
風量4 (フレッシュアップ)		×	△※3※5	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○				
風量5特強 (フレッシュアップ)		×	△※3※5	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○				
換気モード		自動	×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
		全熱交	×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
調湿モード		普通	×	△※3	○※14	×	×	×	×	×	×	×	○			
		調湿	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○			
		換気	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○			
		除湿	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○			
設定湿度 (除湿)		加湿	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○			
		低	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○			
	中	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
設定湿度 (加湿)	高	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
	低	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
	中	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
換気量 (DESICA)	自動	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
	風量1弱	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
	風量2	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
	風量3強	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
	風量4	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○				
風量5急	×	○※3※14	○	×	×	×	×	×	×	×	○					

設定箇所	設定項目	設定内容	設定可能範囲【○：表示、△：条件付表示、×：非表示、（）内：数値範囲】									備考		
			管理点種別											
			室内機	ペンティエール	DESICA	デラー	Dio	Analog (Ao)	マルチステート	室外機	エリア			
イベント設定画面	有効/無効	有効											集中監視操作の詳細設定のみ設定可能	
		無効												
	リピートモード	リピート間隔	1											
			2											
			3											
			4											
			5											
			6											
			7											
			8											
			9											
10														
AoMoタブ	アナログ値	(例) 0.00												
	マルチステート	(例) 冷房/暖房												
AoMoタブ	アナログ値	(例) 0.00	×	×	×	×	×	○※6	×	×	○(9999.99~9999.99、単位なし)			
	マルチステート	(例) 冷房/暖房	×	×	×	×	×	×	○※15	×	×			
	低騒音設定	On	×	×	×	×	×	×	×	○	○			
密閉シ	低騒音設定	Off	×	×	×	×	×	×	×	○	○	室外機管理点のデマンドアドレスが有効の場合のみ設定可能		

- ※1 セットバック制御現地設定機能無効時、非表示
- ※2 運転モード(ドライ)無効時、非表示
- ※3 換気モード無効時、換気タブが非表示
- ※4 換気量風量自動無効時、非表示
- ※5 換気量フレッシュアップ無効時、非表示

- ※6 設定したアナログ値の範囲：刻み幅・単位で表示
- ※7 システム設定で選択したC/Fに対応して表示
- ※8 温度設定選択時、グレイアウト
- ※9 温度シフト選択時、グレイアウト
- ※10 予冷熱選択時、グレイアウト

- ※11 予冷熱非選択時、グレイアウト
- ※12 設定温度制限で冷房時制限の無効選択時、グレイアウト
- ※13 設定温度制限で暖房時制限の無効選択時、グレイアウト
- ※14 グレイアウト
- ※15 サービス設定のマルチステート値で設定(管理点データ登録)

<アクション設定画面の設定項目一覧表>

設定箇所	設定項目	設定内容	設定可能範囲【○：表示、△：条件付表示、×：非表示、( )内：数値範囲】								備考			
			管理点種別											
			室内機	ベントィエール	DESICA	チラー	Dio	Analog (Ao)	マルチステート	室外機		エリア		
共通タブ	発停	運転	○	○	○	○	○	×	×	×	○	スケジュールのみ設定可能		
		予冷制御												
		予熱制御												
		停止	○	○	○	○	○	×	×	×	○			
		セットバック強	△※1	×	×	×	×	×	×	×	△※1			
		セットバック弱	△※1	×	×	×	×	×	×	×	△※1			
	予冷熱設定温度	摂氏	(例) 25.0℃									スケジュールのみ設定可能		
	フィルタサイン											集中監視操作の詳細設定のみ設定可能		
	リモコン許可/禁止設定	運転/停止	後押し優先	○	○	○	○	×	×	×	×	○		
			停止のみ許可	○	○	○	○	×	×	×	×	○		
運転モード		リモコン禁止	○	○	○	○	×	×	×	×	○			
		後押し優先	○	×	×	×	×	×	×	×	○			
設定温度		後押し優先	○	×	×	○	×	×	×	×	○			
		リモコン禁止	○	×	×	○	×	×	×	×	○			
空調機タブ		運転モード	送風	○	×	×	×	×	×	×	×	○		
			冷房	○	×	×	○	×	×	×	×	○		
			暖房	○	×	×	○	×	×	×	×	○		
			温調	○	×	×	×	×	×	×	×	○		
	自動		○	×	×	×	×	×	×	×	○			
	ドライ		△※2	×	×	×	×	×	×	×	△※2			
	設定温度		摂氏	(例) 30℃	○(-30.0~70.0)※7※9	×	×	○(-30.0~70.0)※7	×	×	×	×	○(-30.0~70.0)※7※9	
			温度シフト	摂氏	4℃弱める	○※7※8	×	×	×	×	×	×	○※7※8	
	風向き設定	風量設定	1速	○	×	×	×	×	×	×	×	○	室内機により選択できる風量は異なります。	
			2速	○	×	×	×	×	×	×	×	○		
3速			○	×	×	×	×	×	×	×	○			
4速			○	×	×	×	×	×	×	×	○			
5速			○	×	×	×	×	×	×	×	○			
自動			○	×	×	×	×	×	×	×	○			
風向			風向0											集中監視操作の詳細設定のみ設定可能
			風向1											
設定温度制限		停止タイマー	On	○	×	×	×	×	×	×	×	○		
			Off	○	×	×	×	×	×	×	×	○		
	冷房時制限	有効/無効										集中監視操作の詳細設定、スケジュールのみ設定可能		
		MAX 摂氏	(例) 32℃											
	MIN 摂氏	(例) 16℃												
	有効/無効													
	暖房時制限	MAX 摂氏	(例) 32℃											
		MIN 摂氏	(例) 16℃											
	換気タブ	換気量 (ベントィエール)	自動 (通常)	×	△※3※4	○※10	×	×	×	×	×	○	選択したベントィエール管理点の換気モード無効時、タブごと非表示	
			風量1弱 (通常)	×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○		
風量2 (通常)			×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○			
風量3強 (通常)			×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○			
風量4 (通常)			×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○			
風量5特強 (通常)			×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○			
自動 (フレッシュアップ)			×	△※3※4※5	○※10	×	×	×	×	×	○			
風量1弱 (フレッシュアップ)			×	△※3※5	○※10	×	×	×	×	×	○			
風量2 (フレッシュアップ)			×	△※3※5	○※10	×	×	×	×	×	○			
風量3強 (フレッシュアップ)			×	△※3※5	○※10	×	×	×	×	×	○			
風量4 (フレッシュアップ)		×	△※3※5	○※10	×	×	×	×	×	○				
風量5特強 (フレッシュアップ)		×	△※3※5	○※10	×	×	×	×	×	○				
換気モード		自動	×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○			
		全熱交	×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○			
調湿モード		普通	×	△※3	○※10	×	×	×	×	×	○			
		調湿	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○			
		換気	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○			
		除湿	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○			
設定湿度 (除湿)		加湿	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○			
		低	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○			
	中	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
設定湿度 (加湿)	高	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
	低	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
	中	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
換気量 (DESICA)	自動	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
	風量1弱	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
	風量2	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
	風量3強	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
	風量4	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○				
風量5急	×	○※3※10	○	×	×	×	×	×	○					

設定箇所	設定項目	設定内容	設定可能範囲【○：表示、△：条件付表示、×：非表示、( )内：数値範囲】										備考			
			管理点種別													
			室内機	ベンチエール	DESICA	チラー	Dio	Analog (Ao)	マルチステート	室外機	エリア					
アクション設定画面	有効/無効	有効													集中監視操作の詳細設定のみ設定可能	
		無効														
	リビートモード	リビート間隔	1													
			2													
			3													
			4													
			5													
			6													
			7													
			8													
			9													
			10													
	アナログ値	(例) 0.00														
	マルチステート	(例) 冷房/暖房														
Ao	アナログ値	(例) 0.00	×	×	×	×	×	○※6	×	×	○(-9999.99~9999.99, 単位なし)					
	マルチステート	(例) 冷房/暖房	×	×	×	×	×	×	○※11	×	×					
音機	低騒音設定	On														
		Off												スケジュールのみ設定可能		

※1 セットバック制御現地設定機能無効時、非表示  
 ※2 運転モード(ドライ)無効時、非表示  
 ※3 換気モード無効時、換気タブが非表示  
 ※4 換気量風量自動無効時、非表示

※5 換気量フレッシュアップ無効時、非表示  
 ※6 設定したアナログ値の範囲・刻み幅・単位で表示  
 ※7 システム設定で選択したC/Fに対応して表示  
 ※8 温度設定選択時、グレイアウト

※9 温度シフト選択時、グレイアウト  
 ※10 グレイアウト  
 ※11 サービス設定のマルチステート値で設定(管理点データ登録)

< 成立条件設定画面の設定項目一覧表 >

設定箇所	設定項目		設定内容		設定可能範囲【○：表示、×：非表示、( )内：数値範囲】							
					検出対象							
					発停	機器異常	アナログ上下限異常	運転モード	アナログ値条件	マルチステート値	通信異常	
成立条件設定画面	発停・異常タブ	発停・異常成立条件		運転状態または異常を成立条件とする	○	○	○	×	×	×	○	
				停止状態または正常を成立条件とする	○	○	○	×	×	×	○	
	運転モードタブ	運転モード		冷房、ドライ、自動(冷房)	×	×	×	○	×	×	×	
				暖房、自動(暖房)	×	×	×	○	×	×	×	
				送風	×	×	×	○※4	×	×	×	
	アナログ値タブ	アナログ値1		(例) 外気温1	×	×	×	×	○	×	×	
		不等号		>	×	×	×	×	○	×	×	
				<	×	×	×	×	○	×	×	
		定数値	温度	摂氏	(例) 0.0℃	×	×	×	×	○(-512.0~512.0) ※1※3 刻み幅：0.1	×	×
				湿度	(例) 50%	×	×	×	×	○(0~100)※1※3 刻み幅：1	×	×
				CO <sub>2</sub>	(例) 0ppm	×	×	×	×	○(50~5000)※1※3 刻み幅：1	×	×
				汎用	(例) 0.00	×	×	×	×	○(-9999.99~9999.99)※1※3 刻み幅：0.01	×	×
		管理点 オフセット	アナログ値2		(例) 室温1	×	×	×	×	○※2	×	×
			温度	摂氏	(例) 0.0	×	×	×	×	○(-512.0~512.0) ※1※2 刻み幅：0.1	×	×
				湿度	(例) 0%	×	×	×	×	○(-100~100)※1※2 刻み幅：1	×	×
	CO <sub>2</sub>			(例) 0ppm	×	×	×	×	○(-5000~5000)※1※2 刻み幅：1	×	×	
	汎用	(例) 0.00		×	×	×	×	○(-9999.99~9999.99)※1※2 刻み幅：0.01	×	×		
	不感帯	温度	摂氏	(例) 1.0	×	×	×	×	○(0.0~512.0)※1 刻み幅：0.1	×	×	
			湿度	(例) 5	×	×	×	×	○(0~50)※1 刻み幅：1	×	×	
			CO <sub>2</sub>	(例) 0ppm	×	×	×	×	○(0~2500)※1 刻み幅：1	×	×	
			汎用	(例) 1.00	×	×	×	×	○(0.00~9999.99)※1 刻み幅：0.01	×	×	
	マルチステート値タブ	マルチステート値		PV値：1に対する文字列	×	×	×	×	×	○	×	
				PV値：2に対する文字列	×	×	×	×	×	○	×	
				PV値：3に対する文字列	×	×	×	×	×	○	×	
PV値：4に対する文字列				×	×	×	×	×	○	×		
PV値：5に対する文字列				×	×	×	×	×	○	×		
PV値：6に対する文字列				×	×	×	×	×	○	×		
PV値：7に対する文字列				×	×	×	×	×	○	×		
PV値：8に対する文字列				×	×	×	×	×	○	×		
PV値：9に対する文字列				×	×	×	×	×	○	×		
PV値：10に対する文字列				×	×	×	×	×	○	×		

※1 選択した管理点のアナログタイプに対応して表示  
 ※2 定数値選択時、選択不可  
 ※3 管理点選択時、選択不可  
 ※4 チラー管理点選択時、非表示

<Web遠隔管理機能の設定項目一覧表>

[凡例] ○：可能、×：不可

画面	機能	Webでの利用	備考	
監視操作画面	アイコン表示	エリア一括操作	○	
		エリア一括監視	○	
		管理点操作	○	
		管理点監視	○	
	リスト表示	エリア一括操作	○	
		エリア一括監視	○	
		管理点操作	○	
		管理点監視	○	
	レイアウト表示	エリア一括操作	○	iTM本体でレイアウトの登録が必要
		エリア一括監視	○	
		管理点操作	○	
		管理点監視	○	
メニューリスト画面	自動制御タブ	スケジュール制御設定	○	
		連動制御設定	○	
		緊急停止制御設定	○	
		自動冷暖切替設定	○	現地設定機能
		Temp. Limit	○	現地設定機能
		SlidingTemp.	○	現地設定機能
		HMO設定	○	現地設定機能
		消し忘れ防止設定	○	
		セットバック制御設定	○	現地設定機能
		デマンド制御	○	メーカーオプション機能
		DESICA省エネ連動	○	現地設定機能
		給湯スケジュール制御設定	○	メーカーオプション機能
		給湯機台数制限設定	○	メーカーオプション機能
		システム設定タブ	エリア設定	○
	管理点設定		○	
	点検中設定		○	
	ネットワーク設定		○	
	電子メール設定		○	
	Webアクセス設定		○	
	パスワード設定			
	管理者パスワード保護		○	
	ロック解除パスワード保護		○	画面ロック機能はiTM本体のみ可能。
	スクリーンセーバー設定		×	iTM本体でのみ利用可能。
	ハードウェア設定		×	iTM本体でのみ利用可能。
	タッチパネルキャリブレーション		×	iTM本体でのみ利用可能。
	時刻設定		○	
	ロケール設定	×	iTM本体のロケール設定は利用不可。 ただし、Webログイン画面のユーザー設定でWebユーザーごとにWeb遠隔管理機能のロケール設定が可能。	
確認動作設定	○			
バックアップ	×	iTM本体でのみ利用可能。		
リモートメンテナンス設定	×	iTM本体でのみ利用可能。		
給湯タンク切替	○	メーカーオプション機能		
バージョン情報	○			
運用管理タブ	履歴			
	履歴表示	○		
	履歴出力	○	PCのハードディスクにファイルを出力。	
	按分			
	按分データ出力	○	PCのハードディスクにファイルを出力。	
	除外時間帯設定	○		
	夜間時間帯設定	○		
	設定一括出力	○	PCのハードディスクにファイルを出力。	
	給湯運転データ出力	○	メーカーオプション機能	
	Energy Navigatorタブ	エネルギーの予実管理	○	メーカーオプション機能。 管理点データ出力の最大出力期間は2ヶ月。
設備の運用管理		○		
データ出力				
エネルギーデータ出力		○		
	管理点データ出力	○		
Webログイン画面	ユーザ設定	ロケール設定		WebユーザーごとにWeb遠隔管理機能のロケール設定が可能。
		言語設定	○	
		日付表示設定	○	
		時刻表示設定	○	
		小数点/CSV区切り文字	○	
		アイコン色設定	○	

### 3. エリア設定 CSVファイルフォーマット

保存・読込みに使用するCSVファイルのフォーマットは次のとおりです。

	[ファイルバージョン]
エリア情報 ブロック	@S:AREA-INFO
	S
	A, [エリアID], [エリア名称], [詳細情報], [順次起動間隔], [順次停止間隔], [アイコンID]
	, A, [エリアID], [エリア名称], [詳細情報], [順次起動間隔], [順次停止間隔], [アイコンID]
	, , P, [管理点ID]
	, P, [管理点ID]
	...
@E:AREA-INFO	
管理点情報 ブロック	@S:PNT-INFO
	[管理点ID], [管理点名称], [管理点詳細情報], [管理点種別], [アイコンID]
	...
	@E:PNT-INFO

#### エリア情報ブロック

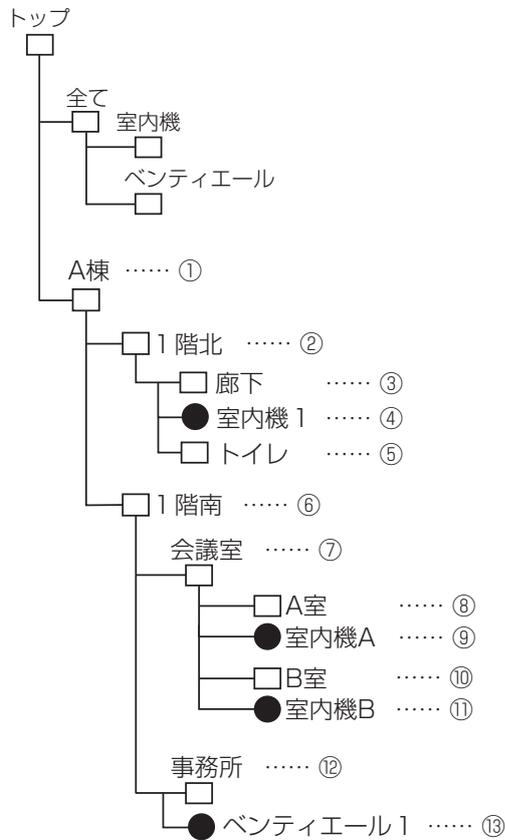
- @S:AREA-INFO～@E:AREA-INFOまでの行がエリア情報ブロックです。
- 「全て」エリアの識別子は「S」で記述します。
- 「S」で始まる行の次の行は、区切り文字（上記の例ではカンマ）で始まりません。必ず「A」または「P」の識別子の記載が必要です。
- 1 エリアまたは 1 管理点の情報を 1 行で記述します。
- エリア情報の識別子は半角「A」、管理点情報の識別子は半角「P」で記述します。
- 「A」・「P」の前にある区切り文字の数は、親エリアの階層数を表します。
- トップのエリア直下に属する管理点情報の「A」・「P」の前には区切り文字が付きません。
- 階層 1 のエリアに属するエリア・管理点情報の「A」・「P」の前には、区切り文字を 1 個記述します。
- 階層 2 のエリアに属するエリア・管理点情報の「A」・「P」の前には、区切り文字を 2 個記述します。（「A」の前には最大 9 個、「P」の前には最大 10 個の区切り文字を記述できます。）
- エリア情報ブロックの先頭の行は、必ず、階層 1 に位置するエリア・管理点情報にします。（必ず、「A」、「P」または「S」で始まります。）

#### 管理点情報ブロック

- 管理点情報ブロックは参考情報（コメント扱い）として表示するため、本ブロックのデータを変更し、CSVファイルを読み込んでも管理点の情報を変更しません。

## <エリア構成とCSVファイルフォーマット例>

### エリア構成例



### CSVファイルフォーマット例

対象番号	補足説明
Area CSV-file iTM Ver.1	ファイルバージョン情報
@S:AREA-INFO	エリア情報ブロック開始
S	ALLエリア
A,113,A棟,,0,0,000 . . . ①	
,A,112,1階北,,0,0,000 . . . ②	
,,A,114,廊下,,0,0,000 . . . ③	
,,P,101 . . . ④	
,,A,122,トイレ,,0,0,000 . . . ⑤	
,A,117,1階南,,0,0,000 . . . ⑥	
,,A,118,会議室,,0,0,000 . . . ⑦	
,,A,125,A室,,0,0,000 . . . ⑧	
,,P,102 . . . ⑨	
,,A,126,B室,,0,0,000 . . . ⑩	
,,P,103 . . . ⑪	
,,A,128,事務所,,0,0,000 . . . ⑫	
,,P,111 . . . ⑬	
@E:AREA-INFO	エリア情報ブロック終了
@S:PNT-INFO	管理点情報ブロック開始
101,室内機1,1階北エリア,室内機,101	
102,室内機A,1階南エリア,室内機,101	
103,室内機B,1階南エリア,室内機,101	
111,ベンティエール1,1階南エリア,ベンティエール,201	
@E:PNT-INFO	管理点情報ブロック終了

## 4. 履歴項目一覧

大分類	中分類	履歴種別	履歴番号	文言※1 内容	名称	指令元※2
A.システム	起動	制御	A001	起動	コントローラ	
	ログイン・ログアウト	制御	A011	ログインしました。((PCのIPアドレス))	[Webユーザー名]	
		制御	A012	ログアウトしました。((PCのIPアドレス))	[Webユーザー名]	
		制御	A013	Webユーザログインを数分間ロックしました。((PCのIPアドレス))	[Webユーザー名]	
	エリア設定	設定	A021	エリア 追加	[エリア名称]	[設定元]
		設定	A022	エリア 削除	[エリア名称]	[設定元]
		設定	A023	エリア名称 変更 ([変更後エリア名称])	[変更前エリア名称]	[設定元]
		設定	A024	エリア登録メンバー 変更	[エリア名称]	[設定元]
		設定	A025	エリア順次起動間隔 変更 ([順次起動間隔]秒)	[エリア名称]	[設定元]
		設定	A026	エリア順次停止間隔 変更 ([順次停止間隔]秒)	[エリア名称]	[設定元]
		設定	A027	エリア 移動	[エリア名称]	[設定元]
		設定	A028	エリア CSV入力	エリア	[設定元]
	管理点設定	設定	A031	管理点名称 変更 ([変更後管理点名称])	[変更前管理点名称]	[設定元]
	点検中設定	設定	A041	点検中モード [設定/解除]	[管理点名称]	[状態元]
	ネットワーク設定	設定	A051	ホスト名 変更 ([ホスト名])	ネットワーク	[設定元]
		設定	A052	IPアドレス 変更 ([IPアドレス])	ネットワーク	[設定元]
		設定	A053	サブネットマスク 変更 ([サブネットマスク])	ネットワーク	[設定元]
		設定	A054	デフォルトゲートウェイ 変更 ([デフォルトゲートウェイ])	ネットワーク	[設定元]
		設定	A055	プライマリDNS 変更 ([プライマリDNS])	ネットワーク	[設定元]
		設定	A056	セカンダリDNS 変更 ([セカンダリDNS])	ネットワーク	[設定元]
		設定	A057	Webサーバポート番号 変更 ([Webサーバポート番号])	ネットワーク	[設定元]
	電子メール	設定	A061	電子メール [有効/無効] (メールアドレス(To):[送信先No])	電子メール	[設定元]
		制御	A062	メールを送信しました。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A063	メールの送信に失敗しました。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A064	メールを再送します。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A065	通信がタイムアウトしました。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A066	POPサーバに接続できません。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A067	SMTPサーバに接続できません。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A068	POPサーバのユーザ認証に失敗しました。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A069	SMTPサーバが応答しません。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A070	SMTPサーバに接続を拒否されました。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A071	SMTPサーバのユーザ認証に失敗しました。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
		異常	A072	SMTPで他の認証方式を要求されました。(メールアドレス(To):[送信先No] メールID:[メールID])	電子メール	
	Webアクセス設定	設定	A081	Webユーザ 登録	[Webユーザー名]	[設定元]
		設定	A082	Webユーザ 削除	[Webユーザー名]	[設定元]
		設定	A083	Webパスワード 変更	[Webユーザー名]	[設定元]
	パスワード設定	設定	A091	管理者パスワード [有効/無効]	パスワード	[設定元]
		設定	A092	管理者パスワード 変更	パスワード	[設定元]
		設定	A093	ロック解除/パスワード [有効/無効]	パスワード	[設定元]
		設定	A094	ロック解除/パスワード 変更	パスワード	[設定元]
		設定	A095	給湯ロック解除/パスワード [有効/無効]	パスワード	[設定元]
		設定	A096	給湯ロック解除/パスワード 変更	パスワード	[設定元]
	スクリーンセーバー設定	設定	A101	スクリーンセーバー 変更 ([スクリーンセーバー設定])	スクリーンセーバー	[設定元]
		設定	A102	待ち時間 変更 ([待ち時間]分)	スクリーンセーバー	[設定元]
		設定	A103	異常時スクリーンセーバーOFF [有効/無効]	スクリーンセーバー	[設定元]
	ハードウェア設定	設定	A111	画面輝度 変更 ([画面輝度])	ハードウェア	[設定元]
		設定	A112	警報ブザー音量 変更 ([警報ブザー音量])	ハードウェア	[設定元]
		設定	A113	警報ブザー鳴動時間 変更 ([警報ブザー鳴動時間])	ハードウェア	[設定元]
		設定	A114	タッチ操作音量 変更 ([タッチ操作音量])	ハードウェア	[設定元]
	時刻設定	設定	A121	時刻 変更 ([変更後時刻])	時刻	[設定元]
		設定	A122	夏時間設定 [有効/無効]	時刻	[設定元]
		設定	A123	夏時間設定 変更 (開始日:[夏時間開始日] 終了日:[夏時間終了日])	時刻	[設定元]
	ロケール設定	設定	A131	表示言語 変更 ([言語名])	ロケール	[設定元]
		設定	A132	日付表示 変更 ([日付表示])	ロケール	[設定元]
		設定	A133	時刻表示 変更 ([時刻表示])	ロケール	[設定元]
		設定	A135	小数点/CSV区切り 変更 (小数点:[小数点] CSV区切り:[CSV区切り])	ロケール	[設定元]
		設定	A136	運転アイコン色 変更 ([運転アイコン色])	ロケール	[設定元]
		設定	A141	操作確認ダイアログ表示 [有効/無効]	確認動作	[設定元]
	バックアップ	制御	A151	バックアップが実行されました。	バックアップ	
		制御	A152	バックアップが中断されました。	バックアップ	
	リモートメンテナンス	設定	A161	インターネット 接続完了	無線モデム	[設定元]
		異常	A162	インターネット 接続失敗 (理由: [内容詳細])	無線モデム	
		設定	A163	インターネット 接続解除	無線モデム	[設定元]
		異常	A164	インターネット接続が何らかの理由により切断されました。	無線モデム	
	連絡先設定	設定	A171	連絡先 変更 (行番号)	連絡先	[設定元]

大分類	中分類	履歴種別	履歴番号	文言※1 内容	名称	指令元※2		
A.システム	給湯関連	設定	A901	最低水位設定 変更 ([最低水位]%)	[給湯システム名称]	[本体/Web.ユーザー名]		
		設定	A902	湯温設定 変更 ([湯温]°C /F)	[給湯システム名称]	[本体/Web.ユーザー名]		
		設定	A903	給湯機能力設定 変更 ([ハイパワー/標準/省エネ])	[給湯システム名称]	[本体/Web.ユーザー名]		
		設定	A904	管理点名称 変更 ([変更後管理点名称])	[変更前管理点名称]	[設定元]		
		設定	A911	メインタンク 切換 ([タンク])	[給湯システム名称]	[本体/Web.ユーザー名]		
		異常	A912	メインタンク 切換失敗	[給湯システム名称]	[本体/Web.ユーザー名]		
B.監視/操作	異常 (External・BACnet含む)	異常	B001	集中機器組み合わせ異常 発生	DⅢ-NET			
		異常	B002	アドレス重複異常 発生	DⅢ-NET			
		異常	B003	DⅢPORT 親重複異常 発生	DⅢ-NET			
		異常	B004	DⅢ プラスアダプタ通信異常 発生	DⅢ-NET			
		異常	B005	集中機器通信異常 発生	DⅢ-NET			
		異常	B006	DⅢPORT 極性判定異常 発生	DⅢ-NET			
		異常	B007	DⅢPORT 送信バッファオーバーフロー 発生	DⅢ-NET			
		異常	B010	空調機異常 検出 (Unit[ユニット番号])	[管理点名称]			
		異常	B011	空調機異常 発生 (Unit[ユニット番号])	[管理点名称]			
		解除	B012	空調機異常 復旧	[管理点名称]			
		異常	B013	空調機異常 検出	[管理点名称]			
		異常	B014	空調機異常 発生	[管理点名称]			
		異常	B016	機器異常 検出	[管理点名称]			
		異常	B017	機器異常 発生	[管理点名称]			
		解除	B018	機器異常 復旧	[管理点名称]			
		異常	B019	アナログ上限異常 発生	[管理点名称]			
		異常	B020	アナログ下限異常 発生	[管理点名称]			
		解除	B021	アナログ上限異常 復旧	[管理点名称]			
		解除	B022	アナログ下限異常 復旧	[管理点名称]			
		異常	B023	通信異常 発生	[管理点名称]			
		解除	B024	通信状態 復旧	[管理点名称]			
			BACnet関連の異常	異常	B031	通信異常 発生 ※3	[管理点名称]	
		解除		B032	通信状態 復旧	[管理点名称]		
			給湯関連の異常	異常	B901	機器異常 検出 ([機器名称])	[管理点名称]	
	異常	B902		機器異常 発生 ([機器名称])	[管理点名称]			
	解除	B903		機器異常 復旧 ([機器名称])	[管理点名称]			
	異常	B904		通信異常 発生 ([機器名称])	[管理点名称]			
	解除	B905		通信状態 復旧 ([機器名称])	[管理点名称]			
		状態変化	状態	B101	[運転/停止/セットバック強/セットバック弱] ※4	[管理点名称]	[状態元] ※5	
	状態		B102	運転モード 変更 ([運転モード])	[管理点名称]	[状態元]		
	状態		B103	設定温度 変更 ([設定温度]°C)	[管理点名称]	[状態元]		
	状態		B104	風量 変更 ([風量])	[管理点名称]			
	状態		B105	風向 ([風向])	[管理点名称]			
	状態		B106	リモコン設定 ([リモコン:許/リモコン:禁/リモコン:停許] [モード:許/モード:禁] [温度:許/温度:禁])	[管理点名称]			
	状態		B107	フィルタサインリセット	[管理点名称]			
	状態		B108	停止タイマー機能[開始/終了]	[管理点名称]			
	状態		B109	冷房設定温度制限機能 [有効/無効] ([冷房設定温度制限範囲])	[管理点名称]			
	状態		B110	暖房設定温度制限機能 [有効/無効] ([暖房設定温度制限範囲])	[管理点名称]			
	状態		B112	換気モード 変更 ([換気モード])	[管理点名称]			
	状態		B113	換気量 変更 ([換気量]) ※6、※8	[管理点名称]			
	状態		B114	リビートモード [有効/無効] ([リビート間隔] 分)	[管理点名称]			
	状態		B115	変更 [アナログ値][単位文字列]	[管理点名称]			
	状態		B126	調湿モード 変更 ([調湿モード])	[管理点名称]			
	状態		B127	設定湿度(除湿) 変更 ([設定湿度])	[管理点名称]			
	状態		B128	設定湿度(加湿) 変更 ([設定湿度])	[管理点名称]			
	状態		B129	変更[マルチステータス値]	[管理点名称]			
	状態	B142	換気量 変更 ([換気量]) ※7、※8	[管理点名称]				
		給湯関連 状態変化	状態	B951	[スケジュール運転/満蓄運転/停止]	[管理点名称]	[本体/Web.ユーザー名]	
		エコモード状態変化	状態	B130	冷房エコモード変更 [有効/無効] ([標準/弱])	[管理点名称]		
	状態		B131	暖房エコモード変更 [有効/無効] ([標準/弱])	[管理点名称]			
		低騒音設定状態変化	状態	B137	[低騒音設定 On/低騒音設定 Off]	[管理点名称]		
		能力値設定状態変化	状態	B138	能力値 [100/70/40/0]%	[管理点名称]	[状態元]	
	C.自動制御	スケジュール制御	設定	C001	スケジュール [有効/無効]	[プログラム名称]	[設定元]	
			制御	C002	スケジュール 実行	[プログラム名称]	スケジュール	
			制御	C003	スケジュール有効期間 [開始/終了]	[プログラム名称]	スケジュール	
			制御	C004	開始 (予冷予熱制御)	[プログラム名称]	予冷・予熱	
		連動	設定	C011	連動制御 [有効/無効]	[プログラム名称]	[設定元]	
			制御	C012	連動制御 実行	[プログラム名称]	連動制御	
		緊急停止	設定	C021	緊急停止 [有効/無効]	[プログラム名称]	[設定元]	
			制御	C022	緊急停止 実行	[プログラム名称]	緊急停止	
			異常	C023	防災信号入力	[プログラム名称]		
			解除	C024	防災信号解除	[プログラム名称]		

大分類	中分類	履歴種別	履歴番号	文言※1 内容	名称	指令元※2
C.自動制御	緊急停止	解除	C025	緊急停止 強制解除	[プログラム名称]	[本体/Web:ユーザー名]
		解除	C026	緊急停止 解除	[プログラム名称]	[本体/Web:ユーザー名]
	自動冷暖切替	設定	C031	Automatic Change Over [有効/無効]	[プログラム名称]	[設定元]
	Temp. Limit	設定	C041	Temperature Limit [有効/無効]	[プログラム名称]	[設定元]
	Sliding Temp.	設定	C051	Sliding Temperature [有効/無効]	[プログラム名称]	[設定元]
	HMO	設定	C061	Heating Mode Optimization [有効/無効]	[管理点名称]	[設定元]
		制御	C062	暖房時最適停止機能により[停止/運転]	[管理点名称]	暖房時最適停止
	消し忘れ防止	制御	C071	停止タイマースタート	[管理点名称]	停止タイマー
		制御	C072	停止タイマー機能により停止	[管理点名称]	停止タイマー
	省エネ当番	制御	C081	ピークカット制御:遮断レベル[レベル] 予測電力:[予測電力値]kW 目標電力:[目標電力値]kW	室外機	省エネ当番
		制御	C082	ピークカット制御:遮断解除 予測電力:[予測電力値]kW 目標電力:[目標電力値]kW	室外機	省エネ当番
		設定	C083	制御中止	省エネ当番	[設定元]/自動制御
		設定	C084	制御復帰	省エネ当番	[設定元]/自動制御
	上位集中	制御	C101	下位集中操作を許可されました。	DⅢ-NET	
		制御	C102	下位集中操作を禁止されました。	DⅢ-NET	
	セットバック制御	設定	C111	冷房時リカバリ温度 変更 (冷房時リカバリ温度)	セットバック制御	[設定元]
		設定	C112	暖房時リカバリ温度 変更 (暖房時リカバリ温度)	セットバック制御	[設定元]
		設定	C113	セットバック強:相対セットアップ温度 変更 (相対セットアップ温度)	セットバック制御	[設定元]
		設定	C114	セットバック弱:相対セットバック温度 変更 (相対セットバック温度)	セットバック制御	[設定元]
		設定	C115	セットバック強:相対セットアップ温度 変更 (相対セットアップ温度)	セットバック制御	[設定元]
		設定	C116	セットバック弱:相対セットバック温度 変更 (相対セットバック温度)	セットバック制御	[設定元]
		制御	C117	セットバック解除	[管理点名称]	[本体/Web:ユーザー名/スケジュール/連動]
	デマンド制御	設定	C121	設定温度制御 (有効)	デマンド制御	[設定元]
		設定	C122	設定温度制御 (無効)	デマンド制御	[設定元]
		設定	C123	発停制御 (有効)	デマンド制御	[設定元]
		設定	C124	発停制御 (無効)	デマンド制御	[設定元]
		設定	C125	室外機能力制御 (有効)	デマンド制御	[設定元]
		設定	C126	室外機能力制御 (無効)	デマンド制御	[設定元]
		設定	C127	目標電力変更 ([目標電力値]kW)	デマンド制御	[設定元]
		制御	C131	デマンド制御: [遮断レベル] 予測電力:[予測電力値]kW 目標電力:[目標電力値]kW	デマンド制御	
		異常	C133	外部同期信号異常	デマンド制御	
		制御	C134	デマンド制御: [遮断レベル]	デマンド制御	
	DESICA省エネ連動	設定	C141	DESICA省エネ連動 [有効/無効]	[プログラム名称]	[設定元]
給湯関連のスケジュール制御	設定	C901	給湯スケジュール [有効/無効]	[プログラム名称]	[本体/Web:ユーザー名]	
給湯機台数制限制御	設定	C902	給湯機台数制限[有効/無効]	給湯機台数制限	[本体/Web:ユーザー名]	
D.運用管理	EnergyNavigator	異常	D001	データベース保存 失敗	コントローラ	
		設定	D002	Group設定 変更	[グループ名称]	[設定元]
		設定	D003	消費エネルギー計画値 変更	[グループ名称]	[設定元]
		設定	D004	消費エネルギー実績値 変更	[グループ名称]	[設定元]
	按分	異常	D051	電力按分 データが正しくありません。(電力overflow)	[管理点名称]	
		異常	D052	電力按分 データが正しくありません。(停止電力overflow)	[管理点名称]	
		異常	D053	電力按分 データが正しくありません。(電力入力パルス異常)	[管理点名称]	
		異常	D055	按分 バックアップスタート。	コントローラ	
		異常	D056	按分 データが壊れました。	コントローラ	
		制御	D057	按分: データクリア	コントローラ	
		異常	D058	ガス按分 データが正しくありません。(ガスoverflow)	[管理点名称]	
		異常	D059	ガス按分 データが正しくありません。(ガス入力パルス異常)	[管理点名称]	
		異常	D060	蓄熱按分 データが正しくありません。(夜間電力overflow)	[管理点名称]	
		異常	D061	蓄熱按分 データが正しくありません。(夜間停止電力overflow)	[管理点名称]	
		異常	D062	蓄熱按分 データが正しくありません。(蓄熱電力overflow)	[管理点名称]	
		異常	D063	蓄熱按分 データが正しくありません。(夜間蓄熱電力overflow)	[管理点名称]	
		異常	D064	蓄熱按分 データが正しくありません。(室外機空調電力異常)	[管理点名称]	
		異常	D065	蓄熱按分 室外機通信異常発生	[管理点名称]	
		解除	D066	蓄熱按分 室外機通信異常復旧	[管理点名称]	
		給湯関連運転データ蓄積	異常	D901	給湯データ書き込み失敗	コントローラ

- ※1 [ ]内は変数を表す。[ ]内の"/"はorを意味し、どちらかの値を選択する。  
 ※2 設定元、状態元の具体的な値は、「指令元情報の付加」を参照。  
 ※3 異常の種類により、内容欄に、通信異常 発生のみの場合と、以下の3種類の情報が表示される。  
 ① (SF [オブジェクトSF状態])  
 ② (オブジェクトが存在しない)  
 ③ (サーバーが通信異常)  
 ※4 セットバック強弱の状態元表示はDⅢ管理点のみで、本体Di・External・BACnet管理点の場合は表示されない。  
 ※5 指令元の状態元表示はDⅢ管理点のみで、本体Di・External・BACnet管理点の場合は表示されない。  
 ※6 ベンチエールの換気量変更の履歴になります。  
 ※7 DESICAの換気量変更の履歴になります。  
 ※8 換気量は2速機・3速機であっても、5速機の値を表示します。2速機・3速機は右表のとおり読み替えてください。

ベンチエール		
実際の機器	iTM	
換気段数	換気量	換気量の履歴表示
2速機	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
3速機	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
	特強	風量5 特強
DESICA		
実際の機器	iTM	
換気段数	換気量	換気量の履歴表示
2速機	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
3速機	弱	風量1 弱
	強	風量3 強
	急	風量5 急

## <指令元情報の付加>

### 設定履歴の指令元 (設定元)

本体またはWebのどちらから設定したのか (設定元) を表す。設定元が「Web」の場合は、ユーザー名も付加する。

設定元の一覧を以下に示す。

設定元		履歴に付加する文字列 (「USER」はユーザー名を表す)
		日本語
iTM	本体	iTM
	Web	ウェブ : USER

### 状態履歴の指令元 (状態元)

どの機能の指令による状態変化であるか (状態元) を表す。状態元が「Web」の場合は、ユーザー名も付加する。

状態元がiTM以外の制御機器である場合は、指令元情報を付加しない。

状態元の一覧を以下に示す。

状態元	履歴に付加する文字列 (「USER」はユーザー名を表す)
	日本語
本体	iTM
WEB	ウェブ : USER
スケジュール	スケジュール
連動制御	連動制御
予冷・予熱制御	予冷・予熱
緊急停止	緊急停止
自動冷暖切換	自動冷暖切換
暖房時最適停止	暖房時最適停止
停止タイマー	停止タイマー
室温上下限保証	室温上下限保証
Sliding Temperature	Sliding Temperature
設定温度制限	設定温度制限
セットバック制御	セットバック制御
デマンド制御	デマンド制御

## 5. 設定一括出力 CSVファイルフォーマット

### <スケジュール制御 CSVファイルフォーマット>

A	B	C	D
空白行			
コントローラ名称	コントローラ名称		
出力日時	出力日時		
iTMバージョン	iTMバージョン		
プログラム名称	プログラム名称		
有効/無効	プログラムの有効/無効 有効/無効		
有効期間	プログラムの有効期間 スケジュールが全期間有効の 場合は[全期間]と出力する		
日曜日			
時刻	P/A	名称	アクション
イベント時刻	管理点/エリア	エリア/管理点の名称	イベントアクション
同上	同上	同上	同上
;	;	;	;
月曜日			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
火曜日			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
水曜日			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
木曜日			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
金曜日			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
土曜日			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;

A	B	C	D
特日1の名称			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
特日2の名称			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
特日3の名称			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
特日4の名称			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
特日5の名称			
時刻	P/A	名称	アクション
;	;	;	;
特別日			
特日1の名称			
特日1の月日指定又は週曜日指定の設定内容 ・月/日/週曜日			
;			
特日2の名称			
特日2の月日指定又は週曜日指定の設定内容			
;			
特日3の名称			
特日3の月日指定又は週曜日指定の設定内容			
;			
特日4の名称			
特日4の月日指定又は週曜日指定の設定内容			
;			
特日5の名称			
特日5の月日指定又は週曜日指定の設定内容			
;			

A	B	C	D	..
カレンダー プレビュー				
+:週間				
日	1	2	3	..
年月	特別日名称/+	同左	同左	同左
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
空白行				
プログラム名称				
;				



以下、2つ目以降のプログラムの設定内容を出力する。

<連動制御 CSVファイルフォーマット>

A	B	C
空白行		
コントローラ名称	コントローラ名称	
出力日時	出力日時	
iTMバージョン	iTMバージョン	
プログラム名称	プログラム名称	
有効/無効	プログラムの有効/無効 有効/無効	
入力		
管理点	検出条件	タイマー(分)
管理点の名称	検出対象	連続成立時間
同上	同上	同上
;	;	;
出力1		
検出条件	連動出力の入力条件	
順次起動・停止間隔(秒)	順次起動・停止間隔	
P/A	名称	アクション
管理点/エリア	管理点/エリアの名称	管理点/エリアのアクション
同上	同上	同上
;	;	;
出力2		
検出条件	出力1と同様	
順次起動・停止間隔(秒)	出力1と同様	
P/A	名称	アクション
出力1と同様	出力1と同様	出力1と同様
;	;	;
空白行		
プログラム名称	プログラム名称	
;	;	;



以下、2つ目以降のプログラムの設定内容を入力する。

<緊急停止制御 CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラ名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
プログラム名称	プログラム名称
有効/無効	プログラムの有効/無効 有効/無効
入力	
解除モード	解除モード 自動/手動
管理点	
入力信号の管理点の名称	
同上	
;	
出力	
指定方法	出力指定方法 対象指定/除外指定
管理点	
登録した管理点の名称	
同上	
;	
空白行	
↓ プログラム名称	プログラム名称
;	

以下、2つ目以降のプログラムの設定内容を入力する。

※デフォルトプログラムは、登録プログラムの末尾に、デフォルトプログラム名称、有効/無効だけを入力する。

<自動冷暖切換 CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラー名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
グループ名称	グループ名称
有効/無効	制御の有効/無効 有効/無効
温度差	温度差
参照方法	代表温度決定方式 固定/運転中/平均値
管理点	
グループに含まれる管理点の名称	
同上	
;	
空白行	
グループ名称	グループ名称
有効/無効	
;	



以下、2つ目以降のプログラムの設定内容を入力する。

<Temp. Limit CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラー名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
グループ名称	グループ名称
有効/無効	制御の有効/無効 有効/無効
下限値	室温の下限値
上限値	室温の上限値
管理点	
グループに含まれる管理点の名称	
同上	
;	
;	
空白行	
グループ名称	グループ名称
;	



以下、2つ目以降のプログラムの設定内容を入力する。

<Sliding Temp. CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラ名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
グループ名称	グループ名称
有効/無効	制御の有効/無効 有効/無効
外気温度管理点	外気温度の管理点の名称
外気温度範囲	外気温度範囲 下限 - 上限
設定温度制限	設定温度制限 下限 - 上限
管理点	
グループに含まれる管理点の名称	
同上	
;	
;	
空白行	
↓ グループ名称	グループ名称
;	

以下、2つ目以降のプログラムの設定内容を入力する。

<HMO CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラ名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
管理点	有効/無効
管理点の名称	左記の管理点に対する制御の有効/無効 有効/無効
同上	同上
;	;
;	;

---

<セットバック制御 CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラ名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
冷房時リカバリ温度	冷房時リカバリ温度
暖房時リカバリ温度	暖房時リカバリ温度
強：相対セットアップ温度	セットバック強：相対セットアップ温度
強：相対セットバック温度	セットバック強：相対セットバック温度
弱：相対セットアップ温度	セットバック弱：相対セットアップ温度
弱：相対セットバック温度	セットバック弱：相対セットバック温度

<按分 CSVファイルフォーマット>

A	B	C	D	..	..	..
空白行						
コントローラ名称	コントローラ名称					
出力日時	出力日時					
iTMバージョン	iTMバージョン					
除外時間帯						
週	有効/無効	除外時間帯				
日曜日	除外時間帯の有効/無効	設定した除外時間帯				
月曜日	同上	同上				
火曜日	同上	同上				
水曜日	同上	同上				
木曜日	同上	同上				
金曜日	同上	同上				
土曜日	同上	同上				
特別に按分する日						
+:通常 #:特別に按分する日						
年月	1	2	3	..	30	31
年月(形式は、システム設定にしたがう)	(例:+)※	(例:+)	(例:+)	(例:+)	(例:+)	
同上	(例:#)※	(例:#)	(例:+)	(例:+)	(例:+)	(例:+)
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
同上	;	;	;	;	;	;
空白行						
有効/無効	夜間割引時間帯の有効/無効					
夜間割引時間帯	設定した夜間割引時間帯 ・早朝/深夜/ 終日/期間					
月	1月	2月	3月	..	11月	12月
契約電力量	1月の契約電力量	2月の契約電力量	3月の契約電力量	..	11月の契約電力量	12月の契約電力量

※「特別に按分する日」を適用するかどうかを下記内容で表しています。

- 適用する日…「#」
- 適用しない日…「+」

<デマンド制御 CSVファイルフォーマット>

A	B	C	D	..	I
空白行					
コントローラ名称	コントローラ名称				
出力日時	出力日時				
iTMバージョン	iTMバージョン				
目標電力	目標電力 (デマコン連動モード のとき、本行は出力し ない)				
設定温度制御					
有効/無効	制御の有効/無効 有効/無効				
制御グループ	制御グループA				
開始レベル	開始レベル1~8				
シフト量	レベル1のシフト量 0.0~16.0℃/サーモ OFF、刻み幅:1.0℃	レベル2のシフト量 0.0~16.0℃/サーモ OFF、刻み幅:1.0℃	レベル3のシフト量 (デマコン連動モードの ときはレベル3まで出 力) 0.0~16.0℃/サーモ OFF、刻み幅:1.0℃	..	レベル8の シフト量 0.0~ 16.0℃/ サーモ OFF、刻み幅: 1.0℃
冷房設定温度上限	冷房設定温度上限 15.0~35.0℃ ステップ(刻み幅): 0.1℃				
暖房設定温度下限	暖房設定温度下限 15.0~35.0℃ ステップ(刻み幅): 0.1℃				
管理点					
管理点の名称					
;					
空白行					
制御グループ	制御グループB				
..					
;					
空白行					

A	B	C	D	..	I
能力制御					
有効/無効	制御の有効/無効 有効/無効				
制御グループ	制御グループA				

A	B	C	D	..	I
能力値	レベル1のシフト量 能力値 100%/70%/ 40%/0%	レベル2のシフト量 能力値 100%/70%/ 40%/0%	レベル3のシフト量 (デマコン連動モード のときはレベル3まで 出力) 100%/70%/ 40%/0%	..	レベル8のシフト量 能力値 100%/70%/ 40%/0%
管理点					
管理点の名称					
;					
空白行					
制御グループ	制御グループB				
;					
空白行					
発停制御					
有効/無効	制御の有効/無効 有効/無効				
制御グループ	制御グループA				
開始レベル	1~8 (デマコン連動モード のときは1~3)				
管理点	復帰				
管理点の名称	自動復帰の有効/無効 有効/無効/空白				
;	;				
空白行					
制御グループ	制御グループB				
;					

<DESICA省エネ連動 CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラ名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
グループ名称	グループ名称
有効/無効	制御の有効/無効
管理点	
管理点の名称	
;	
;	
空白行	
グループ名称	グループ名称
;	
;	

<給湯スケジュール CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラ名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
給湯システム	給湯システム名称
プログラム名称	プログラム名称
有効/無効	プログラムの有効/無効 有効/無効
有効期間	プログラムの有効期間 スケジュールが全期間有効の 場合は[全期間]と出力する
日曜日	
出湯温度	出湯温度高め/標準
時刻	目標水位 (%)
イベント時刻	目標水位
同上	
;	
月曜日	
出湯温度	出湯温度高め/標準
時刻	目標水位 (%)
;	;
火曜日	
出湯温度	出湯温度高め/標準
時刻	目標水位 (%)
;	;
水曜日	
出湯温度	出湯温度高め/標準
時刻	目標水位 (%)
;	;
木曜日	
出湯温度	出湯温度高め/標準
時刻	目標水位 (%)
;	;
金曜日	
出湯温度	出湯温度高め/標準
時刻	目標水位 (%)
;	;
土曜日	
出湯温度	出湯温度高め/標準
時刻	目標水位 (%)
;	;

A	B
特日1の名称	
出湯温度	出湯温度高め／標準
時刻	目標水位 (%)
；	；
特日2の名称	
出湯温度	出湯温度高め／標準
時刻	目標水位 (%)
；	；
特日3の名称	
出湯温度	出湯温度高め／標準
時刻	目標水位 (%)
；	；
特日4の名称	
出湯温度	出湯温度高め／標準
時刻	目標水位 (%)
；	；
特日5の名称	
出湯温度	出湯温度高め／標準
時刻	目標水位 (%)
；	；
特別日	
特日1の名称	
特日1の月日指定又は週曜日指定の設定内容	
・月/日	
；	
特日2の名称 (例：Special 2)	
特日2の月日指定又は週曜日指定の設定内容	
；	
特日3の名称 (例：Special 3)	
特日3の月日指定又は週曜日指定の設定内容	
；	
特日4の名称 (例：Special 4)	
特日4の月日指定又は週曜日指定の設定内容	
；	
特日5の名称 (例：Special 5)	
特日5の月日指定又は週曜日指定の設定内容	
；	

A	B	C	D	..
カレンダープレビュー				
+ 週間				
日	1	2	3	..
年月	特別日名称/+	同左	同左	同左
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
同上	;	;	;	;
空白行				
プログラム名称				
;				
空白行				
給湯システム	給湯システム名称			
;				

<給湯機台数制限 CSVファイルフォーマット>

A	B
空白行	
コントローラ名称	コントローラ名称
出力日時	出力日時
iTMバージョン	iTMバージョン
給湯システム	給湯システム名称
有効/無効	プログラムの有効/無効 有効/無効
期間	給湯デマンド期間 給湯機台数制限期間
時間帯	給湯デマンド時間帯 給湯機台数制限時間帯
台数制限	台数制限
空白行	
給湯システム	給湯システム名称
;	;

## 6. 料金計算シート CSVファイルフォーマット

### <エリア情報 CSVファイルフォーマット>

A	B	C	D
ファイルバージョン			
@S:AREA-INFO			
A	エリアID	エリア名称	
	A	エリアID	エリア名称
		P	管理点ID
	P	管理点ID	
:			
@E:AREA-INFO			
空白行			
@S:PNT-INFO			
管理点ID	管理点名称	空調機番号	
:			
@E:PNT-INFO			

(1) エリア情報ブロック部

(2) 管理点情報ブロック部

#### (1) 【エリア情報ブロック部】

- ファイルバージョン：エリア情報ファイルのバージョンです。
- @S:AREA-INFO：エリア情報ブロック開始位置です。
- A：エリア情報です。
- エリアID：エリアに設定されたIDです。
- エリア名称：エリア作成時に設定したエリア名称です。
- P：管理点情報です。
- 管理点ID：管理点に設定されたIDです。
- @E:AREA-INFO：エリア情報ブロック終了位置です。

#### (2) 【管理点情報ブロック部】

- @S:PNT-INFO：管理点情報ブロック開始位置です。
- 管理点ID：管理点に設定されたIDです。
- 室内機名称：管理点登録時に設定した室内機名称です。
- 空調機番号：iTMプラスアダプター/DK-CONNECT DⅢ Plus ADP接続時、0～511までです。
- @E:PNT-INFO：管理点情報ブロック終了位置です。

<按分情報 CSVファイルフォーマット>

A	B	C	D	E	F	G	H
開始日	日数	空調機のタイプ	割り振れない電力量	期間指定方式			
20130331	365	0	0	0			
空白行							
空調機番号	室内機名称	馬力コード	昼間電力使用量(Wh)	夜間電力使用量(Wh)	昼間停止時の電力量(Wh)	夜間停止時の電力量(Wh)	ガス使用量(1/1000m <sup>3</sup> )
0	1:1-00	&H50	7040	0	1120	0	0
1	1:1-01	&H50	7680	0	1280	0	0
2	1:1-02	&H8c	14560	0	2520	0	0
3	1:1-03	&H8c	15680	0	2800	0	0
4	1:1-04	&H8c	16800	0	3080	0	0
10	1:1-10	&He0	19712	0	3136	0	0
16	1:2-00	&H24	3456	0	576	0	0
17	1:2-01	&H32	5200	0	900	0	0
18	1:2-02	&Ha0	17920	0	3200	0	0
63	1:4-15	&H47	8520	0	1562	0	0

(1) ヘッダ部

(2) データ部

(1) 【ヘッダ部】

- 開始日 : 開始日が年月日で表示されます。
- 日数 : 集計を行った日数です。
- 空調機のタイプ : 通常の場合は「0」、蓄熱(※)の場合は「1」で表示されます。  
※試運転で蓄熱の按分グループに登録された室内機が1台以上ある。
- 割り振れない電力量 : 昼間消費電力が0の場合に、夜間蓄熱運転で消費した電力を表示します。  
(昼間消費電力が0の場合、按分計算ができないため)
- 期間指定方式 : 期間指定の場合は0、月指定の場合は年月で表示されます。

(2) 【データ部】

接続していない(試運転ツールで登録していない)室内機の電力使用量・停止時の電力量・ガス使用量は、「0」で表示されます。Internal Piを含む按分グループに属している室内機の電力使用量・停止時の電力量・ガス使用量は「0」と表示されます。

- 空調機番号 : iTMプラスアダプター/DK-CONNECT DⅢ Plus ADP接続時、0~511までです。
- 室内機名称 : 管理点登録時に設定した室内機名称です。  
管理点登録されていない室内機名称は、「ポート番号:集中アドレス」で表示されます。
- 馬力コード : 馬力コードは、16進数表示です。  
&H38・&H47・&H8cの表示を空調機能力に換算すると、それぞれP56形・P71形・P140形となります。(&Hとは16進数を示す記号です。)
- 昼間電力使用量 : 集計期間内に集計された昼間電力使用量の合計です。(単位はWh)

- 
- 夜間電力使用量 : 集計期間内に集計された夜間電力使用量の合計です。(単位はWh)
  - 昼間停止時の電力量 : 集計期間内に集計された昼間停止時の電力量の合計です。  
(単位はWh)
  - 夜間停止時の電力量 : 集計期間内に集計された夜間停止時の電力量の合計です。  
(単位はWh)
  - ガス使用量 : 集計期間内に集計されたガス使用量の合計です。  
(単位は1/1000m<sup>3</sup>)

## <詳細情報 CSVファイルフォーマット>

512列 固定

intelligent Touch Manager				
2013/3/1 12:00				
Ver1.10.00				
PPD Hourly Data(Wh)(1/1000m3)				
Note:	This value is the PPD result for one hour ending at Date and e.g. the value on the line 3:00 is the result for one hour from			
室内機1名称	室内機2名称	...	...	室内機512名称
0	0	...	...	0
2013/2/1	1:00			
内1昼間電力量	内2昼間電力量	...	...	内512昼間電力量
内1夜間電力量(ガス)	内2夜間電力量(ガス)			内512夜間電力量(ガス)
内1昼間停止時電力量	内2昼間停止時電力量	...	...	内512昼間停止時電力量
内1夜間停止時電力量	内2夜間停止時電力量			内512夜間停止時電力量
2013/2/1	2:00			
内1昼間電力量	内2昼間電力量	...	...	内512昼間電力量
内1夜間電力量(ガス)	内2夜間電力量(ガス)			内512夜間電力量(ガス)
内1昼間停止時電力量	内2昼間停止時電力量	...	...	内512昼間停止時電力量
内1夜間停止時電力量	内2夜間停止時電力量			内512夜間停止時電力量
2013/2/1	3:00			
:	:	:	:	:

### (1)【タイトル部】

- コントローラー名称：設定したコントローラー名称です。
- 年月日、時分：出力日時です。
- バージョン番号：本体のバージョンです。
- タイトル：PPD Hourly Data (Wh) (1/1000m3)
- 注意書き

※列は512列固定で、集中アドレス順に表示されます。

各列が、各室内機の1時間ごとの使用エネルギー [Wh単位] を表示します。

### (2)【ヘッダ部】

- 室内機名称：管理点登録時に設定した室内機名称です。  
管理点登録されていない室内機名称は、「ポート番号:集中アドレス」で表示されます。
- 種別：負荷按分通常型は「0」、負荷按分蓄熱型は「1」、負荷按分GHP型は「2」と表示されます。

---

### (3)【データ部】

接続していない(試運転ツールで登録していない)室内機の、電力量・停止時電力量は「0」で表示されます。Internal Piを含む按分グループに属している室内機の電力使用量・停止時の電力量・ガス使用量は「0」で表示されます。

- 年月日、時分 : 出力指定期間内での、1時間ごとの日時です。
- 昼間電力量 : 1時間の室内機ごとの昼間電力量です。
- 夜間電力量(ガス) : 1時間の室内機ごとの夜間電力量(ガス)です。
- 昼間停止時電力量 : 1時間の室内機ごとの昼間停止時電力量です。
- 夜間停止時電力量 : 1時間の室内機ごとの夜間停止時電力量です。

## 7. Energy Navigator CSVファイルフォーマット

CSV形式に変換されたデータの内容、ファイルのフォーマットは次のとおりです。

### <消し忘れ管理点データ CSVファイルフォーマット>

A	B	C	D	E
空白行				
コントローラ名称	コントローラ名称			
出力日時	出力日時 (年月日・時刻の形式は システム設定にしたがう)			
iTMバージョン	iTMバージョン			
抽出期間	抽出期間			
抽出対象	エリア名称(例: 全て>1F)			
管理点/エリア	エリア/管理点(例: 管理点)			
空白行				
運用ルール名称	運用ルール名称			
月	日	特別日パターン		
(例: 3月)	(例: 第3水曜日)	(例: 特別日1)		
⋮	⋮	⋮		
週間パターン または 特別日パターン	曜日 (例: 月曜・火曜・水曜・ 木曜)または特別日			
時間帯	設定温度(冷房) [°C]	設定温度(暖房) [°C]		
⋮	⋮	⋮		
空白行				
管理点名称/エリア名称	発生日数 [日]	発生時間	電力消費量 [kWh]	ガス消費量 [m3]
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

<設定温度乖離管理点データ CSVファイルフォーマット>

A	B	C	D	E
空白行				
コントローラ名称	コントローラ名称			
出力日時	出力日時 (年月日・時刻の形式は システム設定にしたがう)			
iTMバージョン	iTMバージョン			
抽出期間	抽出期間			
抽出対象	エリア名称(例: 全て>1F)			
管理点/エリア	エリア/管理点(例: 管理点)			
空白行				
運用ルール名称	運用ルール名称			
月	日	特別日パターン		
(例: 3月)	(例: 第3水曜日)	(例: 特別日1)		
⋮	⋮	⋮		
週間パターン または 特別日パターン	曜日 (例 月曜・火曜・水曜・ 木曜)または特別日			
時間帯	設定温度(冷房) [°C]	設定温度(暖房) [°C]		
⋮	⋮	⋮		
空白行				
管理点名称/エリア名称	発生日数 [日]	発生時間	電力消費量 [kWh]	ガス消費量 [m3]
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

## <エネルギーデータ CSVファイルフォーマット>

CSV形式に変換されたデータの内容・フォーマットは次のとおりです。

- 出力順序は、エネルギーグループの登録されている順序です。
- エネルギー種別の出力順は、電力⇒ガス⇒水道⇒CO<sub>2</sub>⇒新規換算種別名称の順です。
- 同一種別内の出力順は、エネルギー単位ごとに、エネルギー⇒CO<sub>2</sub>⇒新規換算種別名称の順です。

A	B	C	D	...	
空白行					
コントローラ名称	コントローラ名称				
出力日時	出力日時 (年月日、時刻の形式はシステム設定にしたがう)				
iTMバージョン	iTMバージョン				
出力年度	出力年度				
空白行					
グループ名称	エネルギーグループ名称				
エネルギー種別	電力				
エネルギー単位	エネルギー				
消費エネルギー実績の予測値 または消費エネルギー実績値 [kWh/m <sup>2</sup> ]*	150000 (過去の場合は実績値を表示)				
年間の消費エネルギー計画値 [kWh/m <sup>2</sup> ]*	140000 (過去の場合や計画値がない場合は「-」で表示する。)				
月	集計開始月 (例: 4)			...	集計終了月 (例: 3)
消費エネルギー実測値[kWh/m <sup>2</sup> ]*					
消費エネルギー計画値[kWh/m <sup>2</sup> ]*					
消費エネルギー目標値[kWh/m <sup>2</sup> ]*					
エネルギー単位	CO <sub>2</sub>				
月	集計開始月 (例: 4)			...	集計終了月 (例: 3)
消費エネルギー実績値 [kg-CO <sub>2</sub> ]*					
エネルギー単位	[新規換算種別名称]				
月	集計開始月 (例: 4)			...	集計終了月 (例: 3)
消費エネルギー実績値 [新規換算種別単位]*					
月	集計開始月 (例: 4)			...	集計終了月 (例: 3)
管理点名称1 [kWh/m <sup>2</sup> ]* (エネルギーグループに登録されている管理点でかつ、エネルギー種別と一致している管理点のみ表示する。)	10000			...	15000
⋮	⋮				
エネルギー種別	ガス				
⋮	⋮				
エネルギー種別	CO <sub>2</sub>				
月	集計開始月 (例: 4)			...	集計終了月 (例: 3)
CO <sub>2</sub> [kg-CO <sub>2</sub> ]*	14000				
エネルギー種別	[新規換算種別名称]				
月	集計開始月 (例: 4)			...	集計終了月 (例: 3)
[新規換算種別名称] [新規換算種別単位]*					
グループ名称	エネルギーグループ名称				

エネルギー種別分繰り返す。

登録されているエネルギーグループ分繰り返す。(エネルギーグループが登録されていない場合は、出力しない)

※エネルギー種別、エネルギー量に応じた単位にしたがい、変換して表示する。

↓ 次表へ続く

A	B	・・・	AE
空白行			
グループ名称	エネルギーグループ名称		
月	月(例: 4)		
エネルギー種別	電力		
エネルギー単位	エネルギー		
消費エネルギー実績の予測値 または 消費エネルギー実績値 [kWh/m <sup>2</sup> ] ※	150000 (過去の場合は実績値を表示)		
消費エネルギー目標値 [kWh/m <sup>2</sup> ] ※	140000 (過去の場合は「-」を表示)		
日	1	・・・	月末日(例: 31)
消費エネルギー実績値 [kWh/m <sup>2</sup> ] ※	1000	・・・	1500
エネルギー単位	CO <sub>2</sub>		
日	1	・・・	月末日(例: 31)
消費エネルギー実績値 [kg-CO <sub>2</sub> ] ※	1000	・・・	1500
エネルギー単位	[新規換算種別名称]		
日	1	・・・	月末日(例: 31)
消費エネルギー実績値 [新規換算種別単位] ※	1000	・・・	1500
日	1	・・・	月末日(例: 31)
管理点名称1 [kWh/m <sup>2</sup> ] ※ (エネルギーグループに登録されている 管理点でかつ、エネルギー種別と一致 している管理点のみ表示する。)	1000	・・・	1500
⋮	⋮	⋮	⋮
エネルギー種別	ガス		
⋮	⋮		
エネルギー種別	CO <sub>2</sub>		
日	1	・・・	月末日(例: 31)
CO <sub>2</sub> [kg-CO <sub>2</sub> ] ※	1000	・・・	1500
エネルギー種別	[新規換算種別名称]		
日	1	・・・	月末日(例: 31)
[新規換算種別名称] [新規換算種別単位] ※	1000	・・・	1500
Month	月(例: 4)		
⋮	⋮		
グループ名称	エネルギーグループ名称		
⋮	⋮		

エネルギー種別  
分繰り返す。

集計開始月から現在月or  
現在月の13ヵ月前の月  
から集計終了月まで繰り返す。

登録されている  
エネルギーグループ分  
繰り返す。  
(エネルギーグループ  
が登録されていない  
場合は、出力しない)

※エネルギー種別・エネルギー量に応じた単位にしたがい、変換して表示する。

## <管理点データ CSVファイルフォーマット>

CSV形式に変換されたデータの内容・フォーマットは次のとおりです。

- 出力順序は、管理点の名称順です。
- 1時間のデータとして、年月日・時・管理点ごとのデータを出力します。
- 出力可能な管理点種別は、室内機・ベンティエール・DESICA・チラー・Dio・アナログ<sup>\*1</sup>・パルスです。

※ 1 External Ao管理点、BACnet Ao管理点の情報は出力できません。

A	B	C	D	.....
空白行				
コントローラ名称	コントローラ名称			
出力日時	出力日時 (年月日、時刻の形式はシステム 設定にしたがう)			
iTMバージョン	iTMバージョン			
出力期間	出力期間			
空白行				
管理点名称	出力する管理点名称			
管理点種別	出力する管理点種別			
年月	時刻	項目1 ※	項目2 ※	.....
出力する日付	出力する時間			
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
空白行				

出力期間  
分を表示  
する。  
時限デー  
タが存在  
しない場  
合は、そ  
の行を表  
示しない。

出力対象  
の管理点  
数分を表  
示する。

※ 管理点種別ごとに出力する項目が異なります。  
出力項目については、次ページ以降をご覧ください。

## 【室内機】

### 室内機で出力する項目

番号	項目	集計方法	単位	出力有効範囲
1	設定温度(平均値)	集計時間(1時間)における1分データを15分ごとの平均で集計したデータの平均値	°C	-50.0 ≤ 値 ≤ 50.0
2	設定温度(最大値)	集計時間(1時間)における1分データの最大値	°C	-50.0 ≤ 値 ≤ 50.0
3	設定温度(最小値)	集計時間(1時間)における1分データの最小値	°C	-50.0 ≤ 値 ≤ 50.0
4	吸込温度(平均値)	集計時間(1時間)における1分データを15分ごとの平均で集計したデータの平均値	°C	-50.0 ≤ 値 ≤ 120.0
5	吸込温度(最大値)	集計時間(1時間)における1分データの最大値	°C	-50.0 ≤ 値 ≤ 120.0
6	吸込温度(最小値)	集計時間(1時間)における1分データの最小値	°C	-50.0 ≤ 値 ≤ 120.0
7	冷房運転時間(積算値)	室内機が冷房モードで動作中の時間を1分単位で積算	分	0 ≤ 値 ≤ 60
8	暖房運転時間(積算値)	室内機が暖房モードで動作中の時間を1分単位で積算	分	0 ≤ 値 ≤ 60
9	送風運転時間(積算値)	室内機が送風モードで動作中の時間を1分単位で積算	分	0 ≤ 値 ≤ 60
10	ドライ運転時間(積算値)	室内機がドライモードで動作中の時間を1分単位で積算	分	0 ≤ 値 ≤ 60
11	発停回数	運転状態になった回数	回	0 ≤ 値 ≤ 9999

## 【ベンティエール】

### ベンティエールで出力する項目

番号	項目	集計方法	単位	出力有効範囲
1	運転時間(積算値)	ベンティエールが動作中の時間を1分単位で積算	分	0 ≤ 値 ≤ 60
2	発停回数	運転状態になった回数	回	0 ≤ 値 ≤ 9999

## 【DESICA】

### DESICAで出力する項目

番号	項目	集計方法	単位	出力有効範囲
1	運転時間(積算値)	DESICAが動作中の時間を1分単位で積算	分	0 ≤ 値 ≤ 60
2	発停回数	停止状態または不定状態(起動して初めて運転状態を取得するまでの状態)から運転状態になった回数	回	0 ≤ 値 ≤ 9999

## 【チラー】

チラーで出力する項目

データが出力有効範囲外である場合は、有効範囲内に丸められる。

番号	項目	集計方法	単位	出力有効範囲
1	暖房運転時間(積算値)	DⅢチラーが暖房モードで動作中の時間を1分単位で積算	分	$0 \leq \text{値} \leq 60$
2	冷房運転時間(積算値)	DⅢチラーが冷房モードで動作中の時間を1分単位で積算	分	$0 \leq \text{値} \leq 60$
3	発停回数	運転状態になった回数	回	$0 \leq \text{値} \leq 9999$
4	冷温水入口水温(平均値)	集計時間(1時間)における1分データを15分ごとの平均で集計したデータの平均値	°C	$-50.0 \leq \text{値} \leq 120.0$
5	冷温水入口水温(最大値)	集計時間(1時間)における1分データの最大値	°C	$-50.0 \leq \text{値} \leq 120.0$
6	冷温水入口水温(最小値)	集計時間(1時間)における1分データの最小値	°C	$-50.0 \leq \text{値} \leq 120.0$
7	冷温水出口水温(平均値)	集計時間(1時間)における1分データを15分ごとの平均で集計したデータの平均値	°C	$-50.0 \leq \text{値} \leq 120.0$
8	冷温水出口水温(最大値)	集計時間(1時間)における1分データの最大値	°C	$-50.0 \leq \text{値} \leq 120.0$
9	冷温水出口水温(最小値)	集計時間(1時間)における1分データの最小値	°C	$-50.0 \leq \text{値} \leq 120.0$

## 【Dio】

Dioで出力する項目

番号	項目	集計方法	単位	出力有効範囲
1	運転時間(積算値)	Di/Dioが動作中の時間を1分単位で積算	分	$0 \leq \text{値} \leq 60$
2	発停回数	運転状態になった回数	回	$0 \leq \text{値} \leq 9999$

## 【パルス】

パルスで出力する項目

番号	項目	集計方法	単位	出力有効範囲
1	メーター値(積算値)	集計時間(1時間)ごとの積算値	—	$0 \leq \text{値} \leq 999999.99$

## 【アナログ】

アナログで出力する項目

番号	項目	集計方法	単位	出力有効範囲
1	アナログ値(平均値)	集計時間(1時間)における1分データを15分ごとの平均で集計したデータの平均値	—	$-100000.0 \leq \text{値} \leq 100000.0$

## 8. 給湯システム

給湯システムは業種を選択することで、その業種の代表的な目標水位をすべての運転パターンで設定できます。業種別の代表的な目標水位は下表のとおりです。

### <業種別目標水位表>

(%)

時刻	福祉施設	病院	給食センター	ホテル・旅館	ビジネスホテル	スポーツ施設	飲食店舗
22	100	100	100	50	90	50	100
23	100	100	100	50	80	50	100
0	100	100	100	40	80	40	100
1	100	100	100	100	70	100	100
2	100	100	100	100	100	100	100
3	100	100	100	100	100	100	100
4	100	100	100	100	100	100	100
5	100	100	100	100	100	100	100
6	100	100	100	100	100	100	100
7	100	100	100	100	100	100	100
8	100	100	100	100	50	100	100
9	100	90	100	100	40	100	100
10	90	80	90	100	40	100	100
11	80	80	90	90	40	100	100
12	80	70	80	90	40	100	90
13	70	60	80	90	100	100	80
14	60	60	70	90	100	100	80
15	60	50	60	80	100	100	70
16	50	50	50	80	100	100	70
17	50	40	50	80	100	100	70
18	40	40	50	70	100	90	60
19	40	40	50	70	100	80	60
20	40	40	50	60	100	70	50
21	30	30	50	60	90	60	40

#### • 目標水位・出湯温度の初期設定について

目標水位・出湯温度の初期値は下記となります。

- 目標水位：100%
- 出湯温度：標準温度(65℃)

# アフターサービスについて

---

## ■ 修理を依頼される時は次のことをお知らせください。

- 機種名
- 据付年月日
- 故障状況 —— できるだけ詳しく
- ご住所・お名前・お電話番号

## ■ 移設について

専門の技術が必要ですので必ずお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

なお、この場合は、移設に必要な実費をいただきます。

## ■ 無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

(保証期間…据付日から1年)

## ■ ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

# お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日	年	月	日
-------	-----	-------	---	---	---

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。  
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

**WEBから**

- よくあるご質問、取扱説明書をご覧いただけます。
- 簡単・便利に修理依頼、リモコン・フィルターなどのご購入ができます。

ダイキンコンタクトセンター

<https://www.daikincc.com>

WEB受付の流れ

QRコードからもアクセスできます。

**24時間365回、安心つながる。**

お客様総合窓口 **コンタクトセンター**

お電話から フリーダイヤル **0120-88-1081** フリーダイヤル FAXから **0120-07-0881**

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルいただき発信番号の通知をお願いしております。



1907

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

## ダイキン工業株式会社

大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス  
郵便番号 530-0001